

# 過疎地域等における集落の状況に関する 現況把握調査報告書

令和2年3月

総務省 地域力創造グループ 過疎対策室

# 目 次

<b>第1章 調査の概要</b> .....	1-1
1-1. 調査の趣旨	
1-2. 本調査の対象と用語等について	
<b>第2章 集落の現状把握</b> .....	2-1
2-1. 調査の概要	
2-2. 調査の方法	
2-3. 過疎地域等における集落の現状	
2-4. 前回調査との比較による集落の経年変化	
2-5. その他	
<b>第3章 集落対策等に関する調査</b> .....	3-1
3-1. 調査の概要	
3-2. 調査の方法	
3-3. 調査結果（市町村）	
3-4. 調査結果（都道府県）	
<b>第4章 集落の現状及び集落対策等に関する事例調査</b> .....	4-1
4-1. 調査の概要	
4-2. 調査結果	
<b>参考資料</b> .....	参考-1

# 図表索引

## 第2章 集落の現状把握

※下表のページ番号の表記は章番号(2-)を省略している。

図表タイトル	頁
<b>2-2. 調査の方法</b>	
図表 2-1 調査対象市町村の種類	1
図表 2-2 調査対象市町村数	2
図表 2-3 調査対象区域(旧市町村)数	2
図表 2-4 調査項目(集落データ収集項目)の概要	3
図表 2-5 集落データ調査項目(集落データ収集項目)一覧	4
図表 2-6 地方ブロック別・現市町村の過疎区分別 回答市町村数・区域(旧市町村)数	9
図表 2-7 調査対象地域と各節での集計範囲	9
<b>2-3. 過疎地域等における集落の現状</b>	
図表 2-8 市町村区分別 集落数及び1市町村あたり平均集落数【全体】	11
図表 2-9 地方ブロック別・市町村区分別 集落数及び1市町村あたり平均集落数【過疎地域のみ】	11
図表 2-10 現市町村の過疎区分別 集落数及び1区域あたり平均集落数【全体】	12
図表 2-11 地域指定別・現市町村の過疎区分別 集落数及び1区域あたり平均集落数【全体】	12
図表 2-12 地方ブロック別・現市町村の過疎区分別 集落数及び1区域あたり平均集落数【過疎地域のみ】	12
図表 2-13 地域区分別 集落数【全体】	13
図表 2-14 地域指定別・地域区分別 集落数【全体】	13
図表 2-15 地方ブロック別・地域区分別 集落数【過疎地域のみ】	13
図表 2-16 集落類型別 集落数【全体】	14
図表 2-17 地域指定別・集落類型別 集落数【全体】	14
図表 2-18 地方ブロック別・集落類型別 集落数【過疎地域のみ】	14
図表 2-19 地域区分別・集落類型別 集落数【過疎地域のみ】	15
図表 2-20 市町村別 集落人口及び1集落あたり平均人口【全体】	16
図表 2-21 地域指定別・市町村別 集落人口及び1集落あたり平均人口【全体】	16
図表 2-22 地方ブロック別・市町村別 集落人口及び1集落あたり平均人口【過疎地域のみ】	17
図表 2-23 地方ブロック別・過疎区分別集落人口及び1集落あたり平均人口【過疎地域のみ】	18
図表 2-24 地域区分別 集落人口及び1集落あたり平均人口【全体】	19
図表 2-25 地域指定別・地域区分別 集落人口及び1集落あたり平均人口【全体】	19
図表 2-26 地方ブロック別・地域区分別集落人口及び1集落あたり平均人口【過疎地域のみ】	20
図表 2-27 人口規模別 集落数【全体】	21
図表 2-28 地域指定別・人口規模別 集落数【全体】	21
図表 2-29 地方ブロック別・人口規模別 集落数【過疎地域のみ】	22
図表 2-30 集落類型別・人口規模別 集落数【過疎地域のみ】	22
図表 2-31 地域区分別・人口規模別 集落数【過疎地域のみ】	23
図表 2-32 役場(本庁)までの距離別・人口規模別 集落数【過疎地域のみ】	23
図表 2-33 65歳以上人口割合別・人口規模別 集落数【過疎地域のみ】	23
図表 2-34 転入者の有無別・人口規模別 集落数【過疎地域のみ】	24
図表 2-35 サポート人材の有無別・人口規模別 集落数【過疎地域のみ】	24
図表 2-36 市町村別 集落世帯数及び1集落あたり平均世帯数【全体】	25
図表 2-37 地域指定別・市町村別 集落世帯数及び1集落あたり平均世帯数【全体】	25
図表 2-38 地方ブロック別・市町村別集落世帯数及び1集落あたり平均世帯数【過疎地域のみ】	26
図表 2-39 地方ブロック別・過疎区分別集落世帯数及び1集落あたり平均世帯数【過疎地域のみ】	27
図表 2-40 地域区分別 集落世帯数及び1集落あたり平均世帯数【全体】	28
図表 2-41 地域指定別・地域区分別 集落世帯数及び1集落あたり平均世帯数【全体】	28
図表 2-42 地方ブロック別・地域区分別集落世帯数及び1集落あたり平均世帯数【過疎地域のみ】	29
図表 2-43 世帯数規模別 集落数【全体】	30
図表 2-44 地域指定別・世帯数規模別 集落数【全体】	30
図表 2-45 地方ブロック別・世帯数規模別 集落数【過疎地域のみ】	31
図表 2-46 集落類型別・世帯数規模別 集落数【過疎地域のみ】	31
図表 2-47 地域区分別・世帯数規模別 集落数【過疎地域のみ】	32
図表 2-48 役場(本庁)までの距離別・世帯数規模別 集落数【過疎地域のみ】	32
図表 2-49 65歳以上人口割合別・世帯数規模別 集落数【過疎地域のみ】	32

図表タイトル	頁
図表 2-50 転入者の有無別・世帯数規模別 集落数【過疎地域のみ】	33
図表 2-51 サポート人材の有無別・世帯規模別 集落数【過疎地域のみ】	33
図表 2-52 集落人口に占める0～14歳人口割合別 集落数【全体】	34
図表 2-53 地域指定別・集落人口に占める0～14歳人口割合別 集落数【全体】	34
図表 2-54 地方ブロック別・集落人口に占める0～14歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】	35
図表 2-55 集落類型別・集落人口に占める0～14歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】	35
図表 2-56 地域区分別・集落人口に占める0～14歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】	36
図表 2-57 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める0～14歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】	36
図表 2-58 転入者の有無別・集落人口に占める0～14歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】	36
図表 2-59 集落人口に占める15～29歳人口割合別 集落数【全体】	37
図表 2-60 地域指定別・集落人口に占める15～29歳人口割合別 集落数【全体】	37
図表 2-61 地方ブロック別・集落人口に占める15～29歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】	38
図表 2-62 集落類型別・集落人口に占める15～29歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】	38
図表 2-63 地域区分別・集落人口に占める15～29歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】	39
図表 2-64 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める15～29歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】	39
図表 2-65 転入者の有無別・集落人口に占める15～29歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】	39
図表 2-66 集落人口に占める30～64歳人口割合別 集落数【全体】	40
図表 2-67 地域指定別・集落人口に占める30～64歳人口割合別 集落数【全体】	40
図表 2-68 地方ブロック別・集落人口に占める30～64歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】	41
図表 2-69 集落類型別・集落人口に占める30～64歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】	41
図表 2-70 地域区分別・集落人口に占める30～64歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】	42
図表 2-71 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める30～64歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】	42
図表 2-72 転入者の有無別・集落人口に占める30～64歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】	42
図表 2-73 集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数【全体】	43
図表 2-74 地域指定別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数【全体】	43
図表 2-75 地方ブロック別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】	43
図表 2-76 集落類型別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】	44
図表 2-77 地域区分別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】	44
図表 2-78 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】	44
図表 2-79 転入者の有無別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】	45
図表 2-80 地形的末端性別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】	45
図表 2-81 65歳以上人口割合の高い集落の主要特性【全体】	46
図表 2-82 65歳以上人口割合の高い集落の主要特性【過疎地域のみ】	47
図表 2-83 集落人口に占める75歳以上人口割合別 集落数【全体】	48
図表 2-84 地域指定別・集落人口に占める75歳以上人口割合別 集落数【全体】	48
図表 2-85 地方ブロック別・集落人口に占める75歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】	49
図表 2-86 集落類型別・集落人口に占める75歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】	49
図表 2-87 地域区分別・集落人口に占める75歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】	50
図表 2-88 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める75歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】	50
図表 2-89 転入者の有無別・集落人口に占める75歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】	50
図表 2-90 75歳以上人口割合の高い集落の主要特性【全体】	51
図表 2-91 75歳以上人口割合の高い集落の主要特性【過疎地域のみ】	52
図表 2-92 転入者の有無別 集落数【全体】	53
図表 2-93 地域指定別・転入者の有無別 集落数【全体】	53
図表 2-94 地方ブロック別・転入者の有無別 集落数【過疎地域のみ】	53
図表 2-95 集落類型別・転入者の有無別 集落数【過疎地域のみ】	54
図表 2-96 地域区分別・転入者の有無別 集落数【過疎地域のみ】	54
図表 2-97 集落の人口規模別・転入者の有無別 集落数【過疎地域のみ】	55
図表 2-98 集落の世帯数規模別・転入者の有無別 集落数【過疎地域のみ】	55
図表 2-99 65歳以上人口割合別・転入者の有無別 集落数【過疎地域のみ】	56
図表 2-100 役場(本庁)までの距離別・転入者の有無別 集落数【過疎地域のみ】	56
図表 2-101 近年転入がみられる集落の主要特性【全体】	57
図表 2-102 近年転入がみられる集落の主要特性【過疎地域のみ】	58
図表 2-103 子育て世帯の転入の有無別 集落数【全体】	59
図表 2-104 地域指定別・子育て世帯の転入の有無別 集落数【全体】	59
図表 2-105 地方ブロック別・子育て世帯の転入の有無別 集落数【過疎地域のみ】	59
図表 2-106 集落類型別・子育て世帯の転入の有無別 集落数【過疎地域のみ】	60

図表タイトル	頁
図表 2-107 地域区分別・子育て世帯の転入の有無別 集落数【過疎地域のみ】	60
図表 2-108 役場(本庁)までの距離別・子育て世帯の転入の有無別 集落数【過疎地域のみ】	60
図表 2-109 集落の人口規模別・子育て世帯の転入の有無別 集落数【過疎地域のみ】	61
図表 2-110 集落の世帯数規模別・子育て世帯の転入の有無別 集落数【過疎地域のみ】	61
図表 2-111 近年子育て世帯の転入がみられる集落の主要特性【全体】	62
図表 2-112 近年子育て世帯の転入がみられる集落の主要特性【過疎地域のみ】	63
図表 2-113 地形的末端性別 集落数【全体】	64
図表 2-114 地域指定別・地形的末端性別 集落数【全体】	64
図表 2-115 地方ブロック別・地形的末端性別 集落数【過疎地域のみ】	64
図表 2-116 集落類型別・地形的末端性別 集落数【過疎地域のみ】	65
図表 2-117 地域区分別・地形的末端集落数【過疎地域のみ】	65
図表 2-118 集落の人口規模別・地形的末端性別 集落数【過疎地域のみ】	66
図表 2-119 集落の世帯数規模別・地形的末端性別 集落数【過疎地域のみ】	66
図表 2-120 65歳以上人口割合別・地形的末端性別 集落数【過疎地域のみ】	67
図表 2-121 転入者の有無別・地形的末端性別 集落数【過疎地域のみ】	67
図表 2-122 役場(本庁・支所)までの距離別 集落数【全体】	68
図表 2-123 地域指定別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数【全体】	68
図表 2-124 地方ブロック別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数【過疎地域のみ】	68
図表 2-125 集落類型別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数【過疎地域のみ】	69
図表 2-126 地域区分別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数【過疎地域のみ】	69
図表 2-127 集落の人口規模別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数【過疎地域のみ】	70
図表 2-128 集落の世帯数規模別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数【過疎地域のみ】	70
図表 2-129 65歳以上人口割合別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数【過疎地域のみ】	71
図表 2-130 転入者の有無別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数【過疎地域のみ】	71
図表 2-131 生活サービス機能が立地している集落数【全体】	72
図表 2-132 地域指定別 生活サービス機能が立地している集落数【全体】	72
図表 2-133 地方ブロック別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】	72
図表 2-134 集落類型別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】	73
図表 2-135 地域区分別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】	73
図表 2-136 役場(本庁)までの距離別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】	73
図表 2-137 集落の人口規模別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】	74
図表 2-138 集落の世帯数規模別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】	74
図表 2-139 65歳以上人口割合別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】	75
図表 2-140 転入者の有無別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】	75
図表 2-141 地形的末端性別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】	75
図表 2-142 サポート人材の活動状況別 集落数【全体】	76
図表 2-143 地域指定別 サポート人材の活動状況別 集落数【全体】	76
図表 2-144 地方ブロック別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】	77
図表 2-145 集落類型別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】	77
図表 2-146 地域区分別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】	78
図表 2-147 役場(本庁)までの距離別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】	78
図表 2-148 集落の人口規模別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】	79
図表 2-149 集落の世帯数規模別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】	79
図表 2-150 65歳以上人口割合別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】	80
図表 2-151 転入者の有無別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】	80
図表 2-152 資源管理機能の維持状況別 集落数【全体】	81
図表 2-153 地域指定別・資源管理機能の維持状況別 集落数【全体】	81
図表 2-154 地方ブロック別・資源管理機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	81
図表 2-155 集落類型別・資源管理機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	82
図表 2-156 地域区分別・資源管理機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	82
図表 2-157 集落の人口規模別・資源管理機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	83
図表 2-158 集落の世帯数規模別・資源管理機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	83
図表 2-159 65歳以上人口割合別・資源管理機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	84
図表 2-160 転入者の有無別・資源管理機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	84
図表 2-161 生産補完機能の維持状況別 集落数【全体】	85
図表 2-162 地域指定別・生産補完機能の維持状況別 集落数【全体】	85
図表 2-163 地方ブロック別・生産補完機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	85

図表タイトル	頁
図表 2-164 集落類型別・生産補完機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	86
図表 2-165 地域区分別・生産補完機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	86
図表 2-166 集落の人口規模別・生産補完機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	87
図表 2-167 集落の世帯数規模別・生産補完機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	87
図表 2-168 65歳以上人口割合別・生産補完機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	88
図表 2-169 転入者の有無別・生産補完機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	88
図表 2-170 生活扶助機能の維持状況別 集落数【全体】	89
図表 2-171 地域指定別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【全体】	89
図表 2-172 地方ブロック別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	89
図表 2-173 集落類型別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	90
図表 2-174 地域区分別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	90
図表 2-175 集落の人口規模別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	91
図表 2-176 集落の世帯数規模別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	91
図表 2-177 65歳以上人口割合別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	92
図表 2-178 転入者の有無別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	92
図表 2-179 集落機能の維持状況別 集落数【全体】	93
図表 2-180 地域指定別・集落機能の維持状況別 集落数【全体】	93
図表 2-181 地方ブロック別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	93
図表 2-182 集落類型別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	94
図表 2-183 地域区分別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	94
図表 2-184 集落の人口規模別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	95
図表 2-185 集落の世帯数規模別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	95
図表 2-186 65歳以上人口割合別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	96
図表 2-187 転入者の有無別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	96
図表 2-188 集落機能の維持状況別にみた集落特性【全体】	97
図表 2-189 集落機能の維持状況別にみた集落特性【過疎地域のみ】	98
図表 2-190 地域運営組織の有無別 集落数【全体】	99
図表 2-191 地域指定別・地域運営組織の有無別 集落数【全体】	99
図表 2-192 地方ブロック別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】	99
図表 2-193 集落類型別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】	100
図表 2-194 地域区分別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】	100
図表 2-195 集落の人口規模別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】	100
図表 2-196 集落の世帯数規模別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】	101
図表 2-197 65歳以上人口割合別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】	101
図表 2-198 転入者の有無別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】	102
図表 2-199 サポート人材の活動状況別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】	102
図表 2-200 今後の人口動向の見通し別 集落数【全体】	103
図表 2-201 地域指定別・今後の人口動向の見通し別 集落数【全体】	103
図表 2-202 地方ブロック別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	103
図表 2-203 集落類型別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	104
図表 2-204 地域区分別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	104
図表 2-205 地形的末端性別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	104
図表 2-206 集落の人口規模別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	105
図表 2-207 集落の世帯数規模別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	105
図表 2-208 65歳以上人口割合別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	106
図表 2-209 転入者の有無別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	106
図表 2-210 集落の消滅可能性別 集落数【全体】	107
図表 2-211 地域指定別・集落の消滅可能性別 集落数【全体】	107
図表 2-212 地方ブロック別・集落の消滅可能性別 集落数【過疎地域のみ】	107
図表 2-213 集落類型別・集落の消滅可能性別 集落数【過疎地域のみ】	108
図表 2-214 地域区分別・集落の消滅可能性別 集落数【過疎地域のみ】	108
図表 2-215 地形的末端性別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	108
図表 2-216 集落の人口規模別・集落の消滅可能性別 集落数【過疎地域のみ】	109
図表 2-217 集落の世帯数規模別・集落の消滅可能性別 集落数【過疎地域のみ】	109
図表 2-218 65歳以上人口割合別・集落の消滅可能性別 集落数【過疎地域のみ】	110
図表 2-219 転入者の有無別・集落の消滅可能性別 集落数【過疎地域のみ】	110
図表 2-220 サポート人材の活動状況別・集落の消滅可能性別 集落数【過疎地域のみ】	110

図表タイトル	頁
図表 2-221 今後の消滅可能性別にみた集落特性【全体】	111
図表 2-222 今後の消滅可能性別にみた集落特性【過疎地域のみ】	112
図表 2-223 集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【全体】	113
図表 2-224 地域指定別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【全体】	113
図表 2-225 地方ブロック別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	113
図表 2-226 集落類型別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	114
図表 2-227 地域区分別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	114
図表 2-228 集落の人口規模別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	115
図表 2-229 集落の世帯数規模別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	115
図表 2-230 65歳以上人口割合別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	116
図表 2-231 転入者の有無別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	116
図表 2-232 地域指定別・最寄りの行政窓口、病院、商店までの所要時間別 集落数【全体】	117
図表 2-233 地方ブロック別・最寄りの行政窓口、病院、商店までの所要時間別 集落数【過疎地域のみ】	117
図表 2-234 集落類型別・最寄りの行政窓口、病院、商店までの所要時間別 集落数【過疎地域のみ】	118
図表 2-235 地域区分別・最寄りの行政窓口、病院、商店までの所要時間別 集落数【過疎地域のみ】	118
図表 2-236 地形的末端性別・最寄りの行政窓口、病院、商店までの所要時間別 集落数【消滅が危惧される集落】	118
図表 2-237 集落の人口規模別・最寄りの行政窓口、病院、商店までの所要時間別 集落数【過疎地域のみ】	119
図表 2-238 集落の世帯数規模別・最寄りの行政窓口、病院、商店までの所要時間別 集落数【過疎地域のみ】	119
図表 2-239 65歳以上人口割合別・最寄りの行政窓口、病院、商店までの所要時間別 集落数【過疎地域のみ】	120
図表 2-240 転入者の有無別・最寄りの行政窓口、病院、商店までの所要時間別 集落数【過疎地域のみ】	120
図表 2-241 地域指定別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【全体】	121
図表 2-242 地方ブロック別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【過疎地域のみ】	121
図表 2-243 集落類型別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【過疎地域のみ】	122
図表 2-244 地域区分別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【過疎地域のみ】	122
図表 2-245 地形的末端性別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【消滅が危惧される集落】	122
図表 2-246 集落の人口規模別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【過疎地域のみ】	123
図表 2-247 集落の世帯数規模別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【過疎地域のみ】	123
図表 2-248 65歳以上人口割合別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【過疎地域のみ】	124
図表 2-249 転入者の有無別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【過疎地域のみ】	124
図表 2-250 地域指定別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【全体】	125
図表 2-251 地方ブロック別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】	125
図表 2-252 集落類型別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】	126
図表 2-253 地域区分別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】	126
図表 2-254 地形的末端性別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】	126
図表 2-255 集落の人口規模別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】	127
図表 2-256 集落の世帯数規模別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】	127
図表 2-257 65歳以上人口割合別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】	128
図表 2-258 転入者の有無別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】	128
<b>2-4. 前回調査との比較による集落の経年変化</b>	
図表 2-259 地域指定別 前回調査対象地域における集落数の推移【全体・前回調査対象地域】	129
図表 2-260 地方ブロック別 前回調査対象地域における集落の推移【前回調査時の過疎地域のみ】	129
図表 2-261 地域指定別 前回調査対象地域の集落人口及び集落あたり平均人口の推移【全体・前回調査対象地域】	130
図表 2-262 地方ブロック別 前回調査対象地域の集落人口及び集落あたり平均人口の推移【前回調査の過疎地域のみ】	130
図表 2-263 地域指定別 前回調査対象地域の集落世帯数及び集落あたり平均世帯数の推移【全体・前回調査対象地域】	131
図表 2-264 地方ブロック別 前回調査対象地域の集落世帯数及び集落あたり平均世帯数の推移【前回調査の過疎地域のみ】	131
図表 2-265 前回調査対象地域における集落の人口規模別 集落数【全体・前回調査対象地域】	132
図表 2-266 前回調査対象地域における地域区分別・集落の人口規模別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	132
図表 2-267 <参考:前回調査>地域区分別・集落の人口規模別 集落数【過疎地域等】	132
図表 2-268 前回調査対象地域における地方ブロック別・集落の人口規模別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	133
図表 2-269 <参考:前回調査>地方ブロック別・集落の人口規模別 集落数【過疎地域等】	133
図表 2-270 前回調査対象地域における集落の世帯規模別 集落数【全体・前回調査対象地域】	134
図表 2-271 前回調査対象地域における地域区分別・集落の世帯数規模別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	134
図表 2-272 <参考:前回調査>地域区分別・集落の世帯数規模別 集落数【過疎地域等】	134
図表 2-273 前回調査対象地域における地方ブロック別・集落の世帯数規模別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	135
図表 2-274 <参考:前回調査>地方ブロック別・集落の世帯数規模別 集落数【過疎地域等】	135
図表 2-275 前回調査対象地域における人口増減率(R01/H27)別 集落数【全体・前回調査対象地域】	136
図表 2-276 前回調査対象地域における地方ブロック別・人口増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	136

図表タイトル	頁
図表 2-277 前回調査対象地域における集落類型別・人口増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	137
図表 2-278 前回調査対象地域における地域区分別・人口増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	137
図表 2-279 前回調査対象地域における役場(本庁)までの距離別・人口増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	137
図表 2-280 前回調査対象地域における地形的末端性別・人口増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	138
図表 2-281 前回調査対象地域における65歳以上人口割合別・人口増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	138
図表 2-282 前回調査対象地域における世帯増減率(R01/H27)別 集落数【全体・前回調査対象地域】	139
図表 2-283 前回調査対象地域における地方ブロック別・世帯増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	139
図表 2-284 前回調査対象地域における集落類型別・世帯増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	140
図表 2-285 前回調査対象地域における地域区分別・世帯増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	140
図表 2-286 前回調査対象地域における役場(本庁)までの距離別・世帯増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	140
図表 2-287 前回調査対象地域における地形的末端性別・世帯増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	141
図表 2-288 前回調査対象地域における高齢者割合別・世帯増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	141
図表 2-289 前回調査対象地域における高齢者割合別 集落数【全体・前回調査対象地域】	142
図表 2-290 前回調査対象地域における地方ブロック別・高齢者割合別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	142
図表 2-291 前回調査対象地域における地域区分別・高齢者割合別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	143
図表 2-292 前回調査対象地域における役場(本庁)からの距離別・高齢者割合別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	143
図表 2-293 前回調査対象地域における集落機能の維持状況別 集落数【全体・前回調査対象地域】	144
図表 2-294 前回調査対象地域における地域区分別・集落機能の維持状況別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	144
図表 2-295 <参考:前回調査>地域区分別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域等】	144
図表 2-296 前回調査対象地域における地方ブロック別・集落機能の維持状況別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	145
図表 2-297 <参考:前回調査>地方ブロック別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域等】	145
図表 2-298 前回調査対象地域における今後の人口動向の見通し別 集落数【全体・前回調査対象地域】	146
図表 2-299 前回調査対象地域における地域区分別・今後の人口動向の見通し別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	146
図表 2-300 <参考:前回調査>地域区分別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域等】	146
図表 2-301 前回調査対象地域における地方ブロック別・今後の人口動向の見通し別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	147
図表 2-302 <参考:前回調査>地方ブロック別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域等】	147
図表 2-303 前回調査対象地域における集落の消滅可能性別 集落数【全体・前回調査対象地域】	148
図表 2-304 前回調査対象地域における地域区分別・集落の消滅可能性別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	148
図表 2-305 <参考:前回調査>地域区分別・集落の消滅可能性別 集落数【過疎地域等】	148
図表 2-306 前回調査対象地域における地方ブロック別・集落の消滅可能性別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	149
図表 2-307 <参考:前回調査>地方ブロック別・集落の消滅可能性別 集落数【過疎地域等】	149
図表 2-308 前回調査対象地域における集落の消滅可能性の予測の変化別 集落数【全体・前回調査対象地域】	150
図表 2-309 前回調査対象地域における地方ブロック別・集落の消滅可能性の予測の変化別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	150
図表 2-310 前回調査対象地域における地域区分別・集落の消滅可能性の予測の変化別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	151
図表 2-311 前回調査時に「10年以内に消滅」と予測されていた集落の変遷【全体・前回調査対象地域】	152
図表 2-312 地方ブロック別・前回調査時に「10年以内に消滅」と予測されていた集落の変遷【前回調査の過疎地域のみ】	152
図表 2-313 前回調査時の消滅可能性の予測別・人口増減率(R01/H27)別 集落数【全体・前回調査対象地域】	153
図表 2-314 前回調査時の消滅可能性の予測別・人口増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	153
図表 2-315 前回調査時の消滅可能性の予測別・世帯増減率(R01/H27)別 集落数【全体・前回調査対象地域】	154
図表 2-316 前回調査時の消滅可能性の予測別・世帯増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	154
図表 2-317 前回調査対象地域における前回調査時の消滅可能性の予測別にみた集落特性【全体・前回調査対象地域】	155
図表 2-318 前回調査対象地域における前回調査時の消滅可能性の予測別にみた集落特性【前回調査の過疎地域のみ】	156
図表 2-319 前回調査時×今回調査時のサポート人材の活動状況別 集落数【全体・前回調査対象地域】	157
図表 2-320 前回調査時×今回調査時のサポート人材の活動状況別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	157
図表 2-321 前回調査時のサポート人材の活動状況別・地域運営組織の有無別 集落数【全体・前回調査対象地域】	158
図表 2-322 前回調査時のサポート人材の活動状況別・地域運営組織の有無別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	158
<b>2-5. その他</b>	
図表 2-323 集落が消滅した市町村数及び過疎区分別 消滅集落数【全体】	159
図表 2-324 地域指定別・過疎区分別 消滅集落数【全体】	159
図表 2-325 地方ブロック別・集落が消滅した市町村数及び過疎区分別消滅集落数【過疎地域のみ】	159
図表 2-326 前回調査時の消滅可能性の予測別にみた消滅集落の主要特性【過疎地域のみ】	160
図表 2-327 消滅理由別 消滅集落数【全体】	161
図表 2-328 地方ブロック別・消滅理由別 消滅集落数【過疎地域のみ】	161
図表 2-329 前回調査時の消滅可能性の予測別・消滅理由別 消滅集落数【過疎地域のみ】	161
図表 2-330 集落類型別・消滅理由別 消滅集落数【過疎地域のみ】	162
図表 2-331 地域区分別・消滅理由別 消滅集落数【過疎地域のみ】	162
図表 2-332 消滅集落住民の転居先別 消滅集落数【全体】	163

図表タイトル	頁
図表 2-333 地方ブロック別・消滅集落住民の転居先別 消滅集落数【過疎地域のみ】	163
図表 2-334 前回調査時の消滅可能性の予測別・消滅集落住民の転居先別 消滅集落数【過疎地域のみ】	164
図表 2-335 集落類型別・消滅集落住民の転居先別 消滅集落数【過疎地域のみ】	164
図表 2-336 地域区分別・消滅集落住民の転居先別 消滅集落数【過疎地域のみ】	164
図表 2-337 消滅時期別 消滅集落数【全体】	165
図表 2-338 地方ブロック別・消滅時期別 消滅集落数【過疎地域のみ】	165
図表 2-339 地域資源別・消滅集落の管理状況別 消滅集落数【全体】	166
図表 2-340 地域資源別・消滅集落の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】	166
図表 2-341 地方ブロック別・消滅集落の森林・林地の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】	167
図表 2-342 前回調査時の消滅可能性の予測別・消滅集落の森林・林地の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】	167
図表 2-343 地方ブロック別・消滅集落の農地・田畑の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】	168
図表 2-344 前回調査時の消滅可能性の予測別・消滅集落の農地・田畑の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】	168
図表 2-345 地方ブロック別・消滅集落の集会所・小学校等の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】	169
図表 2-346 前回調査時の消滅可能性の予測別・消滅集落の集会所・小学校等の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】	169
図表 2-347 地方ブロック別・消滅集落の住宅の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】	170
図表 2-348 前回調査時の消滅可能性の予測別・消滅集落の住宅の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】	170
図表 2-349 地方ブロック別・消滅集落の集落道路・農道等の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】	171
図表 2-350 前回調査時の消滅可能性の予測別・消滅集落の集落道路・農道等の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】	171
図表 2-351 地方ブロック別・消滅集落の用排水路等の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】	172
図表 2-352 前回調査時の消滅可能性の予測別・消滅集落の用排水路等の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】	172
図表 2-353 地方ブロック別・消滅集落の神社・仏閣等の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】	173
図表 2-354 前回調査時の消滅可能性の予測別・消滅集落の神社・仏閣等の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】	173
図表 2-355 地方ブロック別・消滅集落の河川・湖沼・ため池等の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】	174
図表 2-356 前回調査時の消滅可能性の予測別・消滅集落の河川・湖沼・ため池等の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】	174
図表 2-357 地方ブロック別・消滅集落の伝統的祭事・伝統芸能等の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】	175
図表 2-358 前回調査時の消滅可能性の予測別・消滅集落の伝統的祭事・伝統芸能等の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】	175
図表 2-359 消滅集落跡地の資源管理の状況別 消滅集落数【全体】	176
図表 2-360 地方ブロック別・消滅集落跡地の資源管理の状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】	176

### 第3章 集落対策等に関する調査

※下表のページ番号の表記は章番号(3-)を省略している。

図表タイトル	頁
<b>3-2. 調査の方法</b>	
図表 3-1 過疎地域等における集落対策等に関するアンケート調査 調査項目	1
<b>3-3. 調査結果(市町村)</b>	
図表 3-2 多くの集落で発生している問題や現象(複数回答)	3
図表 3-3 地域指定別 多くの集落で発生している問題や現象(複数回答)	4
図表 3-4 多くの集落で発生している問題・現象の分野別回答割合(%)	5
図表 3-5 多くの集落で発生している問題・現象の分野別回答割合(従来の分類)	5
図表 3-6 多くの集落で発生している問題・現象の分野別回答割合の経年比較(新たな分類による再集計)	5
図表 3-7 多くの集落で発生している問題・現象のうち特に深刻な問題となっているもの(3つまで回答)	6
図表 3-8 地域指定別 多くの集落で発生している問題・現象のうち、特に深刻な問題となっているもの(3つまで回答)	7
図表 3-9 多くの集落で発生している問題・現象のうち、特に深刻な問題・現象の分野別回答割合	7
図表 3-10 集落対策の実施体制	8
図表 3-11 集落対策に係る専任職員の平均配置人数	8
図表 3-12 集落対策に係る専任職員を置いていない市町村における集落対策の実施体制(記述回答より整理)	8
図表 3-13 集落支援員制度の活用状況	9
図表 3-14 集落支援員の活動内容(記述回答より整理)	9
図表 3-15 集落支援員の活動内容(記述回答より整理)	10
図表 3-16 集落支援員制度の導入にあたっての課題	10
図表 3-17 集落支援員制度に対する要望等(記述回答より整理)	11
図表 3-18 地域担当職員制度の実施状況	11
図表 3-19 地域担当職員の平均配置人数	12
図表 3-20 外部サポート人材(地域おこし協力隊等)の活用状況	12
図表 3-21 外部サポート人材(地域おこし協力隊等)に期待する活動	13
図表 3-22 集落調査の実施状況	14
図表 3-23 集落の実態を把握するために実施している調査の概要	15
図表 3-24 集落の維持・保全に向けた行政施策の対象	16
図表 3-25 集落の維持・保全に向けた行政施策の対策分野	16
図表 3-26 集落の維持・保全に向けた行政施策事例の内容(記述回答より整理)	17
図表 3-27 NPO 等による集落機能の維持・保全に係る取組事例	18
図表 3-28 NPO 等による集落活性化事例の内容(記述回答より整理)	18
図表 3-29 無居住化する恐れがある集落に対する住民の生活の質(QOL)維持に向けた取組の実施状況	19
図表 3-30 事業対象別でみた住民の生活の質(QOL)維持に向けた取組の内容	19
図表 3-31 ①無居住化する恐れがある集落の住民に対する生活維持対策事業	20
図表 3-32 ②全ての集落住民を対象とした生活維持対策事業	20
図表 3-33 無居住化する恐れがある集落の保全活動の実施状況	21
図表 3-34 無居住化する恐れがある集落に対する保全活動の内容	21
図表 3-35 今後の集落機能の維持・再編成の見通し	22
図表 3-36 集落移転事業の実施状況	23
図表 3-37 集落ネットワーク圏の設定状況	23
図表 3-38 形成されている(形成を予定している)集落ネットワーク圏のエリア	24
図表 3-39 集落ネットワーク圏の取組事例の概要	24
図表 3-40 集落ネットワーク圏の取組に対する課題	25
図表 3-41 集落ネットワーク圏の取組に対する課題解決のために国等に求めること(記述回答より整理)	25
図表 3-42 集落の維持・活性化に向け国に期待する役割	26
<b>3-4. 調査結果(都道府県)</b>	
図表 3-43 都道府県における集落対策の実施体制	27
図表 3-44 都道府県における集落対策に係る専任職員の所属と活動内容	27
図表 3-45 都道府県における集落対策の兼務状況(記述回答より整理)	28
図表 3-46 都道府県における集落支援員制度の活用状況	28
図表 3-47 都道府県として実施した集落支援員制度の活用内容(記述回答より整理)	29
図表 3-48 集落支援員制度の課題や国への要望等(記述回答より整理)	29
図表 3-49 都道府県における外部サポート人材の活用状況	30
図表 3-50 都道府県が外部サポート人材に期待する活動内容	30
図表 3-51 都道府県による集落の現状把握調査の実施状況	31
図表 3-52 都道府県が集落に対して直接支援している対策分野	31

図表タイトル	頁
図表 3-53 都道府県が集落に対して直接実施している対策の内容(記述回答より整理)	31
図表 3-54 都道府県が市町村に補助を行っている施策	32
図表 3-55 都道府県が市町村に補助を行っている施策の内容(記述回答より整理)	32
図表 3-56 都道府県が NPO や住民団体を通じて支援している施策	32
図表 3-57 都道府県が NPO や住民団体を通じて支援している施策の内容(記述回答より整理)	33
図表 3-58 集落地域の維持・活性化に向けた都道府県の役割や施策(記述回答より整理)	33
図表 3-59 都道府県が国に期待する集落対策	33

# 第1章 調査の概要

## 第1章 調査の概要

### 1-1. 調査の趣旨

総務省と国土交通省では、これまで平成18年度、平成22年度及び平成27年度に合同で「過疎地域等における集落の状況に関する現況把握調査」を実施し、過疎地域等の集落を取り巻く実態を把握してきた。前回調査によると、過疎地域等の条件不利地域においては、人口減少や少子・高齢化の進展により小規模の集落や高齢者割合の高い集落が増える傾向にあり、約5%の集落が今後10年以内又はいずれかの時期に無居住化する可能性があるとして認識されていることが明らかとなっている。前回調査の実施から約4年が経過し、過疎地域等の集落を取り巻く環境や集落対策の方向性にも変化がみられると予想されることから、地域社会を構成する最も基礎的な日常生活圏域である集落が今現在どのような状況にあり、またそうした集落地域を取り巻く環境や人々の動きにどのような変化や傾向がみられるのか、最新の状況を的確に捉えることが不可欠である。

一方、過疎問題懇談会が平成31年4月にとりまとめた「新たな過疎対策に向けて～持続可能な低密度地域社会の実現～(中間的整理)」(以下「中間的整理」という。)では、「高齢者が多い過疎地域において、いわゆる自然減による人口減少はある程度見込まざるを得ない。また、すべての集落を現在と同様に維持していくことは、全国的な人口減少に伴う制約を考えれば課題が多いと言わざるを得ない。このような中で、いかに住民の安心・安全を確保し、人々が地域で支えあう「持続可能な地域社会」を構築していくべきかが、重要な課題となる。」と指摘されている。

このため、本調査は、過疎地域をはじめとする条件不利地域を対象として集落の現況を総合的に把握し、前回調査で把握された集落の状況との比較や地域指定別の分析を行うとともに、将来的に消滅が危惧されている集落において集落住民の生活の質(QOL)の維持に向けた課題等を把握し、持続可能な過疎地域等の集落対策のあり方や今後の施策の方向性の検討に資することを目的として実施したものである。

## 1-2. 本調査の対象と用語等について

### (1) 本調査における対象市町村

本調査は、前回調査における各集落の現状についてフォローアップするとともに、過疎地域のみならず条件不利地域における集落の全国的な実態を明らかにすることを目的としている。

このため、平成31(2019)年4月1日現在の「過疎地域自立促進特別措置法」(以下「自立促進法」という。)に基づく過疎地域市町村のほか、前回調査時にも対象に含まれていた「過疎地域活性化特別措置法」(以下「活性化法」という。)に基づく過疎地域を有する市町村、及び以下の関係各法により指定される地域を有する全市町村を対象とした。

図表1-1 調査対象市町村の種類

地域指定	調査対象市町村		集落実態調査の対象区域 <sup>※1</sup>
過疎地域等	自立促進法に基づく過疎地域市町村	過疎地域市町村(2条1項)	市町村全域
		過疎地域とみなされる市町村(33条1項)	
	活性化法に基づく過疎地域を有する市町村	過疎地域とみなされる区域+活性化法で過疎地域とされていた区域	
振興山村	山村振興法に基づく <b>振興山村</b> を有する市町村		それぞれの地域に指定されている区域 全域指定=市町村全域 一部指定=当該指定区域
離島振興対策実施地域	離島振興法に基づく <b>離島振興対策実施地域</b> を有する市町村		
半島振興対策実施地域	半島振興法に基づく <b>半島振興対策実施地域</b> を有する市町村		
特別豪雪地帯	豪雪地帯対策特別措置法に基づく <b>特別豪雪地帯</b> を有する市町村		

※1 「区域」とは平成12年4月1日現在の市町村の範囲をいう。

図表1-2 集落実態調査の対象区域

市町村の過疎指定状況	区域 <sup>※1</sup> 単位の過疎指定状況	集落実態調査の対象区域	
		他の4法による地域指定区域あり	他の4法による地域指定区域なし
過疎	(過疎)	全域	全域
みなし過疎	(みなし過疎)	全域	全域
一部過疎	過疎区域	全域	全域
	非過疎区域	活性化法における過疎区域 他の地域指定区域	活性化法における過疎区域
非過疎	(非過疎)	活性化法における過疎区域 他の地域指定区域	(調査対象外)

※1 「区域」とは平成12年4月1日現在の市町村の範囲をいう。

調査対象市町村は 1,045 市町村※であり、このうち 814 市町村は過疎地域市町村、236 市町村は非過疎地域市町村である。

本調査では、前回調査同様、過疎地域以外の地域振興関連 4 法の指定地域も対象としたが、全対象市町村のうち過疎地域のみ指定されており、他の 4 法の指定は受けていない市町村は 127 市町村（12.2%）であり、67.5%にあたる 705 市町村は、過疎地域に加えこれら 4 法の指定地域のいずれかの指定を受けている。このうち、過疎地域との重複率が最も高いのは振興山村であり、全過疎地域市町村の 7 割（567 市町村）が振興山村を有している。

※東日本大震災に伴う原発事故被災地のうち、平成 27 年 4 月 30 日現在、全域が避難指示区域にあり、集落実態調査の実施が困難と思われたため前回調査で対象外とした 5 町村（うち 2 町村が過疎地域市町村）は、今回調査でも対象外とした。

図表 1-3 調査対象市町村数

	調査対象市町村 合計	過疎地域				非過疎地域		
		過疎	みなし 過疎	一部 過疎	計	旧過疎	非過疎	計
調査対象 現市町村数	1,045 (100.0%)	644	25	145	814 (100.0%)	18	213	231 (100.0%)
過疎※ <sup>1</sup> のみ、他の地域指定なし	127 (12.2%)	115	1	11	127 (15.6%)	-	-	0 (0.0%)
過疎※ <sup>1</sup> +他の地域指定	705 (67.5%)	529	24	134	687 (84.4%)	18	-	18 (7.8%)
振興山村	582 (55.7%)	427	23	117	567 (69.7%)	15	-	15 (6.5%)
離島	77 (7.4%)	54	0	23	77 (9.5%)	0	-	0 (0.0%)
半島	149 (14.3%)	120	4	20	144 (17.7%)	5	-	5 (2.2%)
特別豪雪	173 (16.6%)	146	9	18	173 (21.3%)	0	-	0 (0.0%)
他の地域指定のみ	213 (20.4%)	-	-	-	-	-	213	213 (92.2%)
振興山村	147 (14.1%)	-	-	-	-	-	147	147 (63.6%)
離島	34 (3.3%)	-	-	-	-	-	34	34 (14.7%)
半島	45 (4.3%)	-	-	-	-	-	45	45 (19.5%)
特別豪雪	28 (2.7%)	-	-	-	-	-	28	28 (12.1%)

※1 表側の「過疎」には現在過疎地域に指定されている市町村のほか、旧過疎市町村（活性化法まで過疎地域に指定されていた市町村）を含む。

※2 東日本大震災に伴う原発事故被災地のうち、前回調査時点で全域が避難指示区域にあった 5 町村は今回も調査対象外とした。

※3 活性化法では過疎地域に指定されていたが現在は非過疎であり、他にいずれの地域指定も受けていない 5 市町村は調査対象外とした。

図表 1-4 調査対象区域(旧市町村)数

	調査対象市町村 合計	過疎地域				非過疎地域				
		過疎	みなし 過疎	一部 過疎	計	一部過疎の 非過疎区域		非過疎市町村		計
						旧過疎・ 前過疎	非過疎	旧過疎・ 前過疎	非過疎	
調査対象 区域(旧市町村)数	1,988 (100.0%)	1,122	116	283	1,521 (100.0%)	40	131	18	278	467 (100.0%)
過疎※ <sup>1</sup> のみ、他の地域指定なし	355 (17.9%)	228	39	63	330 (21.7%)	22	-	3	-	25 (5.4%)
過疎※ <sup>1</sup> +他の地域指定	1,224 (61.6%)	894	77	220	1,191 (78.3%)	18	-	15	-	33 (7.1%)
振興山村	917 (46.1%)	663	64	165	892 (58.6%)	13	-	12	-	25 (5.4%)
離島	122 (6.1%)	100	0	20	120 (7.9%)	2	-	0	-	2 (0.4%)
半島	278 (14.0%)	223	18	32	273 (17.9%)	0	-	5	-	5 (1.1%)
特別豪雪	239 (12.0%)	182	19	34	235 (15.5%)	4	-	0	-	4 (0.9%)
他の地域指定のみ	409 (20.6%)	-	-	-	-	-	131	-	278	409 (87.6%)
振興山村	271 (13.6%)	-	-	-	-	-	90	-	181	271 (58.0%)
離島	54 (2.7%)	-	-	-	-	-	19	-	35	54 (11.6%)
半島	101 (5.1%)	-	-	-	-	-	30	-	71	101 (21.6%)
特別豪雪	41 (2.1%)	-	-	-	-	-	10	-	31	41 (8.8%)

※1 表側の「過疎」には現在過疎地域に指定されている市町村のほか、旧過疎市町村（活性化法まで過疎地域に指定されていた市町村）を含む。

※2 東日本大震災に伴う原発事故被災地のうち、前回調査時点で全域が避難指示区域にあった 5 町村は今回も調査対象外とした。

※3 甲府市と富士河口湖町に分村合併した旧上九一色村はそれぞれ 1 区域として集計した。

(2)本調査で用いた用語

本調査で用いた各用語の定義は以下のとおりである。

用語	定義
集 落	本調査での「集落」とは、一定の土地に数戸以上の社会的まとまりが形成された、住民生活の基本的な地域単位であり、市町村行政において扱う行政区の基本単位とする。(農業センサスにおける農業集落とは異なる。)
基礎集落	「基礎集落」とは、地域社会を構成する最も基礎的かつ原単位的な集落のことを指す。 概ね世帯数が少なく、中心集落までの距離が大きい集落が多い傾向がある。
基幹集落	「基幹集落」とは、基礎集落の分布の中にあつて、住民の日常生活上、集落間の要となつて存在している集落を指す。 主として谷筋の分岐点やその他交通上の要所となるような地域に分布する傾向がある。
中心集落	「中心集落」とは、地域の中心的な集落であり、基礎・基幹集落の上位に位置づけられ、古くから地域の要所となつていた集落であり、役場等の行政機能、事業所等の集積が見られる集落を指す。
地形的末端集落	立地条件から見て地形的に行き止まりの集落を便宜上「地形的末端集落」と定義する。
地域区分	本調査では、各集落を農業地域類型に基づき、以下の4つの地域区分に分類する。
山間地	山間農業地域。林野率が80%以上の集落。
中間地	中間農業地域。山間地と平地の中間にある集落。
平地	平地農業地域。林野率が50%未満でかつ耕地率20%以上の集落。
都市的地域	都市的地域。DID面積のある集落。
集落機能	本調査では、象徴的な集落機能として、以下の3つの機能に整理する。
資源管理機能	水田や山林などの地域資源の維持保全に係る集落機能を指す。
生産補完機能	農林水産業等の生産に際しての草刈、道普請などの相互扶助機能を指す。
生活扶助機能	冠婚葬祭など日常生活における相互扶助機能を指す。
集落機能の維持・再編成	「集落機能の維持・再編成」とは、近隣の集落との統合・合併や全域的な行政区の変更、小学校区単位などでの新たな広域的組織の設立、中心集落への周辺基礎集落の移転など、複数の集落が集落機能の維持のために集落活動を行う枠組み(範囲)を再編成することを指す。
行政的再編	特に近隣の集落同士の統合・合併や中心集落への基礎集落の吸収、全域的な行政区の見直し・変更など、市町村行政において扱う行政区の区域を再編する場合を指す。
機能的再編	特に近小学校区単位などで複数集落が新たな広域的組織を形成し、集落機能の分担を図ったり、複数集落で自治会を統合するなど、機能面での再編成を図る場合を指す。
空間的移転	特にダム建設等の公共工事による集団移転など、集落が空間的に移転した場合を指す。
消滅(無居住化)集落	本調査で「消滅集落」とは、当該集落内が実態として無人化し、通年での居住者が存在せず、市町村行政においても、通常の行政サービスの提供を行う区域として取り扱わなくなった集落を指す。なお、一部の集落では、財産管理上、住所は残しているケースもあるが、実態として当該集落内に生活の拠点を持っている住民がいない場合は、「消滅集落」とみなすものとする。 また、集団移転による消滅、住民の自発的な転居等による自然消滅のいずれも含むが、空間的な移転を伴わず集落機能の維持・再編成が行われた結果、旧来の集落名はなくなったものの実体として当該地域に居住者が存在する場合は、「消滅集落」とはみなさない。

また、第2章以降の分析においては、各地域指定について以下のように略称する。

略 称	定 義
過疎地域	自立促進法に規定する以下の区域全体
過疎区域	自立促進法第2条第1項に規定する市町村の区域
みなし過疎区域	自立促進法第33条第1項の規定により過疎地域とみなされる市町村の区域
一部過疎区域	自立促進法第33条第2項の規定により過疎地域とみなされる区域
過疎地域市町村	自立促進法に規定する過疎地域を有する市町村
過疎市町村	自立促進法第2条第1項に規定する市町村
みなし過疎市町村	自立促進法第33条第1項の規定により過疎地域とみなされる市町村
一部過疎市町村	自立促進法第33条第2項の規定により過疎地域とみなされる区域を有する市町村
非過疎地域市町村	本調査の対象市町村のうち、過疎地域市町村以外の市町村
非過疎地域	本調査の対象区域のうち過疎地域以外の区域全体であり、以下の合計 (1)一部過疎市町村の非過疎区域(旧法における過疎区域を含む) (2)非過疎地域市町村における調査対象区域(旧法における過疎区域又は他の4法による指定区域)
振興山村	山村振興法に基づく振興山村に指定されている区域
離島地域	離島振興法に基づく離島振興対策実施地域に指定されている区域
半島地域	半島振興法に基づく半島振興対策実施地域に指定されている区域
特別豪雪地帯	豪雪地帯対策特別措置法に基づく特別豪雪地帯に指定されている区域

### (3)集計に用いた地方ブロックについて

本調査は総務省地域力創造グループ過疎対策室と国土交通省国土計画局総合計画課の合同調査であり、国土交通省が平成 27 年度に実施した前回調査の追跡調査も兼ねて、集落の現況データの収集及び市町村・都道府県へのアンケート調査を行った。

ただし、総務省と国土交通省との間で地方ブロックを構成する都道府県の考え方が異なるため、本調査においては、平成 18 年度、平成 22 年度及び平成 27 年度調査の流れを踏まえ、国土形成計画における広域地方計画区域に基づき地方ブロック別集計を行うとともに、平成 27 年度調査時点との比較・分析等を行った。

図表1-5 本調査で用いた地方ブロック

都道府県	地方ブロック			
	「過疎対策の現況」 における区分	「国土統計要覧」に おける区分	「国土統計要覧」に おける区分	本調査における 区分
1 北海道	1 北海道	1 北海道	1 北海道	1 北海道
2 青森県	2 東北	2 東北	2 東北	2 東北圏
3 岩手県	2 東北	2 東北	2 東北	2 東北圏
4 宮城県	2 東北	2 東北	2 東北	2 東北圏
5 秋田県	2 東北	2 東北	2 東北	2 東北圏
6 山形県	2 東北	2 東北	2 東北	2 東北圏
7 福島県	2 東北	2 東北	2 東北	2 東北圏
8 茨城県	3 関東	3 関東	3 関東	3 首都圏
9 栃木県	3 関東	3 関東	3 関東	3 首都圏
10 群馬県	3 関東	3 関東	3 関東	3 首都圏
11 埼玉県	3 関東	3 関東	3 関東	3 首都圏
12 千葉県	3 関東	3 関東	3 関東	3 首都圏
13 東京都	3 関東	3 関東	3 関東	3 首都圏
14 神奈川県	3 関東	3 関東	3 関東	3 首都圏
15 新潟県	2 東北	2 東北	2 東北	2 東北圏
16 富山県	5 北陸	4 中部	4 中部	4 北陸圏
17 石川県	5 北陸	4 中部	4 中部	4 北陸圏
18 福井県	5 北陸	4 中部	4 中部	4 北陸圏
19 山梨県	3 関東	3 関東	3 関東	3 首都圏
20 長野県	3 関東	4 中部	4 中部	5 中部圏
21 岐阜県	4 東海	4 中部	4 中部	5 中部圏
22 静岡県	4 東海	4 中部	4 中部	5 中部圏
23 愛知県	4 東海	4 中部	4 中部	5 中部圏
24 三重県	4 東海	4 中部	4 中部	5 中部圏
25 滋賀県	6 近畿	5 近畿	5 近畿	6 近畿圏
26 京都府	6 近畿	5 近畿	5 近畿	6 近畿圏
27 大阪府	6 近畿	5 近畿	5 近畿	6 近畿圏
28 兵庫県	6 近畿	5 近畿	5 近畿	6 近畿圏
29 奈良県	6 近畿	5 近畿	5 近畿	6 近畿圏
30 和歌山県	6 近畿	5 近畿	5 近畿	6 近畿圏
31 鳥取県	7 中国	6 中国	6 中国	7 中国圏
32 島根県	7 中国	6 中国	6 中国	7 中国圏
33 岡山県	7 中国	6 中国	6 中国	7 中国圏
34 広島県	7 中国	6 中国	6 中国	7 中国圏
35 山口県	7 中国	6 中国	6 中国	7 中国圏
36 徳島県	8 四国	7 四国	7 四国	8 四国圏
37 香川県	8 四国	7 四国	7 四国	8 四国圏
38 愛媛県	8 四国	7 四国	7 四国	8 四国圏
39 高知県	8 四国	7 四国	7 四国	8 四国圏
40 福岡県	9 九州	8 九州	8 九州	9 九州圏
41 佐賀県	9 九州	8 九州	8 九州	9 九州圏
42 長崎県	9 九州	8 九州	8 九州	9 九州圏
43 熊本県	9 九州	8 九州	8 九州	9 九州圏
44 大分県	9 九州	8 九州	8 九州	9 九州圏
45 宮崎県	9 九州	8 九州	8 九州	9 九州圏
46 鹿児島県	9 九州	8 九州	8 九州	9 九州圏
47 沖縄県	10 沖縄	9 沖縄	9 沖縄	10 沖縄圏

## 第2章 集落の現状把握

## 第2章 集落の現状把握

### 2-1. 調査の概要

総務省と国土交通省ではこれまで、過疎地域等の集落の状況を把握するため、平成18年度に「国土形成計画策定のための集落の状況に関する現況把握調査」を、平成22年度及び平成27年度には「過疎地域等における集落の状況に関する現況把握調査」（以下、平成27年度調査を「前回調査」という。）を両省の合同調査として実施してきた。前回調査によると、過疎地域等の条件不利地域においては、人口減少や少子・高齢化の進展により小規模の集落や高齢者割合の高い集落が増える傾向にあり、約5%の集落が今後10年以内又はいずれかの時期に無居住化する可能性があることと認識されていることが明らかとなっている。

一方、過疎問題懇談会が平成31年4月にとりまとめた中間的整理では、「高齢者が多い過疎地域において、いわゆる自然減による人口減少はある程度見込まざるを得ない。また、すべての集落を現在と同様に維持していくことは、全国的な人口減少に伴う制約を考えれば課題が多いと言わざるを得ない。このような中で、いかに住民の安心・安全を確保し、人々が地域で支えあう「持続可能な地域社会」を構築していくべきかが、重要な課題となる。」と指摘されている。

こうしたことを踏まえ、本調査では、過疎地域をはじめとする条件不利地域において、前回調査から4年余りが経過した集落の最新状況を把握し、持続可能な過疎地域等の集落のあり方等の検討に資することを目的として、全国の過疎地域市町村等に対してアンケート調査を実施した。

### 2-2. 調査の方法

#### (1) 調査の対象

本調査は、平成31（2019）年4月1日現在の「過疎地域自立促進特別措置法」（以下「自立促進法」という。）に基づく過疎地域市町村のほか、前回調査時にも対象に含まれていた「過疎地域活性化特別措置法」（以下「活性化法」という。）に基づく過疎地域を有する市町村、及び平成31年4月1日時点における以下の関係各法により指定される地域を含む全市町村を対象とし、集落データの収集については、それぞれの地域に指定されている区域<sup>※1</sup>における集落を対象とした。

図表2-1 調査対象市町村の種類

地域指定	調査対象市町村		調査対象区域 <sup>※1</sup>
過疎地域等	自立促進法による過疎地域市町村	過疎地域市町村(2条1項)	市町村全域
		過疎地域とみなされる市町村(33条1項)	
		過疎地域とみなされる区域を有する市町村(33条2項)	過疎地域とみなされる区域＋活性化法で過疎地域とされていた区域
	活性化法に基づく過疎地域を有する市町村(旧過疎)		
振興山村	山村振興法に基づく <b>振興山村</b> を有する市町村		それぞれの地域に指定されている区域
離島振興対策実施地域	離島振興法に基づく <b>離島振興対策実施地域</b> を有する市町村		全域指定＝市町村全域
半島振興対策実施地域	半島振興法に基づく <b>半島振興対策実施地域</b> を有する市町村		一部指定＝当該指定区域
特別豪雪地帯	豪雪地帯対策特別措置法に基づく <b>特別豪雪地帯</b> を有する市町村		

※1 本調査で「区域」とは平成12年4月1日現在の市町村の範囲を指す。

調査対象市町村は1,045市町村であり、このうち814市町村は過疎地域市町村、231市町村は非過疎地域市町村である。

全対象市町村のうち過疎地域にのみ指定されており、他の4法の指定は受けていない市町村は127市町村(12.2%)であり、67.5%にあたる705市町村は、過疎地域に加えこれら4法の指定地域のいずれかの指定を受けている。そのなかで最も重複率が高いのが振興山村であり、全過疎地域市町村の7割(567市町村)が振興山村を有している。

図表2-2 調査対象市町村数

	調査対象市町村 合計	過疎地域			計	非過疎地域		
		過疎	みなし 過疎	一部 過疎		旧過疎	非過疎	計
調査対象 現市町村数	1,045 (100.0%)	644	25	145	814 (100.0%)	18	213	231 (100.0%)
過疎 <sup>※1</sup> のみ、他の地域指定なし	127 (12.2%)	115	1	11	127 (15.6%)	-	-	0 (0.0%)
過疎 <sup>※1</sup> +他の地域指定	705 (67.5%)	529	24	134	687 (84.4%)	18	-	18 (7.8%)
振興山村	582 (55.7%)	427	23	117	567 (69.7%)	15	-	15 (6.5%)
離島	77 (7.4%)	54	0	23	77 (9.5%)	0	-	0 (0.0%)
半島	149 (14.3%)	120	4	20	144 (17.7%)	5	-	5 (2.2%)
特別豪雪	173 (16.6%)	146	9	18	173 (21.3%)	0	-	0 (0.0%)
他の地域指定のみ	213 (20.4%)	-	-	-	-	-	213	213 (92.2%)
振興山村	147 (14.1%)	-	-	-	-	-	147	147 (63.6%)
離島	34 (3.3%)	-	-	-	-	-	34	34 (14.7%)
半島	45 (4.3%)	-	-	-	-	-	45	45 (19.5%)
特別豪雪	28 (2.7%)	-	-	-	-	-	28	28 (12.1%)

※1 表側の「過疎」には現在過疎地域に指定されている市町村のほか、旧過疎市町村(活性化法まで過疎地域に指定されていた市町村)を含む。

※2 東日本大震災に伴う原発事故被災地のうち、前回調査時点で全域が避難指示区域にあった5町村は今回も調査対象外とした。

※3 活性化法では過疎地域に指定されていたが現在は非過疎であり、他にいずれの地域指定も受けていない5市町村は調査対象外とした。

図表2-3 調査対象区域(旧市町村)数

	調査対象市町村 合計	過疎地域				非過疎地域				
		過疎	みなし 過疎	一部 過疎	計	一部過疎の 非過疎区域		非過疎市町村		計
						旧過疎・ 前過疎	非過疎	旧過疎・ 前過疎	非過疎	
調査対象 区域(旧市町村)数	1,988 (100.0%)	1,122	116	283	1,521 (100.0%)	40	131	18	278	467 (100.0%)
過疎 <sup>※1</sup> のみ、他の地域指定なし	355 (17.9%)	228	39	63	330 (21.7%)	22	-	3	-	25 (5.4%)
過疎 <sup>※1</sup> +他の地域指定	1,224 (61.6%)	894	77	220	1,191 (78.3%)	18	-	15	-	33 (7.1%)
振興山村	917 (46.1%)	663	64	165	892 (58.6%)	13	-	12	-	25 (5.4%)
離島	122 (6.1%)	100	0	20	120 (7.9%)	2	-	0	-	2 (0.4%)
半島	278 (14.0%)	223	18	32	273 (17.9%)	0	-	5	-	5 (1.1%)
特別豪雪	239 (12.0%)	182	19	34	235 (15.5%)	4	-	0	-	4 (0.9%)
他の地域指定のみ	409 (20.6%)	-	-	-	-	-	131	-	278	409 (87.6%)
振興山村	271 (13.6%)	-	-	-	-	-	90	-	181	271 (58.0%)
離島	54 (2.7%)	-	-	-	-	-	19	-	35	54 (11.6%)
半島	101 (5.1%)	-	-	-	-	-	30	-	71	101 (21.6%)
特別豪雪	41 (2.1%)	-	-	-	-	-	10	-	31	41 (8.8%)

※1 表側の「過疎」には現在過疎地域に指定されている市町村のほか、旧過疎市町村(活性化法まで過疎地域に指定されていた市町村)を含む。

※2 東日本大震災に伴う原発事故被災地のうち、前回調査時点で全域が避難指示区域にあった5町村は今回も調査対象外とした。

※3 甲府市と富士河口湖町に分村合併した旧上九一色村はそれぞれ1区域として集計した。

## (2) 調査項目

調査対象区域の全集落を対象として、以下の調査項目について集落ごとのデータを収集した。

なお、前回調査で調査対象とされていた区域については、前回調査時に収集した集落データを記載した上で、各集落のその後の動向等について調査し、本調査で新たに調査対象となった区域については、新たに当該区域の集落の状況等について調査した。

図表2-4 調査項目(集落データ収集項目)の概要

大項目	調査項目(集落データ収集項目)
集落の属性	<input type="checkbox"/> 集落名 <input type="checkbox"/> 集落ごとの地域振興諸法の地域指定状況 <input type="checkbox"/> 津波被災地にある集落
集落構成の変遷と現在の居住状況	<input type="checkbox"/> 2019年4月時点での集落の状況 <input type="checkbox"/> 前回調査(H27.4)以降の集落の行政的再編の有無
集落の人口・世帯数と近年の転入状況	<input type="checkbox"/> R1 住民基本台帳(2019.4.1.時点)人口・世帯数 <input type="checkbox"/> 総人口 <input type="checkbox"/> 0～14歳 <input type="checkbox"/> 15～29歳 <input type="checkbox"/> 30～64歳 <input type="checkbox"/> 65～74歳 <input type="checkbox"/> 75歳以上 <input type="checkbox"/> 世帯数 <input type="checkbox"/> 当該集落における平成27年以降の転入者の有無 <input type="checkbox"/> 上記転入世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯の有無
集落類型や地域特性	<input type="checkbox"/> 集落類型 <input type="checkbox"/> 役場(本庁/支所)までの距離(km) <input type="checkbox"/> 地域区分 <input type="checkbox"/> 地形的に末端にある集落
各集落における生活サービス機能の立地状況	<input type="checkbox"/> 集落ごとの生活サービス機能の立地状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市町村役場・支所 <input checked="" type="checkbox"/> 公民館・集会所 <input type="checkbox"/> 病院・診療所 <input type="checkbox"/> 商店・スーパー <input checked="" type="checkbox"/> 飲食店・喫茶店 <input type="checkbox"/> ガソリンスタンド <input type="checkbox"/> (簡易)郵便局 <input checked="" type="checkbox"/> ATM <input type="checkbox"/> 老人デイサービスセンター <input type="checkbox"/> 駅・バス停 <input type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所等
サポート人材が活動する集落の状況	<input type="checkbox"/> サポート人材が活動する集落の状況 <input type="checkbox"/> 集落支援員 <input type="checkbox"/> 地域おこし協力隊等 <input type="checkbox"/> その他
集落機能の維持状況	<input type="checkbox"/> 資源管理機能・生産補完機能・生活扶助機能の維持状況 <input type="checkbox"/> 集落機能の維持状況
集落の存続に対する見通し	<input type="checkbox"/> 今後の消滅の可能性 <input type="checkbox"/> 今後の人口動向
消滅が危惧される集落における住民のQOL維持に向けた取組状況	<input checked="" type="checkbox"/> 消滅が危惧される集落から最寄りの以下の各機関までの所要時間 <input checked="" type="checkbox"/> 行政窓口 <input checked="" type="checkbox"/> 病院 <input checked="" type="checkbox"/> 商店 <input checked="" type="checkbox"/> 消滅が危惧される集落から市町村中心部までの移動手段の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 鉄道・軌道 <input checked="" type="checkbox"/> 民営路線バス <input checked="" type="checkbox"/> 公営路線バス <input checked="" type="checkbox"/> デマンドバス・乗合タクシー <input checked="" type="checkbox"/> 自家用有償旅客運送 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民による無償運送 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 空き家の管理状況 <input checked="" type="checkbox"/> 道路・用排水路・河川等の管理状態
地域運営組織の状況	<input type="checkbox"/> 地域運営組織の有無
集落機能の再編成	<input type="checkbox"/> 集落機能の維持・再編成の見通し
消滅した集落の状況	<input type="checkbox"/> H27.4以降に消滅(無人化)した集落の消滅理由 <input type="checkbox"/> H27.4以降に消滅した集落の住民の移転先 <input type="checkbox"/> H27.4以降に消滅した集落の消滅時期 <input type="checkbox"/> H27.4以降に消滅した集落にある主な資源の管理方法 <input type="checkbox"/> 消滅集落跡地の資源管理の状況

※○は前回調査からの継続調査項目、●は新規調査項目

図表2-5 集落データ調査項目(集落データ収集項目)一覧

記号	データ項目	内容
(1)	市町村コード(R01時点)	2019年4月現在の市町村コード
(2)	市町村名(R01時点)	2019年4月現在の市町村名
(3)	市町村区分(R01時点)	2019年4月現在の市・町・村の区分
(4)	過疎指定(R01時点)	2019年4月現在の過疎地域自立促進特別措置法に基づく過疎地域指定 過疎 : 過疎地域市町村(2条1項) みなし過疎 : 過疎地域とみなされる市町村(33条1項) 一部過疎 : 過疎地域とみなされる区域を有する市町村(33条2項) (非過疎) : 過疎地域に指定されている区域を持たない市町村
(5)	山村指定(R01時点)	2019年4月現在の山村振興法に基づく振興山村の指定状況 全域山村 : 全域が振興山村に指定されている市町村 一部山村 : 振興山村に指定されている区域を有する市町村 (空欄) : 振興山村に指定されている区域を持たない市町村
(6)	離島指定(R01時点)	2019年4月現在の離島振興法に基づく離島振興対策実施地域の指定状況 全域離島 : 全域が離島地域に指定されている市町村 一部離島 : 離島地域に指定されている区域を有する市町村 (空欄) : 離島地域に指定されている区域を持たない市町村
(7)	半島指定(R01時点)	2019年4月現在の半島振興法に基づく半島振興対策実施地域の指定状況 全域半島 : 全域が半島地域に指定されている市町村 一部半島 : 半島地域に指定されている区域を有する市町村 (空欄) : 半島地域に指定されている区域を持たない市町村
(8)	特別豪雪指定(R01時点)	2019年4月現在の豪雪地帯対策特別措置法に基づく特別豪雪地帯の指定状況 全域特別豪雪 : 全域が特別豪雪に指定されている市町村 一部特別豪雪 : 特別豪雪に指定されている区域を有する市町村 (空欄) : 特別豪雪に指定されている区域を持たない市町村 (豪雪地帯に指定されている区域を有する場合を含む)
(9)	旧市町村コード(H11時点)	平成11年4月現在の市町村コード
(10)	旧市町村名(H11時点)	平成11年4月現在の市町村名
(11)	調査対象区域の種別	継続調査区域/新規調査区域の別 継続 : 前回調査からの継続調査区域 新規 : 今回新たに調査対象となる区域(前回無回答の区域を含む)
(12)	集落番号	(10)の旧市町村ごとの集落の通し番号
(13)	集落名	各集落の名称
(14)~(18)	地域振興諸法の地域指定状況	各集落ごとの2019年4月1日現在の地域指定状況
(14)	過疎	各集落ごとの過疎地域の指定状況(以下の7つに分類) 1.過疎 : 2条1項の「過疎地域市町村」にある集落 2.みなし過疎 : 33条1項の「過疎地域とみなされる市町村」にある集落 3.一部過疎の過疎区域 : 33条2項の一部過疎市町村において「過疎地域とみなされる区域」にある集落 4.一部過疎の非過疎区域・前法過疎 : 33条2項の一部過疎市町村において「過疎地域とみなされる区域」外にあり、かつ前法(過疎地域活性化特別措置法)で過疎地域に指定されていた区域にある集落 5.一部過疎の非過疎区域・前法非過疎 : 33条2項の一部過疎市町村において「過疎地域とみなされる区域」外にあり、かつ前法(過疎地域活性化特別措置法)でも非過疎だった区域にある集落 6.非過疎・前法過疎 : 非過疎市町村において、前法(過疎地域活性化特別措置法)で過疎地域に指定されていた区域にある集落 7.非過疎・前法非過疎 : 非過疎市町村において、前法(過疎地域活性化特別措置法)でも非過疎だった区域にある集落
(15)	山村	各集落ごとの振興山村の指定状況(以下の3つに分類) 山村(全域) : 全域が振興山村に指定されている集落 山村(一部) : 振興山村に指定されている区域がある集落 (空欄) : 振興山村に指定された区域がない集落
	市町村の基礎情報項目(回答に応じて自動計算される調査項目)	→回答不要
	前回調査(H27.4時点)で「居住者がいる」とされた集落の前回調査時点の状況(前回回答データ)	→追加・修正のみ
	現在居住者がいる集落についての調査項目(★は新規調査項目)	→必須回答
	前回調査(H27.4時点)以降に消滅した集落についての調査項目	→必須回答(消滅集落)

(16)	離島	各集落ごとの離島振興対策実施地域の指定状況(以下の3つに分類) 離島(全域) : 全域が離島地域に指定されている集落 離島(一部) : 離島地域に指定されている区域がある集落 (空欄) : 離島地域に指定された区域がない集落
(17)	半島	各集落ごとの半島振興対策実施地域の指定状況(以下の3つに分類) 半島(全域) : 全域が半島地域に指定されている集落 半島(一部) : 半島地域に指定されている区域がある集落 (空欄) : 半島地域に指定された区域がない集落
(18)	特別豪雪・豪雪	各集落ごとの特別豪雪地帯・豪雪地帯の指定状況(以下の5つに分類) 特別豪雪(全域) : 全域が特別豪雪地帯に指定されている集落 特別豪雪(一部) : 特別豪雪地帯に指定されている区域がある集落 豪雪(全域) : 当該集落の中に特別豪雪地帯に指定されている区域はないが、全域が豪雪地帯に指定されている集落 豪雪(一部) : 当該集落の中に特別豪雪地帯に指定されている区域はないが、豪雪地帯に指定されている区域がある集落 (空欄) : 当該集落内に特別豪雪・豪雪のいずれかにも指定された区域がない集落
(19)	津波被災地	※平成23(2011)年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)に伴って発生した津波により被災した集落に○
(20)	集落の状況(H27時点)	前回調査で居住者がいるとされた集落(全て「1.居住者あり」)
(21)~(27)	H27住民基本台帳(H27.4.30時点)	前回調査での各集落の平成27年4月30日現在の住民基本台帳人口・世帯数
(21)	総世帯数(世帯)	各集落の平成27年4月30日現在の住民基本台帳世帯数
(22)	総人口(人)	各集落の平成27年4月30日現在の住民基本台帳人口
(23)	0~14歳(人)	(22)のうち0~14歳人口
(24)	15~29歳(人)	(22)のうち15~29歳人口
(25)	30~64歳人口(人)	(22)のうち30~64歳人口
(26)	65~74歳人口(人)	(22)のうち65~74歳人口
(27)	75歳以上人口(人)	(22)のうち65~74歳人口
(28)	集落の状況(R01時点)	現在の当該集落の状況(以下の2つに分類) 1.居住者あり : (13)の集落単位でみて居住者がいる集落 2.消滅(無人化) : (13)の集落単位でみて、現在既に消滅(無人化)した集落
(29)	(継続調査区域のみ) H27.4以降の集落の行政的再編の有無	各集落の行政的再編の有無(以下の7つに分類) 1.他集落を統合 : 当該集落の名称はそのまま、他の集落を統合した集落 2.他集落に編入 : 他の集落に統合され、当該集落の名称がなくなった集落 3.他集落と合併 : 他の集落とともに新しい名称の集落を形成した集落(当該集落の名称も変更) 4.行政的再編なし : (13)の集落が区域・名称ともそのまま残っている場合 5.新規に誕生 : 「3.他集落と合併」又は「6.分離」により新たに形成された集落、及び新たに宅地造成や施設整備等により誕生した集落 6.分離 : 複数の集落に分かれた集落 7.名称変更 : (13)の集落の区域には変更ないが集落名が変更
(30)	再編後の集落No.	
(31)	再編後の集落名	
(32)~(38)	R01住民基本台帳(2019.4.1.時点)	各集落の2019年4月1日時点の住民基本台帳の総世帯数と人口
(32)	世帯数(世帯)	各集落の2019年4月1日時点の住民基本台帳世帯数
(33)	総人口(人)	各集落の2019年4月1日時点の住民基本台帳人口(総数)
(34)	0~14歳(人)	(33)のうち0~14歳人口
(35)	15~29歳(人)	(33)のうち15~29歳人口
(36)	30~64歳(人)	(33)のうち30~64歳人口
(37)	65~74歳(人)	(33)のうち65~74歳人口
(38)	75歳以上(人)	(33)のうち75歳以上人口
(39)	当該集落に平成27年以降に転入してきた人がいるか	当該集落への転入者の有無(以下の3つに分類) 1.転入者がいる : 平成27年4月以降に転入し現在も当該集落に居住している人がいる 2.転入者はいない : 平成27年4月以降に転入した人はいない、または転入した人はいたが転出してしまった 3.分からない : 転入状況を把握していない
(40)	平成27年以降に転入した世帯の中に高校生までの子どもがいる世帯があるか	当該集落への子育て世帯転入の有無(以下の3つに分類) 1.子育て世帯が : 平成27年4月以降に当該集落に転入した世帯の中に、高校生以下の子どもがいる世帯がある 2.子育て世帯は : 平成27年4月以降に当該集落に転入した世帯の中には、高校生以下の子どもがいる世帯はないという 3.分からない : 平成27年4月以降に当該集落に転入した世帯の中に、高校生以下の子どもがいるかどうか把握していない

(41)	集落類型(H27時点)	前回調査での当該集落の分類((42)と同区分)
(42)	集落類型(R01時点)	現時点での各集落の集落類型(以下の3つに分類) 1.基礎 : 基礎集落。地域社会を構成する最も基礎的かつ原单位的な集落 2.基幹 : 基幹集落。基礎集落の分布の中にあつて、住民の日常生活上、集落間の要となっている集落(主に谷筋の分岐点やその他の交通上の要所等が該当) 3.中心 : 中心集落。地域の中心的な集落であり、役場等の行政機関や事業所等の集積があるなど、古くから地域の要所となっている集落
(43)~(44)	役場までの距離(km)(H27時点)	前回調査での当該集落から市町村役場までの距離(km単位)
(45)~(46)	役場までの距離(km)(R01時点)	現時点での当該集落から市町村役所・役場までの距離(km単位)
(45)	本庁までの距離(km)(R01時点)	当該集落から市役所・町村役場(本庁)までの距離(km単位)
(46)	支所・出張所までの距離(km)(R01時点)	本庁以外に支所や出張所などがある場合、当該集落から最寄りの支所・出張所までの距離(km単位)
(47)	地域区分(H27時点)	前回調査での当該集落の農業地域類型に基づく地域区分((48)と同区分)
(48)	地域区分(R01時点)	現時点での各集落の地域区分(以下の4つに分類) 1.山間地 : 山間農業地域。林野率が80%以上の集落 2.中間地 : 中間農業地域。山間地と平地の中間にある集落 3.平地 : 平地農業地域。林野率が50%未満でかつ耕地率20%以上の集落 4.都市 : 都市的地域。DID面積のある集落
(49)	地形的に末端にある集落(H27時点)	前回調査における地形的な行き止まり集落に○
(50)	地形的に末端にある集落(R01時点)	(49)のH27時点の状況以降の道路整備等の進捗状況を踏まえ、現時点で当該集落が地形的な行き止まり集落の場合、○
(51)~(62)	生活サービス機能の立地状況	当該集落に立地している各生活サービス関連施設に○
★	(51) 市町村役場・支所	市役所・町役場の本庁、市役所・町役場の支所・出張所、その他行政窓口
★	(52) 公民館・集会所	公民館 : 社会教育法上の公民館(分館も含む) 集会所 : 公民館以外で、集落住民の交流や活動拠点施設(事務所機能や集会機能を持つ施設) ※町内会館や自治会の集会所等は含まない
	(53) 病院・診療所	病院 : 医師又は歯科医師が医業又は歯科医業を行う場所であつて、患者20人以上の入院施設を有するもの 診療所 : 医師又は歯科医師が医業又は歯科医業を行う場所(歯科医業のみは除く)であつて、患者の入院施設を有しないもの又は患者19人以下の入院施設を有するもの
	(54) 商店・スーパー	個人用又は家庭用消費のために商品を販売する店舗 百貨店や総合スーパー、衣料品・食料品・住関連等の専門スーパーや専門店・中心店、コンビニエンスストア、その他スーパーや小売店など
★	(55) 飲食店・喫茶店	食堂やレストラン、ファストフード店、喫茶店など(コンビニ等のイートインスペースを含む)
	(56) ガソリンスタンド	自動車に揮発油を給油するための施設(給油所) ※灯油のみを販売する店舗は含まない
	(57) (簡易)郵便局	日本郵便株式会社法(平成17年法律第100号)第2条第1項~第3項に規定する「郵便窓口業務」、「銀行窓口業務」、「保険窓口業務」を行う会社の営業所 ※簡易郵便局: 郵便局株式会社等からの委託を受けて、郵便・銀行・保険の各種窓口サービスを複合的に提供する事業所
★	(58) ATM	銀行や信用金庫、郵便局、農協等のATM(他の施設に併設している場合も含む)
	(59) 老人デイサービスセンター	身体上又は精神上の障害があるため日常生活を営むのに支障がある高齢者等に対し、日中の一定時間、入浴・食事など日常生活の介助や機能訓練を中心とした介護サービスを提供する通所介護事業所。
	(60) 駅・バス停	駅 : JR(新幹線・在来線)や私鉄・公営・第3セクターの鉄道・路面電車・モノレール・地下鉄の乗降駅 バス停 : 民営・公営の路線バスや民営・公営・NPO等運営のコミュニティバスの乗降所 ※コミュニティバスの乗降場所が固定されておらず自由乗降の場合も、当該集落が運行路線に含まれていれば、バス停があるものとみなす
	(61) 小学校	学校教育法第1条に規定する小学校(公立小学校のほか、国立・私立小学校も含む)
	(62) 幼稚園・保育所等	学校教育法第1条に規定する幼稚園、児童福祉法第39条第1項に規定する保育所及び「認定こども園法」第2条第6項に規定する認定こども園。 幼稚園 : 学校教育法に基づく学校施設で、「幼児を保育し、適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的」として、未就学児(3~5歳)の教育を行う施設 保育所 : 児童福祉法に基づく児童福祉施設で、「日々保護者の委託を受けて、保育に欠ける乳児又は幼児を保育することを目的」とした施設 ※国の設置基準を満たした認可保育所のほか、都道府県独自の基準による認証保育所も含む 認定こども園 : 認定こども園法に基づく、教育と保育を一体的に行う施設

(63)~(65) サポート人材の活動状況	以下の各サポート人材が活動している集落についてそれぞれ○
(63) 集落支援員	※ 総務省が特別交付税により支援措置を講じている「集落支援員」が活動している集落(同一人物が複数集落を受け持っている場合、担当集落全てに○)
(64) 地域おこし協力隊等	※ 総務省が特別交付税により支援措置を講じている「地域おこし協力隊」が活動している集落(同一人物が複数集落を受け持っている場合、担当集落全てに○) ※ 「地域おこし協力隊」は、3年を超える活動については特別交付税措置はされないが、地方自治体が独自制度として4年目を以降も継続して配置している場合は、その協力隊員が受け持つ集落も含む
(65) その他	※ 地域おこし企業人(総務省)や緑のふるさと協力隊(地球緑化センター)などの国等の支援制度や地方自治体独自の制度による外部人材が活動している集落(同一人物が複数集落を受け持っている場合、担当集落全てに○)
(66)~(68) 集落の各機能の維持状況(H27時点)	前回調査での当該集落の各機能の維持状況((69)~(71)と同区分)
(69)~(71) 集落の各機能の維持状況(R01時点)	現時点での当該集落の各機能の維持状況(以下の4つに分類)
(69) 資源管理機能	1.集落住民により : 主に当該集落の住民によって機能が維持されている維持 2.他集落と合同で : 主に他集落の住民と当該集落の住民との合同によって機能が維持されている維持 3.ボランティア等 : 主にボランティアなど他の団体や組織等によって機能が維持されている維持 4.その他 : 上記にあてはまらない場合(行政により維持管理されている、DIDのため機能自体がない、など)
(70) 生産補完機能	
(71) 生活扶助機能	
(72) 集落機能の維持の状況(H27時点)	
(73) 集落機能の維持の状況(R01時点)	現時点での当該集落の集落機能の維持状況(以下の3つに分類)
(74) 今後の消滅の可能性(H27時点)	前回調査時点での当該集落の今後の消滅(無人化)可能性((75)と同区分)
(75) 今後の消滅の可能性(R01時点)	現時点での当該集落の今後の消滅(無人化)可能性(以下の3つに分類)
	○ : 今後、いずれは消滅(無人化)する可能性のある集落 ◎ : 今後、10年以内に消滅(無人化)する可能性のある集落 — : 消滅(無人化)する可能性がない(当面存続すると見込まれる)集落
★(76)~(87) 消滅が危惧されている集落における住民のQOL維持に向けた取組状況	今後消滅(無人化)する可能性がある集落における集落住民の生活の質(QOL)の維持に向けた現在の状況
(76) 行政窓口までの所要時間(分)	当該集落から最寄の行政窓口までの車での片道の所要時間(分)
(77) 病院までの所要時間(分)	当該集落から最寄の病院・診療所までの車での片道の所要時間(分)
(78) 商店までの所要時間(分)	当該集落から最寄の商店・スーパーまでの車での片道の所要時間(分)
(79)~(85) 都市部(市町村の中心部)への移手段	当該集落の住民が市町村の中心部に行く際に利用できる(当該集落で提供されている)交通サービスに○
(79) 鉄道・軌道	JRや私鉄・公営・第3セクターの鉄道・路面電車・モノレール等
(80) 民営路線バス	民間が運営する一般乗合の路線バス(予約制ではなく固定ダイヤ制で運行するコミュニティバスを含む)
(81) 公営路線バス	公営の一般乗合の路線バス(予約制ではなく固定ダイヤ制で運行するコミュニティバスを含む)
(82) デマンドバス・乗合タクシー	予約型の運行形態の輸送サービスを指し、福祉輸送(要介護者、身体障害者等)であって公共交通機関を利用することが困難な移動制約者を対象に、必要な介助等と連続して、又は一体として行われる個別的な輸送サービス)や特定施設の送迎サービス等は含まない
(83) 自家用有償旅客運送	市町村主体、地域住民や地域運営組織等によるものいずれも含む
(84) 地域住民による無償運送	利用者から金銭的な対価を受けない、実費相当分のみを収受するなど道路運送法上の許可又は登録を要しない運送
(85) その他	
(86) 空き家の管理状況	各集落内の空き家の状況(以下の4つに分類)
	1.空き家はない : 空き家(居住者がおらず無人の状態)で放置されている住宅、(以下同)はない 2.概ね良好に管理 : 空き家はあるが、いずれも概ね良好に管理されている 3.一部は管理が不十分 : 空き家があり、なかには管理が不十分なものも多少散見される 4.大部分は管理が不十分 : 空き家があり、かつその大部分が管理が不十分な状態で放置されている
(87) 道路・用排水路・河川等の管理状態	各集落内の道路・用排水路・河川等の管理状態(以下の3つに分類)
	1.良好に管理 : 集落住民等により概ね良好に管理されている 2.管理が不十分な箇所が存在 : 管理作業の水準が低下している箇所がある 3.管理が行き届かず荒廃 : 管理作業がほとんどされず、荒廃している

(88)	今後の人口動向(H27時点)	前回調査時点での当該集落の今後の集落の人口動向((89)と同区分)
(89)	今後の人口動向(R01時点)	現時点での当該集落の今後の人口動向の見通し(以下の3つに分類) 1.増加 : 今後人口が増加すると想定される集落 2.横ばい : 今後人口が横ばいに推移すると想定される集落 3.減少 : 今後人口が減少すると想定される集落
(90)	地域運営組織の状況	生活圏の課題解決に持続的に取り組む中心的組織が存在する集落に○
(91)	集落機能の維持・再編成の見通し(H27時点)	前回調査時点での当該集落の集落機能の維持・再編成の検討状況((92)と同区分)
(92)	集落機能の維持・再編成の見通し(R01時点)	現時点での当該集落の集落機能の維持・再編成の検討状況(以下の5つに分類) 1.空間的移転を予定 : 既存集落への集団移転、複数集落の移転による新規集落の形成などの空間的な移転を予定 2.行政的再編を予定 : 近隣集落との統合・合併や市町村行政において扱う行政区の見直し・再編などを予定 3.機能的再編を予定 : 現在の集落構成は維持しつつ、複数集落による連携を通して機能面での再編成を予定 4.検討中 : 集落住民へのヒアリングの実施など、集落機能の維持・再編成について検討段階にある 5.予定なし : 特に集落機能の維持・再編成について検討・予定していない
(93)~(105) 前回調査以降に消滅(無人化)した集落に関する調査項目		
(93)	H27.4以降に消滅した集落の消滅理由	当該集落が消滅した理由(以下の6つに分類) 1.集落移転事業による移転 : 過疎地域集落再編整備事業など、国又は都道府県・市町村の集落移転事業による集落移転 ※豪雨災害等により「防災集団移転促進事業」等を活用して集団移転を行った場合も含む 2.公共工事による集団移転 : ダム建設や道路建設に伴う集団移転など、公共工事による集落の集団移転 3.廃坑による廃村等 : 鉱山・炭坑などの採掘中止により廃村となったことによる集落の消滅など 4.自然災害等による分散転居 : 自然災害の発生により居住できなくなり住民が分散転居したことによる消滅 ※集落移転事業による集団移転を検討したものの、適地がない等により集落単位でまとまった形で移転ができず、各戸が分散転居したケースも含む 5.自然消滅 : 集落住民がそれぞれ自市町村内の他集落や他市町村へ転居したり、住民が亡くなるなどによる消滅(無住化) 6.その他 : 上記以外の理由による消滅
(94)	H27.4以降に消滅した集落の住民の移転先	当該消滅集落の住民の主な移転先(以下の5つに分類) 1.自市町村内に転居 : 集落が消滅した当時の市町村単位でみて主に近隣集落など自市町村内の他の集落に転居 2.他市町村に転居 : 集落が消滅した当時の市町村単位でみて主に他市町村に転居 3.各地に分散転居 : 集落が消滅した当時の市町村単位でみて自市町村内・他市町村ばらばらに分散転居 ※現在は、分散転居先の他市町村と合併しひとつの自治体となっている場合でも、集落消滅当時の市町村単位でみて「自市町村と他市町村に分散転居」した場合を含む 4.転居者なし : 住民が全て亡くなったことにより居住者がいなくなったため消滅 5.不明 : 転居先は分からない
(95)	H27.4以降に消滅した集落の消滅時期	当該集落が消滅した時期
(96)~(104)	H27.4以降に消滅した集落にある主な資源の管理方法(R01時点)	当該消滅集落の跡地の主な管理方法(それぞれ以下の6つに分類) 1.元住民が管理 : 主に転居した元集落住民により維持管理が継続されている 2.他集落が管理 : 主に他の集落等に維持管理を委託(依頼)している 3.ボランティア等が管理 : 主にボランティアなど他の団体や組織等により維持管理が継続されている 4.行政が管理 : 主に行政が維持管理を行っている 5.放置 : どの主体も消滅集落の跡地管理を行わない状態のまま放置されている 一:該当なし : 当該消滅集落に該当する資源や施設がない
(96)	森林・林地	
(97)	農地・田畑	
(98)	集会所・小学校等	
(99)	住宅	
(100)	集落道路・農道等	
(101)	用排水路等	
(102)	神社・仏閣等	
(103)	河川・湖沼・ため池等	
(104)	伝統的祭事・伝統芸能等	
(105)	消滅集落跡地の資源管理の状況	当該消滅集落の跡地の現在の資源管理状況(以下の3つに分類) 1.良好 : 全体的にみて、比較的良好に資源が管理されている 2.やや荒廃 : 全体的にみて、資源管理の状態がやや荒廃している 3.荒廃 : 全体的にみて、資源管理の状態が荒廃している
(106)	備考	補足説明等

(3) 調査方法及び調査時期

調査方法：都道府県経由で対象市町村にアンケート票（エクセルファイル・市町村毎に固有のファイルを作成）をメールにて送付、都道府県経由で回収

調査時期：令和元年9月11日～令和元年11月29日

(4) 回収状況

市町村・都道府県とも全調査対象から回答が得られた。

図表2-6 地方ブロック別・現市町村の過疎区分別 回答市町村数・区域(旧市町村)数

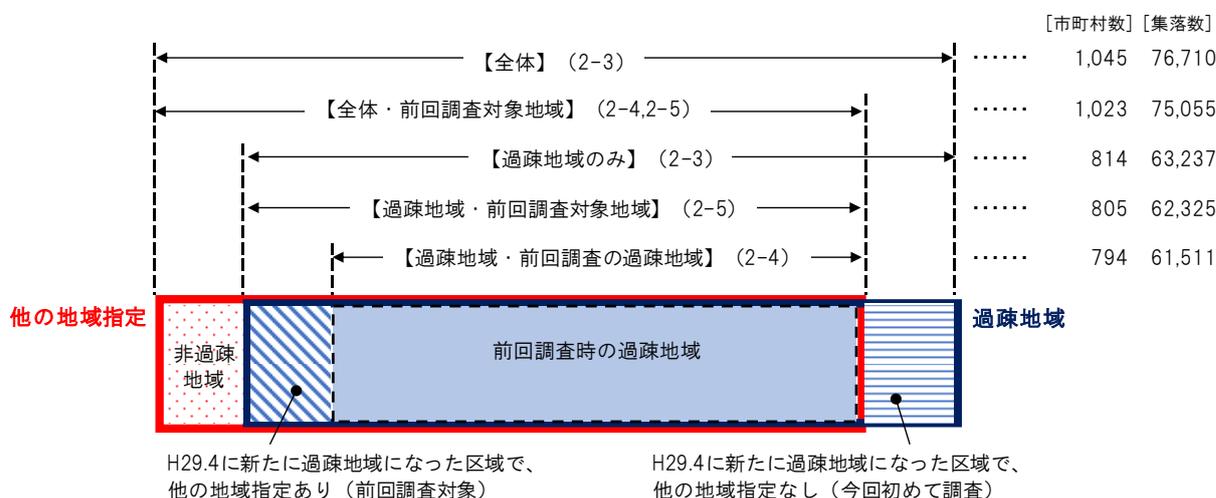
全体	現市町村の過疎区分別 現市町村数					現市町村の過疎区分別 区域(旧市町村)数					
	過疎	みなし過疎	一部過疎	非過疎	計	過疎	みなし過疎	一部過疎 過疎区域	一部過疎 非過疎区域	非過疎	計
1 北海道	144 (89.4%)	0 (0.0%)	5 (3.1%)	12 (7.5%)	161 (100.0%)	167 (87.4%)	0 (0.0%)	9 (4.7%)	2 (1.0%)	13 (6.8%)	191 (100.0%)
2 東北圏	119 (60.7%)	10 (5.1%)	20 (10.2%)	47 (24.0%)	196 (100.0%)	199 (52.6%)	56 (14.8%)	47 (12.4%)	22 (5.8%)	54 (14.3%)	378 (100.0%)
3 首都圏	36 (39.6%)	0 (0.0%)	20 (22.0%)	35 (38.5%)	91 (100.0%)	54 (38.3%)	0 (0.0%)	29 (20.6%)	16 (11.3%)	42 (29.8%)	141 (100.0%)
4 北陸圏	12 (30.0%)	0 (0.0%)	8 (20.0%)	20 (50.0%)	40 (100.0%)	26 (34.2%)	0 (0.0%)	13 (17.1%)	12 (15.8%)	25 (32.9%)	76 (100.0%)
5 中部圏	51 (45.1%)	1 (0.9%)	22 (19.5%)	39 (34.5%)	113 (100.0%)	75 (33.6%)	5 (2.2%)	50 (22.4%)	34 (15.2%)	59 (26.5%)	223 (100.0%)
6 近畿圏	48 (55.2%)	3 (3.4%)	8 (9.2%)	28 (32.2%)	87 (100.0%)	83 (50.3%)	12 (7.3%)	12 (7.3%)	14 (8.5%)	44 (26.7%)	165 (100.0%)
7 中国圏	52 (55.9%)	3 (3.2%)	24 (25.8%)	14 (15.1%)	93 (100.0%)	153 (60.2%)	9 (3.5%)	43 (16.9%)	32 (12.6%)	17 (6.7%)	254 (100.0%)
8 四国圏	52 (65.0%)	1 (1.3%)	13 (16.3%)	14 (17.5%)	80 (100.0%)	109 (67.3%)	3 (1.9%)	21 (13.0%)	12 (7.4%)	17 (10.5%)	162 (100.0%)
9 九州圏	113 (68.1%)	6 (3.6%)	25 (15.1%)	22 (13.3%)	166 (100.0%)	238 (63.5%)	26 (6.9%)	59 (15.7%)	27 (7.2%)	25 (6.7%)	375 (100.0%)
10 沖縄県	17 (94.4%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	18 (100.0%)	18 (78.3%)	5 (21.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	23 (100.0%)
合計	644 (61.6%)	25 (2.4%)	145 (13.9%)	231 (22.1%)	1,045 (100.0%)	1,122 (56.4%)	116 (5.8%)	283 (14.2%)	171 (8.6%)	296 (14.9%)	1,988 (100.0%)

※区域(旧市町村)数における「非過疎」には、一部過疎市町村の非過疎区域を含む。

(5) 集計の範囲

2-3. 以降の集計においては、非過疎地域で他の地域指定を受けている地域を含めた条件不利地域「全体」で各項目について集計した上で、現過疎地域の集落のみ抜粋し、地方ブロック別、集落類型別、地域区分別などのクロス集計を行った。

図表2-7 調査対象地域と各節での集計範囲



(6)その他

表中の構成比については、小数第2位を四捨五入しているため、集計項目の割合の合計が100%にならない場合がある。

また、本文コメント(■で始まる文章)中で複数項目を合わせた割合について言及している場合は、表中の各項目の構成比を合計した割合としてではなく、各項目の該当数から構成比を算出(小数第2位四捨五入)しているため、表中の各項目の合計値と一致しないことがある(下図参照)。

過疎地域	地域区分別 集落数					計
	山間地	中間地	平地	都市的 地域	無回答	
合計	19,932 (31.5%)	18,739 (29.6%)	19,678 (31.1%)	4,424 (7.0%)	464 (0.7%)	63,237 (100.0%)

「中山間地」の構成比・・・ $(19,932 + 18,739) \div 63,237 = 61.15\% \rightarrow 61.2\%$

## 2-3. 過疎地域等における集落の現状

### (1) 居住者のいる集落数

#### ① 市町村区分別 集落数

##### 【全体】

- 1,045 市町村の 1,988 区域において現存する(居住者のいる)全集落数は、全体で 76,710 集落であった。
- 市町村区分別でみると、市が 49,576 集落(64.6%)、町が 24,145 集落(31.5%)、村が 2,989 集落(3.9%) となっており、6割超の集落が市に属している。

図表2-8 市町村区分別 集落数及び1市町村あたり平均集落数 【全体】

全体	市町村別 集落数				1市町村あたり平均集落数	
	市	町	村	計	現市町村	旧市町村
合計	49,576 (64.6%)	24,145 (31.5%)	2,989 (3.9%)	76,710 (100.0%)	73.4	38.6
参考: 前回調査	48,584 (64.2%)	24,110 (31.9%)	2,968 (3.9%)	75,662 (100.0%)	73.6	38.6

##### 【過疎地域のみ】

- 現在の過疎地域における集落数について、地方ブロック別で構成比をみると、過疎地域の多い九州圏(22.9%)や東北圏(22.2%)、中国圏(19.6%)などで集落数も多くなっている。
- 市町村区分別集落割合を地方ブロック別でみると、北陸圏や中国圏では、市における集落が全体の 70% 以上を占めている一方、北海道では町における集落が 73.7%と多くなっている。
- 1市町村あたり平均集落数をみると、現市町村での平均は 77.7 集落である。ただし、一部過疎地域の市町村もあるため、区域単位(旧市町村あたり)の平均集落数を集計すると、全体では 41.6 集落となっている。
- 地方ブロック別に1市町村あたり平均集落数をみると、中国圏では現市町村単位で 156.6 集落、区域単位(旧市町村単位)で 60.3 集落と特に大きくなっている。

図表2-9 地方ブロック別・市町村区分別 集落数及び1市町村あたり平均集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	市町村別 集落数				ブロック 構成比	1市町村あたり平均集落数	
	市	町	村	計		現市町村	旧市町村
1 北海道	783 (20.9%)	2,762 (73.7%)	201 (5.4%)	3,746 (100.0%)	(5.9%)	25.1	21.3
2 東北圏	9,124 (64.9%)	4,393 (31.2%)	550 (3.9%)	14,067 (100.0%)	(22.2%)	94.4	46.6
3 首都圏	559 (27.1%)	1,272 (61.7%)	229 (11.1%)	2,060 (100.0%)	(3.3%)	36.8	24.8
4 北陸圏	1,453 (70.2%)	617 (29.8%)	0 (0.0%)	2,070 (100.0%)	(3.3%)	103.5	53.1
5 中部圏	1,777 (49.5%)	1,158 (32.3%)	654 (18.2%)	3,589 (100.0%)	(5.7%)	48.5	27.6
6 近畿圏	2,057 (57.3%)	1,239 (34.5%)	293 (8.2%)	3,589 (100.0%)	(5.7%)	60.8	33.5
7 中国圏	9,476 (76.6%)	2,865 (23.2%)	27 (0.2%)	12,368 (100.0%)	(19.6%)	156.6	60.3
8 四国圏	3,608 (51.8%)	3,278 (47.0%)	84 (1.2%)	6,970 (100.0%)	(11.0%)	105.6	52.4
9 九州圏	9,957 (68.6%)	4,074 (28.1%)	477 (3.3%)	14,508 (100.0%)	(22.9%)	100.8	44.9
10 沖縄県	105 (38.9%)	81 (30.0%)	84 (31.1%)	270 (100.0%)	(0.4%)	15.0	11.7
合計	38,899 (61.5%)	21,739 (34.4%)	2,599 (4.1%)	63,237 (100.0%)	(100.0%)	77.7	41.6

## ②現市町村の過疎区分別 集落数

### 【全体】

- 現市町村の過疎区分別でみると、全部過疎の市町村(以下「過疎市町村」という。)における集落が全集落の64.3%を占めており、1区域あたり平均集落数はみなし過疎市町村が51.1集落と最も大きい。
- 地域指定別でみると、1区域あたり平均集落数は離島の一部過疎区域で9.3集落と最も小さく、過疎地域のみなし過疎区域で51.1集落と最も大きい。

図表2-10 現市町村の過疎区分別 集落数及び1区域あたり平均集落数【全体】

全体	現市町村の過疎区分別 集落数					現市町村の過疎区分別 区域あたり平均集落数			
	過疎	みなし過疎	一部過疎	非過疎	計	過疎	みなし過疎	一部過疎	非過疎
合計	49,341 (64.3%)	5,933 (7.7%)	7,963 (10.4%)	13,473 (17.6%)	76,710 (100.0%)	44.0	51.1	28.1	28.9
参考: 前回調査	46,831 (61.9%)	6,751 (8.9%)	8,337 (11.0%)	13,743 (18.2%)	75,662 (100.0%)	44.5	48.6	28.5	28.9

図表2-11 地域指定別・現市町村の過疎区分別 集落数及び1区域あたり平均集落数【全体】

全体	現市町村の過疎区分別 集落数					現市町村の過疎区分別 区域あたり平均集落数			
	過疎	みなし過疎	一部過疎	非過疎	計	過疎	みなし過疎	一部過疎	非過疎
過疎地域	49,341 (78.0%)	5,933 (9.4%)	7,963 (12.6%)	0 (0.0%)	63,237 (100.0%)	44.3	51.1	28.9	-
振興山村	17,936 (66.4%)	1,421 (5.3%)	3,579 (13.3%)	4,058 (15.0%)	26,994 (100.0%)	39.0	45.8	29.1	16.2
離島	2,088 (89.3%)	0 (0.0%)	74 (3.2%)	175 (7.5%)	2,337 (100.0%)	29.4	-	9.3	4.0
半島	9,141 (62.7%)	498 (3.4%)	692 (4.7%)	4,253 (29.2%)	14,584 (100.0%)	41.2	27.7	21.6	40.5
特別豪雪地帯	6,779 (56.0%)	782 (6.5%)	968 (8.0%)	3,573 (29.5%)	12,102 (100.0%)	37.9	41.2	28.5	79.4

### 【過疎地域のみ】

- 過疎地域における1区域あたり平均集落数を地方ブロック別・過疎区分別で比較すると、沖縄県の過疎区域が9.2集落と最も小さく、中国圏のみなし過疎区域が97.8集落と最も大きい。

図表2-12 地方ブロック別・現市町村の過疎区分別 集落数及び1区域あたり平均集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	現市町村の過疎区分別 集落数				区域あたり平均集落数		
	過疎	みなし過疎	一部過疎	計	過疎	みなし過疎	一部過疎
1 北海道	3,623 (96.7%)	0 (0.0%)	123 (3.3%)	3,746 (100.0%)	21.7	-	13.7
2 東北圏	9,243 (65.7%)	3,314 (23.6%)	1,510 (10.7%)	14,067 (100.0%)	46.4	59.2	32.1
3 首都圏	1,629 (79.1%)	0 (0.0%)	431 (20.9%)	2,060 (100.0%)	30.2	-	14.9
4 北陸圏	1,740 (84.1%)	0 (0.0%)	330 (15.9%)	2,070 (100.0%)	66.9	-	25.4
5 中部圏	2,148 (59.8%)	115 (3.2%)	1,326 (36.9%)	3,589 (100.0%)	28.6	23.0	26.5
6 近畿圏	2,745 (76.5%)	408 (11.4%)	436 (12.1%)	3,589 (100.0%)	33.1	34.0	36.3
7 中国圏	10,281 (83.1%)	880 (7.1%)	1,207 (9.8%)	12,368 (100.0%)	67.2	97.8	28.1
8 四国圏	5,942 (85.3%)	253 (3.6%)	775 (11.1%)	6,970 (100.0%)	54.5	84.3	36.9
9 九州圏	11,825 (81.5%)	858 (5.9%)	1,825 (12.6%)	14,508 (100.0%)	49.7	33.0	30.9
10 沖縄県	165 (61.1%)	105 (38.9%)	0 (0.0%)	270 (100.0%)	9.2	21.0	-
合計	49,341 (78.0%)	5,933 (9.4%)	7,963 (12.6%)	63,237 (100.0%)	44.0	51.1	28.1

### ③地域区分別 集落数

#### 【全体】

- 地域区分別集落数をみると、山間地が29.6%、中間地が28.9%で、全体の58.5%が中山間地にある。
- 地域指定別でみると、振興山村では集落の85.7%が中山間地にある一方、半島地域や特別豪雪地帯では1割以上の集落が都市的地域にある。

図表2-13 地域区分別 集落数【全体】

全体	地域区分別 集落数					計
	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	
合計	22,743 (29.6%)	22,135 (28.9%)	23,526 (30.7%)	6,955 (9.1%)	1,351 (1.8%)	76,710 (100.0%)
参考: 前回調査	22,356 (29.5%)	21,888 (28.9%)	23,508 (31.1%)	6,673 (8.8%)	1,237 (1.6%)	75,662 (100.0%)

図表2-14 地域指定別・地域区分別 集落数【全体】

全体	地域区分別 集落数					計
	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	
過疎地域	19,932 (31.5%)	18,739 (29.6%)	19,678 (31.1%)	4,424 (7.0%)	464 (0.7%)	63,237 (100.0%)
振興山村	15,803 (58.5%)	7,333 (27.2%)	3,217 (11.9%)	344 (1.3%)	297 (1.1%)	26,994 (100.0%)
離島	513 (22.0%)	837 (35.8%)	878 (37.6%)	62 (2.7%)	47 (2.0%)	2,337 (100.0%)
半島	2,992 (20.5%)	4,356 (29.9%)	5,387 (36.9%)	1,629 (11.2%)	220 (1.5%)	14,584 (100.0%)
特別豪雪地帯	2,577 (21.3%)	2,983 (24.6%)	4,188 (34.6%)	1,569 (13.0%)	785 (6.5%)	12,102 (100.0%)

#### 【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落は、山間地が31.5%、中間地が29.6%で、全体の61.2%が中山間地にある。
- 地方ブロック別でみると、山間地集落の割合は中部圏において、中間地集落の割合は中国圏においてそれぞれ最も高くなっている。また、都市的地域における集落の割合が最も高いのは北海道である。

図表2-15 地方ブロック別・地域区分別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	地域区分別 集落数					計
	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	
1 北海道	636 (17.0%)	975 (26.0%)	1,596 (42.6%)	467 (12.5%)	72 (1.9%)	3,746 (100.0%)
2 東北圏	3,389 (24.1%)	3,814 (27.1%)	5,407 (38.4%)	1,239 (8.8%)	218 (1.5%)	14,067 (100.0%)
3 首都圏	866 (42.0%)	648 (31.5%)	517 (25.1%)	29 (1.4%)	0 (0.0%)	2,060 (100.0%)
4 北陸圏	588 (28.4%)	429 (20.7%)	856 (41.4%)	197 (9.5%)	0 (0.0%)	2,070 (100.0%)
5 中部圏	2,042 (56.9%)	1,001 (27.9%)	434 (12.1%)	76 (2.1%)	36 (1.0%)	3,589 (100.0%)
6 近畿圏	1,552 (43.2%)	1,150 (32.0%)	621 (17.3%)	257 (7.2%)	9 (0.3%)	3,589 (100.0%)
7 中国圏	4,579 (37.0%)	4,143 (33.5%)	2,726 (22.0%)	807 (6.5%)	113 (0.9%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	2,545 (36.5%)	1,892 (27.1%)	2,039 (29.3%)	485 (7.0%)	9 (0.1%)	6,970 (100.0%)
9 九州圏	3,700 (25.5%)	4,635 (31.9%)	5,299 (36.5%)	867 (6.0%)	7 (0.0%)	14,508 (100.0%)
10 沖縄県	35 (13.0%)	52 (19.3%)	183 (67.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	270 (100.0%)
合計	19,932 (31.5%)	18,739 (29.6%)	19,678 (31.1%)	4,424 (7.0%)	464 (0.7%)	63,237 (100.0%)

#### ④集落類型別 集落数

##### 【全体】

- 集落類型別集落数をみると、基礎集落が81.0%、基幹集落が10.4%、中心集落が6.7%となっている。
- 地域指定別でみると、いずれの地域も基礎集落が占める割合が最も高い。

図表2-16 集落類型別 集落数 【全体】

全体	集落類型別 集落数				計
	基礎	基幹	中心	無回答	
合計	62,100 (81.0%)	7,967 (10.4%)	5,165 (6.7%)	1,478 (1.9%)	76,710 (100.0%)
参考: 前回調査	61,637 (81.5%)	7,798 (10.3%)	5,033 (6.7%)	1,194 (1.6%)	75,662 (100.0%)

図表2-17 地域指定別・集落類型別 集落数 【全体】

全体	集落類型別 集落数				計
	基礎	基幹	中心	無回答	
過疎地域	52,045 (82.3%)	6,534 (10.3%)	3,986 (6.3%)	672 (1.1%)	63,237 (100.0%)
振興山村	22,623 (83.8%)	2,628 (9.7%)	1,223 (4.5%)	520 (1.9%)	26,994 (100.0%)
離島	1,809 (77.4%)	223 (9.5%)	294 (12.6%)	11 (0.5%)	2,337 (100.0%)
半島	11,894 (81.6%)	1,555 (10.7%)	1,049 (7.2%)	86 (0.6%)	14,584 (100.0%)
特別豪雪地帯	9,324 (77.0%)	1,337 (11.0%)	794 (6.6%)	647 (5.3%)	12,102 (100.0%)

##### 【過疎地域のみ】

- 過疎地域における集落類型別集落数をみると、基礎集落が82.3%、基幹集落が10.3%、中心集落が6.3%となっている。
- 地方ブロック別でみると、基礎集落が占める割合は北陸圏において92.2%と最も高く、基幹集落や中心集落の構成比は北海道において最も高くなっている。

図表2-18 地方ブロック別・集落類型別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	集落類型別 集落数				計
	基礎	基幹	中心	無回答	
1 北海道	2,733 (73.0%)	546 (14.6%)	461 (12.3%)	6 (0.2%)	3,746 (100.0%)
2 東北圏	11,169 (79.4%)	1,665 (11.8%)	1,111 (7.9%)	122 (0.9%)	14,067 (100.0%)
3 首都圏	1,744 (84.7%)	193 (9.4%)	108 (5.2%)	15 (0.7%)	2,060 (100.0%)
4 北陸圏	1,909 (92.2%)	100 (4.8%)	61 (2.9%)	0 (0.0%)	2,070 (100.0%)
5 中部圏	2,864 (79.8%)	460 (12.8%)	250 (7.0%)	15 (0.4%)	3,589 (100.0%)
6 近畿圏	2,854 (79.5%)	402 (11.2%)	284 (7.9%)	49 (1.4%)	3,589 (100.0%)
7 中国圏	10,206 (82.5%)	1,278 (10.3%)	593 (4.8%)	291 (2.4%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	6,022 (86.4%)	469 (6.7%)	397 (5.7%)	82 (1.2%)	6,970 (100.0%)
9 九州圏	12,336 (85.0%)	1,389 (9.6%)	697 (4.8%)	86 (0.6%)	14,508 (100.0%)
10 沖縄県	208 (77.0%)	32 (11.9%)	24 (8.9%)	6 (2.2%)	270 (100.0%)
合計	52,045 (82.3%)	6,534 (10.3%)	3,986 (6.3%)	672 (1.1%)	63,237 (100.0%)

- 地域区分別でみると、基礎集落の割合が最も高いのは山間地であり、89.6%を占めている。一方、基幹集落や中心集落の割合は都市的地域で最も高い。

図表2-19 地域区分別・集落類型別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落類型別 集落数				計
	基礎	基幹	中心	無回答	
山間地	17,852 (89.6%)	1,401 (7.0%)	356 (1.8%)	323 (1.6%)	19,932 (100.0%)
中間地	15,845 (84.6%)	1,996 (10.7%)	812 (4.3%)	86 (0.5%)	18,739 (100.0%)
平地	15,453 (78.5%)	2,446 (12.4%)	1,651 (8.4%)	128 (0.7%)	19,678 (100.0%)
都市的地域	2,602 (58.8%)	629 (14.2%)	1,133 (25.6%)	60 (1.4%)	4,424 (100.0%)
無回答	293 (63.1%)	62 (13.4%)	34 (7.3%)	75 (16.2%)	464 (100.0%)
合計	52,045 (82.3%)	6,534 (10.3%)	3,986 (6.3%)	672 (1.1%)	63,237 (100.0%)

(2) 集落の人口規模

① 市町村別集落人口及び1集落あたり平均人口

【全体】

- 居住者がいる全集落(76,710 集落)のうち集落ごとの人口について回答が得られた 76,661 集落の人口を合計すると15,250,015 人であり、このうち市部が71.6%、町部が25.9%、村部が2.6%となっている。
- 1集落あたり平均人口をみると、全体平均では198.9 人/集落であり、前回調査の205.7 人/集落より約7人減少した。市町村区分別で比較すると、市部(220.3 人/集落)と村部(131.6 人/集落)では集落あたり88.7人の差がみられる。
- 地域指定別でみると、1集落あたり平均人口が最も多いのは半島地域で263.3 人/集落となっている。一方、1集落あたり平均人口が最も少ないのは、振興山村の123.9 人/集落である。

図表2-20 市町村別 集落人口及び1集落あたり平均人口【全体】

全体	市町村別 集落人口				市町村別 集落あたり平均人口			
	市	町	村	計	市	町	村	全体
合計	10,913,873 (71.6%)	3,943,298 (25.9%)	392,844 (2.6%)	15,250,015 (100.0%)	220.3	163.4	131.6	198.9
参考: 前回調査	10,727,314 (69.7%)	4,240,126 (27.6%)	415,819 (2.7%)	15,383,259 (100.0%)	224.0	176.7	142.0	205.7

図表2-21 地域指定別・市町村別 集落人口及び1集落あたり平均人口【全体】

全体	市町村別 集落人口				市町村別 集落あたり平均人口			
	市	町	村	計	市	町	村	全体
過疎地域	6,829,524 (65.9%)	3,243,876 (31.3%)	284,184 (2.7%)	10,357,584 (100.0%)	175.6	149.3	109.3	163.8
振興山村	1,821,757 (54.5%)	1,275,459 (38.2%)	246,045 (7.4%)	3,343,261 (100.0%)	128.5	119.1	117.7	123.9
離島	218,399 (59.8%)	135,332 (37.0%)	11,725 (3.2%)	365,456 (100.0%)	136.9	192.8	293.1	156.4
半島	2,820,475 (73.5%)	977,439 (25.5%)	41,059 (1.1%)	3,838,973 (100.0%)	280.4	230.3	149.9	263.3
特別豪雪地帯	1,958,767 (73.8%)	613,842 (23.1%)	81,657 (3.1%)	2,654,266 (100.0%)	256.2	160.5	130.4	219.5

### 【過疎地域のみ】

- 過疎地域における集落の人口を合計すると10,357,584人であり、このうち市部が65.9%、町部が31.3%、村部が2.7%となっている。
- 地方ブロック別でみると、市部における集落人口の割合が最も高いのは中国圏であり、町部については首都圏が、村部については沖縄県がそれぞれ最も高い構成比となっている。
- 過疎地域における集落の1集落あたり平均人口をみると、全体平均では163.8人/集落であり、市町村区分別で比較すると、市部(175.6人/集落)と村部(109.3人/集落)では集落あたり66人の差がみられる。
- 地方ブロック別で1集落あたり平均人口を比較すると、北海道が396.5人/集落と最も多く、次いで沖縄県の383.9人/集落となっている。これをさらに市町村区分別でみると、特に北海道では、市部における1集落あたり平均人口が1,072.6人/集落と突出して多くなっている。

図表2-22 地方ブロック別・市町村別 集落人口及び1集落あたり平均人口【過疎地域のみ】

過疎地域	市町村別 集落人口				ブロック 構成比	市町村別 集落あたり平均人口			
	市	町	村	計		市	町	村	全体
1 北海道	839,850 (56.6%)	621,767 (41.9%)	23,332 (1.6%)	1,484,949 (100.0%)	(14.3%)	1,072.6	225.2	116.1	396.5
2 東北圏	1,742,101 (68.9%)	711,906 (28.1%)	75,230 (3.0%)	2,529,237 (100.0%)	(24.4%)	191.0	162.1	136.8	179.9
3 首都圏	129,121 (32.0%)	243,799 (60.5%)	29,964 (7.4%)	402,884 (100.0%)	(3.9%)	231.0	191.7	130.8	195.6
4 北陸圏	221,921 (74.2%)	76,995 (25.8%)	0 (0.0%)	298,916 (100.0%)	(2.9%)	152.7	124.8	-	144.4
5 中部圏	286,608 (55.1%)	183,501 (35.3%)	50,067 (9.6%)	520,176 (100.0%)	(5.0%)	161.3	158.5	76.6	144.9
6 近畿圏	444,686 (62.1%)	241,118 (33.6%)	30,815 (4.3%)	716,619 (100.0%)	(6.9%)	216.2	194.6	105.2	199.7
7 中国圏	871,740 (76.0%)	272,854 (23.8%)	3,010 (0.3%)	1,147,604 (100.0%)	(11.1%)	92.0	95.3	111.5	92.8
8 四国圏	437,583 (61.1%)	273,102 (38.1%)	6,014 (0.8%)	716,699 (100.0%)	(6.9%)	121.4	83.3	71.6	102.9
9 九州圏	1,801,493 (73.9%)	591,908 (24.3%)	43,435 (1.8%)	2,436,836 (100.0%)	(23.5%)	181.0	145.4	91.1	168.0
10 沖縄県	54,421 (52.5%)	26,926 (26.0%)	22,317 (21.5%)	103,664 (100.0%)	(1.0%)	518.3	332.4	265.7	383.9
合計	6,829,524 (65.9%)	3,243,876 (31.3%)	284,184 (2.7%)	10,357,584 (100.0%)	(100.0%)	175.6	149.3	109.3	163.8

## ②過疎区分別集落人口及び1集落あたり平均人口

### 【過疎地域のみ】

- 1集落あたり平均人口を現市町村の過疎区分別でみると、みなし過疎市町村が218.0人/集落と、全体の1集落あたり平均人口(163.8人/集落)よりも多くなっている。
- 地方ブロック別でみると、過疎市町村では北海道が396.5人/集落と最も多く、中国圏が92.8人/集落と最も小さい。
- さらに過疎区分別でみると、みなし過疎市町村では沖縄県(518.3人/集落)が突出して多いほか、近畿圏でも300人以上と比較的規模が大きい。一部過疎市町村については、北海道(222.2人/集落)や首都圏(185.0人/集落)で比較的規模が大きい。

図表2-23 地方ブロック別・過疎区分別集落人口及び1集落あたり平均人口【過疎地域のみ】

過疎地域	現市町村の過疎区分別 集落人口				現市町村の過疎区分別 集落あたり平均人口			
	過疎	みなし過疎	一部過疎	計	過疎	みなし過疎	一部過疎	全体
1 北海道	1,457,616 (98.2%)	0 (0.0%)	27,333 (1.8%)	1,484,949 (100.0%)	402.4	-	222.2	396.5
2 東北圏	1,572,740 (62.2%)	716,806 (28.3%)	239,691 (9.5%)	2,529,237 (100.0%)	170.2	216.4	158.7	179.9
3 首都圏	323,148 (80.2%)	0 (0.0%)	79,736 (19.8%)	402,884 (100.0%)	198.4	-	185.0	195.6
4 北陸圏	257,191 (86.0%)	0 (0.0%)	41,725 (14.0%)	298,916 (100.0%)	147.8	-	126.4	144.4
5 中部圏	352,150 (67.7%)	32,249 (6.2%)	135,777 (26.1%)	520,176 (100.0%)	163.9	280.4	102.4	144.9
6 近畿圏	534,181 (74.5%)	131,943 (18.4%)	50,495 (7.0%)	716,619 (100.0%)	194.6	323.4	115.8	199.7
7 中国圏	864,535 (75.3%)	121,910 (10.6%)	161,159 (14.0%)	1,147,604 (100.0%)	84.1	138.5	133.6	92.8
8 四国圏	631,097 (88.1%)	37,177 (5.2%)	48,425 (6.8%)	716,699 (100.0%)	106.2	146.9	62.6	102.9
9 九州圏	1,997,992 (82.0%)	198,474 (8.1%)	240,370 (9.9%)	2,436,836 (100.0%)	169.0	231.3	131.8	168.0
10 沖縄県	49,243 (47.5%)	54,421 (52.5%)	0 (0.0%)	103,664 (100.0%)	298.4	518.3	-	383.9
合計	8,039,893 (77.6%)	1,292,980 (12.5%)	1,024,711 (9.9%)	10,357,584 (100.0%)	163.0	218.0	128.7	163.8

### ③地域区分別集落人口及び1集落あたり平均人口

#### 【全体】

- 1集落あたり平均人口を地域区分別でみると、山間地では 88.2 人/集落であるのに対して、都市的地域にある集落では 559.5 人/集落と大きな開きが見られる。
- 地域指定別でみると、地域区分別で最も小規模な山間地集落の中でも過疎地域の山間地集落は 75.9 人/集落と最も規模が小さい。

図表2-24 地域区分別 集落人口及び1集落あたり平均人口 【全体】

全体	地域区分別 集落人口						地域区分別 集落あたり平均人口					
	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	計	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	全体
合計	2,006,565 (13.2%)	3,627,485 (23.8%)	5,256,712 (34.5%)	3,890,527 (25.5%)	468,726 (3.1%)	15,250,015 (100.0%)	88.2	163.9	223.5	559.5	347.5	198.8
参考: 前回調査	2,120,704 (13.8%)	3,769,769 (24.5%)	5,497,379 (35.7%)	3,630,855 (23.6%)	364,552 (2.4%)	15,383,259 (100.0%)	95.7	173.6	235.9	564.0	309.7	205.7

図表2-25 地域指定別・地域区分別 集落人口及び1集落あたり平均人口 【全体】

全体	地域区分別 集落人口						地域区分別 集落あたり平均人口					
	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	計	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	全体
過疎地域	1,512,719 (14.6%)	2,742,881 (26.5%)	3,745,482 (36.2%)	2,273,716 (22.0%)	82,786 (0.8%)	10,357,584 (100.0%)	75.9	146.4	190.4	514.1	179.2	163.8
振興山村	1,312,972 (39.3%)	1,052,217 (31.5%)	583,277 (17.4%)	229,195 (6.9%)	165,600 (5.0%)	3,343,261 (100.0%)	83.1	143.5	181.4	666.3	561.4	123.9
離島	57,700 (15.8%)	123,554 (33.8%)	145,600 (39.8%)	22,523 (6.2%)	16,079 (4.4%)	365,456 (100.0%)	112.5	147.6	165.8	363.3	342.1	156.4
半島	318,783 (8.3%)	953,367 (24.8%)	1,634,786 (42.6%)	885,199 (23.1%)	46,838 (1.2%)	3,838,973 (100.0%)	106.5	218.9	303.6	543.4	214.9	263.3
特別豪雪地帯	218,972 (8.2%)	454,200 (17.1%)	849,419 (32.0%)	897,450 (33.8%)	234,225 (8.8%)	2,654,266 (100.0%)	85.1	152.4	202.9	572.0	298.4	219.5

### 【過疎地域のみ】

- 過疎地域における1集落あたり平均人口を地域区分別でみると、条件不利地域全体と同様、山間地集落(75.9人/集落)と都市的地域にある集落(514.1人/集落)とでは大きな開きがみられる。
- 地方ブロック別で1集落あたり平均人口を比較すると、山間地、中間地、平地のそれぞれで集落あたりの平均人口が最も多いのは沖縄県であり、平地集落は唯一400人/集落を超えている。また、都市的地域にある集落は北海道で1,794.8人/集落と最も集落規模が大きくなっている。
- 一方、1集落あたり平均人口が最も少ないのは、山間地集落では四国圏の49.1人/集落であり、中間地、平地、都市的地域のそれぞれでは中国圏が最小となっている。

図表2-26 地方ブロック別・地域区分別集落人口及び1集落あたり平均人口【過疎地域のみ】

過疎地域	地域区分別 集落人口						地域区分別 集落あたり平均人口					
	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	計	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	全体
1 北海道	64,165 (4.3%)	197,190 (13.3%)	362,920 (24.4%)	838,176 (56.4%)	22,498 (1.5%)	1,484,949 (100.0%)	101.0	202.2	227.4	1,794.8	312.5	396.5
2 東北圏	335,308 (13.3%)	637,838 (25.2%)	1,020,074 (40.3%)	500,077 (19.8%)	35,940 (1.4%)	2,529,237 (100.0%)	99.0	167.3	188.7	403.9	166.4	179.9
3 首都圏	92,058 (22.8%)	135,006 (33.5%)	158,500 (39.3%)	17,320 (4.3%)	0 (0.0%)	402,884 (100.0%)	106.3	208.3	306.6	597.2	-	195.6
4 北陸圏	37,309 (12.5%)	53,346 (17.8%)	152,678 (51.1%)	55,583 (18.6%)	0 (0.0%)	298,916 (100.0%)	63.5	124.3	178.4	282.1	-	144.4
5 中部圏	185,250 (35.6%)	174,199 (33.5%)	110,592 (21.3%)	41,372 (8.0%)	8,763 (1.7%)	520,176 (100.0%)	90.7	174.0	254.8	544.4	243.4	144.9
6 近畿圏	144,025 (20.1%)	240,269 (33.5%)	200,610 (28.0%)	130,646 (18.2%)	1,069 (0.1%)	716,619 (100.0%)	92.8	208.9	323.0	508.4	118.8	199.7
7 中国圏	256,686 (22.4%)	412,899 (36.0%)	338,827 (29.5%)	131,706 (11.5%)	7,486 (0.7%)	1,147,604 (100.0%)	56.1	99.7	124.3	163.2	66.2	92.8
8 四国圏	124,967 (17.4%)	195,535 (27.3%)	294,514 (41.1%)	98,552 (13.8%)	3,131 (0.4%)	716,699 (100.0%)	49.1	103.3	144.4	203.2	347.9	102.8
9 九州圏	266,119 (10.9%)	682,587 (28.0%)	1,023,947 (42.0%)	460,284 (18.9%)	3,899 (0.2%)	2,436,836 (100.0%)	71.9	147.3	193.2	530.9	557.0	168.0
10 沖縄県	6,832 (6.6%)	14,012 (13.5%)	82,820 (79.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	103,664 (100.0%)	195.2	269.5	452.6	-	-	383.9
合計	1,512,719 (14.6%)	2,742,881 (26.5%)	3,745,482 (36.2%)	2,273,716 (22.0%)	82,786 (0.8%)	10,357,584 (100.0%)	75.9	146.4	190.3	514.1	179.2	163.8

#### ④人口規模別 集落数

##### 【全体】

- 人口規模別集落数をみると、25人未満の集落が全体の13.7%を占め、100人未満の集落では53.4%と半数以上を占めている。
- 地域指定別でみると、特に振興山村において人口規模の小さな集落が多く、50人未満の集落が44.8%を占めている。一方、半島地域では比較的規模の大きい集落の割合が高く、3割超の集落が200人以上の規模となっている。

図表2-27 人口規模別 集落数【全体】

全体	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
合計	2,991 (3.9%)	7,543 (9.8%)	12,786 (16.7%)	17,624 (23.0%)	16,526 (21.5%)	12,549 (16.4%)	3,690 (4.8%)	1,898 (2.5%)	1,103 (1.4%)	76,710 (100.0%)
参考： 前回調査	2,514 (3.3%)	6,507 (8.6%)	12,284 (16.2%)	17,520 (23.2%)	17,028 (22.5%)	13,243 (17.5%)	3,779 (5.0%)	1,902 (2.5%)	885 (1.2%)	75,662 (100.0%)

図表2-28 地域指定別・人口規模別 集落数【全体】

全体	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
過疎地域	2,678 (4.2%)	6,914 (10.9%)	11,594 (18.3%)	15,428 (24.4%)	13,609 (21.5%)	9,292 (14.7%)	2,233 (3.5%)	911 (1.4%)	578 (0.9%)	63,237 (100.0%)
振興山村	1,824 (6.8%)	4,309 (16.0%)	5,972 (22.1%)	6,217 (23.0%)	4,660 (17.3%)	2,717 (10.1%)	576 (2.1%)	336 (1.2%)	383 (1.4%)	26,994 (100.0%)
離島	98 (4.2%)	195 (8.3%)	379 (16.2%)	624 (26.7%)	495 (21.2%)	345 (14.8%)	92 (3.9%)	36 (1.5%)	73 (3.1%)	2,337 (100.0%)
半島	379 (2.6%)	974 (6.7%)	1,844 (12.6%)	3,187 (21.9%)	3,293 (22.6%)	2,819 (19.3%)	994 (6.8%)	687 (4.7%)	407 (2.8%)	14,584 (100.0%)
特別豪雪地帯	470 (3.9%)	912 (7.5%)	1,788 (14.8%)	2,776 (22.9%)	2,862 (23.6%)	2,202 (18.2%)	597 (4.9%)	338 (2.8%)	157 (1.3%)	12,102 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域における集落について人口規模別で見ると、25 人未満の集落が全体の 15.2%を占め、100 人未満の集落では 57.9%と半数以上を占めている。
- 地方ブロック別で見ると、中国圏及び四国圏において小規模な集落の割合が他のブロックより高くなっており、特に中国地方では人口 100 人未満の集落の割合が全体の 75%以上を占めている。
- 一方、人口が 200 人を超える集落の割合は沖縄県において最も高くなっている。

図表2-29 地方ブロック別・人口規模別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
1 北海道	163 (4.4%)	405 (10.8%)	694 (18.5%)	738 (19.7%)	724 (19.3%)	618 (16.5%)	221 (5.9%)	182 (4.9%)	1 (0.0%)	3,746 (100.0%)
2 東北圏	365 (2.6%)	834 (5.9%)	1,923 (13.7%)	3,521 (25.0%)	3,809 (27.1%)	2,694 (19.2%)	554 (3.9%)	202 (1.4%)	165 (1.2%)	14,067 (100.0%)
3 首都圏	42 (2.0%)	159 (7.7%)	282 (13.7%)	460 (22.3%)	494 (24.0%)	438 (21.3%)	109 (5.3%)	42 (2.0%)	34 (1.7%)	2,060 (100.0%)
4 北陸圏	113 (5.5%)	176 (8.5%)	306 (14.8%)	584 (28.2%)	505 (24.4%)	292 (14.1%)	72 (3.5%)	22 (1.1%)	0 (0.0%)	2,070 (100.0%)
5 中部圏	205 (5.7%)	447 (12.5%)	696 (19.4%)	801 (22.3%)	757 (21.1%)	506 (14.1%)	133 (3.7%)	44 (1.2%)	0 (0.0%)	3,589 (100.0%)
6 近畿圏	132 (3.7%)	303 (8.4%)	494 (13.8%)	821 (22.9%)	913 (25.4%)	662 (18.4%)	166 (4.6%)	81 (2.3%)	17 (0.5%)	3,589 (100.0%)
7 中国圏	741 (6.0%)	2,221 (18.0%)	3,287 (26.6%)	3,178 (25.7%)	1,683 (13.6%)	847 (6.8%)	192 (1.6%)	82 (0.7%)	137 (1.1%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	516 (7.4%)	1,041 (14.9%)	1,520 (21.8%)	1,742 (25.0%)	1,242 (17.8%)	625 (9.0%)	110 (1.6%)	47 (0.7%)	127 (1.8%)	6,970 (100.0%)
9 九州圏	399 (2.8%)	1,326 (9.1%)	2,379 (16.4%)	3,560 (24.5%)	3,419 (23.6%)	2,509 (17.3%)	630 (4.3%)	189 (1.3%)	97 (0.7%)	14,508 (100.0%)
10 沖縄県	2 (0.7%)	2 (0.7%)	13 (4.8%)	23 (8.5%)	63 (23.3%)	101 (37.4%)	46 (17.0%)	20 (7.4%)	0 (0.0%)	270 (100.0%)
合計	2,678 (4.2%)	6,914 (10.9%)	11,594 (18.3%)	15,428 (24.4%)	13,609 (21.5%)	9,292 (14.7%)	2,233 (3.5%)	911 (1.4%)	578 (0.9%)	63,237 (100.0%)

- 集落類型別で見ると、基礎集落では 100 人未満の集落が 63.1%を占めているのに対して、基幹集落や中心集落では約7割の集落が 100 人以上の人口規模となっている。

図表2-30 集落類型別・人口規模別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
基礎集落	2,571 (4.9%)	6,445 (12.4%)	10,437 (20.1%)	13,371 (25.7%)	10,906 (21.0%)	6,376 (12.3%)	1,161 (2.2%)	302 (0.6%)	476 (0.9%)	52,045 (100.0%)
基幹集落	31 (0.5%)	230 (3.5%)	698 (10.7%)	1,239 (19.0%)	1,754 (26.8%)	1,730 (26.5%)	552 (8.4%)	235 (3.6%)	65 (1.0%)	6,534 (100.0%)
中心集落	31 (0.8%)	135 (3.4%)	336 (8.4%)	669 (16.8%)	844 (21.2%)	1,085 (27.2%)	491 (12.3%)	370 (9.3%)	25 (0.6%)	3,986 (100.0%)
無回答	45 (6.7%)	104 (15.5%)	123 (18.3%)	149 (22.2%)	105 (15.6%)	101 (15.0%)	29 (4.3%)	4 (0.6%)	12 (1.8%)	672 (100.0%)
合計	2,678 (4.2%)	6,914 (10.9%)	11,594 (18.3%)	15,428 (24.4%)	13,609 (21.5%)	9,292 (14.7%)	2,233 (3.5%)	911 (1.4%)	578 (0.9%)	63,237 (100.0%)

- 地域区別でみると、山間地集落の5割超が人口 50 人未満の集落であるのに対して、都市的地域の集落の半数近くは人口が 200 人以上の集落となっている。

図表2-31 地域区別・人口規模別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
山間地	1,822 (9.1%)	3,956 (19.8%)	5,081 (25.5%)	4,590 (23.0%)	2,824 (14.2%)	1,226 (6.2%)	195 (1.0%)	45 (0.2%)	193 (1.0%)	19,932 (100.0%)
中間地	490 (2.6%)	1,666 (8.9%)	3,416 (18.2%)	5,063 (27.0%)	4,373 (23.3%)	2,748 (14.7%)	530 (2.8%)	220 (1.2%)	233 (1.2%)	18,739 (100.0%)
平地	309 (1.6%)	1,060 (5.4%)	2,611 (13.3%)	4,900 (24.9%)	5,323 (27.1%)	4,014 (20.4%)	985 (5.0%)	349 (1.8%)	127 (0.6%)	19,678 (100.0%)
都市的地域	44 (1.0%)	189 (4.3%)	410 (9.3%)	773 (17.5%)	983 (22.2%)	1,224 (27.7%)	497 (11.2%)	290 (6.6%)	14 (0.3%)	4,424 (100.0%)
無回答	13 (2.8%)	43 (9.3%)	76 (16.4%)	102 (22.0%)	106 (22.8%)	80 (17.2%)	26 (5.6%)	7 (1.5%)	11 (2.4%)	464 (100.0%)
合計	2,678 (4.2%)	6,914 (10.9%)	11,594 (18.3%)	15,428 (24.4%)	13,609 (21.5%)	9,292 (14.7%)	2,233 (3.5%)	911 (1.4%)	578 (0.9%)	63,237 (100.0%)

- 役場(本庁)までの距離別でみると、本庁までの距離が遠いほど小規模な集落が占める割合が大きくなる傾向がみられ、本庁から 20 km以上離れた集落の5割超は 50 人未満の人口規模となっている。

図表2-32 役場(本庁)までの距離別・人口規模別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
5km未満	249 (1.3%)	989 (5.1%)	2,449 (12.7%)	4,332 (22.5%)	4,912 (25.5%)	4,326 (22.4%)	1,296 (6.7%)	627 (3.3%)	93 (0.5%)	19,273 (100.0%)
5km以上 10km未満	433 (3.1%)	1,255 (8.9%)	2,517 (17.8%)	3,811 (27.0%)	3,419 (24.2%)	2,071 (14.7%)	397 (2.8%)	125 (0.9%)	105 (0.7%)	14,133 (100.0%)
10km以上 20km未満	899 (5.4%)	2,258 (13.6%)	3,560 (21.4%)	4,174 (25.1%)	3,241 (19.5%)	1,858 (11.2%)	333 (2.0%)	98 (0.6%)	189 (1.1%)	16,610 (100.0%)
20km以上	1,078 (8.5%)	2,362 (18.6%)	2,983 (23.5%)	2,987 (23.5%)	1,932 (15.2%)	939 (7.4%)	191 (1.5%)	56 (0.4%)	178 (1.4%)	12,706 (100.0%)
無回答	19 (3.7%)	50 (9.7%)	85 (16.5%)	124 (24.1%)	105 (20.4%)	98 (19.0%)	16 (3.1%)	5 (1.0%)	13 (2.5%)	515 (100.0%)
合計	2,678 (4.2%)	6,914 (10.9%)	11,594 (18.3%)	15,428 (24.4%)	13,609 (21.5%)	9,292 (14.7%)	2,233 (3.5%)	911 (1.4%)	578 (0.9%)	63,237 (100.0%)

- 集落における高齢者(65歳以上人口)の割合別でみると、10人未満の小規模集落の構成比は高齢者割合が高い集落ほど大きく、高齢者割合が 100%(集落住民全員が 65歳以上)の集落の8割近くが 10人未満の集落となっている。また、高齢者割合が 75%以上 100%未満の集落も、約4分の3が 25人未満の小規模集落となっている。

図表2-33 65歳以上人口割合別・人口規模別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
50%未満	602 (1.4%)	2,293 (5.5%)	5,825 (13.9%)	10,630 (25.3%)	11,265 (26.9%)	8,348 (19.9%)	2,107 (5.0%)	870 (2.1%)	0 (0.0%)	41,940 (100.0%)
50%以上 75%未満	783 (4.5%)	3,414 (19.8%)	5,187 (30.1%)	4,561 (26.5%)	2,247 (13.0%)	888 (5.2%)	113 (0.7%)	31 (0.2%)	0 (0.0%)	17,224 (100.0%)
75%以上 100%未満	542 (24.7%)	1,059 (48.3%)	433 (19.8%)	113 (5.2%)	34 (1.6%)	10 (0.5%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2,192 (100.0%)
100%	735 (76.9%)	100 (10.5%)	56 (5.9%)	61 (6.4%)	4 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	956 (100.0%)
無回答	16 (1.7%)	48 (5.2%)	93 (10.1%)	63 (6.8%)	59 (6.4%)	46 (5.0%)	12 (1.3%)	10 (1.1%)	578 (62.5%)	925 (100.0%)
合計	2,678 (4.2%)	6,914 (10.9%)	11,594 (18.3%)	15,428 (24.4%)	13,609 (21.5%)	9,292 (14.7%)	2,233 (3.5%)	911 (1.4%)	578 (0.9%)	63,237 (100.0%)

- 近年の転入者の有無(詳細は後述)別でみると、転入者がいるとされる集落の多くは集落人口が50人以上500人未満の中規模集落であるが、22.8%は50人未満の比較的小規模な集落である。また、10人未満の小規模集落においても近年転入がみられる集落は291集落(1.1%)存在している。

図表2-34 転入者の有無別・人口規模別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の人口規模 (人)									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
転入者がいる	291 (1.1%)	1,585 (6.2%)	3,942 (15.5%)	6,564 (25.8%)	6,468 (25.4%)	4,812 (18.9%)	1,209 (4.7%)	558 (2.2%)	52 (0.2%)	25,481 (100.0%)
転入者はいない	1,080 (20.1%)	1,650 (30.6%)	1,521 (28.3%)	809 (15.0%)	230 (4.3%)	53 (1.0%)	6 (0.1%)	2 (0.0%)	33 (0.6%)	5,384 (100.0%)
分からない	1,177 (3.8%)	3,350 (10.9%)	5,834 (19.0%)	7,740 (25.3%)	6,636 (21.7%)	4,248 (13.9%)	977 (3.2%)	329 (1.1%)	353 (1.2%)	30,644 (100.0%)
無回答	130 (7.5%)	329 (19.0%)	297 (17.2%)	315 (18.2%)	275 (15.9%)	179 (10.4%)	41 (2.4%)	22 (1.3%)	140 (8.1%)	1,728 (100.0%)
合計	2,678 (4.2%)	6,914 (10.9%)	11,594 (18.3%)	15,428 (24.4%)	13,609 (21.5%)	9,292 (14.7%)	2,233 (3.5%)	911 (1.4%)	578 (0.9%)	63,237 (100.0%)

- 集落支援員等のサポート人材が活動している集落かどうか(詳細は後述)の別でみると、サポート人材が活動している集落の約4割を50人未満の比較的小規模な集落が占めている。

図表2-35 サポート人材の有無別・人口規模別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の人口規模 (人)									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
サポート人材あり	1,187 (5.4%)	3,046 (13.8%)	4,491 (20.4%)	5,369 (24.4%)	4,302 (19.6%)	2,594 (11.8%)	572 (2.6%)	240 (1.1%)	196 (0.9%)	21,997 (100.0%)
集落支援員	730 (5.7%)	1,865 (14.5%)	2,856 (22.2%)	3,241 (25.2%)	2,415 (18.8%)	1,352 (10.5%)	260 (2.0%)	72 (0.6%)	60 (0.5%)	12,851 (100.0%)
地域おこし協力隊	717 (5.2%)	2,082 (15.2%)	2,966 (21.6%)	3,278 (23.9%)	2,512 (18.3%)	1,471 (10.7%)	353 (2.6%)	190 (1.4%)	171 (1.2%)	13,740 (100.0%)
その他	103 (7.4%)	215 (15.5%)	210 (15.1%)	297 (21.4%)	244 (17.6%)	221 (15.9%)	68 (4.9%)	14 (1.0%)	16 (1.2%)	1,388 (100.0%)
サポート人材なし	1,491 (3.6%)	3,868 (9.4%)	7,103 (17.2%)	10,059 (24.4%)	9,307 (22.6%)	6,698 (16.2%)	1,661 (4.0%)	671 (1.6%)	382 (0.9%)	41,240 (100.0%)
合計	2,678 (4.2%)	6,914 (10.9%)	11,594 (18.3%)	15,428 (24.4%)	13,609 (21.5%)	9,292 (14.7%)	2,233 (3.5%)	911 (1.4%)	578 (0.9%)	63,237 (100.0%)

### (3) 集落の世帯数規模

#### ①市町村別集落世帯数及び1集落あたり平均世帯数

##### 【全体】

- 居住者がいる全集落(76,710 集落)のうち集落ごとの世帯数について回答が得られた 76,510 集落の世帯数を合計すると6,750,925 世帯であり、このうち市部が 71.6%、町部が 26.0%、村部が 2.4%となっている。
- 1集落あたり平均世帯数をみると、全体平均では 88.2 世帯/集落であり、前回調査の 86.4 世帯/集落より約 2 世帯減少した。市町村区分別で比較すると、市部(97.7 世帯/集落)と村部(54.5 世帯/集落)では、集落あたり約 43 世帯の差がみられる。
- 地域指定別でみると、1集落あたり平均世帯数が最も多いのは半島地域で 118.4 世帯/集落となっている。一方、1集落あたり平均世帯数が最も少ないのは、振興山村の 54.2 世帯/集落である。

図表2-36 市町村別 集落世帯数及び1集落あたり平均世帯数 【全体】

全体	市町村別 集落世帯数				市町村別 集落あたり平均世帯数			
	市	町	村	計	市	町	村	全体
合計	4,831,428 (71.6%)	1,756,628 (26.0%)	162,869 (2.4%)	6,750,925 (100.0%)	97.7	73.0	54.5	88.2
参考: 前回調査	4,490,571 (70.4%)	1,725,296 (27.0%)	163,071 (2.6%)	6,378,938 (100.0%)	94.5	73.9	55.9	86.4

図表2-37 地域指定別・市町村別 集落世帯数及び1集落あたり平均世帯数 【全体】

全体	市町村別 集落世帯数				市町村別 集落あたり平均世帯数			
	市	町	村	計	市	町	村	全体
過疎地域	3,097,089 (66.3%)	1,448,652 (31.0%)	122,524 (2.6%)	4,668,265 (100.0%)	79.6	66.9	47.1	73.9
振興山村	787,179 (53.9%)	574,468 (39.3%)	98,949 (6.8%)	1,460,596 (100.0%)	55.5	53.8	47.3	54.2
離島	106,831 (57.9%)	71,497 (38.7%)	6,272 (3.4%)	184,600 (100.0%)	67.0	101.8	156.8	79.0
半島	1,247,712 (72.7%)	450,163 (26.2%)	19,526 (1.1%)	1,717,401 (100.0%)	125.0	106.0	71.3	118.4
特別豪雪地帯	815,677 (72.5%)	276,562 (24.6%)	33,328 (3.0%)	1,125,567 (100.0%)	106.7	72.2	53.2	93.0

### 【過疎地域のみ】

- 過疎地域における集落について、1集落あたり平均世帯数をみると、全体平均で 73.9 世帯であり、市部 (79.6 世帯/集落)と村部(47.1 世帯/集落)では約 32 世帯の差がみられる。
- 地方ブロック別でみると、北海道や沖縄県では 200 世帯/集落前後と規模が大きくなっている。一方、中国圏や四国圏では1集落あたり世帯数が少なく、特に中国圏は 41.8 世帯/集落と最も小規模である。
- なお、市町村別でみると、中国圏では市部、町部、村部を問わず1集落あたり平均世帯数が少ないが、最も1集落あたり平均世帯数が少ないのは中部圏の村部であり、31.0 世帯/集落と、過疎地域全体の平均(73.9 世帯/集落)の半分以下の規模である。

図表2-38 地方ブロック別・市町村別集落世帯数及び集落あたり平均世帯数【過疎地域のみ】

過疎地域	市町村別 集落世帯数				市町村別 集落あたり平均世帯数			
	市	町	村	計	市	町	村	全体
1 北海道	457,122 (58.5%)	313,094 (40.1%)	11,330 (1.4%)	781,546 (100.0%)	583.8	113.4	56.4	208.7
2 東北圏	714,431 (70.0%)	276,898 (27.1%)	28,978 (2.8%)	1,020,307 (100.0%)	78.3	64.1	52.7	72.9
3 首都圏	58,196 (33.2%)	103,453 (59.1%)	13,427 (7.7%)	175,076 (100.0%)	104.1	81.3	58.6	85.0
4 北陸圏	85,374 (73.6%)	30,595 (26.4%)	0 (0.0%)	115,969 (100.0%)	58.8	49.6	-	56.0
5 中部圏	123,866 (55.4%)	79,554 (35.6%)	20,300 (9.1%)	223,720 (100.0%)	69.7	68.7	31.0	62.3
6 近畿圏	198,476 (62.2%)	106,131 (33.3%)	14,364 (4.5%)	318,971 (100.0%)	96.5	85.7	49.0	88.9
7 中国圏	391,709 (75.9%)	123,331 (23.9%)	1,354 (0.3%)	516,394 (100.0%)	41.3	43.2	50.1	41.8
8 四国圏	208,454 (60.8%)	131,561 (38.4%)	2,747 (0.8%)	342,762 (100.0%)	57.8	40.1	32.7	49.2
9 九州圏	832,486 (74.2%)	270,292 (24.1%)	18,618 (1.7%)	1,121,396 (100.0%)	83.6	66.4	39.0	77.3
10 沖縄県	26,975 (51.8%)	13,743 (26.4%)	11,406 (21.9%)	52,124 (100.0%)	256.9	169.7	135.8	193.1
合計	3,097,089 (66.3%)	1,448,652 (31.0%)	122,524 (2.6%)	4,668,265 (100.0%)	79.6	66.9	47.1	73.9

## ②過疎区分別集落世帯数及び1集落あたり平均世帯数

### 【過疎地域のみ】

- 1集落あたり平均世帯数について現市町村の過疎区分別で見ると、みなし過疎市町村において88.9世帯/集落と最も大きく、過疎市町村(74.6世帯/集落)と15世帯近く差がみられる。
- 地方ブロック別で見ると、中国圏の過疎市町村(38.1世帯/集落)や四国圏の過疎市町村(51.0世帯/集落)で特に1集落あたり平均世帯数が少なくなっている。

図表2-39 地方ブロック別・過疎区分別集落世帯数及び集落あたり平均世帯数 【過疎地域のみ】

過疎地域	現市町村の過疎区分別 集落世帯数				現市町村の過疎区分別 集落あたり平均世帯数			
	過疎	みなし過疎	一部過疎	計	過疎	みなし過疎	一部過疎	全体
1 北海道	767,787 (98.2%)	0 (0.0%)	13,759 (1.8%)	781,546 (100.0%)	212.0	-	111.9	208.7
2 東北圏	630,815 (61.8%)	279,653 (27.4%)	109,839 (10.8%)	1,020,307 (100.0%)	68.8	84.4	72.7	72.9
3 首都圏	140,026 (80.0%)	0 (0.0%)	35,050 (20.0%)	175,076 (100.0%)	86.0	-	81.3	85.0
4 北陸圏	99,325 (85.6%)	0 (0.0%)	16,644 (14.4%)	115,969 (100.0%)	57.1	-	50.4	56.0
5 中部圏	153,842 (68.8%)	12,144 (5.4%)	57,734 (25.8%)	223,720 (100.0%)	71.6	105.6	43.5	62.3
6 近畿圏	237,023 (74.3%)	59,889 (18.8%)	22,059 (6.9%)	318,971 (100.0%)	86.3	146.8	50.6	88.9
7 中国圏	391,476 (75.8%)	50,295 (9.7%)	74,623 (14.5%)	516,394 (100.0%)	38.1	57.2	61.9	41.8
8 四国圏	302,819 (88.3%)	16,077 (4.7%)	23,866 (7.0%)	342,762 (100.0%)	51.0	63.5	30.8	49.2
9 九州圏	925,873 (82.6%)	82,495 (7.4%)	113,028 (10.1%)	1,121,396 (100.0%)	78.3	96.1	62.0	77.3
10 沖縄県	25,149 (48.2%)	26,975 (51.8%)	0 (0.0%)	52,124 (100.0%)	152.4	256.9	-	193.1
合計	3,674,135 (78.7%)	527,528 (11.3%)	466,602 (10.0%)	4,668,265 (100.0%)	74.6	88.9	58.6	73.9

### ③地域区分別集落世帯数及び1集落あたり平均世帯数

#### 【全体】

- 1集落あたり平均世帯数について地域区分別でみると、山間地では 39.0 世帯/集落と、全体平均(88.2 世帯/集落)の半分以下の規模であるのに対して、都市的地域にある集落では 267.4 世帯/集落と大きな開きがみられる。
- 地域指定別でみると、地域区分別でみて最も小規模な山間地集落の中でも過疎地域の山間地集落は 34.0 世帯/集落と最も規模が小さい。

図表2-40 地域区分別 集落世帯数及び1集落あたり平均世帯数【全体】

全体	地域区分別 集落世帯数						地域区分別 集落あたり平均世帯数					
	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	計	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	全体
合計	884,192 (13.1%)	1,578,957 (23.4%)	2,240,050 (33.2%)	1,853,169 (27.5%)	194,557 (2.9%)	6,750,925 (100.0%)	39.0	71.6	95.4	267.4	144.3	88.2
参考: 前回調査	858,564 (13.5%)	1,510,618 (23.7%)	2,198,570 (34.5%)	1,645,773 (25.8%)	165,413 (2.6%)	6,378,938 (100.0%)	39.1	70.8	95.8	256.4	145.0	86.4

図表2-41 地域指定別・地域区分別 集落世帯数及び1集落あたり平均世帯数【全体】

全体	地域区分別 集落世帯数						地域区分別 集落あたり平均世帯数					
	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	計	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	全体
過疎地域	676,393 (14.5%)	1,207,926 (25.9%)	1,618,816 (34.7%)	1,129,745 (24.2%)	35,385 (0.8%)	4,668,265 (100.0%)	34.0	64.6	82.4	255.4	76.6	73.9
振興山村	577,213 (39.5%)	444,074 (30.4%)	258,690 (17.7%)	113,630 (7.8%)	66,989 (4.6%)	1,460,596 (100.0%)	36.6	60.7	80.5	330.3	227.1	54.2
離島	29,344 (15.9%)	61,975 (33.6%)	72,820 (39.4%)	12,034 (6.5%)	8,427 (4.6%)	184,600 (100.0%)	57.2	74.0	82.9	194.1	179.3	79.0
半島	149,603 (8.7%)	430,059 (25.0%)	709,537 (41.3%)	407,996 (23.8%)	20,206 (1.2%)	1,717,401 (100.0%)	50.3	99.2	132.5	252.5	92.3	118.4
特別豪雪地帯	91,455 (8.1%)	188,992 (16.8%)	337,426 (30.0%)	413,361 (36.7%)	94,333 (8.4%)	1,125,567 (100.0%)	35.5	63.4	80.6	263.5	120.2	93.0

【過疎地域のみ】

- 過疎地域における1集落あたり平均世帯数について地域区分別でみると、山間地集落では 34.0 世帯/集落と1集落あたり平均世帯数が最も少なく、中間地集落についても 64.6 世帯/集落と、全体平均(73.9 世帯/集落)より小規模である。
- さらに地方ブロック別でみると、四国圏及び中国圏の集落は全体平均で1集落あたり平均 50 世帯未満と小規模である。
- また、特に山間地・中間地集落についてみると、北陸圏、中国圏及び四国圏では、それぞれの地域区分別の全体平均よりも小規模である。

図表2-42 地方ブロック別・地域区分別集落世帯数及び集落あたり平均世帯数 【過疎地域のみ】

過疎地域	地域区分別 集落世帯数						地域区分別 集落あたり平均世帯数					
	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	計	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	全体
1 北海道	32,577 (4.2%)	102,141 (13.1%)	177,937 (22.8%)	457,759 (58.6%)	11,132 (1.4%)	781,546 (100.0%)	51.3	104.8	111.5	980.2	154.6	208.7
2 東北圏	136,110 (13.3%)	251,151 (24.6%)	394,303 (38.6%)	226,285 (22.2%)	12,458 (1.2%)	1,020,307 (100.0%)	40.5	66.4	73.2	182.8	57.7	72.9
3 首都圏	42,300 (24.2%)	57,454 (32.8%)	67,000 (38.3%)	8,322 (4.8%)	0 (0.0%)	175,076 (100.0%)	48.8	88.7	129.6	287.0	-	85.0
4 北陸圏	15,108 (13.0%)	20,872 (18.0%)	57,769 (49.8%)	22,220 (19.2%)	0 (0.0%)	115,969 (100.0%)	25.7	48.7	67.5	112.8	-	56.0
5 中部圏	81,185 (36.3%)	72,791 (32.5%)	45,889 (20.5%)	19,665 (8.8%)	4,190 (1.9%)	223,720 (100.0%)	39.8	72.7	105.7	258.8	116.4	62.3
6 近畿圏	65,041 (20.4%)	103,370 (32.4%)	86,190 (27.0%)	63,880 (20.0%)	490 (0.2%)	318,971 (100.0%)	41.9	89.9	138.8	248.6	54.4	88.9
7 中国圏	114,645 (22.2%)	185,177 (35.9%)	150,555 (29.2%)	62,555 (12.1%)	3,462 (0.7%)	516,394 (100.0%)	25.1	44.8	55.2	77.5	30.6	41.8
8 四国圏	62,356 (18.2%)	93,767 (27.4%)	137,191 (40.0%)	47,860 (14.0%)	1,588 (0.5%)	342,762 (100.0%)	24.5	49.6	67.3	98.7	176.4	49.2
9 九州圏	123,578 (11.0%)	313,896 (28.0%)	460,658 (41.1%)	221,199 (19.7%)	2,065 (0.2%)	1,121,396 (100.0%)	33.4	67.8	87.0	255.1	295.0	77.3
10 沖縄県	3,493 (6.7%)	7,307 (14.0%)	41,324 (79.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	52,124 (100.0%)	99.8	140.5	225.8	-	-	193.1
合計	676,393 (14.5%)	1,207,926 (25.9%)	1,618,816 (34.7%)	1,129,745 (24.2%)	35,385 (0.8%)	4,668,265 (100.0%)	34.0	64.6	82.4	255.4	76.6	73.9

#### ④世帯数規模別 集落数

##### 【全体】

- 世帯規模別集落数をみると、20 世帯未満の集落が全体の 27.5%を占め、30 世帯未満の集落は 41.3%と4割強を占める。
- 地域指定別でみると、30 世帯未満の集落の割合は振興山村において最も高く、100 世帯以上の集落の割合は半島地域において最も高い。

図表2-43 世帯数規模別 集落数【全体】

全体	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
合計	7,994 (10.4%)	13,107 (17.1%)	10,614 (13.8%)	13,676 (17.8%)	15,105 (19.7%)	8,780 (11.4%)	4,880 (6.4%)	1,562 (2.0%)	992 (1.3%)	76,710 (100.0%)
参考： 前回調査	7,260 (9.6%)	12,811 (16.9%)	10,461 (13.8%)	13,743 (18.2%)	14,818 (19.6%)	8,572 (11.3%)	4,672 (6.2%)	1,443 (1.9%)	1,882 (2.5%)	75,662 (100.0%)

図表2-44 地域指定別・世帯数規模別 集落数【全体】

全体	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
過疎地域	7,236 (11.4%)	11,852 (18.7%)	9,340 (14.8%)	11,706 (18.5%)	12,259 (19.4%)	6,451 (10.2%)	3,045 (4.8%)	789 (1.2%)	559 (0.9%)	63,237 (100.0%)
振興山村	4,691 (17.4%)	6,405 (23.7%)	4,080 (15.1%)	4,469 (16.6%)	4,023 (14.9%)	1,848 (6.8%)	792 (2.9%)	273 (1.0%)	413 (1.5%)	26,994 (100.0%)
離島	206 (8.8%)	322 (13.8%)	299 (12.8%)	458 (19.6%)	511 (21.9%)	287 (12.3%)	146 (6.2%)	36 (1.5%)	72 (3.1%)	2,337 (100.0%)
半島	905 (6.2%)	1,676 (11.5%)	1,661 (11.4%)	2,727 (18.7%)	3,259 (22.3%)	2,116 (14.5%)	1,356 (9.3%)	560 (3.8%)	324 (2.2%)	14,584 (100.0%)
特別豪雪地帯	1,255 (10.4%)	1,958 (16.2%)	1,745 (14.4%)	2,216 (18.3%)	2,354 (19.5%)	1,401 (11.6%)	738 (6.1%)	284 (2.3%)	151 (1.2%)	12,102 (100.0%)

### 【過疎地域のみ】

- 過疎地域における集落を世帯数規模別で見ると、20 世帯未満の集落が全体の 30.2%を占め、30 世帯未満の集落は 45.0%と半数近くを占める。
- 地方ブロック別で見ると、30 世帯未満の集落の割合は中国圏及び四国圏において高く、中国圏では6割超の集落が、四国圏では5割超の集落が 30 世帯未満の小規模集落となっている。
- 一方、北海道や沖縄県では、集落の人口規模と同様に世帯数規模も大きい集落が占める割合が高い。

図表2-45 地方ブロック別・世帯数規模別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
1 北海道	461 (12.3%)	688 (18.4%)	428 (11.4%)	492 (13.1%)	656 (17.5%)	467 (12.5%)	359 (9.6%)	194 (5.2%)	1 (0.0%)	3,746 (100.0%)
2 東北圏	1,102 (7.8%)	2,150 (15.3%)	2,154 (15.3%)	2,882 (20.5%)	3,122 (22.2%)	1,589 (11.3%)	679 (4.8%)	151 (1.1%)	238 (1.7%)	14,067 (100.0%)
3 首都圏	139 (6.7%)	276 (13.4%)	259 (12.6%)	408 (19.8%)	458 (22.2%)	309 (15.0%)	142 (6.9%)	35 (1.7%)	34 (1.7%)	2,060 (100.0%)
4 北陸圏	239 (11.5%)	360 (17.4%)	336 (16.2%)	476 (23.0%)	384 (18.6%)	190 (9.2%)	73 (3.5%)	12 (0.6%)	0 (0.0%)	2,070 (100.0%)
5 中部圏	508 (14.2%)	697 (19.4%)	514 (14.3%)	661 (18.4%)	697 (19.4%)	314 (8.7%)	169 (4.7%)	29 (0.8%)	0 (0.0%)	3,589 (100.0%)
6 近畿圏	288 (8.0%)	476 (13.3%)	477 (13.3%)	700 (19.5%)	861 (24.0%)	469 (13.1%)	236 (6.6%)	65 (1.8%)	17 (0.5%)	3,589 (100.0%)
7 中国圏	2,207 (17.8%)	3,557 (28.8%)	2,148 (17.4%)	2,001 (16.2%)	1,447 (11.7%)	608 (4.9%)	285 (2.3%)	70 (0.6%)	45 (0.4%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	1,051 (15.1%)	1,493 (21.4%)	1,152 (16.5%)	1,237 (17.7%)	1,167 (16.7%)	536 (7.7%)	165 (2.4%)	44 (0.6%)	125 (1.8%)	6,970 (100.0%)
9 九州圏	1,239 (8.5%)	2,150 (14.8%)	1,863 (12.8%)	2,830 (19.5%)	3,400 (23.4%)	1,896 (13.1%)	861 (5.9%)	170 (1.2%)	99 (0.7%)	14,508 (100.0%)
10 沖縄県	2 (0.7%)	5 (1.9%)	9 (3.3%)	19 (7.0%)	67 (24.8%)	73 (27.0%)	76 (28.1%)	19 (7.0%)	0 (0.0%)	270 (100.0%)
合計	7,236 (11.4%)	11,852 (18.7%)	9,340 (14.8%)	11,706 (18.5%)	12,259 (19.4%)	6,451 (10.2%)	3,045 (4.8%)	789 (1.2%)	559 (0.9%)	63,237 (100.0%)

- 集落類型別で見ると、基礎集落の約3分の2は 50 世帯未満の小規模集落であり、20 世帯未満の集落が約 3割を占める。一方、中心集落の半数近くは 100 世帯以上の比較的規模の大きい集落となっている。

図表2-46 集落類型別・世帯数規模別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
基礎集落	6,855 (13.2%)	10,819 (20.8%)	8,289 (15.9%)	9,871 (19.0%)	9,556 (18.4%)	4,304 (8.3%)	1,612 (3.1%)	273 (0.5%)	466 (0.9%)	52,045 (100.0%)
基幹集落	165 (2.5%)	614 (9.4%)	632 (9.7%)	1,167 (17.9%)	1,716 (26.3%)	1,268 (19.4%)	735 (11.2%)	179 (2.7%)	58 (0.9%)	6,534 (100.0%)
中心集落	102 (2.6%)	277 (6.9%)	339 (8.5%)	560 (14.0%)	873 (21.9%)	817 (20.5%)	660 (16.6%)	334 (8.4%)	24 (0.6%)	3,986 (100.0%)
無回答	114 (17.0%)	142 (21.1%)	80 (11.9%)	108 (16.1%)	114 (17.0%)	62 (9.2%)	38 (5.7%)	3 (0.4%)	11 (1.6%)	672 (100.0%)
合計	7,236 (11.4%)	11,852 (18.7%)	9,340 (14.8%)	11,706 (18.5%)	12,259 (19.4%)	6,451 (10.2%)	3,045 (4.8%)	789 (1.2%)	559 (0.9%)	63,237 (100.0%)

- 地域区分別でみると、世帯数規模の小さい集落の割合は特に山間地や中間地で高く、山間地集落の6割超、中間地集落の4割超は、30世帯未満の小規模集落である。

図表2-47 地域区分別・世帯数規模別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
山間地	4,426 (22.2%)	5,461 (27.4%)	3,133 (15.7%)	3,103 (15.6%)	2,458 (12.3%)	827 (4.1%)	269 (1.3%)	38 (0.2%)	217 (1.1%)	19,932 (100.0%)
中間地	1,586 (8.5%)	3,445 (18.4%)	3,008 (16.1%)	3,816 (20.4%)	3,853 (20.6%)	1,920 (10.2%)	751 (4.0%)	188 (1.0%)	172 (0.9%)	18,739 (100.0%)
平地	1,050 (5.3%)	2,528 (12.8%)	2,736 (13.9%)	4,058 (20.6%)	4,844 (24.6%)	2,749 (14.0%)	1,288 (6.5%)	279 (1.4%)	146 (0.7%)	19,678 (100.0%)
都市的地域	127 (2.9%)	336 (7.6%)	390 (8.8%)	642 (14.5%)	1,027 (23.2%)	906 (20.5%)	705 (15.9%)	277 (6.3%)	14 (0.3%)	4,424 (100.0%)
無回答	47 (10.1%)	82 (17.7%)	73 (15.7%)	87 (18.8%)	77 (16.6%)	49 (10.6%)	32 (6.9%)	7 (1.5%)	10 (2.2%)	464 (100.0%)
合計	7,236 (11.4%)	11,852 (18.7%)	9,340 (14.8%)	11,706 (18.5%)	12,259 (19.4%)	6,451 (10.2%)	3,045 (4.8%)	789 (1.2%)	559 (0.9%)	63,237 (100.0%)

- 役場(本庁)までの距離別でみると、本庁から20km以上離れた集落の約6割が30世帯未満の小規模集落であり、役場までの距離が近い集落ほど世帯数規模が大きい集落の割合が高くなる傾向がみられる。

図表2-48 役場(本庁)までの距離別・世帯数規模別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
5km未満	860 (4.5%)	2,271 (11.8%)	2,440 (12.7%)	3,521 (18.3%)	4,676 (24.3%)	3,090 (16.0%)	1,783 (9.3%)	537 (2.8%)	95 (0.5%)	19,273 (100.0%)
5km以上 10km未満	1,295 (9.2%)	2,616 (18.5%)	2,235 (15.8%)	2,953 (20.9%)	2,930 (20.7%)	1,383 (9.8%)	510 (3.6%)	114 (0.8%)	97 (0.7%)	14,133 (100.0%)
10km以上 20km未満	2,498 (15.0%)	3,632 (21.9%)	2,603 (15.7%)	3,116 (18.8%)	2,850 (17.2%)	1,205 (7.3%)	447 (2.7%)	81 (0.5%)	178 (1.1%)	16,610 (100.0%)
20km以上	2,532 (19.9%)	3,248 (25.6%)	1,985 (15.6%)	2,030 (16.0%)	1,698 (13.4%)	704 (5.5%)	280 (2.2%)	52 (0.4%)	177 (1.4%)	12,706 (100.0%)
無回答	51 (9.9%)	85 (16.5%)	77 (15.0%)	86 (16.7%)	105 (20.4%)	69 (13.4%)	25 (4.9%)	5 (1.0%)	12 (2.3%)	515 (100.0%)
合計	7,236 (11.4%)	11,852 (18.7%)	9,340 (14.8%)	11,706 (18.5%)	12,259 (19.4%)	6,451 (10.2%)	3,045 (4.8%)	789 (1.2%)	559 (0.9%)	63,237 (100.0%)

- 高齢者(65歳以上人口)の割合別でみると、高齢者割合が高い集落ほど世帯数規模が小さい集落の割合が高くなる傾向がみられ、特に高齢者割合が100%(集落住民全員が65歳以上)の集落の81.7%は10世帯未満の集落である。

図表2-49 65歳以上人口割合別・世帯数規模別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
50%未満	2,618 (6.2%)	5,955 (14.2%)	5,852 (14.0%)	8,467 (20.2%)	9,861 (23.5%)	5,601 (13.4%)	2,768 (6.6%)	748 (1.8%)	70 (0.2%)	41,940 (100.0%)
50%以上 75%未満	2,734 (15.9%)	4,974 (28.9%)	3,188 (18.5%)	3,044 (17.7%)	2,195 (12.7%)	796 (4.6%)	250 (1.5%)	32 (0.2%)	11 (0.1%)	17,224 (100.0%)
75%以上 100%未満	1,059 (48.3%)	758 (34.6%)	190 (8.7%)	93 (4.2%)	70 (3.2%)	17 (0.8%)	5 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2,192 (100.0%)
100%	781 (81.7%)	46 (4.8%)	23 (2.4%)	37 (3.9%)	60 (6.3%)	4 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (0.5%)	956 (100.0%)
無回答	44 (4.8%)	119 (12.9%)	87 (9.4%)	65 (7.0%)	73 (7.9%)	33 (3.6%)	22 (2.4%)	9 (1.0%)	473 (51.1%)	925 (100.0%)
合計	7,236 (11.4%)	11,852 (18.7%)	9,340 (14.8%)	11,706 (18.5%)	12,259 (19.4%)	6,451 (10.2%)	3,045 (4.8%)	789 (1.2%)	559 (0.9%)	63,237 (100.0%)

- 転入者の有無別でみると、転入者がいるとされる集落の6割近くは30世帯以上200世帯未満の中規模集落となっているが、30世帯未満の比較的世帯数規模の小さい集落も3分の1程度を占めており、10世帯未満の小規模集落でも転入者がみられる集落が存在している。

図表2-50 転入者の有無別・世帯数規模別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
転入者がいる	1,205 (4.7%)	3,652 (14.3%)	3,736 (14.7%)	5,259 (20.6%)	6,047 (23.7%)	3,355 (13.2%)	1,687 (6.6%)	487 (1.9%)	53 (0.2%)	25,481 (100.0%)
転入者はいない	2,249 (41.8%)	1,771 (32.9%)	701 (13.0%)	409 (7.6%)	160 (3.0%)	49 (0.9%)	10 (0.2%)	2 (0.0%)	33 (0.6%)	5,384 (100.0%)
分からない	3,429 (11.2%)	6,090 (19.9%)	4,728 (15.4%)	5,781 (18.9%)	5,790 (18.9%)	2,919 (9.5%)	1,292 (4.2%)	281 (0.9%)	334 (1.1%)	30,644 (100.0%)
無回答	353 (20.4%)	339 (19.6%)	175 (10.1%)	257 (14.9%)	262 (15.2%)	128 (7.4%)	56 (3.2%)	19 (1.1%)	139 (8.0%)	1,728 (100.0%)
合計	7,236 (11.4%)	11,852 (18.7%)	9,340 (14.8%)	11,706 (18.5%)	12,259 (19.4%)	6,451 (10.2%)	3,045 (4.8%)	789 (1.2%)	559 (0.9%)	63,237 (100.0%)

- 集落支援員等のサポート人材の有無（詳細は後述）別でみると、サポート人材が活動している集落の約半数を30世帯未満の比較的小規模な集落が占めている。

図表2-51 サポート人材の有無別・世帯規模別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
サポート人材あり	3,153 (14.3%)	4,664 (21.2%)	3,255 (14.8%)	4,001 (18.2%)	3,840 (17.5%)	1,870 (8.5%)	816 (3.7%)	204 (0.9%)	194 (0.9%)	21,997 (100.0%)
集落支援員	1,932 (15.0%)	2,998 (23.3%)	2,015 (15.7%)	2,354 (18.3%)	2,105 (16.4%)	976 (7.6%)	353 (2.7%)	58 (0.5%)	60 (0.5%)	12,851 (100.0%)
地域おこし協力隊	2,110 (15.4%)	3,131 (22.8%)	2,015 (14.7%)	2,314 (16.8%)	2,232 (16.2%)	1,079 (7.9%)	523 (3.8%)	167 (1.2%)	169 (1.2%)	13,740 (100.0%)
その他	225 (16.2%)	243 (17.5%)	146 (10.5%)	257 (18.5%)	242 (17.4%)	156 (11.2%)	93 (6.7%)	10 (0.7%)	16 (1.2%)	1,388 (100.0%)
サポート人材なし	4,083 (9.9%)	7,188 (17.4%)	6,085 (14.8%)	7,705 (18.7%)	8,419 (20.4%)	4,581 (11.1%)	2,229 (5.4%)	585 (1.4%)	365 (0.9%)	41,240 (100.0%)
合計	7,236 (11.4%)	11,852 (18.7%)	9,340 (14.8%)	11,706 (18.5%)	12,259 (19.4%)	6,451 (10.2%)	3,045 (4.8%)	789 (1.2%)	559 (0.9%)	63,237 (100.0%)

(4) 集落の年齢構成

①0～14 歳人口割合別 集落数

【全体】

- 集落人口に占める 0～14 歳人口割合別集落数をみると、0～14 歳が一人もいない(下表の「0%」欄)集落が 15.6%あり、0～14 歳人口が 10%に満たない集落が 62.5%と全体の6割超を占めている。
- 地域指定別でみると、振興山村では 0～14 歳人口の割合が 5%未満の集落が4割を超え、最も高くなっている。

図表2-52 集落人口に占める 0～14 歳人口割合別 集落数 【全体】

全体	集落人口に占める 0～14歳 の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
合計	11,991 (15.6%)	10,873 (14.2%)	25,116 (32.7%)	18,233 (23.8%)	5,679 (7.4%)	2,558 (3.3%)	2,260 (2.9%)	76,710 (100.0%)
参考: 前回調査	10,081 (13.3%)	9,514 (12.6%)	24,180 (32.0%)	19,658 (26.0%)	6,126 (8.1%)	2,811 (3.7%)	3,292 (4.4%)	75,662 (100.0%)

図表2-53 地域指定別・集落人口に占める 0～14 歳人口割合別 集落数 【全体】

全体	集落人口に占める 0～14歳 の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
過疎地域	10,873 (17.2%)	9,447 (14.9%)	20,706 (32.7%)	14,246 (22.5%)	4,570 (7.2%)	2,167 (3.4%)	1,228 (1.9%)	63,237 (100.0%)
振興山村	6,607 (24.5%)	4,391 (16.3%)	8,216 (30.4%)	4,762 (17.6%)	1,395 (5.2%)	766 (2.8%)	857 (3.2%)	26,994 (100.0%)
離島	413 (17.7%)	362 (15.5%)	683 (29.2%)	524 (22.4%)	179 (7.7%)	71 (3.0%)	105 (4.5%)	2,337 (100.0%)
半島	1,882 (12.9%)	2,238 (15.3%)	4,836 (33.2%)	3,360 (23.0%)	1,123 (7.7%)	468 (3.2%)	677 (4.6%)	14,584 (100.0%)
特別豪雪地帯	1,496 (12.4%)	1,590 (13.1%)	4,325 (35.7%)	3,232 (26.7%)	844 (7.0%)	344 (2.8%)	271 (2.2%)	12,102 (100.0%)

### 【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落について、人口に占める 0～14 歳人口割合別集落数をみると、0～14 歳が一人もいない（下表の「0%」欄）集落が 17.2%あり、0～14 歳人口が 10%に満たない集落が 64.9%と全体の3分の2近くを占めている。
- 地方ブロック別でみると、特に中国圏と四国圏では 0～14 歳人口割合が 0%の集落が約4分の1存在している。一方、沖縄県では 0～14 歳人口割合が 15%以上の集落が約3分の1を占めている。

図表2-54 地方ブロック別・集落人口に占める 0～14 歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 0～14歳 の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
1 北海道	535 (14.3%)	552 (14.7%)	1,295 (34.6%)	911 (24.3%)	286 (7.6%)	143 (3.8%)	24 (0.6%)	3,746 (100.0%)
2 東北圏	1,464 (10.4%)	2,013 (14.3%)	5,651 (40.2%)	3,612 (25.7%)	818 (5.8%)	309 (2.2%)	200 (1.4%)	14,067 (100.0%)
3 首都圏	291 (14.1%)	437 (21.2%)	842 (40.9%)	350 (17.0%)	56 (2.7%)	30 (1.5%)	54 (2.6%)	2,060 (100.0%)
4 北陸圏	388 (18.7%)	359 (17.3%)	724 (35.0%)	460 (22.2%)	105 (5.1%)	34 (1.6%)	0 (0.0%)	2,070 (100.0%)
5 中部圏	664 (18.5%)	608 (16.9%)	1,226 (34.2%)	691 (19.3%)	180 (5.0%)	92 (2.6%)	128 (3.6%)	3,589 (100.0%)
6 近畿圏	572 (15.9%)	543 (15.1%)	1,285 (35.8%)	807 (22.5%)	225 (6.3%)	73 (2.0%)	84 (2.3%)	3,589 (100.0%)
7 中国圏	2,982 (24.1%)	1,719 (13.9%)	3,397 (27.5%)	2,494 (20.2%)	1,011 (8.2%)	602 (4.9%)	163 (1.3%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	1,744 (25.0%)	1,077 (15.5%)	1,855 (26.6%)	1,240 (17.8%)	429 (6.2%)	179 (2.6%)	446 (6.4%)	6,970 (100.0%)
9 九州圏	2,225 (15.3%)	2,129 (14.7%)	4,365 (30.1%)	3,587 (24.7%)	1,400 (9.6%)	673 (4.6%)	129 (0.9%)	14,508 (100.0%)
10 沖縄県	8 (3.0%)	10 (3.7%)	66 (24.4%)	94 (34.8%)	60 (22.2%)	32 (11.9%)	0 (0.0%)	270 (100.0%)
合計	10,873 (17.2%)	9,447 (14.9%)	20,706 (32.7%)	14,246 (22.5%)	4,570 (7.2%)	2,167 (3.4%)	1,228 (1.9%)	63,237 (100.0%)

- 集落類型別でみると、0～14 歳人口割合が 5%未満の集落は基礎集落において最も構成比が大きくなっているが、基礎集落の中にも 0～14 歳人口割合が 20%以上と高い集落が 1,847 集落(3.5%)みられる。
- 0～14 歳人口割合が 10%以上 20%未満の集落が占める割合は、基礎・基幹・中心の順に高くなっており、中心集落では 46.4%と5割近くを占めている。

図表2-55 集落類型別・集落人口に占める 0～14 歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 0～14歳 の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
基礎集落	10,133 (19.5%)	8,033 (15.4%)	16,463 (31.6%)	10,964 (21.1%)	3,560 (6.8%)	1,847 (3.5%)	1,045 (2.0%)	52,045 (100.0%)
基幹集落	427 (6.5%)	923 (14.1%)	2,536 (38.8%)	1,808 (27.7%)	541 (8.3%)	182 (2.8%)	117 (1.8%)	6,534 (100.0%)
中心集落	170 (4.3%)	396 (9.9%)	1,517 (38.1%)	1,322 (33.2%)	421 (10.6%)	107 (2.7%)	53 (1.3%)	3,986 (100.0%)
無回答	143 (21.3%)	95 (14.1%)	190 (28.3%)	152 (22.6%)	48 (7.1%)	31 (4.6%)	13 (1.9%)	672 (100.0%)
合計	10,873 (17.2%)	9,447 (14.9%)	20,706 (32.7%)	14,246 (22.5%)	4,570 (7.2%)	2,167 (3.4%)	1,228 (1.9%)	63,237 (100.0%)

- 地域区別でみると、0～14歳人口割合が5%未満の集落が占める割合は山間地集落において49.4%と最も高く、中間地集落でも約3割を占めている。
- これに対し、平地集落や都市的地域にある集落では、0～14歳人口割合が10%以上の集落の構成比が高く、都市的地域にある集落の約半数は0～14歳人口割合が10%以上20%未満の集落である。

図表2-56 地域区別・集落人口に占める0～14歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 0～14歳 の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
山間地	6,350 (31.9%)	3,490 (17.5%)	5,458 (27.4%)	2,853 (14.3%)	887 (4.5%)	484 (2.4%)	410 (2.1%)	19,932 (100.0%)
中間地	2,670 (14.2%)	3,104 (16.6%)	6,605 (35.2%)	4,191 (22.4%)	1,208 (6.4%)	546 (2.9%)	415 (2.2%)	18,739 (100.0%)
平地	1,530 (7.8%)	2,372 (12.1%)	6,944 (35.3%)	5,584 (28.4%)	1,927 (9.8%)	952 (4.8%)	369 (1.9%)	19,678 (100.0%)
都市的地域	251 (5.7%)	418 (9.4%)	1,526 (34.5%)	1,503 (34.0%)	526 (11.9%)	177 (4.0%)	23 (0.5%)	4,424 (100.0%)
無回答	72 (15.5%)	63 (13.6%)	173 (37.3%)	115 (24.8%)	22 (4.7%)	8 (1.7%)	11 (2.4%)	464 (100.0%)
合計	10,873 (17.2%)	9,447 (14.9%)	20,706 (32.7%)	14,246 (22.5%)	4,570 (7.2%)	2,167 (3.4%)	1,228 (1.9%)	63,237 (100.0%)

- 役場(本庁)までの距離別でみると、0～14歳人口割合が5%未満の集落が占める割合は、役場(本庁)からの距離が遠くなるほど高くなる傾向がみられる。一方、役場(本庁)から5km未満と最も近い集落では、0～14歳人口割合が10%以上の集落が45.7%と半数近くを占めている。

図表2-57 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める0～14歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 0～14歳 の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
5km未満	1,444 (7.5%)	2,191 (11.4%)	6,587 (34.2%)	5,809 (30.1%)	2,127 (11.0%)	874 (4.5%)	241 (1.3%)	19,273 (100.0%)
5km以上 10km未満	1,986 (14.1%)	2,156 (15.3%)	5,053 (35.8%)	3,313 (23.4%)	986 (7.0%)	459 (3.2%)	180 (1.3%)	14,133 (100.0%)
10km以上 20km未満	3,564 (21.5%)	2,761 (16.6%)	5,419 (32.6%)	3,192 (19.2%)	879 (5.3%)	485 (2.9%)	310 (1.9%)	16,610 (100.0%)
20km以上	3,806 (30.0%)	2,266 (17.8%)	3,481 (27.4%)	1,794 (14.1%)	539 (4.2%)	337 (2.7%)	483 (3.8%)	12,706 (100.0%)
無回答	73 (14.2%)	73 (14.2%)	166 (32.2%)	138 (26.8%)	39 (7.6%)	12 (2.3%)	14 (2.7%)	515 (100.0%)
合計	10,873 (17.2%)	9,447 (14.9%)	20,706 (32.7%)	14,246 (22.5%)	4,570 (7.2%)	2,167 (3.4%)	1,228 (1.9%)	63,237 (100.0%)

- 転入者の有無別でみると、転入者がいるとされる集落の6割強は0～14歳人口割合が5%以上15%未満の集落であるが、0～14歳人口割合が5%未満の集落も3割近くを占めている。

図表2-58 転入者の有無別・集落人口に占める0～14歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 0～14歳 の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
転入者が いる	2,798 (11.0%)	4,095 (16.1%)	9,292 (36.5%)	6,287 (24.7%)	1,881 (7.4%)	797 (3.1%)	331 (1.3%)	25,481 (100.0%)
転入者は いない	2,684 (49.9%)	664 (12.3%)	1,020 (18.9%)	563 (10.5%)	223 (4.1%)	155 (2.9%)	75 (1.4%)	5,384 (100.0%)
分からない	4,944 (16.1%)	4,484 (14.6%)	9,972 (32.5%)	7,104 (23.2%)	2,353 (7.7%)	1,141 (3.7%)	646 (2.1%)	30,644 (100.0%)
無回答	447 (25.9%)	204 (11.8%)	422 (24.4%)	292 (16.9%)	113 (6.5%)	74 (4.3%)	176 (10.2%)	1,728 (100.0%)
合計	10,873 (17.2%)	9,447 (14.9%)	20,706 (32.7%)	14,246 (22.5%)	4,570 (7.2%)	2,167 (3.4%)	1,228 (1.9%)	63,237 (100.0%)

②15～29 歳人口割合別 集落数

【全体】

- 集落人口に占める 15～29 歳人口割合別集落数をみると、全体では、15～29 歳割合が一人もいない(下表の「0%」欄)集落が 10.1%あり、10%に満たない集落が全体の半数超を占めている。
- 地域指定別でみると、15～29 歳人口割合が低い集落の割合は振興山村や離島地域において比較的高くなっており、特に離島地域では 15～29 歳人口割合が 10%未満の集落が6割強を占める。

図表2-59 集落人口に占める 15～29 歳人口割合別 集落数 【全体】

全体	集落人口に占める 15～29 歳の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
合計	7,774 (10.1%)	7,353 (9.6%)	24,686 (32.2%)	24,391 (31.8%)	7,106 (9.3%)	2,814 (3.7%)	2,586 (3.4%)	76,710 (100.0%)
参考: 前回調査	6,136 (8.1%)	5,414 (7.2%)	20,522 (27.1%)	27,230 (36.0%)	9,625 (12.7%)	3,122 (4.1%)	3,613 (4.8%)	75,662 (100.0%)

図表2-60 地域指定別・集落人口に占める 15～29 歳人口割合別 集落数 【全体】

全体	集落人口に占める 15～29 歳の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
過疎地域	7,107 (11.2%)	6,653 (10.5%)	21,366 (33.8%)	19,133 (30.3%)	5,342 (8.4%)	2,263 (3.6%)	1,373 (2.2%)	63,237 (100.0%)
振興山村	4,443 (16.5%)	3,109 (11.5%)	8,521 (31.6%)	6,816 (25.3%)	2,020 (7.5%)	925 (3.4%)	1,160 (4.3%)	26,994 (100.0%)
離島	311 (13.3%)	395 (16.9%)	813 (34.8%)	544 (23.3%)	124 (5.3%)	45 (1.9%)	105 (4.5%)	2,337 (100.0%)
半島	1,189 (8.2%)	1,558 (10.7%)	4,935 (33.8%)	4,591 (31.5%)	1,211 (8.3%)	385 (2.6%)	715 (4.9%)	14,584 (100.0%)
特別豪雪地帯	986 (8.1%)	969 (8.0%)	3,770 (31.2%)	4,268 (35.3%)	1,313 (10.8%)	525 (4.3%)	271 (2.2%)	12,102 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落について、人口に占める 15～29 歳人口割合別集落数をみると、全体では、15～29 歳割合が一人もいない(下表の「0%」欄)集落が 11.2%あり、10%に満たない集落が 55.5%を占めている。
- 地方ブロック別でみると、四国圏において 15～29 歳人口の割合が 10%に満たない集落が 60.4%を占めている。

図表2-61 地方ブロック別・集落人口に占める 15～29 歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 15～29 歳の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
1 北海道	374 (10.0%)	438 (11.7%)	1,339 (35.7%)	1,119 (29.9%)	274 (7.3%)	178 (4.8%)	24 (0.6%)	3,746 (100.0%)
2 東北圏	857 (6.1%)	1,170 (8.3%)	5,418 (38.5%)	4,985 (35.4%)	1,132 (8.0%)	305 (2.2%)	200 (1.4%)	14,067 (100.0%)
3 首都圏	153 (7.4%)	201 (9.8%)	748 (36.3%)	681 (33.1%)	171 (8.3%)	52 (2.5%)	54 (2.6%)	2,060 (100.0%)
4 北陸圏	249 (12.0%)	203 (9.8%)	591 (28.6%)	697 (33.7%)	232 (11.2%)	98 (4.7%)	0 (0.0%)	2,070 (100.0%)
5 中部圏	430 (12.0%)	342 (9.5%)	1,071 (29.8%)	1,009 (28.1%)	322 (9.0%)	165 (4.6%)	250 (7.0%)	3,589 (100.0%)
6 近畿圏	345 (9.6%)	305 (8.5%)	1,067 (29.7%)	1,278 (35.6%)	376 (10.5%)	111 (3.1%)	107 (3.0%)	3,589 (100.0%)
7 中国圏	2,016 (16.3%)	1,401 (11.3%)	3,606 (29.2%)	3,221 (26.0%)	1,232 (10.0%)	729 (5.9%)	163 (1.3%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	1,249 (17.9%)	802 (11.5%)	2,159 (31.0%)	1,630 (23.4%)	469 (6.7%)	215 (3.1%)	446 (6.4%)	6,970 (100.0%)
9 九州圏	1,427 (9.8%)	1,774 (12.2%)	5,284 (36.4%)	4,378 (30.2%)	1,112 (7.7%)	404 (2.8%)	129 (0.9%)	14,508 (100.0%)
10 沖縄県	7 (2.6%)	17 (6.3%)	83 (30.7%)	135 (50.0%)	22 (8.1%)	6 (2.2%)	0 (0.0%)	270 (100.0%)
合計	7,107 (11.2%)	6,653 (10.5%)	21,366 (33.8%)	19,133 (30.3%)	5,342 (8.4%)	2,263 (3.6%)	1,373 (2.2%)	63,237 (100.0%)

- 集落類型別でみると、0～14 歳人口の割合別でみた傾向と同様、15～29 歳人口の割合が低い集落の構成比は基礎集落において最も高くなっている。
- 15～29 歳人口割合が 10%以上の集落が占める割合は、基礎・基幹・中心の順に高くなっており、中心集落では 56.9%と半数超を占めている。

図表2-62 集落類型別・集落人口に占める 15～29 歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 15～29 歳の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
基礎集落	6,657 (12.8%)	5,753 (11.1%)	17,401 (33.4%)	14,750 (28.3%)	4,359 (8.4%)	1,962 (3.8%)	1,163 (2.2%)	52,045 (100.0%)
基幹集落	249 (3.8%)	582 (8.9%)	2,477 (37.9%)	2,393 (36.6%)	544 (8.3%)	157 (2.4%)	132 (2.0%)	6,534 (100.0%)
中心集落	111 (2.8%)	251 (6.3%)	1,289 (32.3%)	1,783 (44.7%)	374 (9.4%)	113 (2.8%)	65 (1.6%)	3,986 (100.0%)
無回答	90 (13.4%)	67 (10.0%)	199 (29.6%)	207 (30.8%)	65 (9.7%)	31 (4.6%)	13 (1.9%)	672 (100.0%)
合計	7,107 (11.2%)	6,653 (10.5%)	21,366 (33.8%)	19,133 (30.3%)	5,342 (8.4%)	2,263 (3.6%)	1,373 (2.2%)	63,237 (100.0%)

- 地域区別でみると、15～29 歳人口割合が 5%未満の集落の構成比は山間地集落では 35.7%と3分の1以上を占めている。
- 山間地集落と中間地集落では、15～29 歳人口割合が 5%以上 10%未満の集落の構成比が最も高いが、平地集落や都市的地域にある集落では、15～29 歳人口割合が 10%以上 15%未満の集落が最も高く、特に都市的地域にある集落では 15～29 歳人口割合が 15%以上の集落が2割近くを占めている。

図表2-63 地域区別・集落人口に占める 15～29 歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 15～29 歳の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
山間地	4,434 (22.2%)	2,678 (13.4%)	6,310 (31.7%)	4,155 (20.8%)	1,201 (6.0%)	633 (3.2%)	521 (2.6%)	19,932 (100.0%)
中間地	1,587 (8.5%)	2,113 (11.3%)	6,793 (36.3%)	5,690 (30.4%)	1,538 (8.2%)	576 (3.1%)	442 (2.4%)	18,739 (100.0%)
平地	916 (4.7%)	1,595 (8.1%)	6,794 (34.5%)	7,190 (36.5%)	2,003 (10.2%)	804 (4.1%)	376 (1.9%)	19,678 (100.0%)
都市的地域	129 (2.9%)	221 (5.0%)	1,325 (30.0%)	1,928 (43.6%)	560 (12.7%)	238 (5.4%)	23 (0.5%)	4,424 (100.0%)
無回答	41 (8.8%)	46 (9.9%)	144 (31.0%)	170 (36.6%)	40 (8.6%)	12 (2.6%)	11 (2.4%)	464 (100.0%)
合計	7,107 (11.2%)	6,653 (10.5%)	21,366 (33.8%)	19,133 (30.3%)	5,342 (8.4%)	2,263 (3.6%)	1,373 (2.2%)	63,237 (100.0%)

- 役場(本庁)までの距離別でみると、15～29 歳人口割合が 10%未満の集落の割合は役場(本庁)から遠くなるほど大きくなっている。

図表2-64 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める 15～29 歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 15～29 歳の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
5km未満	827 (4.3%)	1,381 (7.2%)	6,149 (31.9%)	7,538 (39.1%)	2,313 (12.0%)	824 (4.3%)	241 (1.3%)	19,273 (100.0%)
5km以上 10km未満	1,237 (8.8%)	1,508 (10.7%)	5,131 (36.3%)	4,503 (31.9%)	1,121 (7.9%)	453 (3.2%)	180 (1.3%)	14,133 (100.0%)
10km以上 20km未満	2,350 (14.1%)	1,984 (11.9%)	5,798 (34.9%)	4,368 (26.3%)	1,193 (7.2%)	600 (3.6%)	317 (1.9%)	16,610 (100.0%)
20km以上	2,649 (20.8%)	1,734 (13.6%)	4,132 (32.5%)	2,543 (20.0%)	674 (5.3%)	353 (2.8%)	621 (4.9%)	12,706 (100.0%)
無回答	44 (8.5%)	46 (8.9%)	156 (30.3%)	181 (35.1%)	41 (8.0%)	33 (6.4%)	14 (2.7%)	515 (100.0%)
合計	7,107 (11.2%)	6,653 (10.5%)	21,366 (33.8%)	19,133 (30.3%)	5,342 (8.4%)	2,263 (3.6%)	1,373 (2.2%)	63,237 (100.0%)

- 転入者の有無別でみると、転入者がいるとされる集落の7割は 15～29 歳人口割合が 5%以上 15%未満の集落である。

図表2-65 転入者の有無別・集落人口に占める 15～29 歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 15～29 歳の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
転入者が いる	1,474 (5.8%)	2,688 (10.5%)	9,318 (36.6%)	8,506 (33.4%)	2,215 (8.7%)	909 (3.6%)	371 (1.5%)	25,481 (100.0%)
転入者は いない	2,094 (38.9%)	637 (11.8%)	1,265 (23.5%)	813 (15.1%)	266 (4.9%)	189 (3.5%)	120 (2.2%)	5,384 (100.0%)
分からない	3,210 (10.5%)	3,160 (10.3%)	10,293 (33.6%)	9,437 (30.8%)	2,726 (8.9%)	1,112 (3.6%)	706 (2.3%)	30,644 (100.0%)
無回答	329 (19.0%)	168 (9.7%)	490 (28.4%)	377 (21.8%)	135 (7.8%)	53 (3.1%)	176 (10.2%)	1,728 (100.0%)
合計	7,107 (11.2%)	6,653 (10.5%)	21,366 (33.8%)	19,133 (30.3%)	5,342 (8.4%)	2,263 (3.6%)	1,373 (2.2%)	63,237 (100.0%)

③30～64 歳人口割合別 集落数

【全体】

- 集落人口に占める30～64歳人口割合別集落数をみると、全体では30～39%の集落が41.0%で最も多く、次いで40～49%の集落が36.9%を占めている。
- 地域指定別でみると、振興山村や離島地域において30～64歳人口割合が低い集落の構成比が比較的大きい。

図表2-66 集落人口に占める30～64歳人口割合別 集落数【全体】

全体	集落人口に占める 30～64歳 の割合							計
	0%	1～9.9%	10～29%	30～39%	40～49%	50%～	無回答	
合計	1,157 (1.5%)	299 (0.4%)	8,942 (11.7%)	31,425 (41.0%)	28,341 (36.9%)	3,960 (5.2%)	2,586 (3.4%)	76,710 (100.0%)
参考: 前回調査	865 (1.1%)	249 (0.3%)	6,023 (8.0%)	23,447 (31.0%)	35,878 (47.4%)	5,587 (7.4%)	3,613 (4.8%)	75,662 (100.0%)

図表2-67 地域指定別・集落人口に占める30～64歳人口割合別 集落数【全体】

全体	集落人口に占める 30～64歳 の割合							計
	0%	1～9.9%	10～29%	30～39%	40～49%	50%～	無回答	
過疎地域	1,029 (1.6%)	258 (0.4%)	8,174 (12.9%)	27,165 (43.0%)	21,965 (34.7%)	3,273 (5.2%)	1,373 (2.2%)	63,237 (100.0%)
振興山村	681 (2.5%)	147 (0.5%)	4,729 (17.5%)	11,217 (41.6%)	7,627 (28.3%)	1,433 (5.3%)	1,160 (4.3%)	26,994 (100.0%)
離島	40 (1.7%)	25 (1.1%)	362 (15.5%)	923 (39.5%)	759 (32.5%)	123 (5.3%)	105 (4.5%)	2,337 (100.0%)
半島	149 (1.0%)	40 (0.3%)	1,594 (10.9%)	6,152 (42.2%)	5,339 (36.6%)	595 (4.1%)	715 (4.9%)	14,584 (100.0%)
特別豪雪地帯	162 (1.3%)	29 (0.2%)	933 (7.7%)	4,349 (35.9%)	5,511 (45.5%)	847 (7.0%)	271 (2.2%)	12,102 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落について、人口に占める 30～64 歳人口割合別集落数をみると、全体では 30～39%の集落が 43.0%で最も多く、次いで 40～49%の集落が 34.7%を占めている。
- 地方ブロック別でみると、30～64 歳人口割合が 30%未満の集落の構成比は中国圏と四国圏で 20%を超えている。一方、沖縄県では 30～64 歳人口割合が 40%以上の集落の割合が最も高い。

図表2-68 地方ブロック別・集落人口に占める 30～64 歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 30～64 歳の割合							計
	0%	1～9.9%	10～29%	30～39%	40～49%	50%～	無回答	
1 北海道	50 (1.3%)	5 (0.1%)	331 (8.8%)	1,399 (37.3%)	1,582 (42.2%)	355 (9.5%)	24 (0.6%)	3,746 (100.0%)
2 東北圏	108 (0.8%)	39 (0.3%)	864 (6.1%)	5,518 (39.2%)	6,613 (47.0%)	725 (5.2%)	200 (1.4%)	14,067 (100.0%)
3 首都圏	19 (0.9%)	6 (0.3%)	180 (8.7%)	901 (43.7%)	817 (39.7%)	83 (4.0%)	54 (2.6%)	2,060 (100.0%)
4 北陸圏	56 (2.7%)	10 (0.5%)	309 (14.9%)	1,001 (48.4%)	625 (30.2%)	69 (3.3%)	0 (0.0%)	2,070 (100.0%)
5 中部圏	65 (1.8%)	13 (0.4%)	536 (14.9%)	1,614 (45.0%)	960 (26.7%)	151 (4.2%)	250 (7.0%)	3,589 (100.0%)
6 近畿圏	52 (1.4%)	10 (0.3%)	460 (12.8%)	1,709 (47.6%)	1,125 (31.3%)	126 (3.5%)	107 (3.0%)	3,589 (100.0%)
7 中国圏	310 (2.5%)	79 (0.6%)	2,453 (19.8%)	5,501 (44.5%)	3,158 (25.5%)	704 (5.7%)	163 (1.3%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	218 (3.1%)	47 (0.7%)	1,255 (18.0%)	2,712 (38.9%)	1,912 (27.4%)	380 (5.5%)	446 (6.4%)	6,970 (100.0%)
9 九州圏	151 (1.0%)	49 (0.3%)	1,782 (12.3%)	6,761 (46.6%)	4,996 (34.4%)	640 (4.4%)	129 (0.9%)	14,508 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (1.5%)	49 (18.1%)	177 (65.6%)	40 (14.8%)	0 (0.0%)	270 (100.0%)
合計	1,029 (1.6%)	258 (0.4%)	8,174 (12.9%)	27,165 (43.0%)	21,965 (34.7%)	3,273 (5.2%)	1,373 (2.2%)	63,237 (100.0%)

- 集落類型別でみると、中心集落では 30～64 歳人口割合が 40～49%の集落の割合が基礎・基幹集落より高く、43.5%を占めている。
- 基礎集落では、30～64 歳人口の割合が 30%未満の集落の構成比が基幹・中心集落より高くなっているが、30～64 歳人口が 50%以上を占める集落の割合も 5.7%と最も高い構成比となっている。

図表2-69 集落類型別・集落人口に占める 30～64 歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 30～64 歳の割合							計
	0%	1～9.9%	10～29%	30～39%	40～49%	50%～	無回答	
基礎集落	989 (1.9%)	244 (0.5%)	7,212 (13.9%)	21,974 (42.2%)	17,514 (33.7%)	2,949 (5.7%)	1,163 (2.2%)	52,045 (100.0%)
基幹集落	10 (0.2%)	9 (0.1%)	587 (9.0%)	3,119 (47.7%)	2,520 (38.6%)	157 (2.4%)	132 (2.0%)	6,534 (100.0%)
中心集落	10 (0.3%)	4 (0.1%)	253 (6.3%)	1,795 (45.0%)	1,732 (43.5%)	127 (3.2%)	65 (1.6%)	3,986 (100.0%)
無回答	20 (3.0%)	1 (0.1%)	122 (18.2%)	277 (41.2%)	199 (29.6%)	40 (6.0%)	13 (1.9%)	672 (100.0%)
合計	1,029 (1.6%)	258 (0.4%)	8,174 (12.9%)	27,165 (43.0%)	21,965 (34.7%)	3,273 (5.2%)	1,373 (2.2%)	63,237 (100.0%)

- 地域区分別でみると、都市的地域にある集落では、30～64 歳人口が 40%以上を占める集落が5割以上を占めている。
- 一方、山間地集落では、30～64 歳人口割合が 40%未満の集落が 68.2%と7割近くを占めている。

図表2-70 地域区分別・集落人口に占める 30～64 歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 30～64 歳の割合							計
	0%	1～9.9%	10～29%	30～39%	40～49%	50%～	無回答	
山間地	653 (3.3%)	148 (0.7%)	4,423 (22.2%)	8,367 (42.0%)	4,706 (23.6%)	1,114 (5.6%)	521 (2.6%)	19,932 (100.0%)
中間地	184 (1.0%)	42 (0.2%)	2,186 (11.7%)	8,641 (46.1%)	6,384 (34.1%)	860 (4.6%)	442 (2.4%)	18,739 (100.0%)
平地	149 (0.8%)	55 (0.3%)	1,280 (6.5%)	8,193 (41.6%)	8,573 (43.6%)	1,052 (5.3%)	376 (1.9%)	19,678 (100.0%)
都市的地域	36 (0.8%)	11 (0.2%)	237 (5.4%)	1,751 (39.6%)	2,131 (48.2%)	235 (5.3%)	23 (0.5%)	4,424 (100.0%)
無回答	7 (1.5%)	2 (0.4%)	48 (10.3%)	213 (45.9%)	171 (36.9%)	12 (2.6%)	11 (2.4%)	464 (100.0%)
合計	1,029 (1.6%)	258 (0.4%)	8,174 (12.9%)	27,165 (43.0%)	21,965 (34.7%)	3,273 (5.2%)	1,373 (2.2%)	63,237 (100.0%)

- 役場(本庁)までの距離別でみると、30～64 歳人口割合が 40%以上の集落の構成比は、役場(本庁)からの距離が近い集落ほど大きくなっている。一方、役場(本庁)から 20 km以上と遠い集落の7割近くは 30～64 歳人口割合が 40%未満の集落である。

図表2-71 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める 30～64 歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 30～64 歳の割合							計
	0%	1～9.9%	10～29%	30～39%	40～49%	50%～	無回答	
5km未満	140 (0.7%)	42 (0.2%)	1,275 (6.6%)	7,896 (41.0%)	8,678 (45.0%)	1,001 (5.2%)	241 (1.3%)	19,273 (100.0%)
5km以上 10km未満	157 (1.1%)	40 (0.3%)	1,510 (10.7%)	6,415 (45.4%)	5,111 (36.2%)	720 (5.1%)	180 (1.3%)	14,133 (100.0%)
10km以上 20km未満	321 (1.9%)	70 (0.4%)	2,537 (15.3%)	7,330 (44.1%)	5,145 (31.0%)	890 (5.4%)	317 (1.9%)	16,610 (100.0%)
20km以上	401 (3.2%)	103 (0.8%)	2,813 (22.1%)	5,307 (41.8%)	2,825 (22.2%)	636 (5.0%)	621 (4.9%)	12,706 (100.0%)
無回答	10 (1.9%)	3 (0.6%)	39 (7.6%)	217 (42.1%)	206 (40.0%)	26 (5.0%)	14 (2.7%)	515 (100.0%)
合計	1,029 (1.6%)	258 (0.4%)	8,174 (12.9%)	27,165 (43.0%)	21,965 (34.7%)	3,273 (5.2%)	1,373 (2.2%)	63,237 (100.0%)

- 転入者の有無別でみると、転入者がいるとされる集落では、30～64 歳人口割合が 40%以上の集落が 42.3%を占めている。

図表2-72 転入者の有無別・集落人口に占める 30～64 歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 30～64 歳の割合							計
	0%	1～9.9%	10～29%	30～39%	40～49%	50%～	無回答	
転入者が いる	115 (0.5%)	59 (0.2%)	2,677 (10.5%)	11,488 (45.1%)	9,657 (37.9%)	1,114 (4.4%)	371 (1.5%)	25,481 (100.0%)
転入者は いない	410 (7.6%)	55 (1.0%)	1,497 (27.8%)	1,762 (32.7%)	1,090 (20.2%)	450 (8.4%)	120 (2.2%)	5,384 (100.0%)
分からない	450 (1.5%)	135 (0.4%)	3,678 (12.0%)	13,244 (43.2%)	10,805 (35.3%)	1,626 (5.3%)	706 (2.3%)	30,644 (100.0%)
無回答	54 (3.1%)	9 (0.5%)	322 (18.6%)	671 (38.8%)	413 (23.9%)	83 (4.8%)	176 (10.2%)	1,728 (100.0%)
合計	1,029 (1.6%)	258 (0.4%)	8,174 (12.9%)	27,165 (43.0%)	21,965 (34.7%)	3,273 (5.2%)	1,373 (2.2%)	63,237 (100.0%)

#### ④65歳以上人口割合別 集落数

##### 【全体】

- 集落人口に占める65歳以上人口割合別集落数をみると、住民の半数以上が65歳以上である集落が29.2%を占め、住民全員が65歳以上の集落(下表の「うち100%」欄)が1,072集落(1.4%)みられる。
- 地域指定別でみると、振興山村において特に65歳以上人口割合が高い集落の割合が高くなっている。

図表2-73 集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数【全体】

全体	集落人口に占める65歳以上の割合								【再掲】65歳以上割合		
	0%	1~19%	20~39%	40~49%	50~69%	70%~	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
合計	516 (0.7%)	2,147 (2.8%)	27,084 (35.3%)	22,569 (29.4%)	17,705 (23.1%)	4,732 (6.2%)	1,957 (2.6%)	76,710 (100.0%)	52,316 (68.2%)	22,437 (29.2%)	1,072 (1.4%)

※【再掲】は無回答を除く。また、「うち100%」は65歳以上人口割合が100%の集落の割合を抜粋したものであり、「50%以上」に含まれる。

参考: 前回調査	551 (0.7%)	2,921 (3.9%)	35,366 (46.7%)	18,162 (24.0%)	12,175 (16.1%)	3,393 (4.5%)	3,094 (4.1%)	75,662 (100.0%)	57,000 (75.3%)	15,568 (20.6%)	801 (1.1%)
-------------	---------------	-----------------	-------------------	-------------------	-------------------	-----------------	-----------------	--------------------	-------------------	-------------------	---------------

図表2-74 地域指定別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数【全体】

全体	集落人口に占める65歳以上の割合								【再掲】65歳以上割合		
	0%	1~19%	20~39%	40~49%	50~69%	70%~	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
過疎地域	453 (0.7%)	1,517 (2.4%)	20,636 (32.6%)	19,334 (30.6%)	16,076 (25.4%)	4,296 (6.8%)	925 (1.5%)	63,237 (100.0%)	41,940 (66.3%)	20,372 (32.2%)	956 (1.5%)
振興山村	170 (0.6%)	418 (1.5%)	6,742 (25.0%)	7,791 (28.9%)	8,325 (30.8%)	2,790 (10.3%)	758 (2.8%)	26,994 (100.0%)	15,121 (56.0%)	11,115 (41.2%)	637 (2.4%)
離島	17 (0.7%)	50 (2.1%)	630 (27.0%)	661 (28.3%)	651 (27.9%)	223 (9.5%)	105 (4.5%)	2,337 (100.0%)	1,358 (58.1%)	874 (37.4%)	37 (1.6%)
半島	60 (0.4%)	433 (3.0%)	4,922 (33.7%)	4,205 (28.8%)	3,503 (24.0%)	784 (5.4%)	677 (4.6%)	14,584 (100.0%)	9,620 (66.0%)	4,287 (29.4%)	144 (1.0%)
特別豪雪地帯	75 (0.6%)	425 (3.5%)	5,300 (43.8%)	3,401 (28.1%)	2,124 (17.6%)	506 (4.2%)	271 (2.2%)	12,102 (100.0%)	9,201 (76.0%)	2,630 (21.7%)	144 (1.2%)

##### 【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落について、65歳以上人口割合をみると、住民の半数以上が65歳以上である集落が32.2%を占め、住民全員が65歳以上の集落(下表の「うち100%」欄)も956集落(1.5%)みられる。
- 地方ブロック別でみると、中国圏や四国圏で65歳以上人口の割合が50%以上の集落が4割以上を占めている一方、北海道や東北圏、沖縄県では65歳以上人口の割合が低い集落の割合が比較的高い。

図表2-75 地方ブロック別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める65歳以上の割合								【再掲】65歳以上割合		
	0%	1~19%	20~39%	40~49%	50~69%	70%~	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
1 北海道	51 (1.4%)	111 (3.0%)	1,471 (39.3%)	1,090 (29.1%)	868 (23.2%)	131 (3.5%)	24 (0.6%)	3,746 (100.0%)	2,723 (72.7%)	999 (26.7%)	35 (0.9%)
2 東北圏	49 (0.3%)	247 (1.8%)	5,693 (40.5%)	5,017 (35.7%)	2,437 (17.3%)	425 (3.0%)	199 (1.4%)	14,067 (100.0%)	11,006 (78.2%)	2,862 (20.3%)	104 (0.7%)
3 首都圏	4 (0.2%)	25 (1.2%)	649 (31.5%)	750 (36.4%)	466 (22.6%)	112 (5.4%)	54 (2.6%)	2,060 (100.0%)	1,428 (69.3%)	578 (28.1%)	18 (0.9%)
4 北陸圏	10 (0.5%)	33 (1.6%)	652 (31.5%)	624 (30.1%)	579 (28.0%)	172 (8.3%)	0 (0.0%)	2,070 (100.0%)	1,319 (63.7%)	751 (36.3%)	53 (2.6%)
5 中部圏	28 (0.8%)	68 (1.9%)	996 (27.8%)	1,069 (29.8%)	1,002 (27.9%)	298 (8.3%)	128 (3.6%)	3,589 (100.0%)	2,161 (60.2%)	1,300 (36.2%)	62 (1.7%)
6 近畿圏	13 (0.4%)	69 (1.9%)	1,130 (31.5%)	1,177 (32.8%)	853 (23.8%)	263 (7.3%)	84 (2.3%)	3,589 (100.0%)	2,389 (66.6%)	1,116 (31.1%)	50 (1.4%)
7 中国圏	167 (1.4%)	406 (3.3%)	3,205 (25.9%)	3,355 (27.1%)	3,883 (31.4%)	1,189 (9.6%)	163 (1.3%)	12,368 (100.0%)	7,133 (57.7%)	5,072 (41.0%)	277 (2.2%)
8 四国圏	49 (0.7%)	136 (2.0%)	1,778 (25.5%)	1,873 (26.9%)	2,092 (30.0%)	898 (12.9%)	144 (2.1%)	6,970 (100.0%)	3,836 (55.0%)	2,990 (42.9%)	216 (3.1%)
9 九州圏	79 (0.5%)	386 (2.7%)	4,885 (33.7%)	4,339 (29.9%)	3,884 (26.8%)	806 (5.6%)	129 (0.9%)	14,508 (100.0%)	9,689 (66.8%)	4,690 (32.3%)	141 (1.0%)
10 沖縄県	3 (1.1%)	36 (13.3%)	177 (65.6%)	40 (14.8%)	12 (4.4%)	2 (0.7%)	0 (0.0%)	270 (100.0%)	256 (94.8%)	14 (5.2%)	0 (0.0%)
合計	453 (0.7%)	1,517 (2.4%)	20,636 (32.6%)	19,334 (30.6%)	16,076 (25.4%)	4,296 (6.8%)	925 (1.5%)	63,237 (100.0%)	41,940 (66.3%)	20,372 (32.2%)	956 (1.5%)

- 集落類型別でみると、中心集落の約半数は 65 歳以上人口割合が 40%未満の集落であるのに対して、基礎集落では 65 歳以上人口割合が 50%以上の集落が 34.5%を占めている。

図表2-76 集落類型別・集落人口に占める 65 歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 65歳以上 の割合								【再掲】65歳以上割合		
	0%	1～19%	20～39%	40～49%	50～69%	70%～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
基礎集落	411 (0.8%)	1,285 (2.5%)	16,019 (30.8%)	15,617 (30.0%)	13,943 (26.8%)	4,007 (7.7%)	763 (1.5%)	52,045 (100.0%)	33,332 (64.0%)	17,950 (34.5%)	920 (1.8%)
基幹集落	21 (0.3%)	124 (1.9%)	2,558 (39.1%)	2,202 (33.7%)	1,357 (20.8%)	173 (2.6%)	99 (1.5%)	6,534 (100.0%)	4,905 (75.1%)	1,530 (23.4%)	7 (0.1%)
中心集落	15 (0.4%)	88 (2.2%)	1,858 (46.6%)	1,321 (33.1%)	596 (15.0%)	58 (1.5%)	50 (1.3%)	3,986 (100.0%)	3,282 (82.3%)	654 (16.4%)	9 (0.2%)
無回答	6 (0.9%)	20 (3.0%)	201 (29.9%)	194 (28.9%)	180 (26.8%)	58 (8.6%)	13 (1.9%)	672 (100.0%)	421 (62.6%)	238 (35.4%)	20 (3.0%)
合計	453 (0.7%)	1,517 (2.4%)	20,636 (32.6%)	19,334 (30.6%)	16,076 (25.4%)	4,296 (6.8%)	925 (1.5%)	63,237 (100.0%)	41,940 (66.3%)	20,372 (32.2%)	956 (1.5%)

- 地域区分別でみると、65 歳以上人口割合が 50%以上の集落の割合は山間地集落において 51.3%と特に高くなっている。一方、平地や都市的地域にある集落では、65 歳以上人口割合が 50%未満の集落が8割以上を占めている。

図表2-77 地域区分別・集落人口に占める 65 歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 65歳以上 の割合								【再掲】65歳以上割合		
	0%	1～19%	20～39%	40～49%	50～69%	70%～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
山間地	108 (0.5%)	199 (1.0%)	3,625 (18.2%)	5,438 (27.3%)	7,356 (36.9%)	2,862 (14.4%)	344 (1.7%)	19,932 (100.0%)	9,370 (47.0%)	10,218 (51.3%)	636 (3.2%)
中間地	99 (0.5%)	362 (1.9%)	5,861 (31.3%)	6,347 (33.9%)	4,845 (25.9%)	895 (4.8%)	330 (1.8%)	18,739 (100.0%)	12,669 (67.6%)	5,740 (30.6%)	166 (0.9%)
平地	176 (0.9%)	755 (3.8%)	8,694 (44.2%)	6,168 (31.3%)	3,219 (16.4%)	448 (2.3%)	218 (1.1%)	19,678 (100.0%)	15,793 (80.3%)	3,667 (18.6%)	134 (0.7%)
都市的地域	66 (1.5%)	196 (4.4%)	2,306 (52.1%)	1,227 (27.7%)	542 (12.3%)	65 (1.5%)	22 (0.5%)	4,424 (100.0%)	3,795 (85.8%)	607 (13.7%)	14 (0.3%)
無回答	4 (0.9%)	5 (1.1%)	150 (32.3%)	154 (33.2%)	114 (24.6%)	26 (5.6%)	11 (2.4%)	464 (100.0%)	313 (67.5%)	140 (30.2%)	6 (1.3%)
合計	453 (0.7%)	1,517 (2.4%)	20,636 (32.6%)	19,334 (30.6%)	16,076 (25.4%)	4,296 (6.8%)	925 (1.5%)	63,237 (100.0%)	41,940 (66.3%)	20,372 (32.2%)	956 (1.5%)

- 役場(本庁)までの距離別でみると、65 歳以上人口割合が 40%未満の集落の構成比は、役場(本庁)に近い集落ほど大きくなる傾向がみられる。一方、役場(本庁)から 20 km以上離れた集落では、65 歳以上人口割合が 50%以上を占める集落が 51.0%と5割以上を占めている。

図表2-78 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める 65 歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 65歳以上 の割合								【再掲】65歳以上割合		
	0%	1～19%	20～39%	40～49%	50～69%	70%～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
5km未満	170 (0.9%)	790 (4.1%)	9,123 (47.3%)	5,666 (29.4%)	2,975 (15.4%)	417 (2.2%)	132 (0.7%)	19,273 (100.0%)	15,749 (81.7%)	3,392 (17.6%)	109 (0.6%)
5km以上	101 (0.7%)	283 (2.0%)	4,793 (33.9%)	4,768 (33.7%)	3,404 (24.1%)	660 (4.7%)	124 (0.9%)	14,133 (100.0%)	9,945 (70.4%)	4,064 (28.8%)	146 (1.0%)
10km未満	92 (0.6%)	278 (1.7%)	4,383 (26.4%)	5,328 (32.1%)	4,989 (30.0%)	1,329 (8.0%)	211 (1.3%)	16,610 (100.0%)	10,081 (60.7%)	6,318 (38.0%)	299 (1.8%)
20km未満	83 (0.7%)	149 (1.2%)	2,148 (16.9%)	3,402 (26.8%)	4,612 (36.3%)	1,868 (14.7%)	444 (3.5%)	12,706 (100.0%)	5,782 (45.5%)	6,480 (51.0%)	393 (3.1%)
無回答	7 (1.4%)	17 (3.3%)	189 (36.7%)	170 (33.0%)	96 (18.6%)	22 (4.3%)	14 (2.7%)	515 (100.0%)	383 (74.4%)	118 (22.9%)	9 (1.7%)
合計	453 (0.7%)	1,517 (2.4%)	20,636 (32.6%)	19,334 (30.6%)	16,076 (25.4%)	4,296 (6.8%)	925 (1.5%)	63,237 (100.0%)	41,940 (66.3%)	20,372 (32.2%)	956 (1.5%)

- 転入者の有無別でみると、転入者がいるとされる集落では、65歳以上人口割合が50%未満の集落が7割超を占めている。

図表2-79 転入者の有無別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 65歳以上 の割合								【再掲】65歳以上割合		
	0%	1～19%	20～39%	40～49%	50～69%	70%～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
転入者がいる	164 (0.6%)	643 (2.5%)	9,211 (36.1%)	8,368 (32.8%)	6,061 (23.8%)	913 (3.6%)	121 (0.5%)	25,481 (100.0%)	18,386 (72.2%)	6,974 (27.4%)	81 (0.3%)
転入者はいない	64 (1.2%)	69 (1.3%)	755 (14.0%)	1,063 (19.7%)	2,066 (38.4%)	1,330 (24.7%)	37 (0.7%)	5,384 (100.0%)	1,951 (36.2%)	3,396 (63.1%)	401 (7.4%)
分からない	209 (0.7%)	776 (2.5%)	10,266 (33.5%)	9,494 (31.0%)	7,462 (24.4%)	1,846 (6.0%)	591 (1.9%)	30,644 (100.0%)	20,745 (67.7%)	9,308 (30.4%)	425 (1.4%)
無回答	16 (0.9%)	29 (1.7%)	404 (23.4%)	409 (23.7%)	487 (28.2%)	207 (12.0%)	176 (10.2%)	1,728 (100.0%)	858 (49.7%)	694 (40.2%)	49 (2.8%)
合計	453 (0.7%)	1,517 (2.4%)	20,636 (32.6%)	19,334 (30.6%)	16,076 (25.4%)	4,296 (6.8%)	925 (1.5%)	63,237 (100.0%)	41,940 (66.3%)	20,372 (32.2%)	956 (1.5%)

- 地形的末端性別でみると、地形的に末端にある集落の6割近くは、65歳以上人口割合が50%を超えている集落である。

図表2-80 地形的末端性別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 65歳以上 の割合								【再掲】65歳以上割合		
	0%	1～19%	20～39%	40～49%	50～69%	70%～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
地形的末端である	28 (0.7%)	42 (1.1%)	562 (14.4%)	933 (23.9%)	1,426 (36.6%)	832 (21.3%)	77 (2.0%)	3,900 (100.0%)	1,565 (40.1%)	2,258 (57.9%)	256 (6.6%)
地形的末端でない	425 (0.7%)	1,475 (2.5%)	20,074 (33.8%)	18,401 (31.0%)	14,650 (24.7%)	3,464 (5.8%)	848 (1.4%)	59,337 (100.0%)	40,375 (68.0%)	18,114 (30.5%)	700 (1.2%)
合計	453 (0.7%)	1,517 (2.4%)	20,636 (32.6%)	19,334 (30.6%)	16,076 (25.4%)	4,296 (6.8%)	925 (1.5%)	63,237 (100.0%)	41,940 (66.3%)	20,372 (32.2%)	956 (1.5%)

⑤65歳以上人口割合の高い集落の特性

【全体】

- 65歳以上人口割合が50%以上の集落の特性をみると、人口・世帯数ともに規模が小さく、役場(本庁)から遠距離で地形的に末端にあり、山間地集落や基礎集落が多い。
- また、65歳以上人口割合が75%以上の集落では、集落機能が低下している、あるいは維持が困難である集落の割合も高くなっている。
- 65歳以上人口割合の高い集落において、地域おこし協力隊等のサポート人材が活動している集落の割合が高くなっている。

図表2-81 65歳以上人口割合が高い集落の主要特性【全体】

全体		65歳以上人口割合の区別 集落数						計
		100%	75%以上 100%未満	50%以上 75%未満	25%以上 50%未満	25%未満	無回答	
集落 類型	基礎集落	1,026 (95.7%)	2,238 (93.1%)	16,452 (86.8%)	36,978 (78.1%)	3,811 (76.9%)	1,595 (81.5%)	62,100 (81.0%)
	基幹集落	11 (1.0%)	101 (4.2%)	1,544 (8.1%)	5,639 (11.9%)	493 (10.0%)	179 (9.1%)	7,967 (10.4%)
	中心集落	12 (1.1%)	36 (1.5%)	729 (3.8%)	3,879 (8.2%)	417 (8.4%)	92 (4.7%)	5,165 (6.7%)
地域 区分	山間地	708 (66.0%)	1,595 (66.3%)	8,840 (46.6%)	10,466 (22.1%)	612 (12.4%)	522 (26.7%)	22,743 (29.6%)
	中間地	182 (17.0%)	504 (21.0%)	5,614 (29.6%)	14,064 (29.7%)	984 (19.9%)	787 (40.2%)	22,135 (28.9%)
	平地	152 (14.2%)	237 (9.9%)	3,620 (19.1%)	16,908 (35.7%)	2,179 (44.0%)	430 (22.0%)	23,526 (30.7%)
	都市的地域	20 (1.9%)	53 (2.2%)	712 (3.8%)	5,077 (10.7%)	962 (19.4%)	131 (6.7%)	6,955 (9.1%)
人口 規模	～9	831 (77.5%)	592 (24.6%)	861 (4.5%)	346 (0.7%)	334 (6.7%)	27 (1.4%)	2,991 (3.9%)
	10～24	111 (10.4%)	1,160 (48.3%)	3,672 (19.4%)	2,103 (4.4%)	432 (8.7%)	65 (3.3%)	7,543 (9.8%)
	25～49	59 (5.5%)	480 (20.0%)	5,621 (29.6%)	5,934 (12.5%)	569 (11.5%)	123 (6.3%)	12,786 (16.7%)
	50～99	67 (6.3%)	122 (5.1%)	5,069 (26.7%)	11,497 (24.3%)	743 (15.0%)	126 (6.4%)	17,624 (23.0%)
	100～199	4 (0.4%)	39 (1.6%)	2,523 (13.3%)	12,932 (27.3%)	863 (17.4%)	165 (8.4%)	16,526 (21.5%)
	200～499	0 (0.0%)	10 (0.4%)	1,039 (5.5%)	10,268 (21.7%)	1,048 (21.2%)	184 (9.4%)	12,549 (16.4%)
	500～999	0 (0.0%)	1 (0.0%)	142 (0.7%)	2,873 (6.1%)	596 (12.0%)	78 (4.0%)	3,690 (4.8%)
	1000～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	34 (0.2%)	1,409 (3.0%)	369 (7.4%)	86 (4.4%)	1,898 (2.5%)
世帯 数規模	～9	877 (81.8%)	1,148 (47.8%)	2,955 (15.6%)	2,215 (4.7%)	716 (14.5%)	83 (4.2%)	7,994 (10.4%)
	10～19	54 (5.0%)	834 (34.7%)	5,360 (28.3%)	6,093 (12.9%)	571 (11.5%)	195 (10.0%)	13,107 (17.1%)
	20～29	28 (2.6%)	212 (8.8%)	3,509 (18.5%)	6,268 (13.2%)	440 (8.9%)	157 (8.0%)	10,614 (13.8%)
	30～49	37 (3.5%)	107 (4.5%)	3,392 (17.9%)	9,398 (19.8%)	575 (11.6%)	167 (8.5%)	13,676 (17.8%)
	50～99	66 (6.2%)	79 (3.3%)	2,454 (12.9%)	11,426 (24.1%)	869 (17.5%)	211 (10.8%)	15,105 (19.7%)
	100～199	4 (0.4%)	18 (0.7%)	924 (4.9%)	6,925 (14.6%)	777 (15.7%)	132 (6.7%)	8,780 (11.4%)
	200～499	0 (0.0%)	5 (0.2%)	311 (1.6%)	3,752 (7.9%)	703 (14.2%)	109 (5.6%)	4,880 (6.4%)
	500～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	37 (0.2%)	1,163 (2.5%)	287 (5.8%)	75 (3.8%)	1,562 (2.0%)
転入 者	転入者がいる	92 (8.6%)	500 (20.8%)	6,980 (36.8%)	20,439 (43.2%)	2,013 (40.6%)	252 (12.9%)	30,276 (39.5%)
	転入者がいない	445 (41.5%)	699 (29.1%)	2,571 (13.6%)	2,131 (4.5%)	228 (4.6%)	82 (4.2%)	6,156 (8.0%)
サポ ート 人 材	サポート人材あり	487 (45.4%)	1,126 (46.8%)	7,573 (39.9%)	14,324 (30.2%)	1,329 (26.8%)	374 (19.1%)	25,213 (32.9%)
	集落支援員	299 (27.9%)	685 (28.5%)	4,545 (24.0%)	8,409 (17.8%)	787 (15.9%)	100 (5.1%)	14,825 (19.3%)
	地域おこし協力隊	282 (26.3%)	673 (28.0%)	4,766 (25.1%)	8,465 (17.9%)	802 (16.2%)	314 (16.0%)	15,302 (19.9%)
	その他	35 (3.3%)	91 (3.8%)	426 (2.2%)	832 (1.8%)	74 (1.5%)	33 (1.7%)	1,491 (1.9%)
	サポート人材なし	585 (54.6%)	1,278 (53.2%)	11,388 (60.1%)	33,038 (69.8%)	3,625 (73.2%)	1,583 (80.9%)	51,497 (67.1%)
集落 機能	良好	297 (27.7%)	888 (36.9%)	12,567 (66.3%)	40,813 (86.2%)	4,320 (87.2%)	1,192 (60.9%)	60,077 (78.3%)
	機能低下	259 (24.2%)	987 (41.1%)	5,215 (27.5%)	5,801 (12.2%)	460 (9.3%)	410 (21.0%)	13,132 (17.1%)
	機能維持困難	498 (46.5%)	520 (21.6%)	1,137 (6.0%)	517 (1.1%)	124 (2.5%)	65 (3.3%)	2,861 (3.7%)
本 庁 ま だ の 距 離	5 <sup>キロ</sup> 未満	122 (11.4%)	194 (8.1%)	3,410 (18.0%)	17,460 (36.9%)	2,737 (55.2%)	375 (19.2%)	24,298 (31.7%)
	5 <sup>キロ</sup> 以上10 <sup>キロ</sup> 未満	173 (16.1%)	347 (14.4%)	4,068 (21.5%)	11,784 (24.9%)	919 (18.6%)	269 (13.7%)	17,560 (22.9%)
	10 <sup>キロ</sup> 以上20 <sup>キロ</sup> 未満	348 (32.5%)	792 (32.9%)	5,948 (31.4%)	11,483 (24.2%)	798 (16.1%)	473 (24.2%)	19,842 (25.9%)
	20 <sup>キロ</sup> 以上	419 (39.1%)	1,061 (44.1%)	5,417 (28.6%)	6,056 (12.8%)	401 (8.1%)	518 (26.5%)	13,872 (18.1%)
地 形	地形的末端である	286 (26.7%)	467 (19.4%)	1,810 (9.5%)	1,852 (3.9%)	127 (2.6%)	133 (6.8%)	4,675 (6.1%)
	地形的末端でない	786 (73.3%)	1,937 (80.6%)	17,151 (90.5%)	45,510 (96.1%)	4,827 (97.4%)	1,824 (93.2%)	72,035 (93.9%)
全体(割合の基数)		1,072 (100.0%)	2,404 (100.0%)	18,961 (100.0%)	47,362 (100.0%)	4,954 (100.0%)	1,957 (100.0%)	76,710 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域における 65 歳以上人口割合が 50%以上の集落の特性をみると、条件不利地域全体と同様、人口・世帯数ともに規模が小さく、役場(本庁)から遠距離で地形的に末端にあり、山間地集落や基礎集落が多い。
- また、65 歳以上人口割合が 75%以上の集落では、集落機能が低下している、あるいは維持が困難である集落の割合も高くなっている。
- 地域おこし協力隊等のサポート人材が活動している集落の割合は、65 歳以上人口割合が高い集落においてより高い傾向がみられる。

図表2-82 65 歳以上人口割合が高い集落の主要特性【過疎地域のみ】

過疎地域		65歳以上人口割合の区別 集落数						計
		100%	75%以上 100%未満	50%以上 75%未満	25%以上 50%未満	25%未満	無回答	
集落 類型	基礎集落	920 (96.2%)	2,049 (93.5%)	14,981 (87.0%)	30,377 (79.2%)	2,955 (82.2%)	763 (82.5%)	52,045 (82.3%)
	基幹集落	7 (0.7%)	91 (4.2%)	1,432 (8.3%)	4,580 (11.9%)	325 (9.0%)	99 (10.7%)	6,534 (10.3%)
	中心集落	9 (0.9%)	27 (1.2%)	618 (3.6%)	3,012 (7.9%)	270 (7.5%)	50 (5.4%)	3,986 (6.3%)
地域 区分	山間地	636 (66.5%)	1,479 (67.5%)	8,103 (47.0%)	8,835 (23.0%)	535 (14.9%)	344 (37.2%)	19,932 (31.5%)
	中間地	166 (17.4%)	468 (21.4%)	5,106 (29.6%)	11,836 (30.9%)	833 (23.2%)	330 (35.7%)	18,739 (29.6%)
	平地	134 (14.0%)	201 (9.2%)	3,332 (19.3%)	14,114 (36.8%)	1,679 (46.7%)	218 (23.6%)	19,678 (31.1%)
	都市的地域	14 (1.5%)	32 (1.5%)	561 (3.3%)	3,262 (8.5%)	533 (14.8%)	22 (2.4%)	4,424 (7.0%)
人口 規模	～9	735 (76.9%)	542 (24.7%)	783 (4.5%)	309 (0.8%)	293 (8.2%)	16 (1.7%)	2,678 (4.2%)
	10～24	100 (10.5%)	1,059 (48.3%)	3,414 (19.8%)	1,902 (5.0%)	391 (10.9%)	48 (5.2%)	6,914 (10.9%)
	25～49	56 (5.9%)	433 (19.8%)	5,187 (30.1%)	5,324 (13.9%)	501 (13.9%)	93 (10.1%)	11,594 (18.3%)
	50～99	61 (6.4%)	113 (5.2%)	4,561 (26.5%)	9,993 (26.1%)	637 (17.7%)	63 (6.8%)	15,428 (24.4%)
	100～199	4 (0.4%)	34 (1.6%)	2,247 (13.0%)	10,604 (27.7%)	661 (18.4%)	59 (6.4%)	13,609 (21.5%)
	200～499	0 (0.0%)	10 (0.5%)	888 (5.2%)	7,669 (20.0%)	679 (18.9%)	46 (5.0%)	9,292 (14.7%)
	500～999	0 (0.0%)	1 (0.0%)	113 (0.7%)	1,800 (4.7%)	307 (8.5%)	12 (1.3%)	2,233 (3.5%)
	1000～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	31 (0.2%)	744 (1.9%)	126 (3.5%)	10 (1.1%)	911 (1.4%)
世帯 数規模	～9	781 (81.7%)	1,059 (48.3%)	2,734 (15.9%)	1,976 (5.2%)	642 (17.9%)	44 (4.8%)	7,236 (11.4%)
	10～19	46 (4.8%)	758 (34.6%)	4,974 (28.9%)	5,456 (14.2%)	499 (13.9%)	119 (12.9%)	11,852 (18.7%)
	20～29	23 (2.4%)	190 (8.7%)	3,188 (18.5%)	5,475 (14.3%)	377 (10.5%)	87 (9.4%)	9,340 (14.8%)
	30～49	37 (3.9%)	93 (4.2%)	3,044 (17.7%)	8,002 (20.9%)	465 (12.9%)	65 (7.0%)	11,706 (18.5%)
	50～99	60 (6.3%)	70 (3.2%)	2,195 (12.7%)	9,202 (24.0%)	659 (18.3%)	73 (7.9%)	12,259 (19.4%)
	100～199	4 (0.4%)	17 (0.8%)	796 (4.6%)	5,119 (13.3%)	482 (13.4%)	33 (3.6%)	6,451 (10.2%)
	200～499	0 (0.0%)	5 (0.2%)	250 (1.5%)	2,417 (6.3%)	351 (9.8%)	22 (2.4%)	3,045 (4.8%)
	500～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	32 (0.2%)	636 (1.7%)	112 (3.1%)	9 (1.0%)	789 (1.2%)
転入 者	転入者がいる	81 (8.5%)	465 (21.2%)	6,428 (37.3%)	16,835 (43.9%)	1,551 (43.1%)	121 (13.1%)	25,481 (40.3%)
	転入者はいない	401 (41.9%)	652 (29.7%)	2,343 (13.6%)	1,757 (4.6%)	194 (5.4%)	37 (4.0%)	5,384 (8.5%)
サポ ート 人 材	サポート人材あり	455 (47.6%)	1,061 (48.4%)	7,026 (40.8%)	12,094 (31.5%)	1,068 (29.7%)	293 (31.7%)	21,997 (34.8%)
	集落支援員	279 (29.2%)	647 (29.5%)	4,210 (24.4%)	7,033 (18.3%)	622 (17.3%)	60 (6.5%)	12,851 (20.3%)
	地域おこし協力隊	268 (28.0%)	639 (29.2%)	4,486 (26.0%)	7,405 (19.3%)	691 (19.2%)	251 (27.1%)	13,740 (21.7%)
	その他	34 (3.6%)	87 (4.0%)	407 (2.4%)	768 (2.0%)	59 (1.6%)	33 (3.6%)	1,388 (2.2%)
	サポート人材なし	501 (52.4%)	1,131 (51.6%)	10,198 (59.2%)	26,251 (68.5%)	2,527 (70.3%)	632 (68.3%)	41,240 (65.2%)
集落 機能	良好	260 (27.2%)	819 (37.4%)	11,490 (66.7%)	33,268 (86.8%)	3,124 (86.9%)	642 (69.4%)	49,603 (78.4%)
	機能低下	229 (24.0%)	881 (40.2%)	4,683 (27.2%)	4,550 (11.9%)	342 (9.5%)	208 (22.5%)	10,893 (17.2%)
	機能維持困難	450 (47.1%)	484 (22.1%)	1,038 (6.0%)	480 (1.3%)	115 (3.2%)	51 (5.5%)	2,618 (4.1%)
本 庁 ま だ の 距 離	5 <sup>キロ</sup> 未満	109 (11.4%)	180 (8.2%)	3,103 (18.0%)	13,836 (36.1%)	1,913 (53.2%)	132 (14.3%)	19,273 (30.5%)
	5 <sup>キロ</sup> 以上10 <sup>キロ</sup> 未満	146 (15.3%)	314 (14.3%)	3,604 (20.9%)	9,291 (24.2%)	654 (18.2%)	124 (13.4%)	14,133 (22.3%)
	10 <sup>キロ</sup> 以上20 <sup>キロ</sup> 未満	299 (31.3%)	687 (31.3%)	5,332 (31.0%)	9,454 (24.7%)	627 (17.4%)	211 (22.8%)	16,610 (26.3%)
	20 <sup>キロ</sup> 以上	393 (41.1%)	1,003 (45.8%)	5,084 (29.5%)	5,415 (14.1%)	367 (10.2%)	444 (48.0%)	12,706 (20.1%)
地 形	地形的末端である	256 (26.8%)	410 (18.7%)	1,592 (9.2%)	1,454 (3.8%)	111 (3.1%)	77 (8.3%)	3,900 (6.2%)
	地形的末端でない	700 (73.2%)	1,782 (81.3%)	15,632 (90.8%)	36,891 (96.2%)	3,484 (96.9%)	848 (91.7%)	59,337 (93.8%)
全体(割合の基数)		956 (100.0%)	2,192 (100.0%)	17,224 (100.0%)	38,345 (100.0%)	3,595 (100.0%)	925 (100.0%)	63,237 (100.0%)

⑥75歳以上人口割合別 集落数

【全体】

- 集落人口に占める75歳以上人口割合別集落数をみると、75歳以上人口割合が50%以上の集落は5.3%であり、住民全員が75歳以上の集落(下表の「(うち100%)」欄)も389集落(0.5%)みられた。
- 地域指定別で比較すると、75歳以上人口割合が30%以上の集落の構成比は振興山村において最も高く、振興山村における集落全体の4割近くを占めている。

図表2-83 集落人口に占める75歳以上人口割合別 集落数【全体】

全体	集落人口に占める75歳以上の割合								【再掲】75歳以上割合		
	0%	1～9.9%	10～19%	20～29%	30～49%	50～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
合計	1,294 (1.7%)	2,983 (3.9%)	20,620 (26.9%)	30,014 (39.1%)	15,790 (20.6%)	4,052 (5.3%)	1,957 (2.6%)	76,710 (100.0%)	70,701 (92.2%)	4,052 (5.3%)	389 (0.5%)

※【再掲】は無回答を除く。また、「うち100%」は75歳以上人口割合が100%の集落の割合を抜粋したものであり、「50%以上」に含まれる。

参考: 前回調査	1,054 (1.4%)	3,717 (4.9%)	23,352 (30.9%)	27,702 (36.6%)	13,280 (17.6%)	3,457 (4.6%)	3,100 (4.1%)	75,662 (100.0%)	69,105 (91.3%)	3,457 (4.6%)	306 (0.4%)
-------------	-----------------	-----------------	-------------------	-------------------	-------------------	-----------------	-----------------	--------------------	-------------------	-----------------	---------------

図表2-84 地域指定別・集落人口に占める75歳以上人口割合別 集落数【全体】

全体	集落人口に占める75歳以上の割合								【再掲】75歳以上割合		
	0%	1～9.9%	10～19%	20～29%	30～49%	50～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
過疎地域	1,089 (1.7%)	2,110 (3.3%)	15,478 (24.5%)	25,560 (40.4%)	14,399 (22.8%)	3,676 (5.8%)	925 (1.5%)	63,237 (100.0%)	58,636 (92.7%)	3,676 (5.8%)	339 (0.5%)
振興山村	476 (1.8%)	617 (2.3%)	4,955 (18.4%)	10,165 (37.7%)	7,594 (28.1%)	2,429 (9.0%)	758 (2.8%)	26,994 (100.0%)	23,807 (88.2%)	2,429 (9.0%)	254 (0.9%)
離島	32 (1.4%)	70 (3.0%)	482 (20.6%)	864 (37.0%)	601 (25.7%)	183 (7.8%)	105 (4.5%)	2,337 (100.0%)	2,049 (87.7%)	183 (7.8%)	13 (0.6%)
半島	170 (1.2%)	575 (3.9%)	3,799 (26.0%)	5,585 (38.3%)	3,105 (21.3%)	673 (4.6%)	677 (4.6%)	14,584 (100.0%)	13,234 (90.7%)	673 (4.6%)	57 (0.4%)
特別豪雪地帯	177 (1.5%)	625 (5.2%)	4,020 (33.2%)	4,674 (38.6%)	1,899 (15.7%)	436 (3.6%)	271 (2.2%)	12,102 (100.0%)	11,395 (94.2%)	436 (3.6%)	60 (0.5%)

### 【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落について、75歳以上人口割合別でみると、75歳以上人口割合が50%以上の集落は5.8%であり、住民全員が75歳以上の集落(下表の「うち100%」欄)も339集落(0.5%)みられた。
- 地方ブロック別でみると、中国圏及び四国圏において75歳以上人口割合が30%以上の集落の割合が高く、特に四国圏では集落人口の半数以上が75歳の集落が1割以上を占めている。一方、北海道や東北圏、沖縄県では75歳以上人口割合が比較的低い集落が占める割合が他のブロックより高くなっている。

図表2-85 地方ブロック別・集落人口に占める75歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 75歳以上 の割合								【再掲】75歳以上割合		
	0%	1～9.9%	10～19%	20～29%	30～49%	50%～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
1 北海道	93 (2.5%)	163 (4.4%)	1,114 (29.7%)	1,478 (39.5%)	764 (20.4%)	110 (2.9%)	24 (0.6%)	3,746 (100.0%)	3,612 (96.4%)	110 (2.9%)	16 (0.4%)
2 東北圏	122 (0.9%)	371 (2.6%)	4,160 (29.6%)	6,655 (47.3%)	2,183 (15.5%)	377 (2.7%)	199 (1.4%)	14,067 (100.0%)	13,491 (95.9%)	377 (2.7%)	37 (0.3%)
3 首都圏	15 (0.7%)	42 (2.0%)	511 (24.8%)	914 (44.4%)	419 (20.3%)	105 (5.1%)	54 (2.6%)	2,060 (100.0%)	1,901 (92.3%)	105 (5.1%)	5 (0.2%)
4 北陸圏	27 (1.3%)	57 (2.8%)	518 (25.0%)	846 (40.9%)	489 (23.6%)	133 (6.4%)	0 (0.0%)	2,070 (100.0%)	1,937 (93.6%)	133 (6.4%)	24 (1.2%)
5 中部圏	107 (3.0%)	77 (2.1%)	639 (17.8%)	1,392 (38.8%)	984 (27.4%)	262 (7.3%)	128 (3.6%)	3,589 (100.0%)	3,199 (89.1%)	262 (7.3%)	24 (0.7%)
6 近畿圏	26 (0.7%)	95 (2.6%)	813 (22.7%)	1,523 (42.4%)	806 (22.5%)	242 (6.7%)	84 (2.3%)	3,589 (100.0%)	3,263 (90.9%)	242 (6.7%)	18 (0.5%)
7 中国圏	300 (2.4%)	521 (4.2%)	2,483 (20.1%)	4,484 (36.3%)	3,433 (27.8%)	984 (8.0%)	163 (1.3%)	12,368 (100.0%)	11,221 (90.7%)	984 (8.0%)	89 (0.7%)
8 四国圏	111 (1.6%)	207 (3.0%)	1,446 (20.7%)	2,420 (34.7%)	1,836 (26.3%)	806 (11.6%)	144 (2.1%)	6,970 (100.0%)	6,020 (86.4%)	806 (11.6%)	84 (1.2%)
9 九州圏	285 (2.0%)	534 (3.7%)	3,654 (25.2%)	5,786 (39.9%)	3,467 (23.9%)	653 (4.5%)	129 (0.9%)	14,508 (100.0%)	13,726 (94.6%)	653 (4.5%)	42 (0.3%)
10 沖縄県	3 (1.1%)	43 (15.9%)	140 (51.9%)	62 (23.0%)	18 (6.7%)	4 (1.5%)	0 (0.0%)	270 (100.0%)	266 (98.5%)	4 (1.5%)	0 (0.0%)
合計	1,089 (1.7%)	2,110 (3.3%)	15,478 (24.5%)	25,560 (40.4%)	14,399 (22.8%)	3,676 (5.8%)	925 (1.5%)	63,237 (100.0%)	58,636 (92.7%)	3,676 (5.8%)	339 (0.5%)

- 集落類型別でみると、75歳以上人口割合が30%以上の集落の構成比は基礎集落において最も大きく、75歳以上人口割合が50%を超えている集落は基礎集落では6.6%を占めている。
- 一方、中心集落の4割近くは、75歳以上人口割合が20%未満の集落である。

図表2-86 集落類型別・集落人口に占める75歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 75歳以上 の割合								【再掲】75歳以上割合		
	0%	1～9.9%	10～19%	20～29%	30～49%	50%～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
基礎集落	989 (1.9%)	1,803 (3.5%)	12,197 (23.4%)	20,486 (39.4%)	12,382 (23.8%)	3,425 (6.6%)	763 (1.5%)	52,045 (100.0%)	47,857 (92.0%)	3,425 (6.6%)	329 (0.6%)
基幹集落	42 (0.6%)	162 (2.5%)	1,833 (28.1%)	2,990 (45.8%)	1,264 (19.3%)	144 (2.2%)	99 (1.5%)	6,534 (100.0%)	6,291 (96.3%)	144 (2.2%)	2 (0.0%)
中心集落	46 (1.2%)	118 (3.0%)	1,294 (32.5%)	1,822 (45.7%)	604 (15.2%)	52 (1.3%)	50 (1.3%)	3,986 (100.0%)	3,884 (97.4%)	52 (1.3%)	1 (0.0%)
無回答	12 (1.8%)	27 (4.0%)	154 (22.9%)	262 (39.0%)	149 (22.2%)	55 (8.2%)	13 (1.9%)	672 (100.0%)	604 (89.9%)	55 (8.2%)	7 (1.0%)
合計	1,089 (1.7%)	2,110 (3.3%)	15,478 (24.5%)	25,560 (40.4%)	14,399 (22.8%)	3,676 (5.8%)	925 (1.5%)	63,237 (100.0%)	58,636 (92.7%)	3,676 (5.8%)	339 (0.5%)

- 地域区別でみると、都市的地域にある集落の半数近くは 75 歳以上人口割合が 20%未満であるのに対して、山間地の集落では 75 歳以上人口割合が 30%以上の集落が 46.2%を占めており、100% (集落住民全員が 75 歳以上) という集落も 1.3%と1割を超えている。

図表2-87 地域区別・集落人口に占める 75 歳以上人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 75歳以上 の割合								【再掲】75歳以上割合		
	0%	1～9.9%	10～19%	20～29%	30～49%	50～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
山間地	345 (1.7%)	300 (1.5%)	2,666 (13.4%)	7,064 (35.4%)	6,713 (33.7%)	2,500 (12.5%)	344 (1.7%)	19,932 (100.0%)	17,088 (85.7%)	2,500 (12.5%)	256 (1.3%)
中間地	269 (1.4%)	544 (2.9%)	4,457 (23.8%)	8,166 (43.6%)	4,241 (22.6%)	732 (3.9%)	330 (1.8%)	18,739 (100.0%)	17,677 (94.3%)	732 (3.9%)	42 (0.2%)
平地	372 (1.9%)	1,013 (5.1%)	6,541 (33.2%)	8,337 (42.4%)	2,823 (14.3%)	374 (1.9%)	218 (1.1%)	19,678 (100.0%)	19,086 (97.0%)	374 (1.9%)	35 (0.2%)
都市的地域	96 (2.2%)	246 (5.6%)	1,698 (38.4%)	1,796 (40.6%)	518 (11.7%)	48 (1.1%)	22 (0.5%)	4,424 (100.0%)	4,354 (98.4%)	48 (1.1%)	4 (0.1%)
無回答	7 (1.5%)	7 (1.5%)	116 (25.0%)	197 (42.5%)	104 (22.4%)	22 (4.7%)	11 (2.4%)	464 (100.0%)	431 (92.9%)	22 (4.7%)	2 (0.4%)
合計	1,089 (1.7%)	2,110 (3.3%)	15,478 (24.5%)	25,560 (40.4%)	14,399 (22.8%)	3,676 (5.8%)	925 (1.5%)	63,237 (100.0%)	58,636 (92.7%)	3,676 (5.8%)	339 (0.5%)

- 役場(本庁)までの距離別でみると、75 歳以上人口割合が 30%以上の集落の構成比は、役場(本庁)から遠距離にある集落ほど大きくなっており、役場(本庁)から 20 km以上離れた集落では、75 歳以上人口割合が 50%以上を占める集落が 12.4%を占めている。

図表2-88 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める 75 歳以上人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 75歳以上 の割合								【再掲】75歳以上割合		
	0%	1～9.9%	10～19%	20～29%	30～49%	50～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
5km未満	306 (1.6%)	1,064 (5.5%)	6,947 (36.0%)	7,864 (40.8%)	2,605 (13.5%)	355 (1.8%)	132 (0.7%)	19,273 (100.0%)	18,786 (97.5%)	355 (1.8%)	32 (0.2%)
5km以上 10km未満	219 (1.5%)	416 (2.9%)	3,586 (25.4%)	6,231 (44.1%)	3,008 (21.3%)	549 (3.9%)	124 (0.9%)	14,133 (100.0%)	13,460 (95.2%)	549 (3.9%)	39 (0.3%)
10km以上 20km未満	261 (1.6%)	405 (2.4%)	3,206 (19.3%)	6,858 (41.3%)	4,490 (27.0%)	1,179 (7.1%)	211 (1.3%)	16,610 (100.0%)	15,220 (91.6%)	1,179 (7.1%)	112 (0.7%)
20km以上	289 (2.3%)	202 (1.6%)	1,589 (12.5%)	4,396 (34.6%)	4,215 (33.2%)	1,571 (12.4%)	444 (3.5%)	12,706 (100.0%)	10,691 (84.1%)	1,571 (12.4%)	152 (1.2%)
無回答	14 (2.7%)	23 (4.5%)	150 (29.1%)	211 (41.0%)	81 (15.7%)	22 (4.3%)	14 (2.7%)	515 (100.0%)	479 (93.0%)	22 (4.3%)	4 (0.8%)
合計	1,089 (1.7%)	2,110 (3.3%)	15,478 (24.5%)	25,560 (40.4%)	14,399 (22.8%)	3,676 (5.8%)	925 (1.5%)	63,237 (100.0%)	58,636 (92.7%)	3,676 (5.8%)	339 (0.5%)

- 転入者の有無別でみると、転入者がいるとされる集落の7割以上は 75 歳以上人口割合が 30%未満である。

図表2-89 転入者の有無別・集落人口に占める 75 歳以上人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 75歳以上 の割合								【再掲】75歳以上割合		
	0%	1～9.9%	10～19%	20～29%	30～49%	50～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
転入者が いる	302 (1.2%)	887 (3.5%)	6,727 (26.4%)	11,130 (43.7%)	5,562 (21.8%)	752 (3.0%)	121 (0.5%)	25,481 (100.0%)	24,608 (96.6%)	752 (3.0%)	13 (0.1%)
転入者は いない	175 (3.3%)	96 (1.8%)	612 (11.4%)	1,524 (28.3%)	1,797 (33.4%)	1,143 (21.2%)	37 (0.7%)	5,384 (100.0%)	4,204 (78.1%)	1,143 (21.2%)	161 (3.0%)
分からない	579 (1.9%)	1,087 (3.5%)	7,863 (25.7%)	12,362 (40.3%)	6,592 (21.5%)	1,570 (5.1%)	591 (1.9%)	30,644 (100.0%)	28,483 (92.9%)	1,570 (5.1%)	144 (0.5%)
無回答	33 (1.9%)	40 (2.3%)	276 (16.0%)	544 (31.5%)	448 (25.9%)	211 (12.2%)	176 (10.2%)	1,728 (100.0%)	1,341 (77.6%)	211 (12.2%)	21 (1.2%)
合計	1,089 (1.7%)	2,110 (3.3%)	15,478 (24.5%)	25,560 (40.4%)	14,399 (22.8%)	3,676 (5.8%)	925 (1.5%)	63,237 (100.0%)	58,636 (92.7%)	3,676 (5.8%)	339 (0.5%)

⑦75歳以上人口割合の高い集落の特性

【全体】

- 75歳以上人口割合が高い集落の多くは、役場(本庁)から遠距離にある山間地の小規模な基礎集落であり、集落機能の維持が困難、もしくは低下している割合が高い。また、サポート人材が活動する集落の割合が高い。
- 75歳以上人口割合が100%(集落住民全員が75歳以上)の集落のほとんどが10人未満・10世帯未満の基礎集落で、約6割は集落機能の維持が困難な状況にある。

図表2-90 75歳以上人口割合の高い集落の主要特性【全体】

全体		75歳以上人口割合の区分別 集落数				計
		100%	50%以上 100%未満	50%未満	無回答	
集落 類型	基礎集落	374 (96.1%)	3,381 (92.3%)	56,750 (80.3%)	1,595 (81.5%)	62,100 (81.0%)
	基幹集落	3 (0.8%)	157 (4.3%)	7,628 (10.8%)	179 (9.1%)	7,967 (10.4%)
	中心集落	4 (1.0%)	65 (1.8%)	5,004 (7.1%)	92 (4.7%)	5,165 (6.7%)
地域 区分	山間地	289 (74.3%)	2,433 (66.4%)	19,499 (27.6%)	522 (26.7%)	22,743 (29.6%)
	中間地	48 (12.3%)	737 (20.1%)	20,563 (29.1%)	787 (40.2%)	22,135 (28.9%)
	平地	42 (10.8%)	394 (10.8%)	22,660 (32.1%)	430 (22.0%)	23,526 (30.7%)
	都市的地域	6 (1.5%)	70 (1.9%)	6,748 (9.5%)	131 (6.7%)	6,955 (9.1%)
人口 規模	～9	358 (92.0%)	1,061 (29.0%)	1,545 (2.2%)	27 (1.4%)	2,991 (3.9%)
	10～24	14 (3.6%)	1,496 (40.8%)	5,968 (8.4%)	65 (3.3%)	7,543 (9.8%)
	25～49	14 (3.6%)	719 (19.6%)	11,930 (16.9%)	123 (6.3%)	12,786 (16.7%)
	50～99	3 (0.8%)	261 (7.1%)	17,234 (24.4%)	126 (6.4%)	17,624 (23.0%)
	100～199	0 (0.0%)	93 (2.5%)	16,268 (23.0%)	165 (8.4%)	16,526 (21.5%)
	200～499	0 (0.0%)	32 (0.9%)	12,333 (17.4%)	184 (9.4%)	12,549 (16.4%)
	500～999	0 (0.0%)	1 (0.0%)	3,611 (5.1%)	78 (4.0%)	3,690 (4.8%)
	1000～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1,812 (2.6%)	86 (4.4%)	1,898 (2.5%)
世帯 数 規模	～9	360 (92.5%)	1,802 (49.2%)	5,749 (8.1%)	83 (4.2%)	7,994 (10.4%)
	10～19	9 (2.3%)	1,078 (29.4%)	11,825 (16.7%)	195 (10.0%)	13,107 (17.1%)
	20～29	7 (1.8%)	324 (8.8%)	10,126 (14.3%)	157 (8.0%)	10,614 (13.8%)
	30～49	7 (1.8%)	191 (5.2%)	13,311 (18.8%)	167 (8.5%)	13,676 (17.8%)
	50～99	3 (0.8%)	195 (5.3%)	14,696 (20.8%)	211 (10.8%)	15,105 (19.7%)
	100～199	0 (0.0%)	58 (1.6%)	8,590 (12.1%)	132 (6.7%)	8,780 (11.4%)
	200～499	0 (0.0%)	9 (0.2%)	4,762 (6.7%)	109 (5.6%)	4,880 (6.4%)
	500～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1,487 (2.1%)	75 (3.8%)	1,562 (2.0%)
転 入 者	転入者がいる	17 (4.4%)	793 (21.6%)	29,214 (41.3%)	252 (12.9%)	30,276 (39.5%)
	転入者はいない	177 (45.5%)	1,066 (29.1%)	4,831 (6.8%)	82 (4.2%)	6,156 (8.0%)
サ ポ ー ト 人 材	サポート人材あり	182 (46.8%)	1,701 (46.4%)	22,956 (32.5%)	374 (19.1%)	25,213 (32.9%)
	集落支援員	116 (29.8%)	1,093 (29.8%)	13,516 (19.1%)	100 (5.1%)	14,825 (19.3%)
	地域おこし協力隊	105 (27.0%)	983 (26.8%)	13,900 (19.7%)	314 (16.0%)	15,302 (19.9%)
	その他	12 (3.1%)	120 (3.3%)	1,326 (1.9%)	33 (1.7%)	1,491 (1.9%)
	サポート人材なし	207 (53.2%)	1,962 (53.6%)	47,745 (67.5%)	1,583 (80.9%)	51,497 (67.1%)
集 落 機 能	良好	75 (19.3%)	1,335 (36.4%)	57,475 (81.3%)	1,192 (60.9%)	60,077 (78.3%)
	機能低下	75 (19.3%)	1,438 (39.3%)	11,209 (15.9%)	410 (21.0%)	13,132 (17.1%)
	機能維持困難	235 (60.4%)	865 (23.6%)	1,696 (2.4%)	65 (3.3%)	2,861 (3.7%)
本 庁 ま で の 距 離	5 <sup>キロ</sup> 未満	36 (9.3%)	347 (9.5%)	23,540 (33.3%)	375 (19.2%)	24,298 (31.7%)
	5 <sup>キロ</sup> 以上10 <sup>キロ</sup> 未満	50 (12.9%)	570 (15.6%)	16,671 (23.6%)	269 (13.7%)	17,560 (22.9%)
	10 <sup>キロ</sup> 以上20 <sup>キロ</sup> 未満	133 (34.2%)	1,216 (33.2%)	18,020 (25.5%)	473 (24.2%)	19,842 (25.9%)
	20 <sup>キロ</sup> 以上	165 (42.4%)	1,507 (41.1%)	11,682 (16.5%)	518 (26.5%)	13,872 (18.1%)
地 形	地形的末端である	122 (31.4%)	717 (19.6%)	3,703 (5.2%)	133 (6.8%)	4,675 (6.1%)
	地形的末端でない	267 (68.6%)	2,946 (80.4%)	66,998 (94.8%)	1,824 (93.2%)	72,035 (93.9%)
全体(割合の基数)		389 (100.0%)	3,663 (100.0%)	70,701 (100.0%)	1,957 (100.0%)	76,710 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域における 75 歳以上人口割合が高い集落の特性をみると、条件不利地域全体の傾向と同様、役場(本庁)から遠距離にある山間地の小規模な基礎集落が多く、集落機能が低下する傾向がある。一方で、サポート人材が活動する集落の割合が高い。
- 75 歳以上人口割合が 100% (集落住民全員が 75 歳以上)の集落のほとんどが 10 人未満・10 世帯未満の基礎集落で、約6割が集落機能の維持が困難な状況にある。

図表2-91 75 歳以上人口割合の高い集落の主要特性 【過疎地域のみ】

過疎地域		75歳以上人口割合の区分別 集落数				計
		100%	50%以上 100%未満	50%未満	無回答	
集落 類型	基礎集落	329 (97.1%)	3,096 (92.8%)	47,857 (81.6%)	763 (82.5%)	52,045 (82.3%)
	基幹集落	2 (0.6%)	142 (4.3%)	6,291 (10.7%)	99 (10.7%)	6,534 (10.3%)
	中心集落	1 (0.3%)	51 (1.5%)	3,884 (6.6%)	50 (5.4%)	3,986 (6.3%)
地域 区分	山間地	256 (75.5%)	2,244 (67.2%)	17,088 (29.1%)	344 (37.2%)	19,932 (31.5%)
	中間地	42 (12.4%)	690 (20.7%)	17,677 (30.1%)	330 (35.7%)	18,739 (29.6%)
	平地	35 (10.3%)	339 (10.2%)	19,086 (32.5%)	218 (23.6%)	19,678 (31.1%)
	都市的地域	4 (1.2%)	44 (1.3%)	4,354 (7.4%)	22 (2.4%)	4,424 (7.0%)
人口 規模	～9	313 (92.3%)	961 (28.8%)	1,388 (2.4%)	16 (1.7%)	2,678 (4.2%)
	10～24	11 (3.2%)	1,375 (41.2%)	5,480 (9.3%)	48 (5.2%)	6,914 (10.9%)
	25～49	13 (3.8%)	653 (19.6%)	10,835 (18.5%)	93 (10.1%)	11,594 (18.3%)
	50～99	2 (0.6%)	236 (7.1%)	15,127 (25.8%)	63 (6.8%)	15,428 (24.4%)
	100～199	0 (0.0%)	82 (2.5%)	13,468 (23.0%)	59 (6.4%)	13,609 (21.5%)
	200～499	0 (0.0%)	29 (0.9%)	9,217 (15.7%)	46 (5.0%)	9,292 (14.7%)
	500～999	0 (0.0%)	1 (0.0%)	2,220 (3.8%)	12 (1.3%)	2,233 (3.5%)
世帯 数規模	～9	316 (93.2%)	1,654 (49.6%)	5,222 (8.9%)	44 (4.8%)	7,236 (11.4%)
	10～19	7 (2.1%)	985 (29.5%)	10,741 (18.3%)	119 (12.9%)	11,852 (18.7%)
	20～29	5 (1.5%)	291 (8.7%)	8,957 (15.3%)	87 (9.4%)	9,340 (14.8%)
	30～49	7 (2.1%)	170 (5.1%)	11,464 (19.6%)	65 (7.0%)	11,706 (18.5%)
	50～99	2 (0.6%)	172 (5.2%)	12,012 (20.5%)	73 (7.9%)	12,259 (19.4%)
	100～199	0 (0.0%)	52 (1.6%)	6,366 (10.9%)	33 (3.6%)	6,451 (10.2%)
	200～499	0 (0.0%)	9 (0.3%)	3,014 (5.1%)	22 (2.4%)	3,045 (4.8%)
転入 者	転入者がいる	13 (3.8%)	739 (22.1%)	24,608 (42.0%)	121 (13.1%)	25,481 (40.3%)
	転入者はいない	161 (47.5%)	982 (29.4%)	4,204 (7.2%)	37 (4.0%)	5,384 (8.5%)
サポ ート 人 材	サポート人材あり	169 (49.9%)	1,596 (47.8%)	19,939 (34.0%)	293 (31.7%)	21,997 (34.8%)
	集落支援員	107 (31.6%)	1,021 (30.6%)	11,663 (19.9%)	60 (6.5%)	12,851 (20.3%)
	地域おこし協力隊	99 (29.2%)	939 (28.1%)	12,451 (21.2%)	251 (27.1%)	13,740 (21.7%)
	その他	12 (3.5%)	117 (3.5%)	1,226 (2.1%)	33 (3.6%)	1,388 (2.2%)
集落 機能	サポート人材なし	170 (50.1%)	1,741 (52.2%)	38,697 (66.0%)	632 (68.3%)	41,240 (65.2%)
	良好	61 (18.0%)	1,233 (36.9%)	47,667 (81.3%)	642 (69.4%)	49,603 (78.4%)
	機能低下	63 (18.6%)	1,286 (38.5%)	9,336 (15.9%)	208 (22.5%)	10,893 (17.2%)
	機能維持困難	212 (62.5%)	796 (23.9%)	1,559 (2.7%)	51 (5.5%)	2,618 (4.1%)
本 庁 ま だ の 距 離	5 <sup>キロ</sup> 未満	32 (9.4%)	323 (9.7%)	18,786 (32.0%)	132 (14.3%)	19,273 (30.5%)
	5 <sup>キロ</sup> 以上10 <sup>キロ</sup> 未満	39 (11.5%)	510 (15.3%)	13,460 (23.0%)	124 (13.4%)	14,133 (22.3%)
	10 <sup>キロ</sup> 以上20 <sup>キロ</sup> 未満	112 (33.0%)	1,067 (32.0%)	15,220 (26.0%)	211 (22.8%)	16,610 (26.3%)
	20 <sup>キロ</sup> 以上	152 (44.8%)	1,419 (42.5%)	10,691 (18.2%)	444 (48.0%)	12,706 (20.1%)
地 形	地形的末端である	109 (32.2%)	634 (19.0%)	3,080 (5.3%)	77 (8.3%)	3,900 (6.2%)
	地形的末端でない	230 (67.8%)	2,703 (81.0%)	55,556 (94.7%)	848 (91.7%)	59,337 (93.8%)
全体(割合の基数)		339 (100.0%)	3,337 (100.0%)	58,636 (100.0%)	925 (100.0%)	63,237 (100.0%)

(5) 近年の転入の状況

① 転入の有無別 集落数

【全体】

- 平成 27 年以降の転入状況を見ると、39.5%の集落で近年転入してきた者がいるとされている。
- 地域指定別でみると、半島地域では転入者がいるとされる集落の割合が最も高い。

図表2-92 転入者の有無別 集落数 【全体】

全体	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
合計	30,276 (39.5%)	6,156 (8.0%)	38,034 (49.6%)	2,244 (2.9%)	76,710 (100.0%)
参考: 前回調査	30,287 (40.0%)	4,488 (5.9%)	39,007 (51.6%)	1,880 (2.5%)	75,662 (100.0%)

図表2-93 地域指定別・転入者の有無別 集落数 【全体】

全体	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
過疎地域	25,481 (40.3%)	5,384 (8.5%)	30,644 (48.5%)	1,728 (2.7%)	63,237 (100.0%)
振興山村	10,322 (38.2%)	3,463 (12.8%)	12,338 (45.7%)	871 (3.2%)	26,994 (100.0%)
離島	1,013 (43.3%)	120 (5.1%)	1,188 (50.8%)	16 (0.7%)	2,337 (100.0%)
半島	6,427 (44.1%)	850 (5.8%)	6,518 (44.7%)	789 (5.4%)	14,584 (100.0%)
特別豪雪地帯	4,049 (33.5%)	949 (7.8%)	6,857 (56.7%)	247 (2.0%)	12,102 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落の 40.3%には近年転入してきた者がいるとされている。
- 地方ブロック別でみると、転入者がいる集落の割合は、北陸圏、近畿圏、沖縄県で高くなっている。

図表2-94 地方ブロック別・転入者の有無別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
1 北海道	1,505 (40.2%)	375 (10.0%)	1,845 (49.3%)	21 (0.6%)	3,746 (100.0%)
2 東北圏	5,158 (36.7%)	843 (6.0%)	7,849 (55.8%)	217 (1.5%)	14,067 (100.0%)
3 首都圏	651 (31.6%)	73 (3.5%)	1,308 (63.5%)	28 (1.4%)	2,060 (100.0%)
4 北陸圏	1,243 (60.0%)	215 (10.4%)	589 (28.5%)	23 (1.1%)	2,070 (100.0%)
5 中部圏	1,830 (51.0%)	473 (13.2%)	1,072 (29.9%)	214 (6.0%)	3,589 (100.0%)
6 近畿圏	1,959 (54.6%)	314 (8.7%)	1,303 (36.3%)	13 (0.4%)	3,589 (100.0%)
7 中国圏	4,098 (33.1%)	918 (7.4%)	6,624 (53.6%)	728 (5.9%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	2,542 (36.5%)	942 (13.5%)	3,365 (48.3%)	121 (1.7%)	6,970 (100.0%)
9 九州圏	6,294 (43.4%)	1,222 (8.4%)	6,646 (45.8%)	346 (2.4%)	14,508 (100.0%)
10 沖縄県	201 (74.4%)	9 (3.3%)	43 (15.9%)	17 (6.3%)	270 (100.0%)
合計	25,481 (40.3%)	5,384 (8.5%)	30,644 (48.5%)	1,728 (2.7%)	63,237 (100.0%)

- 集落類型別でみると、転入者がいるとされる集落の割合は中心集落で最も高くなっているが、基礎集落や基幹集落との間で大きな差はみられない。

図表2-95 集落類型別・転入者の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
基礎集落	20,558 (39.5%)	5,038 (9.7%)	25,098 (48.2%)	1,351 (2.6%)	52,045 (100.0%)
基幹集落	2,925 (44.8%)	218 (3.3%)	3,251 (49.8%)	140 (2.1%)	6,534 (100.0%)
中心集落	1,801 (45.2%)	79 (2.0%)	2,056 (51.6%)	50 (1.3%)	3,986 (100.0%)
無回答	197 (29.3%)	49 (7.3%)	239 (35.6%)	187 (27.8%)	672 (100.0%)
合計	25,481 (40.3%)	5,384 (8.5%)	30,644 (48.5%)	1,728 (2.7%)	63,237 (100.0%)

- 地域区分別でみると、転入者がいるとされる集落の割合は、都市的地域の集落において 43.9%と最も高くなっており、平地や中間地の集落でも4割を超えているが、山間地集落でも 35.9%の集落で近年転入がみられている。

図表2-96 地域区分別・転入者の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
山間地	7,156 (35.9%)	3,079 (15.4%)	8,888 (44.6%)	809 (4.1%)	19,932 (100.0%)
中間地	7,592 (40.5%)	1,301 (6.9%)	9,369 (50.0%)	477 (2.5%)	18,739 (100.0%)
平地	8,525 (43.3%)	848 (4.3%)	9,911 (50.4%)	394 (2.0%)	19,678 (100.0%)
都市的地域	1,941 (43.9%)	109 (2.5%)	2,332 (52.7%)	42 (0.9%)	4,424 (100.0%)
無回答	267 (57.5%)	47 (10.1%)	144 (31.0%)	6 (1.3%)	464 (100.0%)
合計	25,481 (40.3%)	5,384 (8.5%)	30,644 (48.5%)	1,728 (2.7%)	63,237 (100.0%)

- 集落の人口規模別で見ると、1,000人以上の集落では転入者がいるとされる集落の割合が61.3%と最も高くなっている。
- 一方、人口9人以下の小規模集落においても約1割で近年転入がみられている。

図表2-97 集落の人口規模別・転入者の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
～9人	291 (10.9%)	1,080 (40.3%)	1,177 (44.0%)	130 (4.9%)	2,678 (100.0%)
10～24人	1,585 (22.9%)	1,650 (23.9%)	3,350 (48.5%)	329 (4.8%)	6,914 (100.0%)
25～49人	3,942 (34.0%)	1,521 (13.1%)	5,834 (50.3%)	297 (2.6%)	11,594 (100.0%)
50～99人	6,564 (42.5%)	809 (5.2%)	7,740 (50.2%)	315 (2.0%)	15,428 (100.0%)
100～199人	6,468 (47.5%)	230 (1.7%)	6,636 (48.8%)	275 (2.0%)	13,609 (100.0%)
200～499人	4,812 (51.8%)	53 (0.6%)	4,248 (45.7%)	179 (1.9%)	9,292 (100.0%)
500～999人	1,209 (54.1%)	6 (0.3%)	977 (43.8%)	41 (1.8%)	2,233 (100.0%)
1000人～	558 (61.3%)	2 (0.2%)	329 (36.1%)	22 (2.4%)	911 (100.0%)
無回答	52 (9.0%)	33 (5.7%)	353 (61.1%)	140 (24.2%)	578 (100.0%)
合計	25,481 (40.3%)	5,384 (8.5%)	30,644 (48.5%)	1,728 (2.7%)	63,237 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別で見ると、500世帯以上の集落では、転入者がいるとされる集落の割合が61.7%と最も高くなっている。
- 一方、世帯数が9世帯以下の集落においても、16.7%の集落で近年転入がみられている。

図表2-98 集落の世帯数規模別・転入者の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
～9世帯	1,205 (16.7%)	2,249 (31.1%)	3,429 (47.4%)	353 (4.9%)	7,236 (100.0%)
10～19世帯	3,652 (30.8%)	1,771 (14.9%)	6,090 (51.4%)	339 (2.9%)	11,852 (100.0%)
20～29世帯	3,736 (40.0%)	701 (7.5%)	4,728 (50.6%)	175 (1.9%)	9,340 (100.0%)
30～49世帯	5,259 (44.9%)	409 (3.5%)	5,781 (49.4%)	257 (2.2%)	11,706 (100.0%)
50～99世帯	6,047 (49.3%)	160 (1.3%)	5,790 (47.2%)	262 (2.1%)	12,259 (100.0%)
100～199世帯	3,355 (52.0%)	49 (0.8%)	2,919 (45.2%)	128 (2.0%)	6,451 (100.0%)
200～499世帯	1,687 (55.4%)	10 (0.3%)	1,292 (42.4%)	56 (1.8%)	3,045 (100.0%)
500世帯～	487 (61.7%)	2 (0.3%)	281 (35.6%)	19 (2.4%)	789 (100.0%)
無回答	53 (9.5%)	33 (5.9%)	334 (59.7%)	139 (24.9%)	559 (100.0%)
合計	25,481 (40.3%)	5,384 (8.5%)	30,644 (48.5%)	1,728 (2.7%)	63,237 (100.0%)

- 高齢者(65歳以上人口)の割合別で見ると、高齢者割合が低いほど転入者がいるとされる集落の割合は高く、高齢者割合が50%未満の集落では4割以上の集落で近年転入がみられるとされている。
- 一方、高齢者割合が100%(集落住民全員が65歳以上)の集落においても、81集落(8.5%)で転入者がいるとされている。

図表2-99 65歳以上人口割合別・転入者の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
50%未満	18,386 (43.8%)	1,951 (4.7%)	20,745 (49.5%)	858 (2.0%)	41,940 (100.0%)
50%以上 75%未満	6,428 (37.3%)	2,343 (13.6%)	7,921 (46.0%)	532 (3.1%)	17,224 (100.0%)
75%以上 100%未満	465 (21.2%)	652 (29.7%)	962 (43.9%)	113 (5.2%)	2,192 (100.0%)
100%	81 (8.5%)	401 (41.9%)	425 (44.5%)	49 (5.1%)	956 (100.0%)
無回答	121 (13.1%)	37 (4.0%)	591 (63.9%)	176 (19.0%)	925 (100.0%)
合計	25,481 (40.3%)	5,384 (8.5%)	30,644 (48.5%)	1,728 (2.7%)	63,237 (100.0%)

- 役場(本庁)までの距離別で見ると、役場(本庁)から5km未満の集落では、近年転入がみられる集落の割合が48.5%と最も高くなっている。
- 一方、役場(本庁)から20km以上と遠距離にある集落においても、27.9%の集落では転入者がいるとされている。

図表2-100 役場(本庁)までの距離別・転入者の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
5km未満	9,345 (48.5%)	897 (4.7%)	8,651 (44.9%)	380 (2.0%)	19,273 (100.0%)
5km以上 10km未満	6,106 (43.2%)	1,177 (8.3%)	6,504 (46.0%)	346 (2.4%)	14,133 (100.0%)
10km以上 20km未満	6,238 (37.6%)	1,827 (11.0%)	8,000 (48.2%)	545 (3.3%)	16,610 (100.0%)
20km以上	3,551 (27.9%)	1,457 (11.5%)	7,269 (57.2%)	429 (3.4%)	12,706 (100.0%)
無回答	241 (46.8%)	26 (5.0%)	220 (42.7%)	28 (5.4%)	515 (100.0%)
合計	25,481 (40.3%)	5,384 (8.5%)	30,644 (48.5%)	1,728 (2.7%)	63,237 (100.0%)

## ②近年転入がみられる集落の特性

### 【全体】

- 転入者がいるとされる集落の特性をみると、約8割は基礎集落であり、地域的には山間地から平地にかけて広く転入がみられる。また人口規模が100人以上、世帯規模が50世帯以上の集落が半数程度を占めているが、2割程度は人口規模が50人未満、世帯規模が20世帯未満の比較的小規模な集落である。

図表2-101 近年転入がみられる集落の主要特性【全体】

全体		転入者の有無別 集落数				計
		転入者がいる	転入者はいない	わからない	無回答	
集落 類型	基礎集落	24,136 (79.7%)	5,723 (93.0%)	30,460 (80.1%)	1,781 (79.4%)	62,100 (81.0%)
	基幹集落	3,533 (11.7%)	277 (4.5%)	3,984 (10.5%)	173 (7.7%)	7,967 (10.4%)
	中心集落	2,387 (7.9%)	98 (1.6%)	2,581 (6.8%)	99 (4.4%)	5,165 (6.7%)
地域 区分	山間地	8,253 (27.3%)	3,444 (55.9%)	10,157 (26.7%)	889 (39.6%)	22,743 (29.6%)
	中間地	8,869 (29.3%)	1,488 (24.2%)	11,119 (29.2%)	659 (29.4%)	22,135 (28.9%)
	平地	9,873 (32.6%)	979 (15.9%)	12,125 (31.9%)	549 (24.5%)	23,526 (30.7%)
	都市的地域	2,875 (9.5%)	187 (3.0%)	3,756 (9.9%)	137 (6.1%)	6,955 (9.1%)
人口 規模	～9	322 (1.1%)	1,197 (19.4%)	1,339 (3.5%)	133 (5.9%)	2,991 (3.9%)
	10～24	1,681 (5.6%)	1,823 (29.6%)	3,703 (9.7%)	336 (15.0%)	7,543 (9.8%)
	25～49	4,274 (14.1%)	1,713 (27.8%)	6,478 (17.0%)	321 (14.3%)	12,786 (16.7%)
	50～99	7,432 (24.5%)	960 (15.6%)	8,862 (23.3%)	370 (16.5%)	17,624 (23.0%)
	100～199	7,733 (25.5%)	329 (5.3%)	8,123 (21.4%)	341 (15.2%)	16,526 (21.5%)
	200～499	6,088 (20.1%)	77 (1.3%)	6,092 (16.0%)	292 (13.0%)	12,549 (16.4%)
	500～999	1,734 (5.7%)	8 (0.1%)	1,854 (4.9%)	94 (4.2%)	3,690 (4.8%)
	1000～	951 (3.1%)	2 (0.0%)	889 (2.3%)	56 (2.5%)	1,898 (2.5%)
世帯 数規模	～9	1,296 (4.3%)	2,503 (40.7%)	3,833 (10.1%)	362 (16.1%)	7,994 (10.4%)
	10～19	3,963 (13.1%)	1,980 (32.2%)	6,812 (17.9%)	352 (15.7%)	13,107 (17.1%)
	20～29	4,172 (13.8%)	814 (13.2%)	5,430 (14.3%)	198 (8.8%)	10,614 (13.8%)
	30～49	6,081 (20.1%)	515 (8.4%)	6,785 (17.8%)	295 (13.1%)	13,676 (17.8%)
	50～99	7,293 (24.1%)	213 (3.5%)	7,247 (19.1%)	352 (15.7%)	15,105 (19.7%)
	100～199	4,235 (14.0%)	67 (1.1%)	4,259 (11.2%)	219 (9.8%)	8,780 (11.4%)
	200～499	2,368 (7.8%)	15 (0.2%)	2,379 (6.3%)	118 (5.3%)	4,880 (6.4%)
	500～	813 (2.7%)	2 (0.0%)	699 (1.8%)	48 (2.1%)	1,562 (2.0%)
65 歳 以上 割合	100%	92 (0.3%)	445 (7.2%)	486 (1.3%)	49 (2.2%)	1,072 (1.4%)
	75%以上100%未満	500 (1.7%)	699 (11.4%)	1,090 (2.9%)	115 (5.1%)	2,404 (3.1%)
	50%以上75%未満	6,980 (23.1%)	2,571 (41.8%)	8,829 (23.2%)	581 (25.9%)	18,961 (24.7%)
	25%以上50%未満	20,439 (67.5%)	2,131 (34.6%)	23,763 (62.5%)	1,029 (45.9%)	47,362 (61.7%)
	25%未満	2,013 (6.6%)	228 (3.7%)	2,580 (6.8%)	133 (5.9%)	4,954 (6.5%)
75 歳 以上	100%	17 (0.1%)	177 (2.9%)	174 (0.5%)	21 (0.9%)	389 (0.5%)
	50%以上100%未満	793 (2.6%)	1,066 (17.3%)	1,608 (4.2%)	196 (8.7%)	3,663 (4.8%)
	50%未満	29,214 (96.5%)	4,831 (78.5%)	34,966 (91.9%)	1,690 (75.3%)	70,701 (92.2%)
本 庁 ま で の 距 離	5 <sup>キロ</sup> 未満	11,316 (37.4%)	1,052 (17.1%)	11,407 (30.0%)	523 (23.3%)	24,298 (31.7%)
	5 <sup>キロ</sup> 以上10 <sup>キロ</sup> 未満	7,444 (24.6%)	1,358 (22.1%)	8,346 (21.9%)	412 (18.4%)	17,560 (22.9%)
	10 <sup>キロ</sup> 以上20 <sup>キロ</sup> 未満	7,369 (24.3%)	2,071 (33.6%)	9,754 (25.6%)	648 (28.9%)	19,842 (25.9%)
	20 <sup>キロ</sup> 以上	3,808 (12.6%)	1,646 (26.7%)	7,969 (21.0%)	449 (20.0%)	13,872 (18.1%)
地 形	地形的末端である	1,413 (4.7%)	849 (13.8%)	2,219 (5.8%)	194 (8.6%)	4,675 (6.1%)
	地形的末端でない	28,863 (95.3%)	5,307 (86.2%)	35,815 (94.2%)	2,050 (91.4%)	72,035 (93.9%)
全体(割合の基数)		30,276 (100.0%)	6,156 (100.0%)	38,034 (100.0%)	2,244 (100.0%)	76,710 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落の中で、転入者がいるとされる集落の特性をみると、高齢者割合が50%未満の集落の構成比が全体構成より高い。

図表2-102 近年転入がみられる集落の主要特性【過疎地域のみ】

過疎地域		転入者の有無別 集落数				
		転入者がいる	転入者はいない	わからない	無回答	計
集落類型	基礎集落	20,558 (80.7%)	5,038 (93.6%)	25,098 (81.9%)	1,351 (78.2%)	52,045 (82.3%)
	基幹集落	2,925 (11.5%)	218 (4.0%)	3,251 (10.6%)	140 (8.1%)	6,534 (10.3%)
	中心集落	1,801 (7.1%)	79 (1.5%)	2,056 (6.7%)	50 (2.9%)	3,986 (6.3%)
地域区分	山間地	7,156 (28.1%)	3,079 (57.2%)	8,888 (29.0%)	809 (46.8%)	19,932 (31.5%)
	中間地	7,592 (29.8%)	1,301 (24.2%)	9,369 (30.6%)	477 (27.6%)	18,739 (29.6%)
	平地	8,525 (33.5%)	848 (15.8%)	9,911 (32.3%)	394 (22.8%)	19,678 (31.1%)
	都市的地域	1,941 (7.6%)	109 (2.0%)	2,332 (7.6%)	42 (2.4%)	4,424 (7.0%)
人口規模	～9	291 (1.1%)	1,080 (20.1%)	1,177 (3.8%)	130 (7.5%)	2,678 (4.2%)
	10～24	1,585 (6.2%)	1,650 (30.6%)	3,350 (10.9%)	329 (19.0%)	6,914 (10.9%)
	25～49	3,942 (15.5%)	1,521 (28.3%)	5,834 (19.0%)	297 (17.2%)	11,594 (18.3%)
	50～99	6,564 (25.8%)	809 (15.0%)	7,740 (25.3%)	315 (18.2%)	15,428 (24.4%)
	100～199	6,468 (25.4%)	230 (4.3%)	6,636 (21.7%)	275 (15.9%)	13,609 (21.5%)
	200～499	4,812 (18.9%)	53 (1.0%)	4,248 (13.9%)	179 (10.4%)	9,292 (14.7%)
	500～999	1,209 (4.7%)	6 (0.1%)	977 (3.2%)	41 (2.4%)	2,233 (3.5%)
	1000～	558 (2.2%)	2 (0.0%)	329 (1.1%)	22 (1.3%)	911 (1.4%)
世帯数規模	～9	1,205 (4.7%)	2,249 (41.8%)	3,429 (11.2%)	353 (20.4%)	7,236 (11.4%)
	10～19	3,652 (14.3%)	1,771 (32.9%)	6,090 (19.9%)	339 (19.6%)	11,852 (18.7%)
	20～29	3,736 (14.7%)	701 (13.0%)	4,728 (15.4%)	175 (10.1%)	9,340 (14.8%)
	30～49	5,259 (20.6%)	409 (7.6%)	5,781 (18.9%)	257 (14.9%)	11,706 (18.5%)
	50～99	6,047 (23.7%)	160 (3.0%)	5,790 (18.9%)	262 (15.2%)	12,259 (19.4%)
	100～199	3,355 (13.2%)	49 (0.9%)	2,919 (9.5%)	128 (7.4%)	6,451 (10.2%)
	200～499	1,687 (6.6%)	10 (0.2%)	1,292 (4.2%)	56 (3.2%)	3,045 (4.8%)
	500～	487 (1.9%)	2 (0.0%)	281 (0.9%)	19 (1.1%)	789 (1.2%)
65歳以上割合	100%	81 (0.3%)	401 (7.4%)	425 (1.4%)	49 (2.8%)	956 (1.5%)
	75%以上100%未満	465 (1.8%)	652 (12.1%)	962 (3.1%)	113 (6.5%)	2,192 (3.5%)
	50%以上75%未満	6,428 (25.2%)	2,343 (43.5%)	7,921 (25.8%)	532 (30.8%)	17,224 (27.2%)
	25%以上50%未満	16,835 (66.1%)	1,757 (32.6%)	18,973 (61.9%)	780 (45.1%)	38,345 (60.6%)
	25%未満	1,551 (6.1%)	194 (3.6%)	1,772 (5.8%)	78 (4.5%)	3,595 (5.7%)
75歳以上	100%	13 (0.1%)	161 (3.0%)	144 (0.5%)	21 (1.2%)	339 (0.5%)
	50%以上100%未満	739 (2.9%)	982 (18.2%)	1,426 (4.7%)	190 (11.0%)	3,337 (5.3%)
	50%未満	24,608 (96.6%)	4,204 (78.1%)	28,483 (92.9%)	1,341 (77.6%)	58,636 (92.7%)
本庁までの距離	5 <sup>キロ</sup> 未満	9,345 (36.7%)	897 (16.7%)	8,651 (28.2%)	380 (22.0%)	19,273 (30.5%)
	5 <sup>キロ</sup> 以上10 <sup>キロ</sup> 未満	6,106 (24.0%)	1,177 (21.9%)	6,504 (21.2%)	346 (20.0%)	14,133 (22.3%)
	10 <sup>キロ</sup> 以上20 <sup>キロ</sup> 未満	6,238 (24.5%)	1,827 (33.9%)	8,000 (26.1%)	545 (31.5%)	16,610 (26.3%)
	20 <sup>キロ</sup> 以上	3,551 (13.9%)	1,457 (27.1%)	7,269 (23.7%)	429 (24.8%)	12,706 (20.1%)
地形	地形的末端である	1,155 (4.5%)	741 (13.8%)	1,830 (6.0%)	174 (10.1%)	3,900 (6.2%)
	地形的末端でない	24,326 (95.5%)	4,643 (86.2%)	28,814 (94.0%)	1,554 (89.9%)	59,337 (93.8%)
全体(割合の基数)		25,481 (100.0%)	5,384 (100.0%)	30,644 (100.0%)	1,728 (100.0%)	63,237 (100.0%)

### ③子育て世帯の転入の有無別 集落数

#### 【全体】

- 平成 27 年以降に転入してきた世帯のうち、子育て世帯(高校生までの子どもがいる世帯)の転入についてみると、全体の 22.1%の集落では近年子育て世帯の転入があるとされている。
- 地域指定別でみると、子育て世帯の転入がみられる集落の割合は半島地域が 26.0%と最も高くなっている。

図表2-103 子育て世帯の転入の有無別 集落数【全体】

全体	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				計
	子育て世帯の転入がある	子育て世帯の転入はない	わからない	無回答	
合計	16,929 (22.1%)	15,296 (19.9%)	38,891 (50.7%)	5,594 (7.3%)	76,710 (100.0%)
参考: 前回調査	18,875 (24.9%)	12,001 (15.9%)	38,854 (51.4%)	5,932 (7.8%)	75,662 (100.0%)

図表2-104 地域指定別・子育て世帯の転入の有無別 集落数【全体】

全体	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				計
	子育て世帯の転入がある	子育て世帯の転入はない	わからない	無回答	
過疎地域	14,051 (22.2%)	13,517 (21.4%)	30,912 (48.9%)	4,757 (7.5%)	63,237 (100.0%)
振興山村	5,465 (20.2%)	6,992 (25.9%)	12,107 (44.9%)	2,430 (9.0%)	26,994 (100.0%)
離島	538 (23.0%)	434 (18.6%)	1,271 (54.4%)	94 (4.0%)	2,337 (100.0%)
半島	3,785 (26.0%)	2,949 (20.2%)	7,073 (48.5%)	777 (5.3%)	14,584 (100.0%)
特別豪雪地帯	1,980 (16.4%)	1,951 (16.1%)	6,952 (57.4%)	1,219 (10.1%)	12,102 (100.0%)

#### 【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落における子育て世帯の転入の有無をみると、全体の 22.2%の集落では近年子育て世帯の転入があるとされている。
- 地方ブロック別でみると、子育て世帯の転入があるとされる集落の割合は北海道、北陸圏、近畿圏、九州圏、沖縄県で 25%を超えており、特に沖縄県では 30.7%と高くなっている。

図表2-105 地方ブロック別・子育て世帯の転入の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				計
	子育て世帯の転入がある	子育て世帯の転入はない	わからない	無回答	
1 北海道	1,032 (27.5%)	740 (19.8%)	1,642 (43.8%)	332 (8.9%)	3,746 (100.0%)
2 東北圏	2,446 (17.4%)	2,568 (18.3%)	8,232 (58.5%)	821 (5.8%)	14,067 (100.0%)
3 首都圏	389 (18.9%)	327 (15.9%)	1,298 (63.0%)	46 (2.2%)	2,060 (100.0%)
4 北陸圏	601 (29.0%)	756 (36.5%)	462 (22.3%)	251 (12.1%)	2,070 (100.0%)
5 中部圏	879 (24.5%)	932 (26.0%)	1,277 (35.6%)	501 (14.0%)	3,589 (100.0%)
6 近畿圏	1,069 (29.8%)	895 (24.9%)	1,466 (40.8%)	159 (4.4%)	3,589 (100.0%)
7 中国圏	2,084 (16.8%)	1,994 (16.1%)	6,924 (56.0%)	1,366 (11.0%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	1,330 (19.1%)	1,849 (26.5%)	3,396 (48.7%)	395 (5.7%)	6,970 (100.0%)
9 九州圏	4,138 (28.5%)	3,440 (23.7%)	6,063 (41.8%)	867 (6.0%)	14,508 (100.0%)
10 沖縄県	83 (30.7%)	16 (5.9%)	152 (56.3%)	19 (7.0%)	270 (100.0%)
合計	14,051 (22.2%)	13,517 (21.4%)	30,912 (48.9%)	4,757 (7.5%)	63,237 (100.0%)

- 集落類型別でみると、子育て世帯の転入があるとされる集落の割合は、中心集落において 33.0%と最も高くなっているが、基礎集落においても約2割の集落では子育て世帯の転入がみられている。

図表2-106 集落類型別・子育て世帯の転入の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				計
	子育て世帯の転入がある	子育て世帯の転入はない	わからない	無回答	
基礎集落	10,712 (20.6%)	12,153 (23.4%)	25,113 (48.3%)	4,067 (7.8%)	52,045 (100.0%)
基幹集落	1,901 (29.1%)	842 (12.9%)	3,457 (52.9%)	334 (5.1%)	6,534 (100.0%)
中心集落	1,316 (33.0%)	391 (9.8%)	2,131 (53.5%)	148 (3.7%)	3,986 (100.0%)
無回答	122 (18.2%)	131 (19.5%)	211 (31.4%)	208 (31.0%)	672 (100.0%)
合計	14,051 (22.2%)	13,517 (21.4%)	30,912 (48.9%)	4,757 (7.5%)	63,237 (100.0%)

- 地域区分別でみると、子育て世帯の転入があるとされる集落の割合は、都市的地域にある集落で 28.3%と最も高くなっている。

図表2-107 地域区分別・子育て世帯の転入の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				計
	子育て世帯の転入がある	子育て世帯の転入はない	わからない	無回答	
山間地	3,277 (16.4%)	5,827 (29.2%)	8,790 (44.1%)	2,038 (10.2%)	19,932 (100.0%)
中間地	4,130 (22.0%)	3,718 (19.8%)	9,730 (51.9%)	1,161 (6.2%)	18,739 (100.0%)
平地	5,260 (26.7%)	3,301 (16.8%)	9,899 (50.3%)	1,218 (6.2%)	19,678 (100.0%)
都市的地域	1,254 (28.3%)	529 (12.0%)	2,311 (52.2%)	330 (7.5%)	4,424 (100.0%)
無回答	130 (28.0%)	142 (30.6%)	182 (39.2%)	10 (2.2%)	464 (100.0%)
合計	14,051 (22.2%)	13,517 (21.4%)	30,912 (48.9%)	4,757 (7.5%)	63,237 (100.0%)

- 役場(本庁)までの距離別でみると、役場に近くなるほど子育て世帯の転入がみられるとされる集落の割合が高くなっているが、役場から 20 km以上離れた集落においても 12.2%で子育て世帯の転入があるとされている。

図表2-108 役場(本庁)までの距離別・子育て世帯の転入の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				計
	子育て世帯の転入がある	子育て世帯の転入はない	わからない	無回答	
5km未満	5,953 (30.9%)	3,361 (17.4%)	8,729 (45.3%)	1,230 (6.4%)	19,273 (100.0%)
5km以上 10km未満	3,427 (24.2%)	3,198 (22.6%)	6,445 (45.6%)	1,063 (7.5%)	14,133 (100.0%)
10km以上 20km未満	3,066 (18.5%)	4,240 (25.5%)	7,980 (48.0%)	1,324 (8.0%)	16,610 (100.0%)
20km以上	1,550 (12.2%)	2,683 (21.1%)	7,373 (58.0%)	1,100 (8.7%)	12,706 (100.0%)
無回答	55 (10.7%)	35 (6.8%)	385 (74.8%)	40 (7.8%)	515 (100.0%)
合計	14,051 (22.2%)	13,517 (21.4%)	30,912 (48.9%)	4,757 (7.5%)	63,237 (100.0%)

- 集落の人口規模別でみると、人口規模が大きくなるほど、子育て世帯の転入があるとされる集落の割合が高くなる傾向にあるが、100人未満の人口規模の集落においても子育て世帯の転入がみられる集落は一定程度存在する。

図表2-109 集落の人口規模別・子育て世帯の転入の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				計
	子育て世帯の転入がある	子育て世帯の転入はない	わからない	無回答	
～9人	59 (2.2%)	1,051 (39.2%)	1,102 (41.2%)	466 (17.4%)	2,678 (100.0%)
10～24人	475 (6.9%)	2,389 (34.6%)	3,144 (45.5%)	906 (13.1%)	6,914 (100.0%)
25～49人	1,557 (13.4%)	3,496 (30.2%)	5,587 (48.2%)	954 (8.2%)	11,594 (100.0%)
50～99人	3,094 (20.1%)	3,655 (23.7%)	7,705 (49.9%)	974 (6.3%)	15,428 (100.0%)
100～199人	3,865 (28.4%)	2,096 (15.4%)	6,880 (50.6%)	768 (5.6%)	13,609 (100.0%)
200～499人	3,525 (37.9%)	715 (7.7%)	4,623 (49.8%)	429 (4.6%)	9,292 (100.0%)
500～999人	989 (44.3%)	51 (2.3%)	1,108 (49.6%)	85 (3.8%)	2,233 (100.0%)
1000人～	468 (51.4%)	6 (0.7%)	408 (44.8%)	29 (3.2%)	911 (100.0%)
無回答	19 (3.3%)	58 (10.0%)	355 (61.4%)	146 (25.3%)	578 (100.0%)
合計	14,051 (22.2%)	13,517 (21.4%)	30,912 (48.9%)	4,757 (7.5%)	63,237 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別でみると、世帯規模が大きくなるほど、子育て世帯の転入があるとされる集落の割合が高くなる傾向にある。特に500世帯以上の集落では51.0%と半数以上の集落において子育て世帯の転入がみられるとされている。

図表2-110 集落の世帯数規模別・子育て世帯の転入の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				計
	子育て世帯の転入がある	子育て世帯の転入はない	わからない	無回答	
～9世帯	366 (5.1%)	2,516 (34.8%)	3,252 (44.9%)	1,102 (15.2%)	7,236 (100.0%)
10～19世帯	1,390 (11.7%)	3,570 (30.1%)	5,773 (48.7%)	1,119 (9.4%)	11,852 (100.0%)
20～29世帯	1,579 (16.9%)	2,495 (26.7%)	4,650 (49.8%)	616 (6.6%)	9,340 (100.0%)
30～49世帯	2,655 (22.7%)	2,556 (21.8%)	5,795 (49.5%)	700 (6.0%)	11,706 (100.0%)
50～99世帯	3,803 (31.0%)	1,744 (14.2%)	6,075 (49.6%)	637 (5.2%)	12,259 (100.0%)
100～199世帯	2,489 (38.6%)	463 (7.2%)	3,202 (49.6%)	297 (4.6%)	6,451 (100.0%)
200～499世帯	1,346 (44.2%)	91 (3.0%)	1,493 (49.0%)	115 (3.8%)	3,045 (100.0%)
500世帯～	402 (51.0%)	14 (1.8%)	347 (44.0%)	26 (3.3%)	789 (100.0%)
無回答	21 (3.8%)	68 (12.2%)	325 (58.1%)	145 (25.9%)	559 (100.0%)
合計	14,051 (22.2%)	13,517 (21.4%)	30,912 (48.9%)	4,757 (7.5%)	63,237 (100.0%)

④近年子育て世帯の転入がみられる集落の特性

【全体】

- 近年子育て世帯の転入があるとされる集落の 75.5%は基礎集落であり、地域的には平地集落の割合が最も高くなっている。また、人口規模が 100 人以上、世帯規模が 50 世帯以上の比較的規模の大きい集落が過半を占めるものの、世帯規模が 20 世帯未満と比較的小規模な集落も1割強を占めている。
- また、役場(本庁)からの距離別構成比をみると、役場(本庁)から 20 km以上の集落も約1割を占めており、地理的・地形的条件の悪い集落においても一定程度子育て世帯の転入がみられる。

図表2-111 近年子育て世帯の転入がみられる集落の主要特性 【全体】

全体		子育て世帯の転入の有無別 集落数				
		子育て世帯の転入がある	子育て世帯の転入はない	わからない	無回答	計
集落類型	基礎集落	12,784 (75.5%)	13,675 (89.4%)	30,847 (79.3%)	4,794 (85.7%)	62,100 (81.0%)
	基幹集落	2,295 (13.6%)	980 (6.4%)	4,336 (11.1%)	356 (6.4%)	7,967 (10.4%)
	中心集落	1,668 (9.9%)	493 (3.2%)	2,773 (7.1%)	231 (4.1%)	5,165 (6.7%)
地域区分	山間地	3,840 (22.7%)	6,496 (42.5%)	10,155 (26.1%)	2,252 (40.3%)	22,743 (29.6%)
	中間地	4,956 (29.3%)	4,169 (27.3%)	11,552 (29.7%)	1,458 (26.1%)	22,135 (28.9%)
	平地	6,125 (36.2%)	3,631 (23.7%)	12,324 (31.7%)	1,446 (25.8%)	23,526 (30.7%)
	都市的地域	1,779 (10.5%)	808 (5.3%)	3,945 (10.1%)	423 (7.6%)	6,955 (9.1%)
人口規模	～9	63 (0.4%)	1,173 (7.7%)	1,270 (3.3%)	485 (8.7%)	2,991 (3.9%)
	10～24	495 (2.9%)	2,603 (17.0%)	3,505 (9.0%)	940 (16.8%)	7,543 (9.8%)
	25～49	1,647 (9.7%)	3,817 (25.0%)	6,280 (16.1%)	1,042 (18.6%)	12,786 (16.7%)
	50～99	3,459 (20.4%)	4,114 (26.9%)	8,932 (23.0%)	1,119 (20.0%)	17,624 (23.0%)
	100～199	4,568 (27.0%)	2,535 (16.6%)	8,476 (21.8%)	947 (16.9%)	16,526 (21.5%)
	200～499	4,448 (26.3%)	904 (5.9%)	6,612 (17.0%)	585 (10.5%)	12,549 (16.4%)
	500～999	1,432 (8.5%)	68 (0.4%)	2,060 (5.3%)	130 (2.3%)	3,690 (4.8%)
	1000～	795 (4.7%)	7 (0.0%)	1,055 (2.7%)	41 (0.7%)	1,898 (2.5%)
世帯数規模	～9	383 (2.3%)	2,778 (18.2%)	3,682 (9.5%)	1,151 (20.6%)	7,994 (10.4%)
	10～19	1,486 (8.8%)	3,879 (25.4%)	6,538 (16.8%)	1,204 (21.5%)	13,107 (17.1%)
	20～29	1,730 (10.2%)	2,780 (18.2%)	5,390 (13.9%)	714 (12.8%)	10,614 (13.8%)
	30～49	3,046 (18.0%)	2,934 (19.2%)	6,869 (17.7%)	827 (14.8%)	13,676 (17.8%)
	50～99	4,531 (26.8%)	2,134 (14.0%)	7,646 (19.7%)	794 (14.2%)	15,105 (19.7%)
	100～199	3,150 (18.6%)	572 (3.7%)	4,661 (12.0%)	397 (7.1%)	8,780 (11.4%)
	200～499	1,916 (11.3%)	120 (0.8%)	2,676 (6.9%)	168 (3.0%)	4,880 (6.4%)
	500～	666 (3.9%)	15 (0.1%)	846 (2.2%)	35 (0.6%)	1,562 (2.0%)
65歳以上割合	100%	5 (0.0%)	440 (2.9%)	453 (1.2%)	174 (3.1%)	1,072 (1.4%)
	75%以上100%未満	51 (0.3%)	962 (6.3%)	1,071 (2.8%)	320 (5.7%)	2,404 (3.1%)
	50%以上75%未満	2,704 (16.0%)	5,733 (37.5%)	8,932 (23.0%)	1,592 (28.5%)	18,961 (24.7%)
	25%以上50%未満	12,546 (74.1%)	7,499 (49.0%)	24,501 (63.0%)	2,816 (50.3%)	47,362 (61.7%)
	25%未満	1,502 (8.9%)	512 (3.3%)	2,642 (6.8%)	298 (5.3%)	4,954 (6.5%)
75歳以上	100%	1 (0.0%)	147 (1.0%)	166 (0.4%)	75 (1.3%)	389 (0.5%)
	50%以上100%未満	151 (0.9%)	1,462 (9.6%)	1,542 (4.0%)	508 (9.1%)	3,663 (4.8%)
	50%未満	16,656 (98.4%)	13,537 (88.5%)	35,891 (92.3%)	4,617 (82.5%)	70,701 (92.2%)
本庁までの距離	5 <sup>キロ</sup> 未満	7,288 (43.1%)	3,767 (24.6%)	11,782 (30.3%)	1,461 (26.1%)	24,298 (31.7%)
	5 <sup>キロ</sup> 以上10 <sup>キロ</sup> 未満	4,108 (24.3%)	3,758 (24.6%)	8,403 (21.6%)	1,291 (23.1%)	17,560 (22.9%)
	10 <sup>キロ</sup> 以上20 <sup>キロ</sup> 未満	3,710 (21.9%)	4,785 (31.3%)	9,707 (25.0%)	1,640 (29.3%)	19,842 (25.9%)
	20 <sup>キロ</sup> 以上	1,682 (9.9%)	2,943 (19.2%)	8,092 (20.8%)	1,155 (20.6%)	13,872 (18.1%)
地形	地形的末端である	607 (3.6%)	1,324 (8.7%)	2,255 (5.8%)	489 (8.7%)	4,675 (6.1%)
	地形的末端でない	16,322 (96.4%)	13,972 (91.3%)	36,636 (94.2%)	5,105 (91.3%)	72,035 (93.9%)
全体(割合の基数)		16,929 (100.0%)	15,296 (100.0%)	38,891 (100.0%)	5,594 (100.0%)	76,710 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域において近年子育て世帯の転入があるとされる集落の特性をみると、平地や中間地の集落が多くを占めているが、地理的・地形的条件の悪い集落においても一定程度子育て世帯の転入がみられる。

図表2-112 近年子育て世帯の転入がみられる集落の主要特性 【過疎地域のみ】

過疎地域		子育て世帯の転入の有無別 集落数				
		子育て世帯の 転入がある	子育て世帯の 転入はない	わからない	無回答	計
集落 類型	基礎集落	10,712 (76.2%)	12,153 (89.9%)	25,113 (81.2%)	4,067 (85.5%)	52,045 (82.3%)
	基幹集落	1,901 (13.5%)	842 (6.2%)	3,457 (11.2%)	334 (7.0%)	6,534 (10.3%)
	中心集落	1,316 (9.4%)	391 (2.9%)	2,131 (6.9%)	148 (3.1%)	3,986 (6.3%)
地域 区分	山間地	3,277 (23.3%)	5,827 (43.1%)	8,790 (28.4%)	2,038 (42.8%)	19,932 (31.5%)
	中間地	4,130 (29.4%)	3,718 (27.5%)	9,730 (31.5%)	1,161 (24.4%)	18,739 (29.6%)
	平地	5,260 (37.4%)	3,301 (24.4%)	9,899 (32.0%)	1,218 (25.6%)	19,678 (31.1%)
	都市的地域	1,254 (8.9%)	529 (3.9%)	2,311 (7.5%)	330 (6.9%)	4,424 (7.0%)
人口 規模	～9	59 (0.4%)	1,051 (7.8%)	1,102 (3.6%)	466 (9.8%)	2,678 (4.2%)
	10～24	475 (3.4%)	2,389 (17.7%)	3,144 (10.2%)	906 (19.0%)	6,914 (10.9%)
	25～49	1,557 (11.1%)	3,496 (25.9%)	5,587 (18.1%)	954 (20.1%)	11,594 (18.3%)
	50～99	3,094 (22.0%)	3,655 (27.0%)	7,705 (24.9%)	974 (20.5%)	15,428 (24.4%)
	100～199	3,865 (27.5%)	2,096 (15.5%)	6,880 (22.3%)	768 (16.1%)	13,609 (21.5%)
	200～499	3,525 (25.1%)	715 (5.3%)	4,623 (15.0%)	429 (9.0%)	9,292 (14.7%)
	500～999	989 (7.0%)	51 (0.4%)	1,108 (3.6%)	85 (1.8%)	2,233 (3.5%)
世帯 数規模	～9	366 (2.6%)	2,516 (18.6%)	3,252 (10.5%)	1,102 (23.2%)	7,236 (11.4%)
	10～19	1,390 (9.9%)	3,570 (26.4%)	5,773 (18.7%)	1,119 (23.5%)	11,852 (18.7%)
	20～29	1,579 (11.2%)	2,495 (18.5%)	4,650 (15.0%)	616 (12.9%)	9,340 (14.8%)
	30～49	2,655 (18.9%)	2,556 (18.9%)	5,795 (18.7%)	700 (14.7%)	11,706 (18.5%)
	50～99	3,803 (27.1%)	1,744 (12.9%)	6,075 (19.7%)	637 (13.4%)	12,259 (19.4%)
	100～199	2,489 (17.7%)	463 (3.4%)	3,202 (10.4%)	297 (6.2%)	6,451 (10.2%)
	200～499	1,346 (9.6%)	91 (0.7%)	1,493 (4.8%)	115 (2.4%)	3,045 (4.8%)
65 歳 以上 割合	100%	5 (0.0%)	397 (2.9%)	391 (1.3%)	163 (3.4%)	956 (1.5%)
	75%以上100%未満	48 (0.3%)	883 (6.5%)	956 (3.1%)	305 (6.4%)	2,192 (3.5%)
	50%以上75%未満	2,496 (17.8%)	5,275 (39.0%)	7,961 (25.8%)	1,492 (31.4%)	17,224 (27.2%)
	25%以上50%未満	10,296 (73.3%)	6,416 (47.5%)	19,290 (62.4%)	2,343 (49.3%)	38,345 (60.6%)
	25%未満	1,165 (8.3%)	458 (3.4%)	1,737 (5.6%)	235 (4.9%)	3,595 (5.7%)
75 歳 以上	100%	1 (0.0%)	130 (1.0%)	136 (0.4%)	72 (1.5%)	339 (0.5%)
	50%以上100%未満	141 (1.0%)	1,339 (9.9%)	1,369 (4.4%)	488 (10.3%)	3,337 (5.3%)
	50%未満	13,868 (98.7%)	11,960 (88.5%)	28,830 (93.3%)	3,978 (83.6%)	58,636 (92.7%)
本 庁 ま だ の 距 離	5 <sup>キロ</sup> 未満	5,953 (42.4%)	3,361 (24.9%)	8,729 (28.2%)	1,230 (25.9%)	19,273 (30.5%)
	5 <sup>キロ</sup> 以上10 <sup>キロ</sup> 未満	3,427 (24.4%)	3,198 (23.7%)	6,445 (20.8%)	1,063 (22.3%)	14,133 (22.3%)
	10 <sup>キロ</sup> 以上20 <sup>キロ</sup> 未満	3,066 (21.8%)	4,240 (31.4%)	7,980 (25.8%)	1,324 (27.8%)	16,610 (26.3%)
	20 <sup>キロ</sup> 以上	1,550 (11.0%)	2,683 (19.8%)	7,373 (23.9%)	1,100 (23.1%)	12,706 (20.1%)
地 形	地形的末端である	489 (3.5%)	1,159 (8.6%)	1,841 (6.0%)	411 (8.6%)	3,900 (6.2%)
	地形的末端でない	13,562 (96.5%)	12,358 (91.4%)	29,071 (94.0%)	4,346 (91.4%)	59,337 (93.8%)
全体(割合の基数)		14,051 (100.0%)	13,517 (100.0%)	30,912 (100.0%)	4,757 (100.0%)	63,237 (100.0%)

(6) 集落の立地特性

① 地形的な末端集落

【全体】

- 地形的に末端にある集落は全体の6.1%である。
- 地域指定別でみると、地形的な末端集落の割合は、離島地域では10.5%と最も高くなっている。

図表2-113 地形的末端性別 集落数 【全体】

全体	地形的末端性別 集落数		
	地形的な 末端集落である	地形的な 末端集落ではない	計
合計	4,675 (6.1%)	72,035 (93.9%)	76,710 (100.0%)
参考: 前回調査	4,714 (6.2%)	70,948 (93.8%)	75,662 (100.0%)

図表2-114 地域指定別・地形的末端性別 集落数 【全体】

全体	地形的末端性別 集落数		
	地形的な 末端集落である	地形的な 末端集落ではない	計
過疎地域	3,900 (6.2%)	59,337 (93.8%)	63,237 (100.0%)
振興山村	2,630 (9.7%)	24,364 (90.3%)	26,994 (100.0%)
離島	246 (10.5%)	2,091 (89.5%)	2,337 (100.0%)
半島	759 (5.2%)	13,825 (94.8%)	14,584 (100.0%)
特別豪雪地帯	723 (6.0%)	11,379 (94.0%)	12,102 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域において地形的に末端にある集落は全体の6.2%である。
- 地方ブロック別でみると、地形的な末端集落の割合は四国圏が最も高い。

図表2-115 地方ブロック別・地形的末端性別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	地形的末端性別 集落数		
	地形的な 末端集落である	地形的な 末端集落ではない	計
1 北海道	207 (5.5%)	3,539 (94.5%)	3,746 (100.0%)
2 東北圏	605 (4.3%)	13,462 (95.7%)	14,067 (100.0%)
3 首都圏	149 (7.2%)	1,911 (92.8%)	2,060 (100.0%)
4 北陸圏	124 (6.0%)	1,946 (94.0%)	2,070 (100.0%)
5 中部圏	305 (8.5%)	3,284 (91.5%)	3,589 (100.0%)
6 近畿圏	247 (6.9%)	3,342 (93.1%)	3,589 (100.0%)
7 中国圏	806 (6.5%)	11,562 (93.5%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	681 (9.8%)	6,289 (90.2%)	6,970 (100.0%)
9 九州圏	772 (5.3%)	13,736 (94.7%)	14,508 (100.0%)
10 沖縄県	4 (1.5%)	266 (98.5%)	270 (100.0%)
合計	3,900 (6.2%)	59,337 (93.8%)	63,237 (100.0%)

- 集落類型別でみると、地形的に末端にある集落の割合は基礎集落で最も高く、7.1%となっている。
- 一方、中心集落においては、地形的な末端集落はほぼみられない。

図表2-116 集落類型別・地形的末端性別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	地形的末端性別 集落数		計
	地形的な 末端集落である	地形的な 末端集落ではない	
基礎集落	3,684 (7.1%)	48,361 (92.9%)	52,045 (100.0%)
基幹集落	166 (2.5%)	6,368 (97.5%)	6,534 (100.0%)
中心集落	18 (0.5%)	3,968 (99.5%)	3,986 (100.0%)
無回答	32 (4.8%)	640 (95.2%)	672 (100.0%)
合計	3,900 (6.2%)	59,337 (93.8%)	63,237 (100.0%)

- 地域区分別でみると、地形的に末端にある集落の割合は山間地集落において13.8%と特に高い。
- 一方、都市的地域にある集落においては、地形的な末端集落はほぼみられない。

図表2-117 地域区分別・地形的末端集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	地形的末端性別 集落数		計
	地形的な 末端集落である	地形的な 末端集落ではない	
山間地	2,748 (13.8%)	17,184 (86.2%)	19,932 (100.0%)
中間地	850 (4.5%)	17,889 (95.5%)	18,739 (100.0%)
平地	256 (1.3%)	19,422 (98.7%)	19,678 (100.0%)
都市的地域	19 (0.4%)	4,405 (99.6%)	4,424 (100.0%)
無回答	27 (5.8%)	437 (94.2%)	464 (100.0%)
合計	3,900 (6.2%)	59,337 (93.8%)	63,237 (100.0%)

- 集落の人口規模別で見ると、人口規模が小さい集落ほど地形的な末端集落の割合が高くなっており、10人未満の小規模集落の約4分の1は地形的末端集落である。

図表2-118 集落の人口規模別・地形的末端性別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	地形的末端性別 集落数		計
	地形的な末端集落である	地形的な末端集落ではない	
～9人	652 (24.3%)	2,026 (75.7%)	2,678 (100.0%)
10～24人	931 (13.5%)	5,983 (86.5%)	6,914 (100.0%)
25～49人	858 (7.4%)	10,736 (92.6%)	11,594 (100.0%)
50～99人	703 (4.6%)	14,725 (95.4%)	15,428 (100.0%)
100～199人	443 (3.3%)	13,166 (96.7%)	13,609 (100.0%)
200～499人	203 (2.2%)	9,089 (97.8%)	9,292 (100.0%)
500～999人	41 (1.8%)	2,192 (98.2%)	2,233 (100.0%)
1000人～	17 (1.9%)	894 (98.1%)	911 (100.0%)
無回答	52 (9.0%)	526 (91.0%)	578 (100.0%)
合計	3,900 (6.2%)	59,337 (93.8%)	63,237 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別で見ると、人口規模と同様、世帯数規模が小さくなるほど地形的に末端にある集落の割合が高くなる傾向がみられ、10世帯未満の小規模集落では2割近くが地形的末端集落である。

図表2-119 集落の世帯数規模別・地形的末端性別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	地形的末端性別 集落数		計
	地形的な末端集落である	地形的な末端集落ではない	
～9世帯	1,264 (17.5%)	5,972 (82.5%)	7,236 (100.0%)
10～19世帯	988 (8.3%)	10,864 (91.7%)	11,852 (100.0%)
20～29世帯	510 (5.5%)	8,830 (94.5%)	9,340 (100.0%)
30～49世帯	484 (4.1%)	11,222 (95.9%)	11,706 (100.0%)
50～99世帯	389 (3.2%)	11,870 (96.8%)	12,259 (100.0%)
100～199世帯	142 (2.2%)	6,309 (97.8%)	6,451 (100.0%)
200～499世帯	56 (1.8%)	2,989 (98.2%)	3,045 (100.0%)
500世帯～	15 (1.9%)	774 (98.1%)	789 (100.0%)
無回答	52 (9.3%)	507 (90.7%)	559 (100.0%)
合計	3,900 (6.2%)	59,337 (93.8%)	63,237 (100.0%)

- 高齢者割合別でみると、高齢者割合が高い集落ほど地形的に末端にある集落の割合が高くなり、高齢者割合が100%（集落住民全員が65歳以上）の集落の26.8%は地形的な末端集落である。

図表2-120 65歳以上人口割合別・地形的末端性別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	地形的末端性別 集落数		計
	地形的な 末端集落である	地形的な 末端集落ではない	
50%未満	1,565 (3.7%)	40,375 (96.3%)	41,940 (100.0%)
50%以上 75%未満	1,592 (9.2%)	15,632 (90.8%)	17,224 (100.0%)
75%以上 100%未満	410 (18.7%)	1,782 (81.3%)	2,192 (100.0%)
100%	256 (26.8%)	700 (73.2%)	956 (100.0%)
無回答	77 (8.3%)	848 (91.7%)	925 (100.0%)
合計	3,900 (6.2%)	59,337 (93.8%)	63,237 (100.0%)

- 転入者の有無別でみると、地形的に末端にある集落の割合が高くなっている。

図表2-121 転入者の有無別・地形的末端性別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	地形的末端性別 集落数		計
	地形的な 末端集落である	地形的な 末端集落ではない	
転入者が いる	1,155 (4.5%)	24,326 (95.5%)	25,481 (100.0%)
転入者は いない	741 (13.8%)	4,643 (86.2%)	5,384 (100.0%)
分からない	1,830 (6.0%)	28,814 (94.0%)	30,644 (100.0%)
無回答	174 (10.1%)	1,554 (89.9%)	1,728 (100.0%)
合計	3,900 (6.2%)	59,337 (93.8%)	63,237 (100.0%)

## ②役場（本庁・支所）までの距離別 集落数

### 【全体】

- 集落の立地条件をみると、本庁まで 5 km未満の集落が 31.7%と最も多く、10 km未満の集落で全体の半数以上を占める。
- 地域指定別でみると、本庁まで遠距離にある集落の割合が特に高いのは振興山村であり、3割以上の集落が 20 km以上の遠隔地にある。一方、支所までの距離をみると、5 km未満と最も近距離にある集落の割合は離島地域において 73.4%と最も高くなっている。

図表2-122 役場（本庁・支所）までの距離別 集落数【全体】

全体	本庁までの距離別 集落数						支所までの距離別 集落数					
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答 (支所なし)	計
合計	24,299 (31.7%)	17,561 (22.9%)	19,842 (25.9%)	13,872 (18.1%)	1,136 (1.5%)	76,710 (100.0%)	46,615 (60.8%)	12,757 (16.6%)	5,006 (6.5%)	988 (1.3%)	11,344 (14.8%)	76,710 (100.0%)
参考: 前回調査	23,551 (31.1%)	17,155 (22.7%)	19,567 (25.9%)	13,899 (18.4%)	1,490 (2.0%)	75,662 (100.0%)	48,337 (63.9%)	12,670 (16.7%)	4,891 (6.5%)	991 (1.3%)	8,773 (11.6%)	75,662 (100.0%)

図表2-123 地域指定別・役場（本庁・支所）までの距離別 集落数【全体】

全体	本庁までの距離別 集落数						支所までの距離別 集落数					
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答 (支所なし)	計
過疎地域	19,273 (30.5%)	14,133 (22.3%)	16,610 (26.3%)	12,706 (20.1%)	515 (0.8%)	63,237 (100.0%)	40,859 (64.6%)	10,803 (17.1%)	4,288 (6.8%)	679 (1.1%)	6,608 (10.4%)	63,237 (100.0%)
振興山村	4,362 (16.2%)	5,062 (18.8%)	8,689 (32.2%)	8,656 (32.1%)	225 (0.8%)	26,994 (100.0%)	14,367 (53.2%)	6,225 (23.1%)	2,891 (10.7%)	429 (1.6%)	3,082 (11.4%)	26,994 (100.0%)
離島	455 (19.5%)	593 (25.4%)	634 (27.1%)	647 (27.7%)	8 (0.3%)	2,337 (100.0%)	1,716 (73.4%)	368 (15.7%)	170 (7.3%)	54 (2.3%)	29 (1.2%)	2,337 (100.0%)
半島	5,218 (35.8%)	3,438 (23.6%)	3,575 (24.5%)	1,933 (13.3%)	420 (2.9%)	14,584 (100.0%)	8,494 (58.2%)	2,197 (15.1%)	870 (6.0%)	247 (1.7%)	2,776 (19.0%)	14,584 (100.0%)
特別豪雪地帯	4,507 (37.2%)	2,894 (23.9%)	2,799 (23.1%)	1,758 (14.5%)	144 (1.2%)	12,102 (100.0%)	6,785 (56.1%)	1,519 (12.6%)	669 (5.5%)	167 (1.4%)	2,962 (24.5%)	12,102 (100.0%)

### 【過疎地域のみ】

- 過疎地域における集落の立地条件をみると、本庁まで 5 km未満の集落が 30.5%と最も多く、10 km未満の集落で全体の半数以上を占める。
- 地方ブロック別でみると、中部圏や中国圏では本庁までの距離が 20 km以上と遠距離にある集落の割合が高くなっている一方、北海道や沖縄県では、本庁や支所までの距離が近い集落の割合が高い。

図表2-124 地方ブロック別・役場（本庁・支所）までの距離別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	本庁までの距離別 集落数						支所までの距離別 集落数					
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答 (支所なし)	計
1 北海道	1,556 (41.5%)	858 (22.9%)	784 (20.9%)	517 (13.8%)	31 (0.8%)	3,746 (100.0%)	2,575 (68.7%)	303 (8.1%)	234 (6.2%)	99 (2.6%)	535 (14.3%)	3,746 (100.0%)
2 東北圏	4,086 (29.0%)	3,432 (24.4%)	3,943 (28.0%)	2,560 (18.2%)	46 (0.3%)	14,067 (100.0%)	9,545 (67.9%)	2,335 (16.6%)	807 (5.7%)	134 (1.0%)	1,246 (8.9%)	14,067 (100.0%)
3 首都圏	608 (29.5%)	655 (31.8%)	611 (29.7%)	185 (9.0%)	1 (0.0%)	2,060 (100.0%)	1,075 (52.2%)	315 (15.3%)	130 (6.3%)	5 (0.2%)	535 (26.0%)	2,060 (100.0%)
4 北陸圏	651 (31.4%)	549 (26.5%)	466 (22.5%)	403 (19.5%)	1 (0.0%)	2,070 (100.0%)	1,046 (50.5%)	401 (19.4%)	129 (6.2%)	3 (0.1%)	491 (23.7%)	2,070 (100.0%)
5 中部圏	999 (27.8%)	579 (16.1%)	839 (23.4%)	1,171 (32.6%)	1 (0.0%)	3,589 (100.0%)	2,316 (64.5%)	631 (17.6%)	255 (7.1%)	23 (0.6%)	364 (10.1%)	3,589 (100.0%)
6 近畿圏	1,039 (28.9%)	765 (21.3%)	869 (24.2%)	751 (20.9%)	165 (4.6%)	3,589 (100.0%)	2,042 (56.9%)	767 (21.4%)	298 (8.3%)	34 (0.9%)	448 (12.5%)	3,589 (100.0%)
7 中国圏	2,942 (23.8%)	2,489 (20.1%)	3,574 (28.9%)	3,332 (26.9%)	31 (0.3%)	12,368 (100.0%)	8,457 (68.4%)	2,330 (18.8%)	806 (6.5%)	105 (0.8%)	670 (5.4%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	2,442 (35.0%)	1,356 (19.5%)	1,623 (23.3%)	1,372 (19.7%)	177 (2.5%)	6,970 (100.0%)	4,693 (67.3%)	1,248 (17.9%)	478 (6.9%)	64 (0.9%)	487 (7.0%)	6,970 (100.0%)
9 九州圏	4,818 (33.2%)	3,371 (23.2%)	3,867 (26.7%)	2,391 (16.5%)	61 (0.4%)	14,508 (100.0%)	8,909 (61.4%)	2,462 (17.0%)	1,145 (7.9%)	212 (1.5%)	1,780 (12.3%)	14,508 (100.0%)
10 沖縄県	132 (48.9%)	79 (29.3%)	34 (12.6%)	24 (8.9%)	1 (0.4%)	270 (100.0%)	201 (74.4%)	11 (4.1%)	6 (2.2%)	0 (0.0%)	52 (19.3%)	270 (100.0%)
合計	19,273 (30.5%)	14,133 (22.3%)	16,610 (26.3%)	12,706 (20.1%)	515 (0.8%)	63,237 (100.0%)	40,859 (64.6%)	10,803 (17.1%)	4,288 (6.8%)	679 (1.1%)	6,608 (10.4%)	63,237 (100.0%)

- 集落類型別でみると、中心集落では本庁までの距離が5km未満の集落が約6割を占めており、また支所までの距離も5km未満と近距離にある集落が8割超を占めている。
- これに対して、基礎集落では、本庁までの距離が10km以上と比較的遠距離にある集落が半数近くを占めており、さらに約2割は20km以上と最も遠距離にある集落である。

図表2-125 集落類型別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	本庁までの距離別 集落数						支所までの距離別 集落数					
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答 (支所なし)	計
基礎集落	14,412 (27.7%)	12,180 (23.4%)	14,217 (27.3%)	10,875 (20.9%)	361 (0.7%)	52,045 (100.0%)	32,802 (63.0%)	9,607 (18.5%)	3,818 (7.3%)	555 (1.1%)	5,263 (10.1%)	52,045 (100.0%)
基幹集落	2,249 (34.4%)	1,430 (21.9%)	1,605 (24.6%)	1,178 (18.0%)	72 (1.1%)	6,534 (100.0%)	4,356 (66.7%)	1,021 (15.6%)	349 (5.3%)	68 (1.0%)	740 (11.3%)	6,534 (100.0%)
中心集落	2,371 (59.5%)	416 (10.4%)	635 (15.9%)	550 (13.8%)	14 (0.4%)	3,986 (100.0%)	3,303 (82.9%)	103 (2.6%)	93 (2.3%)	45 (1.1%)	442 (11.1%)	3,986 (100.0%)
無回答	241 (35.9%)	107 (15.9%)	153 (22.8%)	103 (15.3%)	68 (10.1%)	672 (100.0%)	398 (59.2%)	72 (10.7%)	28 (4.2%)	11 (1.6%)	163 (24.3%)	672 (100.0%)
合計	19,273 (30.5%)	14,133 (22.3%)	16,610 (26.3%)	12,706 (20.1%)	515 (0.8%)	63,237 (100.0%)	40,859 (64.6%)	10,803 (17.1%)	4,288 (6.8%)	679 (1.1%)	6,608 (10.4%)	63,237 (100.0%)

- 地域区分別でみると、本庁や支所まで遠い集落の割合は、山間地集落において特に高くなっている。
- 特に本庁まで20km以上の遠距離にある集落の割合は山間地集落において36.0%と3分の1以上を占めており、都市的地域にある集落(3.7%)との差が大きくなっている。

図表2-126 地域区分別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	本庁までの距離別 集落数						支所までの距離別 集落数					
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答 (支所なし)	計
山間地	2,191 (11.0%)	3,738 (18.8%)	6,784 (34.0%)	7,173 (36.0%)	46 (0.2%)	19,932 (100.0%)	9,807 (49.2%)	5,449 (27.3%)	2,709 (13.6%)	387 (1.9%)	1,580 (7.9%)	19,932 (100.0%)
中間地	4,991 (26.6%)	4,668 (24.9%)	5,529 (29.5%)	3,369 (18.0%)	182 (1.0%)	18,739 (100.0%)	12,422 (66.3%)	3,277 (17.5%)	952 (5.1%)	121 (0.6%)	1,967 (10.5%)	18,739 (100.0%)
平地	8,381 (42.6%)	5,223 (26.5%)	4,005 (20.4%)	1,855 (9.4%)	214 (1.1%)	19,678 (100.0%)	14,765 (75.0%)	1,940 (9.9%)	548 (2.8%)	112 (0.6%)	2,313 (11.8%)	19,678 (100.0%)
都市的地域	3,615 (81.7%)	400 (9.0%)	241 (5.4%)	164 (3.7%)	4 (0.1%)	4,424 (100.0%)	3,601 (81.4%)	80 (1.8%)	50 (1.1%)	48 (1.1%)	645 (14.6%)	4,424 (100.0%)
無回答	95 (20.5%)	104 (22.4%)	51 (11.0%)	145 (31.3%)	69 (14.9%)	464 (100.0%)	264 (56.9%)	57 (12.3%)	29 (6.3%)	11 (2.4%)	103 (22.2%)	464 (100.0%)
合計	19,273 (30.5%)	14,133 (22.3%)	16,610 (26.3%)	12,706 (20.1%)	515 (0.8%)	63,237 (100.0%)	40,859 (64.6%)	10,803 (17.1%)	4,288 (6.8%)	679 (1.1%)	6,608 (10.4%)	63,237 (100.0%)

- 集落の人口規模別で見ると、人口規模の小さな集落ほど本庁や支所から遠い集落の割合が大きくなる傾向がみられ、10人未満の小規模集落の約4割は本庁まで20km以上と遠距離にある集落である。

図表2-127 集落の人口規模別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	本庁までの距離別 集落数						支所までの距離別 集落数					
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答 (支所なし)	計
～9人	249 (9.3%)	433 (16.2%)	899 (33.6%)	1,078 (40.3%)	19 (0.7%)	2,678 (100.0%)	1,165 (43.5%)	766 (28.6%)	435 (16.2%)	82 (3.1%)	230 (8.6%)	2,678 (100.0%)
10～24人	989 (14.3%)	1,255 (18.2%)	2,258 (32.7%)	2,362 (34.2%)	50 (0.7%)	6,914 (100.0%)	3,671 (53.1%)	1,724 (24.9%)	847 (12.3%)	97 (1.4%)	575 (8.3%)	6,914 (100.0%)
25～49人	2,449 (21.1%)	2,517 (21.7%)	3,560 (30.7%)	2,983 (25.7%)	85 (0.7%)	11,594 (100.0%)	6,989 (60.3%)	2,450 (21.1%)	1,019 (8.8%)	146 (1.3%)	990 (8.5%)	11,594 (100.0%)
50～99人	4,332 (28.1%)	3,811 (24.7%)	4,174 (27.1%)	2,987 (19.4%)	124 (0.8%)	15,428 (100.0%)	10,207 (66.2%)	2,713 (17.6%)	955 (6.2%)	128 (0.8%)	1,425 (9.2%)	15,428 (100.0%)
100～199人	4,912 (36.1%)	3,419 (25.1%)	3,241 (23.8%)	1,932 (14.2%)	105 (0.8%)	13,609 (100.0%)	9,411 (69.2%)	1,879 (13.8%)	651 (4.8%)	99 (0.7%)	1,569 (11.5%)	13,609 (100.0%)
200～499人	4,326 (46.6%)	2,071 (22.3%)	1,858 (20.0%)	939 (10.1%)	98 (1.1%)	9,292 (100.0%)	6,682 (71.9%)	989 (10.6%)	271 (2.9%)	67 (0.7%)	1,283 (13.8%)	9,292 (100.0%)
500～999人	1,296 (58.0%)	397 (17.8%)	333 (14.9%)	191 (8.6%)	16 (0.7%)	2,233 (100.0%)	1,680 (75.2%)	131 (5.9%)	39 (1.7%)	23 (1.0%)	360 (16.1%)	2,233 (100.0%)
1000人～	627 (68.8%)	125 (13.7%)	98 (10.8%)	56 (6.1%)	5 (0.5%)	911 (100.0%)	666 (73.1%)	35 (3.8%)	23 (2.5%)	24 (2.6%)	163 (17.9%)	911 (100.0%)
無回答	93 (16.1%)	105 (18.2%)	189 (32.7%)	178 (30.8%)	13 (2.2%)	578 (100.0%)	388 (67.1%)	116 (20.1%)	48 (8.3%)	13 (2.2%)	578 (100.0%)	
合計	19,273 (30.5%)	14,133 (22.3%)	16,610 (26.3%)	12,706 (20.1%)	515 (0.8%)	63,237 (100.0%)	40,859 (64.6%)	10,803 (17.1%)	4,288 (6.8%)	679 (1.1%)	6,608 (10.4%)	63,237 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別で見ると、人口規模と同様に世帯数規模が小さな集落ほど本庁や支所までの距離が遠い集落の割合が高くなっている。

図表2-128 集落の世帯数規模別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	本庁までの距離別 集落数						支所までの距離別 集落数					
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答 (支所なし)	計
～9世帯	860 (11.9%)	1,295 (17.9%)	2,498 (34.5%)	2,532 (35.0%)	51 (0.7%)	7,236 (100.0%)	3,610 (49.9%)	1,905 (26.3%)	950 (13.1%)	133 (1.8%)	638 (8.8%)	7,236 (100.0%)
10～19世帯	2,271 (19.2%)	2,616 (22.1%)	3,632 (30.6%)	3,248 (27.4%)	85 (0.7%)	11,852 (100.0%)	6,913 (58.3%)	2,675 (22.6%)	1,096 (9.2%)	156 (1.3%)	1,012 (8.5%)	11,852 (100.0%)
20～29世帯	2,440 (26.1%)	2,235 (23.9%)	2,603 (27.9%)	1,985 (21.3%)	77 (0.8%)	9,340 (100.0%)	5,998 (64.2%)	1,734 (18.6%)	659 (7.1%)	81 (0.9%)	868 (9.3%)	9,340 (100.0%)
30～49世帯	3,521 (30.1%)	2,953 (25.2%)	3,116 (26.6%)	2,030 (17.3%)	86 (0.7%)	11,706 (100.0%)	7,961 (68.0%)	1,888 (16.1%)	644 (5.5%)	90 (0.8%)	1,123 (9.6%)	11,706 (100.0%)
50～99世帯	4,676 (38.1%)	2,930 (23.9%)	2,850 (23.2%)	1,698 (13.9%)	105 (0.9%)	12,259 (100.0%)	8,551 (69.8%)	1,603 (13.1%)	565 (4.6%)	94 (0.8%)	1,446 (11.8%)	12,259 (100.0%)
100～199世帯	3,090 (47.9%)	1,383 (21.4%)	1,205 (18.7%)	704 (10.9%)	69 (1.1%)	6,451 (100.0%)	4,666 (72.3%)	652 (10.1%)	201 (3.1%)	51 (0.8%)	881 (13.7%)	6,451 (100.0%)
200～499世帯	1,783 (58.6%)	510 (16.7%)	447 (14.7%)	280 (9.2%)	25 (0.8%)	3,045 (100.0%)	2,264 (74.4%)	193 (6.3%)	63 (2.1%)	34 (1.1%)	491 (16.1%)	3,045 (100.0%)
500世帯～	537 (68.1%)	114 (14.4%)	81 (10.3%)	52 (6.6%)	5 (0.6%)	789 (100.0%)	581 (73.6%)	29 (3.7%)	21 (2.7%)	21 (2.7%)	137 (17.4%)	789 (100.0%)
無回答	95 (17.0%)	97 (17.4%)	178 (31.8%)	177 (31.7%)	12 (2.1%)	559 (100.0%)	315 (56.4%)	124 (22.2%)	89 (15.9%)	19 (3.4%)	12 (2.1%)	559 (100.0%)
合計	19,273 (30.5%)	14,133 (22.3%)	16,610 (26.3%)	12,706 (20.1%)	515 (0.8%)	63,237 (100.0%)	40,859 (64.6%)	10,803 (17.1%)	4,288 (6.8%)	679 (1.1%)	6,608 (10.4%)	63,237 (100.0%)

- 高齢者割合別で見ると、総じて高齢者割合の低い集落ほど本庁や支所に近い集落の割合が大きい傾向がみられ、高齢者割合が75%以上の集落の4割以上は本庁から20km以上の遠距離にある集落である。

図表2-129 65歳以上人口割合別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	本庁までの距離別 集落数						支所までの距離別 集落数					
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計
50%未満	15,749 (37.6%)	9,945 (23.7%)	10,081 (24.0%)	5,782 (13.8%)	383 (0.9%)	41,940 (100.0%)	28,922 (69.0%)	5,814 (13.9%)	1,947 (4.6%)	332 (0.8%)	4,925 (11.7%)	41,940 (100.0%)
50%以上	3,103 (18.0%)	3,604 (20.9%)	5,332 (31.0%)	5,084 (29.5%)	101 (0.6%)	17,224 (100.0%)	9,900 (57.5%)	3,899 (22.6%)	1,730 (10.0%)	236 (1.4%)	1,459 (8.5%)	17,224 (100.0%)
75%以上	180 (8.2%)	314 (14.3%)	687 (31.3%)	1,003 (45.8%)	8 (0.4%)	2,192 (100.0%)	1,003 (45.8%)	619 (28.2%)	382 (17.4%)	54 (2.5%)	134 (6.1%)	2,192 (100.0%)
100%未満	109 (11.4%)	146 (15.3%)	299 (31.3%)	393 (41.1%)	9 (0.9%)	956 (100.0%)	395 (41.3%)	285 (29.8%)	163 (17.1%)	37 (3.9%)	76 (7.9%)	956 (100.0%)
100%	132 (14.3%)	124 (13.4%)	211 (22.8%)	444 (48.0%)	14 (1.5%)	925 (100.0%)	639 (69.1%)	186 (20.1%)	66 (7.1%)	20 (2.2%)	14 (1.5%)	925 (100.0%)
無回答	19,273 (30.5%)	14,133 (22.3%)	16,610 (26.3%)	12,706 (20.1%)	515 (0.8%)	63,237 (100.0%)	40,859 (64.6%)	10,803 (17.1%)	4,288 (6.8%)	679 (1.1%)	6,608 (10.4%)	63,237 (100.0%)
合計												

- 転入者の有無別で見ると、転入者がいるとされる集落の方が、転入者がいないとされる集落よりも本庁や支所までの距離が近い集落の割合が高くなっている。

図表2-130 転入者の有無別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	本庁までの距離別 集落数						支所までの距離別 集落数					
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計
転入者が いる	9,345 (36.7%)	6,106 (24.0%)	6,238 (24.5%)	3,551 (13.9%)	241 (0.9%)	25,481 (100.0%)	16,852 (66.1%)	3,707 (14.5%)	1,475 (5.8%)	293 (1.1%)	3,154 (12.4%)	25,481 (100.0%)
転入者は いない	897 (16.7%)	1,177 (21.9%)	1,827 (33.9%)	1,457 (27.1%)	26 (0.5%)	5,384 (100.0%)	2,886 (53.6%)	1,341 (24.9%)	609 (11.3%)	95 (1.8%)	453 (8.4%)	5,384 (100.0%)
分からない	8,651 (28.2%)	6,504 (21.2%)	8,000 (26.1%)	7,269 (23.7%)	220 (0.7%)	30,644 (100.0%)	20,003 (65.3%)	5,432 (17.7%)	2,069 (6.8%)	250 (0.8%)	2,890 (9.4%)	30,644 (100.0%)
無回答	380 (22.0%)	346 (20.0%)	545 (31.5%)	429 (24.8%)	28 (1.6%)	1,728 (100.0%)	1,118 (64.7%)	323 (18.7%)	135 (7.8%)	41 (2.4%)	111 (6.4%)	1,728 (100.0%)
合計	19,273 (30.5%)	14,133 (22.3%)	16,610 (26.3%)	12,706 (20.1%)	515 (0.8%)	63,237 (100.0%)	40,859 (64.6%)	10,803 (17.1%)	4,288 (6.8%)	679 (1.1%)	6,608 (10.4%)	63,237 (100.0%)

(7)生活サービス機能の立地状況

【全体】

- 生活サービス機能の立地状況をみると、全体の 33.2%の集落には公民館・集会所があり、22.5%の集落には商店・スーパーが、また 54.4%の集落には駅やバス停がある。一方、病院・診療所やガソリンスタンド、(簡易)郵便局、デイサービスセンター、小学校、幼稚園・保育所等がある集落はそれぞれ1割に満たない。
- 地域指定別でみると、離島地域の集落では多くの生活サービス機能の立地割合が高くなっている。

図表2-131 生活サービス機能が立地している集落数【全体】

全体	生活サービス機能の立地状況 (各サービスが立地している集落数)												総集落数
	市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
合計	2,867 (3.7%)	25,459 (33.2%)	6,876 (9.0%)	17,283 (22.5%)	14,156 (18.5%)	6,347 (8.3%)	6,986 (9.1%)	8,190 (10.7%)	5,623 (7.3%)	41,717 (54.4%)	4,933 (6.4%)	5,677 (7.4%)	76,710 (100.0%)
参考: 前回調査	新規調査項目 (前回項目なし)	新規調査項目 (前回項目なし)	6,744 (8.9%)	18,006 (23.8%)	新規調査項目 (前回項目なし)	6,370 (8.4%)	6,839 (9.0%)	新規調査項目 (前回項目なし)	5,180 (6.8%)	40,038 (52.9%)	5,377 (7.1%)	5,734 (7.6%)	75,662 (100.0%)

※調査項目は図表2-5(P2-6)参照。

図表2-132 地域指定別 生活サービス機能が立地している集落数【全体】

全体	生活サービス機能の立地状況 (各サービスが立地している集落数)												総集落数
	市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
過疎地域	2,302 (3.6%)	21,016 (33.2%)	5,091 (8.1%)	13,811 (21.8%)	10,733 (17.0%)	5,016 (7.9%)	5,537 (8.8%)	6,285 (9.9%)	4,092 (6.5%)	33,803 (53.5%)	3,690 (5.8%)	4,134 (6.5%)	63,237 (100.0%)
振興山村	1,023 (3.8%)	9,646 (35.7%)	1,440 (5.3%)	4,232 (15.7%)	3,844 (14.2%)	1,841 (6.8%)	2,504 (9.3%)	2,327 (8.6%)	1,442 (5.3%)	15,603 (57.8%)	1,555 (5.8%)	1,441 (5.3%)	26,994 (100.0%)
離島	177 (7.6%)	1,046 (44.8%)	284 (12.2%)	783 (33.5%)	522 (22.3%)	291 (12.5%)	371 (15.9%)	338 (14.5%)	233 (10.0%)	1,319 (56.4%)	252 (10.8%)	243 (10.4%)	2,337 (100.0%)
半島	599 (4.1%)	5,715 (39.2%)	1,826 (12.5%)	4,344 (29.8%)	3,407 (23.4%)	1,554 (10.7%)	1,700 (11.7%)	2,028 (13.9%)	1,327 (9.1%)	8,716 (59.8%)	1,173 (8.0%)	1,457 (10.0%)	14,584 (100.0%)
特別豪雪地帯	404 (3.3%)	3,733 (30.8%)	936 (7.7%)	2,661 (22.0%)	2,418 (20.0%)	942 (7.8%)	1,105 (9.1%)	1,344 (11.1%)	843 (7.0%)	6,822 (56.4%)	719 (5.9%)	873 (7.2%)	12,102 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落における生活サービス機能の立地状況をみると、全体の 33.2%の集落には公民館・集会所があり、21.8%の集落には商店・スーパーが、また 53.5%の集落には駅やバス停がある。一方、病院・診療所やガソリンスタンド、(簡易)郵便局、ATM、デイサービスセンター、小学校、幼稚園・保育所等がある集落はそれぞれ1割に満たない。
- 地方ブロック別でみると、北海道、近畿圏及び沖縄県では、全ての生活サービス機能の立地割合が全国を上回っている。

図表2-133 地方ブロック別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活サービス機能の立地状況 (各サービスが立地している集落数)												総集落数
	市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
1 北海道	268 (7.2%)	1,424 (38.0%)	355 (9.5%)	907 (24.2%)	871 (23.3%)	507 (13.5%)	639 (17.1%)	623 (16.6%)	292 (7.8%)	2,262 (60.4%)	401 (10.7%)	394 (10.5%)	3,746 (100.0%)
2 東北圏	464 (3.3%)	4,439 (31.6%)	1,012 (7.2%)	3,683 (26.2%)	2,427 (17.3%)	1,115 (7.9%)	1,178 (8.4%)	1,471 (10.5%)	942 (6.7%)	7,847 (55.8%)	816 (5.8%)	892 (6.3%)	14,067 (100.0%)
3 首都圏	99 (4.8%)	833 (40.4%)	182 (8.8%)	524 (25.4%)	564 (27.4%)	218 (10.6%)	232 (11.3%)	255 (12.4%)	175 (8.5%)	1,277 (62.0%)	123 (6.0%)	133 (6.5%)	2,060 (100.0%)
4 北陸圏	44 (2.1%)	555 (26.8%)	144 (7.0%)	570 (27.5%)	435 (21.0%)	132 (6.4%)	162 (7.8%)	227 (11.0%)	125 (6.0%)	1,381 (66.7%)	90 (4.3%)	105 (5.1%)	2,070 (100.0%)
5 中部圏	207 (5.8%)	1,697 (47.3%)	303 (8.4%)	720 (20.1%)	850 (23.7%)	302 (8.4%)	342 (9.5%)	445 (12.4%)	263 (7.3%)	2,575 (71.7%)	231 (6.4%)	224 (6.2%)	3,589 (100.0%)
6 近畿圏	135 (3.8%)	1,464 (40.8%)	397 (11.1%)	816 (22.7%)	982 (27.4%)	315 (8.8%)	407 (11.3%)	444 (12.4%)	280 (7.8%)	2,478 (69.0%)	260 (7.2%)	254 (7.1%)	3,589 (100.0%)
7 中国圏	267 (2.2%)	1,946 (15.7%)	766 (6.2%)	1,649 (13.3%)	1,185 (9.6%)	572 (4.6%)	783 (6.3%)	874 (7.1%)	534 (4.3%)	4,732 (38.3%)	458 (3.7%)	523 (4.2%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	401 (5.8%)	2,193 (31.5%)	513 (7.4%)	1,317 (18.9%)	921 (13.2%)	468 (6.7%)	472 (6.8%)	518 (7.4%)	341 (4.9%)	3,008 (43.2%)	290 (4.2%)	341 (4.9%)	6,970 (100.0%)
9 九州圏	389 (2.7%)	6,244 (43.0%)	1,374 (9.5%)	3,476 (24.0%)	2,354 (16.2%)	1,346 (9.3%)	1,283 (8.8%)	1,369 (9.4%)	1,075 (7.4%)	8,049 (55.5%)	956 (6.8%)	1,197 (8.3%)	14,508 (100.0%)
10 沖縄県	28 (10.4%)	221 (81.9%)	45 (16.7%)	149 (55.2%)	144 (53.3%)	41 (15.2%)	39 (14.4%)	59 (21.9%)	65 (24.1%)	194 (71.9%)	65 (24.1%)	71 (26.3%)	270 (100.0%)
合計	2,302 (3.6%)	21,016 (33.2%)	5,091 (8.1%)	13,811 (21.8%)	10,733 (17.0%)	5,016 (7.9%)	5,537 (8.8%)	6,285 (9.9%)	4,092 (6.5%)	33,803 (53.5%)	3,690 (5.8%)	4,134 (6.5%)	63,237 (100.0%)

- 集落類型別でみると、各種生活サービス機能が立地している集落の割合は中心集落において特に高く、また基礎集落との開きが大きい。
- 基礎集落と中心集落の各種生活サービス機能の立地状況を比較すると、商店・スーパーが最も差が大きい。

図表2-134 集落類型別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活サービス機能の立地状況（各サービスが立地している集落数）												総集落数
	市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
基礎集落	684 (1.3%)	16,042 (30.8%)	2,549 (4.9%)	8,570 (16.5%)	6,606 (12.7%)	2,743 (5.3%)	2,681 (5.2%)	2,947 (5.7%)	2,397 (4.6%)	26,594 (51.1%)	1,779 (3.4%)	2,132 (4.1%)	52,045 (100.0%)
基幹集落	417 (6.4%)	3,052 (46.7%)	1,041 (15.9%)	2,626 (40.2%)	1,858 (28.4%)	1,084 (16.6%)	1,638 (25.1%)	1,539 (23.6%)	763 (11.7%)	4,300 (65.8%)	1,031 (15.8%)	994 (15.2%)	6,534 (100.0%)
中心集落	1,183 (29.7%)	1,662 (41.7%)	1,452 (36.4%)	2,484 (62.3%)	2,165 (54.3%)	1,150 (28.9%)	1,171 (29.4%)	1,749 (43.9%)	889 (22.3%)	2,589 (65.0%)	848 (21.3%)	966 (24.2%)	3,986 (100.0%)
無回答	18 (2.7%)	260 (38.7%)	49 (7.3%)	131 (19.5%)	104 (15.5%)	39 (5.8%)	47 (7.0%)	50 (7.4%)	43 (6.4%)	320 (47.6%)	32 (4.8%)	42 (6.3%)	672 (100.0%)
合計	2,302 (3.6%)	21,016 (33.2%)	5,091 (8.1%)	13,811 (21.8%)	10,733 (17.0%)	5,016 (7.9%)	5,537 (8.8%)	6,285 (9.9%)	4,092 (6.5%)	33,803 (53.5%)	3,690 (5.8%)	4,134 (6.5%)	63,237 (100.0%)

- 地域区分別でみると、都市的地域にある集落では、駅・バス停や公民館・集会所を除く生活サービス機能について立地している集落の割合が最も高くなっている。
- 一方、山間地集落では、各種生活サービス機能の立地集落の割合は総じて低く、特に商店・スーパーが立地している集落の割合は11.1%と全体(21.8%)より10ポイント以上低くなっている。

図表2-135 地域区分別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活サービス機能の立地状況（各サービスが立地している集落数）												総集落数
	市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
山間地	402 (2.0%)	6,746 (33.8%)	632 (3.2%)	2,209 (11.1%)	1,978 (9.9%)	842 (4.2%)	1,331 (6.7%)	1,005 (5.0%)	663 (3.3%)	11,082 (55.6%)	649 (3.3%)	604 (3.0%)	19,932 (100.0%)
中間地	754 (4.0%)	6,532 (34.9%)	1,245 (6.6%)	3,711 (19.8%)	2,786 (14.9%)	1,472 (7.9%)	1,774 (9.5%)	1,737 (9.3%)	1,213 (6.5%)	10,607 (56.6%)	1,209 (6.5%)	1,183 (6.3%)	18,739 (100.0%)
平地	899 (4.6%)	6,314 (32.1%)	2,088 (10.6%)	5,534 (28.1%)	4,006 (20.4%)	2,060 (10.5%)	1,888 (9.6%)	2,496 (12.7%)	1,656 (8.4%)	9,627 (48.9%)	1,451 (7.4%)	1,712 (8.7%)	19,678 (100.0%)
都市的地域	220 (5.0%)	1,102 (24.9%)	1,090 (24.6%)	2,219 (50.2%)	1,858 (42.0%)	595 (13.4%)	498 (11.3%)	989 (22.4%)	531 (12.0%)	2,204 (49.8%)	346 (7.8%)	600 (13.6%)	4,424 (100.0%)
無回答	27 (5.8%)	322 (69.4%)	36 (7.8%)	138 (29.7%)	105 (22.6%)	47 (10.1%)	46 (9.9%)	58 (12.5%)	29 (6.3%)	283 (61.0%)	35 (7.5%)	35 (7.5%)	464 (100.0%)
合計	2,302 (3.6%)	21,016 (33.2%)	5,091 (8.1%)	13,811 (21.8%)	10,733 (17.0%)	5,016 (7.9%)	5,537 (8.8%)	6,285 (9.9%)	4,092 (6.5%)	33,803 (53.5%)	3,690 (5.8%)	4,134 (6.5%)	63,237 (100.0%)

- 役場(本庁)までの距離別でみると、役場に近しい集落の方が多くの生活サービス機能の立地割合が高いが、(簡易)郵便局と駅・バス停については、役場から20km以上離れた集落で最も立地割合が高い。
- また、公民館・集会所は、役場(本庁)までの距離に関わらず3割程度の集落で立地がみられる。

図表2-136 役場(本庁)までの距離別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活サービス機能の立地状況（各サービスが立地している集落数）												総集落数
	市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
5km未満	783 (4.1%)	6,624 (34.4%)	2,663 (13.8%)	6,055 (31.4%)	5,044 (26.2%)	2,120 (11.0%)	1,692 (8.8%)	2,779 (14.4%)	1,831 (9.5%)	10,115 (52.5%)	1,348 (7.0%)	1,836 (9.5%)	19,273 (100.0%)
5km以上 10km未満	307 (2.2%)	5,032 (35.6%)	739 (5.2%)	2,676 (18.9%)	1,918 (13.6%)	968 (6.8%)	1,191 (8.4%)	1,194 (8.4%)	746 (5.3%)	7,562 (53.5%)	835 (5.9%)	832 (5.9%)	14,133 (100.0%)
10km以上 20km未満	603 (3.6%)	5,229 (31.5%)	930 (5.6%)	2,934 (17.7%)	2,097 (12.6%)	1,074 (6.5%)	1,446 (8.7%)	1,300 (7.8%)	889 (5.4%)	8,747 (52.7%)	874 (5.3%)	868 (5.2%)	16,610 (100.0%)
20km以上	592 (4.7%)	3,925 (30.9%)	714 (5.6%)	2,039 (16.0%)	1,552 (12.2%)	821 (6.5%)	1,176 (9.3%)	978 (7.7%)	593 (4.7%)	7,190 (56.6%)	600 (4.7%)	570 (4.5%)	12,706 (100.0%)
無回答	17 (3.3%)	206 (40.0%)	45 (8.7%)	107 (20.8%)	122 (23.7%)	33 (6.4%)	32 (6.2%)	34 (6.6%)	33 (6.4%)	189 (36.7%)	33 (6.4%)	28 (5.4%)	515 (100.0%)
合計	2,302 (3.6%)	21,016 (33.2%)	5,091 (8.1%)	13,811 (21.8%)	10,733 (17.0%)	5,016 (7.9%)	5,537 (8.8%)	6,285 (9.9%)	4,092 (6.5%)	33,803 (53.5%)	3,690 (5.8%)	4,134 (6.5%)	63,237 (100.0%)

- 集落の人口規模別でみると、人口規模が小さくなるほど、生活サービス機能の立地割合が低くなる傾向がみられる。
- このうち、25 人未満の集落では、駅・バス停と公民館・集会所を除く生活サービス機能の立地割合が全て5%未満となっている。

図表2-137 集落の人口規模別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活サービス機能の立地状況（各サービスが立地している集落数）												総集落数
	市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
～9人	17 (0.6%)	369 (13.8%)	20 (0.7%)	38 (1.4%)	56 (2.1%)	21 (0.8%)	10 (0.4%)	8 (0.3%)	22 (0.8%)	766 (28.6%)	13 (0.5%)	11 (0.4%)	2,678 (100.0%)
10～24人	84 (1.2%)	1,379 (19.9%)	73 (1.1%)	238 (3.4%)	250 (3.6%)	102 (1.5%)	119 (1.7%)	98 (1.4%)	69 (1.0%)	2,638 (38.2%)	61 (0.9%)	56 (0.8%)	6,914 (100.0%)
25～49人	155 (1.3%)	2,858 (24.7%)	266 (2.3%)	923 (8.0%)	741 (6.4%)	264 (2.3%)	363 (3.1%)	326 (2.8%)	179 (1.5%)	5,014 (43.2%)	180 (1.6%)	152 (1.3%)	11,594 (100.0%)
50～99人	346 (2.2%)	4,723 (30.6%)	650 (4.2%)	2,413 (15.6%)	1,723 (11.2%)	652 (4.2%)	812 (5.3%)	883 (5.7%)	488 (3.2%)	7,745 (50.2%)	478 (3.1%)	443 (2.9%)	15,428 (100.0%)
100～199人	453 (3.3%)	5,279 (38.8%)	1,042 (7.7%)	3,636 (26.7%)	2,572 (18.9%)	1,076 (7.9%)	1,290 (9.5%)	1,387 (10.2%)	868 (6.4%)	8,219 (60.4%)	876 (6.4%)	911 (6.7%)	13,609 (100.0%)
200～499人	611 (6.6%)	4,430 (47.7%)	1,585 (17.1%)	4,157 (44.7%)	3,227 (34.7%)	1,570 (16.9%)	1,669 (18.0%)	1,990 (21.4%)	1,316 (14.2%)	6,516 (70.1%)	1,078 (11.8%)	1,319 (14.2%)	9,292 (100.0%)
500～999人	315 (14.1%)	1,223 (54.8%)	823 (36.9%)	1,516 (67.9%)	1,321 (59.2%)	747 (33.5%)	701 (31.4%)	922 (41.3%)	611 (27.4%)	1,799 (80.6%)	510 (22.8%)	670 (30.0%)	2,233 (100.0%)
1000人～	300 (32.9%)	643 (70.6%)	594 (65.2%)	786 (86.3%)	760 (83.4%)	547 (60.0%)	535 (58.7%)	636 (69.8%)	509 (55.9%)	823 (90.3%)	466 (51.2%)	545 (59.8%)	911 (100.0%)
無回答	21 (3.6%)	112 (19.4%)	38 (6.6%)	104 (18.0%)	83 (14.4%)	37 (6.4%)	38 (6.6%)	35 (6.1%)	30 (5.2%)	283 (49.0%)	28 (4.8%)	27 (4.7%)	578 (100.0%)
合計	2,302 (3.6%)	21,016 (33.2%)	5,091 (8.1%)	13,811 (21.8%)	10,733 (17.0%)	5,016 (7.9%)	5,537 (8.8%)	6,285 (9.9%)	4,092 (6.5%)	33,803 (53.5%)	3,690 (5.8%)	4,134 (6.5%)	63,237 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別でみると、人口規模と同様、世帯数規模が小さい集落ほど各種生活サービス機能が立地している集落の割合が低くなっている。
- 一方、10 世帯未満の集落でも約3分の1には駅・バス停がある。

図表2-138 集落の世帯数規模別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活サービス機能の立地状況（各サービスが立地している集落数）												総集落数
	市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
～9世帯	49 (0.7%)	1,156 (16.0%)	57 (0.8%)	163 (2.3%)	193 (2.7%)	86 (1.2%)	74 (1.0%)	64 (0.9%)	57 (0.8%)	2,364 (32.7%)	44 (0.6%)	39 (0.5%)	7,236 (100.0%)
10～19世帯	148 (1.2%)	2,719 (22.9%)	197 (1.7%)	753 (6.4%)	628 (5.3%)	210 (1.8%)	281 (2.4%)	251 (2.1%)	134 (1.1%)	4,948 (41.7%)	155 (1.3%)	125 (1.1%)	11,852 (100.0%)
20～29世帯	157 (1.7%)	2,618 (28.0%)	286 (3.1%)	1,099 (11.8%)	849 (9.1%)	314 (3.4%)	377 (4.0%)	388 (4.2%)	207 (2.2%)	4,403 (47.1%)	211 (2.3%)	199 (2.1%)	9,340 (100.0%)
30～49世帯	312 (2.7%)	4,002 (34.2%)	592 (5.1%)	2,273 (19.4%)	1,518 (13.0%)	600 (5.1%)	758 (6.5%)	823 (7.0%)	428 (3.7%)	6,361 (54.3%)	475 (4.1%)	451 (3.9%)	11,706 (100.0%)
50～99世帯	443 (3.6%)	5,059 (41.3%)	1,109 (9.0%)	3,637 (29.7%)	2,694 (22.0%)	1,131 (9.2%)	1,334 (10.9%)	1,436 (11.7%)	935 (7.6%)	7,691 (62.7%)	879 (7.2%)	964 (7.9%)	12,259 (100.0%)
100～199世帯	478 (7.4%)	3,124 (48.4%)	1,206 (18.7%)	3,037 (47.1%)	2,354 (36.5%)	1,166 (18.1%)	1,240 (19.2%)	1,505 (23.3%)	1,003 (15.5%)	4,554 (70.6%)	819 (12.7%)	988 (15.3%)	6,451 (100.0%)
200～499世帯	423 (13.9%)	1,675 (55.0%)	1,084 (35.6%)	2,042 (67.1%)	1,762 (57.9%)	975 (32.0%)	963 (31.6%)	1,220 (40.1%)	840 (27.6%)	2,465 (81.0%)	666 (21.9%)	858 (28.2%)	3,045 (100.0%)
500世帯～	274 (34.7%)	557 (70.6%)	539 (68.3%)	684 (86.7%)	661 (83.8%)	494 (62.6%)	475 (60.2%)	570 (72.2%)	458 (58.0%)	722 (91.5%)	412 (52.2%)	485 (61.5%)	789 (100.0%)
無回答	18 (3.2%)	106 (19.0%)	21 (3.8%)	123 (22.0%)	74 (13.2%)	40 (7.2%)	35 (6.3%)	28 (5.0%)	30 (5.4%)	295 (52.8%)	29 (5.2%)	25 (4.5%)	559 (100.0%)
合計	2,302 (3.6%)	21,016 (33.2%)	5,091 (8.1%)	13,811 (21.8%)	10,733 (17.0%)	5,016 (7.9%)	5,537 (8.8%)	6,285 (9.9%)	4,092 (6.5%)	33,803 (53.5%)	3,690 (5.8%)	4,134 (6.5%)	63,237 (100.0%)

- 高齢者割合別でみると、総じて高齢者割合が高い集落において、各種生活サービス機能が立地している集落の割合が低い。

図表2-139 65歳以上人口割合別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活サービス機能の立地状況（各サービスが立地している集落数）												総集落数
	市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	カソリンスタンド	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
50%未満	1,720 (4.1%)	14,542 (34.7%)	4,215 (10.1%)	10,988 (26.2%)	8,685 (20.7%)	4,125 (9.8%)	4,075 (9.7%)	5,029 (12.0%)	3,170 (7.6%)	22,890 (54.6%)	3,099 (7.4%)	3,563 (8.5%)	41,940 (100.0%)
50%以上	493 (2.9%)	5,537 (32.1%)	771 (4.5%)	2,556 (14.8%)	1,826 (10.6%)	789 (4.6%)	1,320 (7.7%)	1,141 (6.6%)	731 (4.2%)	9,195 (53.4%)	517 (3.0%)	508 (2.9%)	17,224 (100.0%)
75%未満	38 (1.7%)	558 (25.5%)	30 (1.4%)	81 (3.7%)	66 (3.0%)	35 (1.6%)	62 (2.8%)	43 (2.0%)	72 (3.3%)	962 (43.9%)	20 (0.9%)	15 (0.7%)	2,192 (100.0%)
75%以上	9 (0.9%)	118 (12.3%)	7 (0.7%)	11 (1.2%)	14 (1.5%)	5 (0.5%)	2 (0.2%)	3 (0.3%)	63 (6.6%)	266 (27.8%)	1 (0.1%)	3 (0.3%)	956 (100.0%)
100%	42 (4.5%)	261 (28.2%)	68 (7.4%)	175 (18.9%)	142 (15.4%)	62 (6.7%)	78 (8.4%)	69 (7.5%)	56 (6.1%)	490 (53.0%)	53 (5.7%)	45 (4.9%)	925 (100.0%)
無回答	2,302 (3.6%)	21,016 (33.2%)	5,091 (8.1%)	13,811 (21.8%)	10,733 (17.0%)	5,016 (7.9%)	5,537 (8.8%)	6,285 (9.9%)	4,092 (6.5%)	33,803 (53.5%)	3,690 (5.8%)	4,134 (6.5%)	63,237 (100.0%)
合計													

- 転入者の有無別でみると、転入者がいるとされる集落の方が、転入者がいないとされる集落よりも、各種生活サービス機能が立地している集落の割合が高く、特に商店・スーパーにおいてその差が大きい。

図表2-140 転入者の有無別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活サービス機能の立地状況（各サービスが立地している集落数）												総集落数
	市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	カソリンスタンド	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
転入者がいる	1,322 (5.2%)	10,399 (40.8%)	2,678 (10.5%)	7,199 (28.3%)	5,635 (22.1%)	2,720 (10.7%)	2,927 (11.5%)	3,503 (13.7%)	2,149 (8.4%)	16,306 (64.0%)	2,026 (8.0%)	2,186 (8.6%)	25,481 (100.0%)
転入者がいない	106 (2.0%)	1,340 (24.9%)	75 (1.4%)	345 (6.4%)	229 (4.3%)	114 (2.1%)	154 (2.9%)	140 (2.6%)	66 (1.2%)	2,595 (48.2%)	71 (1.3%)	62 (1.2%)	5,384 (100.0%)
分からない	829 (2.7%)	8,644 (28.2%)	2,237 (7.3%)	5,998 (19.6%)	4,614 (15.1%)	2,074 (6.8%)	2,325 (7.6%)	2,505 (8.2%)	1,782 (5.8%)	14,198 (46.3%)	1,508 (4.9%)	1,805 (5.9%)	30,644 (100.0%)
無回答	45 (2.6%)	633 (36.6%)	101 (5.8%)	269 (15.6%)	255 (14.8%)	108 (6.3%)	131 (7.6%)	137 (7.9%)	95 (5.5%)	704 (40.7%)	85 (4.9%)	81 (4.7%)	1,728 (100.0%)
合計	2,302 (3.6%)	21,016 (33.2%)	5,091 (8.1%)	13,811 (21.8%)	10,733 (17.0%)	5,016 (7.9%)	5,537 (8.8%)	6,285 (9.9%)	4,092 (6.5%)	33,803 (53.5%)	3,690 (5.8%)	4,134 (6.5%)	63,237 (100.0%)

- 地形的末端性別でみると、全体では約2割の集落に立地している商店・スーパーが、地形的に末端にある集落では6.8%にしか立地していない。

図表2-141 地形的末端性別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活サービス機能の立地状況（各サービスが立地している集落数）												総集落数
	市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	カソリンスタンド	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
地形的末端である	53 (1.4%)	1,293 (33.2%)	79 (2.0%)	264 (6.8%)	292 (7.5%)	71 (1.8%)	164 (4.2%)	92 (2.4%)	76 (1.9%)	1,744 (44.7%)	70 (1.8%)	62 (1.6%)	3,900 (100.0%)
地形的末端でない	2,249 (3.8%)	19,723 (33.2%)	5,012 (8.4%)	13,547 (22.8%)	10,441 (17.6%)	4,945 (8.3%)	5,373 (9.1%)	6,193 (10.4%)	4,016 (6.8%)	32,059 (54.0%)	3,620 (6.1%)	4,072 (6.9%)	59,337 (100.0%)
合計	2,302 (3.6%)	21,016 (33.2%)	5,091 (8.1%)	13,811 (21.8%)	10,733 (17.0%)	5,016 (7.9%)	5,537 (8.8%)	6,285 (9.9%)	4,092 (6.5%)	33,803 (53.5%)	3,690 (5.8%)	4,134 (6.5%)	63,237 (100.0%)

(8) サポート人材が活動する集落の状況

【全体】

- 集落支援員や地域おこし協力隊などのサポート人材が活動する集落の状況をみると、条件不利地域の集落の 32.9% では何らかのサポート人材が活動しており、具体的には 19.3% の集落で集落支援員が、19.9% の集落で地域おこし協力隊等が活動している。

図表2-142 サポート人材の活動状況別 集落数 【全体】

全体	サポート人材が活動している				サポート人材は活動していない	総集落数
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他			
合計	25,213 (32.9%)	14,825 (19.3%)	15,302 (19.9%)	1,491 (1.9%)	51,497 (67.1%)	76,710 (100.0%)
参考: 前回調査	19,919 (26.3%)	10,060 (13.3%)	12,021 (15.9%)	2,042 (2.7%)	55,743 (73.7%)	75,662 (100.0%)

※同一集落に複数の種別のサポート人材が活動している場合がある。

図表2-143 地域指定別 サポート人材の活動状況別 集落数 【全体】

全体	サポート人材が活動している				サポート人材は活動していない	総集落数
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他			
過疎地域	21,997 (34.8%)	12,851 (20.3%)	13,740 (21.7%)	1,388 (2.2%)	41,240 (65.2%)	63,237 (100.0%)
振興山村	10,131 (37.5%)	5,869 (21.7%)	6,614 (24.5%)	731 (2.7%)	16,863 (62.5%)	26,994 (100.0%)
離島	705 (30.2%)	424 (18.1%)	557 (23.8%)	19 (0.8%)	1,632 (69.8%)	2,337 (100.0%)
半島	4,973 (34.1%)	3,111 (21.3%)	2,284 (15.7%)	470 (3.2%)	9,611 (65.9%)	14,584 (100.0%)
特別豪雪地帯	3,137 (25.9%)	2,188 (18.1%)	1,471 (12.2%)	58 (0.5%)	8,965 (74.1%)	12,102 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落の34.8%では何らかのサポート人材が活動している。
- 地方ブロック別でみると、サポート人材の活動が多くの集落で見られるのは、北陸圏や中国圏、四国圏であり、特に中国圏では半数以上の集落で何らかのサポート人材が活動している。

図表2-144 地方ブロック別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	サポート人材が活動している				サポート人材は活動していない	総集落数
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他			
1 北海道	515 (13.7%)	136 (3.6%)	409 (10.9%)	37 (1.0%)	3,231 (86.3%)	3,746 (100.0%)
2 東北圏	2,773 (19.7%)	1,678 (11.9%)	1,379 (9.8%)	117 (0.8%)	11,294 (80.3%)	14,067 (100.0%)
3 首都圏	602 (29.2%)	210 (10.2%)	414 (20.1%)	0 (0.0%)	1,458 (70.8%)	2,060 (100.0%)
4 北陸圏	939 (45.4%)	606 (29.3%)	818 (39.5%)	1 (0.0%)	1,131 (54.6%)	2,070 (100.0%)
5 中部圏	1,276 (35.6%)	750 (20.9%)	757 (21.1%)	7 (0.2%)	2,313 (64.4%)	3,589 (100.0%)
6 近畿圏	1,154 (32.2%)	707 (19.7%)	489 (13.6%)	232 (6.5%)	2,435 (67.8%)	3,589 (100.0%)
7 中国圏	6,229 (50.4%)	3,969 (32.1%)	4,892 (39.6%)	477 (3.9%)	6,139 (49.6%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	3,355 (48.1%)	1,461 (21.0%)	2,039 (29.3%)	0 (0.0%)	3,615 (51.9%)	6,970 (100.0%)
9 九州圏	5,128 (35.3%)	3,323 (22.9%)	2,525 (17.4%)	517 (3.6%)	9,380 (64.7%)	14,508 (100.0%)
10 沖縄県	26 (9.6%)	11 (4.1%)	18 (6.7%)	0 (0.0%)	244 (90.4%)	270 (100.0%)
合計	21,997 (34.8%)	12,851 (20.3%)	13,740 (21.7%)	1,388 (2.2%)	41,240 (65.2%)	63,237 (100.0%)

- 集落類型別でみると、何らかのサポート人材が活動する集落の割合は基幹集落において35.2%と最も高く、基礎集落でも34.9%と3分の1超の集落でサポート人材の活動がみられる。

図表2-145 集落類型別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	サポート人材が活動している				サポート人材は活動していない	総集落数
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他			
基礎集落	18,179 (34.9%)	10,632 (20.4%)	11,294 (21.7%)	972 (1.9%)	33,866 (65.1%)	52,045 (100.0%)
基幹集落	2,299 (35.2%)	1,344 (20.6%)	1,468 (22.5%)	178 (2.7%)	4,235 (64.8%)	6,534 (100.0%)
中心集落	1,183 (29.7%)	606 (15.2%)	786 (19.7%)	102 (2.6%)	2,803 (70.3%)	3,986 (100.0%)
無回答	336 (50.0%)	269 (40.0%)	192 (28.6%)	136 (20.2%)	336 (50.0%)	672 (100.0%)
合計	21,997 (34.8%)	12,851 (20.3%)	13,740 (21.7%)	1,388 (2.2%)	41,240 (65.2%)	63,237 (100.0%)

- 地域区分別でみると、山間地集落においてサポート人材が活動する集落が 41.0%と特に多くみられ、集落支援員は 24.6%、地域おこし協力隊等は 25.4%と、それぞれ4分の1近くの集落で活動がみられる。また、中間地集落においても3分の1超の集落で何らかのサポート人材が活動している。
- これに対し、都市的地域では、サポート人材が活動していない集落が約8割を占めている。

図表2-146 地域区分別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	サポート人材が活動している			サポート人材は活動していない	総集落数	
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他			
山間地	8,169 (41.0%)	4,913 (24.6%)	5,071 (25.4%)	567 (2.8%)	11,763 (59.0%)	19,932 (100.0%)
中間地	6,497 (34.7%)	3,599 (19.2%)	4,111 (21.9%)	463 (2.5%)	12,242 (65.3%)	18,739 (100.0%)
平地	6,139 (31.2%)	3,767 (19.1%)	3,889 (19.8%)	201 (1.0%)	13,539 (68.8%)	19,678 (100.0%)
都市的地域	923 (20.9%)	347 (7.8%)	557 (12.6%)	157 (3.5%)	3,501 (79.1%)	4,424 (100.0%)
無回答	269 (58.0%)	225 (48.5%)	112 (24.1%)	0 (0.0%)	195 (42.0%)	464 (100.0%)
合計	21,997 (34.8%)	12,851 (20.3%)	13,740 (21.7%)	1,388 (2.2%)	41,240 (65.2%)	63,237 (100.0%)

- 役場(本庁)までの距離別でみると、サポート人材が活動する集落の割合は、役場(本庁)から遠くなるにつれて高くなり、役場(本庁)から 20 km以上と遠距離にある集落では 46.8%と半数近くの集落でサポート人材が活動している。

図表2-147 役場(本庁)までの距離別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	サポート人材が活動している			サポート人材は活動していない	総集落数	
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他			
5km未満	4,989 (25.9%)	2,674 (13.9%)	3,124 (16.2%)	297 (1.5%)	14,284 (74.1%)	19,273 (100.0%)
5km以上 10km未満	4,449 (31.5%)	2,814 (19.9%)	2,480 (17.5%)	202 (1.4%)	9,684 (68.5%)	14,133 (100.0%)
10km以上 20km未満	6,581 (39.6%)	4,189 (25.2%)	3,912 (23.6%)	350 (2.1%)	10,029 (60.4%)	16,610 (100.0%)
20km以上	5,941 (46.8%)	3,167 (24.9%)	4,193 (33.0%)	539 (4.2%)	6,765 (53.2%)	12,706 (100.0%)
無回答	37 (7.2%)	7 (1.4%)	31 (6.0%)	0 (0.0%)	478 (92.8%)	515 (100.0%)
合計	21,997 (34.8%)	12,851 (20.3%)	13,740 (21.7%)	1,388 (2.2%)	41,240 (65.2%)	63,237 (100.0%)

- 集落の人口規模別でみると、サポート人材が活動する集落の割合は、10 人未満の集落が最も高く、10 人以上 25 人未満の集落がこれに次いでいる。

図表2-148 集落の人口規模別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	サポート人材が活動している			サポート人材は活動していない	総集落数	
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他			
～9人	1,187 (44.3%)	730 (27.3%)	717 (26.8%)	103 (3.8%)	1,491 (55.7%)	2,678 (100.0%)
10～24人	3,046 (44.1%)	1,865 (27.0%)	2,082 (30.1%)	215 (3.1%)	3,868 (55.9%)	6,914 (100.0%)
25～49人	4,491 (38.7%)	2,856 (24.6%)	2,966 (25.6%)	210 (1.8%)	7,103 (61.3%)	11,594 (100.0%)
50～99人	5,369 (34.8%)	3,241 (21.0%)	3,278 (21.2%)	297 (1.9%)	10,059 (65.2%)	15,428 (100.0%)
100～199人	4,302 (31.6%)	2,415 (17.7%)	2,512 (18.5%)	244 (1.8%)	9,307 (68.4%)	13,609 (100.0%)
200～499人	2,594 (27.9%)	1,352 (14.6%)	1,471 (15.8%)	221 (2.4%)	6,698 (72.1%)	9,292 (100.0%)
500～999人	572 (25.6%)	260 (11.6%)	353 (15.8%)	68 (3.0%)	1,661 (74.4%)	2,233 (100.0%)
1000人～	240 (26.3%)	72 (7.9%)	190 (20.9%)	14 (1.5%)	671 (73.7%)	911 (100.0%)
無回答	196 (33.9%)	60 (10.4%)	171 (29.6%)	16 (2.8%)	382 (66.1%)	578 (100.0%)
合計	21,997 (34.8%)	12,851 (20.3%)	13,740 (21.7%)	1,388 (2.2%)	41,240 (65.2%)	63,237 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別でみると、10 世帯未満の集落では4割以上で何らかのサポート人材が活動している。

図表2-149 集落の世帯数規模別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	サポート人材が活動している			サポート人材は活動していない	総集落数	
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他			
～9世帯	3,153 (43.6%)	1,932 (26.7%)	2,110 (29.2%)	225 (3.1%)	4,083 (56.4%)	7,236 (100.0%)
10～19世帯	4,664 (39.4%)	2,998 (25.3%)	3,131 (26.4%)	243 (2.1%)	7,188 (60.6%)	11,852 (100.0%)
20～29世帯	3,255 (34.9%)	2,015 (21.6%)	2,015 (21.6%)	146 (1.6%)	6,085 (65.1%)	9,340 (100.0%)
30～49世帯	4,001 (34.2%)	2,354 (20.1%)	2,314 (19.8%)	257 (2.2%)	7,705 (65.8%)	11,706 (100.0%)
50～99世帯	3,840 (31.3%)	2,105 (17.2%)	2,232 (18.2%)	242 (2.0%)	8,419 (68.7%)	12,259 (100.0%)
100～199世帯	1,870 (29.0%)	976 (15.1%)	1,079 (16.7%)	156 (2.4%)	4,581 (71.0%)	6,451 (100.0%)
200～499世帯	816 (26.8%)	353 (11.6%)	523 (17.2%)	93 (3.1%)	2,229 (73.2%)	3,045 (100.0%)
500世帯～	204 (25.9%)	58 (7.4%)	167 (21.2%)	10 (1.3%)	585 (74.1%)	789 (100.0%)
無回答	194 (34.7%)	60 (10.7%)	169 (30.2%)	16 (2.9%)	365 (65.3%)	559 (100.0%)
合計	21,997 (34.8%)	12,851 (20.3%)	13,740 (21.7%)	1,388 (2.2%)	41,240 (65.2%)	63,237 (100.0%)

- 高齢者割合別で見ると、高齢者割合が75%を超える集落においてサポート人材が活動する集落の割合が特に高くなっている。

図表2-150 65歳以上人口割合別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	サポート人材が活動している			サポート人材は活動していない	総集落数	
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他			
50%未満	13,162 (31.4%)	7,655 (18.3%)	8,096 (19.3%)	827 (2.0%)	28,778 (68.6%)	41,940 (100.0%)
50%以上 75%未満	7,026 (40.8%)	4,210 (24.4%)	4,486 (26.0%)	407 (2.4%)	10,198 (59.2%)	17,224 (100.0%)
75%以上 100%未満	1,061 (48.4%)	647 (29.5%)	639 (29.2%)	87 (4.0%)	1,131 (51.6%)	2,192 (100.0%)
100%	455 (47.6%)	279 (29.2%)	268 (28.0%)	34 (3.6%)	501 (52.4%)	956 (100.0%)
無回答	293 (31.7%)	60 (6.5%)	251 (27.1%)	33 (3.6%)	632 (68.3%)	925 (100.0%)
合計	21,997 (34.8%)	12,851 (20.3%)	13,740 (21.7%)	1,388 (2.2%)	41,240 (65.2%)	63,237 (100.0%)

- 転入者の有無別で見ると、転入者がいないとされる集落の方が、サポート人材が活動する集落の割合が高くなっている。

図表2-151 転入者の有無別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	サポート人材が活動している			サポート人材は活動していない	総集落数	
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他			
転入者がいる	9,164 (36.0%)	5,612 (22.0%)	4,988 (19.6%)	355 (1.4%)	16,317 (64.0%)	25,481 (100.0%)
転入者がいない	2,240 (41.6%)	1,351 (25.1%)	1,381 (25.7%)	51 (0.9%)	3,144 (58.4%)	5,384 (100.0%)
分からない	9,963 (32.5%)	5,415 (17.7%)	6,852 (22.4%)	936 (3.1%)	20,681 (67.5%)	30,644 (100.0%)
無回答	630 (36.5%)	473 (27.4%)	519 (30.0%)	46 (2.7%)	1,098 (63.5%)	1,728 (100.0%)
合計	21,997 (34.8%)	12,851 (20.3%)	13,740 (21.7%)	1,388 (2.2%)	41,240 (65.2%)	63,237 (100.0%)

(9) 集落機能の維持状況

① 資源管理機能の維持状況

【全体】

- 資源管理機能の維持状況をみると、集落住民により維持されている集落が93.4%と大半を占める。

図表2-152 資源管理機能の維持状況別 集落数【全体】

全体	資源管理機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
合計	71,622 (93.4%)	1,689 (2.2%)	27 (0.0%)	2,641 (3.4%)	731 (1.0%)	76,710 (100.0%)
参考: 前回調査	70,402 (93.0%)	1,676 (2.2%)	21 (0.0%)	2,585 (3.4%)	978 (1.3%)	75,662 (100.0%)

図表2-153 地域指定別・資源管理機能の維持状況別 集落数【全体】

全体	資源管理機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
過疎地域	59,219 (93.6%)	1,593 (2.5%)	26 (0.0%)	2,161 (3.4%)	238 (0.4%)	63,237 (100.0%)
振興山村	25,423 (94.2%)	765 (2.8%)	10 (0.0%)	596 (2.2%)	200 (0.7%)	26,994 (100.0%)
離島	2,082 (89.1%)	52 (2.2%)	1 (0.0%)	198 (8.5%)	4 (0.2%)	2,337 (100.0%)
半島	13,883 (95.2%)	177 (1.2%)	7 (0.0%)	353 (2.4%)	164 (1.1%)	14,584 (100.0%)
特別豪雪地帯	11,074 (91.5%)	321 (2.7%)	2 (0.0%)	499 (4.1%)	206 (1.7%)	12,102 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落では、資源管理機能が集落住民により維持されている集落が93.6%と大半を占める。

図表2-154 地方ブロック別・資源管理機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	資源管理機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
1 北海道	3,238 (86.4%)	152 (4.1%)	0 (0.0%)	337 (9.0%)	19 (0.5%)	3,746 (100.0%)
2 東北圏	13,388 (95.2%)	309 (2.2%)	0 (0.0%)	360 (2.6%)	10 (0.1%)	14,067 (100.0%)
3 首都圏	1,958 (95.0%)	56 (2.7%)	0 (0.0%)	46 (2.2%)	0 (0.0%)	2,060 (100.0%)
4 北陸圏	2,054 (99.2%)	8 (0.4%)	1 (0.0%)	7 (0.3%)	0 (0.0%)	2,070 (100.0%)
5 中部圏	3,344 (93.2%)	132 (3.7%)	5 (0.1%)	107 (3.0%)	1 (0.0%)	3,589 (100.0%)
6 近畿圏	3,485 (97.1%)	25 (0.7%)	0 (0.0%)	78 (2.2%)	1 (0.0%)	3,589 (100.0%)
7 中国圏	11,568 (93.5%)	287 (2.3%)	5 (0.0%)	499 (4.0%)	9 (0.1%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	6,526 (93.6%)	224 (3.2%)	2 (0.0%)	132 (1.9%)	86 (1.2%)	6,970 (100.0%)
9 九州圏	13,396 (92.3%)	397 (2.7%)	13 (0.1%)	590 (4.1%)	112 (0.8%)	14,508 (100.0%)
10 沖縄県	262 (97.0%)	3 (1.1%)	0 (0.0%)	5 (1.9%)	0 (0.0%)	270 (100.0%)
合計	59,219 (93.6%)	1,593 (2.5%)	26 (0.0%)	2,161 (3.4%)	238 (0.4%)	63,237 (100.0%)

- 資源管理機能の維持状況について、集落類型別では大きな差はみられない。

図表2-155 集落類型別・資源管理機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	資源管理機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
基礎集落	48,831 (93.8%)	1,283 (2.5%)	26 (0.0%)	1,702 (3.3%)	203 (0.4%)	52,045 (100.0%)
基幹集落	6,105 (93.4%)	165 (2.5%)	0 (0.0%)	251 (3.8%)	13 (0.2%)	6,534 (100.0%)
中心集落	3,687 (92.5%)	79 (2.0%)	0 (0.0%)	206 (5.2%)	14 (0.4%)	3,986 (100.0%)
無回答	596 (88.7%)	66 (9.8%)	0 (0.0%)	2 (0.3%)	8 (1.2%)	672 (100.0%)
合計	59,219 (93.6%)	1,593 (2.5%)	26 (0.0%)	2,161 (3.4%)	238 (0.4%)	63,237 (100.0%)

- 地域区分別でみると、資源管理機能について集落住民により維持されている集落の割合は、山間地、中間地、平地の集落ではそれぞれ94～95%程度とほとんど差がみられない。

図表2-156 地域区分別・資源管理機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	資源管理機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
山間地	18,665 (93.6%)	733 (3.7%)	13 (0.1%)	507 (2.5%)	14 (0.1%)	19,932 (100.0%)
中間地	17,655 (94.2%)	440 (2.3%)	3 (0.0%)	576 (3.1%)	65 (0.3%)	18,739 (100.0%)
平地	18,773 (95.4%)	304 (1.5%)	7 (0.0%)	464 (2.4%)	130 (0.7%)	19,678 (100.0%)
都市的地域	3,697 (83.6%)	112 (2.5%)	3 (0.1%)	611 (13.8%)	1 (0.0%)	4,424 (100.0%)
無回答	429 (92.5%)	4 (0.9%)	0 (0.0%)	3 (0.6%)	28 (6.0%)	464 (100.0%)
合計	59,219 (93.6%)	1,593 (2.5%)	26 (0.0%)	2,161 (3.4%)	238 (0.4%)	63,237 (100.0%)

- 集落の人口規模別で見ると、人口規模が10人未満の小規模な集落では、1割近くが資源管理機能について他集落と合同で維持されている。

図表2-157 集落の人口規模別・資源管理機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	資源管理機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
～9人	2,220 (82.9%)	261 (9.7%)	10 (0.4%)	183 (6.8%)	4 (0.1%)	2,678 (100.0%)
10～24人	6,376 (92.2%)	302 (4.4%)	4 (0.1%)	199 (2.9%)	33 (0.5%)	6,914 (100.0%)
25～49人	10,881 (93.9%)	321 (2.8%)	8 (0.1%)	317 (2.7%)	67 (0.6%)	11,594 (100.0%)
50～99人	14,611 (94.7%)	335 (2.2%)	4 (0.0%)	413 (2.7%)	65 (0.4%)	15,428 (100.0%)
100～199人	12,946 (95.1%)	212 (1.6%)	0 (0.0%)	417 (3.1%)	34 (0.2%)	13,609 (100.0%)
200～499人	8,796 (94.7%)	109 (1.2%)	0 (0.0%)	367 (3.9%)	20 (0.2%)	9,292 (100.0%)
500～999人	2,071 (92.7%)	25 (1.1%)	0 (0.0%)	128 (5.7%)	9 (0.4%)	2,233 (100.0%)
1000人～	809 (88.8%)	6 (0.7%)	0 (0.0%)	95 (10.4%)	1 (0.1%)	911 (100.0%)
無回答	509 (88.1%)	22 (3.8%)	0 (0.0%)	42 (7.3%)	5 (0.9%)	578 (100.0%)
合計	59,219 (93.6%)	1,593 (2.5%)	26 (0.0%)	2,161 (3.4%)	238 (0.4%)	63,237 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別で見ると、世帯数が10世帯未満の集落では、資源管理機能について他集落と合同で維持されているとする集落の割合がやや高い。

図表2-158 集落の世帯数規模別・資源管理機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	資源管理機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
～9世帯	6,431 (88.9%)	472 (6.5%)	11 (0.2%)	302 (4.2%)	20 (0.3%)	7,236 (100.0%)
10～19世帯	11,197 (94.5%)	344 (2.9%)	5 (0.0%)	251 (2.1%)	55 (0.5%)	11,852 (100.0%)
20～29世帯	8,866 (94.9%)	214 (2.3%)	2 (0.0%)	209 (2.2%)	49 (0.5%)	9,340 (100.0%)
30～49世帯	11,123 (95.0%)	228 (1.9%)	4 (0.0%)	307 (2.6%)	44 (0.4%)	11,706 (100.0%)
50～99世帯	11,551 (94.2%)	203 (1.7%)	4 (0.0%)	463 (3.8%)	38 (0.3%)	12,259 (100.0%)
100～199世帯	6,060 (93.9%)	77 (1.2%)	0 (0.0%)	299 (4.6%)	15 (0.2%)	6,451 (100.0%)
200～499世帯	2,817 (92.5%)	28 (0.9%)	0 (0.0%)	188 (6.2%)	12 (0.4%)	3,045 (100.0%)
500世帯～	693 (87.8%)	5 (0.6%)	0 (0.0%)	90 (11.4%)	1 (0.1%)	789 (100.0%)
無回答	481 (86.0%)	22 (3.9%)	0 (0.0%)	52 (9.3%)	4 (0.7%)	559 (100.0%)
合計	59,219 (93.6%)	1,593 (2.5%)	26 (0.0%)	2,161 (3.4%)	238 (0.4%)	63,237 (100.0%)

- 高齢者割合別でみると、高齢者割合が100%（集落住民全員が65歳以上）の集落では、集落住民により資源管理機能が維持されている集落の割合は71.3%と低く、他集落と合同で維持されている、あるいはボランティア等により維持されているとする集落の割合が他よりも高くなっている。

図表2-159 65歳以上人口割合別・資源管理機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	資源管理機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
50%未満	39,471 (94.1%)	801 (1.9%)	2 (0.0%)	1,517 (3.6%)	149 (0.4%)	41,940 (100.0%)
50%以上 75%未満	16,240 (94.3%)	548 (3.2%)	2 (0.0%)	366 (2.1%)	68 (0.4%)	17,224 (100.0%)
75%以上 100%未満	1,989 (90.7%)	116 (5.3%)	3 (0.1%)	75 (3.4%)	9 (0.4%)	2,192 (100.0%)
100%	682 (71.3%)	106 (11.1%)	19 (2.0%)	143 (15.0%)	6 (0.6%)	956 (100.0%)
無回答	837 (90.5%)	22 (2.4%)	0 (0.0%)	60 (6.5%)	6 (0.6%)	925 (100.0%)
合計	59,219 (93.6%)	1,593 (2.5%)	26 (0.0%)	2,161 (3.4%)	238 (0.4%)	63,237 (100.0%)

- 転入者の有無別でみると、転入者がいないとされる集落では、集落住民により資源管理機能が維持されている集落の割合がわずかに低く、他集落と合同で維持されているとする集落の割合が高い。

図表2-160 転入者の有無別・資源管理機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	資源管理機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
転入者がいる	23,380 (91.8%)	580 (2.3%)	1 (0.0%)	1,340 (5.3%)	180 (0.7%)	25,481 (100.0%)
転入者がいない	4,729 (87.8%)	416 (7.7%)	7 (0.1%)	213 (4.0%)	19 (0.4%)	5,384 (100.0%)
分からない	29,432 (96.0%)	570 (1.9%)	13 (0.0%)	599 (2.0%)	30 (0.1%)	30,644 (100.0%)
無回答	1,678 (97.1%)	27 (1.6%)	5 (0.3%)	9 (0.5%)	9 (0.5%)	1,728 (100.0%)
合計	59,219 (93.6%)	1,593 (2.5%)	26 (0.0%)	2,161 (3.4%)	238 (0.4%)	63,237 (100.0%)

## ②生産補完機能の維持状況

### 【全体】

- 生産補完機能の維持状況をみると、集落住民により維持されている集落が93.4%と大半を占める。
- 地域指定別では大きな差はみられない。

図表2-161 生産補完機能の維持状況別 集落数【全体】

全体	生産補完機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
合計	71,671 (93.4%)	1,689 (2.2%)	24 (0.0%)	2,631 (3.4%)	695 (0.9%)	76,710 (100.0%)
参考: 前回調査	70,474 (93.1%)	1,673 (2.2%)	57 (0.1%)	2,582 (3.4%)	876 (1.2%)	75,662 (100.0%)

図表2-162 地域指定別・生産補完機能の維持状況別 集落数【全体】

全体	生産補完機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
過疎地域	59,318 (93.8%)	1,584 (2.5%)	23 (0.0%)	2,112 (3.3%)	200 (0.3%)	63,237 (100.0%)
振興山村	25,436 (94.2%)	823 (3.0%)	6 (0.0%)	531 (2.0%)	198 (0.7%)	26,994 (100.0%)
離島	2,070 (88.6%)	61 (2.6%)	1 (0.0%)	198 (8.5%)	7 (0.3%)	2,337 (100.0%)
半島	13,842 (94.9%)	171 (1.2%)	6 (0.0%)	386 (2.6%)	179 (1.2%)	14,584 (100.0%)
特別豪雪地帯	11,024 (91.1%)	340 (2.8%)	2 (0.0%)	530 (4.4%)	206 (1.7%)	12,102 (100.0%)

### 【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落における生産補完機能の維持状況をみると、集落住民により維持されている集落が93.8%と大半を占める。

図表2-163 地方ブロック別・生産補完機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生産補完機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
1 北海道	3,269 (87.3%)	176 (4.7%)	0 (0.0%)	300 (8.0%)	1 (0.0%)	3,746 (100.0%)
2 東北圏	13,333 (94.8%)	323 (2.3%)	0 (0.0%)	401 (2.9%)	10 (0.1%)	14,067 (100.0%)
3 首都圏	2,016 (97.9%)	6 (0.3%)	0 (0.0%)	38 (1.8%)	0 (0.0%)	2,060 (100.0%)
4 北陸圏	2,047 (98.9%)	3 (0.1%)	1 (0.0%)	19 (0.9%)	0 (0.0%)	2,070 (100.0%)
5 中部圏	3,449 (96.1%)	66 (1.8%)	4 (0.1%)	53 (1.5%)	17 (0.5%)	3,589 (100.0%)
6 近畿圏	3,477 (96.9%)	30 (0.8%)	0 (0.0%)	81 (2.3%)	1 (0.0%)	3,589 (100.0%)
7 中国圏	11,553 (93.4%)	339 (2.7%)	6 (0.0%)	461 (3.7%)	9 (0.1%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	6,465 (92.8%)	193 (2.8%)	0 (0.0%)	226 (3.2%)	86 (1.2%)	6,970 (100.0%)
9 九州圏	13,447 (92.7%)	445 (3.1%)	12 (0.1%)	528 (3.6%)	76 (0.5%)	14,508 (100.0%)
10 沖縄県	262 (97.0%)	3 (1.1%)	0 (0.0%)	5 (1.9%)	0 (0.0%)	270 (100.0%)
合計	59,318 (93.8%)	1,584 (2.5%)	23 (0.0%)	2,112 (3.3%)	200 (0.3%)	63,237 (100.0%)

- 集落類型別でみると、生産補完機能の維持状況に特に差はみられない。

図表2-164 集落類型別・生産補完機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生産補完機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
基礎集落	48,851 (93.9%)	1,342 (2.6%)	23 (0.0%)	1,662 (3.2%)	167 (0.3%)	52,045 (100.0%)
基幹集落	6,165 (94.4%)	110 (1.7%)	0 (0.0%)	248 (3.8%)	11 (0.2%)	6,534 (100.0%)
中心集落	3,706 (93.0%)	66 (1.7%)	0 (0.0%)	200 (5.0%)	14 (0.4%)	3,986 (100.0%)
無回答	596 (88.7%)	66 (9.8%)	0 (0.0%)	2 (0.3%)	8 (1.2%)	672 (100.0%)
合計	59,318 (93.8%)	1,584 (2.5%)	23 (0.0%)	2,112 (3.3%)	200 (0.3%)	63,237 (100.0%)

- 地域区分別でみると、都市的地域にある集落は、生産補完機能について集落住民により維持されている割合が最も低い。

図表2-165 地域区分別・生産補完機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生産補完機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
山間地	18,697 (93.8%)	709 (3.6%)	11 (0.1%)	487 (2.4%)	28 (0.1%)	19,932 (100.0%)
中間地	17,696 (94.4%)	472 (2.5%)	2 (0.0%)	527 (2.8%)	42 (0.2%)	18,739 (100.0%)
平地	18,824 (95.7%)	277 (1.4%)	7 (0.0%)	451 (2.3%)	119 (0.6%)	19,678 (100.0%)
都市的地域	3,679 (83.2%)	122 (2.8%)	3 (0.1%)	619 (14.0%)	1 (0.0%)	4,424 (100.0%)
無回答	422 (90.9%)	4 (0.9%)	0 (0.0%)	28 (6.0%)	10 (2.2%)	464 (100.0%)
合計	59,318 (93.8%)	1,584 (2.5%)	23 (0.0%)	2,112 (3.3%)	200 (0.3%)	63,237 (100.0%)

- 集落の人口規模別で見ると、人口規模が10人未満の集落では、生産補完機能について他集落と合同で維持されている集落の割合がやや高くなっている。

図表2-166 集落の人口規模別・生産補完機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生産補完機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
～9人	2,237 (83.5%)	264 (9.9%)	9 (0.3%)	162 (6.0%)	6 (0.2%)	2,678 (100.0%)
10～24人	6,408 (92.7%)	302 (4.4%)	3 (0.0%)	169 (2.4%)	32 (0.5%)	6,914 (100.0%)
25～49人	10,939 (94.4%)	314 (2.7%)	7 (0.1%)	279 (2.4%)	55 (0.5%)	11,594 (100.0%)
50～99人	14,646 (94.9%)	325 (2.1%)	4 (0.0%)	402 (2.6%)	51 (0.3%)	15,428 (100.0%)
100～199人	12,950 (95.2%)	212 (1.6%)	0 (0.0%)	414 (3.0%)	33 (0.2%)	13,609 (100.0%)
200～499人	8,783 (94.5%)	106 (1.1%)	0 (0.0%)	389 (4.2%)	14 (0.2%)	9,292 (100.0%)
500～999人	2,059 (92.2%)	31 (1.4%)	0 (0.0%)	139 (6.2%)	4 (0.2%)	2,233 (100.0%)
1000人～	804 (88.3%)	8 (0.9%)	0 (0.0%)	99 (10.9%)	0 (0.0%)	911 (100.0%)
無回答	492 (85.1%)	22 (3.8%)	0 (0.0%)	59 (10.2%)	5 (0.9%)	578 (100.0%)
合計	59,318 (93.8%)	1,584 (2.5%)	23 (0.0%)	2,112 (3.3%)	200 (0.3%)	63,237 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別で見ると、人口規模と同様、10世帯未満の小規模集落において、生産補完機能が他集落と合同で維持されている集落の割合がやや高い。

図表2-167 集落の世帯数規模別・生産補完機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生産補完機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
～9世帯	6,468 (89.4%)	485 (6.7%)	10 (0.1%)	255 (3.5%)	18 (0.2%)	7,236 (100.0%)
10～19世帯	11,245 (94.9%)	332 (2.8%)	3 (0.0%)	222 (1.9%)	50 (0.4%)	11,852 (100.0%)
20～29世帯	8,897 (95.3%)	210 (2.2%)	2 (0.0%)	193 (2.1%)	38 (0.4%)	9,340 (100.0%)
30～49世帯	11,145 (95.2%)	222 (1.9%)	4 (0.0%)	298 (2.5%)	37 (0.3%)	11,706 (100.0%)
50～99世帯	11,552 (94.2%)	197 (1.6%)	4 (0.0%)	469 (3.8%)	37 (0.3%)	12,259 (100.0%)
100～199世帯	6,052 (93.8%)	73 (1.1%)	0 (0.0%)	317 (4.9%)	9 (0.1%)	6,451 (100.0%)
200～499世帯	2,807 (92.2%)	36 (1.2%)	0 (0.0%)	195 (6.4%)	7 (0.2%)	3,045 (100.0%)
500世帯～	688 (87.2%)	7 (0.9%)	0 (0.0%)	94 (11.9%)	0 (0.0%)	789 (100.0%)
無回答	464 (83.0%)	22 (3.9%)	0 (0.0%)	69 (12.3%)	4 (0.7%)	559 (100.0%)
合計	59,318 (93.8%)	1,584 (2.5%)	23 (0.0%)	2,112 (3.3%)	200 (0.3%)	63,237 (100.0%)

- 高齢者割合別で見ると、生産補完機能について他集落と合同で維持されている集落の割合は高齢者割合が高い集落ほど高く、高齢者割合が100%（集落住民全員が65歳以上）の集落では10.8%と1割を超えている。

図表2-168 65歳以上人口割合別・生産補完機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生産補完機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
50%未満	39,557 (94.3%)	796 (1.9%)	1 (0.0%)	1,467 (3.5%)	119 (0.3%)	41,940 (100.0%)
50%以上 75%未満	16,251 (94.4%)	560 (3.3%)	2 (0.0%)	353 (2.0%)	58 (0.3%)	17,224 (100.0%)
75%以上 100%未満	2,003 (91.4%)	103 (4.7%)	3 (0.1%)	73 (3.3%)	10 (0.5%)	2,192 (100.0%)
100%	687 (71.9%)	103 (10.8%)	17 (1.8%)	142 (14.9%)	7 (0.7%)	956 (100.0%)
無回答	820 (88.6%)	22 (2.4%)	0 (0.0%)	77 (8.3%)	6 (0.6%)	925 (100.0%)
合計	59,318 (93.8%)	1,584 (2.5%)	23 (0.0%)	2,112 (3.3%)	200 (0.3%)	63,237 (100.0%)

- 転入者の有無別で見ると、転入者がいないとされる集落では、生産補完機能について他集落と合同で維持されている集落の割合が7.9%とやや高くなっている。

図表2-169 転入者の有無別・生産補完機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生産補完機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
転入者がいる	23,515 (92.3%)	552 (2.2%)	0 (0.0%)	1,265 (5.0%)	149 (0.6%)	25,481 (100.0%)
転入者がいない	4,730 (87.9%)	426 (7.9%)	7 (0.1%)	206 (3.8%)	15 (0.3%)	5,384 (100.0%)
分からない	29,396 (95.9%)	577 (1.9%)	11 (0.0%)	633 (2.1%)	27 (0.1%)	30,644 (100.0%)
無回答	1,677 (97.0%)	29 (1.7%)	5 (0.3%)	8 (0.5%)	9 (0.5%)	1,728 (100.0%)
合計	59,318 (93.8%)	1,584 (2.5%)	23 (0.0%)	2,112 (3.3%)	200 (0.3%)	63,237 (100.0%)

### ③生活扶助機能の維持状況

#### 【全体】

- 生活扶助機能の維持状況をみると、全体では集落住民により維持されている集落が94.5%を占める。
- 地域指定別でみると、離島地域においては、生活扶助機能についてボランティア等により維持されている集落の割合が5.4%とやや高い。

図表2-170 生活扶助機能の維持状況別 集落数【全体】

全体	生活扶助機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
合計	72,529 (94.5%)	1,675 (2.2%)	188 (0.2%)	1,741 (2.3%)	577 (0.8%)	76,710 (100.0%)
参考: 前回調査	71,491 (94.5%)	1,527 (2.0%)	160 (0.2%)	1,726 (2.3%)	758 (1.0%)	75,662 (100.0%)

図表2-171 地域指定別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【全体】

全体	生活扶助機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
過疎地域	60,064 (95.0%)	1,614 (2.6%)	180 (0.3%)	1,311 (2.1%)	68 (0.1%)	63,237 (100.0%)
振興山村	25,533 (94.6%)	821 (3.0%)	39 (0.1%)	395 (1.5%)	206 (0.8%)	26,994 (100.0%)
離島	2,131 (91.2%)	58 (2.5%)	126 (5.4%)	21 (0.9%)	1 (0.0%)	2,337 (100.0%)
半島	13,758 (94.3%)	251 (1.7%)	27 (0.2%)	369 (2.5%)	179 (1.2%)	14,584 (100.0%)
特別豪雪地帯	11,054 (91.3%)	334 (2.8%)	16 (0.1%)	473 (3.9%)	225 (1.9%)	12,102 (100.0%)

#### 【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落における生活扶助機能の維持状況をみると、全体では集落住民により維持されている集落が95.0%を占める。
- 地方ブロック別にみると、北海道では他集落と合同で維持されている集落の割合がやや高くなっている。

図表2-172 地方ブロック別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活扶助機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
1 北海道	3,365 (89.8%)	246 (6.6%)	13 (0.3%)	121 (3.2%)	1 (0.0%)	3,746 (100.0%)
2 東北圏	13,428 (95.5%)	154 (1.1%)	0 (0.0%)	476 (3.4%)	9 (0.1%)	14,067 (100.0%)
3 首都圏	2,024 (98.3%)	8 (0.4%)	0 (0.0%)	28 (1.4%)	0 (0.0%)	2,060 (100.0%)
4 北陸圏	2,046 (98.8%)	3 (0.1%)	16 (0.8%)	5 (0.2%)	0 (0.0%)	2,070 (100.0%)
5 中部圏	3,369 (93.9%)	155 (4.3%)	3 (0.1%)	45 (1.3%)	17 (0.5%)	3,589 (100.0%)
6 近畿圏	3,448 (96.1%)	61 (1.7%)	1 (0.0%)	78 (2.2%)	1 (0.0%)	3,589 (100.0%)
7 中国圏	11,802 (95.4%)	338 (2.7%)	13 (0.1%)	207 (1.7%)	8 (0.1%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	6,689 (96.0%)	191 (2.7%)	2 (0.0%)	69 (1.0%)	19 (0.3%)	6,970 (100.0%)
9 九州圏	13,627 (93.9%)	454 (3.1%)	132 (0.9%)	282 (1.9%)	13 (0.1%)	14,508 (100.0%)
10 沖縄県	266 (98.5%)	4 (1.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	270 (100.0%)
合計	60,064 (95.0%)	1,614 (2.6%)	180 (0.3%)	1,311 (2.1%)	68 (0.1%)	63,237 (100.0%)

- 集落類型別でみると、生活扶助機能の維持状況については、基礎集落、基幹集落、中心集落ともに大きな差はみられない。

図表2-173 集落類型別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活扶助機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
基礎集落	49,363 (94.8%)	1,331 (2.6%)	155 (0.3%)	1,146 (2.2%)	50 (0.1%)	52,045 (100.0%)
基幹集落	6,291 (96.3%)	136 (2.1%)	18 (0.3%)	83 (1.3%)	6 (0.1%)	6,534 (100.0%)
中心集落	3,813 (95.7%)	82 (2.1%)	7 (0.2%)	80 (2.0%)	4 (0.1%)	3,986 (100.0%)
無回答	597 (88.8%)	65 (9.7%)	0 (0.0%)	2 (0.3%)	8 (1.2%)	672 (100.0%)
合計	60,064 (95.0%)	1,614 (2.6%)	180 (0.3%)	1,311 (2.1%)	68 (0.1%)	63,237 (100.0%)

- 地域区分別でみても大きな差はみられないが、都市的地域にある集落では生活扶助機能が集落住民により維持されている集落の割合は90.4%と他の地域区分より低くなっている。

図表2-174 地域区分別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活扶助機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
山間地	18,787 (94.3%)	748 (3.8%)	83 (0.4%)	288 (1.4%)	26 (0.1%)	19,932 (100.0%)
中間地	17,902 (95.5%)	427 (2.3%)	76 (0.4%)	317 (1.7%)	17 (0.1%)	18,739 (100.0%)
平地	18,930 (96.2%)	227 (1.2%)	18 (0.1%)	489 (2.5%)	14 (0.1%)	19,678 (100.0%)
都市的地域	3,999 (90.4%)	208 (4.7%)	3 (0.1%)	213 (4.8%)	1 (0.0%)	4,424 (100.0%)
無回答	446 (96.1%)	4 (0.9%)	0 (0.0%)	4 (0.9%)	10 (2.2%)	464 (100.0%)
合計	60,064 (95.0%)	1,614 (2.6%)	180 (0.3%)	1,311 (2.1%)	68 (0.1%)	63,237 (100.0%)

- 集落の人口規模別で見ると、10人未満の小規模集落では、生活扶助機能について他集落と合同で維持されている集落の割合が11.5%と高くなっている。

図表2-175 集落の人口規模別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活扶助機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
～9人	2,204 (82.3%)	308 (11.5%)	12 (0.4%)	148 (5.5%)	6 (0.2%)	2,678 (100.0%)
10～24人	6,436 (93.1%)	314 (4.5%)	13 (0.2%)	137 (2.0%)	14 (0.2%)	6,914 (100.0%)
25～49人	11,049 (95.3%)	316 (2.7%)	29 (0.3%)	191 (1.6%)	9 (0.1%)	11,594 (100.0%)
50～99人	14,784 (95.8%)	316 (2.0%)	51 (0.3%)	267 (1.7%)	10 (0.1%)	15,428 (100.0%)
100～199人	13,116 (96.4%)	208 (1.5%)	38 (0.3%)	233 (1.7%)	14 (0.1%)	13,609 (100.0%)
200～499人	8,963 (96.5%)	95 (1.0%)	26 (0.3%)	202 (2.2%)	6 (0.1%)	9,292 (100.0%)
500～999人	2,136 (95.7%)	14 (0.6%)	8 (0.4%)	71 (3.2%)	4 (0.2%)	2,233 (100.0%)
1000人～	851 (93.4%)	4 (0.4%)	3 (0.3%)	53 (5.8%)	0 (0.0%)	911 (100.0%)
無回答	525 (90.8%)	39 (6.7%)	0 (0.0%)	9 (1.6%)	5 (0.9%)	578 (100.0%)
合計	60,064 (95.0%)	1,614 (2.6%)	180 (0.3%)	1,311 (2.1%)	68 (0.1%)	63,237 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別で見ると、人口規模と同様、世帯数が10世帯未満の小規模集落において、生活扶助機能が他集落と合同で維持されている集落の割合が7.4%とやや高くなっている。

図表2-176 集落の世帯数規模別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活扶助機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
～9世帯	6,440 (89.0%)	533 (7.4%)	18 (0.2%)	231 (3.2%)	14 (0.2%)	7,236 (100.0%)
10～19世帯	11,307 (95.4%)	337 (2.8%)	25 (0.2%)	170 (1.4%)	13 (0.1%)	11,852 (100.0%)
20～29世帯	8,986 (96.2%)	188 (2.0%)	19 (0.2%)	142 (1.5%)	5 (0.1%)	9,340 (100.0%)
30～49世帯	11,239 (96.0%)	232 (2.0%)	40 (0.3%)	187 (1.6%)	8 (0.1%)	11,706 (100.0%)
50～99世帯	11,734 (95.7%)	197 (1.6%)	43 (0.4%)	271 (2.2%)	14 (0.1%)	12,259 (100.0%)
100～199世帯	6,220 (96.4%)	57 (0.9%)	20 (0.3%)	149 (2.3%)	5 (0.1%)	6,451 (100.0%)
200～499世帯	2,909 (95.5%)	26 (0.9%)	13 (0.4%)	92 (3.0%)	5 (0.2%)	3,045 (100.0%)
500世帯～	732 (92.8%)	5 (0.6%)	2 (0.3%)	50 (6.3%)	0 (0.0%)	789 (100.0%)
無回答	497 (88.9%)	39 (7.0%)	0 (0.0%)	19 (3.4%)	4 (0.7%)	559 (100.0%)
合計	60,064 (95.0%)	1,614 (2.6%)	180 (0.3%)	1,311 (2.1%)	68 (0.1%)	63,237 (100.0%)

- 高齢者割合別でみると、高齢者割合が100%（集落住民全員が65歳以上）の集落では、生活扶助機能について集落住民により維持されている集落の割合は71.9%と低くなっており、一方、他集落と合同で維持されている割合が10.8%と高くなっている。

図表2-177 65歳以上人口割合別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活扶助機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
50%未満	39,557 (94.3%)	796 (1.9%)	1 (0.0%)	1,467 (3.5%)	119 (0.3%)	41,940 (100.0%)
50%以上 75%未満	16,251 (94.4%)	560 (3.3%)	2 (0.0%)	353 (2.0%)	58 (0.3%)	17,224 (100.0%)
75%以上 100%未満	2,003 (91.4%)	103 (4.7%)	3 (0.1%)	73 (3.3%)	10 (0.5%)	2,192 (100.0%)
100%	687 (71.9%)	103 (10.8%)	17 (1.8%)	142 (14.9%)	7 (0.7%)	956 (100.0%)
無回答	820 (88.6%)	22 (2.4%)	0 (0.0%)	77 (8.3%)	6 (0.6%)	925 (100.0%)
合計	59,318 (93.8%)	1,584 (2.5%)	23 (0.0%)	2,112 (3.3%)	200 (0.3%)	63,237 (100.0%)

- 転入者の有無別でみると、転入者がいないとされる集落では生活扶助機能について他集落と合同で維持されている集落の割合が8.9%とやや高くなっている。
- また、ボランティア等により維持されている集落の大半は、転入者がいるとされる集落である。

図表2-178 転入者の有無別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活扶助機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
転入者がいる	23,897 (93.8%)	676 (2.7%)	136 (0.5%)	743 (2.9%)	29 (0.1%)	25,481 (100.0%)
転入者がいない	4,706 (87.4%)	480 (8.9%)	20 (0.4%)	175 (3.3%)	3 (0.1%)	5,384 (100.0%)
分からない	29,785 (97.2%)	427 (1.4%)	20 (0.1%)	385 (1.3%)	27 (0.1%)	30,644 (100.0%)
無回答	1,676 (97.0%)	31 (1.8%)	4 (0.2%)	8 (0.5%)	9 (0.5%)	1,728 (100.0%)
合計	60,064 (95.0%)	1,614 (2.6%)	180 (0.3%)	1,311 (2.1%)	68 (0.1%)	63,237 (100.0%)

#### ④集落機能の維持状況

##### 【全体】

- 集落機能全体の維持状況をみると、全体では 78.3%の集落で良好に維持されているが、20.8%の集落では集落機能が低下もしくは維持が困難となっている。
- 地域指定別でみると、半島地域や特別豪雪地帯では集落機能が良好に維持されている集落の割合が8割超と高いが、振興山村では、集落機能が低下もしくは維持が困難な集落の割合が比較的高い。

図表2-179 集落機能の維持状況別 集落数 【全体】

全体	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
合計	60,077 (78.3%)	13,132 (17.1%)	2,861 (3.7%)	640 (0.8%)	76,710 (100.0%)
参考: 前回調査	60,643 (80.1%)	10,318 (13.6%)	3,015 (4.0%)	1,686 (2.2%)	75,662 (100.0%)

図表2-180 地域指定別・集落機能の維持状況別 集落数 【全体】

全体	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
過疎地域	49,603 (78.4%)	10,893 (17.2%)	2,618 (4.1%)	123 (0.2%)	63,237 (100.0%)
振興山村	18,119 (67.1%)	6,781 (25.1%)	1,846 (6.8%)	248 (0.9%)	26,994 (100.0%)
離島	1,780 (76.2%)	448 (19.2%)	83 (3.6%)	26 (1.1%)	2,337 (100.0%)
半島	11,814 (81.0%)	2,173 (14.9%)	405 (2.8%)	192 (1.3%)	14,584 (100.0%)
特別豪雪地帯	9,784 (80.8%)	1,745 (14.4%)	343 (2.8%)	230 (1.9%)	12,102 (100.0%)

##### 【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落についてみると、21.3%の集落では集落機能が低下もしくは維持が困難となっている。
- 地方ブロック別でみると、東北圏や沖縄県では機能維持が良好とされている集落の割合が高く、四国圏では「機能維持困難」という集落の割合が1割近くと高くなっている。

図表2-181 地方ブロック別・集落機能の維持状況別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
1 北海道	3,127 (83.5%)	483 (12.9%)	135 (3.6%)	1 (0.0%)	3,746 (100.0%)
2 東北圏	12,256 (87.1%)	1,584 (11.3%)	213 (1.5%)	14 (0.1%)	14,067 (100.0%)
3 首都圏	1,420 (68.9%)	579 (28.1%)	61 (3.0%)	0 (0.0%)	2,060 (100.0%)
4 北陸圏	1,750 (84.5%)	229 (11.1%)	90 (4.3%)	1 (0.0%)	2,070 (100.0%)
5 中部圏	2,424 (67.5%)	941 (26.2%)	200 (5.6%)	24 (0.7%)	3,589 (100.0%)
6 近畿圏	2,698 (75.2%)	602 (16.8%)	263 (7.3%)	26 (0.7%)	3,589 (100.0%)
7 中国圏	9,153 (74.0%)	2,710 (21.9%)	479 (3.9%)	26 (0.2%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	4,932 (70.8%)	1,336 (19.2%)	682 (9.8%)	20 (0.3%)	6,970 (100.0%)
9 九州圏	11,616 (80.1%)	2,389 (16.5%)	492 (3.4%)	11 (0.1%)	14,508 (100.0%)
10 沖縄県	227 (84.1%)	40 (14.8%)	3 (1.1%)	0 (0.0%)	270 (100.0%)
合計	49,603 (78.4%)	10,893 (17.2%)	2,618 (4.1%)	123 (0.2%)	63,237 (100.0%)

- 集落類型別でみると、中心集落や基幹集落では集落機能が良好に維持されている集落の割合が9割近くを占めているのに対して、基礎集落では集落機能が低下している集落及び機能維持が困難になっている集落を合わせると2割を超えている。

図表2-182 集落類型別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
基礎集落	39,896 (76.7%)	9,530 (18.3%)	2,522 (4.8%)	97 (0.2%)	52,045 (100.0%)
基幹集落	5,687 (87.0%)	765 (11.7%)	68 (1.0%)	14 (0.2%)	6,534 (100.0%)
中心集落	3,584 (89.9%)	389 (9.8%)	8 (0.2%)	5 (0.1%)	3,986 (100.0%)
無回答	436 (64.9%)	209 (31.1%)	20 (3.0%)	7 (1.0%)	672 (100.0%)
合計	49,603 (78.4%)	10,893 (17.2%)	2,618 (4.1%)	123 (0.2%)	63,237 (100.0%)

- 地域区分別でみると、平地集落や都市的地域にある集落の約9割は集落機能が良好に維持されているのに対して、山間地集落では27.7%が機能低下、9.9%が機能維持困難となっている。

図表2-183 地域区分別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
山間地	12,383 (62.1%)	5,528 (27.7%)	1,979 (9.9%)	42 (0.2%)	19,932 (100.0%)
中間地	15,068 (80.4%)	3,165 (16.9%)	488 (2.6%)	18 (0.1%)	18,739 (100.0%)
平地	17,683 (89.9%)	1,809 (9.2%)	135 (0.7%)	51 (0.3%)	19,678 (100.0%)
都市的地域	4,100 (92.7%)	316 (7.1%)	7 (0.2%)	1 (0.0%)	4,424 (100.0%)
無回答	369 (79.5%)	75 (16.2%)	9 (1.9%)	11 (2.4%)	464 (100.0%)
合計	49,603 (78.4%)	10,893 (17.2%)	2,618 (4.1%)	123 (0.2%)	63,237 (100.0%)

- 集落の人口規模別で見ると、人口規模が小さくなるほど、集落機能の維持状況が良好な集落の割合が低くなる傾向がみられ、10人未満の小規模集落では、41.3%の集落が集落機能の維持が困難な状態になっている。

図表2-184 集落の人口規模別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
～9人	660 (24.6%)	901 (33.6%)	1,107 (41.3%)	10 (0.4%)	2,678 (100.0%)
10～24人	3,479 (50.3%)	2,577 (37.3%)	845 (12.2%)	13 (0.2%)	6,914 (100.0%)
25～49人	8,467 (73.0%)	2,683 (23.1%)	427 (3.7%)	17 (0.1%)	11,594 (100.0%)
50～99人	13,132 (85.1%)	2,129 (13.8%)	143 (0.9%)	24 (0.2%)	15,428 (100.0%)
100～199人	12,175 (89.5%)	1,365 (10.0%)	49 (0.4%)	20 (0.1%)	13,609 (100.0%)
200～499人	8,467 (91.1%)	786 (8.5%)	14 (0.2%)	25 (0.3%)	9,292 (100.0%)
500～999人	2,026 (90.7%)	198 (8.9%)	3 (0.1%)	6 (0.3%)	2,233 (100.0%)
1000人～	830 (91.1%)	80 (8.8%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	911 (100.0%)
無回答	367 (63.5%)	174 (30.1%)	30 (5.2%)	7 (1.2%)	578 (100.0%)
合計	49,603 (78.4%)	10,893 (17.2%)	2,618 (4.1%)	123 (0.2%)	63,237 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別で見ると、集落機能が低下、あるいは機能維持が困難となっている集落の割合は、世帯数が10世帯未満の集落において特に高くなっている。

図表2-185 集落の世帯数規模別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
～9世帯	2,957 (40.9%)	2,600 (35.9%)	1,664 (23.0%)	15 (0.2%)	7,236 (100.0%)
10～19世帯	8,186 (69.1%)	3,064 (25.9%)	587 (5.0%)	15 (0.1%)	11,852 (100.0%)
20～29世帯	7,626 (81.6%)	1,533 (16.4%)	172 (1.8%)	9 (0.1%)	9,340 (100.0%)
30～49世帯	10,172 (86.9%)	1,418 (12.1%)	99 (0.8%)	17 (0.1%)	11,706 (100.0%)
50～99世帯	10,945 (89.3%)	1,237 (10.1%)	46 (0.4%)	31 (0.3%)	12,259 (100.0%)
100～199世帯	5,844 (90.6%)	572 (8.9%)	16 (0.2%)	19 (0.3%)	6,451 (100.0%)
200～499世帯	2,745 (90.1%)	286 (9.4%)	4 (0.1%)	10 (0.3%)	3,045 (100.0%)
500世帯～	721 (91.4%)	66 (8.4%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	789 (100.0%)
無回答	407 (72.8%)	117 (20.9%)	29 (5.2%)	6 (1.1%)	559 (100.0%)
合計	49,603 (78.4%)	10,893 (17.2%)	2,618 (4.1%)	123 (0.2%)	63,237 (100.0%)

- 高齢者割合別でみると、高齢者割合が高くなるほど、集落機能が良好に維持されている集落の割合が低くなる傾向にあり、高齢者割合が100%（集落住民全員が65歳以上）の集落では、5割近くの集落で集落機能の維持が困難となっている。

図表2-186 65歳以上人口割合別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
50%未満	36,392 (86.8%)	4,892 (11.7%)	595 (1.4%)	61 (0.1%)	41,940 (100.0%)
50%以上	11,490 (66.7%)	4,683 (27.2%)	1,038 (6.0%)	13 (0.1%)	17,224 (100.0%)
75%未満	819 (37.4%)	881 (40.2%)	484 (22.1%)	8 (0.4%)	2,192 (100.0%)
75%以上	260 (27.2%)	229 (24.0%)	450 (47.1%)	17 (1.8%)	956 (100.0%)
100%	642 (69.4%)	208 (22.5%)	51 (5.5%)	24 (2.6%)	925 (100.0%)
無回答	49,603 (78.4%)	10,893 (17.2%)	2,618 (4.1%)	123 (0.2%)	63,237 (100.0%)
合計					

- 転入者の有無別でみると、転入者がいるとされる集落の方が、転入者がいない集落よりも、集落機能が良好に維持されている。

図表2-187 転入者の有無別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
転入者がいる	21,368 (83.9%)	3,438 (13.5%)	648 (2.5%)	27 (0.1%)	25,481 (100.0%)
転入者がいない	2,897 (53.8%)	1,552 (28.8%)	933 (17.3%)	2 (0.0%)	5,384 (100.0%)
分からない	24,222 (79.0%)	5,453 (17.8%)	882 (2.9%)	87 (0.3%)	30,644 (100.0%)
無回答	1,116 (64.6%)	450 (26.0%)	155 (9.0%)	7 (0.4%)	1,728 (100.0%)
合計	49,603 (78.4%)	10,893 (17.2%)	2,618 (4.1%)	123 (0.2%)	63,237 (100.0%)

⑤集落機能の維持が困難になっている集落の特性

【全体】

- 集落機能の維持が困難な集落は、10人未満、10世帯未満の小規模集落が多くを占めており、役場(本庁)から遠距離にあり、山間地の基礎集落において多くみられる。

図表2-188 集落機能の維持状況別にみた集落特性【全体】

全体		集落機能の維持状況				
		良好	機能低下	機能維持困難	無回答	計
集落類型	基礎集落	47,543 (79.1%)	11,358 (86.5%)	2,755 (96.3%)	444 (69.4%)	62,100 (81.0%)
	基幹集落	6,854 (11.4%)	993 (7.6%)	72 (2.5%)	48 (7.5%)	7,967 (10.4%)
	中心集落	4,583 (7.6%)	554 (4.2%)	11 (0.4%)	17 (2.7%)	5,165 (6.7%)
地域区分	山間地	14,201 (23.6%)	6,318 (48.1%)	2,171 (75.9%)	53 (8.3%)	22,743 (29.6%)
	中間地	17,457 (29.1%)	3,945 (30.0%)	525 (18.4%)	208 (32.5%)	22,135 (28.9%)
	平地	21,050 (35.0%)	2,254 (17.2%)	148 (5.2%)	74 (11.6%)	23,526 (30.7%)
	都市的地域	6,261 (10.4%)	520 (4.0%)	7 (0.2%)	167 (26.1%)	6,955 (9.1%)
人口規模	～9	764 (1.3%)	990 (7.5%)	1,224 (42.8%)	13 (2.0%)	2,991 (3.9%)
	10～24	3,826 (6.4%)	2,793 (21.3%)	900 (31.5%)	24 (3.8%)	7,543 (9.8%)
	25～49	9,299 (15.5%)	2,996 (22.8%)	457 (16.0%)	34 (5.3%)	12,786 (16.7%)
	50～99	14,823 (24.7%)	2,579 (19.6%)	159 (5.6%)	63 (9.8%)	17,624 (23.0%)
	100～199	14,598 (24.3%)	1,795 (13.7%)	61 (2.1%)	72 (11.3%)	16,526 (21.5%)
	200～499	11,278 (18.8%)	1,153 (8.8%)	20 (0.7%)	98 (15.3%)	12,549 (16.4%)
	500～999	3,318 (5.5%)	324 (2.5%)	3 (0.1%)	45 (7.0%)	3,690 (4.8%)
	1000～	1,620 (2.7%)	166 (1.3%)	0 (0.0%)	112 (17.5%)	1,898 (2.5%)
世帯数規模	～9	3,317 (5.5%)	2,812 (21.4%)	1,819 (63.6%)	46 (7.2%)	7,994 (10.4%)
	10～19	9,034 (15.0%)	3,371 (25.7%)	624 (21.8%)	78 (12.2%)	13,107 (17.1%)
	20～29	8,551 (14.2%)	1,813 (13.8%)	181 (6.3%)	69 (10.8%)	10,614 (13.8%)
	30～49	11,708 (19.5%)	1,760 (13.4%)	118 (4.1%)	90 (14.1%)	13,676 (17.8%)
	50～99	13,277 (22.1%)	1,672 (12.7%)	57 (2.0%)	99 (15.5%)	15,105 (19.7%)
	100～199	7,843 (13.1%)	848 (6.5%)	20 (0.7%)	69 (10.8%)	8,780 (11.4%)
	200～499	4,373 (7.3%)	437 (3.3%)	5 (0.2%)	65 (10.2%)	4,880 (6.4%)
	500～	1,311 (2.2%)	143 (1.1%)	1 (0.0%)	107 (16.7%)	1,562 (2.0%)
65歳以上割合	100%	297 (0.5%)	259 (2.0%)	498 (17.4%)	18 (2.8%)	1,072 (1.4%)
	75%以上100%未満	888 (1.5%)	987 (7.5%)	520 (18.2%)	9 (1.4%)	2,404 (3.1%)
	50%以上75%未満	12,567 (20.9%)	5,215 (39.7%)	1,137 (39.7%)	42 (6.6%)	18,961 (24.7%)
	25%以上50%未満	40,813 (67.9%)	5,801 (44.2%)	517 (18.1%)	231 (36.1%)	47,362 (61.7%)
	25%未満	4,320 (7.2%)	460 (3.5%)	124 (4.3%)	50 (7.8%)	4,954 (6.5%)
75歳以上	100%	75 (0.1%)	75 (0.6%)	235 (8.2%)	4 (0.6%)	389 (0.5%)
	50%以上100%未満	1,335 (2.2%)	1,438 (11.0%)	865 (30.2%)	25 (3.9%)	3,663 (4.8%)
	50%未満	57,475 (95.7%)	11,209 (85.4%)	1,696 (59.3%)	321 (50.2%)	70,701 (92.2%)
本庁までの距離	5 <sup>キロ</sup> 未満	21,239 (35.4%)	2,727 (20.8%)	217 (7.6%)	115 (18.0%)	24,298 (31.7%)
	5 <sup>キロ</sup> 以上10 <sup>キロ</sup> 未満	14,528 (24.2%)	2,471 (18.8%)	466 (16.3%)	95 (14.8%)	17,560 (22.9%)
	10 <sup>キロ</sup> 以上20 <sup>キロ</sup> 未満	14,683 (24.4%)	4,117 (31.4%)	985 (34.4%)	57 (8.9%)	19,842 (25.9%)
	20 <sup>キロ</sup> 以上	8,873 (14.8%)	3,753 (28.6%)	1,182 (41.3%)	64 (10.0%)	13,872 (18.1%)
地形	地形的末端である	2,428 (4.0%)	1,418 (10.8%)	792 (27.7%)	37 (5.8%)	4,675 (6.1%)
	地形的末端でない	57,649 (96.0%)	11,714 (89.2%)	2,069 (72.3%)	603 (94.2%)	72,035 (93.9%)
全体(割合の基数)		60,077 (100.0%)	13,132 (100.0%)	2,861 (100.0%)	640 (100.0%)	76,710 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域において集落機能の維持が困難になっている集落をみると、10 人未満、10 世帯未満の小規模集落が多くを占めているほか、4割超が役場(本庁)から 20 km以上の遠距離にあり、山間地の基礎集落において多くみられる。

図表2-189 集落機能の維持状況別にみた集落特性【過疎地域のみ】

過疎地域		集落機能の維持状況				
		良好	機能低下	機能維持困難	無回答	計
集落類型	基礎集落	39,896 (80.4%)	9,530 (87.5%)	2,522 (96.3%)	97 (78.9%)	52,045 (82.3%)
	基幹集落	5,687 (11.5%)	765 (7.0%)	68 (2.6%)	14 (11.4%)	6,534 (10.3%)
	中心集落	3,584 (7.2%)	389 (3.6%)	8 (0.3%)	5 (4.1%)	3,986 (6.3%)
地域区分	山間地	12,383 (25.0%)	5,528 (50.7%)	1,979 (75.6%)	42 (34.1%)	19,932 (31.5%)
	中間地	15,068 (30.4%)	3,165 (29.1%)	488 (18.6%)	18 (14.6%)	18,739 (29.6%)
	平地	17,683 (35.6%)	1,809 (16.6%)	135 (5.2%)	51 (41.5%)	19,678 (31.1%)
	都市的地域	4,100 (8.3%)	316 (2.9%)	7 (0.3%)	1 (0.8%)	4,424 (7.0%)
人口規模	～9	660 (1.3%)	901 (8.3%)	1,107 (42.3%)	10 (8.1%)	2,678 (4.2%)
	10～24	3,479 (7.0%)	2,577 (23.7%)	845 (32.3%)	13 (10.6%)	6,914 (10.9%)
	25～49	8,467 (17.1%)	2,683 (24.6%)	427 (16.3%)	17 (13.8%)	11,594 (18.3%)
	50～99	13,132 (26.5%)	2,129 (19.5%)	143 (5.5%)	24 (19.5%)	15,428 (24.4%)
	100～199	12,175 (24.5%)	1,365 (12.5%)	49 (1.9%)	20 (16.3%)	13,609 (21.5%)
	200～499	8,467 (17.1%)	786 (7.2%)	14 (0.5%)	25 (20.3%)	9,292 (14.7%)
	500～999	2,026 (4.1%)	198 (1.8%)	3 (0.1%)	6 (4.9%)	2,233 (3.5%)
	1000～	830 (1.7%)	80 (0.7%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	911 (1.4%)
世帯数規模	～9	2,957 (6.0%)	2,600 (23.9%)	1,664 (63.6%)	15 (12.2%)	7,236 (11.4%)
	10～19	8,186 (16.5%)	3,064 (28.1%)	587 (22.4%)	15 (12.2%)	11,852 (18.7%)
	20～29	7,626 (15.4%)	1,533 (14.1%)	172 (6.6%)	9 (7.3%)	9,340 (14.8%)
	30～49	10,172 (20.5%)	1,418 (13.0%)	99 (3.8%)	17 (13.8%)	11,706 (18.5%)
	50～99	10,945 (22.1%)	1,237 (11.4%)	46 (1.8%)	31 (25.2%)	12,259 (19.4%)
	100～199	5,844 (11.8%)	572 (5.3%)	16 (0.6%)	19 (15.4%)	6,451 (10.2%)
	200～499	2,745 (5.5%)	286 (2.6%)	4 (0.2%)	10 (8.1%)	3,045 (4.8%)
	500～	721 (1.5%)	66 (0.6%)	1 (0.0%)	1 (0.8%)	789 (1.2%)
65歳以上割合	100%	260 (0.5%)	229 (2.1%)	450 (17.2%)	17 (13.8%)	956 (1.5%)
	75%以上100%未満	819 (1.7%)	881 (8.1%)	484 (18.5%)	8 (6.5%)	2,192 (3.5%)
	50%以上75%未満	11,490 (23.2%)	4,683 (43.0%)	1,038 (39.6%)	13 (10.6%)	17,224 (27.2%)
	25%以上50%未満	33,268 (67.1%)	4,550 (41.8%)	480 (18.3%)	47 (38.2%)	38,345 (60.6%)
	25%未満	3,124 (6.3%)	342 (3.1%)	115 (4.4%)	14 (11.4%)	3,595 (5.7%)
75歳以上	100%	61 (0.1%)	63 (0.6%)	212 (8.1%)	3 (2.4%)	339 (0.5%)
	50%以上100%未満	1,233 (2.5%)	1,286 (11.8%)	796 (30.4%)	22 (17.9%)	3,337 (5.3%)
	50%未満	47,667 (96.1%)	9,336 (85.7%)	1,559 (59.5%)	74 (60.2%)	58,636 (92.7%)
本庁までの距離	5 <sup>キロ</sup> 未満	17,009 (34.3%)	2,020 (18.5%)	204 (7.8%)	40 (32.5%)	19,273 (30.5%)
	5 <sup>キロ</sup> 以上10 <sup>キロ</sup> 未満	11,780 (23.7%)	1,931 (17.7%)	412 (15.7%)	10 (8.1%)	14,133 (22.3%)
	10 <sup>キロ</sup> 以上20 <sup>キロ</sup> 未満	12,260 (24.7%)	3,451 (31.7%)	878 (33.5%)	21 (17.1%)	16,610 (26.3%)
	20 <sup>キロ</sup> 以上	8,108 (16.3%)	3,440 (31.6%)	1,118 (42.7%)	40 (32.5%)	12,706 (20.1%)
地形	地形的末端である	2,027 (4.1%)	1,162 (10.7%)	707 (27.0%)	4 (3.3%)	3,900 (6.2%)
	地形的末端でない	47,576 (95.9%)	9,731 (89.3%)	1,911 (73.0%)	119 (96.7%)	59,337 (93.8%)
全体(割合の基数)		49,603 (100.0%)	10,893 (100.0%)	2,618 (100.0%)	123 (100.0%)	63,237 (100.0%)

## ⑥地域運営組織の設置状況

### 【全体】

- 地域運営組織の設置状況をみると、全体では約2割の集落に地域運営組織があるとされている。

図表2-190 地域運営組織の有無別 集落数 【全体】

全体	地域運営組織の有無別 集落数		
	地域運営組織がある	地域運営組織はない	計
合計	15,273 (19.9%)	61,437 (80.1%)	76,710 (100.0%)

図表2-191 地域指定別・地域運営組織の有無別 集落数 【全体】

全体	地域運営組織の有無別 集落数		
	地域運営組織がある	地域運営組織はない	計
過疎地域	12,689 (20.1%)	50,548 (79.9%)	63,237 (100.0%)
振興山村	6,186 (22.9%)	20,808 (77.1%)	26,994 (100.0%)
離島	500 (21.4%)	1,837 (78.6%)	2,337 (100.0%)
半島	2,942 (20.2%)	11,642 (79.8%)	14,584 (100.0%)
特別豪雪地帯	1,577 (13.0%)	10,525 (87.0%)	12,102 (100.0%)

### 【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落における地域運営組織の設置状況をみると、全体では 20.1%の集落に地域運営組織があるとされている。
- 地方ブロック別でみると、地域運営組織がある集落の割合は中国圏で 34.2%と最も高く、近畿圏や九州圏でも2割を超えているが、北海道や首都圏、沖縄県では1割に満たないなど、地域差がみられる。

図表2-192 地方ブロック別・地域運営組織の有無別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	地域運営組織の有無別 集落数		
	地域運営組織がある	地域運営組織はない	計
1 北海道	309 (8.2%)	3,437 (91.8%)	3,746 (100.0%)
2 東北圏	2,373 (16.9%)	11,694 (83.1%)	14,067 (100.0%)
3 首都圏	72 (3.5%)	1,988 (96.5%)	2,060 (100.0%)
4 北陸圏	322 (15.6%)	1,748 (84.4%)	2,070 (100.0%)
5 中部圏	706 (19.7%)	2,883 (80.3%)	3,589 (100.0%)
6 近畿圏	823 (22.9%)	2,766 (77.1%)	3,589 (100.0%)
7 中国圏	4,224 (34.2%)	8,144 (65.8%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	915 (13.1%)	6,055 (86.9%)	6,970 (100.0%)
9 九州圏	2,937 (20.2%)	11,571 (79.8%)	14,508 (100.0%)
10 沖縄県	8 (3.0%)	262 (97.0%)	270 (100.0%)
合計	12,689 (20.1%)	50,548 (79.9%)	63,237 (100.0%)

- 集落類型別でみると、地域運営組織がある集落の割合は基幹集落で21.4%と最も高くなっている。

図表2-193 集落類型別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	地域運営組織の有無別 集落数		計
	地域運営組織がある	地域運営組織はない	
基礎集落	10,319 (19.8%)	41,726 (80.2%)	52,045 (100.0%)
基幹集落	1,398 (21.4%)	5,136 (78.6%)	6,534 (100.0%)
中心集落	658 (16.5%)	3,328 (83.5%)	3,986 (100.0%)
無回答	314 (46.7%)	358 (53.3%)	672 (100.0%)
合計	12,689 (20.1%)	50,548 (79.9%)	63,237 (100.0%)

- 地域区分別でみると、地域運営組織がある集落の割合は山間地集落で23.6%と最も高くなっている。

図表2-194 地域区分別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	地域運営組織の有無別 集落数		計
	地域運営組織がある	地域運営組織はない	
山間地	4,711 (23.6%)	15,221 (76.4%)	19,932 (100.0%)
中間地	3,917 (20.9%)	14,822 (79.1%)	18,739 (100.0%)
平地	3,048 (15.5%)	16,630 (84.5%)	19,678 (100.0%)
都市的地域	796 (18.0%)	3,628 (82.0%)	4,424 (100.0%)
無回答	217 (46.8%)	247 (53.2%)	464 (100.0%)
合計	12,689 (20.1%)	50,548 (79.9%)	63,237 (100.0%)

- 集落の人口規模別でみると、100人未満の集落では地域運営組織がある集落の割合が2割を超えている。

図表2-195 集落の人口規模別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	地域運営組織の有無別 集落数		計
	地域運営組織がある	地域運営組織はない	
～9人	632 (23.6%)	2,046 (76.4%)	2,678 (100.0%)
10～24人	1,611 (23.3%)	5,303 (76.7%)	6,914 (100.0%)
25～49人	2,436 (21.0%)	9,158 (79.0%)	11,594 (100.0%)
50～99人	3,152 (20.4%)	12,276 (79.6%)	15,428 (100.0%)
100～199人	2,556 (18.8%)	11,053 (81.2%)	13,609 (100.0%)
200～499人	1,681 (18.1%)	7,611 (81.9%)	9,292 (100.0%)
500～999人	376 (16.8%)	1,857 (83.2%)	2,233 (100.0%)
1000人～	164 (18.0%)	747 (82.0%)	911 (100.0%)
無回答	81 (14.0%)	497 (86.0%)	578 (100.0%)
合計	12,689 (20.1%)	50,548 (79.9%)	63,237 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別でみると、30 世帯未満の集落では地域運営組織がある集落の割合が2割を超えている。

図表2-196 集落の世帯数規模別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	地域運営組織の有無別 集落数		
	地域運営組織がある	地域運営組織はない	計
～9世帯	1,657 (22.9%)	5,579 (77.1%)	7,236 (100.0%)
10～19世帯	2,545 (21.5%)	9,307 (78.5%)	11,852 (100.0%)
20～29世帯	1,924 (20.6%)	7,416 (79.4%)	9,340 (100.0%)
30～49世帯	2,321 (19.8%)	9,385 (80.2%)	11,706 (100.0%)
50～99世帯	2,284 (18.6%)	9,975 (81.4%)	12,259 (100.0%)
100～199世帯	1,198 (18.6%)	5,253 (81.4%)	6,451 (100.0%)
200～499世帯	530 (17.4%)	2,515 (82.6%)	3,045 (100.0%)
500世帯～	138 (17.5%)	651 (82.5%)	789 (100.0%)
無回答	92 (16.5%)	467 (83.5%)	559 (100.0%)
合計	12,689 (20.1%)	50,548 (79.9%)	63,237 (100.0%)

- 高齢者割合別でみると、地域運営組織がある集落の割合は、高齢者割合が75%以上100%未満の集落が最も高い。

図表2-197 65歳以上人口割合別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	地域運営組織の有無別 集落数		
	地域運営組織がある	地域運営組織はない	計
50%未満	8,043 (19.2%)	33,897 (80.8%)	41,940 (100.0%)
50%以上 75%未満	3,804 (22.1%)	13,420 (77.9%)	17,224 (100.0%)
75%以上 100%未満	535 (24.4%)	1,657 (75.6%)	2,192 (100.0%)
100%	195 (20.4%)	761 (79.6%)	956 (100.0%)
無回答	112 (12.1%)	813 (87.9%)	925 (100.0%)
合計	12,689 (20.1%)	50,548 (79.9%)	63,237 (100.0%)

- 転入者の有無別では大きな差はみられず、転入者の有無に関わらず約2割の集落に地域運営組織がある。

図表2-198 転入者の有無別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	地域運営組織の有無別 集落数		計
	地域運営組織がある	地域運営組織はない	
転入者がいる	5,424 (21.3%)	20,057 (78.7%)	25,481 (100.0%)
転入者がいない	1,135 (21.1%)	4,249 (78.9%)	5,384 (100.0%)
分からない	5,538 (18.1%)	25,106 (81.9%)	30,644 (100.0%)
無回答	592 (34.3%)	1,136 (65.7%)	1,728 (100.0%)
合計	12,689 (20.1%)	50,548 (79.9%)	63,237 (100.0%)

- サポート人材の活動状況別で見ると、サポート人材が活動している集落の方が地域運営組織がある割合が高くなっている。

図表2-199 サポート人材の活動状況別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	地域運営組織の有無別 集落数		計
	地域運営組織がある	地域運営組織はない	
サポート人材あり	5,447 (24.8%)	16,550 (75.2%)	21,997 (100.0%)
集落	3,590 (27.9%)	9,261 (72.1%)	12,851 (100.0%)
支援員	2,616 (19.0%)	11,124 (81.0%)	13,740 (100.0%)
地域おこし協力隊	430 (31.0%)	958 (69.0%)	1,388 (100.0%)
サポート人材なし	7,242 (17.6%)	33,998 (82.4%)	41,240 (100.0%)
合計	12,689 (20.1%)	50,548 (79.9%)	63,237 (100.0%)

(10) 今後の集落の見通し

① 今後の集落の人口動向

【全体】

- 今後の人口動向をみると、80.0%の集落では人口が減少するとみられている。

図表2-200 今後の人口動向の見通し別 集落数【全体】

全体	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
合計	1,799 (2.3%)	12,707 (16.6%)	61,350 (80.0%)	854 (1.1%)	76,710 (100.0%)
参考: 前回調査	1,868 (2.5%)	13,029 (17.2%)	58,642 (77.5%)	2,123 (2.8%)	75,662 (100.0%)

図表2-201 地域指定別・今後の人口動向の見通し別 集落数【全体】

全体	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
過疎地域	1,191 (1.9%)	10,139 (16.0%)	51,242 (81.0%)	665 (1.1%)	63,237 (100.0%)
振興山村	243 (0.9%)	3,116 (11.5%)	23,248 (86.1%)	387 (1.4%)	26,994 (100.0%)
離島	25 (1.1%)	276 (11.8%)	2,034 (87.0%)	2 (0.1%)	2,337 (100.0%)
半島	349 (2.4%)	2,446 (16.8%)	11,608 (79.6%)	181 (1.2%)	14,584 (100.0%)
特別豪雪地帯	317 (2.6%)	2,038 (16.8%)	9,518 (78.6%)	229 (1.9%)	12,102 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落における今後の人口動向をみると、81.0%の集落では人口が減少するとみられている。
- 地方ブロック別でみると、沖縄県では人口増加が見込まれる集落が 12.2%と高くなっている一方、人口減少が見込まれる集落の割合は首都圏で 91.3%と最も高くなっている。

図表2-202 地方ブロック別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
1 北海道	30 (0.8%)	650 (17.4%)	3,065 (81.8%)	1 (0.0%)	3,746 (100.0%)
2 東北圏	208 (1.5%)	1,860 (13.2%)	11,833 (84.1%)	166 (1.2%)	14,067 (100.0%)
3 首都圏	16 (0.8%)	163 (7.9%)	1,881 (91.3%)	0 (0.0%)	2,060 (100.0%)
4 北陸圏	41 (2.0%)	125 (6.0%)	1,849 (89.3%)	55 (2.7%)	2,070 (100.0%)
5 中部圏	24 (0.7%)	280 (7.8%)	3,149 (87.7%)	136 (3.8%)	3,589 (100.0%)
6 近畿圏	54 (1.5%)	448 (12.5%)	2,954 (82.3%)	133 (3.7%)	3,589 (100.0%)
7 中国圏	474 (3.8%)	2,742 (22.2%)	9,039 (73.1%)	113 (0.9%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	84 (1.2%)	1,285 (18.4%)	5,599 (80.3%)	2 (0.0%)	6,970 (100.0%)
9 九州圏	227 (1.6%)	2,475 (17.1%)	11,747 (81.0%)	59 (0.4%)	14,508 (100.0%)
10 沖縄県	33 (12.2%)	111 (41.1%)	126 (46.7%)	0 (0.0%)	270 (100.0%)
合計	1,191 (1.9%)	10,139 (16.0%)	51,242 (81.0%)	665 (1.1%)	63,237 (100.0%)

- 集落類型別でみると、人口が減少すると予測されている集落の割合は、基幹集落で 83.1%、基礎集落で 81.3%と、中心集落より高くなっている。

図表2-203 集落類型別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
基礎集落	921 (1.8%)	8,253 (15.9%)	42,303 (81.3%)	568 (1.1%)	52,045 (100.0%)
基幹集落	148 (2.3%)	891 (13.6%)	5,432 (83.1%)	63 (1.0%)	6,534 (100.0%)
中心集落	105 (2.6%)	858 (21.5%)	2,995 (75.1%)	28 (0.7%)	3,986 (100.0%)
無回答	17 (2.5%)	137 (20.4%)	512 (76.2%)	6 (0.9%)	672 (100.0%)
合計	1,191 (1.9%)	10,139 (16.0%)	51,242 (81.0%)	665 (1.1%)	63,237 (100.0%)

- 地域区分別でみると、今後人口の減少が予測されている集落の割合が最も高いのは山間地集落であり、88.2%の集落において人口減少が見込まれている。

図表2-204 地域区分別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
山間地	184 (0.9%)	1,968 (9.9%)	17,579 (88.2%)	201 (1.0%)	19,932 (100.0%)
中間地	289 (1.5%)	2,746 (14.7%)	15,405 (82.2%)	299 (1.6%)	18,739 (100.0%)
平地	482 (2.4%)	4,113 (20.9%)	14,929 (75.9%)	154 (0.8%)	19,678 (100.0%)
都市的地域	234 (5.3%)	1,285 (29.0%)	2,904 (65.6%)	1 (0.0%)	4,424 (100.0%)
無回答	2 (0.4%)	27 (5.8%)	425 (91.6%)	10 (2.2%)	464 (100.0%)
合計	1,191 (1.9%)	10,139 (16.0%)	51,242 (81.0%)	665 (1.1%)	63,237 (100.0%)

- 地形的に末端にある集落では、今後人口が増加すると見込まれる集落はほとんどなく、9割近くは人口減少が予測されている。

図表2-205 地形的末端性別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
地形的末端 である	33 (0.8%)	346 (8.9%)	3,455 (88.6%)	66 (1.7%)	3,900 (100.0%)
地形的末端 でない	1,158 (2.0%)	9,793 (16.5%)	47,787 (80.5%)	599 (1.0%)	59,337 (100.0%)
合計	1,191 (1.9%)	10,139 (16.0%)	51,242 (81.0%)	665 (1.1%)	63,237 (100.0%)

- 集落の人口規模別で見ると、今後人口が増加又は横ばいと予測されている集落の割合は 500 人以上の比較的規模の大きい集落において高くなっている。
- これに対し、500 人未満の集落では、人口減少が予測されている集落の割合が8割超と高くなっている。

図表2-206 集落の人口規模別・今後の人口動向の見通し別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
～9人	33 (1.2%)	387 (14.5%)	2,230 (83.3%)	28 (1.0%)	2,678 (100.0%)
10～24人	94 (1.4%)	1,011 (14.6%)	5,750 (83.2%)	59 (0.9%)	6,914 (100.0%)
25～49人	173 (1.5%)	1,964 (16.9%)	9,391 (81.0%)	66 (0.6%)	11,594 (100.0%)
50～99人	212 (1.4%)	2,589 (16.8%)	12,494 (81.0%)	133 (0.9%)	15,428 (100.0%)
100～199人	206 (1.5%)	2,032 (14.9%)	11,234 (82.5%)	137 (1.0%)	13,609 (100.0%)
200～499人	270 (2.9%)	1,456 (15.7%)	7,463 (80.3%)	103 (1.1%)	9,292 (100.0%)
500～999人	132 (5.9%)	464 (20.8%)	1,613 (72.2%)	24 (1.1%)	2,233 (100.0%)
1000人～	60 (6.6%)	175 (19.2%)	672 (73.8%)	4 (0.4%)	911 (100.0%)
無回答	11 (1.9%)	61 (10.6%)	395 (68.3%)	111 (19.2%)	578 (100.0%)
合計	1,191 (1.9%)	10,139 (16.0%)	51,242 (81.0%)	665 (1.1%)	63,237 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別で見ると、人口が増加又は横ばいと見込まれている集落の割合が最も高いのは 500 世帯以上の集落であるのに対して、人口減少が予測されている集落の割合は 10 世帯未満の集落で 82.3%と最も高くなっている。

図表2-207 集落の世帯数規模別・今後の人口動向の見通し別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
～9世帯	93 (1.3%)	1,115 (15.4%)	5,956 (82.3%)	72 (1.0%)	7,236 (100.0%)
10～19世帯	185 (1.6%)	1,932 (16.3%)	9,620 (81.2%)	115 (1.0%)	11,852 (100.0%)
20～29世帯	119 (1.3%)	1,553 (16.6%)	7,567 (81.0%)	101 (1.1%)	9,340 (100.0%)
30～49世帯	152 (1.3%)	1,860 (15.9%)	9,554 (81.6%)	140 (1.2%)	11,706 (100.0%)
50～99世帯	223 (1.8%)	1,831 (14.9%)	10,083 (82.2%)	122 (1.0%)	12,259 (100.0%)
100～199世帯	192 (3.0%)	1,025 (15.9%)	5,163 (80.0%)	71 (1.1%)	6,451 (100.0%)
200～499世帯	169 (5.6%)	596 (19.6%)	2,248 (73.8%)	32 (1.1%)	3,045 (100.0%)
500世帯～	45 (5.7%)	165 (20.9%)	575 (72.9%)	4 (0.5%)	789 (100.0%)
無回答	13 (2.3%)	62 (11.1%)	476 (85.2%)	8 (1.4%)	559 (100.0%)
合計	1,191 (1.9%)	10,139 (16.0%)	51,242 (81.0%)	665 (1.1%)	63,237 (100.0%)

- 高齢者割合別で見ると、特に高齢者割合が50%以上100%未満の集落では、今後の人口減少が予測されている集落の割合が高くなっている。

図表2-208 65歳以上人口割合別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
50%未満	1,054 (2.5%)	7,783 (18.6%)	32,711 (78.0%)	392 (0.9%)	41,940 (100.0%)
50%以上 75%未満	92 (0.5%)	1,839 (10.7%)	15,161 (88.0%)	132 (0.8%)	17,224 (100.0%)
75%以上 100%未満	13 (0.6%)	242 (11.0%)	1,919 (87.5%)	18 (0.8%)	2,192 (100.0%)
100%	14 (1.5%)	178 (18.6%)	752 (78.7%)	12 (1.3%)	956 (100.0%)
無回答	18 (1.9%)	97 (10.5%)	699 (75.6%)	111 (12.0%)	925 (100.0%)
合計	1,191 (1.9%)	10,139 (16.0%)	51,242 (81.0%)	665 (1.1%)	63,237 (100.0%)

- 転入者の有無別で見ると、転入者がいないとされる集落では、今後の人口減少が予測される集落の割合が91.0%と高くなっている。

図表2-209 転入者の有無別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
転入者が いる	517 (2.0%)	4,001 (15.7%)	20,888 (82.0%)	75 (0.3%)	25,481 (100.0%)
転入者は いない	20 (0.4%)	459 (8.5%)	4,901 (91.0%)	4 (0.1%)	5,384 (100.0%)
分からない	605 (2.0%)	5,359 (17.5%)	24,262 (79.2%)	418 (1.4%)	30,644 (100.0%)
無回答	49 (2.8%)	320 (18.5%)	1,191 (68.9%)	168 (9.7%)	1,728 (100.0%)
合計	1,191 (1.9%)	10,139 (16.0%)	51,242 (81.0%)	665 (1.1%)	63,237 (100.0%)

## ②集落の消滅（無人化）可能性

### 【全体】

- 今後 10 年以内に消滅（無人化、以下同じ。）の可能性のある集落は 505 集落（0.7%）であり、いずれ消滅すると予測されている集落は 3,117 集落（4.1%）である。

図表2-210 集落の消滅可能性別 集落数 【全体】

全体	集落の消滅可能性別 集落数				計
	10年以内に消滅	いずれ消滅	当面存続	無回答	
合計	505 (0.7%)	3,117 (4.1%)	66,237 (86.3%)	6,851 (8.9%)	76,710 (100.0%)
参考： 前回調査	570 (0.8%)	3,044 (4.0%)	66,001 (87.2%)	6,047 (8.0%)	75,662 (100.0%)

図表2-211 地域指定別・集落の消滅可能性別 集落数 【全体】

全体	集落の消滅可能性別 集落数				計
	10年以内に消滅	いずれ消滅	当面存続	無回答	
過疎地域	454 (0.7%)	2,744 (4.3%)	54,441 (86.1%)	5,598 (8.9%)	63,237 (100.0%)
振興山村	323 (1.2%)	1,815 (6.7%)	22,705 (84.1%)	2,151 (8.0%)	26,994 (100.0%)
離島	8 (0.3%)	174 (7.4%)	2,049 (87.7%)	106 (4.5%)	2,337 (100.0%)
半島	69 (0.5%)	528 (3.6%)	11,918 (81.7%)	2,069 (14.2%)	14,584 (100.0%)
特別豪雪地帯	85 (0.7%)	489 (4.0%)	10,514 (86.9%)	1,014 (8.4%)	12,102 (100.0%)

### 【過疎地域のみ】

- 今後 10 年以内に消滅の可能性のある集落は 454 集落（0.7%）であり、いずれ消滅すると予測されている集落は 2,744 集落（4.3%）である。
- 地方ブロック別でみると、今後「10年以内に消滅」あるいは「いずれ消滅」と予測されている集落の割合が最も高いのは四国圏である。

図表2-212 地方ブロック別・集落の消滅可能性別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の消滅可能性別 集落数				計
	10年以内に消滅	いずれ消滅	当面存続	無回答	
1 北海道	14 (0.4%)	219 (5.8%)	3,131 (83.6%)	382 (10.2%)	3,746 (100.0%)
2 東北圏	54 (0.4%)	385 (2.7%)	12,859 (91.4%)	769 (5.5%)	14,067 (100.0%)
3 首都圏	7 (0.3%)	90 (4.4%)	1,753 (85.1%)	210 (10.2%)	2,060 (100.0%)
4 北陸圏	23 (1.1%)	74 (3.6%)	1,914 (92.5%)	59 (2.9%)	2,070 (100.0%)
5 中部圏	36 (1.0%)	265 (7.4%)	2,807 (78.2%)	481 (13.4%)	3,589 (100.0%)
6 近畿圏	29 (0.8%)	199 (5.5%)	3,182 (88.7%)	179 (5.0%)	3,589 (100.0%)
7 中国圏	60 (0.5%)	380 (3.1%)	11,159 (90.2%)	769 (6.2%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	162 (2.3%)	570 (8.2%)	5,208 (74.7%)	1,030 (14.8%)	6,970 (100.0%)
9 九州圏	69 (0.5%)	561 (3.9%)	12,165 (83.9%)	1,713 (11.8%)	14,508 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	1 (0.4%)	263 (97.4%)	6 (2.2%)	270 (100.0%)
合計	454 (0.7%)	2,744 (4.3%)	54,441 (86.1%)	5,598 (8.9%)	63,237 (100.0%)

- 集落類型別でみると、「10年以内に消滅」の可能性があるとされた集落、又は「いずれ消滅」とされた集落の大部分が基礎集落である。
- 一方、「当面存続」とされた集落の割合が高いのは中心集落であり、92.8%となっている。

図表2-213 集落類型別・集落の消滅可能性別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の消滅可能性別 集落数				計
	10年以内に消滅	いずれ消滅	当面存続	無回答	
基礎集落	446 (0.9%)	2,612 (5.0%)	44,202 (84.9%)	4,785 (9.2%)	52,045 (100.0%)
基幹集落	4 (0.1%)	77 (1.2%)	5,920 (90.6%)	533 (8.2%)	6,534 (100.0%)
中心集落	0 (0.0%)	31 (0.8%)	3,700 (92.8%)	255 (6.4%)	3,986 (100.0%)
無回答	4 (0.6%)	24 (3.6%)	619 (92.1%)	25 (3.7%)	672 (100.0%)
合計	454 (0.7%)	2,744 (4.3%)	54,441 (86.1%)	5,598 (8.9%)	63,237 (100.0%)

- 地域区分別でみると、山間地集落では「10年以内に消滅」、又は「いずれ消滅」と予測されている集落の割合が最も高くなっている。

図表2-214 地域区分別・集落の消滅可能性別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の消滅可能性別 集落数				計
	10年以内に消滅	いずれ消滅	当面存続	無回答	
山間地	371 (1.9%)	1,902 (9.5%)	15,929 (79.9%)	1,730 (8.7%)	19,932 (100.0%)
中間地	58 (0.3%)	551 (2.9%)	16,429 (87.7%)	1,701 (9.1%)	18,739 (100.0%)
平地	22 (0.1%)	234 (1.2%)	17,841 (90.7%)	1,581 (8.0%)	19,678 (100.0%)
都市的地域	1 (0.0%)	40 (0.9%)	3,828 (86.5%)	555 (12.5%)	4,424 (100.0%)
無回答	2 (0.4%)	17 (3.7%)	414 (89.2%)	31 (6.7%)	464 (100.0%)
合計	454 (0.7%)	2,744 (4.3%)	54,441 (86.1%)	5,598 (8.9%)	63,237 (100.0%)

- 「10年以内に消滅」、あるいは「いずれ消滅」と予測されている集落の割合は地形的に末端にある集落においてより高くなっている。

図表2-215 地形的末端性別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の消滅可能性別 集落数				計
	10年以内に消滅	いずれ消滅	当面存続	無回答	
地形的末端である	180 (4.6%)	664 (17.0%)	2,792 (71.6%)	264 (6.8%)	3,900 (100.0%)
地形的末端でない	274 (0.5%)	2,080 (3.5%)	51,649 (87.0%)	5,334 (9.0%)	59,337 (100.0%)
合計	454 (0.7%)	2,744 (4.3%)	54,441 (86.1%)	5,598 (8.9%)	63,237 (100.0%)

- 集落の人口規模別で見ると、「10年以内に消滅」、あるいは「いずれ消滅」と予測されている集落の割合が最も高いのは人口10人未満の小規模集落である。

図表2-216 集落の人口規模別・集落の消滅可能性別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の消滅可能性別 集落数				計
	10年以内に消滅	いずれ消滅	当面存続	無回答	
～9人	367 (13.7%)	956 (35.7%)	1,213 (45.3%)	142 (5.3%)	2,678 (100.0%)
10～24人	65 (0.9%)	981 (14.2%)	5,243 (75.8%)	625 (9.0%)	6,914 (100.0%)
25～49人	15 (0.1%)	432 (3.7%)	9,906 (85.4%)	1,241 (10.7%)	11,594 (100.0%)
50～99人	3 (0.0%)	204 (1.3%)	13,809 (89.5%)	1,412 (9.2%)	15,428 (100.0%)
100～199人	1 (0.0%)	102 (0.7%)	12,432 (91.4%)	1,074 (7.9%)	13,609 (100.0%)
200～499人	0 (0.0%)	47 (0.5%)	8,537 (91.9%)	708 (7.6%)	9,292 (100.0%)
500～999人	0 (0.0%)	3 (0.1%)	2,047 (91.7%)	183 (8.2%)	2,233 (100.0%)
1000人～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	849 (93.2%)	62 (6.8%)	911 (100.0%)
無回答	3 (0.5%)	19 (3.3%)	405 (70.1%)	151 (26.1%)	578 (100.0%)
合計	454 (0.7%)	2,744 (4.3%)	54,441 (86.1%)	5,598 (8.9%)	63,237 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別で見ると、「10年以内に消滅」、あるいは「いずれ消滅」と予測されている集落の割合は10世帯未満の集落において最も高くなっている。

図表2-217 集落の世帯数規模別・集落の消滅可能性別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の消滅可能性別 集落数				計
	10年以内に消滅	いずれ消滅	当面存続	無回答	
～9世帯	410 (5.7%)	1,588 (21.9%)	4,716 (65.2%)	522 (7.2%)	7,236 (100.0%)
10～19世帯	24 (0.2%)	649 (5.5%)	10,011 (84.5%)	1,168 (9.9%)	11,852 (100.0%)
20～29世帯	8 (0.1%)	183 (2.0%)	8,238 (88.2%)	911 (9.8%)	9,340 (100.0%)
30～49世帯	3 (0.0%)	155 (1.3%)	10,459 (89.3%)	1,089 (9.3%)	11,706 (100.0%)
50～99世帯	1 (0.0%)	114 (0.9%)	11,144 (90.9%)	1,000 (8.2%)	12,259 (100.0%)
100～199世帯	0 (0.0%)	23 (0.4%)	5,896 (91.4%)	532 (8.2%)	6,451 (100.0%)
200～499世帯	0 (0.0%)	5 (0.2%)	2,767 (90.9%)	273 (9.0%)	3,045 (100.0%)
500世帯～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	732 (92.8%)	57 (7.2%)	789 (100.0%)
無回答	8 (1.4%)	27 (4.8%)	478 (85.5%)	46 (8.2%)	559 (100.0%)
合計	454 (0.7%)	2,744 (4.3%)	54,441 (86.1%)	5,598 (8.9%)	63,237 (100.0%)

- 高齢者割合別でみると、高齢者割合が100%（集落住民全員が65歳以上）の集落の22.9%は10年以内に消滅すると予測されており、いずれ消滅するとみられる集落も31.5%にのぼっている。
- 高齢者割合が75%以上100%未満の集落でも、3割近くの集落が「10年以内に消滅」又は「いずれ消滅」と予測されている。

図表2-218 65歳以上人口割合別・集落の消滅可能性別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の消滅可能性別 集落数				計
	10年以内に消滅	いずれ消滅	当面存続	無回答	
50%未満	47 (0.1%)	634 (1.5%)	37,812 (90.2%)	3,447 (8.2%)	41,940 (100.0%)
50%以上	98 (0.6%)	1,223 (7.1%)	14,266 (82.8%)	1,637 (9.5%)	17,224 (100.0%)
75%未満	87 (4.0%)	543 (24.8%)	1,391 (63.5%)	171 (7.8%)	2,192 (100.0%)
75%以上	219 (22.9%)	301 (31.5%)	400 (41.8%)	36 (3.8%)	956 (100.0%)
100%未満	3 (0.3%)	43 (4.6%)	572 (61.8%)	307 (33.2%)	925 (100.0%)
100%	454 (0.7%)	2,744 (4.3%)	54,441 (86.1%)	5,598 (8.9%)	63,237 (100.0%)
無回答					
合計					

- 転入者の有無別でみると、転入者がいないとされる集落において今後消滅する可能性のある集落の割合が高くなっている。

図表2-219 転入者の有無別・集落の消滅可能性別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の消滅可能性別 集落数				計
	10年以内に消滅	いずれ消滅	当面存続	無回答	
転入者がいる	37 (0.1%)	643 (2.5%)	21,950 (86.1%)	2,851 (11.2%)	25,481 (100.0%)
転入者がいない	256 (4.8%)	918 (17.1%)	3,578 (66.5%)	632 (11.7%)	5,384 (100.0%)
分からない	136 (0.4%)	1,098 (3.6%)	27,445 (89.6%)	1,965 (6.4%)	30,644 (100.0%)
無回答	25 (1.4%)	85 (4.9%)	1,468 (85.0%)	150 (8.7%)	1,728 (100.0%)
合計	454 (0.7%)	2,744 (4.3%)	54,441 (86.1%)	5,598 (8.9%)	63,237 (100.0%)

- サポート人材の活動状況別でみると、今後消滅する可能性のある集落で、サポート人材が活動する割合が高くなっている。

図表2-220 サポート人材の活動状況別・集落の消滅可能性別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の消滅可能性別 集落数				計
	10年以内に消滅	いずれ消滅	当面存続	無回答	
サポート人材あり	245 (1.1%)	1,181 (5.4%)	18,958 (86.2%)	1,613 (7.3%)	21,997 (100.0%)
集落支援員	163 (1.3%)	743 (5.8%)	10,902 (84.8%)	1,043 (8.1%)	12,851 (100.0%)
地域おこし協力隊	112 (0.8%)	666 (4.8%)	12,191 (88.7%)	771 (5.6%)	13,740 (100.0%)
その他	7 (0.5%)	81 (5.8%)	1,274 (91.8%)	26 (1.9%)	1,388 (100.0%)
サポート人材なし	209 (0.5%)	1,563 (3.8%)	35,483 (86.0%)	3,985 (9.7%)	41,240 (100.0%)
合計	454 (0.7%)	2,744 (4.3%)	54,441 (86.1%)	5,598 (8.9%)	63,237 (100.0%)

### ③消滅が予測されている集落の特性

#### 【全体】

- 消滅が予測されている集落の多くは、本庁から遠距離にある山間地の基礎集落であり、「10年以内に消滅」の可能性のある集落は人口規模が10人未満、世帯規模が10世帯未満の小規模集落が大部分を占めている。
- 「いずれ消滅」と予測されている集落の特性をみると、人口規模が25人未満、世帯規模が20世帯未満の集落が大部分を占めている。

図表2-221 今後の消滅可能性別にみた集落特性【全体】

全体		今後の消滅の可能性				
		10年以内に消滅の可能性あり	いずれ消滅の可能性あり	存続	無回答	計
集落類型	基礎集落	497 (98.4%)	2,939 (94.3%)	52,871 (79.8%)	5,793 (84.6%)	62,100 (81.0%)
	基幹集落	4 (0.8%)	89 (2.9%)	7,233 (10.9%)	641 (9.4%)	7,967 (10.4%)
	中心集落	0 (0.0%)	43 (1.4%)	4,784 (7.2%)	338 (4.9%)	5,165 (6.7%)
地域区分	山間地	409 (81.0%)	2,127 (68.2%)	18,295 (27.6%)	1,912 (27.9%)	22,743 (29.6%)
	中間地	61 (12.1%)	624 (20.0%)	19,417 (29.3%)	2,033 (29.7%)	22,135 (28.9%)
	平地	32 (6.3%)	287 (9.2%)	21,125 (31.9%)	2,082 (30.4%)	23,526 (30.7%)
	都市的地域	1 (0.2%)	42 (1.3%)	6,174 (9.3%)	738 (10.8%)	6,955 (9.1%)
人口規模	～9	405 (80.2%)	1,072 (34.4%)	1,365 (2.1%)	149 (2.2%)	2,991 (3.9%)
	10～24	72 (14.3%)	1,072 (34.4%)	5,722 (8.6%)	677 (9.9%)	7,543 (9.8%)
	25～49	16 (3.2%)	504 (16.2%)	10,860 (16.4%)	1,406 (20.5%)	12,786 (16.7%)
	50～99	3 (0.6%)	237 (7.6%)	15,776 (23.8%)	1,608 (23.5%)	17,624 (23.0%)
	100～199	1 (0.2%)	128 (4.1%)	15,089 (22.8%)	1,308 (19.1%)	16,526 (21.5%)
	200～499	0 (0.0%)	70 (2.2%)	11,445 (17.3%)	1,034 (15.1%)	12,549 (16.4%)
	500～999	0 (0.0%)	4 (0.1%)	3,357 (5.1%)	329 (4.8%)	3,690 (4.8%)
	1000～	0 (0.0%)	2 (0.1%)	1,716 (2.6%)	180 (2.6%)	1,898 (2.5%)
世帯数規模	～9	453 (89.7%)	1,763 (56.6%)	5,207 (7.9%)	571 (8.3%)	7,994 (10.4%)
	10～19	27 (5.3%)	722 (23.2%)	11,041 (16.7%)	1,317 (19.2%)	13,107 (17.1%)
	20～29	8 (1.6%)	218 (7.0%)	9,354 (14.1%)	1,034 (15.1%)	10,614 (13.8%)
	30～49	3 (0.6%)	184 (5.9%)	12,250 (18.5%)	1,239 (18.1%)	13,676 (17.8%)
	50～99	1 (0.2%)	146 (4.7%)	13,713 (20.7%)	1,245 (18.2%)	15,105 (19.7%)
	100～199	0 (0.0%)	36 (1.2%)	7,967 (12.0%)	777 (11.3%)	8,780 (11.4%)
	200～499	0 (0.0%)	6 (0.2%)	4,418 (6.7%)	456 (6.7%)	4,880 (6.4%)
	500～	0 (0.0%)	3 (0.1%)	1,402 (2.1%)	157 (2.3%)	1,562 (2.0%)
65歳以上割合	100%	239 (47.3%)	343 (11.0%)	452 (0.7%)	38 (0.6%)	1,072 (1.4%)
	75%以上100%未満	95 (18.8%)	600 (19.2%)	1,529 (2.3%)	180 (2.6%)	2,404 (3.1%)
	50%以上75%未満	107 (21.2%)	1,364 (43.8%)	15,693 (23.7%)	1,797 (26.2%)	18,961 (24.7%)
	25%以上50%未満	36 (7.1%)	629 (20.2%)	42,777 (64.6%)	3,920 (57.2%)	47,362 (61.7%)
	25%未満	18 (3.6%)	96 (3.1%)	4,318 (6.5%)	522 (7.6%)	4,954 (6.5%)
75歳以上	100%	154 (30.5%)	106 (3.4%)	121 (0.2%)	8 (0.1%)	389 (0.5%)
	50%以上100%未満	182 (36.0%)	957 (30.7%)	2,260 (3.4%)	264 (3.9%)	3,663 (4.8%)
	50%未満	159 (31.5%)	1,969 (63.2%)	62,388 (94.2%)	6,185 (90.3%)	70,701 (92.2%)
本庁までの距離	5 <sup>㊦</sup> 未満	26 (5.1%)	262 (8.4%)	21,517 (32.5%)	2,493 (36.4%)	24,298 (31.7%)
	5 <sup>㊦</sup> 以上10 <sup>㊦</sup> 未満	73 (14.5%)	570 (18.3%)	15,395 (23.2%)	1,522 (22.2%)	17,560 (22.9%)
	10 <sup>㊦</sup> 以上20 <sup>㊦</sup> 未満	176 (34.9%)	1,163 (37.3%)	17,007 (25.7%)	1,496 (21.8%)	19,842 (25.9%)
	20 <sup>㊦</sup> 以上	227 (45.0%)	1,097 (35.2%)	11,558 (17.4%)	990 (14.5%)	13,872 (18.1%)
地形	地形的末端である	197 (39.0%)	778 (25.0%)	3,401 (5.1%)	299 (4.4%)	4,675 (6.1%)
	地形的末端でない	308 (61.0%)	2,339 (75.0%)	62,836 (94.9%)	6,552 (95.6%)	72,035 (93.9%)
全体(割合の基数)		505 (100.0%)	3,117 (100.0%)	66,237 (100.0%)	6,851 (100.0%)	76,710 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域において「10年以内に消滅」の可能性のある集落は山間地の基礎集落が大部分を占めている。
- 「いずれ消滅」と予測されている集落も、人口規模が25人未満、世帯規模が20世帯未満の比較的小規模な集落が7～8割を占めている。

図表2-222 今後の消滅可能性別にみた集落特性【過疎地域のみ】

過疎地域		今後の消滅の可能性				
		10年以内に消滅の可能性あり	いずれ消滅の可能性あり	存続	無回答	計
集落類型	基礎集落	446 (98.2%)	2,612 (95.2%)	44,202 (81.2%)	4,785 (85.5%)	52,045 (82.3%)
	基幹集落	4 (0.9%)	77 (2.8%)	5,920 (10.9%)	533 (9.5%)	6,534 (10.3%)
	中心集落	0 (0.0%)	31 (1.1%)	3,700 (6.8%)	255 (4.6%)	3,986 (6.3%)
地域区分	山間地	371 (81.7%)	1,902 (69.3%)	15,929 (29.3%)	1,730 (30.9%)	19,932 (31.5%)
	中間地	58 (12.8%)	551 (20.1%)	16,429 (30.2%)	1,701 (30.4%)	18,739 (29.6%)
	平地	22 (4.8%)	234 (8.5%)	17,841 (32.8%)	1,581 (28.2%)	19,678 (31.1%)
	都市的地域	1 (0.2%)	40 (1.5%)	3,828 (7.0%)	555 (9.9%)	4,424 (7.0%)
人口規模	～9	367 (80.8%)	956 (34.8%)	1,213 (2.2%)	142 (2.5%)	2,678 (4.2%)
	10～24	65 (14.3%)	981 (35.8%)	5,243 (9.6%)	625 (11.2%)	6,914 (10.9%)
	25～49	15 (3.3%)	432 (15.7%)	9,906 (18.2%)	1,241 (22.2%)	11,594 (18.3%)
	50～99	3 (0.7%)	204 (7.4%)	13,809 (25.4%)	1,412 (25.2%)	15,428 (24.4%)
	100～199	1 (0.2%)	102 (3.7%)	12,432 (22.8%)	1,074 (19.2%)	13,609 (21.5%)
	200～499	0 (0.0%)	47 (1.7%)	8,537 (15.7%)	708 (12.6%)	9,292 (14.7%)
	500～999	0 (0.0%)	3 (0.1%)	2,047 (3.8%)	183 (3.3%)	2,233 (3.5%)
	1000～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	849 (1.6%)	62 (1.1%)	911 (1.4%)
世帯数規模	～9	410 (90.3%)	1,588 (57.9%)	4,716 (8.7%)	522 (9.3%)	7,236 (11.4%)
	10～19	24 (5.3%)	649 (23.7%)	10,011 (18.4%)	1,168 (20.9%)	11,852 (18.7%)
	20～29	8 (1.8%)	183 (6.7%)	8,238 (15.1%)	911 (16.3%)	9,340 (14.8%)
	30～49	3 (0.7%)	155 (5.6%)	10,459 (19.2%)	1,089 (19.5%)	11,706 (18.5%)
	50～99	1 (0.2%)	114 (4.2%)	11,144 (20.5%)	1,000 (17.9%)	12,259 (19.4%)
	100～199	0 (0.0%)	23 (0.8%)	5,896 (10.8%)	532 (9.5%)	6,451 (10.2%)
	200～499	0 (0.0%)	5 (0.2%)	2,767 (5.1%)	273 (4.9%)	3,045 (4.8%)
	500～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	732 (1.3%)	57 (1.0%)	789 (1.2%)
65歳以上割合	100%	219 (48.2%)	301 (11.0%)	400 (0.7%)	36 (0.6%)	956 (1.5%)
	75%以上100%未満	87 (19.2%)	543 (19.8%)	1,391 (2.6%)	171 (3.1%)	2,192 (3.5%)
	50%以上75%未満	98 (21.6%)	1,223 (44.6%)	14,266 (26.2%)	1,637 (29.2%)	17,224 (27.2%)
	25%以上50%未満	31 (6.8%)	551 (20.1%)	34,673 (63.7%)	3,090 (55.2%)	38,345 (60.6%)
	25%未満	16 (3.5%)	83 (3.0%)	3,139 (5.8%)	357 (6.4%)	3,595 (5.7%)
75歳以上	100%	140 (30.8%)	91 (3.3%)	102 (0.2%)	6 (0.1%)	339 (0.5%)
	50%以上100%未満	169 (37.2%)	854 (31.1%)	2,060 (3.8%)	254 (4.5%)	3,337 (5.3%)
	50%未満	142 (31.3%)	1,756 (64.0%)	51,707 (95.0%)	5,031 (89.9%)	58,636 (92.7%)
本庁までの距離	5 <sup>キロ</sup> 未満	20 (4.4%)	235 (8.6%)	17,024 (31.3%)	1,994 (35.6%)	19,273 (30.5%)
	5 <sup>キロ</sup> 以上10 <sup>キロ</sup> 未満	68 (15.0%)	488 (17.8%)	12,284 (22.6%)	1,293 (23.1%)	14,133 (22.3%)
	10 <sup>キロ</sup> 以上20 <sup>キロ</sup> 未満	149 (32.8%)	993 (36.2%)	14,183 (26.1%)	1,285 (23.0%)	16,610 (26.3%)
	20 <sup>キロ</sup> 以上	214 (47.1%)	1,011 (36.8%)	10,537 (19.4%)	944 (16.9%)	12,706 (20.1%)
地形	地形的末端である	180 (39.6%)	664 (24.2%)	2,792 (5.1%)	264 (4.7%)	3,900 (6.2%)
	地形的末端でない	274 (60.4%)	2,080 (75.8%)	51,649 (94.9%)	5,334 (95.3%)	59,337 (93.8%)
全体(割合の基数)		454 (100.0%)	2,744 (100.0%)	54,441 (100.0%)	5,598 (100.0%)	63,237 (100.0%)

#### ④集落機能の維持・再編成の見通し

##### 【全体】

- 今後の集落機能の維持・再編成の見通しをみると、92.0%と大部分の集落では「予定なし」としている。
- 地域指定別でみると離島地域では機能的再編を予定している集落の割合が高い。

図表2-223 集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数 【全体】

全体	集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数						計
	空間的移転を予定	行政的再編を予定	機能の再編成を予定	検討中	予定なし	無回答	
合計	4 (0.0%)	269 (0.4%)	685 (0.9%)	3,405 (4.4%)	70,611 (92.0%)	1,736 (2.3%)	76,710 (100.0%)
参考: 前回調査	12 (0.0%)	249 (0.3%)	700 (0.9%)	3,730 (4.9%)	69,120 (91.4%)	1,851 (2.4%)	75,662 (100.0%)

図表2-224 地域指定別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数 【全体】

全体	集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数						計
	空間的移転を予定	行政的再編を予定	機能の再編成を予定	検討中	予定なし	無回答	
過疎地域	3 (0.0%)	255 (0.4%)	472 (0.7%)	2,959 (4.7%)	58,129 (91.9%)	1,419 (2.2%)	63,237 (100.0%)
振興山村	0 (0.0%)	80 (0.3%)	351 (1.3%)	1,457 (5.4%)	24,412 (90.4%)	694 (2.6%)	26,994 (100.0%)
離島	0 (0.0%)	2 (0.1%)	115 (4.9%)	43 (1.8%)	2,164 (92.6%)	13 (0.6%)	2,337 (100.0%)
半島	0 (0.0%)	1 (0.0%)	136 (0.9%)	884 (6.1%)	13,421 (92.0%)	142 (1.0%)	14,584 (100.0%)
特別豪雪地帯	2 (0.0%)	11 (0.1%)	12 (0.1%)	344 (2.8%)	11,645 (96.2%)	88 (0.7%)	12,102 (100.0%)

##### 【過疎地域のみ】

- 過疎地域における集落機能の維持・再編成の見通しをみると、大部分の集落では「予定なし」としている。
- 地方ブロック別でみると、行政的再編については東北圏と九州圏で、また集落機能の再編成については近畿圏で比較的多くみられる。

図表2-225 地方ブロック別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数						計
	空間的移転を予定	行政的再編を予定	機能の再編成を予定	検討中	予定なし	無回答	
1 北海道	0 (0.0%)	5 (0.1%)	6 (0.2%)	113 (3.0%)	3,621 (96.7%)	1 (0.0%)	3,746 (100.0%)
2 東北圏	1 (0.0%)	115 (0.8%)	89 (0.6%)	599 (4.3%)	12,975 (92.2%)	288 (2.0%)	14,067 (100.0%)
3 首都圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	75 (3.6%)	1,985 (96.4%)	0 (0.0%)	2,060 (100.0%)
4 北陸圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1,992 (96.2%)	78 (3.8%)	2,070 (100.0%)
5 中部圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	35 (1.0%)	273 (7.6%)	3,245 (90.4%)	36 (1.0%)	3,589 (100.0%)
6 近畿圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	115 (3.2%)	0 (0.0%)	3,343 (93.1%)	131 (3.7%)	3,589 (100.0%)
7 中国圏	2 (0.0%)	26 (0.2%)	109 (0.9%)	495 (4.0%)	10,917 (88.3%)	819 (6.6%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	0 (0.0%)	8 (0.1%)	3 (0.0%)	221 (3.2%)	6,735 (96.6%)	3 (0.0%)	6,970 (100.0%)
9 九州圏	0 (0.0%)	101 (0.7%)	110 (0.8%)	1,183 (8.2%)	13,051 (90.0%)	63 (0.4%)	14,508 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (1.9%)	0 (0.0%)	265 (98.1%)	0 (0.0%)	270 (100.0%)
合計	3 (0.0%)	255 (0.4%)	472 (0.7%)	2,959 (4.7%)	58,129 (91.9%)	1,419 (2.2%)	63,237 (100.0%)

- 集落類型別でみると、集落機能の再編成が予定されている集落のほとんどは基礎集落である。

図表2-226 集落類型別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数						計
	空間的移転 を予定	行政的再編 を予定	機能の再編 成を予定	検討中	予定なし	無回答	
基礎集落	3 (0.0%)	196 (0.4%)	389 (0.7%)	2,505 (4.8%)	47,944 (92.1%)	1,008 (1.9%)	52,045 (100.0%)
基幹集落	0 (0.0%)	32 (0.5%)	52 (0.8%)	320 (4.9%)	5,857 (89.6%)	273 (4.2%)	6,534 (100.0%)
中心集落	0 (0.0%)	23 (0.6%)	31 (0.8%)	134 (3.4%)	3,667 (92.0%)	131 (3.3%)	3,986 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	4 (0.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	661 (98.4%)	7 (1.0%)	672 (100.0%)
合計	3 (0.0%)	255 (0.4%)	472 (0.7%)	2,959 (4.7%)	58,129 (91.9%)	1,419 (2.2%)	63,237 (100.0%)

- 地域区分別でみると、行政的再編が予定されている集落は山間地から都市的地域にまで広く分布している。
- 機能的再編についても、山間地から平地にかけて予定されている集落がみられるが、都市的地域にある集落でも1.9%は集落機能の再編成が予定されている。

図表2-227 地域区分別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数						計
	空間的移転 を予定	行政的再編 を予定	機能の再編 成を予定	検討中	予定なし	無回答	
山間地	0 (0.0%)	93 (0.5%)	133 (0.7%)	1,116 (5.6%)	18,088 (90.7%)	502 (2.5%)	19,932 (100.0%)
中間地	2 (0.0%)	80 (0.4%)	85 (0.5%)	787 (4.2%)	17,388 (92.8%)	397 (2.1%)	18,739 (100.0%)
平地	1 (0.0%)	49 (0.2%)	171 (0.9%)	933 (4.7%)	18,102 (92.0%)	422 (2.1%)	19,678 (100.0%)
都市的地域	0 (0.0%)	33 (0.7%)	83 (1.9%)	123 (2.8%)	4,163 (94.1%)	22 (0.5%)	4,424 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	388 (83.6%)	76 (16.4%)	464 (100.0%)
合計	3 (0.0%)	255 (0.4%)	472 (0.7%)	2,959 (4.7%)	58,129 (91.9%)	1,419 (2.2%)	63,237 (100.0%)

- 集落の人口規模別で見ると、行政的再編や機能的再編など何らかの集落再編が予定されている集落は、人口規模に関わらずみられる。

図表2-228 集落の人口規模別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数						計
	空間的移転を予定	行政的再編を予定	機能の再編成を予定	検討中	予定なし	無回答	
～9人	1 (0.0%)	24 (0.9%)	14 (0.5%)	156 (5.8%)	2,420 (90.4%)	63 (2.4%)	2,678 (100.0%)
10～24人	0 (0.0%)	16 (0.2%)	28 (0.4%)	387 (5.6%)	6,283 (90.9%)	200 (2.9%)	6,914 (100.0%)
25～49人	1 (0.0%)	10 (0.1%)	49 (0.4%)	617 (5.3%)	10,607 (91.5%)	310 (2.7%)	11,594 (100.0%)
50～99人	1 (0.0%)	35 (0.2%)	126 (0.8%)	721 (4.7%)	14,225 (92.2%)	320 (2.1%)	15,428 (100.0%)
100～199人	0 (0.0%)	68 (0.5%)	113 (0.8%)	584 (4.3%)	12,594 (92.5%)	250 (1.8%)	13,609 (100.0%)
200～499人	0 (0.0%)	86 (0.9%)	95 (1.0%)	373 (4.0%)	8,523 (91.7%)	215 (2.3%)	9,292 (100.0%)
500～999人	0 (0.0%)	11 (0.5%)	20 (0.9%)	90 (4.0%)	2,069 (92.7%)	43 (1.9%)	2,233 (100.0%)
1000人～	0 (0.0%)	5 (0.5%)	17 (1.9%)	31 (3.4%)	845 (92.8%)	13 (1.4%)	911 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (1.7%)	0 (0.0%)	563 (97.4%)	5 (0.9%)	578 (100.0%)
合計	3 (0.0%)	255 (0.4%)	472 (0.7%)	2,959 (4.7%)	58,129 (91.9%)	1,419 (2.2%)	63,237 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別で見ると、行政的再編や機能的再編が予定されている集落は、いずれの世帯数規模区分においても一定程度存在しており、世帯数規模による差はあまりみられない。

図表2-229 集落の世帯数規模別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数						計
	空間的移転を予定	行政的再編を予定	機能の再編成を予定	検討中	予定なし	無回答	
～9世帯	1 (0.0%)	27 (0.4%)	27 (0.4%)	398 (5.5%)	6,559 (90.6%)	224 (3.1%)	7,236 (100.0%)
10～19世帯	0 (0.0%)	18 (0.2%)	45 (0.4%)	611 (5.2%)	10,847 (91.5%)	331 (2.8%)	11,852 (100.0%)
20～29世帯	0 (0.0%)	17 (0.2%)	56 (0.6%)	450 (4.8%)	8,632 (92.4%)	185 (2.0%)	9,340 (100.0%)
30～49世帯	2 (0.0%)	34 (0.3%)	105 (0.9%)	519 (4.4%)	10,799 (92.3%)	247 (2.1%)	11,706 (100.0%)
50～99世帯	0 (0.0%)	94 (0.8%)	111 (0.9%)	539 (4.4%)	11,268 (91.9%)	247 (2.0%)	12,259 (100.0%)
100～199世帯	0 (0.0%)	42 (0.7%)	69 (1.1%)	288 (4.5%)	5,932 (92.0%)	120 (1.9%)	6,451 (100.0%)
200～499世帯	0 (0.0%)	15 (0.5%)	36 (1.2%)	129 (4.2%)	2,810 (92.3%)	55 (1.8%)	3,045 (100.0%)
500世帯～	0 (0.0%)	4 (0.5%)	13 (1.6%)	24 (3.0%)	742 (94.0%)	6 (0.8%)	789 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	4 (0.7%)	10 (1.8%)	1 (0.2%)	540 (96.6%)	4 (0.7%)	559 (100.0%)
合計	3 (0.0%)	255 (0.4%)	472 (0.7%)	2,959 (4.7%)	58,129 (91.9%)	1,419 (2.2%)	63,237 (100.0%)

- 高齢者割合別でみると、高齢者割合が100%（集落住民全員が65歳以上）の集落では、行政的再編が予定されている集落の割合がやや高くなっている。

図表2-230 65歳以上人口割合別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数						計
	空間的移転を予定	行政的再編を予定	機能の再編成を予定	検討中	予定なし	無回答	
50%未満	1 (0.0%)	195 (0.5%)	316 (0.8%)	1,685 (4.0%)	38,711 (92.3%)	1,032 (2.5%)	41,940 (100.0%)
50%以上 75%未満	0 (0.0%)	43 (0.2%)	115 (0.7%)	1,069 (6.2%)	15,685 (91.1%)	312 (1.8%)	17,224 (100.0%)
75%以上 100%未満	0 (0.0%)	5 (0.2%)	18 (0.8%)	153 (7.0%)	1,967 (89.7%)	49 (2.2%)	2,192 (100.0%)
100%	2 (0.2%)	12 (1.3%)	6 (0.6%)	52 (5.4%)	863 (90.3%)	21 (2.2%)	956 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	17 (1.8%)	0 (0.0%)	903 (97.6%)	5 (0.5%)	925 (100.0%)
合計	3 (0.0%)	255 (0.4%)	472 (0.7%)	2,959 (4.7%)	58,129 (91.9%)	1,419 (2.2%)	63,237 (100.0%)

- 転入者の有無別でみると、転入者がいる集落の方が行政的再編や機能的再編を予定している集落や再編を検討している集落の割合がやや高くなっている。

図表2-231 転入者の有無別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数						計
	空間的移転を予定	行政的再編を予定	機能の再編成を予定	検討中	予定なし	無回答	
転入者がいる	0 (0.0%)	123 (0.5%)	324 (1.3%)	951 (3.7%)	23,789 (93.4%)	294 (1.2%)	25,481 (100.0%)
転入者がいない	1 (0.0%)	13 (0.2%)	37 (0.7%)	155 (2.9%)	5,148 (95.6%)	30 (0.6%)	5,384 (100.0%)
分からない	0 (0.0%)	112 (0.4%)	111 (0.4%)	1,761 (5.7%)	27,695 (90.4%)	965 (3.1%)	30,644 (100.0%)
無回答	2 (0.1%)	7 (0.4%)	0 (0.0%)	92 (5.3%)	1,497 (86.6%)	130 (7.5%)	1,728 (100.0%)
合計	3 (0.0%)	255 (0.4%)	472 (0.7%)	2,959 (4.7%)	58,129 (91.9%)	1,419 (2.2%)	63,237 (100.0%)

(11) 消滅が危惧されている集落における住民の生活の質(QOL)維持に向けた取組状況

①交通利便性

【全体】

- 今後の集落の消滅可能性について、「10年以内に消滅」又は「いずれ消滅」とされた3,622集落(以下「消滅が危惧されている集落」という。)について、各集落から最寄りの行政窓口、病院、商店までの車での所要時間をみると、全体平均ではいずれも15～16分程度でアクセスできるとされており、10分以内でアクセスできる集落の割合が最も高いが、21分以上かかる集落も一定程度みられる。
- 地域指定別でみると、離島地域では消滅が危惧されていても比較的交通便利性が高い集落の割合が高い。

図表2-232 地域指定別・最寄りの行政窓口、病院、商店までの所要時間別 集落数【全体】

全体	消滅が危惧される集落	行政窓口までの車での所要時間			病院までの車での所要時間			商店までの車での所要時間			[上段]合計時間 [下段]平均時間(分)		
		～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	行政窓口	病院	商店
合計	3,622 (100.0%)	1,426 (39.4%)	1,336 (36.9%)	845 (23.3%)	1,392 (38.4%)	1,371 (37.9%)	845 (23.3%)	1,657 (45.7%)	1,249 (34.5%)	703 (19.4%)	58,594 (162)	59,308 (16.4)	54,174 (15.0)
過疎地域	3,198 (100.0%)	1,282 (40.1%)	1,193 (37.3%)	712 (22.3%)	1,248 (39.0%)	1,235 (38.6%)	705 (22.0%)	1,497 (46.8%)	1,094 (34.2%)	598 (18.7%)	50,964 (15.9)	51,394 (16.1)	46,979 (14.7)
振興山村	2,138 (100.0%)	727 (34.0%)	830 (38.8%)	572 (26.8%)	698 (32.6%)	850 (39.8%)	580 (27.1%)	858 (40.1%)	774 (36.2%)	497 (23.2%)	37,413 (17.5)	38,269 (17.9)	35,038 (16.4)
離島	182 (100.0%)	101 (55.5%)	46 (25.3%)	33 (18.1%)	93 (51.1%)	44 (24.2%)	43 (23.6%)	103 (56.6%)	45 (24.7%)	32 (17.6%)	2,260 (12.4)	2,611 (14.3)	2,191 (12.0)
半島	597 (100.0%)	244 (40.9%)	246 (41.2%)	106 (17.8%)	233 (39.0%)	241 (40.4%)	122 (20.4%)	294 (49.2%)	174 (29.1%)	128 (21.4%)	9,030 (15.1)	9,226 (15.5)	8,979 (15.0)
特別豪雪地帯	574 (100.0%)	212 (36.9%)	206 (35.9%)	155 (27.0%)	218 (38.0%)	210 (36.6%)	145 (25.3%)	252 (43.9%)	204 (35.5%)	117 (20.4%)	9,763 (17.0)	9,595 (16.7)	8,828 (15.4)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域において消滅が危惧されている3,198集落の交通便利性をみると、全体では最寄りの行政窓口まで車で10分以内が40.1%、最寄りの病院まで10分以内が39.0%、最寄りの商店まで10分以内が46.8%とそれぞれ最も多いが、各施設に21分以上かかる集落も2割前後みられる。
- 地方ブロック別でみると、北陸圏や近畿圏では消滅が危惧されている集落の3割超は病院まで21分以上かかる。また近畿圏では商店まで21分以上かかる集落が半数近くを占めている。

図表2-233 地方ブロック別・最寄りの行政窓口、病院、商店までの所要時間別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	消滅が危惧される集落	行政窓口までの車での所要時間			病院までの車での所要時間			商店までの車での所要時間			[上段]合計時間 [下段]平均時間(分)		
		～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	行政窓口	病院	商店
1 北海道	233 (100.0%)	141 (60.5%)	63 (27.0%)	28 (12.0%)	117 (50.2%)	83 (35.6%)	32 (13.7%)	124 (53.2%)	86 (36.9%)	22 (9.4%)	2,923 (12.5)	3,267 (14.0)	3,010 (12.9)
2 東北圏	439 (100.0%)	172 (39.2%)	164 (37.4%)	103 (23.5%)	184 (41.9%)	157 (35.8%)	98 (22.3%)	258 (58.8%)	112 (25.5%)	69 (15.7%)	6,928 (15.8)	6,695 (15.3)	5,253 (12.0)
3 首都圏	97 (100.0%)	46 (47.4%)	37 (38.1%)	14 (14.4%)	34 (35.1%)	43 (44.3%)	20 (20.6%)	37 (38.1%)	35 (36.1%)	25 (25.8%)	1,402 (14.5)	1,624 (16.7)	1,906 (19.6)
4 北陸圏	97 (100.0%)	27 (27.8%)	41 (42.3%)	29 (29.9%)	20 (20.6%)	45 (46.4%)	32 (33.0%)	29 (29.9%)	47 (48.5%)	21 (21.6%)	1,692 (17.4)	1,800 (18.6)	1,608 (16.6)
5 中部圏	301 (100.0%)	119 (39.5%)	123 (40.9%)	57 (18.9%)	111 (36.9%)	118 (39.2%)	70 (23.3%)	118 (39.2%)	104 (34.6%)	77 (25.6%)	4,702 (15.6)	4,911 (16.3)	4,897 (16.3)
6 近畿圏	228 (100.0%)	65 (28.5%)	95 (41.7%)	67 (29.4%)	75 (32.9%)	79 (34.6%)	73 (32.0%)	62 (27.2%)	57 (25.0%)	108 (47.4%)	4,285 (18.8)	4,258 (18.7)	5,034 (22.1)
7 中国圏	440 (100.0%)	161 (36.6%)	175 (39.8%)	104 (23.6%)	144 (32.7%)	180 (40.9%)	116 (26.4%)	188 (42.7%)	175 (39.8%)	77 (17.5%)	7,048 (16.0)	7,490 (17.0)	6,487 (14.7)
8 四国圏	732 (100.0%)	272 (37.2%)	243 (33.2%)	210 (28.7%)	260 (35.5%)	285 (38.9%)	182 (24.9%)	341 (46.6%)	260 (35.5%)	126 (17.2%)	12,894 (17.6)	12,753 (17.4)	10,737 (14.7)
9 九州圏	630 (100.0%)	279 (44.3%)	251 (39.8%)	100 (15.9%)	303 (48.1%)	244 (38.7%)	82 (13.0%)	340 (54.0%)	217 (34.4%)	73 (11.6%)	9,071 (14.4)	8,576 (13.6)	8,027 (12.7)
10 沖縄県	1 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	20 (20.0)	20 (20.0)	20 (20.0)
合計	3,198 (100.0%)	1,282 (40.1%)	1,193 (37.3%)	712 (22.3%)	1,248 (39.0%)	1,235 (38.6%)	705 (22.0%)	1,497 (46.8%)	1,094 (34.2%)	598 (18.7%)	50,964 (15.9)	51,394 (16.1)	46,979 (14.7)

- 集落類型別でみると、中心集落の場合は各施設に 10 分以内でアクセスできる集落が大部分を占めている。
- 一方、基礎集落では、各施設に 21 分以上かかる集落が2割前後みられる。

図表2-234 集落類型別・最寄りの行政窓口、病院、商店までの所要時間別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	消滅が危惧される集落	行政窓口までの所要時間			病院までの所要時間(分)			商店までの所要時間(分)			[上段]合計時間 [下段]平均時間(分)		
		～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	行政窓口	病院	商店
基礎集落	3,058 (100.0%)	1,193 (39.0%)	1,160 (37.9%)	695 (22.7%)	1,164 (38.1%)	1,203 (39.3%)	682 (22.3%)	1,403 (45.9%)	1,061 (34.7%)	586 (19.2%)	49,432 (16.2)	49,801 (16.3)	45,676 (14.9)
基幹集落	81 (100.0%)	41 (50.6%)	24 (29.6%)	15 (18.5%)	41 (50.6%)	20 (24.7%)	19 (23.5%)	48 (59.3%)	21 (25.9%)	11 (13.6%)	1,144 (14.1)	1,144 (14.1)	904 (11.2)
中心集落	31 (100.0%)	29 (93.5%)	1 (3.2%)	1 (3.2%)	31 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	28 (90.3%)	2 (6.5%)	1 (3.2%)	104 (3.4)	80 (2.6)	130 (4.2)
無回答	28 (100.0%)	19 (67.9%)	8 (28.6%)	1 (3.6%)	12 (42.9%)	12 (42.9%)	4 (14.3%)	18 (64.3%)	10 (35.7%)	0 (0.0%)	284 (10.1)	369 (13.2)	269 (9.6)
合計	3,198 (100.0%)	1,282 (40.1%)	1,193 (37.3%)	712 (22.3%)	1,248 (39.0%)	1,235 (38.6%)	705 (22.0%)	1,497 (46.8%)	1,094 (34.2%)	598 (18.7%)	50,964 (15.9)	51,394 (16.1)	46,979 (14.7)

- 地域区分別でみると、行政窓口に 10 分以内でアクセスできる集落の割合は都市的地域にある集落において最も高くなっており、平地、中間地、山間地となるにつれて各施設へのアクセス時間が長くなる傾向がみられる。
- 一方、病院及び商店まで 10 分以内でアクセスできる集落の割合は平地集落で最も高い。

図表2-235 地域区分別・最寄りの行政窓口、病院、商店までの所要時間別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	消滅が危惧される集落	行政窓口までの所要時間			病院までの所要時間(分)			商店までの所要時間(分)			[上段]合計時間 [下段]平均時間(分)		
		～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	行政窓口	病院	商店
山間地	2,273 (100.0%)	736 (32.4%)	909 (40.0%)	622 (27.4%)	723 (31.8%)	935 (41.1%)	610 (26.8%)	889 (39.1%)	849 (37.4%)	531 (23.4%)	40,308 (17.7)	40,244 (17.7)	37,431 (16.5)
中間地	609 (100.0%)	322 (52.9%)	220 (36.1%)	66 (10.8%)	326 (53.5%)	226 (37.1%)	56 (9.2%)	379 (62.2%)	178 (29.2%)	51 (8.4%)	7,482 (12.3)	7,379 (12.1)	6,582 (10.8)
平地	256 (100.0%)	181 (70.7%)	52 (20.3%)	19 (7.4%)	169 (66.0%)	53 (20.7%)	30 (11.7%)	192 (75.0%)	47 (18.4%)	13 (5.1%)	2,607 (10.2)	2,992 (11.7)	2,326 (9.1)
都市的地域	41 (100.0%)	34 (82.9%)	5 (12.2%)	2 (4.9%)	26 (63.4%)	13 (31.7%)	2 (4.9%)	27 (65.9%)	14 (34.1%)	0 (0.0%)	317 (7.7)	446 (10.9)	401 (9.8)
無回答	19 (100.0%)	9 (47.4%)	7 (36.8%)	3 (15.8%)	4 (21.1%)	8 (42.1%)	7 (36.8%)	10 (52.6%)	6 (31.6%)	3 (15.8%)	250 (13.2)	333 (17.5)	239 (12.6)
合計	3,198 (100.0%)	1,282 (40.1%)	1,193 (37.3%)	712 (22.3%)	1,248 (39.0%)	1,235 (38.6%)	705 (22.0%)	1,497 (46.8%)	1,094 (34.2%)	598 (18.7%)	50,964 (15.9)	51,394 (16.1)	46,979 (14.7)

- 地形的に末端にある集落では、地形的に末端にない集落よりも、各施設へのアクセス時間が長くなる傾向がみられる。

図表2-236 地形的末端性別・最寄りの行政窓口、病院、商店までの所要時間別 集落数【消滅が危惧される集落】

過疎地域	消滅が危惧される集落	行政窓口までの所要時間			病院までの所要時間(分)			商店までの所要時間(分)			[上段]合計時間 [下段]平均時間(分)		
		～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	行政窓口	病院	商店
地形的末端である	844 (100.0%)	246 (29.1%)	345 (40.9%)	249 (29.5%)	240 (28.4%)	366 (43.4%)	236 (28.0%)	312 (37.0%)	336 (39.8%)	194 (23.0%)	15,523 (18.4)	15,511 (18.4)	14,279 (16.9)
地形的末端でない	2,354 (100.0%)	1,036 (44.0%)	848 (36.0%)	463 (19.7%)	1,008 (42.8%)	869 (36.9%)	469 (19.9%)	1,185 (50.3%)	758 (32.2%)	404 (17.2%)	35,441 (15.1)	35,883 (15.2)	32,700 (13.9)
合計	3,198 (100.0%)	1,282 (40.1%)	1,193 (37.3%)	712 (22.3%)	1,248 (39.0%)	1,235 (38.6%)	705 (22.0%)	1,497 (46.8%)	1,094 (34.2%)	598 (18.7%)	50,964 (15.9)	51,394 (16.1)	46,979 (14.7)

- 集落の人口規模別で見ると、いずれの施設に対しても、人口規模が小さい集落の方が 10 分以内でアクセスできる割合が低く、21 分以上かかる集落の割合が高くなる傾向がみられる。

図表2-237 集落の人口規模別・最寄りの行政窓口、病院、商店までの所要時間別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	消滅が危惧される集落	行政窓口までの所要時間			病院までの所要時間(分)			商店までの所要時間(分)			[上段]合計時間 [下段]平均時間(分)		
		～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	行政窓口	病院	商店
～9人	1,323 (100.0%)	478 (36.1%)	485 (36.7%)	357 (27.0%)	450 (34.0%)	523 (39.5%)	347 (26.2%)	561 (42.4%)	460 (34.8%)	299 (22.6%)	23,095 (17.5)	23,424 (17.7)	21,606 (16.3)
10～24人	1,046 (100.0%)	404 (38.6%)	423 (40.4%)	213 (20.4%)	403 (38.5%)	408 (39.0%)	230 (22.0%)	467 (44.6%)	386 (36.9%)	189 (18.1%)	16,234 (15.5)	16,619 (15.9)	15,205 (14.5)
25～49人	447 (100.0%)	203 (45.4%)	159 (35.6%)	84 (18.8%)	193 (43.2%)	169 (37.8%)	84 (18.8%)	214 (47.9%)	155 (34.7%)	77 (17.2%)	6,544 (14.6)	6,636 (14.8)	6,349 (14.2)
50～99人	207 (100.0%)	113 (54.6%)	68 (32.9%)	25 (12.1%)	104 (50.2%)	80 (38.6%)	22 (10.6%)	129 (62.3%)	60 (29.0%)	17 (8.2%)	2,547 (12.3)	2,607 (12.6)	2,228 (10.8)
100～199人	103 (100.0%)	49 (47.6%)	34 (33.0%)	20 (19.4%)	59 (57.3%)	31 (30.1%)	13 (12.6%)	76 (73.8%)	16 (15.5%)	11 (10.7%)	1,474 (14.3)	1,187 (11.5)	930 (9.0)
200～499人	47 (100.0%)	24 (51.1%)	14 (29.8%)	9 (19.1%)	33 (70.2%)	11 (23.4%)	3 (6.4%)	40 (85.1%)	5 (10.6%)	2 (4.3%)	701 (14.9)	467 (9.9)	302 (6.4)
500～999人	3 (100.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	32 (10.7)	31 (10.3)	11 (3.7)
無回答	22 (100.0%)	9 (40.9%)	10 (45.5%)	3 (13.6%)	4 (18.2%)	12 (54.5%)	6 (27.3%)	7 (31.8%)	12 (54.5%)	3 (13.6%)	338 (15.4)	423 (19.2)	348 (15.8)
合計	3,198 (100.0%)	1,282 (40.1%)	1,193 (37.3%)	712 (22.3%)	1,248 (39.0%)	1,235 (38.6%)	705 (22.0%)	1,497 (46.8%)	1,094 (34.2%)	598 (18.7%)	50,964 (15.9)	51,394 (16.1)	46,979 (14.7)

- 集落の世帯数規模別で見ると、いずれの施設に対しても、世帯規模が小さい集落の方が、21 分以上かかる集落の割合が高くなる傾向がみられる。

図表2-238 集落の世帯数規模別・最寄りの行政窓口、病院、商店までの所要時間別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	消滅が危惧される集落	行政窓口までの所要時間			病院までの所要時間(分)			商店までの所要時間(分)			[上段]合計時間 [下段]平均時間(分)		
		～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	行政窓口	病院	商店
～9世帯	1,998 (100.0%)	759 (38.0%)	749 (37.5%)	484 (24.2%)	727 (36.4%)	783 (39.2%)	483 (24.2%)	876 (43.8%)	709 (35.5%)	408 (20.4%)	25,485 (16.0)	25,903 (16.3)	23,825 (15.0)
10～19世帯	673 (100.0%)	263 (39.1%)	267 (39.7%)	140 (20.8%)	258 (38.3%)	260 (38.6%)	152 (22.6%)	300 (44.6%)	244 (36.3%)	127 (18.9%)	10,011 (15.4)	10,399 (16.0)	9,529 (14.7)
20～29世帯	191 (100.0%)	96 (50.3%)	60 (31.4%)	34 (17.8%)	86 (45.0%)	76 (39.8%)	28 (14.7%)	93 (48.7%)	67 (35.1%)	30 (15.7%)	2,595 (14.2)	2,561 (14.0)	2,624 (14.3)
30～49世帯	158 (100.0%)	73 (46.2%)	59 (37.3%)	25 (15.8%)	74 (46.8%)	61 (38.6%)	22 (13.9%)	96 (60.8%)	42 (26.6%)	19 (12.0%)	2,086 (13.5)	2,006 (12.9)	1,716 (11.1)
50～99世帯	115 (100.0%)	60 (52.2%)	38 (33.0%)	17 (14.8%)	73 (63.5%)	31 (27.0%)	11 (9.6%)	92 (80.0%)	14 (12.2%)	9 (7.8%)	1,539 (13.5)	1,270 (11.1)	921 (8.1)
100～199世帯	23 (100.0%)	11 (47.8%)	5 (21.7%)	7 (30.4%)	15 (65.2%)	6 (26.1%)	2 (8.7%)	17 (73.9%)	5 (21.7%)	1 (4.3%)	404 (17.6)	237 (10.3)	207 (9.0)
200～499世帯	5 (100.0%)	2 (40.0%)	1 (20.0%)	2 (40.0%)	2 (40.0%)	2 (40.0%)	1 (20.0%)	4 (80.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	80 (16.0)	71 (14.2)	40 (8.0)
無回答	35 (100.0%)	18 (51.4%)	14 (40.0%)	3 (8.6%)	13 (37.1%)	16 (45.7%)	6 (17.1%)	19 (54.3%)	13 (37.1%)	3 (8.6%)	380 (14.1)	460 (17.0)	316 (11.7)
合計	3,198 (100.0%)	1,282 (40.1%)	1,193 (37.3%)	712 (22.3%)	1,248 (39.0%)	1,235 (38.6%)	705 (22.0%)	1,497 (46.8%)	1,094 (34.2%)	598 (18.7%)	42,579 (15.5)	42,907 (15.6)	39,178 (14.3)

- 集落の高齢者割合別でみると、いずれの施設も、高齢者割合が高くなるにつれて、10 分以内でアクセスできる集落の割合が低くなり、高齢者割合が 100% (集落住民全員が 65 歳以上) の集落では、行政窓口や病院に 10 分以内でアクセスできる集落よりも 21 分以上かかる集落の方が多くなっている。

図表2-239 65 歳以上人口割合別・最寄りの行政窓口、病院、商店までの所要時間別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	消滅が危惧される集落	行政窓口までの所要時間			病院までの所要時間(分)			商店までの所要時間(分)			[上段]合計時間 [下段]平均時間(分)		
		～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	行政窓口	病院	商店
50%未満	681 (100.0%)	362 (53.2%)	205 (30.1%)	112 (16.4%)	355 (52.1%)	227 (33.3%)	97 (14.2%)	412 (60.5%)	193 (28.3%)	74 (10.9%)	9,126 (13.4)	8,989 (13.2)	7,864 (11.5)
50%以上	1,321 (100.0%)	537 (40.7%)	528 (40.0%)	251 (19.0%)	536 (40.6%)	516 (39.1%)	264 (20.0%)	631 (47.8%)	461 (34.9%)	224 (17.0%)	20,049 (15.2)	20,238 (15.3)	18,552 (14.0)
75%以上	630 (100.0%)	204 (32.4%)	246 (39.0%)	178 (28.3%)	197 (31.3%)	250 (39.7%)	181 (28.7%)	238 (37.8%)	224 (35.6%)	167 (26.5%)	11,301 (17.9)	11,458 (18.2)	10,731 (17.0)
100%	520 (100.0%)	160 (30.8%)	193 (37.1%)	165 (31.7%)	144 (27.7%)	221 (42.5%)	154 (29.6%)	194 (37.3%)	197 (37.9%)	128 (24.6%)	9,798 (18.8)	9,924 (19.1)	9,198 (17.7)
無回答	46 (100.0%)	19 (41.3%)	21 (45.7%)	6 (13.0%)	16 (34.8%)	21 (45.7%)	9 (19.6%)	22 (47.8%)	19 (41.3%)	5 (10.9%)	690 (15.0)	785 (17.1)	634 (13.8)
合計	3,198 (100.0%)	1,282 (40.1%)	1,193 (37.3%)	712 (22.3%)	1,248 (39.0%)	1,235 (38.6%)	705 (22.0%)	1,497 (46.8%)	1,094 (34.2%)	598 (18.7%)	50,964 (15.9)	51,394 (16.1)	46,979 (14.7)

- 転入者の有無別でみると、転入者がいる集落の方が、総じて交通利便性が高い集落の割合が高くなっている。

図表2-240 転入者の有無別・最寄りの行政窓口、病院、商店までの所要時間別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	消滅が危惧される集落	行政窓口までの所要時間			病院までの所要時間(分)			商店までの所要時間(分)			[上段]合計時間 [下段]平均時間(分)		
		～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	行政窓口	病院	商店
転入者がいる	680 (100.0%)	290 (42.6%)	226 (33.2%)	162 (23.8%)	314 (46.2%)	222 (32.6%)	141 (20.7%)	364 (53.5%)	199 (29.3%)	115 (16.9%)	10,800 (15.9)	10,339 (15.2)	9,148 (13.5)
転入者はいない	1,174 (100.0%)	396 (33.7%)	490 (41.7%)	287 (24.4%)	371 (31.6%)	523 (44.5%)	279 (23.8%)	474 (40.4%)	475 (40.5%)	224 (19.1%)	20,411 (17.4)	20,607 (17.6)	18,763 (16.0)
分からない	1,234 (100.0%)	558 (45.2%)	444 (36.0%)	231 (18.7%)	528 (42.8%)	459 (37.2%)	246 (19.9%)	622 (50.4%)	379 (30.7%)	232 (18.8%)	17,914 (14.5)	18,373 (14.9)	17,280 (14.0)
無回答	110 (100.0%)	38 (34.5%)	33 (30.0%)	32 (29.1%)	35 (31.8%)	31 (28.2%)	39 (35.5%)	37 (33.6%)	41 (37.3%)	27 (24.5%)	1,839 (16.7)	2,075 (18.9)	1,788 (16.3)
合計	3,198 (100.0%)	1,282 (40.1%)	1,193 (37.3%)	712 (22.3%)	1,248 (39.0%)	1,235 (38.6%)	705 (22.0%)	1,497 (46.8%)	1,094 (34.2%)	598 (18.7%)	50,964 (15.9)	51,394 (16.1)	46,979 (14.7)

## ②移動利便性

### 【全体】

- 消滅が危惧されている集落から市町村の中心部にアクセスするための移動手段をみると、84.5%の集落には何らかの移動手段が提供されており、特にデマンドバス・乗合タクシーが運行している集落が 29.6%と最も多い。

図表2-241 地域指定別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【全体】

全体	消滅が危惧される集落	当該集落から市町村の中心部への移動手段							移動手段の有無	
		鉄道・軌道	民営路線バス	公営路線バス	デマンドバス・乗合タクシー	自家用有償旅客運送	地域住民による無償運送	その他	移動手段あり	移動手段なし
合計	3,622 (100.0%)	120 (3.3%)	941 (26.0%)	122 (3.4%)	1,072 (29.6%)	539 (14.9%)	357 (9.9%)	345 (9.5%)	3,060 (84.5%)	562 (15.5%)
過疎地域	3,198 (100.0%)	105 (3.3%)	849 (26.5%)	119 (3.7%)	923 (28.9%)	495 (15.5%)	351 (11.0%)	295 (9.2%)	2,730 (85.4%)	468 (14.6%)
振興山村	2,138 (100.0%)	69 (3.2%)	551 (25.8%)	87 (4.1%)	637 (29.8%)	383 (17.9%)	239 (11.2%)	147 (6.9%)	1,834 (85.8%)	304 (14.2%)
離島	182 (100.0%)	5 (2.7%)	74 (40.7%)	0 (0.0%)	39 (21.4%)	6 (3.3%)	10 (5.5%)	63 (34.6%)	160 (87.9%)	22 (12.1%)
半島	597 (100.0%)	1 (0.2%)	163 (27.3%)	25 (4.2%)	156 (26.1%)	79 (13.2%)	16 (2.7%)	51 (8.5%)	478 (80.1%)	119 (19.9%)
特別豪雪地帯	574 (100.0%)	34 (5.9%)	93 (16.2%)	10 (1.7%)	207 (36.1%)	89 (15.5%)	25 (4.4%)	24 (4.2%)	457 (79.6%)	117 (20.4%)

### 【過疎地域のみ】

- 過疎地域において消滅が危惧されている集落から市町村の中心部にアクセスするための移動手段をみると、85.4%の集落には何らかの移動手段が提供されており、特にデマンドバス・乗合タクシー(28.9%)や民間路線バス(26.5%)が多い。
- 地方ブロック別でみると、北陸圏では移動手段がない集落の割合が最も高くなっている。

図表2-242 地方ブロック別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	消滅が危惧される集落	当該集落から市町村の中心部への移動手段							移動手段の有無	
		鉄道・軌道	民営路線バス	公営路線バス	デマンドバス・乗合タクシー	自家用有償旅客運送	地域住民による無償運送	その他	移動手段あり	移動手段なし
1 北海道	233 (100.0%)	18 (7.7%)	65 (27.9%)	1 (0.4%)	63 (27.0%)	16 (6.9%)	11 (4.7%)	12 (5.2%)	215 (92.3%)	18 (7.7%)
2 東北圏	439 (100.0%)	13 (3.0%)	118 (26.9%)	6 (1.4%)	117 (26.7%)	66 (15.0%)	18 (4.1%)	17 (3.9%)	340 (77.4%)	99 (22.6%)
3 首都圏	97 (100.0%)	0 (0.0%)	35 (36.1%)	4 (4.1%)	30 (30.9%)	4 (4.1%)	2 (2.1%)	3 (3.1%)	77 (79.4%)	20 (20.6%)
4 北陸圏	97 (100.0%)	2 (2.1%)	23 (23.7%)	5 (5.2%)	21 (21.6%)	16 (16.5%)	3 (3.1%)	2 (2.1%)	70 (72.2%)	27 (27.8%)
5 中部圏	301 (100.0%)	34 (11.3%)	59 (19.6%)	15 (5.0%)	144 (47.8%)	41 (13.6%)	38 (12.6%)	3 (1.0%)	257 (85.4%)	44 (14.6%)
6 近畿圏	228 (100.0%)	7 (3.1%)	47 (20.6%)	12 (5.3%)	47 (20.6%)	59 (25.9%)	6 (2.6%)	21 (9.2%)	198 (86.8%)	30 (13.2%)
7 中国圏	440 (100.0%)	15 (3.4%)	111 (25.2%)	6 (1.4%)	161 (36.6%)	66 (15.0%)	52 (11.8%)	78 (17.7%)	361 (82.0%)	79 (18.0%)
8 四国圏	732 (100.0%)	5 (0.7%)	198 (27.0%)	35 (4.8%)	167 (22.8%)	176 (24.0%)	83 (11.3%)	108 (14.8%)	660 (90.2%)	72 (9.8%)
9 九州圏	630 (100.0%)	11 (1.7%)	193 (30.6%)	35 (5.6%)	173 (27.5%)	51 (8.1%)	138 (21.9%)	50 (7.9%)	551 (87.5%)	79 (12.5%)
10 沖縄県	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)
合計	3,198 (100.0%)	105 (3.3%)	849 (26.5%)	119 (3.7%)	923 (28.9%)	495 (15.5%)	351 (11.0%)	295 (9.2%)	2,730 (85.4%)	468 (14.6%)

- 集落類型別でみると、消滅が危惧されていても、中心集落の場合は何らかの移動手段が提供されているが、基礎集落の場合は、移動手段がない集落が15.0%みられる。
- 民間路線バスは中心集落では7割近くが提供されているのに対して、基礎集落では3割に満たない。一方、基礎集落や基幹集落では、自家用有償旅客運送や地域住民による無償運送が1割程度みられる。

図表2-243 集落類型別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	消滅が危惧される集落	当該集落から市町村の中心部への移動手段							移動手段の有無	
		鉄道・軌道	民営路線バス	公営路線バス	デマンドバス・乗合タクシー	自家用有償旅客運送	地域住民による無償運送	その他	移動手段あり	移動手段なし
基礎集落	3,058 (100.0%)	102 (3.3%)	795 (26.0%)	114 (3.7%)	888 (29.0%)	486 (15.9%)	341 (11.2%)	283 (9.3%)	2,600 (85.0%)	458 (15.0%)
基幹集落	81 (100.0%)	3 (3.7%)	30 (37.0%)	1 (1.2%)	24 (29.6%)	8 (9.9%)	9 (11.1%)	8 (9.9%)	72 (88.9%)	9 (11.1%)
中心集落	31 (100.0%)	0 (0.0%)	21 (67.7%)	0 (0.0%)	5 (16.1%)	1 (3.2%)	1 (3.2%)	4 (12.9%)	31 (100.0%)	0 (0.0%)
無回答	28 (100.0%)	0 (0.0%)	3 (10.7%)	4 (14.3%)	6 (21.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	27 (96.4%)	1 (3.6%)
合計	3,198 (100.0%)	105 (3.3%)	849 (26.5%)	119 (3.7%)	923 (28.9%)	495 (15.5%)	351 (11.0%)	295 (9.2%)	2,730 (85.4%)	468 (14.6%)

- 地域区別でみると、何らかの移動手段が提供されている集落の割合は、都市的地域にある消滅危惧集落において最も高くなっている。
- デマンドバス・乗合タクシーは山間地や中間地にある集落の3割程度で提供されている。

図表2-244 地域区別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	消滅が危惧される集落	当該集落から市町村の中心部への移動手段							移動手段の有無	
		鉄道・軌道	民営路線バス	公営路線バス	デマンドバス・乗合タクシー	自家用有償旅客運送	地域住民による無償運送	その他	移動手段あり	移動手段なし
山間地	2,273 (100.0%)	65 (2.9%)	544 (23.9%)	98 (4.3%)	699 (30.8%)	388 (17.1%)	238 (10.5%)	208 (9.2%)	1,931 (85.0%)	342 (15.0%)
中間地	609 (100.0%)	18 (3.0%)	185 (30.4%)	17 (2.8%)	181 (29.7%)	88 (14.4%)	73 (12.0%)	52 (8.5%)	528 (86.7%)	81 (13.3%)
平地	256 (100.0%)	11 (4.3%)	101 (39.5%)	3 (1.2%)	41 (16.0%)	6 (2.3%)	40 (15.6%)	31 (12.1%)	216 (84.4%)	40 (15.6%)
都市的地域	41 (100.0%)	11 (26.8%)	17 (41.5%)	1 (2.4%)	1 (2.4%)	12 (29.3%)	0 (0.0%)	2 (4.9%)	40 (97.6%)	1 (2.4%)
無回答	19 (100.0%)	0 (0.0%)	2 (10.5%)	0 (0.0%)	1 (5.3%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	2 (10.5%)	15 (78.9%)	4 (21.1%)
合計	3,198 (100.0%)	105 (3.3%)	849 (26.5%)	119 (3.7%)	923 (28.9%)	495 (15.5%)	351 (11.0%)	295 (9.2%)	2,730 (85.4%)	468 (14.6%)

- 地形的に末端にある集落では、移動手段がない集落が17.1%を占めており、提供されている移動手段としては、デマンドバス・乗合タクシーの割合が高い。

図表2-245 地形的末端性別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【消滅が危惧される集落】

過疎地域	消滅が危惧される集落	当該集落から市町村の中心部への移動手段							移動手段の有無	
		鉄道・軌道	民営路線バス	公営路線バス	デマンドバス・乗合タクシー	自家用有償旅客運送	地域住民による無償運送	その他	移動手段あり	移動手段なし
地形的末端である	844 (100.0%)	25 (3.0%)	177 (21.0%)	45 (5.3%)	272 (32.2%)	121 (14.3%)	83 (9.8%)	74 (8.8%)	700 (82.9%)	144 (17.1%)
地形的末端でない	2,354 (100.0%)	80 (3.4%)	672 (28.5%)	74 (3.1%)	651 (27.7%)	374 (15.9%)	268 (11.4%)	221 (9.4%)	2,030 (86.2%)	324 (13.8%)
合計	3,198 (100.0%)	105 (3.3%)	849 (26.5%)	119 (3.7%)	923 (28.9%)	495 (15.5%)	351 (11.0%)	295 (9.2%)	2,730 (85.4%)	468 (14.6%)

- 集落の人口規模別で見ると、10人未満の小規模集落では移動手段がない集落が18.7%を占めている。
- また、デマンドバス・乗合タクシーが提供されている集落の割合は、25人未満の小規模集落で比較的高くなっている。

図表2-246 集落の人口規模別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	消滅が危惧される集落	当該集落から市町村の中心部への移動手段							移動手段の有無	
		鉄道・軌道	民営路線バス	公営路線バス	デマンドバス・乗合タクシー	自家用有償旅客運送	地域住民による無償運送	その他	移動手段あり	移動手段なし
～9人	1,323 (100.0%)	39 (2.9%)	323 (24.4%)	79 (6.0%)	390 (29.5%)	237 (17.9%)	113 (8.5%)	114 (8.6%)	1,076 (81.3%)	247 (18.7%)
10～24人	1,046 (100.0%)	42 (4.0%)	268 (25.6%)	24 (2.3%)	333 (31.8%)	168 (16.1%)	109 (10.4%)	101 (9.7%)	892 (85.3%)	154 (14.7%)
25～49人	447 (100.0%)	9 (2.0%)	117 (26.2%)	12 (2.7%)	124 (27.7%)	52 (11.6%)	75 (16.8%)	44 (9.8%)	400 (89.5%)	47 (10.5%)
50～99人	207 (100.0%)	5 (2.4%)	64 (30.9%)	2 (1.0%)	37 (17.9%)	28 (13.5%)	36 (17.4%)	18 (8.7%)	196 (94.7%)	11 (5.3%)
100～199人	103 (100.0%)	5 (4.9%)	38 (36.9%)	1 (1.0%)	21 (20.4%)	5 (4.9%)	15 (14.6%)	4 (3.9%)	99 (96.1%)	4 (3.9%)
200～499人	47 (100.0%)	4 (8.5%)	25 (53.2%)	0 (0.0%)	13 (27.7%)	4 (8.5%)	3 (6.4%)	0 (0.0%)	42 (89.4%)	5 (10.6%)
500～999人	3 (100.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)
無回答	22 (100.0%)	0 (0.0%)	14 (63.6%)	1 (4.5%)	4 (18.2%)	1 (4.5%)	0 (0.0%)	14 (63.6%)	22 (100.0%)	0 (0.0%)
合計	3,198 (100.0%)	105 (3.3%)	849 (26.5%)	119 (3.7%)	923 (28.9%)	495 (15.5%)	351 (11.0%)	295 (9.2%)	2,730 (85.4%)	468 (14.6%)

- 集落の世帯数規模別で見ると、10世帯未満の小規模集落では移動手段がない集落が18.7%を占めている。
- また、デマンドバス・乗合タクシーが提供されている集落の割合は、20世帯未満の小規模集落で比較的高くなっている。

図表2-247 集落の世帯数規模別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	消滅が危惧される集落	当該集落から市町村の中心部への移動手段							移動手段の有無	
		鉄道・軌道	民営路線バス	公営路線バス	デマンドバス・乗合タクシー	自家用有償旅客運送	地域住民による無償運送	その他	移動手段あり	移動手段なし
～9世帯	1,998 (100.0%)	69 (3.5%)	495 (24.8%)	94 (4.7%)	593 (29.7%)	337 (16.9%)	172 (8.6%)	164 (8.2%)	1,625 (81.3%)	373 (18.7%)
10～19世帯	673 (100.0%)	18 (2.7%)	172 (25.6%)	14 (2.1%)	217 (32.2%)	104 (15.5%)	96 (14.3%)	77 (11.4%)	612 (90.9%)	61 (9.1%)
20～29世帯	191 (100.0%)	7 (3.7%)	48 (25.1%)	6 (3.1%)	43 (22.5%)	24 (12.6%)	38 (19.9%)	23 (12.0%)	179 (93.7%)	12 (6.3%)
30～49世帯	158 (100.0%)	4 (2.5%)	54 (34.2%)	2 (1.3%)	35 (22.2%)	20 (12.7%)	27 (17.1%)	13 (8.2%)	148 (93.7%)	10 (6.3%)
50～99世帯	115 (100.0%)	3 (2.6%)	45 (39.1%)	1 (0.9%)	24 (20.9%)	6 (5.2%)	15 (13.0%)	4 (3.5%)	110 (95.7%)	5 (4.3%)
100～199世帯	23 (100.0%)	3 (13.0%)	10 (43.5%)	0 (0.0%)	5 (21.7%)	3 (13.0%)	3 (13.0%)	0 (0.0%)	20 (87.0%)	3 (13.0%)
200～499世帯	5 (100.0%)	1 (20.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)	0 (0.0%)
無回答	35 (100.0%)	0 (0.0%)	23 (65.7%)	2 (5.7%)	4 (11.4%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)	14 (40.0%)	31 (88.6%)	4 (11.4%)
合計	3,198 (100.0%)	105 (3.3%)	849 (26.5%)	119 (3.7%)	923 (28.9%)	495 (15.5%)	351 (11.0%)	295 (9.2%)	2,730 (85.4%)	468 (14.6%)

- 集落の高齢者割合別でみると、高齢者割合が75%以上の集落では、デマンドバス・乗合タクシーが運行している集落の割合が高くなっている。
- また、公営路線バスの運行割合は、高齢者割合が高い集落ほど高くなっている。

図表2-248 65歳以上人口割合別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	消滅が危惧される集落	当該集落から市町村の中心部への移動手段							移動手段の有無	
		鉄道・軌道	民営路線バス	公営路線バス	デマンドバス・乗合タクシー	自家用有償旅客運送	地域住民による無償運送	その他	移動手段あり	移動手段なし
50%未満	681 (100.0%)	27 (4.0%)	206 (30.2%)	10 (1.5%)	147 (21.6%)	76 (11.2%)	50 (7.3%)	41 (6.0%)	563 (82.7%)	118 (17.3%)
50%以上	1,321 (100.0%)	35 (2.6%)	350 (26.5%)	24 (1.8%)	379 (28.7%)	195 (14.8%)	190 (14.4%)	122 (9.2%)	1,126 (85.2%)	195 (14.8%)
75%未満	630 (100.0%)	26 (4.1%)	149 (23.7%)	34 (5.4%)	225 (35.7%)	122 (19.4%)	67 (10.6%)	63 (10.0%)	564 (89.5%)	66 (10.5%)
75%以上	520 (100.0%)	12 (2.3%)	125 (24.0%)	50 (9.6%)	158 (30.4%)	94 (18.1%)	44 (8.5%)	51 (9.8%)	432 (83.1%)	88 (16.9%)
100%未満	46 (100.0%)	5 (10.9%)	19 (41.3%)	1 (2.2%)	14 (30.4%)	8 (17.4%)	0 (0.0%)	18 (39.1%)	45 (97.8%)	1 (2.2%)
100%	3,198 (100.0%)	105 (3.3%)	849 (26.5%)	119 (3.7%)	923 (28.9%)	495 (15.5%)	351 (11.0%)	295 (9.2%)	2,730 (85.4%)	468 (14.6%)
無回答	46 (100.0%)	5 (10.9%)	19 (41.3%)	1 (2.2%)	14 (30.4%)	8 (17.4%)	0 (0.0%)	18 (39.1%)	45 (97.8%)	1 (2.2%)
合計	3,198 (100.0%)	105 (3.3%)	849 (26.5%)	119 (3.7%)	923 (28.9%)	495 (15.5%)	351 (11.0%)	295 (9.2%)	2,730 (85.4%)	468 (14.6%)

- 転入者の有無別でみると、転入者がいる集落の9割には何らかの移動手段が提供されている。

図表2-249 転入者の有無別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	消滅が危惧される集落	当該集落から市町村の中心部への移動手段							移動手段の有無	
		鉄道・軌道	民営路線バス	公営路線バス	デマンドバス・乗合タクシー	自家用有償旅客運送	地域住民による無償運送	その他	移動手段あり	移動手段なし
転入者がいる	680 (100.0%)	25 (3.7%)	173 (25.4%)	6 (0.9%)	210 (30.9%)	92 (13.5%)	60 (8.8%)	74 (10.9%)	616 (90.6%)	64 (9.4%)
転入者がいない	1,174 (100.0%)	22 (1.9%)	274 (23.3%)	82 (7.0%)	347 (29.6%)	231 (19.7%)	178 (15.2%)	134 (11.4%)	1,020 (86.9%)	154 (13.1%)
分からない	1,234 (100.0%)	56 (4.5%)	387 (31.4%)	27 (2.2%)	311 (25.2%)	170 (13.8%)	104 (8.4%)	68 (5.5%)	995 (80.6%)	239 (19.4%)
無回答	110 (100.0%)	2 (1.8%)	15 (13.6%)	4 (3.6%)	55 (50.0%)	2 (1.8%)	9 (8.2%)	19 (17.3%)	99 (90.0%)	11 (10.0%)
合計	3,198 (100.0%)	105 (3.3%)	849 (26.5%)	119 (3.7%)	923 (28.9%)	495 (15.5%)	351 (11.0%)	295 (9.2%)	2,730 (85.4%)	468 (14.6%)

### ③居住快適性

#### 【全体】

- 集落の居住快適性をみると、6割超の集落では空き家の管理が不十分であり、4割超の集落では道路や用排水路等の管理が不十分又は荒廃している状態となっている。
- 地域指定別でみると、半島地域や振興山村では空き家の管理状態が悪い集落の割合が比較的高い。

図表2-250 地域指定別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【全体】

全体	消滅が危惧される集落	空き家の管理状況					道路・用排水路・河川等の管理状態			
		空き家は ない	概ね良好 に管理	一部は 管理 不十分	大部分は 管理 不十分	無回答	良好に 管理	管理 不十分	荒廃	無回答
合計	3,622 (100.0%)	140 (3.9%)	992 (27.4%)	1,821 (50.3%)	441 (12.2%)	227 (6.3%)	1,900 (52.5%)	1,501 (41.4%)	45 (1.2%)	175 (4.8%)
過疎地域	3,198 (100.0%)	129 (4.0%)	909 (28.4%)	1,627 (50.9%)	402 (12.6%)	130 (4.1%)	1,681 (52.6%)	1,363 (42.6%)	44 (1.4%)	109 (3.4%)
振興山村	2,138 (100.0%)	89 (4.2%)	572 (26.8%)	1,164 (54.4%)	239 (11.2%)	73 (3.4%)	1,108 (51.8%)	946 (44.2%)	33 (1.5%)	50 (2.3%)
離島	182 (100.0%)	1 (0.5%)	69 (37.9%)	80 (44.0%)	28 (15.4%)	4 (2.2%)	92 (50.5%)	80 (44.0%)	5 (2.7%)	5 (2.7%)
半島	597 (100.0%)	2 (0.3%)	143 (24.0%)	343 (57.5%)	71 (11.9%)	38 (6.4%)	386 (64.7%)	176 (29.5%)	4 (0.7%)	31 (5.2%)
特別豪雪地帯	574 (100.0%)	76 (13.2%)	149 (26.0%)	192 (33.4%)	38 (6.6%)	119 (20.7%)	360 (62.7%)	115 (20.0%)	8 (1.4%)	91 (15.9%)

#### 【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落の居住快適性をみると、6割以上の集落では空き家の管理が不十分であり、4割超の集落では道路や用排水路等の管理が不十分である。
- 地方ブロック別でみると、四国圏や九州圏では空き家の管理状態について「大部分は管理不十分」である集落の割合が高い。また四国圏では、道路や用排水路等の管理が不十分あるいは荒廃している集落の割合も高くなっている。

図表2-251 地方ブロック別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	消滅が危惧される集落	空き家の管理状況					道路・用排水路・河川等の管理状態			
		空き家は ない	概ね良好 に管理	一部は 管理 不十分	大部分は 管理 不十分	無回答	良好に 管理	管理 不十分	荒廃	無回答
1 北海道	233 (100.0%)	15 (6.4%)	80 (34.3%)	103 (44.2%)	19 (8.2%)	16 (6.9%)	199 (85.4%)	19 (8.2%)	0 (0.0%)	15 (6.4%)
2 東北圏	439 (100.0%)	54 (12.3%)	204 (46.5%)	132 (30.1%)	18 (4.1%)	31 (7.1%)	323 (73.6%)	88 (20.0%)	3 (0.7%)	25 (5.7%)
3 首都圏	97 (100.0%)	0 (0.0%)	28 (28.9%)	68 (70.1%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)	68 (70.1%)	26 (26.8%)	3 (3.1%)	0 (0.0%)
4 北陸圏	97 (100.0%)	12 (12.4%)	24 (24.7%)	56 (57.7%)	5 (5.2%)	0 (0.0%)	63 (64.9%)	29 (29.9%)	5 (5.2%)	0 (0.0%)
5 中部圏	301 (100.0%)	16 (5.3%)	67 (22.3%)	201 (66.8%)	15 (5.0%)	2 (0.7%)	139 (46.2%)	155 (51.5%)	3 (1.0%)	4 (1.3%)
6 近畿圏	228 (100.0%)	0 (0.0%)	44 (19.3%)	133 (58.3%)	29 (12.7%)	22 (9.6%)	154 (67.5%)	68 (29.8%)	2 (0.9%)	4 (1.8%)
7 中国圏	440 (100.0%)	13 (3.0%)	97 (22.0%)	294 (66.8%)	29 (6.6%)	7 (1.6%)	226 (51.4%)	198 (45.0%)	7 (1.6%)	9 (2.0%)
8 四国圏	732 (100.0%)	17 (2.3%)	203 (27.7%)	374 (51.1%)	114 (15.6%)	23 (3.1%)	226 (30.9%)	471 (64.3%)	11 (1.5%)	23 (3.1%)
9 九州圏	630 (100.0%)	2 (0.3%)	162 (25.7%)	266 (42.2%)	171 (27.1%)	29 (4.6%)	283 (44.9%)	309 (49.0%)	9 (1.4%)	29 (4.6%)
10 沖縄県	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (100.0%)	0 (0.0%)
合計	3,198 (100.0%)	129 (4.0%)	909 (28.4%)	1,627 (50.9%)	402 (12.6%)	130 (4.1%)	1,681 (52.6%)	1,363 (42.6%)	44 (1.4%)	109 (3.4%)

- 集落類型別でみると、基礎集落では大部分の空き家の管理が不十分という消滅危惧集落の割合が12.9%と1割を超えている一方、中心集落では7割以上で空き家は概ね良好に管理されている。
- 基礎集落では、道路や用排水路等の管理が不十分あるいは荒廃している集落の割合も高い。

図表2-252 集落類型別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	消滅が危惧される集落	空き家の管理状況					道路・用排水路・河川等の管理状態			
		空き家は ない	概ね良好 に管理	一部は 管理 不十分	大部分は 管理 不十分	無回答	良好に 管理	管理 不十分	荒廃	無回答
基礎集落	3,058 (100.0%)	126 (4.1%)	841 (27.5%)	1,566 (51.2%)	394 (12.9%)	130 (4.3%)	1,581 (51.7%)	1,323 (43.3%)	44 (1.4%)	109 (3.6%)
基幹集落	81 (100.0%)	3 (3.7%)	24 (29.6%)	49 (60.5%)	5 (6.2%)	0 (0.0%)	50 (61.7%)	31 (38.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
中心集落	31 (100.0%)	0 (0.0%)	22 (71.0%)	7 (22.6%)	2 (6.5%)	0 (0.0%)	25 (80.6%)	6 (19.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
無回答	28 (100.0%)	0 (0.0%)	22 (78.6%)	5 (17.9%)	1 (3.6%)	0 (0.0%)	25 (89.3%)	3 (10.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	3,198 (100.0%)	129 (4.0%)	909 (28.4%)	1,627 (50.9%)	402 (12.6%)	130 (4.1%)	1,681 (52.6%)	1,363 (42.6%)	44 (1.4%)	109 (3.4%)

- 地域区分別でみると、山間地、中間地、平地の集落では、大部分の空き家の管理が不十分という割合が1割を超えており、「一部は管理不十分」と合わせると、山間地の消滅危惧集落の7割弱で空き家の管理が不十分な状態となっている。
- 山間地集落では、道路や用排水路等の管理が不十分又は荒廃している集落の割合も高い。

図表2-253 地域区分別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	消滅が危惧される集落	空き家の管理状況					道路・用排水路・河川等の管理状態			
		空き家は ない	概ね良好 に管理	一部は 管理 不十分	大部分は 管理 不十分	無回答	良好に 管理	管理 不十分	荒廃	無回答
山間地	2,273 (100.0%)	84 (3.7%)	573 (25.2%)	1,250 (55.0%)	283 (12.5%)	82 (3.6%)	1,120 (49.3%)	1,057 (46.5%)	34 (1.5%)	61 (2.7%)
中間地	609 (100.0%)	30 (4.9%)	195 (32.0%)	266 (43.7%)	83 (13.6%)	35 (5.7%)	338 (55.5%)	230 (37.8%)	7 (1.1%)	34 (5.6%)
平地	256 (100.0%)	11 (4.3%)	111 (43.4%)	86 (33.6%)	35 (13.7%)	13 (5.1%)	174 (68.0%)	65 (25.4%)	3 (1.2%)	14 (5.5%)
都市的領域	41 (100.0%)	4 (9.8%)	18 (43.9%)	18 (43.9%)	1 (2.4%)	0 (0.0%)	36 (87.8%)	5 (12.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
無回答	19 (100.0%)	0 (0.0%)	12 (63.2%)	7 (36.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	13 (68.4%)	6 (31.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	3,198 (100.0%)	129 (4.0%)	909 (28.4%)	1,627 (50.9%)	402 (12.6%)	130 (4.1%)	1,681 (52.6%)	1,363 (42.6%)	44 (1.4%)	109 (3.4%)

- 地形的に末端にある集落では、7割超で空き家の管理が不十分となっており、半数以上では道路や用排水路等の管理が不十分又は荒廃している。

図表2-254 地形的末端性別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	消滅が危惧される集落	空き家の管理状況					道路・用排水路・河川等の管理状態			
		空き家は ない	概ね良好 に管理	一部は 管理 不十分	大部分は 管理 不十分	無回答	良好に 管理	管理 不十分	荒廃	無回答
地形的末端 である	844 (100.0%)	27 (3.2%)	183 (21.7%)	488 (57.8%)	113 (13.4%)	33 (3.9%)	378 (44.8%)	420 (49.8%)	21 (2.5%)	25 (3.0%)
地形的末端 でない	2,354 (100.0%)	102 (4.3%)	726 (30.8%)	1,139 (48.4%)	289 (12.3%)	97 (4.1%)	1,303 (55.4%)	943 (40.1%)	23 (1.0%)	84 (3.6%)
合計	3,198 (100.0%)	129 (4.0%)	909 (28.4%)	1,627 (50.9%)	402 (12.6%)	130 (4.1%)	1,681 (52.6%)	1,363 (42.6%)	44 (1.4%)	109 (3.4%)

- 集落の人口規模別で見ると、空き家の管理状況については人口規模に応じた変化はあまりみられないが、道路や用排水路等の管理状態については、50人未満の小規模集落では管理が不十分又は荒廃している集落の割合が高くなっている。

図表2-255 集落の人口規模別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	消滅が危惧される集落	空き家の管理状況					道路・用排水路・河川等の管理状態			
		空き家は ない	概ね良好 に管理	一部は 管理 不十分	大部分は 管理 不十分	無回答	良好に 管理	管理 不十分	荒廃	無回答
～9人	1,323 (100.0%)	77 (5.8%)	366 (27.7%)	645 (48.8%)	175 (13.2%)	59 (4.5%)	602 (45.5%)	630 (47.6%)	39 (2.9%)	51 (3.9%)
10～24人	1,046 (100.0%)	41 (3.9%)	282 (27.0%)	561 (53.6%)	115 (11.0%)	47 (4.5%)	559 (53.4%)	445 (42.5%)	4 (0.4%)	38 (3.6%)
25～49人	447 (100.0%)	8 (1.8%)	120 (26.8%)	236 (52.8%)	66 (14.8%)	17 (3.8%)	253 (56.6%)	180 (40.3%)	0 (0.0%)	14 (3.1%)
50～99人	207 (100.0%)	2 (1.0%)	79 (38.2%)	93 (44.9%)	26 (12.6%)	7 (3.4%)	147 (71.0%)	54 (26.1%)	0 (0.0%)	6 (2.9%)
100～199人	103 (100.0%)	0 (0.0%)	32 (31.1%)	58 (56.3%)	13 (12.6%)	0 (0.0%)	78 (75.7%)	24 (23.3%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)
200～499人	47 (100.0%)	0 (0.0%)	19 (40.4%)	24 (51.1%)	4 (8.5%)	0 (0.0%)	34 (72.3%)	13 (27.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
500～999人	3 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
無回答	22 (100.0%)	1 (4.5%)	10 (45.5%)	8 (36.4%)	3 (13.6%)	0 (0.0%)	6 (27.3%)	16 (72.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	3,198 (100.0%)	129 (4.0%)	909 (28.4%)	1,627 (50.9%)	402 (12.6%)	130 (4.1%)	1,681 (52.6%)	1,363 (42.6%)	44 (1.4%)	109 (3.4%)

- 集落の世帯数規模別で見ると、人口規模別と同様、空き家の管理状況については世帯規模に応じた変化はあまりみられないが、道路や用排水路等の管理状態については、30世帯未満の小規模集落では管理不十分又は荒廃している集落の割合が高くなっている。

図表2-256 集落の世帯数規模別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	消滅が危惧される集落	空き家の管理状況					道路・用排水路・河川等の管理状態			
		空き家は ない	概ね良好 に管理	一部は 管理 不十分	大部分は 管理 不十分	無回答	良好に 管理	管理 不十分	荒廃	無回答
～9世帯	1,998 (100.0%)	116 (5.8%)	551 (27.6%)	985 (49.3%)	246 (12.3%)	99 (5.0%)	964 (48.2%)	910 (45.5%)	41 (2.1%)	82 (4.1%)
10～19世帯	673 (100.0%)	11 (1.6%)	178 (26.4%)	381 (56.6%)	82 (12.2%)	21 (3.1%)	376 (55.9%)	277 (41.2%)	2 (0.3%)	18 (2.7%)
20～29世帯	191 (100.0%)	0 (0.0%)	54 (28.3%)	95 (49.7%)	35 (18.3%)	7 (3.7%)	104 (54.5%)	81 (42.4%)	0 (0.0%)	6 (3.1%)
30～49世帯	158 (100.0%)	0 (0.0%)	56 (35.4%)	80 (50.6%)	19 (12.0%)	3 (1.9%)	114 (72.2%)	40 (25.3%)	1 (0.6%)	3 (1.9%)
50～99世帯	115 (100.0%)	1 (0.9%)	45 (39.1%)	56 (48.7%)	13 (11.3%)	0 (0.0%)	87 (75.7%)	28 (24.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
100～199世帯	23 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (4.3%)	18 (78.3%)	4 (17.4%)	0 (0.0%)	13 (56.5%)	10 (43.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
200～499世帯	5 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	4 (80.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (80.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
無回答	35 (100.0%)	1 (2.9%)	23 (65.7%)	8 (22.9%)	3 (8.6%)	0 (0.0%)	19 (54.3%)	16 (45.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	3,198 (100.0%)	129 (4.0%)	909 (28.4%)	1,627 (50.9%)	402 (12.6%)	130 (4.1%)	1,681 (52.6%)	1,363 (42.6%)	44 (1.4%)	109 (3.4%)

- 集落の高齢者割合別でみると、高齢者割合が 50%以上になると、大部分の空き家が管理不十分という集落の割合が1割を超える。
- 道路や用排水路等の管理状態も、高齢者割合が 50%以上の集落において管理不十分な集落の割合が高くなっている、

図表2-257 65歳以上人口割合別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	消滅が危惧される集落	空き家の管理状況					道路・用排水路・河川等の管理状態			
		空き家は ない	概ね良好 に管理	一部は 管理 不十分	大部分は 管理 不十分	無回答	良好に 管理	管理 不十分	荒廃	無回答
50%未満	681 (100.0%)	47 (6.9%)	223 (32.7%)	322 (47.3%)	44 (6.5%)	45 (6.6%)	429 (63.0%)	203 (29.8%)	10 (1.5%)	39 (5.7%)
50%以上 75%未満	1,321 (100.0%)	31 (2.3%)	353 (26.7%)	687 (52.0%)	202 (15.3%)	47 (3.6%)	699 (52.9%)	574 (43.5%)	9 (0.7%)	38 (2.9%)
75%以上 100%未満	630 (100.0%)	18 (2.9%)	180 (28.6%)	347 (55.1%)	66 (10.5%)	19 (3.0%)	315 (50.0%)	298 (47.3%)	4 (0.6%)	13 (2.1%)
100%	520 (100.0%)	32 (6.2%)	137 (26.3%)	259 (49.8%)	77 (14.8%)	15 (2.9%)	222 (42.7%)	263 (50.6%)	21 (4.0%)	14 (2.7%)
無回答	46 (100.0%)	1 (2.2%)	16 (34.8%)	12 (26.1%)	13 (28.3%)	4 (8.7%)	16 (34.8%)	25 (54.3%)	0 (0.0%)	5 (10.9%)
合計	3,198 (100.0%)	129 (4.0%)	909 (28.4%)	1,627 (50.9%)	402 (12.6%)	130 (4.1%)	1,681 (52.6%)	1,363 (42.6%)	44 (1.4%)	109 (3.4%)

- 転入者の有無別でみると、転入者がいない集落では2割以上で空き家の大部分が管理不十分となっている。
- 道路や用排水路等についても、転入者がいない集落の方が管理状態が悪い集落の割合が高い。

図表2-258 転入者の有無別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	消滅が危惧される集落	空き家の管理状況					道路・用排水路・河川等の管理状態			
		空き家は ない	概ね良好 に管理	一部は 管理 不十分	大部分は 管理 不十分	無回答	良好に 管理	管理 不十分	荒廃	無回答
転入者が いる	680 (100.0%)	17 (2.5%)	225 (33.1%)	333 (49.0%)	83 (12.2%)	21 (3.1%)	400 (58.8%)	261 (38.4%)	1 (0.1%)	17 (2.5%)
転入者は いない	1,174 (100.0%)	55 (4.7%)	280 (23.9%)	555 (47.3%)	257 (21.9%)	27 (2.3%)	535 (45.6%)	585 (49.8%)	29 (2.5%)	25 (2.1%)
分からない	1,234 (100.0%)	55 (4.5%)	397 (32.2%)	656 (53.2%)	53 (4.3%)	73 (5.9%)	726 (58.8%)	437 (35.4%)	14 (1.1%)	57 (4.6%)
無回答	110 (100.0%)	2 (1.8%)	7 (6.4%)	83 (75.5%)	9 (8.2%)	9 (8.2%)	20 (18.2%)	80 (72.7%)	0 (0.0%)	10 (9.1%)
合計	3,198 (100.0%)	129 (4.0%)	909 (28.4%)	1,627 (50.9%)	402 (12.6%)	130 (4.1%)	1,681 (52.6%)	1,363 (42.6%)	44 (1.4%)	109 (3.4%)

## 2-4. 前回調査との比較による集落の経年変化

### (1) 集落数及び集落の人口・世帯数の動向

#### ① 集落数の推移

##### 【全体】

- 居住者がいる集落のうち、前回調査で回答のあった集落（以下「前回調査対象集落」という。）について経年変化をみると、条件不利地域全体では集落数は0.5%（343集落）減少した。

図表2-259 地域指定別 前回調査対象地域における集落数の推移【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域	前回調査 対象集落 (A)	消滅集落 (B)	集落再編により減少した集落			新たに 誕生 (D)	前回 回答漏れ等 (E)	現集落数 (A-B- C+D+E)	4年間 増減率
			他に編入	他と合併 又は分離	計 (C)				
合計	75,398 (100.0%)	164 (0.2%)	93 (0.1%)	259 (0.3%)	352 (0.5%)	124 (0.2%)	49 (0.1%)	75,055 (99.5%)	-0.5%
過疎地域	62,675 (100.0%)	140 (0.2%)	72 (0.1%)	256 (0.4%)	328 (0.5%)	75 (0.1%)	43 (0.1%)	62,325 (99.0%)	-0.6%
振興山村	26,941 (100.0%)	77 (0.3%)	41 (0.2%)	153 (0.6%)	194 (0.7%)	27 (0.1%)	27 (0.1%)	26,724 (98.7%)	-0.8%
離島	2,346 (100.0%)	5 (0.2%)	3 (0.1%)	1 (0.0%)	4 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2,337 (99.6%)	-0.4%
半島	14,549 (100.0%)	19 (0.1%)	15 (0.1%)	32 (0.2%)	47 (0.3%)	17 (0.1%)	9 (0.1%)	14,509 (99.4%)	-0.3%
特別豪雪地帯	11,783 (100.0%)	35 (0.3%)	16 (0.1%)	73 (0.6%)	89 (0.8%)	21 (0.2%)	7 (0.1%)	11,687 (98.7%)	-0.8%

※前回調査での集落の括りとは異なる括りで回答された場合は、比較の便宜上、今回調査の集落数に統一している。

※「他に編入」…他の集落に統合され、当該集落の名称がなくなった集落

「他と合併」…他の集落とともに新しい名前前の集落を形成した集落(当該集落の名称も変更)

「分離」…複数の集落に分かれて合併した集落

##### 【過疎地域のみ】

- 現在の過疎地域の集落のうち、前回調査時点においても過疎地域であった集落を抽出して経年変化をみると、集落数は0.6%（349集落）減少している。この内訳は、消滅（無人化）した集落（139集落）や集落再編により減少した集落（327集落）のほか、新たに誕生した集落（74集落）等がみられる。
- 地方ブロック別でみると、沖縄県以外のブロックでは集落数が減少しており、特に北海道での減少が大きい。

図表2-260 地方ブロック別 前回調査対象地域における集落の推移【前回調査時の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査 対象集落 (A)	消滅集落 (B)	集落再編により減少した集落			新たに 誕生 (D)	前回 回答漏れ等 (E)	現集落数 (A-B- C+D+E)	4年間 増減率
			他に編入	他と合併 又は分離	計 (C)				
1 北海道	3,841 (100.0%)	12 (0.3%)	12 (0.3%)	77 (2.0%)	89 (2.3%)	3 (0.1%)	2 (0.1%)	3,745 (97.5%)	-2.5%
2 東北圏	13,705 (100.0%)	16 (0.1%)	13 (0.1%)	8 (0.1%)	21 (0.2%)	21 (0.2%)	9 (0.1%)	13,698 (99.9%)	-0.1%
3 首都圏	1,885 (100.0%)	1 (0.1%)	6 (0.3%)	5 (0.3%)	11 (0.6%)	3 (0.2%)	0 (0.0%)	1,876 (99.5%)	-0.5%
4 北陸圏	1,711 (100.0%)	11 (0.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1,700 (99.4%)	-0.6%
5 中部圏	3,566 (100.0%)	5 (0.1%)	9 (0.3%)	6 (0.2%)	15 (0.4%)	1 (0.0%)	4 (0.1%)	3,551 (99.6%)	-0.4%
6 近畿圏	3,081 (100.0%)	8 (0.3%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3,072 (99.7%)	-0.3%
7 中国圏	12,417 (100.0%)	40 (0.3%)	4 (0.0%)	21 (0.2%)	25 (0.2%)	13 (0.1%)	3 (0.0%)	12,368 (99.6%)	-0.4%
8 四国圏	6,980 (100.0%)	19 (0.3%)	6 (0.1%)	27 (0.4%)	33 (0.5%)	16 (0.2%)	1 (0.0%)	6,945 (99.5%)	-0.5%
9 九州圏	14,410 (100.0%)	27 (0.2%)	20 (0.1%)	112 (0.8%)	132 (0.9%)	17 (0.1%)	24 (0.2%)	14,292 (99.2%)	-0.8%
10 沖縄県	264 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	264 (100.0%)	0.0%
合計	61,860 (100.0%)	139 (0.2%)	71 (0.1%)	256 (0.4%)	327 (0.5%)	74 (0.1%)	43 (0.1%)	61,511 (99.4%)	-0.6%

※前回調査での集落の括りとは異なる括りで回答された場合は、比較の便宜上、今回調査の集落数に統一している。

## ②集落人口の推移

### 【全体】

- 前回調査対象地域における集落人口の推移をみると、全体では4年間増減率は-6.2%である。
- 集落あたり平均人口をみると、条件不利地域全体では 192.3 人/集落であり、前回調査時の平均人口 (204.0 人/集落)より約 12 人減少している。
- 地域指定別でみると、集落人口の減少率が最も大きいのは離島地域(-8.9%)である。

図表2-261 地域指定別 前回調査対象地域の集落人口及び集落あたり平均人口の推移【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域	集落人口			集落あたり平均人口		
	今回調査 R1(2019)年	前回調査 H27(2015)年	4年間 増減率	今回調査	前回調査	4年間 増減(人)
合計	14,430,692	15,383,259	-6.2%	192.3	204.0	-11.8
過疎地域	9,954,607	10,471,074	-4.9%	159.7	169.1	-9.4
振興山村	3,142,882	3,434,527	-8.5%	117.6	127.1	-9.5
離島	365,456	401,163	-8.9%	156.4	170.6	-14.3
半島	3,792,536	4,062,942	-6.7%	261.4	278.6	-17.2
特別豪雪地帯	2,472,210	2,680,494	-7.8%	211.5	226.9	-15.4

### 【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域における集落人口の推移をみると、全体では4年間増減率は-6.9%であり、特に首都圏(-8.8%)や四国圏(-8.0%)で減少率が高くなっている。
- 集落あたり平均人口をみると、全体では 158.4 人/集落であり、前回調査時の平均人口 (169.3 人/集落)より約 11 人減少している。
- 地方ブロック別でみると、集落の人口規模が最も縮小しているのは首都圏であり、前回調査時の平均人口より約 17 人減少している。

図表2-262 地方ブロック別 前回調査対象地域の集落人口及び集落あたり平均人口の推移【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	集落人口			集落あたり平均人口		
	今回調査 R1(2019)年	前回調査 H27(2015)年	4年間 増減率	今回調査	前回調査	4年間 増減(人)
1 北海道	1,322,229 (13.6%)	1,405,756 (13.4%)	-5.9%	353.1	366.0	-12.9
2 東北圏	2,435,846 (25.0%)	2,645,910 (25.3%)	-7.9%	177.8	193.1	-15.2
3 首都圏	344,759 (3.5%)	378,143 (3.6%)	-8.8%	183.8	200.6	-16.8
4 北陸圏	205,785 (2.1%)	222,350 (2.1%)	-7.4%	121.1	130.0	-8.9
5 中部圏	498,684 (5.1%)	536,496 (5.1%)	-7.0%	140.4	150.4	-10.0
6 近畿圏	570,540 (5.9%)	600,798 (5.7%)	-5.0%	185.7	195.0	-9.3
7 中国圏	1,147,604 (11.8%)	1,235,838 (11.8%)	-7.1%	92.8	99.5	-6.7
8 四国圏	711,845 (7.3%)	774,128 (7.4%)	-8.0%	102.5	110.9	-8.4
9 九州圏	2,405,748 (24.7%)	2,567,579 (24.5%)	-6.3%	168.3	178.2	-9.9
10 沖縄県	102,445 (1.1%)	104,077 (1.0%)	-1.6%	388.0	394.2	-6.2
合計	9,745,485 (100.0%)	10,471,075 (100.0%)	-6.9%	158.4	169.3	-10.8

### ③集落世帯数の推移

#### 【全体】

- 前回調査対象地域における集落世帯数の推移をみると、全体では4年間増減率は 0.1%であり、人口と異なり世帯数は微増している。
- 地域指定別でみると、集落世帯数の減少率が最も大きいのは離島地域(-5.9%)である。
- 集落あたり平均世帯数をみると、全体では 85.1 世帯/集落であり、前回調査時の平均世帯数(84.6 世帯/集落)とほぼ変わらない。
- 地域指定別でみると、集落の世帯数の規模が最も縮小しているのは離島地域であり、前回調査時の平均世帯数より4.4 世帯減少している。

図表2-263 地域指定別 前回調査対象地域の集落世帯数及び集落あたり平均世帯数の推移 【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域	集落世帯数			集落あたり平均世帯数		
	今回調査 R1(2019)年	前回調査 H27(2015)年	4年間 増減率	今回調査	前回調査	4年間増減 (世帯)
合計	6,388,426	6,378,938	0.1%	85.1	84.6	0.5
過疎地域	4,478,323	4,399,533	1.8%	71.9	71.1	0.8
振興山村	1,377,345	1,414,368	-2.6%	51.5	52.4	-0.8
離島	184,600	196,098	-5.9%	79.0	83.4	-4.4
半島	1,694,465	1,721,121	-1.5%	116.8	118.0	-1.2
特別豪雪地帯	1,054,162	1,096,276	-3.8%	90.2	92.8	-2.6

#### 【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域における集落世帯数の推移をみると、全体では4年間増減率は-0.1%であり、地方ブロック別では、首都圏(-2.7%)や東北圏(-1.3%)、四国圏(-1.3%)で減少率がやや高くなっている。
- 集落あたり平均世帯数をみると、全体では 71.4 世帯/集落であり、前回調査時の平均世帯数(71.1 世帯/集落)とほぼ変わらない。地方ブロック別でみると、集落の世帯数が最も縮小しているのは首都圏であり、前回調査時の平均世帯数より約 2 世帯減少している。

図表2-264 地方ブロック別 前回調査対象地域の集落世帯数及び集落あたり平均世帯数の推移 【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	集落世帯数			集落あたり平均世帯数		
	今回調査 R1(2019)年	前回調査 H27(2015)年	4年間 増減率	今回調査	前回調査	4年間増減 (世帯)
1 北海道	690,435 (15.7%)	687,996 (15.6%)	0.4%	184.4	179.1	5.2
2 東北圏	984,216 (22.4%)	997,272 (22.7%)	-1.3%	71.9	72.8	-0.9
3 首都圏	151,596 (3.4%)	155,843 (3.5%)	-2.7%	80.8	82.7	-1.9
4 北陸圏	81,870 (1.9%)	78,868 (1.8%)	3.8%	48.2	46.1	2.1
5 中部圏	212,843 (4.8%)	211,037 (4.8%)	0.9%	59.9	59.2	0.8
6 近畿圏	257,930 (5.9%)	253,648 (5.8%)	1.7%	84.0	82.3	1.6
7 中国圏	516,394 (11.8%)	507,306 (11.5%)	1.8%	41.8	40.9	0.9
8 四国圏	340,477 (7.7%)	344,851 (7.8%)	-1.3%	49.0	49.4	-0.4
9 九州圏	1,107,429 (25.2%)	1,113,230 (25.3%)	-0.5%	77.5	77.3	0.2
10 沖縄県	51,487 (1.2%)	49,483 (1.1%)	4.0%	195.0	187.4	7.6
合計	4,394,677 (100.0%)	4,399,534 (100.0%)	-0.1%	71.4	71.1	0.3

#### ④集落の人口規模別集落数の推移

##### 【全体】

- 人口規模別集落数について、前回調査の結果と今回調査における前回調査対象地域の集計結果を比較すると、25人未満の小規模集落は前回調査時の11.9%から今回調査では13.8%と拡大している。50人未満でも、今回調査では30.6%と初めて30%を超えた。

図表2-265 前回調査対象地域における集落の人口規模別 集落数【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
合計	2,963 (3.9%)	7,459 (9.9%)	12,626 (16.8%)	17,369 (23.1%)	16,117 (21.5%)	12,103 (16.1%)	3,536 (4.7%)	1,781 (2.4%)	1,101 (1.5%)	75,055 (100.0%)
参考： 前回調査	2,514 (3.3%)	6,507 (8.6%)	12,284 (16.2%)	17,520 (23.2%)	17,028 (22.5%)	13,243 (17.5%)	3,779 (5.0%)	1,902 (2.5%)	885 (1.2%)	75,662 (100.0%)

##### 【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域における人口規模別集落数を前回調査時と比較すると、前回調査では25人未満の小規模集落が12.8%を占めていたが、今回調査ではその比率は15.4%と拡大している。50人未満でも、前回調査の30.2%から今回調査では34.0%と拡大している。
- 地域区分別でみると、25人未満の集落の割合は山間地集落において前回調査時(25.2%)から4ポイント拡大して29.2%となっている。

図表2-266 前回調査対象地域における地域区分別・集落の人口規模別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
山間地	1,802 (9.2%)	3,909 (20.0%)	5,011 (25.6%)	4,523 (23.1%)	2,724 (13.9%)	1,152 (5.9%)	185 (0.9%)	44 (0.2%)	193 (1.0%)	19,543 (100.0%)
中間地	484 (2.7%)	1,643 (9.0%)	3,360 (18.5%)	4,954 (27.2%)	4,222 (23.2%)	2,605 (14.3%)	489 (2.7%)	207 (1.1%)	233 (1.3%)	18,197 (100.0%)
平地	303 (1.6%)	1,050 (5.5%)	2,581 (13.5%)	4,822 (25.2%)	5,189 (27.1%)	3,833 (20.0%)	914 (4.8%)	316 (1.7%)	127 (0.7%)	19,135 (100.0%)
都市的地域	43 (1.0%)	185 (4.4%)	392 (9.4%)	735 (17.6%)	917 (22.0%)	1,146 (27.5%)	464 (11.1%)	276 (6.6%)	14 (0.3%)	4,172 (100.0%)
無回答	13 (2.8%)	43 (9.3%)	76 (16.4%)	102 (22.0%)	106 (22.8%)	80 (17.2%)	26 (5.6%)	7 (1.5%)	11 (2.4%)	464 (100.0%)
合計	2,645 (4.3%)	6,830 (11.1%)	11,420 (18.6%)	15,136 (24.6%)	13,158 (21.4%)	8,816 (14.3%)	2,078 (3.4%)	850 (1.4%)	578 (0.9%)	61,511 (100.0%)

図表2-267 <参考:前回調査>地域区分別・集落の人口規模別 集落数【過疎地域等】

前回調査 過疎地域等	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
山間地	1,562 (7.8%)	3,479 (17.4%)	5,026 (25.1%)	4,933 (24.6%)	3,169 (15.8%)	1,414 (7.1%)	238 (1.2%)	55 (0.3%)	155 (0.8%)	20,031 (100.0%)
中間地	404 (2.1%)	1,483 (7.7%)	3,419 (17.8%)	5,159 (26.9%)	4,757 (24.8%)	3,054 (15.9%)	556 (2.9%)	225 (1.2%)	117 (0.6%)	19,174 (100.0%)
平地	279 (1.3%)	936 (4.5%)	2,528 (12.2%)	4,906 (23.7%)	5,704 (27.5%)	4,605 (22.2%)	1,194 (5.8%)	400 (1.9%)	173 (0.8%)	20,725 (100.0%)
都市的地域	44 (0.9%)	151 (2.9%)	398 (7.7%)	773 (14.9%)	1,010 (19.5%)	1,426 (27.6%)	730 (14.1%)	406 (7.9%)	233 (4.5%)	5,171 (100.0%)
無回答	2 (0.6%)	10 (2.9%)	23 (6.8%)	87 (25.7%)	86 (25.4%)	69 (20.4%)	20 (5.9%)	9 (2.7%)	33 (9.7%)	339 (100.0%)
合計	2,291 (3.5%)	6,059 (9.3%)	11,394 (17.4%)	15,858 (24.2%)	14,726 (22.5%)	10,568 (16.1%)	2,738 (4.2%)	1,095 (1.7%)	711 (1.1%)	65,440 (100.0%)

※前回調査では、調査時点の過疎地域に加え、調査時点では非過疎地域であり活性化法において過疎地域であった区域を含めて「過疎地域等」として集計している。以下、表題に<参考:前回調査>とある表において同じ。

- 前回調査の過疎地域における人口規模別集落数について、地方ブロック別でみると、人口規模が10人未満の集落が占める割合は前回調査と同じく四国圏で特に高いが、全てのブロックで前回調査より拡大している。

図表2-268 前回調査対象地域における地方ブロック別・集落の人口規模別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
1 北海道	163 (4.4%)	405 (10.8%)	694 (18.5%)	738 (19.7%)	724 (19.3%)	618 (16.5%)	221 (5.9%)	181 (4.8%)	1 (0.0%)	3,745 (100.0%)
2 東北圏	358 (2.6%)	823 (6.0%)	1,897 (13.8%)	3,472 (25.3%)	3,698 (27.0%)	2,574 (18.8%)	519 (3.8%)	192 (1.4%)	165 (1.2%)	13,698 (100.0%)
3 首都圏	41 (2.2%)	154 (8.2%)	266 (14.2%)	424 (22.6%)	451 (24.0%)	382 (20.4%)	91 (4.9%)	33 (1.8%)	34 (1.8%)	1,876 (100.0%)
4 北陸圏	102 (6.0%)	164 (9.6%)	270 (15.9%)	508 (29.9%)	400 (23.5%)	208 (12.2%)	41 (2.4%)	7 (0.4%)	0 (0.0%)	1,700 (100.0%)
5 中部圏	203 (5.7%)	447 (12.6%)	695 (19.6%)	799 (22.5%)	752 (21.2%)	492 (13.9%)	126 (3.5%)	37 (1.0%)	0 (0.0%)	3,551 (100.0%)
6 近畿圏	124 (4.0%)	276 (9.0%)	454 (14.8%)	741 (24.1%)	780 (25.4%)	503 (16.4%)	113 (3.7%)	64 (2.1%)	17 (0.6%)	3,072 (100.0%)
7 中国圏	741 (6.0%)	2,221 (18.0%)	3,287 (26.6%)	3,178 (25.7%)	1,683 (13.6%)	847 (6.8%)	192 (1.6%)	82 (0.7%)	137 (1.1%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	516 (7.4%)	1,041 (15.0%)	1,520 (21.9%)	1,733 (25.0%)	1,234 (17.8%)	618 (8.9%)	110 (1.6%)	46 (0.7%)	127 (1.8%)	6,945 (100.0%)
9 九州圏	395 (2.8%)	1,297 (9.1%)	2,325 (16.3%)	3,521 (24.6%)	3,376 (23.6%)	2,473 (17.3%)	620 (4.3%)	188 (1.3%)	97 (0.7%)	14,292 (100.0%)
10 沖縄県	2 (0.8%)	2 (0.8%)	12 (4.5%)	22 (8.3%)	60 (22.7%)	101 (38.3%)	45 (17.0%)	20 (7.6%)	0 (0.0%)	264 (100.0%)
合計	2,645 (4.3%)	6,830 (11.1%)	11,420 (18.6%)	15,136 (24.6%)	13,158 (21.4%)	8,816 (14.3%)	2,078 (3.4%)	850 (1.4%)	578 (0.9%)	61,511 (100.0%)

図表2-269 <参考：前回調査>地方ブロック別・集落の人口規模別 集落数【過疎地域等】

前回調査 過疎地域等	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
1 北海道	130 (3.4%)	361 (9.3%)	677 (17.5%)	768 (19.8%)	762 (19.7%)	651 (16.8%)	244 (6.3%)	199 (5.1%)	84 (2.2%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	316 (2.2%)	713 (4.9%)	1,719 (11.8%)	3,521 (24.1%)	4,046 (27.7%)	3,174 (21.7%)	760 (5.2%)	268 (1.8%)	101 (0.7%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	42 (1.7%)	176 (7.3%)	365 (15.1%)	573 (23.6%)	544 (22.5%)	493 (20.3%)	126 (5.2%)	60 (2.5%)	44 (1.8%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	90 (5.0%)	160 (8.8%)	258 (14.2%)	525 (29.0%)	472 (26.0%)	243 (13.4%)	56 (3.1%)	7 (0.4%)	1 (0.1%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	177 (4.5%)	399 (10.2%)	713 (18.3%)	893 (22.9%)	873 (22.4%)	600 (15.4%)	175 (4.5%)	52 (1.3%)	22 (0.6%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	105 (3.3%)	243 (7.7%)	450 (14.2%)	711 (22.4%)	858 (27.1%)	546 (17.2%)	141 (4.5%)	68 (2.1%)	46 (1.5%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	634 (5.0%)	1,929 (15.1%)	3,367 (26.3%)	3,439 (26.9%)	1,974 (15.4%)	1,013 (7.9%)	274 (2.1%)	110 (0.9%)	54 (0.4%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	462 (6.4%)	925 (12.9%)	1,591 (22.2%)	1,869 (26.0%)	1,390 (19.4%)	752 (10.5%)	129 (1.8%)	56 (0.8%)	3 (0.0%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	333 (2.2%)	1,151 (7.5%)	2,244 (14.6%)	3,538 (23.0%)	3,747 (24.4%)	2,979 (19.4%)	783 (5.1%)	254 (1.7%)	356 (2.3%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	2 (0.7%)	2 (0.7%)	10 (3.5%)	21 (7.4%)	60 (21.2%)	117 (41.3%)	50 (17.7%)	21 (7.4%)	0 (0.0%)	283 (100.0%)
合計	2,291 (3.5%)	6,059 (9.3%)	11,394 (17.4%)	15,858 (24.2%)	14,726 (22.5%)	10,568 (16.1%)	2,738 (4.2%)	1,095 (1.7%)	711 (1.1%)	65,440 (100.0%)

### ⑤集落の世帯数規模別集落数の推移

#### 【全体】

- 世帯規模別集落数について、前回調査の結果と今回調査における前回調査対象地域の集計結果を比較すると、20世帯未満の集落は前回調査時の26.5%から今回調査では27.7%とやや拡大している。

図表2-270 前回調査対象地域における集落の世帯規模別 集落数【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
合計	7,909 (10.5%)	12,945 (17.2%)	10,451 (13.9%)	13,456 (17.9%)	14,659 (19.5%)	8,485 (11.3%)	4,686 (6.2%)	1,473 (2.0%)	991 (1.3%)	75,055 (100.0%)
参考： 前回調査	7,260 (9.6%)	12,811 (16.9%)	10,461 (13.8%)	13,743 (18.2%)	14,818 (19.6%)	8,572 (11.3%)	4,672 (6.2%)	1,443 (1.9%)	1,882 (2.5%)	75,662 (100.0%)

#### 【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域における世帯数規模別集落数を、前回調査における過疎地域等と比較すると、20世帯未満の集落の割合は今回調査では30.6%と前回調査時(28.4%)より拡大し、30%を超えている。
- 地域区別でみると、いずれの地域区分でも30世帯未満の集落の割合は拡大しており、特に山間地集落において10世帯未満の小規模集落の割合が2.1ポイント拡大している。

図表2-271 前回調査対象地域における地域区別・集落の世帯数規模別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
山間地	4,372 (22.4%)	5,397 (27.6%)	3,078 (15.7%)	3,035 (15.5%)	2,365 (12.1%)	782 (4.0%)	259 (1.3%)	38 (0.2%)	217 (1.1%)	19,543 (100.0%)
中間地	1,561 (8.6%)	3,388 (18.6%)	2,943 (16.2%)	3,722 (20.5%)	3,693 (20.3%)	1,829 (10.1%)	711 (3.9%)	178 (1.0%)	172 (0.9%)	18,197 (100.0%)
平地	1,036 (5.4%)	2,492 (13.0%)	2,693 (14.1%)	3,976 (20.8%)	4,694 (24.5%)	2,642 (13.8%)	1,198 (6.3%)	258 (1.3%)	146 (0.8%)	19,135 (100.0%)
都市的地域	123 (2.9%)	323 (7.7%)	367 (8.8%)	600 (14.4%)	969 (23.2%)	845 (20.3%)	665 (15.9%)	266 (6.4%)	14 (0.3%)	4,172 (100.0%)
無回答	47 (10.1%)	82 (17.7%)	73 (15.7%)	87 (18.8%)	77 (16.6%)	49 (10.6%)	32 (6.9%)	7 (1.5%)	10 (2.2%)	464 (100.0%)
合計	7,139 (11.6%)	11,682 (19.0%)	9,154 (14.9%)	11,420 (18.6%)	11,798 (19.2%)	6,147 (10.0%)	2,865 (4.7%)	747 (1.2%)	559 (0.9%)	61,511 (100.0%)

図表2-272 <参考:前回調査>地域区別・集落の世帯数規模別 集落数【過疎地域等】

前回調査 過疎地域等	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
山間地	4,070 (20.3%)	5,436 (27.1%)	3,307 (16.5%)	3,275 (16.3%)	2,491 (12.4%)	833 (4.2%)	276 (1.4%)	39 (0.2%)	304 (1.5%)	20,031 (100.0%)
中間地	1,514 (7.9%)	3,512 (18.3%)	3,055 (15.9%)	3,962 (20.7%)	4,012 (20.9%)	1,914 (10.0%)	693 (3.6%)	171 (0.9%)	341 (1.8%)	19,174 (100.0%)
平地	1,007 (4.9%)	2,594 (12.5%)	2,727 (13.2%)	4,173 (20.1%)	5,032 (24.3%)	2,973 (14.3%)	1,414 (6.8%)	276 (1.3%)	529 (2.6%)	20,725 (100.0%)
都市的地域	113 (2.2%)	319 (6.2%)	374 (7.2%)	672 (13.0%)	1,058 (20.5%)	1,070 (20.7%)	979 (18.9%)	334 (6.5%)	252 (4.9%)	5,171 (100.0%)
無回答	7 (2.1%)	16 (4.7%)	45 (13.3%)	74 (21.8%)	62 (18.3%)	35 (10.3%)	25 (7.4%)	6 (1.8%)	69 (20.4%)	339 (100.0%)
合計	6,711 (10.3%)	11,877 (18.1%)	9,508 (14.5%)	12,156 (18.6%)	12,655 (19.3%)	6,825 (10.4%)	3,387 (5.2%)	826 (1.3%)	1,495 (2.3%)	65,440 (100.0%)

- 前回調査の過疎地域における世帯数規模別集落数について、地方ブロック別で見ると、全てのブロックで10世帯未満の集落が占める割合が拡大している。

図表2-273 前回調査対象地域における地方ブロック別・集落の世帯数規模別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
1 北海道	461 (12.3%)	688 (18.4%)	428 (11.4%)	492 (13.1%)	656 (17.5%)	467 (12.5%)	359 (9.6%)	193 (5.2%)	1 (0.0%)	3,745 (100.0%)
2 東北圏	1,089 (8.0%)	2,122 (15.5%)	2,125 (15.5%)	2,817 (20.6%)	3,000 (21.9%)	1,522 (11.1%)	637 (4.7%)	148 (1.1%)	238 (1.7%)	13,698 (100.0%)
3 首都圏	134 (7.1%)	265 (14.1%)	231 (12.3%)	381 (20.3%)	401 (21.4%)	283 (15.1%)	119 (6.3%)	28 (1.5%)	34 (1.8%)	1,876 (100.0%)
4 北陸圏	211 (12.4%)	322 (18.9%)	292 (17.2%)	399 (23.5%)	300 (17.6%)	132 (7.8%)	39 (2.3%)	5 (0.3%)	0 (0.0%)	1,700 (100.0%)
5 中部圏	506 (14.2%)	696 (19.6%)	514 (14.5%)	659 (18.6%)	693 (19.5%)	304 (8.6%)	157 (4.4%)	22 (0.6%)	0 (0.0%)	3,551 (100.0%)
6 近畿圏	259 (8.4%)	436 (14.2%)	431 (14.0%)	619 (20.1%)	716 (23.3%)	365 (11.9%)	179 (5.8%)	50 (1.6%)	17 (0.6%)	3,072 (100.0%)
7 中国圏	2,207 (17.8%)	3,557 (28.8%)	2,148 (17.4%)	2,001 (16.2%)	1,447 (11.7%)	608 (4.9%)	285 (2.3%)	70 (0.6%)	45 (0.4%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	1,051 (15.1%)	1,493 (21.5%)	1,149 (16.5%)	1,230 (17.7%)	1,158 (16.7%)	531 (7.6%)	165 (2.4%)	43 (0.6%)	125 (1.8%)	6,945 (100.0%)
9 九州圏	1,219 (8.5%)	2,098 (14.7%)	1,828 (12.8%)	2,803 (19.6%)	3,364 (23.5%)	1,862 (13.0%)	850 (5.9%)	169 (1.2%)	99 (0.7%)	14,292 (100.0%)
10 沖縄県	2 (0.8%)	5 (1.9%)	8 (3.0%)	19 (7.2%)	63 (23.9%)	73 (27.7%)	75 (28.4%)	19 (7.2%)	0 (0.0%)	264 (100.0%)
合計	7,139 (11.6%)	11,682 (19.0%)	9,154 (14.9%)	11,420 (18.6%)	11,798 (19.2%)	6,147 (10.0%)	2,865 (4.7%)	747 (1.2%)	559 (0.9%)	61,511 (100.0%)

図表2-274 <参考:前回調査>地方ブロック別・集落の世帯数規模別 集落数【過疎地域等】

前回調査 過疎地域等	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
1 北海道	418 (10.8%)	645 (16.6%)	413 (10.7%)	517 (13.3%)	624 (16.1%)	442 (11.4%)	369 (9.5%)	194 (5.0%)	254 (6.6%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	1,041 (7.1%)	2,172 (14.9%)	2,190 (15.0%)	3,018 (20.6%)	3,297 (22.6%)	1,783 (12.2%)	823 (5.6%)	168 (1.1%)	126 (0.9%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	167 (6.9%)	405 (16.7%)	316 (13.0%)	465 (19.2%)	484 (20.0%)	327 (13.5%)	163 (6.7%)	43 (1.8%)	53 (2.2%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	210 (11.6%)	320 (17.7%)	280 (15.5%)	405 (22.4%)	332 (18.3%)	136 (7.5%)	40 (2.2%)	5 (0.3%)	84 (4.6%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	477 (12.2%)	736 (18.9%)	568 (14.5%)	726 (18.6%)	756 (19.4%)	335 (8.6%)	190 (4.9%)	31 (0.8%)	85 (2.2%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	230 (7.3%)	411 (13.0%)	447 (14.1%)	640 (20.2%)	730 (23.0%)	376 (11.9%)	172 (5.4%)	56 (1.8%)	106 (3.3%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	2,074 (16.2%)	3,577 (28.0%)	2,221 (17.4%)	2,124 (16.6%)	1,559 (12.2%)	714 (5.6%)	345 (2.7%)	79 (0.6%)	101 (0.8%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	965 (13.4%)	1,592 (22.2%)	1,191 (16.6%)	1,338 (18.6%)	1,251 (17.4%)	554 (7.7%)	193 (2.7%)	43 (0.6%)	50 (0.7%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	1,127 (7.3%)	2,016 (13.1%)	1,873 (12.2%)	2,904 (18.9%)	3,557 (23.1%)	2,070 (13.5%)	1,011 (6.6%)	191 (1.2%)	636 (4.1%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	2 (0.7%)	3 (1.1%)	9 (3.2%)	19 (6.7%)	65 (23.0%)	88 (31.1%)	81 (28.6%)	16 (5.7%)	0 (0.0%)	283 (100.0%)
合計	6,711 (10.3%)	11,877 (18.1%)	9,508 (14.5%)	12,156 (18.6%)	12,655 (19.3%)	6,825 (10.4%)	3,387 (5.2%)	826 (1.3%)	1,495 (2.3%)	65,440 (100.0%)

## (2) 集落の人口・世帯数の推移

### ①人口増減率（R01/H27）別集落数

#### 【全体】

- 前回調査対象地域にある集落について、前回調査時からの4年間の人口増減率をみると、全集落の80.5%で人口が減少しており、なかでも人口減少率が10%超20%以下の集落が30.4%を占めている。

図表2-275 前回調査対象地域における人口増減率(R01/H27)別 集落数【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域	前回調査(H27)より人口減少				人口増減 なし	前回調査(H27)より人口増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
合計	8,255 (11.0%)	22,845 (30.4%)	18,681 (24.9%)	10,607 (14.1%)	2,923 (3.9%)	4,205 (5.6%)	2,232 (3.0%)	1,704 (2.3%)	1,643 (2.2%)	1,960 (2.6%)	75,055 (100.0%)

※「無回答ほか」には、前回調査以降の集落再編成により人口増減が比較できない集落も含む。

#### 【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域における集落について、前回調査時からの4年間の人口増減率をみると、全集落の81.4%で人口が減少しており、なかでも人口減少率が10%超20%以下の集落が31.9%を占めている。
- 地方ブロック別でみると、人口減少率が10%を超える集落は、沖縄県以外の全てのブロックで40%を超えているが、特に四国圏では20%を超える人口減少がみられた集落の割合が15.0%と高くなっている。一方、沖縄県では、人口が増加した集落の占める割合が3割近くにのぼる。

図表2-276 前回調査対象地域における地方ブロック別・人口増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査(H27)より人口減少				人口増減 なし	前回調査(H27)より人口増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
1 北海道	476 (12.7%)	1,151 (30.7%)	898 (24.0%)	452 (12.1%)	182 (4.9%)	199 (5.3%)	110 (2.9%)	99 (2.6%)	89 (2.4%)	89 (2.4%)	3,745 (100.0%)
2 東北圏	1,097 (8.0%)	4,479 (32.7%)	4,030 (29.4%)	1,958 (14.3%)	431 (3.1%)	694 (5.1%)	342 (2.5%)	209 (1.5%)	181 (1.3%)	277 (2.0%)	13,698 (100.0%)
3 首都圏	196 (10.4%)	691 (36.8%)	529 (28.2%)	221 (11.8%)	43 (2.3%)	76 (4.1%)	34 (1.8%)	18 (1.0%)	18 (1.0%)	50 (2.7%)	1,876 (100.0%)
4 北陸圏	166 (9.8%)	581 (34.2%)	478 (28.1%)	237 (13.9%)	74 (4.4%)	89 (5.2%)	27 (1.6%)	26 (1.5%)	21 (1.2%)	1 (0.1%)	1,700 (100.0%)
5 中部圏	461 (13.0%)	1,239 (34.9%)	858 (24.2%)	436 (12.3%)	155 (4.4%)	136 (3.8%)	73 (2.1%)	71 (2.0%)	98 (2.8%)	24 (0.7%)	3,551 (100.0%)
6 近畿圏	352 (11.5%)	1,085 (35.3%)	795 (25.9%)	427 (13.9%)	86 (2.8%)	145 (4.7%)	75 (2.4%)	49 (1.6%)	30 (1.0%)	28 (0.9%)	3,072 (100.0%)
7 中国圏	1,791 (14.5%)	3,724 (30.1%)	2,571 (20.8%)	1,450 (11.7%)	740 (6.0%)	683 (5.5%)	451 (3.6%)	399 (3.2%)	377 (3.0%)	182 (1.5%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	1,040 (15.0%)	2,165 (31.2%)	1,500 (21.6%)	829 (11.9%)	362 (5.2%)	362 (5.2%)	232 (3.3%)	175 (2.5%)	134 (1.9%)	146 (2.1%)	6,945 (100.0%)
9 九州圏	1,703 (11.9%)	4,469 (31.3%)	3,355 (23.5%)	1,996 (14.0%)	508 (3.6%)	837 (5.9%)	464 (3.2%)	354 (2.5%)	391 (2.7%)	215 (1.5%)	14,292 (100.0%)
10 沖縄県	11 (4.2%)	41 (15.5%)	63 (23.9%)	70 (26.5%)	3 (1.1%)	40 (15.2%)	17 (6.4%)	9 (3.4%)	10 (3.8%)	0 (0.0%)	264 (100.0%)
合計	7,293 (11.9%)	19,625 (31.9%)	15,077 (24.5%)	8,076 (13.1%)	2,584 (4.2%)	3,261 (5.3%)	1,825 (3.0%)	1,409 (2.3%)	1,349 (2.2%)	1,012 (1.6%)	61,511 (100.0%)

※「無回答ほか」には、前回調査以降の集落再編成により人口増減が比較できない集落も含む。(以下同じ)

- 集落類型別でみると、人口減少率が20%を超える減少幅の大きい集落の割合は、基礎集落において13.0%と、基幹・中心集落と比べて特に大きくなっている。

図表2-277 前回調査対象地域における集落類型別・人口増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査(H27)より人口減少				人口増減 なし	前回調査(H27)より人口増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
基礎集落	6,563 (13.0%)	16,365 (32.3%)	11,980 (23.7%)	6,249 (12.3%)	2,335 (4.6%)	2,572 (5.1%)	1,454 (2.9%)	1,160 (2.3%)	1,122 (2.2%)	849 (1.7%)	50,649 (100.0%)
基幹集落	436 (6.9%)	1,961 (30.8%)	1,819 (28.6%)	1,064 (16.7%)	126 (2.0%)	404 (6.3%)	190 (3.0%)	120 (1.9%)	142 (2.2%)	101 (1.6%)	6,363 (100.0%)
中心集落	204 (5.3%)	1,092 (28.5%)	1,122 (29.3%)	690 (18.0%)	91 (2.4%)	257 (6.7%)	156 (4.1%)	111 (2.9%)	71 (1.9%)	41 (1.1%)	3,835 (100.0%)
無回答	90 (13.6%)	207 (31.2%)	156 (23.5%)	73 (11.0%)	32 (4.8%)	28 (4.2%)	25 (3.8%)	18 (2.7%)	14 (2.1%)	21 (3.2%)	664 (100.0%)
合計	7,293 (11.9%)	19,625 (31.9%)	15,077 (24.5%)	8,076 (13.1%)	2,584 (4.2%)	3,261 (5.3%)	1,825 (3.0%)	1,409 (2.3%)	1,349 (2.2%)	1,012 (1.6%)	61,511 (100.0%)

- 地域区分別でみると、山間地集落では、人口減少率が20%を超える減少幅の大きい集落の割合が18.6%と2割に迫る一方、4年間で人口の変動がない集落の割合も6.2%と最も高い。
- 人口が増加している集落については、平地集落と都市的地域にある集落において比較的高く、特に都市的地域の集落では人口増加率が10%を超える集落の割合が6.9%と高い割合を占めている。

図表2-278 前回調査対象地域における地域区分別・人口増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査(H27)より人口減少				人口増減 なし	前回調査(H27)より人口増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
山間地	3,627 (18.6%)	7,068 (36.2%)	3,864 (19.8%)	1,633 (8.4%)	1,216 (6.2%)	598 (3.1%)	450 (2.3%)	366 (1.9%)	365 (1.9%)	356 (1.8%)	19,543 (100.0%)
中間地	1,894 (10.4%)	6,128 (33.7%)	4,810 (26.4%)	2,370 (13.0%)	647 (3.6%)	912 (5.0%)	457 (2.5%)	340 (1.9%)	329 (1.8%)	310 (1.7%)	18,197 (100.0%)
平地	1,378 (7.2%)	5,237 (27.4%)	5,256 (27.5%)	3,249 (17.0%)	619 (3.2%)	1,404 (7.3%)	706 (3.7%)	546 (2.9%)	483 (2.5%)	257 (1.3%)	19,135 (100.0%)
都市的地域	360 (8.6%)	1,047 (25.1%)	1,041 (25.0%)	775 (18.6%)	89 (2.1%)	332 (8.0%)	203 (4.9%)	154 (3.7%)	134 (3.2%)	37 (0.9%)	4,172 (100.0%)
無回答	34 (7.3%)	145 (31.3%)	106 (22.8%)	49 (10.6%)	13 (2.8%)	15 (3.2%)	9 (1.9%)	3 (0.6%)	38 (8.2%)	52 (11.2%)	464 (100.0%)
合計	7,293 (11.9%)	19,625 (31.9%)	15,077 (24.5%)	8,076 (13.1%)	2,584 (4.2%)	3,261 (5.3%)	1,825 (3.0%)	1,409 (2.3%)	1,349 (2.2%)	1,012 (1.6%)	61,511 (100.0%)

- 役場(本庁)までの距離別でみると、本庁まで20km以上と遠い集落では、人口減少集落の割合が83.2%と高く、特に人口減少率が20%を超える人口減少が著しい集落の割合が17.7%と2割に迫っている。
- 一方、本庁まで5km未満と近い集落では、人口が増加している集落の割合が比較的高い。

図表2-279 前回調査対象地域における役場(本庁)までの距離別・人口増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査(H27)より人口減少				人口増減 なし	前回調査(H27)より人口増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
5km未満	1,301 (7.1%)	4,828 (26.3%)	4,911 (26.7%)	3,262 (17.7%)	553 (3.0%)	1,426 (7.8%)	769 (4.2%)	585 (3.2%)	540 (2.9%)	207 (1.1%)	18,382 (100.0%)
5km以上 10km未満	1,373 (10.1%)	4,339 (32.0%)	3,596 (26.5%)	1,885 (13.9%)	541 (4.0%)	734 (5.4%)	364 (2.7%)	283 (2.1%)	258 (1.9%)	186 (1.4%)	13,559 (100.0%)
10km以上 20km未満	2,329 (14.2%)	5,650 (34.5%)	3,863 (23.6%)	1,810 (11.1%)	768 (4.7%)	668 (4.1%)	399 (2.4%)	300 (1.8%)	296 (1.8%)	290 (1.8%)	16,373 (100.0%)
20km以上	2,240 (17.7%)	4,685 (36.9%)	2,588 (20.4%)	1,045 (8.2%)	688 (5.4%)	396 (3.1%)	274 (2.2%)	229 (1.8%)	242 (1.9%)	296 (2.3%)	12,683 (100.0%)
無回答	50 (9.7%)	123 (23.9%)	119 (23.2%)	74 (14.4%)	34 (6.6%)	37 (7.2%)	19 (3.7%)	12 (2.3%)	13 (2.5%)	33 (6.4%)	514 (100.0%)
合計	7,293 (11.9%)	19,625 (31.9%)	15,077 (24.5%)	8,076 (13.1%)	2,584 (4.2%)	3,261 (5.3%)	1,825 (3.0%)	1,409 (2.3%)	1,349 (2.2%)	1,012 (1.6%)	61,511 (100.0%)

- 地形的末端性別でみると、大きく人口減少している集落の割合は地形的に末端にある集落の方が高く、人口減少率が10%を超える集落が6割近くを占めている。

図表2-280 前回調査対象地域における地形的末端性別・人口増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査(H27)より人口減少				人口増減 なし	前回調査(H27)より人口増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
地形的末端 である	887 (23.2%)	1,303 (34.1%)	635 (16.6%)	270 (7.1%)	311 (8.1%)	99 (2.6%)	79 (2.1%)	64 (1.7%)	87 (2.3%)	85 (2.2%)	3,820 (100.0%)
地形的末端 でない	6,406 (11.1%)	18,322 (31.8%)	14,442 (25.0%)	7,806 (13.5%)	2,273 (3.9%)	3,162 (5.5%)	1,746 (3.0%)	1,345 (2.3%)	1,262 (2.2%)	927 (1.6%)	57,691 (100.0%)
合計	7,293 (11.9%)	19,625 (31.9%)	15,077 (24.5%)	8,076 (13.1%)	2,584 (4.2%)	3,261 (5.3%)	1,825 (3.0%)	1,409 (2.3%)	1,349 (2.2%)	1,012 (1.6%)	61,511 (100.0%)

- 集落の高齢者割合別でみると、高齢者割合が高い集落ほど人口減少率が20%を超える集落の割合が高くなっている。

図表2-281 前回調査対象地域における65歳以上人口割合別・人口増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査(H27)より人口減少				人口増減 なし	前回調査(H27)より人口増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
50%未満	2,758 (6.8%)	11,566 (28.6%)	11,445 (28.3%)	6,757 (16.7%)	1,321 (3.3%)	2,766 (6.8%)	1,470 (3.6%)	1,103 (2.7%)	1,030 (2.5%)	284 (0.7%)	40,500 (100.0%)
50%以上 75%未満	3,194 (18.8%)	7,162 (42.2%)	3,277 (19.3%)	1,220 (7.2%)	779 (4.6%)	436 (2.6%)	315 (1.9%)	261 (1.5%)	235 (1.4%)	101 (0.6%)	16,980 (100.0%)
75%以上 100%未満	835 (38.5%)	682 (31.4%)	249 (11.5%)	51 (2.4%)	194 (8.9%)	36 (1.7%)	30 (1.4%)	32 (1.5%)	49 (2.3%)	11 (0.5%)	2,169 (100.0%)
100%	453 (48.3%)	75 (8.0%)	29 (3.1%)	18 (1.9%)	279 (29.8%)	14 (1.5%)	5 (0.5%)	11 (1.2%)	32 (3.4%)	21 (2.2%)	937 (100.0%)
無回答	53 (5.7%)	140 (15.1%)	77 (8.3%)	30 (3.2%)	11 (1.2%)	9 (1.0%)	5 (0.5%)	2 (0.2%)	3 (0.3%)	595 (64.3%)	925 (100.0%)
合計	7,293 (11.9%)	19,625 (31.9%)	15,077 (24.5%)	8,076 (13.1%)	2,584 (4.2%)	3,261 (5.3%)	1,825 (3.0%)	1,409 (2.3%)	1,349 (2.2%)	1,012 (1.6%)	61,511 (100.0%)

## ②世帯増減率（R01/H27）別集落数

### 【全体】

- 前回調査対象地域にある集落について、前回調査時からの4年間の世帯増減率をみると、全集落の53.5%で世帯数が減少しているが、減少率が10%以上と大きく減少している集落よりは10%未満の小幅な減少の方が多い。

図表2-282 前回調査対象地域における世帯増減率(R01/H27)別 集落数【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域	前回調査(H27)より世帯数減少				世帯数 増減なし	前回調査(H27)より世帯数増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
合計	5,402 (7.2%)	10,087 (13.4%)	12,388 (16.5%)	12,258 (16.3%)	11,387 (15.2%)	8,674 (11.6%)	5,797 (7.7%)	3,816 (5.1%)	2,579 (3.4%)	2,667 (3.6%)	75,055 (100.0%)

※「無回答ほか」には、前回調査以降の集落再編成により人口増減が比較できない集落も含む。

### 【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域にある集落について、前回調査時からの世帯増減率をみると、世帯数が減少している集落は54.9%であり、26.2%の集落は世帯数が増加している。
- 地方ブロック別でみると、世帯数の減少幅が大きい集落は四国圏や中国圏、北海道などで比較的高い割合となっている。一方、沖縄県では世帯数が増加している集落の割合が総じて高くなっている。

図表2-283 前回調査対象地域における地方ブロック別・世帯増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査(H27)より世帯数減少				世帯数 増減なし	前回調査(H27)より世帯数増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
1 北海道	326 (8.7%)	603 (16.1%)	644 (17.2%)	578 (15.4%)	430 (11.5%)	312 (8.3%)	241 (6.4%)	206 (5.5%)	146 (3.9%)	259 (6.9%)	3,745 (100.0%)
2 東北圏	625 (4.6%)	1,443 (10.5%)	2,388 (17.4%)	2,660 (19.4%)	2,423 (17.7%)	1,740 (12.7%)	1,029 (7.5%)	565 (4.1%)	455 (3.3%)	370 (2.7%)	13,698 (100.0%)
3 首都圏	99 (5.3%)	254 (13.5%)	350 (18.7%)	384 (20.5%)	245 (13.1%)	258 (13.8%)	122 (6.5%)	71 (3.8%)	34 (1.8%)	59 (3.1%)	1,876 (100.0%)
4 北陸圏	92 (5.4%)	211 (12.4%)	295 (17.4%)	282 (16.6%)	336 (19.8%)	171 (10.1%)	123 (7.2%)	67 (3.9%)	39 (2.3%)	84 (4.9%)	1,700 (100.0%)
5 中部圏	263 (7.4%)	566 (15.9%)	614 (17.3%)	552 (15.5%)	585 (16.5%)	374 (10.5%)	246 (6.9%)	160 (4.5%)	104 (2.9%)	87 (2.5%)	3,551 (100.0%)
6 近畿圏	210 (6.8%)	461 (15.0%)	576 (18.8%)	566 (18.4%)	413 (13.4%)	400 (13.0%)	215 (7.0%)	143 (4.7%)	60 (2.0%)	28 (0.9%)	3,072 (100.0%)
7 中国圏	1,104 (8.9%)	2,089 (16.9%)	1,958 (15.8%)	1,329 (10.7%)	2,554 (20.7%)	945 (7.6%)	989 (8.0%)	784 (6.3%)	479 (3.9%)	137 (1.1%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	644 (9.3%)	1,141 (16.4%)	1,247 (18.0%)	917 (13.2%)	1,105 (15.9%)	619 (8.9%)	535 (7.7%)	342 (4.9%)	204 (2.9%)	191 (2.8%)	6,945 (100.0%)
9 九州圏	1,182 (8.3%)	2,063 (14.4%)	2,562 (17.9%)	2,382 (16.7%)	1,791 (12.5%)	1,576 (11.0%)	1,028 (7.2%)	736 (5.1%)	494 (3.5%)	478 (3.3%)	14,292 (100.0%)
10 沖縄県	6 (2.3%)	17 (6.4%)	34 (12.9%)	69 (26.1%)	7 (2.7%)	49 (18.6%)	41 (15.5%)	21 (8.0%)	20 (7.6%)	0 (0.0%)	264 (100.0%)
合計	4,551 (7.4%)	8,848 (14.4%)	10,668 (17.3%)	9,719 (15.8%)	9,889 (16.1%)	6,444 (10.5%)	4,569 (7.4%)	3,095 (5.0%)	2,035 (3.3%)	1,693 (2.8%)	61,511 (100.0%)

※「無回答ほか」には、前回調査以降の集落再編成により世帯数増減が比較できない集落も含む。(以下同じ)

- 集落類型別でみると、世帯減少率が10%を超える減少幅の大きい集落の割合は、基礎集落において特に高くなっているが、世帯数が減少している集落の割合は、基礎集落(54.1%)よりも基幹集落(59.1%)や中心集落(59.6%)の方が高い。

図表2-284 前回調査対象地域における集落類型別・世帯増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査(H27)より世帯数減少				世帯数 増減なし	前回調査(H27)より世帯数増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
基礎集落	4,104 (8.1%)	7,481 (14.8%)	8,527 (16.8%)	7,264 (14.3%)	8,814 (17.4%)	4,927 (9.7%)	3,767 (7.4%)	2,626 (5.2%)	1,712 (3.4%)	1,427 (2.8%)	50,649 (100.0%)
基幹集落	245 (3.9%)	810 (12.7%)	1,286 (20.2%)	1,418 (22.3%)	628 (9.9%)	912 (14.3%)	482 (7.6%)	259 (4.1%)	175 (2.8%)	148 (2.3%)	6,363 (100.0%)
中心集落	141 (3.7%)	466 (12.2%)	740 (19.3%)	937 (24.4%)	327 (8.5%)	543 (14.2%)	279 (7.3%)	182 (4.7%)	123 (3.2%)	97 (2.5%)	3,835 (100.0%)
無回答	61 (9.2%)	91 (13.7%)	115 (17.3%)	100 (15.1%)	120 (18.1%)	62 (9.3%)	41 (6.2%)	28 (4.2%)	25 (3.8%)	21 (3.2%)	664 (100.0%)
合計	4,551 (7.4%)	8,848 (14.4%)	10,668 (17.3%)	9,719 (15.8%)	9,889 (16.1%)	6,444 (10.5%)	4,569 (7.4%)	3,095 (5.0%)	2,035 (3.3%)	1,693 (2.8%)	61,511 (100.0%)

- 地域区分別でみると、世帯数が減少している集落の割合はいずれの地域区分でも50%を超えており、特に世帯減少率が10%超と減少幅の大きい集落の割合は山間地集落において29.4%と最も高くなっている。
- 平地及び都市的地域にある集落では、世帯数が増加している集落の割合が約3分の1を占めている。

図表2-285 前回調査対象地域における地域区分別・世帯増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査(H27)より世帯数減少				世帯数 増減なし	前回調査(H27)より世帯数増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
山間地	2,220 (11.4%)	3,531 (18.1%)	3,311 (16.9%)	2,085 (10.7%)	4,037 (20.7%)	1,168 (6.0%)	1,199 (6.1%)	882 (4.5%)	591 (3.0%)	519 (2.7%)	19,543 (100.0%)
中間地	1,091 (6.0%)	2,615 (14.4%)	3,383 (18.6%)	3,038 (16.7%)	2,925 (16.1%)	1,992 (10.9%)	1,322 (7.3%)	870 (4.8%)	526 (2.9%)	435 (2.4%)	18,197 (100.0%)
平地	971 (5.1%)	2,124 (11.1%)	3,166 (16.5%)	3,591 (18.8%)	2,535 (13.2%)	2,620 (13.7%)	1,711 (8.9%)	1,091 (5.7%)	730 (3.8%)	596 (3.1%)	19,135 (100.0%)
都市的地域	254 (6.1%)	525 (12.6%)	729 (17.5%)	929 (22.3%)	320 (7.7%)	617 (14.8%)	319 (7.6%)	243 (5.8%)	180 (4.3%)	56 (1.3%)	4,172 (100.0%)
無回答	15 (3.2%)	53 (11.4%)	79 (17.0%)	76 (16.4%)	72 (15.5%)	47 (10.1%)	18 (3.9%)	9 (1.9%)	8 (1.7%)	87 (18.8%)	464 (100.0%)
合計	4,551 (7.4%)	8,848 (14.4%)	10,668 (17.3%)	9,719 (15.8%)	9,889 (16.1%)	6,444 (10.5%)	4,569 (7.4%)	3,095 (5.0%)	2,035 (3.3%)	1,693 (2.8%)	61,511 (100.0%)

- 役場(本庁)までの距離別でみると、本庁まで20km以上の集落では、世帯数が減少している集落の割合が59.7%と高く、特に世帯減少率が10%を超える減少幅が大きい集落の割合は30.0%と高くなっている。
- 本庁までの距離が近くなるほど、世帯数が増加している集落の割合が高くなる傾向がみられ、本庁まで5km未満の集落では33.2%で世帯数が増加している。

図表2-286 前回調査対象地域における役場(本庁)までの距離別・世帯増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査(H27)より世帯数減少				世帯数 増減なし	前回調査(H27)より世帯数増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
5km未満	808 (4.4%)	2,076 (11.3%)	3,055 (16.6%)	3,554 (19.3%)	2,172 (11.8%)	2,657 (14.5%)	1,648 (9.0%)	1,080 (5.9%)	720 (3.9%)	612 (3.3%)	18,382 (100.0%)
5km以上 10km未満	849 (6.3%)	1,791 (13.2%)	2,339 (17.3%)	2,272 (16.8%)	2,309 (17.0%)	1,551 (11.4%)	1,101 (8.1%)	650 (4.8%)	390 (2.9%)	307 (2.3%)	13,559 (100.0%)
10km以上 20km未満	1,430 (8.7%)	2,560 (15.6%)	2,884 (17.6%)	2,333 (14.2%)	2,970 (18.1%)	1,431 (8.7%)	1,061 (6.5%)	769 (4.7%)	544 (3.3%)	391 (2.4%)	16,373 (100.0%)
20km以上	1,425 (11.2%)	2,375 (18.7%)	2,303 (18.2%)	1,463 (11.5%)	2,372 (18.7%)	751 (5.9%)	719 (5.7%)	558 (4.4%)	367 (2.9%)	350 (2.8%)	12,683 (100.0%)
無回答	39 (7.6%)	46 (8.9%)	87 (16.9%)	97 (18.9%)	66 (12.8%)	54 (10.5%)	40 (7.8%)	38 (7.4%)	14 (2.7%)	33 (6.4%)	514 (100.0%)
合計	4,551 (7.4%)	8,848 (14.4%)	10,668 (17.3%)	9,719 (15.8%)	9,889 (16.1%)	6,444 (10.5%)	4,569 (7.4%)	3,095 (5.0%)	2,035 (3.3%)	1,693 (2.8%)	61,511 (100.0%)

- 地形的末端性別でみると、世帯数が大きく減少している集落の割合は地形的に末端にある集落の方が高く、世帯減少率が10%を超える集落が33.1%を占めている。

図表2-287 前回調査対象地域における地形的末端性別・世帯増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査(H27)より世帯数減少				世帯数 増減なし	前回調査(H27)より世帯数増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
地形的末端 である	595 (15.6%)	671 (17.6%)	564 (14.8%)	334 (8.7%)	910 (23.8%)	157 (4.1%)	179 (4.7%)	156 (4.1%)	121 (3.2%)	133 (3.5%)	3,820 (100.0%)
地形的末端 でない	3,956 (6.9%)	8,177 (14.2%)	10,104 (17.5%)	9,385 (16.3%)	8,979 (15.6%)	6,287 (10.9%)	4,390 (7.6%)	2,939 (5.1%)	1,914 (3.3%)	1,560 (2.7%)	57,691 (100.0%)
合計	4,551 (7.4%)	8,848 (14.4%)	10,668 (17.3%)	9,719 (15.8%)	9,889 (16.1%)	6,444 (10.5%)	4,569 (7.4%)	3,095 (5.0%)	2,035 (3.3%)	1,693 (2.8%)	61,511 (100.0%)

- 高齢者割合別でみると、高齢者割合が高い集落ほど世帯数が大きく(20%超)減少している集落の割合が高くなる傾向がみられる。
- また、高齢者割合が100%(集落住民全員が65歳以上)の集落の38.3%は、4年前の前回調査時から世帯数が変化していない。

図表2-288 前回調査対象地域における高齢者割合別・世帯増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査(H27)より世帯数減少				世帯数 増減なし	前回調査(H27)より世帯数増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
50%未満	1,881 (4.6%)	4,348 (10.7%)	6,809 (16.8%)	7,729 (19.1%)	5,841 (14.4%)	5,583 (13.8%)	3,576 (8.8%)	2,363 (5.8%)	1,551 (3.8%)	819 (2.0%)	40,500 (100.0%)
50%以上 75%未満	1,688 (9.9%)	3,824 (22.5%)	3,499 (20.6%)	1,872 (11.0%)	3,086 (18.2%)	794 (4.7%)	886 (5.2%)	623 (3.7%)	384 (2.3%)	324 (1.9%)	16,980 (100.0%)
75%以上 100%未満	557 (25.7%)	520 (24.0%)	246 (11.3%)	51 (2.4%)	546 (25.2%)	26 (1.2%)	67 (3.1%)	73 (3.4%)	55 (2.5%)	28 (1.3%)	2,169 (100.0%)
100%	386 (41.2%)	62 (6.6%)	21 (2.2%)	15 (1.6%)	359 (38.3%)	13 (1.4%)	6 (0.6%)	10 (1.1%)	34 (3.6%)	31 (3.3%)	937 (100.0%)
無回答	39 (4.2%)	94 (10.2%)	93 (10.1%)	52 (5.6%)	57 (6.2%)	28 (3.0%)	34 (3.7%)	26 (2.8%)	11 (1.2%)	491 (53.1%)	925 (100.0%)
合計	4,551 (7.4%)	8,848 (14.4%)	10,668 (17.3%)	9,719 (15.8%)	9,889 (16.1%)	6,444 (10.5%)	4,569 (7.4%)	3,095 (5.0%)	2,035 (3.3%)	1,693 (2.8%)	61,511 (100.0%)

### (3) 集落の高齢化の状況

#### 【全体】

- 前回調査対象地域にある集落の高齢者（65歳以上人口）割合をみると、高齢者割合が50%以上の集落が占める割合は、前回調査時は20.6%であったが、今回調査では29.5%と8.9ポイント拡大している。

図表2-289 前回調査対象地域における高齢者割合別 集落数【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域	65歳以上割合別 集落数				計	【参考：前回調査】65歳以上割合別 集落数				計
	50%未満	50%以上 100%未満	100%	無回答		50%未満	50%以上 100%未満	100%	無回答	
合計	50,916 (67.8%)	21,125 (28.1%)	1,059 (1.4%)	1,955 (2.6%)	75,055 (100.0%)	57,000 (75.3%)	14,767 (19.5%)	801 (1.1%)	3,094 (4.1%)	75,662 (100.0%)

#### 【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域にある集落の高齢者割合をみると、高齢者割合が50%以上の集落が占める割合は、前回調査時の22.1%から今回調査では32.7%と10.6ポイント拡大している。
- 地方ブロック別でみると、特に首都圏・北陸圏・中国圏・九州圏では、高齢者割合が50%以上の集落が占める割合が前回より10ポイント以上拡大している。

図表2-290 前回調査対象地域における地方ブロック別・高齢者割合別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	65歳以上割合別 集落数				計	【参考：前回調査】65歳以上割合別 集落数				計
	50%未満	50%以上 100%未満	100%	無回答		50%未満	50%以上 100%未満	100%	無回答	
1 北海道	2,722 (72.7%)	964 (25.7%)	35 (0.9%)	24 (0.6%)	3,745 (100.0%)	3,036 (78.3%)	682 (17.6%)	23 (0.6%)	135 (3.5%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	10,681 (78.0%)	2,715 (19.8%)	103 (0.8%)	199 (1.5%)	13,698 (100.0%)	12,788 (87.5%)	1,577 (10.8%)	90 (0.6%)	163 (1.1%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	1,271 (67.8%)	533 (28.4%)	18 (1.0%)	54 (2.9%)	1,876 (100.0%)	1,666 (68.8%)	369 (15.2%)	14 (0.6%)	374 (15.4%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	1,019 (59.9%)	638 (37.5%)	43 (2.5%)	0 (0.0%)	1,700 (100.0%)	1,299 (71.7%)	478 (26.4%)	34 (1.9%)	1 (0.1%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	2,123 (59.8%)	1,238 (34.9%)	62 (1.7%)	128 (3.6%)	3,551 (100.0%)	2,653 (68.0%)	1,018 (26.1%)	44 (1.1%)	189 (4.8%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	1,942 (63.2%)	999 (32.5%)	47 (1.5%)	84 (2.7%)	3,072 (100.0%)	2,284 (72.1%)	729 (23.0%)	40 (1.3%)	115 (3.6%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	7,133 (57.7%)	4,795 (38.8%)	277 (2.2%)	163 (1.3%)	12,368 (100.0%)	8,839 (69.1%)	3,641 (28.5%)	219 (1.7%)	95 (0.7%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	3,818 (55.0%)	2,767 (39.8%)	216 (3.1%)	144 (2.1%)	6,945 (100.0%)	4,660 (64.9%)	2,264 (31.5%)	162 (2.3%)	91 (1.3%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	9,540 (66.8%)	4,487 (31.4%)	136 (1.0%)	129 (0.9%)	14,292 (100.0%)	11,630 (75.6%)	2,988 (19.4%)	108 (0.7%)	659 (4.3%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	251 (95.1%)	13 (4.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	264 (100.0%)	244 (86.2%)	7 (2.5%)	0 (0.0%)	32 (11.3%)	283 (100.0%)
合計	40,500 (65.8%)	19,149 (31.1%)	937 (1.5%)	925 (1.5%)	61,511 (100.0%)	49,099 (75.0%)	13,753 (21.0%)	734 (1.1%)	1,854 (2.8%)	65,440 (100.0%)

※上表右側の【参考：前回調査】には、調査時点の過疎地域に加え、調査時点では非過疎地域であり活性化法において過疎地域であった区域が含まれる。

- 地域区分別でみると、特に山間地集落では、高齢者割合が50%以上の集落が占める割合が前回調査より12.1ポイント拡大しており、また高齢者割合が100%（集落住民全員が65歳以上）の集落が占める割合が3.2%と他の地域区分と比較しても高く、前回調査時（2.4%）より拡大している。

図表2-291 前回調査対象地域における地域区分別・高齢者割合別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	65歳以上割合別 集落数					【参考：前回調査】65歳以上割合別 集落数				
	50%未満	50%以上 100%未満	100%	無回答	計	50%未満	50%以上 100%未満	100%	無回答	計
山間地	9,118 (46.7%)	9,457 (48.4%)	624 (3.2%)	344 (1.8%)	19,543 (100.0%)	11,662 (58.2%)	7,432 (37.1%)	473 (2.4%)	464 (2.3%)	20,031 (100.0%)
中間地	12,207 (67.1%)	5,499 (30.2%)	161 (0.9%)	330 (1.8%)	18,197 (100.0%)	14,807 (77.2%)	3,690 (19.2%)	128 (0.7%)	549 (2.9%)	19,174 (100.0%)
平地	15,300 (80.0%)	3,484 (18.2%)	133 (0.7%)	218 (1.1%)	19,135 (100.0%)	17,818 (86.0%)	2,252 (10.9%)	117 (0.6%)	538 (2.6%)	20,725 (100.0%)
都市的地域	3,562 (85.4%)	575 (13.8%)	13 (0.3%)	22 (0.5%)	4,172 (100.0%)	4,564 (88.3%)	357 (6.9%)	14 (0.3%)	236 (4.6%)	5,171 (100.0%)
無回答	313 (67.5%)	134 (28.9%)	6 (1.3%)	11 (2.4%)	464 (100.0%)	248 (73.2%)	22 (6.5%)	2 (0.6%)	67 (19.8%)	339 (100.0%)
合計	40,500 (65.8%)	19,149 (31.1%)	937 (1.5%)	925 (1.5%)	61,511 (100.0%)	49,099 (75.0%)	13,753 (21.0%)	734 (1.1%)	1,854 (2.8%)	65,440 (100.0%)

※上表右側の【参考：前回調査】には、調査時点の過疎地域に加え、調査時点では非過疎地域であり活性化法において過疎地域であった区域が含まれる。

- 集落の立地条件でみると、役場（本庁）まで5km以上の集落では、高齢者割合が50%以上の集落が占める割合が前回調査より拡大しており、特に役場（本庁）まで20km以上と遠い集落では、高齢者割合が100%（集落住民全員が65歳以上）の集落が占める割合が3.1%と、前回調査時（2.3%）より1ポイント近く拡大している。

図表2-292 前回調査対象地域における役場（本庁）からの距離別・高齢者割合別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	65歳以上割合別 集落数					【参考：前回調査】65歳以上割合別 集落数				
	50%未満	50%以上 100%未満	100%	無回答	計	50%未満	50%以上 100%未満	100%	無回答	計
5km未満	14,947 (81.3%)	3,202 (17.4%)	101 (0.5%)	132 (0.7%)	18,382 (100.0%)	17,266 (87.1%)	2,108 (10.6%)	91 (0.5%)	347 (1.8%)	19,812 (100.0%)
5km以上 10km未満	9,450 (69.7%)	3,840 (28.3%)	145 (1.1%)	124 (0.9%)	13,559 (100.0%)	11,561 (79.7%)	2,510 (17.3%)	128 (0.9%)	310 (2.1%)	14,509 (100.0%)
10km以上 20km未満	9,955 (60.8%)	5,917 (36.1%)	290 (1.8%)	211 (1.3%)	16,373 (100.0%)	12,308 (72.1%)	4,235 (24.8%)	212 (1.2%)	313 (1.8%)	17,068 (100.0%)
20km以上	5,766 (45.5%)	6,081 (47.9%)	392 (3.1%)	444 (3.5%)	12,683 (100.0%)	7,546 (57.3%)	4,819 (36.6%)	299 (2.3%)	505 (3.8%)	13,169 (100.0%)
無回答	382 (74.3%)	109 (21.2%)	9 (1.8%)	14 (2.7%)	514 (100.0%)	418 (47.4%)	81 (9.2%)	4 (0.5%)	379 (43.0%)	882 (100.0%)
合計	40,500 (65.8%)	19,149 (31.1%)	937 (1.5%)	925 (1.5%)	61,511 (100.0%)	49,099 (75.0%)	13,753 (21.0%)	734 (1.1%)	1,854 (2.8%)	65,440 (100.0%)

※上表右側の【参考：前回調査】には、調査時点の過疎地域に加え、調査時点では非過疎地域であり活性化法において過疎地域であった区域が含まれる。

#### (4) 集落機能の維持状況や今後の集落の見通し

##### ① 集落機能の維持状況

###### 【全体】

- 前回調査対象地域における集落機能の維持状況をみると、前回調査では集落機能の維持状況が「良好」とされた集落が全体の80.1%を占めていたが、今回調査ではその割合は78.4%と8割を切っており、「機能低下」とされた集落の割合が拡大している。

図表2-293 前回調査対象地域における集落機能の維持状況別 集落数【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
合計	58,855 (78.4%)	12,754 (17.0%)	2,852 (3.8%)	594 (0.8%)	75,055 (100.0%)
参考: 前回調査	60,643 (80.1%)	10,318 (13.6%)	3,015 (4.0%)	1,686 (2.2%)	75,662 (100.0%)

###### 【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域における集落機能の維持状況をみると、前回調査では集落機能の維持状況が「良好」とされた集落が全体の82.1%を占めていたが、今回調査ではその割合は78.3%に減少し、「機能低下」あるいは「機能維持が困難」とされた集落の割合が拡大している。
- 地域区分別でみると、前回調査と同様、山間地集落において集落機能が低下している、あるいは機能維持が困難となっている集落の割合が特に高く、さらに両者を合わせた割合は37.9%と、前回調査(34.0%)から増加している。

図表2-294 前回調査対象地域における地域区分別・集落機能の維持状況別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
山間地	12,095 (61.9%)	5,460 (27.9%)	1,946 (10.0%)	42 (0.2%)	19,543 (100.0%)
中間地	14,600 (80.2%)	3,093 (17.0%)	486 (2.7%)	18 (0.1%)	18,197 (100.0%)
平地	17,227 (90.0%)	1,725 (9.0%)	132 (0.7%)	51 (0.3%)	19,135 (100.0%)
都市的地域	3,855 (92.4%)	309 (7.4%)	7 (0.2%)	1 (0.0%)	4,172 (100.0%)
無回答	369 (79.5%)	75 (16.2%)	9 (1.9%)	11 (2.4%)	464 (100.0%)
合計	48,146 (78.3%)	10,662 (17.3%)	2,580 (4.2%)	123 (0.2%)	61,511 (100.0%)

図表2-295 <参考:前回調査>地域区分別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域等】

前回調査 過疎地域等	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
山間地	13,078 (65.3%)	4,692 (23.4%)	2,127 (10.6%)	134 (0.7%)	20,031 (100.0%)
中間地	16,072 (83.8%)	2,531 (13.2%)	501 (2.6%)	70 (0.4%)	19,174 (100.0%)
平地	19,449 (93.8%)	1,072 (5.2%)	149 (0.7%)	55 (0.3%)	20,725 (100.0%)
都市的地域	4,860 (94.0%)	280 (5.4%)	19 (0.4%)	12 (0.2%)	5,171 (100.0%)
無回答	262 (77.3%)	26 (7.7%)	3 (0.9%)	48 (14.2%)	339 (100.0%)
合計	53,721 (82.1%)	8,601 (13.1%)	2,799 (4.3%)	319 (0.5%)	65,440 (100.0%)

- 前回調査の過疎地域における集落機能の維持状況について地方ブロック別で見ると、前回調査時と同様、近畿圏や四国圏において「機能維持が困難」な集落の割合が高く、かつ前回調査より拡大している。

図表2-296 前回調査対象地域における地方ブロック別・集落機能の維持状況別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
1 北海道	3,126 (83.5%)	483 (12.9%)	135 (3.6%)	1 (0.0%)	3,745 (100.0%)
2 東北圏	11,951 (87.2%)	1,524 (11.1%)	209 (1.5%)	14 (0.1%)	13,698 (100.0%)
3 首都圏	1,299 (69.2%)	526 (28.0%)	51 (2.7%)	0 (0.0%)	1,876 (100.0%)
4 北陸圏	1,442 (84.8%)	177 (10.4%)	80 (4.7%)	1 (0.1%)	1,700 (100.0%)
5 中部圏	2,386 (67.2%)	941 (26.5%)	200 (5.6%)	24 (0.7%)	3,551 (100.0%)
6 近畿圏	2,259 (73.5%)	538 (17.5%)	249 (8.1%)	26 (0.8%)	3,072 (100.0%)
7 中国圏	9,153 (74.0%)	2,710 (21.9%)	479 (3.9%)	26 (0.2%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	4,907 (70.7%)	1,336 (19.2%)	682 (9.8%)	20 (0.3%)	6,945 (100.0%)
9 九州圏	11,402 (79.8%)	2,387 (16.7%)	492 (3.4%)	11 (0.1%)	14,292 (100.0%)
10 沖縄県	221 (83.7%)	40 (15.2%)	3 (1.1%)	0 (0.0%)	264 (100.0%)
合計	48,146 (78.3%)	10,662 (17.3%)	2,580 (4.2%)	123 (0.2%)	61,511 (100.0%)

図表2-297 <参考:前回調査>地方ブロック別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域等】

前回調査 過疎地域等	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
1 北海道	3,250 (83.8%)	438 (11.3%)	163 (4.2%)	25 (0.6%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	13,082 (89.5%)	1,327 (9.1%)	186 (1.3%)	23 (0.2%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	1,992 (82.2%)	269 (11.1%)	162 (6.7%)	0 (0.0%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	1,547 (85.4%)	176 (9.7%)	89 (4.9%)	0 (0.0%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	2,831 (72.5%)	793 (20.3%)	237 (6.1%)	43 (1.1%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	2,399 (75.7%)	524 (16.5%)	236 (7.4%)	9 (0.3%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	10,081 (78.8%)	2,039 (15.9%)	582 (4.5%)	92 (0.7%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	5,234 (72.9%)	1,272 (17.7%)	664 (9.3%)	7 (0.1%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	13,056 (84.9%)	1,732 (11.3%)	480 (3.1%)	117 (0.8%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	249 (88.0%)	31 (11.0%)	0 (0.0%)	3 (1.1%)	283 (100.0%)
合計	53,721 (82.1%)	8,601 (13.1%)	2,799 (4.3%)	319 (0.5%)	65,440 (100.0%)

## ②今後の集落の人口動向

### 【全体】

- 前回調査対象地域における集落の今後の人口動向の見通しをみると、人口が増加するとみられる集落の割合は2.4%で前回調査とほぼ変わらないが、「横ばい」と予測された集落の割合は16.7%で前回調査より0.5ポイント低下、人口が減少するとみられる集落は79.9%と前回調査より2.4ポイント拡大している。

図表2-298 前回調査対象地域における今後の人口動向の見通し別 集落数【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
合計	1,791 (2.4%)	12,508 (16.7%)	59,957 (79.9%)	799 (1.1%)	75,055 (100.0%)
参考: 前回調査	1,868 (2.5%)	13,029 (17.2%)	58,642 (77.5%)	2,123 (2.8%)	75,662 (100.0%)

### 【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域における集落の今後の人口動向の見通しをみると、人口が増加するとみられる集落の割合は1.9%で前回調査より0.6ポイント低下、「横ばい」と予測された集落の割合は16.1%で前回調査より1.8ポイント低下しており、逆に人口が減少するとみられる集落は81.0%と前回調査より2.6ポイント拡大している。
- 地域区分別でみると、前回調査と同様、山間地集落において人口が減少するとみられる集落の割合が88.2%と最も高いが、その割合を前回調査と比較すると、平地集落が4.5ポイント差と最も拡大している。

図表2-299 前回調査対象地域における地域区分別・今後の人口動向の見通し別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
山間地	183 (0.9%)	1,937 (9.9%)	17,236 (88.2%)	187 (1.0%)	19,543 (100.0%)
中間地	289 (1.6%)	2,654 (14.6%)	14,985 (82.3%)	269 (1.5%)	18,197 (100.0%)
平地	481 (2.5%)	4,081 (21.3%)	14,435 (75.4%)	138 (0.7%)	19,135 (100.0%)
都市的地域	232 (5.6%)	1,223 (29.3%)	2,716 (65.1%)	1 (0.0%)	4,172 (100.0%)
無回答	2 (0.4%)	27 (5.8%)	425 (91.6%)	10 (2.2%)	464 (100.0%)
合計	1,187 (1.9%)	9,922 (16.1%)	49,797 (81.0%)	605 (1.0%)	61,511 (100.0%)

図表2-300 <参考: 前回調査>地域区分別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域等】

前回調査 過疎地域等	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
山間地	199 (1.0%)	1,936 (9.7%)	17,641 (88.1%)	255 (1.3%)	20,031 (100.0%)
中間地	395 (2.1%)	3,022 (15.8%)	15,458 (80.6%)	299 (1.6%)	19,174 (100.0%)
平地	751 (3.6%)	4,989 (24.1%)	14,696 (70.9%)	289 (1.4%)	20,725 (100.0%)
都市的地域	288 (5.6%)	1,618 (31.3%)	3,237 (62.6%)	28 (0.5%)	5,171 (100.0%)
無回答	7 (2.1%)	15 (4.4%)	271 (79.9%)	46 (13.6%)	339 (100.0%)
合計	1,640 (2.5%)	11,580 (17.7%)	51,303 (78.4%)	917 (1.4%)	65,440 (100.0%)

- 前回調査の過疎地域における集落の今後の人口動向の見通しについて地方ブロック別でみると、前回調査時と同様、沖縄県では「増加」又は「横ばい」と予測された集落の割合が最も高くなっている。
- 人口減少が見込まれている集落の割合が高いのは首都圏や北陸圏、中部圏であり、特に首都圏は前回調査より10ポイント以上拡大している。

図表2-301 前回調査対象地域における地方ブロック別・今後の人口動向の見通し別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
1 北海道	30 (0.8%)	650 (17.4%)	3,064 (81.8%)	1 (0.0%)	3,745 (100.0%)
2 東北圏	208 (1.5%)	1,839 (13.4%)	11,485 (83.8%)	166 (1.2%)	13,698 (100.0%)
3 首都圏	16 (0.9%)	161 (8.6%)	1,699 (90.6%)	0 (0.0%)	1,876 (100.0%)
4 北陸圏	38 (2.2%)	112 (6.6%)	1,495 (87.9%)	55 (3.2%)	1,700 (100.0%)
5 中部圏	24 (0.7%)	280 (7.9%)	3,111 (87.6%)	136 (3.8%)	3,551 (100.0%)
6 近畿圏	53 (1.7%)	290 (9.4%)	2,656 (86.5%)	73 (2.4%)	3,072 (100.0%)
7 中国圏	474 (3.8%)	2,742 (22.2%)	9,039 (73.1%)	113 (0.9%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	84 (1.2%)	1,284 (18.5%)	5,575 (80.3%)	2 (0.0%)	6,945 (100.0%)
9 九州圏	227 (1.6%)	2,459 (17.2%)	11,547 (80.8%)	59 (0.4%)	14,292 (100.0%)
10 沖縄県	33 (12.5%)	105 (39.8%)	126 (47.7%)	0 (0.0%)	264 (100.0%)
合計	1,187 (1.9%)	9,922 (16.1%)	49,797 (81.0%)	605 (1.0%)	61,511 (100.0%)

図表2-302 <参考:前回調査>地方ブロック別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域等】

前回調査 過疎地域等	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
1 北海道	24 (0.6%)	710 (18.3%)	3,064 (79.1%)	78 (2.0%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	367 (2.5%)	2,293 (15.7%)	11,842 (81.0%)	116 (0.8%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	57 (2.4%)	442 (18.2%)	1,924 (79.4%)	0 (0.0%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	54 (3.0%)	176 (9.7%)	1,333 (73.6%)	249 (13.7%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	33 (0.8%)	439 (11.2%)	3,323 (85.1%)	109 (2.8%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	87 (2.7%)	331 (10.4%)	2,748 (86.7%)	2 (0.1%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	623 (4.9%)	2,890 (22.6%)	9,262 (72.4%)	19 (0.1%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	108 (1.5%)	1,385 (19.3%)	5,684 (79.2%)	0 (0.0%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	252 (1.6%)	2,800 (18.2%)	11,992 (77.9%)	341 (2.2%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	35 (12.4%)	114 (40.3%)	131 (46.3%)	3 (1.1%)	283 (100.0%)
合計	1,640 (2.5%)	11,580 (17.7%)	51,303 (78.4%)	917 (1.4%)	65,440 (100.0%)

### ③集落の消滅（無人化）可能性

#### 【全体】

- 前回調査対象地域における集落の消滅可能性をみると、「10年以内に消滅」と予測された集落は前回調査では570集落で全体の0.8%であり、今回調査では500集落(0.7%)とわずかに減少し、「いずれ消滅」と予測された集落の割合も今回調査(4.1%)と前回調査(4.0%)でほぼ変わらない。

図表2-303 前回調査対象地域における集落の消滅可能性別 集落数【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域	集落の消滅可能性別 集落数				計
	10年以内に 消滅	いずれ消滅	当面存続	無回答	
合計	500 (0.7%)	3,112 (4.1%)	64,668 (86.2%)	6,775 (9.0%)	75,055 (100.0%)
参考: 前回調査	570 (0.8%)	3,044 (4.0%)	66,001 (87.2%)	6,047 (8.0%)	75,662 (100.0%)

#### 【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域における集落の消滅可能性をみると、「10年以内に消滅」と予測された集落は448集落(0.7%)と、前回調査より集落数は減少したが構成比はほぼ変わらない。一方、「いずれ消滅」と予測された集落は、集落数、構成比ともに前回調査より拡大している。
- 地域区分別でみると、前回調査と同様、山間地集落において「10年以内に消滅」あるいは「いずれ消滅」と予測された集落の割合が高くなっているが、構成比はいずれも前回調査よりわずかに低くなっている。

図表2-304 前回調査対象地域における地域区分別・集落の消滅可能性別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	集落の消滅可能性別 集落数				計
	10年以内に 消滅	いずれ消滅	当面存続	無回答	
山間地	366 (1.9%)	1,889 (9.7%)	15,571 (79.7%)	1,717 (8.8%)	19,543 (100.0%)
中間地	57 (0.3%)	547 (3.0%)	15,918 (87.5%)	1,675 (9.2%)	18,197 (100.0%)
平地	22 (0.1%)	233 (1.2%)	17,313 (90.5%)	1,567 (8.2%)	19,135 (100.0%)
都市的地域	1 (0.0%)	40 (1.0%)	3,576 (85.7%)	555 (13.3%)	4,172 (100.0%)
無回答	2 (0.4%)	17 (3.7%)	414 (89.2%)	31 (6.7%)	464 (100.0%)
合計	448 (0.7%)	2,726 (4.4%)	52,792 (85.8%)	5,545 (9.0%)	61,511 (100.0%)

図表2-305 <参考:前回調査>地域区分別・集落の消滅可能性別 集落数【過疎地域等】

前回調査 過疎地域等	集落の消滅可能性別 集落数				計
	10年以内に 消滅	いずれ消滅	当面存続	無回答	
山間地	436 (2.2%)	1,972 (9.8%)	16,050 (80.1%)	1,573 (7.9%)	20,031 (100.0%)
中間地	51 (0.3%)	515 (2.7%)	17,022 (88.8%)	1,586 (8.3%)	19,174 (100.0%)
平地	23 (0.1%)	181 (0.9%)	18,933 (91.4%)	1,588 (7.7%)	20,725 (100.0%)
都市的地域	5 (0.1%)	23 (0.4%)	4,878 (94.3%)	265 (5.1%)	5,171 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	6 (1.8%)	236 (69.6%)	97 (28.6%)	339 (100.0%)
合計	515 (0.8%)	2,697 (4.1%)	57,119 (87.3%)	5,109 (7.8%)	65,440 (100.0%)

- 前回調査の過疎地域における集落の消滅可能性について地方ブロック別でみると、「10年以内に消滅」と予測された集落の割合は前回調査時と同じく四国圏で最も高いが、集落数自体をみると、北陸圏以外では減少している。
- 一方、「いずれ消滅」と予測された集落の割合をみると、東北圏、首都圏、北陸圏、中部圏、九州圏及び沖縄県では前回調査より拡大しており、前回調査時に消滅可能性が予測された集落の割合が比較的低かった地域において、より存続が危ぶまれる集落が増えていることがうかがえる。

図表2-306 前回調査対象地域における地方ブロック別・集落の消滅可能性別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	集落の消滅可能性別 集落数				計
	10年以内に 消滅	いずれ消滅	当面存続	無回答	
1 北海道	14 (0.4%)	219 (5.8%)	3,130 (83.6%)	382 (10.2%)	3,745 (100.0%)
2 東北圏	54 (0.4%)	383 (2.8%)	12,492 (91.2%)	769 (5.6%)	13,698 (100.0%)
3 首都圏	7 (0.4%)	88 (4.7%)	1,602 (85.4%)	179 (9.5%)	1,876 (100.0%)
4 北陸圏	18 (1.1%)	65 (3.8%)	1,558 (91.6%)	59 (3.5%)	1,700 (100.0%)
5 中部圏	36 (1.0%)	265 (7.5%)	2,769 (78.0%)	481 (13.5%)	3,551 (100.0%)
6 近畿圏	28 (0.9%)	195 (6.3%)	2,692 (87.6%)	157 (5.1%)	3,072 (100.0%)
7 中国圏	60 (0.5%)	380 (3.1%)	11,159 (90.2%)	769 (6.2%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	162 (2.3%)	570 (8.2%)	5,183 (74.6%)	1,030 (14.8%)	6,945 (100.0%)
9 九州圏	69 (0.5%)	560 (3.9%)	11,950 (83.6%)	1,713 (12.0%)	14,292 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	1 (0.4%)	257 (97.3%)	6 (2.3%)	264 (100.0%)
合計	448 (0.7%)	2,726 (4.4%)	52,792 (85.8%)	5,545 (9.0%)	61,511 (100.0%)

図表2-307 <参考:前回調査>地方ブロック別・集落の消滅可能性別 集落数【過疎地域等】

前回調査 過疎地域等	集落の消滅可能性別 集落数				計
	10年以内に 消滅	いずれ消滅	当面存続	無回答	
1 北海道	22 (0.6%)	227 (5.9%)	3,265 (84.2%)	362 (9.3%)	3,876 (100.0%)
2 東北圏	43 (0.3%)	385 (2.6%)	13,199 (90.3%)	991 (6.8%)	14,618 (100.0%)
3 首都圏	16 (0.7%)	78 (3.2%)	1,954 (80.6%)	375 (15.5%)	2,423 (100.0%)
4 北陸圏	22 (1.2%)	63 (3.5%)	1,622 (89.5%)	105 (5.8%)	1,812 (100.0%)
5 中部圏	37 (0.9%)	267 (6.8%)	2,802 (71.8%)	798 (20.4%)	3,904 (100.0%)
6 近畿圏	31 (1.0%)	202 (6.4%)	2,564 (80.9%)	371 (11.7%)	3,168 (100.0%)
7 中国圏	85 (0.7%)	432 (3.4%)	11,772 (92.0%)	505 (3.9%)	12,794 (100.0%)
8 四国圏	189 (2.6%)	602 (8.4%)	6,305 (87.9%)	81 (1.1%)	7,177 (100.0%)
9 九州圏	70 (0.5%)	441 (2.9%)	13,360 (86.8%)	1,514 (9.8%)	15,385 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	276 (97.5%)	7 (2.5%)	283 (100.0%)
合計	515 (0.8%)	2,697 (4.1%)	57,119 (87.3%)	5,109 (7.8%)	65,440 (100.0%)

#### ④集落の消滅可能性の予測の変化

##### 【全体】

- 前回調査対象地域にある集落において、前回調査からの4年間で集落の消滅可能性の予測がどう変化したかをみると、ほとんどの集落は予測に変化がみられない。
- 前回調査時に消滅可能性が予測されていたが今回調査ではその予測が改善したという集落は 1,030 集落 (1.4%)みられる。一方で、前回調査よりも予測が悪化した集落も 1,201 集落 (1.6%)あり、前は当面存続するとみられていながら、今回調査では「10年以内に消滅」と予測された集落は 61 集落であった。

図表2-308 前回調査対象地域における集落の消滅可能性の予測の変化別 集落数【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域	消滅可能性の予測が改善			消滅可能性の予測が悪化				変化なし			計		
	10年以内に消滅 →存続	10年以内に消滅 →いずれ 消滅	いずれ 消滅 →存続	存続 →いずれ 消滅	存続 →10年以 内に消滅	いずれ 消滅 →10年以 内に消滅	10年以内に消滅 →10年以 内に消滅	いずれ 消滅 →いずれ 消滅	存続 →存続				
合計	1,030 (1.4%)	61 (0.1%)	127 (0.2%)	842 (1.1%)	1,201 (1.6%)	1,011 (1.3%)	61 (0.1%)	129 (0.2%)	72,824 (97.0%)	310 (0.4%)	1,974 (2.6%)	70,540 (94.0%)	75,055 (100.0%)

※「存続」には空欄(無回答)の集落も含まれる。

##### 【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域にある集落において、前回調査からの4年間で集落の消滅可能性の予測がどう変化したかをみると、過疎地域においてもほとんどの集落は予測に変化がみられない。
- 地方ブロック別でみると、四国圏では前回調査よりも消滅可能性の予測が改善した集落が 205 集落と最も多く、その割合も 3.0%と他のブロックよりも高い。
- 一方、前回調査時よりも今回調査の方が消滅可能性の予測が悪化した集落の割合は、中部圏(3.2%)や首都圏(2.7%)で比較的高くなっている。

図表2-309 前回調査対象地域における地方ブロック別・集落の消滅可能性の予測の変化別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	消滅可能性の予測が改善			消滅可能性の予測が悪化				変化なし			計		
	10年以内に消滅 →存続	10年以内に消滅 →いずれ 消滅	いずれ 消滅 →存続	存続 →いずれ 消滅	存続 →10年以 内に消滅	いずれ 消滅 →10年以 内に消滅	10年以内に消滅 →10年以 内に消滅	いずれ 消滅 →いずれ 消滅	存続 →存続				
1 北海道	59 (1.6%)	4 (0.1%)	6 (0.2%)	49 (1.3%)	51 (1.4%)	46 (1.2%)	3 (0.1%)	2 (0.1%)	3,635 (97.1%)	9 (0.2%)	167 (4.5%)	3,459 (92.4%)	3,745 (100.0%)
2 東北圏	142 (1.0%)	9 (0.1%)	10 (0.1%)	123 (0.9%)	196 (1.4%)	161 (1.2%)	12 (0.1%)	23 (0.2%)	13,360 (97.5%)	19 (0.1%)	212 (1.5%)	13,129 (95.8%)	13,698 (100.0%)
3 首都圏	32 (1.7%)	2 (0.1%)	4 (0.2%)	26 (1.4%)	50 (2.7%)	50 (2.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1,794 (95.6%)	7 (0.4%)	34 (1.8%)	1,753 (93.4%)	1,876 (100.0%)
4 北陸圏	9 (0.5%)	0 (0.0%)	3 (0.2%)	6 (0.4%)	20 (1.2%)	14 (0.8%)	3 (0.2%)	3 (0.2%)	1,671 (98.3%)	12 (0.7%)	48 (2.8%)	1,611 (94.8%)	1,700 (100.0%)
5 中部圏	89 (2.5%)	7 (0.2%)	11 (0.3%)	71 (2.0%)	112 (3.2%)	91 (2.6%)	5 (0.1%)	16 (0.5%)	3,350 (94.3%)	15 (0.4%)	163 (4.6%)	3,172 (89.3%)	3,551 (100.0%)
6 近畿圏	47 (1.5%)	3 (0.1%)	4 (0.1%)	40 (1.3%)	49 (1.6%)	41 (1.3%)	0 (0.0%)	8 (0.3%)	2,976 (96.9%)	20 (0.7%)	150 (4.9%)	2,806 (91.3%)	3,072 (100.0%)
7 中国圏	156 (1.3%)	9 (0.1%)	16 (0.1%)	131 (1.1%)	115 (0.9%)	105 (0.8%)	4 (0.0%)	6 (0.0%)	12,097 (97.8%)	50 (0.4%)	259 (2.1%)	11,788 (87.1%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	205 (3.0%)	11 (0.2%)	44 (0.6%)	150 (2.2%)	168 (2.4%)	127 (1.8%)	5 (0.1%)	36 (0.5%)	6,572 (94.6%)	121 (1.7%)	399 (5.7%)	6,052 (87.1%)	6,945 (100.0%)
9 九州圏	172 (1.2%)	8 (0.1%)	20 (0.1%)	144 (1.0%)	328 (2.3%)	289 (2.0%)	24 (0.2%)	15 (0.1%)	13,792 (96.5%)	30 (0.2%)	251 (1.8%)	13,511 (94.5%)	14,292 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	263 (99.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	263 (99.6%)	264 (100.0%)
合計	911 (1.5%)	53 (0.1%)	118 (0.2%)	740 (1.2%)	1,090 (1.8%)	925 (1.5%)	56 (0.1%)	109 (0.2%)	59,510 (96.7%)	283 (0.5%)	1,683 (2.7%)	57,544 (93.6%)	61,511 (100.0%)

※「存続」には空欄(無回答)の集落も含まれる。(以下同じ)

- 地域区分別でみると、都市的地域にある集落はほとんどが消滅可能性の予測に変化がみられなかったのに対して、山間地集落では消滅可能性の予測が改善した集落が3.4%、悪化した集落が3.4%と、約7%の集落で予測に変化がみられた。

図表2-310 前回調査対象地域における地域区分別・集落の消滅可能性の予測の変化別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	消滅可能性の予測が改善			消滅可能性の予測が悪化				変化なし			計		
	10年以内 に消滅 →存続	10年以内 に消滅 →いずれ 消滅	いずれ 消滅 →存続	存続 →いずれ 消滅	存続 →10年以 内に消滅	いずれ 消滅 →10年以 内に消滅	10年以内 に消滅 →10年以 内に消滅	いずれ 消滅 →いずれ 消滅	存続 →存続				
山間地	656 (3.4%)	35 (0.2%)	95 (0.5%)	526 (2.7%)	658 (3.4%)	544 (2.8%)	33 (0.2%)	81 (0.4%)	18,229 (93.3%)	252 (1.3%)	1,250 (6.4%)	16,727 (85.6%)	19,543 (100.0%)
中間地	169 (0.9%)	10 (0.1%)	11 (0.1%)	148 (0.8%)	270 (1.5%)	235 (1.3%)	14 (0.1%)	21 (0.1%)	17,758 (97.6%)	22 (0.1%)	301 (1.7%)	17,435 (95.8%)	18,197 (100.0%)
平地	73 (0.4%)	4 (0.0%)	10 (0.1%)	59 (0.3%)	131 (0.7%)	116 (0.6%)	9 (0.0%)	6 (0.0%)	18,931 (98.9%)	7 (0.0%)	107 (0.6%)	18,817 (98.3%)	19,135 (100.0%)
都市的地域	9 (0.2%)	2 (0.0%)	2 (0.0%)	5 (0.1%)	21 (0.5%)	20 (0.5%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)	4,142 (99.3%)	0 (0.0%)	18 (0.4%)	4,124 (98.8%)	4,172 (100.0%)
無回答	4 (0.9%)	2 (0.4%)	0 (0.0%)	2 (0.4%)	10 (2.2%)	10 (2.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	450 (97.0%)	2 (0.4%)	7 (1.5%)	441 (95.0%)	464 (100.0%)
合計	911 (1.5%)	53 (0.1%)	118 (0.2%)	740 (1.2%)	1,090 (1.8%)	925 (1.5%)	56 (0.1%)	109 (0.2%)	59,510 (96.7%)	283 (0.5%)	1,683 (2.7%)	57,544 (93.6%)	61,511 (100.0%)

(5) 前回調査時に消滅が予測されていた集落の動向

①10年以内に消滅すると予測されていた集落の存続状況

【全体】

- 前回調査時に「10年以内に消滅する可能性がある」と予測されていた558集落について、今回調査までの4年間の変遷をみると、実際に消滅したのは53集落(9.5%)であり、大部分は存続している。
- 消滅していない集落のうち7集落(1.3%)は、他の集落に編入されたり、他の集落と合併するなどの集落再編が行われており、前回調査時の集落単独としては存続していない。

図表2-311 前回調査時に「10年以内に消滅」と予測されていた集落の変遷【全体・前回調査対象地域】

前回調査対象地域	10年以内に消滅と予測	消滅集落	集落再編によりなくなった集落				集落再編した集落(存続集落)				前回調査から集落再編なし			現存している集落(A+B)
			他に編入	他と合併	分離	計	他を統合	他と合併	分離	計(A)	再編なし	名称変更	計(B)	
合計	558 (100.0%)	53 (9.5%)	5 (0.9%)	2 (0.4%)	0 (0.0%)	7 (1.3%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	494 (88.5%)	3 (0.5%)	497 (89.1%)	498 (89.2%)
参考: 前回調査	452 (100.0%)	41 (9.1%)	5 (1.1%)	11 (2.4%)	0 (0.0%)	16 (3.5%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	392 (86.7%)	1 (0.2%)	393 (86.9%)	394 (87.2%)

※前回調査で「10年以内に消滅」と予測されていた集落(570集落)のうち、今回調査で集落の括りを変えて回答したため追跡できない集落(12集落)を除く。

【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域において、前回調査時に「10年以内に消滅する可能性がある」と予測されていた508集落のうち、今回調査までの4年間で実際に消滅したのは47集落(9.3%)であった。
- 地方ブロック別でみると、北陸圏では10年以内に消滅すると予測された集落の3割近くが消滅している。

図表2-312 地方ブロック別・前回調査時に「10年以内に消滅」と予測されていた集落の変遷【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	10年以内に消滅と予測	消滅集落	集落再編によりなくなった集落				集落再編した集落(存続集落)				前回調査から集落再編なし			現存している集落(A+B)
			他に編入	他と合併	分離	計	他を統合	他と合併	分離	計(A)	再編なし	名称変更	計(B)	
1 北海道	22 (100.0%)	3 (13.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	19 (86.4%)	0 (0.0%)	19 (86.4%)	19 (86.4%)
2 東北圏	43 (100.0%)	5 (11.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	36 (83.7%)	2 (4.7%)	38 (88.4%)	38 (88.4%)
3 首都圏	13 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	13 (100.0%)	0 (0.0%)	13 (100.0%)	13 (100.0%)
4 北陸圏	21 (100.0%)	6 (28.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	14 (66.7%)	1 (4.8%)	15 (71.4%)	15 (71.4%)
5 中部圏	36 (100.0%)	1 (2.8%)	2 (5.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (5.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	33 (91.7%)	0 (0.0%)	33 (91.7%)	33 (91.7%)
6 近畿圏	31 (100.0%)	4 (12.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	27 (87.1%)	0 (0.0%)	27 (87.1%)	27 (87.1%)
7 中国圏	84 (100.0%)	8 (9.5%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	74 (88.1%)	0 (0.0%)	74 (88.1%)	75 (89.3%)
8 四国圏	188 (100.0%)	12 (6.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	176 (93.6%)	0 (0.0%)	176 (93.6%)	176 (93.6%)
9 九州圏	70 (100.0%)	8 (11.4%)	2 (2.9%)	2 (2.9%)	0 (0.0%)	4 (5.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	58 (82.9%)	0 (0.0%)	58 (82.9%)	58 (82.9%)
10 沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	508 (100.0%)	47 (9.3%)	5 (1.0%)	2 (0.4%)	0 (0.0%)	7 (1.4%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	450 (88.6%)	3 (0.6%)	453 (89.2%)	454 (89.4%)

## ②消滅が予測されていた集落の現在までの人口の変遷

### 【全体】

- 前回調査対象地域における居住者がいる集落について、前回調査時の消滅可能性の予測別にこの4年間の人口増減率をみると、前回「10年以内に消滅」と予測されつつ現存している498集落のうち53.4%は前回調査時より人口が減少しており、特に20%超の減少がみられる集落の割合は41.6%と最も高い。また、この4年間で人口の増減がない集落も32.3%と3分の1近くを占めている。
- なお、前回調査で10年以内に消滅すると予測された集落の中で、20%超の人口増がみられる集落も25集落(5.0%)ある。

図表2-313 前回調査時の消滅可能性の予測別・人口増減率(R01/H27)別 集落数【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域	前回調査(H27)より人口減少				人口増減 なし	前回調査(H27)より人口増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
10年以内に 消滅と予測	207 (41.6%)	45 (9.0%)	13 (2.6%)	1 (0.2%)	161 (32.3%)	2 (0.4%)	1 (0.2%)	9 (1.8%)	25 (5.0%)	34 (6.8%)	498 (100.0%)
いずれ消滅 と予測	1,014 (34.4%)	735 (25.0%)	325 (11.0%)	98 (3.3%)	420 (14.3%)	29 (1.0%)	68 (2.3%)	72 (2.4%)	106 (3.6%)	78 (2.6%)	2,945 (100.0%)
当面存続	6,420 (9.8%)	20,155 (30.9%)	16,822 (25.8%)	9,664 (14.8%)	2,129 (3.3%)	3,806 (5.8%)	1,982 (3.0%)	1,468 (2.3%)	1,227 (1.9%)	1,532 (2.3%)	65,205 (100.0%)
無回答	614 (9.6%)	1,910 (29.8%)	1,521 (23.7%)	844 (13.2%)	213 (3.3%)	368 (5.7%)	181 (2.8%)	155 (2.4%)	285 (4.4%)	316 (4.9%)	6,407 (100.0%)
合計	8,255 (11.0%)	22,845 (30.4%)	18,681 (24.9%)	10,607 (14.1%)	2,923 (3.9%)	4,205 (5.6%)	2,232 (3.0%)	1,704 (2.3%)	1,643 (2.2%)	1,960 (2.6%)	75,055 (100.0%)

### 【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域における集落について、前回調査時の消滅可能性の予測別にこの4年間の人口増減率をみると、10年以内の消滅が予測されつつ現存している454集落のうち54.4%は前回調査時より人口が減少しており、特に20%超の減少がみられる集落の割合は42.3%と最も高い。また、この4年間で人口の増減がない集落も33.3%を占めている。
- なお、前回調査時に10年以内に消滅すると予測された集落の中で、20%超の人口増がみられる集落も23集落(5.1%)ある。

図表2-314 前回調査時の消滅可能性の予測別・人口増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査(H27)より人口減少				人口増減 なし	前回調査(H27)より人口増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
10年以内に 消滅と予測	192 (42.3%)	43 (9.5%)	11 (2.4%)	1 (0.2%)	151 (33.3%)	1 (0.2%)	1 (0.2%)	8 (1.8%)	23 (5.1%)	23 (5.1%)	454 (100.0%)
いずれ消滅 と予測	876 (34.6%)	601 (23.7%)	276 (10.9%)	84 (3.3%)	383 (15.1%)	21 (0.8%)	62 (2.4%)	64 (2.5%)	99 (3.9%)	66 (2.6%)	2,532 (100.0%)
当面存続	5,694 (10.6%)	17,446 (32.5%)	13,664 (25.5%)	7,433 (13.9%)	1,868 (3.5%)	2,985 (5.6%)	1,625 (3.0%)	1,208 (2.3%)	962 (1.8%)	737 (1.4%)	53,622 (100.0%)
無回答	531 (10.8%)	1,535 (31.3%)	1,126 (23.0%)	558 (11.4%)	182 (3.7%)	254 (5.2%)	137 (2.8%)	129 (2.6%)	265 (5.4%)	186 (3.8%)	4,903 (100.0%)
合計	7,293 (11.9%)	19,625 (31.9%)	15,077 (24.5%)	8,076 (13.1%)	2,584 (4.2%)	3,261 (5.3%)	1,825 (3.0%)	1,409 (2.3%)	1,349 (2.2%)	1,012 (1.6%)	61,511 (100.0%)

### ③消滅が予測されていた集落の現在までの世帯数の変遷

#### 【全体】

- 前回調査対象地域にある各集落の4年間の世帯増減率について、前回調査時の消滅可能性の予測別でみると、人口増減率と同様、20%以上世帯数が減少している集落の割合は、10年以内の消滅が予測されていた集落において32.9%と最も高くなっている。

図表2-315 前回調査時の消滅可能性の予測別・世帯増減率(R01/H27)別 集落数【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域	前回調査(H27)より世帯数減少				世帯数 増減なし	前回調査(H27)より世帯数増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
10年以内に 消滅と予測	164 (32.9%)	33 (6.6%)	5 (1.0%)	2 (0.4%)	219 (44.0%)	0 (0.0%)	3 (0.6%)	7 (1.4%)	28 (5.6%)	37 (7.4%)	498 (100.0%)
いずれ消滅 と予測	716 (24.3%)	554 (18.8%)	212 (7.2%)	79 (2.7%)	851 (28.9%)	53 (1.8%)	80 (2.7%)	120 (4.1%)	132 (4.5%)	148 (5.0%)	2,945 (100.0%)
当面存続	4,106 (6.3%)	8,614 (13.2%)	11,114 (17.0%)	11,234 (17.2%)	9,433 (14.5%)	7,950 (12.2%)	5,245 (8.0%)	3,353 (5.1%)	2,111 (3.2%)	2,045 (3.1%)	65,205 (100.0%)
無回答	416 (6.5%)	886 (13.8%)	1,057 (16.5%)	943 (14.7%)	884 (13.8%)	671 (10.5%)	469 (7.3%)	336 (5.2%)	308 (4.8%)	437 (6.8%)	6,407 (100.0%)
合計	5,402 (7.2%)	10,087 (13.4%)	12,388 (16.5%)	12,258 (16.3%)	11,387 (15.2%)	8,674 (11.6%)	5,797 (7.7%)	3,816 (5.1%)	2,579 (3.4%)	2,667 (3.6%)	75,055 (100.0%)

#### 【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域における集落について、4年間の世帯増減率を前回調査時の消滅可能性の予測別でみると、人口増減率と同様、20%以上世帯数が減少している集落の割合は、10年以内の消滅が予測されていた集落において33.7%と最も高くなっている。

図表2-316 前回調査時の消滅可能性の予測別・世帯増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査(H27)より世帯数減少				世帯数 増減増減 なし	前回調査(H27)より世帯数増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
10年以内に 消滅と予測	153 (33.7%)	30 (6.6%)	4 (0.9%)	2 (0.4%)	204 (44.9%)	0 (0.0%)	2 (0.4%)	7 (1.5%)	26 (5.7%)	26 (5.7%)	454 (100.0%)
いずれ消滅 と予測	631 (24.9%)	463 (18.3%)	170 (6.7%)	58 (2.3%)	745 (29.4%)	43 (1.7%)	68 (2.7%)	106 (4.2%)	119 (4.7%)	129 (5.1%)	2,532 (100.0%)
当面存続	3,428 (6.4%)	7,582 (14.1%)	9,646 (18.0%)	8,992 (16.8%)	8,247 (15.4%)	5,969 (11.1%)	4,174 (7.8%)	2,733 (5.1%)	1,621 (3.0%)	1,230 (2.3%)	53,622 (100.0%)
無回答	339 (6.9%)	773 (15.8%)	848 (17.3%)	667 (13.6%)	693 (14.1%)	432 (8.8%)	325 (6.6%)	249 (5.1%)	269 (5.5%)	308 (6.3%)	4,903 (100.0%)
合計	4,551 (7.4%)	8,848 (14.4%)	10,668 (17.3%)	9,719 (15.8%)	9,889 (16.1%)	6,444 (10.5%)	4,569 (7.4%)	3,095 (5.0%)	2,035 (3.3%)	1,693 (2.8%)	61,511 (100.0%)

④消滅が予測されながら存続している集落の特性

【全体】

- 前回調査時に、10年以内に消滅、あるいはいずれ消滅する可能性があると考えられていた集落のうち、現在も居住者がいる3,443集落について、その特性を他の集落と比較した。
- 10年以内に消滅する可能性があると考えられていた集落は、10人未満・10世帯未満の小規模集落が多く、大部分が山間地集落で、地形的末端集落も4割近くにのぼる。高齢者割合が高い集落の構成比も相対的に大きく、全住民が65歳以上である集落が46.4%を占めている。

図表2-317 前回調査対象地域における前回調査時の消滅可能性の予測別にみた集落特性【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査対象地域		前回調査(H27調査)時における集落の消滅可能性の予測別 集落数			
		10年以内に消滅と予測(現在存続)	いずれ消滅と予測(現在存続)	その他の集落	計
集落類型	基礎集落	479 (96.2%)	2,816 (95.6%)	57,619 (80.5%)	60,914 (81.2%)
	基幹集落	4 (0.8%)	66 (2.2%)	7,656 (10.7%)	7,726 (10.3%)
	中心集落	8 (1.6%)	30 (1.0%)	4,975 (6.9%)	5,013 (6.7%)
地域区分	山間地	413 (82.9%)	2,115 (71.8%)	19,854 (27.7%)	22,382 (29.8%)
	中間地	48 (9.6%)	555 (18.8%)	20,996 (29.3%)	21,599 (28.8%)
	平地	29 (5.8%)	235 (8.0%)	22,801 (31.8%)	23,065 (30.7%)
	都市的地域	4 (0.8%)	26 (0.9%)	6,669 (9.3%)	6,699 (8.9%)
人口規模	～9	397 (79.7%)	1,094 (37.1%)	1,472 (2.1%)	2,963 (3.9%)
	10～24	53 (10.6%)	1,003 (34.1%)	6,403 (8.9%)	7,459 (9.9%)
	25～49	15 (3.0%)	423 (14.4%)	12,188 (17.0%)	12,626 (16.8%)
	50～99	8 (1.6%)	176 (6.0%)	17,185 (24.0%)	17,369 (23.1%)
	100～199	5 (1.0%)	114 (3.9%)	15,998 (22.3%)	16,117 (21.5%)
	200～499	1 (0.2%)	65 (2.2%)	12,037 (16.8%)	12,103 (16.1%)
	500～999	0 (0.0%)	8 (0.3%)	3,528 (4.9%)	3,536 (4.7%)
	1000～	0 (0.0%)	4 (0.1%)	1,777 (2.5%)	1,781 (2.4%)
世帯数規模	～9	438 (88.0%)	1,781 (60.5%)	5,690 (7.9%)	7,909 (10.5%)
	10～19	25 (5.0%)	611 (20.7%)	12,309 (17.2%)	12,945 (17.2%)
	20～29	6 (1.2%)	177 (6.0%)	10,268 (14.3%)	10,451 (13.9%)
	30～49	7 (1.4%)	130 (4.4%)	13,319 (18.6%)	13,456 (17.9%)
	50～99	3 (0.6%)	125 (4.2%)	14,531 (20.3%)	14,659 (19.5%)
	100～199	2 (0.4%)	39 (1.3%)	8,444 (11.8%)	8,485 (11.3%)
	200～499	0 (0.0%)	10 (0.3%)	4,676 (6.5%)	4,686 (6.2%)
	500～	0 (0.0%)	3 (0.1%)	1,470 (2.1%)	1,473 (2.0%)
65歳以上割合	100%	231 (46.4%)	368 (12.5%)	460 (0.6%)	1,059 (1.4%)
	75%以上100%未満	66 (13.3%)	578 (19.6%)	1,735 (2.4%)	2,379 (3.2%)
	50%以上75%未満	115 (23.1%)	1,176 (39.9%)	17,455 (24.4%)	18,746 (25.0%)
	25%以上50%未満	39 (7.8%)	602 (20.4%)	45,448 (63.5%)	46,089 (61.4%)
	25%未満	26 (5.2%)	112 (3.8%)	4,689 (6.5%)	4,827 (6.4%)
75歳以上	100%	138 (27.7%)	119 (4.0%)	127 (0.2%)	384 (0.5%)
	50%以上100%未満	169 (33.9%)	906 (30.8%)	2,557 (3.6%)	3,632 (4.8%)
	50%未満	170 (34.1%)	1,811 (61.5%)	67,103 (93.7%)	69,084 (92.0%)
本庁までの距離	5 <sup>キロ</sup> 未満	20 (4.0%)	231 (7.8%)	23,151 (32.3%)	23,402 (31.2%)
	5 <sup>キロ</sup> 以上10 <sup>キロ</sup> 未満	78 (15.7%)	550 (18.7%)	16,468 (23.0%)	17,096 (22.8%)
	10 <sup>キロ</sup> 以上20 <sup>キロ</sup> 未満	179 (35.9%)	1,087 (36.9%)	18,353 (25.6%)	19,619 (26.1%)
	20 <sup>キロ</sup> 以上	216 (43.4%)	1,050 (35.7%)	12,579 (17.6%)	13,845 (18.4%)
地形	地形的末端である	189 (38.0%)	821 (27.9%)	3,601 (5.0%)	4,611 (6.1%)
	地形的末端でない	309 (62.0%)	2,124 (72.1%)	68,011 (95.0%)	70,444 (93.9%)
全体(割合の基数)		498 (100.0%)	2,945 (100.0%)	71,612 (100.0%)	75,055 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域において、前回調査時に、10年以内に消滅する可能性があると言われていた集落のうち、現在も居住者がいる454集落の特性をその他の集落と比較した。
- 前回調査で10年以内に消滅する可能性があると言われていた集落のうち、現在も存続している集落の8割以上は、10人未満・10世帯未満の小規模集落で、山間地にある集落であり、地形的末端集落も4割近くを占める。また高齢者割合が100%（集落住民全員が65歳以上）である集落が半数近くを占めている。

図表2-318 前回調査対象地域における前回調査時の消滅可能性の予測別にみた集落特性【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の過疎地域		前回調査(H27調査)時における集落の消滅可能性の予測別 集落数			
		10年以内に消滅と予測(現在存続)	いずれ消滅と予測(現在存続)	その他の集落	計
集落類型	基礎集落	444 (97.8%)	2,426 (95.8%)	47,779 (81.6%)	50,649 (82.3%)
	基幹集落	3 (0.7%)	58 (2.3%)	6,302 (10.8%)	6,363 (10.3%)
	中心集落	0 (0.0%)	22 (0.9%)	3,813 (6.5%)	3,835 (6.2%)
地域区分	山間地	382 (84.1%)	1,857 (73.3%)	17,304 (29.6%)	19,543 (31.8%)
	中間地	43 (9.5%)	470 (18.6%)	17,684 (30.2%)	18,197 (29.6%)
	平地	21 (4.6%)	172 (6.8%)	18,942 (32.4%)	19,135 (31.1%)
	都市的地域	4 (0.9%)	24 (0.9%)	4,144 (7.1%)	4,172 (6.8%)
人口規模	～9	369 (81.3%)	961 (38.0%)	1,315 (2.2%)	2,645 (4.3%)
	10～24	51 (11.2%)	899 (35.5%)	5,880 (10.0%)	6,830 (11.1%)
	25～49	11 (2.4%)	338 (13.3%)	11,071 (18.9%)	11,420 (18.6%)
	50～99	7 (1.5%)	130 (5.1%)	14,999 (25.6%)	15,136 (24.6%)
	100～199	1 (0.2%)	85 (3.4%)	13,072 (22.3%)	13,158 (21.4%)
	200～499	0 (0.0%)	54 (2.1%)	8,762 (15.0%)	8,816 (14.3%)
	500～999	0 (0.0%)	7 (0.3%)	2,071 (3.5%)	2,078 (3.4%)
1000～	0 (0.0%)	4 (0.2%)	846 (1.4%)	850 (1.4%)	
世帯数規模	～9	408 (89.9%)	1,578 (62.3%)	5,153 (8.8%)	7,139 (11.6%)
	10～19	23 (5.1%)	521 (20.6%)	11,138 (19.0%)	11,682 (19.0%)
	20～29	3 (0.7%)	140 (5.5%)	9,011 (15.4%)	9,154 (14.9%)
	30～49	7 (1.5%)	90 (3.6%)	11,323 (19.3%)	11,420 (18.6%)
	50～99	0 (0.0%)	101 (4.0%)	11,697 (20.0%)	11,798 (19.2%)
	100～199	0 (0.0%)	29 (1.1%)	6,118 (10.5%)	6,147 (10.0%)
	200～499	0 (0.0%)	9 (0.4%)	2,856 (4.9%)	2,865 (4.7%)
500～	0 (0.0%)	2 (0.1%)	745 (1.3%)	747 (1.2%)	
65歳以上割合	100%	215 (47.4%)	316 (12.5%)	406 (0.7%)	937 (1.5%)
	75%以上100%未満	63 (13.9%)	512 (20.2%)	1,594 (2.7%)	2,169 (3.5%)
	50%以上75%未満	105 (23.1%)	1,023 (40.4%)	15,852 (27.1%)	16,980 (27.6%)
	25%以上50%未満	32 (7.0%)	498 (19.7%)	36,491 (62.4%)	37,021 (60.2%)
	25%未満	24 (5.3%)	102 (4.0%)	3,353 (5.7%)	3,479 (5.7%)
75歳以上	100%	126 (27.8%)	98 (3.9%)	105 (0.2%)	329 (0.5%)
	50%以上100%未満	163 (35.9%)	793 (31.3%)	2,349 (4.0%)	3,305 (5.4%)
	50%未満	150 (33.0%)	1,560 (61.6%)	55,242 (94.4%)	56,952 (92.6%)
本庁までの距離	5 <sup>キロ</sup> 未満	20 (4.4%)	209 (8.3%)	18,153 (31.0%)	18,382 (29.9%)
	5 <sup>キロ</sup> 以上10 <sup>キロ</sup> 未満	70 (15.4%)	460 (18.2%)	13,029 (22.3%)	13,559 (22.0%)
	10 <sup>キロ</sup> 以上20 <sup>キロ</sup> 未満	152 (33.5%)	888 (35.1%)	15,333 (26.2%)	16,373 (26.6%)
	20 <sup>キロ</sup> 以上	207 (45.6%)	962 (38.0%)	11,514 (19.7%)	12,683 (20.6%)
地形	地形的末端である	175 (38.5%)	677 (26.7%)	2,968 (5.1%)	3,820 (6.2%)
	地形的末端でない	279 (61.5%)	1,855 (73.3%)	55,557 (94.9%)	57,691 (93.8%)
全体(割合の基数)		454 (100.0%)	2,532 (100.0%)	58,525 (100.0%)	61,511 (100.0%)

(6) 前回調査時にサポート人材が活動していた集落のその後の動向

① サポート人材の活動集落の変化

【全体】

- 前回調査時ににおいていずれかのサポート人材が活動していた集落のうち 67.5%は今回調査時においてもサポート人材の活動がみられる。一方、前回調査時にサポート人材が活動していなかった集落のうち約2割には今回調査時に何らかのサポート人材が活動しており、最も多いのは地域おこし協力隊(12.4%)である。
- サポート人材の種類別でみると、集落支援員については、前回調査時に活動がみられた集落の7割超で今回調査時においても活動がみられ、その他の人材も含めると、前回調査時に集落支援員が活動していた集落の8割には今回調査時においても何らかの人材が活動している。

図表2-319 前回調査時×今回調査時のサポート人材の活動状況別 集落数 【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査対象地域		サポート人材が活動している			サポート人材 は活動してい ない	総集落数	
		集落支援員	地域おこし 協力隊等	その他			
前回 調査 時	サポート人材 あり	13,297 (67.5%)	9,200 (46.7%)	8,220 (41.7%)	1,282 (6.5%)	6,412 (32.5%)	19,709 (100.0%)
	集落 支援員	8,000 (80.4%)	7,274 (73.1%)	4,097 (41.2%)	592 (6.0%)	1,948 (19.6%)	9,948 (100.0%)
	地域おこし 協力隊	7,530 (63.4%)	4,757 (40.1%)	6,379 (53.7%)	102 (0.9%)	4,342 (36.6%)	11,872 (100.0%)
	その他	1,400 (69.7%)	547 (27.2%)	362 (18.0%)	755 (37.6%)	608 (30.3%)	2,008 (100.0%)
	サポート人材 なし	11,385 (20.7%)	5,327 (9.7%)	6,823 (12.4%)	204 (0.4%)	43,501 (79.3%)	54,886 (100.0%)
合計		24,682 (33.1%)	14,527 (19.5%)	15,043 (20.2%)	1,486 (2.0%)	49,913 (66.9%)	74,595 (100.0%)

※前回調査での回答漏れなど、前回調査対象地域において前回調査で回答のなかった集落を除く。

【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域では、前回調査時ににおいていずれかのサポート人材が活動していた集落のうち 68.4%は今回調査時においてもサポート人材の活動がみられる。また、前回調査時にサポート人材が活動していなかった集落の 21.5%にも今回調査時に何らかのサポート人材が活動しており、最も多いのは地域おこし協力隊(13.7%)である。
- サポート人材の種類別でみると、集落支援員については、前回調査時に活動がみられた集落の7割超で今回調査時においても活動がみられ、その他の人材も含めると、前回調査時に集落支援員が活動していた集落の81.4%には今回調査時においても何らかの人材が活動している。

図表2-320 前回調査時×今回調査時のサポート人材の活動状況別 集落数 【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域		サポート人材が活動している			サポート人材 は活動してい ない	総集落数	
		集落支援員	地域おこし 協力隊等	その他			
前回 調査 時	サポート人材 あり	11,970 (68.4%)	8,459 (48.3%)	7,528 (43.0%)	1,066 (6.1%)	5,536 (31.6%)	17,506 (100.0%)
	集落 支援員	7,427 (81.4%)	6,751 (74.0%)	3,938 (43.2%)	592 (6.5%)	1,698 (18.6%)	9,125 (100.0%)
	地域おこし 協力隊	6,837 (64.1%)	4,368 (41.0%)	5,807 (54.5%)	85 (0.8%)	3,827 (35.9%)	10,664 (100.0%)
	その他	1,072 (74.1%)	485 (33.5%)	235 (16.3%)	539 (37.3%)	374 (25.9%)	1,446 (100.0%)
	サポート人材 なし	9,381 (21.5%)	4,049 (9.3%)	5,986 (13.7%)	196 (0.4%)	34,289 (78.5%)	43,670 (100.0%)
合計		21,351 (34.9%)	12,508 (20.4%)	13,514 (22.1%)	1,262 (2.1%)	39,825 (65.1%)	61,176 (100.0%)

※前回調査での回答漏れなど、前回調査対象地域において前回調査で回答のなかった集落を除く。

②前回調査時のサポート人材の活動状況と地域運営組織の設立状況の関係

【全体】

- 前回調査時にサポート人材が活動していた集落の21.0%には地域運営組織が設立されている。

図表2-321 前回調査時のサポート人材の活動状況別・地域運営組織の有無別 集落数【全体・前回調査対象地域】

全体		地域運営組織の有無別 集落数		
前回調査対象地域		地域運営組織が ある	地域運営組織は ない	計
前回調査時	サポート人材 あり	4,136 (21.0%)	15,573 (79.0%)	19,709 (100.0%)
	集落 支援員	2,777 (27.9%)	7,171 (72.1%)	9,948 (100.0%)
	地域おこし 協力隊	1,806 (15.2%)	10,066 (84.8%)	11,872 (100.0%)
	その他	373 (18.6%)	1,635 (81.4%)	2,008 (100.0%)
	サポート人材 なし	10,547 (19.2%)	44,339 (80.8%)	54,886 (100.0%)
	合計	14,683 (19.7%)	59,912 (80.3%)	74,595 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域における集落のうち、前回調査時にサポート人材が活動していた集落の20.8%には地域運営組織が設立されている。

図表2-322 前回調査時のサポート人材の活動状況別・地域運営組織の有無別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域		地域運営組織の有無別 集落数		
前回調査の 過疎地域		地域運営組織が ある	地域運営組織は ない	計
前回調査時	サポート人材 あり	3,640 (20.8%)	13,866 (79.2%)	17,506 (100.0%)
	集落 支援員	2,451 (26.9%)	6,674 (73.1%)	9,125 (100.0%)
	地域おこし 協力隊	1,585 (14.9%)	9,079 (85.1%)	10,664 (100.0%)
	その他	350 (24.2%)	1,096 (75.8%)	1,446 (100.0%)
	サポート人材 なし	8,505 (19.5%)	35,165 (80.5%)	43,670 (100.0%)
	合計	12,145 (19.9%)	49,031 (80.1%)	61,176 (100.0%)

## 2-5. その他

### (1)平成 27 年以降に消滅した集落数

#### 【全体】

- 条件不利地域全体では、平成 27 年以降消滅した集落は 96 市町村において 164 集落みられた。

図表2-323 集落が消滅した市町村数及び過疎区分別 消滅集落数【全体】

全体 前回調査 対象地域	現市町村の過疎区分別 集落が消滅した市町村数					現市町村の過疎区分別 消滅集落数				
	過疎	みなし過疎	一部過疎	非過疎	計	過疎	みなし過疎	一部過疎	非過疎	計
合計	63 (65.6%)	5 (5.2%)	21 (21.9%)	7 (7.3%)	96 (100.0%)	108 (65.9%)	7 (4.3%)	39 (23.8%)	10 (6.1%)	164 (100.0%)

図表2-324 地域指定別・過疎区分別 消滅集落数【全体】

全体 前回調査 対象地域	現市町村の過疎区分別 消滅集落数				
	過疎	みなし過疎	一部過疎	非過疎	計
過疎地域	108 (77.1%)	7 (5.0%)	25 (17.9%)	0 (0.0%)	140 (100.0%)
振興山村	52 (67.5%)	4 (5.2%)	14 (18.2%)	7 (9.1%)	77 (100.0%)
離島	5 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)
半島	15 (78.9%)	1 (5.3%)	2 (10.5%)	1 (5.3%)	19 (100.0%)
特別豪雪地帯	18 (51.4%)	3 (8.6%)	12 (34.3%)	2 (5.7%)	35 (100.0%)

#### 【過疎地域のみ】

- 現在の過疎地域において平成 27 年以降消滅した集落は、83 市町村において 140 集落みられる。
- 地方ブロック別でみると、消滅集落数は中国圏と九州圏に比較的多く分布しているほか、北海道や東北圏、北陸圏、四国圏でも二桁以上の消滅集落がみられている。

図表2-325 地方ブロック別・集落が消滅した市町村数及び過疎区分別消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	現市町村の過疎区分別 集落が消滅した市町村数					現市町村の過疎区分別 消滅集落数				
	過疎	みなし過疎	一部過疎	非過疎	計	過疎	みなし過疎	一部過疎	非過疎	計
1 北海道	11 (91.7%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)	12 (100.0%)	11 (91.7%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)	12 (100.0%)
2 東北圏	8 (61.5%)	2 (15.4%)	3 (23.1%)	0 (0.0%)	13 (100.0%)	10 (58.8%)	4 (23.5%)	3 (17.6%)	0 (0.0%)	17 (100.0%)
3 首都圏	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
4 北陸圏	3 (75.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)	9 (81.8%)	0 (0.0%)	2 (18.2%)	0 (0.0%)	11 (100.0%)
5 中部圏	4 (80.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)	4 (80.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)
6 近畿圏	7 (87.5%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (100.0%)	7 (87.5%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (100.0%)
7 中国圏	9 (69.2%)	2 (15.4%)	2 (15.4%)	0 (0.0%)	13 (100.0%)	33 (82.5%)	2 (5.0%)	5 (12.5%)	0 (0.0%)	40 (100.0%)
8 四国圏	9 (81.8%)	0 (0.0%)	2 (18.2%)	0 (0.0%)	11 (100.0%)	17 (89.5%)	0 (0.0%)	2 (10.5%)	0 (0.0%)	19 (100.0%)
9 九州圏	11 (68.8%)	0 (0.0%)	5 (31.3%)	0 (0.0%)	16 (100.0%)	16 (59.3%)	0 (0.0%)	11 (40.7%)	0 (0.0%)	27 (100.0%)
10 沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	63 (75.9%)	5 (6.0%)	15 (18.1%)	0 (0.0%)	83 (100.0%)	108 (77.1%)	7 (5.0%)	25 (17.9%)	0 (0.0%)	140 (100.0%)

- 過疎地域において消滅した 140 集落について、前回調査時における消滅可能性の予測別に主要特性をみると、消滅が予測されていたかどうかに関わらず消滅集落のほぼ全てが基礎集落であり、前回調査時点で人口や世帯数規模が極めて小さな集落を中心に消滅している割合が高くなっている。

図表2-326 前回調査時の消滅可能性の予測別にみた消滅集落の主要特性【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査対象地域		前回調査(H27調査)時における集落の消滅予測別				消滅集落数 計
		10年以内に 消滅と予測	いずれ消滅と 予測	当面存続と 予測	無回答	
集 落 類 型	基礎集落	47 (100.0%)	40 (90.9%)	44 (95.7%)	1 (33.3%)	132 (94.3%)
	基幹集落	0 (0.0%)	1 (2.3%)	1 (2.2%)	0 (0.0%)	2 (1.4%)
	中心集落	0 (0.0%)	1 (2.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)
地 域 区 分	山間地	37 (78.7%)	29 (65.9%)	16 (34.8%)	0 (0.0%)	82 (58.6%)
	中間地	7 (14.9%)	7 (15.9%)	11 (23.9%)	0 (0.0%)	25 (17.9%)
	平地	2 (4.3%)	5 (11.4%)	13 (28.3%)	1 (33.3%)	21 (15.0%)
	都市的地域	1 (2.1%)	2 (4.5%)	5 (10.9%)	0 (0.0%)	8 (5.7%)
の 前 回 人 口 調 査 規 模 時	～9	44 (93.6%)	41 (93.2%)	25 (54.3%)	2 (66.7%)	112 (80.0%)
	10～49	3 (6.4%)	2 (4.5%)	10 (21.7%)	0 (0.0%)	15 (10.7%)
	50～99	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (13.0%)	0 (0.0%)	6 (4.3%)
	100～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (8.7%)	0 (0.0%)	4 (2.9%)
世 帯 数 規 模 の 前 回 調 査 時	～9	46 (97.9%)	43 (97.7%)	29 (63.0%)	2 (66.7%)	120 (85.7%)
	10～29	1 (2.1%)	0 (0.0%)	8 (17.4%)	0 (0.0%)	9 (6.4%)
	30～99	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (17.4%)	0 (0.0%)	8 (5.7%)
	100～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
本 庁 ま で の 距 離	5 <sup>世帯</sup> 未満	3 (6.4%)	7 (15.9%)	15 (32.6%)	1 (33.3%)	26 (18.6%)
	5 <sup>世帯</sup> 以上10 <sup>世帯</sup> 未満	6 (12.8%)	11 (25.0%)	8 (17.4%)	1 (33.3%)	26 (18.6%)
	10 <sup>世帯</sup> 以上20 <sup>世帯</sup> 未満	16 (34.0%)	13 (29.5%)	8 (17.4%)	0 (0.0%)	37 (26.4%)
	20 <sup>世帯</sup> 以上	22 (46.8%)	13 (29.5%)	15 (32.6%)	0 (0.0%)	50 (35.7%)
地 形	地形的末端である	25 (53.2%)	14 (31.8%)	4 (8.7%)	0 (0.0%)	43 (30.7%)
	地形的末端でない	22 (46.8%)	30 (68.2%)	42 (91.3%)	3 (100.0%)	97 (69.3%)
機 能 維 持 状 況	良好	1 (2.1%)	4 (9.1%)	29 (63.0%)	1 (33.3%)	35 (25.0%)
	機能低下	4 (8.5%)	9 (20.5%)	10 (21.7%)	0 (0.0%)	23 (16.4%)
	機能維持困難	42 (89.4%)	30 (68.2%)	7 (15.2%)	1 (33.3%)	80 (57.1%)
全体(割合の基数)		47 (100.0%)	44 (100.0%)	46 (100.0%)	3 (100.0%)	140 (100.0%)

## (2) 集落の消滅理由

### 【全体】

- 消滅した集落について、消滅理由をみると、全体で最も多いのは「自然消滅」であり、55.5%を占めている。

図表2-327 消滅理由別 消滅集落数【全体】

全体 前回調査 対象地域	消滅理由別 消滅集落数							計
	集団移転事業による移転	公共工事による 集団移転	廃坑による 廃村等	自然災害による 分散転居	自然消滅	その他	無回答	
合計	2 (1.2%)	5 (3.0%)	0 (0.0%)	2 (1.2%)	91 (55.5%)	26 (15.9%)	38 (23.2%)	164 (100.0%)

### 【過疎地域のみ】

- 過疎地域において消滅した集落の消滅理由でも最も多いのは「自然消滅」であり、59.3%を占めている。
- 地方ブロック別でみると、「自然消滅」は北陸圏と中国圏以外のブロックで5割を超えている。

図表2-328 地方ブロック別・消滅理由別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅理由別 消滅集落数							計
	集団移転事業による移転	公共工事による 集団移転	廃坑による 廃村等	自然災害による 分散転居	自然消滅	その他	無回答	
1 北海道	1 (8.3%)	2 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (58.3%)	1 (8.3%)	1 (8.3%)	12 (100.0%)
2 東北圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (5.9%)	10 (58.8%)	2 (11.8%)	4 (23.5%)	17 (100.0%)
3 首都圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
4 北陸圏	1 (9.1%)	2 (18.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (27.3%)	3 (27.3%)	2 (18.2%)	11 (100.0%)
5 中部圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (80.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)
6 近畿圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	5 (62.5%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	8 (100.0%)
7 中国圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	19 (47.5%)	7 (17.5%)	14 (35.0%)	40 (100.0%)
8 四国圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	18 (94.7%)	0 (0.0%)	1 (5.3%)	19 (100.0%)
9 九州圏	0 (0.0%)	1 (3.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	16 (59.3%)	3 (11.1%)	7 (25.9%)	27 (100.0%)
10 沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2 (1.4%)	5 (3.6%)	0 (0.0%)	2 (1.4%)	83 (59.3%)	18 (12.9%)	30 (21.4%)	140 (100.0%)

- 前回調査時における消滅可能性の予測別でみると、前回調査で消滅が予測されていなかったにもかかわらず消滅した集落も、4割強は「自然消滅」している。

図表2-329 前回調査時の消滅可能性の予測別・消滅理由別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅理由別 消滅集落数							計
	集団移転事業による移転	公共工事による 集団移転	廃坑による 廃村等	自然災害による 分散転居	自然消滅	その他	無回答	
10年以内に 消滅と予測	1 (2.1%)	2 (4.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	36 (76.6%)	2 (4.3%)	6 (12.8%)	47 (100.0%)
いずれ消滅 と予測	0 (0.0%)	2 (4.5%)	0 (0.0%)	1 (2.3%)	26 (59.1%)	4 (9.1%)	11 (25.0%)	44 (100.0%)
当面存続 と予測	1 (2.2%)	1 (2.2%)	0 (0.0%)	1 (2.2%)	20 (43.5%)	12 (26.1%)	11 (23.9%)	46 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	3 (100.0%)
合計	2 (1.4%)	5 (3.6%)	0 (0.0%)	2 (1.4%)	83 (59.3%)	18 (12.9%)	30 (21.4%)	140 (100.0%)

- 集落類型別でみると、中心集落で消滅した1集落は「自然消滅」である。
- 消滅集落が最も多い基礎集落では、消滅理由は「自然消滅」が6割弱と多い。

図表2-330 集落類型別・消滅理由別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅理由別 消滅集落数							計
	集団移転事業に よる移転	公共工事による 集団移転	廃坑による 廃村等	自然災害による 分散転居	自然消滅	その他	無回答	
基礎集落	2 (1.5%)	5 (3.8%)	0 (0.0%)	2 (1.5%)	79 (59.8%)	17 (12.9%)	27 (20.5%)	132 (100.0%)
基幹集落	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)
中心集落	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	3 (60.0%)	5 (100.0%)
合計	2 (1.4%)	5 (3.6%)	0 (0.0%)	2 (1.4%)	83 (59.3%)	18 (12.9%)	30 (21.4%)	140 (100.0%)

- 地域区分別でみると、山間地集落と平地集落では「公共工事による集団移転」が若干みられる。

図表2-331 地域区分別・消滅理由別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅理由別 消滅集落数							計
	集団移転事業に よる移転	公共工事による 集団移転	廃坑による 廃村等	自然災害による 分散転居	自然消滅	その他	無回答	
山間地	1 (1.2%)	2 (2.4%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	55 (67.1%)	6 (7.3%)	17 (20.7%)	82 (100.0%)
中間地	1 (4.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	16 (64.0%)	3 (12.0%)	5 (20.0%)	25 (100.0%)
平地	0 (0.0%)	3 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (33.3%)	7 (33.3%)	4 (19.0%)	21 (100.0%)
都市的領域	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	4 (50.0%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)	8 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	3 (75.0%)	4 (100.0%)
合計	2 (1.4%)	5 (3.6%)	0 (0.0%)	2 (1.4%)	83 (59.3%)	18 (12.9%)	30 (21.4%)	140 (100.0%)

### (3) 消滅集落住民の転居先

#### 【全体】

- 消滅集落の住民の転居先をみると、30 集落(18.3%)は「自市町村内に転居」しているが、「他市町村に転居」したとされる消滅集落も同程度(28 集落、17.1%)みられる。

図表2-332 消滅集落住民の転居先別 消滅集落数【全体】

全体 前回調査 対象地域	消滅集落住民の移転先別 消滅集落数						計
	自市町村内に 転居	他市町村に 転居	各地に 分散転居	転居者なし	不明	無回答	
合計	30 (18.3%)	28 (17.1%)	10 (6.1%)	10 (6.1%)	46 (28.0%)	40 (24.4%)	164 (100.0%)

#### 【過疎地域のみ】

- 過疎地域における消滅集落の住民の転居先をみると、「自市町村内に転居」と「他市町村に転居」が同数で約2割ずつを占めている。
- 地方ブロック別でみると、「自市町村内に転居」した割合が高いのは、北海道(58.3%)や東北圏(47.1%)の消滅集落であり、「他市町村に転居」した割合が高いのは首都圏(100%)や中部圏(80.0%)の消滅集落である。

図表2-333 地方ブロック別・消滅集落住民の転居先別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅集落住民の移転先別 消滅集落数						計
	自市町村内に 転居	他市町村に 転居	各地に 分散転居	転居者なし	不明	無回答	
1 北海道	7 (58.3%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (25.0%)	1 (8.3%)	12 (100.0%)
2 東北圏	8 (47.1%)	1 (5.9%)	1 (5.9%)	1 (5.9%)	2 (11.8%)	4 (23.5%)	17 (100.0%)
3 首都圏	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
4 北陸圏	1 (9.1%)	2 (18.2%)	3 (27.3%)	0 (0.0%)	3 (27.3%)	2 (18.2%)	11 (100.0%)
5 中部圏	0 (0.0%)	4 (80.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)
6 近畿圏	1 (12.5%)	3 (37.5%)	1 (12.5%)	2 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	8 (100.0%)
7 中国圏	3 (7.5%)	0 (0.0%)	3 (7.5%)	2 (5.0%)	16 (40.0%)	16 (40.0%)	40 (100.0%)
8 四国圏	1 (5.3%)	11 (57.9%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	5 (26.3%)	1 (5.3%)	19 (100.0%)
9 九州圏	6 (22.2%)	4 (14.8%)	1 (3.7%)	3 (11.1%)	6 (22.2%)	7 (25.9%)	27 (100.0%)
10 沖縄県	0	0	0	0	0	0	0
合計	27 (19.3%)	27 (19.3%)	10 (7.1%)	8 (5.7%)	36 (25.7%)	32 (22.9%)	140 (100.0%)

- 前回調査時における消滅可能性の予測別でみると、当面存続すると予測されながら消滅した集落の1割超は住民が「各地に分散転居」している。

図表2-334 前回調査時の消滅可能性の予測別・消滅集落住民の転居先別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅集落住民の移転先別 消滅集落数						計
	自市町村内に 転居	他市町村に 転居	各地に 分散転居	転居者なし	不明	無回答	
10年以内に 消滅と予測	8 (17.0%)	14 (29.8%)	2 (4.3%)	2 (4.3%)	13 (27.7%)	8 (17.0%)	47 (100.0%)
いずれ消滅 と予測	10 (22.7%)	9 (20.5%)	2 (4.5%)	3 (6.8%)	14 (31.8%)	6 (13.6%)	44 (100.0%)
当面存続 と予測	9 (19.6%)	4 (8.7%)	6 (13.0%)	2 (4.3%)	9 (19.6%)	16 (34.8%)	46 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	3 (100.0%)
合計	27 (19.3%)	27 (19.3%)	10 (7.1%)	8 (5.7%)	36 (25.7%)	32 (22.9%)	140 (100.0%)

- 集落類型別でみると、基幹集落で消滅した2集落は「他市町村に転居」と「各地に分散転居」となっている。

図表2-335 集落類型別・消滅集落住民の転居先別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅集落住民の移転先別 消滅集落数						計
	自市町村内に 転居	他市町村に 転居	各地に 分散転居	転居者なし	不明	無回答	
基礎集落	26 (19.7%)	24 (18.2%)	9 (6.8%)	8 (6.1%)	36 (27.3%)	29 (22.0%)	132 (100.0%)
基幹集落	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)
中心集落	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (60.0%)	5 (100.0%)
合計	27 (19.3%)	27 (19.3%)	10 (7.1%)	8 (5.7%)	36 (25.7%)	32 (22.9%)	140 (100.0%)

- 地域区分別でみると、「自市町村内に転居」した割合が最も高くなっているのは平地集落(38.1%)である。
- また、前回調査時に都市的地域にあった集落では、「自市町村内に転居」に次いで「各地に分散転居」が12.5%を占めるが、6割超は転居先が不明(無回答)である。

図表2-336 地域区分別・消滅集落住民の転居先別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅集落住民の移転先別 消滅集落数						計
	自市町村内に 転居	他市町村に 転居	各地に 分散転居	転居者なし	不明	無回答	
山間地	11 (13.4%)	25 (30.5%)	4 (4.9%)	4 (4.9%)	23 (28.0%)	15 (18.3%)	82 (100.0%)
中間地	6 (24.0%)	1 (4.0%)	3 (12.0%)	2 (8.0%)	8 (32.0%)	5 (20.0%)	25 (100.0%)
平地	8 (38.1%)	0 (0.0%)	2 (9.5%)	2 (9.5%)	5 (23.8%)	4 (19.0%)	21 (100.0%)
都市的地域	2 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (62.5%)	8 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (75.0%)	4 (100.0%)
合計	27 (19.3%)	27 (19.3%)	10 (7.1%)	8 (5.7%)	36 (25.7%)	32 (22.9%)	140 (100.0%)

(4) 消滅した時期

【全体】

- 集落の消滅時期をみると、平成 27 年以降消滅する集落が増え始め、平成 28 年から平成 30 年にかけては毎年 20 集落以上が消滅している。

図表2-337 消滅時期別 消滅集落数【全体】

全体 前回調査 対象地域	消滅時期別 消滅集落数							計
	H26	H27	H28	H29	H30	H31(R1)	無回答	
合計	2 (1.2%)	18 (11.0%)	20 (12.2%)	21 (12.8%)	25 (15.2%)	7 (4.3%)	71 (43.3%)	164 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域における集落の消滅時期をみると、条件不利地域全体と同様、平成 27 年以降消滅する集落が増え始め、平成 30 年には 22 集落が消滅している。
- 地方ブロック別でみると、北海道や北陸圏、近畿圏では平成 27 年から消滅する集落がみられ始めており、四国圏では平成 29 年と平成 30 年に多く消滅がみられる。

図表2-338 地方ブロック別・消滅時期別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅時期別 消滅集落数							計
	H26	H27	H28	H29	H30	H31(R1)	無回答	
1 北海道	0 (0.0%)	3 (25.0%)	1 (8.3%)	3 (25.0%)	3 (25.0%)	0 (0.0%)	2 (16.7%)	12 (100.0%)
2 東北圏	0 (0.0%)	1 (5.9%)	3 (17.6%)	3 (17.6%)	4 (23.5%)	1 (5.9%)	5 (29.4%)	17 (100.0%)
3 首都圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
4 北陸圏	0 (0.0%)	2 (18.2%)	3 (27.3%)	2 (18.2%)	0 (0.0%)	2 (18.2%)	2 (18.2%)	11 (100.0%)
5 中部圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	5 (100.0%)
6 近畿圏	0 (0.0%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)	2 (25.0%)	8 (100.0%)
7 中国圏	1 (2.5%)	2 (5.0%)	4 (10.0%)	2 (5.0%)	2 (5.0%)	0 (0.0%)	29 (72.5%)	40 (100.0%)
8 四国圏	0 (0.0%)	1 (5.3%)	1 (5.3%)	6 (31.6%)	6 (31.6%)	1 (5.3%)	4 (21.1%)	19 (100.0%)
9 九州圏	1 (3.7%)	3 (11.1%)	3 (11.1%)	1 (3.7%)	3 (11.1%)	2 (7.4%)	14 (51.9%)	27 (100.0%)
10 沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2 (1.4%)	14 (10.0%)	19 (13.6%)	17 (12.1%)	22 (15.7%)	7 (5.0%)	59 (42.1%)	140 (100.0%)

(5) 消滅集落跡地の主な地域資源の管理状況

【全体】

- 消滅集落跡地における地域資源の管理状況をみると、森林・林地や農地・田畑、住宅については「元住民が管理」している割合が比較的高いものの、それ以上の割合で「放置」されている消滅集落がみられる。
- 集落道路・農道等や用排水路等については、「行政が管理」している割合が比較的高い。

図表2-339 地域資源別・消滅集落の管理状況別 消滅集落数【全体】

全体 前回調査 対象地域	消滅集落跡地の伝統的祭事・伝統芸能等の管理状況別 消滅集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
森林・林地	21 (12.8%)	4 (2.4%)	0 (0.0%)	11 (6.7%)	43 (26.2%)	30 (18.3%)	55 (33.5%)	164 (100.0%)
農地・田畑	31 (18.9%)	4 (2.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	36 (22.0%)	38 (23.2%)	55 (33.5%)	164 (100.0%)
集会所・小学校等	2 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (1.8%)	5 (3.0%)	98 (59.8%)	56 (34.1%)	164 (100.0%)
住宅	38 (23.2%)	0 (0.0%)	1 (0.6%)	5 (3.0%)	39 (23.8%)	28 (17.1%)	53 (32.3%)	164 (100.0%)
集落道路・農道等	11 (6.7%)	3 (1.8%)	0 (0.0%)	54 (32.9%)	11 (6.7%)	30 (18.3%)	55 (33.5%)	164 (100.0%)
用排水路等	14 (8.5%)	5 (3.0%)	0 (0.0%)	33 (20.1%)	22 (13.4%)	35 (21.3%)	55 (33.5%)	164 (100.0%)
神社・仏閣等	13 (7.9%)	2 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (6.1%)	83 (50.6%)	56 (34.1%)	164 (100.0%)
河川・湖沼 ・ため池等	4 (2.4%)	3 (1.8%)	0 (0.0%)	19 (11.6%)	22 (13.4%)	61 (37.2%)	55 (33.5%)	164 (100.0%)
伝統的祭事 ・伝統芸能等	2 (1.2%)	2 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	19 (11.6%)	85 (51.8%)	56 (34.1%)	164 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域における消滅集落跡地の地域資源の管理状況をみると、条件不利地域全体と同様、森林・林地や農地・田畑、住宅については「元住民が管理」している割合が比較的高いものの、それ以上の割合で「放置」されている消滅集落がみられる。
- 集落道路・農道等については「行政が管理」している割合が3分の1以上を占めており、用排水路等についても約2割の消滅集落では「行政が管理」している。

図表2-340 地域資源別・消滅集落の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅集落跡地の伝統的祭事・伝統芸能等の管理状況別 消滅集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
森林・林地	20 (14.3%)	3 (2.1%)	0 (0.0%)	9 (6.4%)	38 (27.1%)	25 (17.9%)	45 (32.1%)	140 (100.0%)
農地・田畑	27 (19.3%)	3 (2.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	32 (22.9%)	33 (23.6%)	45 (32.1%)	140 (100.0%)
集会所・小学校等	2 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (2.1%)	3 (2.1%)	86 (61.4%)	46 (32.9%)	140 (100.0%)
住宅	34 (24.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (3.6%)	37 (26.4%)	23 (16.4%)	41 (29.3%)	140 (100.0%)
集落道路・農道等	11 (7.9%)	2 (1.4%)	0 (0.0%)	48 (34.3%)	10 (7.1%)	24 (17.1%)	45 (32.1%)	140 (100.0%)
用排水路等	14 (10.0%)	4 (2.9%)	0 (0.0%)	27 (19.3%)	21 (15.0%)	29 (20.7%)	45 (32.1%)	140 (100.0%)
神社・仏閣等	13 (9.3%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (6.4%)	72 (51.4%)	45 (32.1%)	140 (100.0%)
河川・湖沼 ・ため池等	4 (2.9%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	17 (12.1%)	20 (14.3%)	53 (37.9%)	45 (32.1%)	140 (100.0%)
伝統的祭事 ・伝統芸能等	2 (1.4%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	18 (12.9%)	74 (52.9%)	45 (32.1%)	140 (100.0%)

## ①森林・林地

- 過疎地域の消滅集落における森林・林地の管理状況について地方ブロック別でみると、「元住民が管理」している割合が高いのは、近畿圏や東北圏、四国圏であり、「行政が管理」している割合が高いのは北海道である。また、首都圏や北陸圏、四国圏では「放置」されている消滅集落の割合が高くなっている。

図表2-341 地方ブロック別・消滅集落の森林・林地の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅集落跡地の森林・林地の管理状況別 消滅集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
1 北海道	0 (0.0%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)	6 (50.0%)	1 (8.3%)	3 (25.0%)	1 (8.3%)	12 (100.0%)
2 東北圏	5 (29.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (23.5%)	4 (23.5%)	4 (23.5%)	17 (100.0%)
3 首都圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
4 北陸圏	1 (9.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (54.5%)	2 (18.2%)	2 (18.2%)	11 (100.0%)
5 中部圏	1 (20.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)
6 近畿圏	3 (37.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	2 (25.0%)	0 (0.0%)	2 (25.0%)	8 (100.0%)
7 中国圏	3 (7.5%)	1 (2.5%)	0 (0.0%)	1 (2.5%)	4 (10.0%)	5 (12.5%)	26 (65.0%)	40 (100.0%)
8 四国圏	5 (26.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (5.3%)	9 (47.4%)	3 (15.8%)	1 (5.3%)	19 (100.0%)
9 九州圏	2 (7.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (37.0%)	6 (22.2%)	9 (33.3%)	27 (100.0%)
10 沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	20 (14.3%)	3 (2.1%)	0 (0.0%)	9 (6.4%)	38 (27.1%)	25 (17.9%)	45 (32.1%)	140 (100.0%)

- 前回調査時における消滅可能性の予測別でみると、「10年以内に消滅」と予測されていた集落では、森林・林地が「放置」されている割合が36.2%と最も高い。

図表2-342 前回調査時の消滅可能性の予測別・消滅集落の森林・林地の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅集落跡地の森林・林地の管理状況別 消滅集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
10年以内に 消滅と予測	12 (25.5%)	2 (4.3%)	0 (0.0%)	3 (6.4%)	17 (36.2%)	3 (6.4%)	10 (21.3%)	47 (100.0%)
いずれ消滅 と予測	6 (13.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (11.4%)	11 (25.0%)	9 (20.5%)	13 (29.5%)	44 (100.0%)
当面存続 と予測	2 (4.3%)	1 (2.2%)	0 (0.0%)	1 (2.2%)	9 (19.6%)	13 (28.3%)	20 (43.5%)	46 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	3 (100.0%)
合計	20 (14.3%)	3 (2.1%)	0 (0.0%)	9 (6.4%)	38 (27.1%)	25 (17.9%)	45 (32.1%)	140 (100.0%)

## ②農地・田畑

- 過疎地域の消滅集落における農地・田畑の管理状況について地方ブロック別でみると、「放置」されている割合が高いのは首都圏や四国圏、北陸圏であり、「元住民が管理」している割合は、近畿圏や東北圏、北海道で比較的高くなっている。

図表2-343 地方ブロック別・消滅集落の農地・田畑の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅集落跡地の農地・田畑の管理状況別 消滅集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
1 北海道	4 (33.3%)	2 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (41.7%)	1 (8.3%)	12 (100.0%)
2 東北圏	6 (35.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (23.5%)	3 (17.6%)	4 (23.5%)	17 (100.0%)
3 首都圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
4 北陸圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (36.4%)	5 (45.5%)	2 (18.2%)	11 (100.0%)
5 中部圏	1 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	3 (60.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)
6 近畿圏	4 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (25.0%)	0 (0.0%)	2 (25.0%)	8 (100.0%)
7 中国圏	4 (10.0%)	1 (2.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (10.0%)	5 (12.5%)	26 (65.0%)	40 (100.0%)
8 四国圏	6 (31.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (36.8%)	5 (26.3%)	1 (5.3%)	19 (100.0%)
9 九州圏	2 (7.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (33.3%)	7 (25.9%)	9 (33.3%)	27 (100.0%)
10 沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	27 (19.3%)	3 (2.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	32 (22.9%)	33 (23.6%)	45 (32.1%)	140 (100.0%)

- 前回調査時における消滅可能性の予測別でみると、「10年以内に消滅」と予測されていた消滅集落の34.0%では消滅後に農地・田畑は「放置」されているが、「10年以内に消滅」あるいは「いずれ消滅」と予測されていた消滅集落でも3割弱では農地・田畑が「元住民によって管理」されている。

図表2-344 前回調査時の消滅可能性の予測別・消滅集落の農地・田畑の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅集落跡地の農地・田畑の管理状況別 消滅集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
10年以内に 消滅と予測	13 (27.7%)	2 (4.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	16 (34.0%)	6 (12.8%)	10 (21.3%)	47 (100.0%)
いずれ消滅 と予測	12 (27.3%)	1 (2.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (15.9%)	11 (25.0%)	13 (29.5%)	44 (100.0%)
当面存続 と予測	2 (4.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (17.4%)	16 (34.8%)	20 (43.5%)	46 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	3 (100.0%)
合計	27 (19.3%)	3 (2.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	32 (22.9%)	33 (23.6%)	45 (32.1%)	140 (100.0%)

### ③集会所・小学校等

- 過疎地域の消滅集落における集会所・小学校等の管理状況を地方ブロック別でみると、消滅集落に該当施設がないケースが多いが、東北圏や中国圏では「元住民が管理」している消滅集落もみられる。

図表2-345 地方ブロック別・消滅集落の集会所・小学校等の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅集落跡地の集会所・小学校等の管理状況別 消滅集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
1 北海道	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)	10 (83.3%)	1 (8.3%)	12 (100.0%)
2 東北圏	1 (5.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (5.9%)	11 (64.7%)	4 (23.5%)	17 (100.0%)
3 首都圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
4 北陸圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (81.8%)	2 (18.2%)	11 (100.0%)
5 中部圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)
6 近畿圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	4 (50.0%)	2 (25.0%)	8 (100.0%)
7 中国圏	1 (2.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	12 (30.0%)	27 (67.5%)	40 (100.0%)
8 四国圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	18 (94.7%)	1 (5.3%)	19 (100.0%)
9 九州圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.7%)	1 (3.7%)	16 (59.3%)	9 (33.3%)	27 (100.0%)
10 沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (2.1%)	3 (2.1%)	86 (61.4%)	46 (32.9%)	140 (100.0%)

- 前回調査時における消滅可能性の予測別でみると、消滅しない(当面存続する)と予測されながらも消滅した集落の中では、集会所や小学校を「行政が管理」しているケースがみられる。

図表2-346 前回調査時の消滅可能性の予測別・消滅集落の集会所・小学校等の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅集落跡地の集会所・小学校等の管理状況別 消滅集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
10年以内に 消滅と予測	2 (4.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (4.3%)	33 (70.2%)	10 (21.3%)	47 (100.0%)
いずれ消滅 と予測	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.3%)	30 (68.2%)	13 (29.5%)	44 (100.0%)
当面存続 と予測	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (6.5%)	0 (0.0%)	22 (47.8%)	21 (45.7%)	46 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	3 (100.0%)
合計	2 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (2.1%)	3 (2.1%)	86 (61.4%)	46 (32.9%)	140 (100.0%)

#### ④住宅

- 過疎地域の消滅集落における住宅の管理状況を地方ブロック別でみると、「放置」されている消滅集落の割合が最も高いのは北陸圏の45.5%であり、近畿圏、四国圏、九州圏でも3割超が「放置」されている。
- 一方、首都圏、中部圏、四国圏、北海道では「元住民が管理」しているケースが比較的にみられる。

図表2-347 地方ブロック別・消滅集落の住宅の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅集落跡地の住宅の管理状況別 消滅集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
1 北海道	5 (41.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)	1 (8.3%)	4 (33.3%)	1 (8.3%)	12 (100.0%)
2 東北圏	6 (35.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (29.4%)	2 (11.8%)	4 (23.5%)	17 (100.0%)
3 首都圏	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
4 北陸圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (45.5%)	4 (36.4%)	2 (18.2%)	11 (100.0%)
5 中部圏	4 (80.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)
6 近畿圏	3 (37.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (37.5%)	0 (0.0%)	2 (25.0%)	8 (100.0%)
7 中国圏	4 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (17.5%)	6 (15.0%)	23 (57.5%)	40 (100.0%)
8 四国圏	8 (42.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (5.3%)	7 (36.8%)	2 (10.5%)	1 (5.3%)	19 (100.0%)
9 九州圏	3 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (11.1%)	9 (33.3%)	4 (14.8%)	8 (29.6%)	27 (100.0%)
10 沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	34 (24.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (3.6%)	37 (26.4%)	23 (16.4%)	41 (29.3%)	140 (100.0%)

- 前回調査時における消滅可能性の予測別でみると、消滅しない(当面存続する)と予測されながらも消滅した集落の6.5%では、跡地の住宅を「行政が管理」しているとされている。

図表2-348 前回調査時の消滅可能性の予測別・消滅集落の住宅の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅集落跡地の住宅の管理状況別 消滅集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
10年以内に 消滅と予測	14 (29.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.1%)	18 (38.3%)	4 (8.5%)	10 (21.3%)	47 (100.0%)
いずれ消滅 と予測	14 (31.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.3%)	10 (22.7%)	8 (18.2%)	11 (25.0%)	44 (100.0%)
当面存続 と予測	6 (13.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (6.5%)	8 (17.4%)	11 (23.9%)	18 (39.1%)	46 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	3 (100.0%)
合計	34 (24.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (3.6%)	37 (26.4%)	23 (16.4%)	41 (29.3%)	140 (100.0%)

### ⑤集落道路・農道等

- 過疎地域の消滅集落における集落道路・農道等の管理状況を地方ブロック別でみると、「行政が管理」している割合が高いのは首都圏や北海道である。一方、集落道路・農道等を「元住民が管理」している割合は、四国圏で3割超と高い。

図表2-349 地方ブロック別・消滅集落の集落道路・農道等の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅集落跡地の集落道路・農道等の管理状況別 消滅集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
1 北海道	1 (8.3%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)	8 (66.7%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)	1 (8.3%)	12 (100.0%)
2 東北圏	2 (11.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (29.4%)	3 (17.6%)	3 (17.6%)	4 (23.5%)	17 (100.0%)
3 首都圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
4 北陸圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (45.5%)	0 (0.0%)	4 (36.4%)	2 (18.2%)	11 (100.0%)
5 中部圏	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)
6 近畿圏	1 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (37.5%)	3 (37.5%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	8 (100.0%)
7 中国圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (17.5%)	1 (2.5%)	5 (12.5%)	27 (67.5%)	40 (100.0%)
8 四国圏	6 (31.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (31.6%)	2 (10.5%)	4 (21.1%)	1 (5.3%)	19 (100.0%)
9 九州圏	1 (3.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (40.7%)	1 (3.7%)	5 (18.5%)	9 (33.3%)	27 (100.0%)
10 沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	11 (7.9%)	2 (1.4%)	0 (0.0%)	48 (34.3%)	10 (7.1%)	24 (17.1%)	45 (32.1%)	140 (100.0%)

- 前回調査時における消滅可能性の予測別でみると、10年以内に消滅する、あるいはいずれ消滅すると予測されていた消滅集落多くは、行政が集落道路や農道等の管理を行っている。

図表2-350 前回調査時の消滅可能性の予測別・消滅集落の集落道路・農道等の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅集落跡地の集落道路・農道等の管理状況別 消滅集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
10年以内に 消滅と予測	7 (14.9%)	1 (2.1%)	0 (0.0%)	21 (44.7%)	5 (10.6%)	4 (8.5%)	9 (19.1%)	47 (100.0%)
いずれ消滅 と予測	3 (6.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	15 (34.1%)	3 (6.8%)	10 (22.7%)	13 (29.5%)	44 (100.0%)
当面存続 と予測	1 (2.2%)	1 (2.2%)	0 (0.0%)	12 (26.1%)	1 (2.2%)	10 (21.7%)	21 (45.7%)	46 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	3 (100.0%)
合計	11 (7.9%)	2 (1.4%)	0 (0.0%)	48 (34.3%)	10 (7.1%)	24 (17.1%)	45 (32.1%)	140 (100.0%)

⑥用排水路等

- 過疎地域の消滅集落における用排水路等の管理状況を地方ブロック別でみると、四国圏では「放置」されているケースが比較的多い。

図表2-351 地方ブロック別・消滅集落の用排水路等の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅集落跡地の用排水路等の管理状況別 消滅集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
1 北海道	2 (16.7%)	2 (16.7%)	0 (0.0%)	4 (33.3%)	0 (0.0%)	3 (25.0%)	1 (8.3%)	12 (100.0%)
2 東北圏	4 (23.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (11.8%)	4 (23.5%)	3 (17.6%)	4 (23.5%)	17 (100.0%)
3 首都圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
4 北陸圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (36.4%)	1 (9.1%)	4 (36.4%)	2 (18.2%)	11 (100.0%)
5 中部圏	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)
6 近畿圏	1 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (25.0%)	2 (25.0%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)	8 (100.0%)
7 中国圏	1 (2.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (12.5%)	2 (5.0%)	5 (12.5%)	27 (67.5%)	40 (100.0%)
8 四国圏	5 (26.3%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	2 (10.5%)	6 (31.6%)	4 (21.1%)	1 (5.3%)	19 (100.0%)
9 九州圏	1 (3.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (22.2%)	5 (18.5%)	6 (22.2%)	9 (33.3%)	27 (100.0%)
10 沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	14 (10.0%)	4 (2.9%)	0 (0.0%)	27 (19.3%)	21 (15.0%)	29 (20.7%)	45 (32.1%)	140 (100.0%)

- 前回調査時における消滅可能性の予測別でみると、10年以内に消滅が予測されており既に消滅した集落の約3割では、用排水路等は「行政が管理」している。

図表2-352 前回調査時の消滅可能性の予測別・消滅集落の用排水路等の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅集落跡地の用排水路等の管理状況別 消滅集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
10年以内に 消滅と予測	6 (12.8%)	1 (2.1%)	0 (0.0%)	15 (31.9%)	10 (21.3%)	6 (12.8%)	9 (19.1%)	47 (100.0%)
いずれ消滅 と予測	7 (15.9%)	2 (4.5%)	0 (0.0%)	6 (13.6%)	6 (13.6%)	10 (22.7%)	13 (29.5%)	44 (100.0%)
当面存続 と予測	1 (2.2%)	1 (2.2%)	0 (0.0%)	6 (13.0%)	4 (8.7%)	13 (28.3%)	21 (45.7%)	46 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	3 (100.0%)
合計	14 (10.0%)	4 (2.9%)	0 (0.0%)	27 (19.3%)	21 (15.0%)	29 (20.7%)	45 (32.1%)	140 (100.0%)

⑦神社・仏閣等

- 過疎地域の消滅集落における神社・仏閣等の管理状況を地方ブロック別でみると、「該当なし」が多くみられるが、東北圏や近畿圏では「元住民が管理」している消滅集落がやや多くみられる。

図表2-353 地方ブロック別・消滅集落の神社・仏閣等の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅集落跡地の神社・仏閣等の管理状況別 消滅集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
1 北海道	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)	10 (83.3%)	1 (8.3%)	12 (100.0%)
2 東北圏	5 (29.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (11.8%)	6 (35.3%)	4 (23.5%)	17 (100.0%)
3 首都圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
4 北陸圏	1 (9.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (72.7%)	2 (18.2%)	11 (100.0%)
5 中部圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)
6 近畿圏	2 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (62.5%)	1 (12.5%)	8 (100.0%)
7 中国圏	1 (2.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	12 (30.0%)	27 (67.5%)	40 (100.0%)
8 四国圏	2 (10.5%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (10.5%)	13 (68.4%)	1 (5.3%)	19 (100.0%)
9 九州圏	2 (7.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (14.8%)	12 (44.4%)	9 (33.3%)	27 (100.0%)
10 沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	13 (9.3%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (6.4%)	72 (51.4%)	45 (32.1%)	140 (100.0%)

- 前回調査時における消滅可能性の予測別でみると、神社・仏閣等を「元住民が管理」している消滅集落は、前回調査で消滅が予測されていた集落において多くみられる。

図表2-354 前回調査時の消滅可能性の予測別・消滅集落の神社・仏閣等の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅集落跡地の神社・仏閣等の管理状況別 消滅集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
10年以内に 消滅と予測	6 (12.8%)	1 (2.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (12.8%)	25 (53.2%)	9 (19.1%)	47 (100.0%)
いずれ消滅 と予測	5 (11.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (4.5%)	24 (54.5%)	13 (29.5%)	44 (100.0%)
当面存続 と予測	2 (4.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	23 (50.0%)	21 (45.7%)	46 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	3 (100.0%)
合計	13 (9.3%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (6.4%)	72 (51.4%)	45 (32.1%)	140 (100.0%)

⑧河川・湖沼・ため池等

- 過疎地域の消滅集落における河川・湖沼・ため池等の管理状況を地方ブロック別で見ると、首都圏や北海道では「行政が管理」している割合が高くなっている。

図表2-355 地方ブロック別・消滅集落の河川・湖沼・ため池等の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅集落跡地の河川・湖沼・ため池等の管理状況別 消滅集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
1 北海道	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (58.3%)	0 (0.0%)	4 (33.3%)	1 (8.3%)	12 (100.0%)
2 東北圏	3 (17.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (5.9%)	4 (23.5%)	5 (29.4%)	4 (23.5%)	17 (100.0%)
3 首都圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
4 北陸圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (81.8%)	2 (18.2%)	11 (100.0%)
5 中部圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	4 (80.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)
6 近畿圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)	4 (50.0%)	1 (12.5%)	8 (100.0%)
7 中国圏	0 (0.0%)	1 (2.5%)	0 (0.0%)	3 (7.5%)	2 (5.0%)	7 (17.5%)	27 (67.5%)	40 (100.0%)
8 四国圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (10.5%)	8 (42.1%)	8 (42.1%)	1 (5.3%)	19 (100.0%)
9 九州圏	1 (3.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (18.5%)	12 (44.4%)	9 (33.3%)	27 (100.0%)
10 沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4 (2.9%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	17 (12.1%)	20 (14.3%)	53 (37.9%)	45 (32.1%)	140 (100.0%)

- 前回調査時における消滅可能性の予測別で見ると、10年以内に消滅すると予測されていた集落では、消滅後に河川・湖沼・ため池等が「放置」されているケースが多い。

図表2-356 前回調査時の消滅可能性の予測別・消滅集落の河川・湖沼・ため池等の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅集落跡地の河川・湖沼・ため池等の管理状況別 消滅集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
10年以内に 消滅と予測	2 (4.3%)	1 (2.1%)	0 (0.0%)	8 (17.0%)	10 (21.3%)	17 (36.2%)	9 (19.1%)	47 (100.0%)
いずれ消滅 と予測	2 (4.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (15.9%)	5 (11.4%)	17 (38.6%)	13 (29.5%)	44 (100.0%)
当面存続 と予測	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (4.3%)	4 (8.7%)	19 (41.3%)	21 (45.7%)	46 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	3 (100.0%)
合計	4 (2.9%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	17 (12.1%)	20 (14.3%)	53 (37.9%)	45 (32.1%)	140 (100.0%)

⑨伝統的祭事・伝統芸能等

- 過疎地域の消滅集落における伝統的祭事・伝統芸能等の管理状況を地方ブロック別でみると、北陸圏や四国圏では「放置」の割合が高くなっている。

図表2-357 地方ブロック別・消滅集落の伝統的祭事・伝統芸能等の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅集落跡地の伝統的祭事・伝統芸能等の管理状況別 消滅集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
1 北海道	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)	10 (83.3%)	1 (8.3%)	12 (100.0%)
2 東北圏	1 (5.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (5.9%)	11 (64.7%)	4 (23.5%)	17 (100.0%)
3 首都圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
4 北陸圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (36.4%)	5 (45.5%)	2 (18.2%)	11 (100.0%)
5 中部圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	4 (80.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)
6 近畿圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (87.5%)	1 (12.5%)	8 (100.0%)
7 中国圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	13 (32.5%)	27 (67.5%)	40 (100.0%)
8 四国圏	0 (0.0%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (42.1%)	9 (47.4%)	1 (5.3%)	19 (100.0%)
9 九州圏	1 (3.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (11.1%)	14 (51.9%)	9 (33.3%)	27 (100.0%)
10 沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2 (1.4%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	18 (12.9%)	74 (52.9%)	45 (32.1%)	140 (100.0%)

- 前回調査時における消滅可能性の予測別でみると、10年以内に消滅すると予測された消滅集落の29.8%では、伝統的祭事・伝統芸能等が「放置」されているとしている。

図表2-358 前回調査時の消滅可能性の予測別・消滅集落の伝統的祭事・伝統芸能等の管理状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅集落跡地の伝統的祭事・伝統芸能等の管理状況別 消滅集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
10年以内に 消滅と予測	0 (0.0%)	1 (2.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	14 (29.8%)	23 (48.9%)	9 (19.1%)	47 (100.0%)
いずれ消滅 と予測	1 (2.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (6.8%)	27 (61.4%)	13 (29.5%)	44 (100.0%)
当面存続 と予測	1 (2.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.2%)	23 (50.0%)	21 (45.7%)	46 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	3 (100.0%)
合計	2 (1.4%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	18 (12.9%)	74 (52.9%)	45 (32.1%)	140 (100.0%)

(6) 消滅集落の跡地の資源管理状況

【全体】

- 消滅集落跡地における地域資源の管理状況をみると、全体の 29.9%は「良好」に管理されているものの、「やや荒廃」又は「荒廃」している消滅集落をあわせると 37.8%と4割近くを占める。

図表2-359 消滅集落跡地の資源管理の状況別 消滅集落数【全体】

全体 前回調査 対象地域	消滅集落跡地の資源管理の状況別 消滅集落数				計
	良好	やや荒廃	荒廃	無回答	
合計	49 (29.9%)	39 (23.8%)	23 (14.0%)	53 (32.3%)	164 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域における消滅集落の跡地の資源管理状況全般についてみると、「良好」に管理されているのは 30.0%で、「やや荒廃」又は「荒廃」している消滅集落をあわせると 40.0%を占める。
- 地方ブロック別にみると、管理状況が良好とされている集落の割合は、北海道で 83.3%と高くなっており、それ以外のブロックでは「良好」よりも「やや荒廃」又は「荒廃」している消滅集落の方が多くみられる。

図表2-360 地方ブロック別・消滅集落跡地の資源管理の状況別 消滅集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	消滅集落跡地の資源管理の状況別 消滅集落数				計
	良好	やや荒廃	荒廃	無回答	
1 北海道	10 (83.3%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)	12 (100.0%)
2 東北圏	3 (17.6%)	8 (47.1%)	2 (11.8%)	4 (23.5%)	17 (100.0%)
3 首都圏	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
4 北陸圏	4 (36.4%)	1 (9.1%)	4 (36.4%)	2 (18.2%)	11 (100.0%)
5 中部圏	2 (40.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	5 (100.0%)
6 近畿圏	1 (12.5%)	5 (62.5%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	8 (100.0%)
7 中国圏	11 (27.5%)	6 (15.0%)	0 (0.0%)	23 (57.5%)	40 (100.0%)
8 四国圏	5 (26.3%)	4 (21.1%)	9 (47.4%)	1 (5.3%)	19 (100.0%)
9 九州圏	6 (22.2%)	6 (22.2%)	6 (22.2%)	9 (33.3%)	27 (100.0%)
10 沖縄県	0	0	0	0	0
合計	42 (30.0%)	34 (24.3%)	22 (15.7%)	42 (30.0%)	140 (100.0%)

## 第3章 集落対策等に関する調査

## 第3章 集落対策等に関する調査

### 3-1. 調査の概要

平成31年4月に過疎問題懇談会がとりまとめた中間的整理で指摘されているように、全国的な人口減少という局面の中で、より一層人口減少・高齢化が進行している過疎地域等の条件不利地域において、全ての集落の維持・存続を図ることは困難であると言わざるを得ない。

しかし、集落の無居住化が確実視されている集落においても、行政は当該集落における住民の最低限の暮らしを保証する責務がある。

また、集落の消滅（無居住化）は避けられない流れだとしても、行政が早くからその事実を目を留め住民の生活の質（QOL）の維持を図る取組を講じることにより、集落のなし崩し的な消滅を回避したり、あるいは無居住化した後の跡地管理のあり方について住民が時間をかけて納得する方策を検討することも可能になると考えられる。

そこで、集落の実態を把握するための現況調査（第2章）と併せ、過疎地域市町村等における集落対策の実施状況や、これまでの集落移転の実施状況、無居住化が危惧される集落に対する取組等を把握するため、全国の過疎地域市町村等及び都道府県に対してアンケート調査を実施した。

### 3-2. 調査の方法

#### (1) 調査対象

本アンケート調査は市町村調査と都道府県調査で構成される。

市町村調査の対象は、集落現況調査（第2章参照）の対象区域を有する全ての過疎地域市町村等（1,045市町村）とした（詳細は第1章参照）。

また、都道府県調査の対象は、市町村調査の対象市町村を含む全ての都道府県（47団体）とした。

#### (2) 調査項目

調査項目は以下のとおりである。

図表3-1 過疎地域等における集落対策等に関するアンケート調査 調査項目

市町村調査	都道府県調査
<b>1.集落での問題の発生状況</b> ○多くの集落で発生している問題・現象 ○そのうち特に深刻な問題・現象	
<b>2.市町村の集落対策に係る体制</b> ○集落対策の実施体制（専任職員の人数） ○集落支援員制度の活用状況、活用上の課題 ○地域担当職員制度の有無（人数） ○外部サポート人材の活用状況、期待する活動	<b>1.都道府県の集落対策に係る体制</b> ○集落対策の実施体制（専任職員の人数） ○集落支援員制度の活用状況、活用上の課題 ○外部サポート人材の活用状況、期待する活動

市町村調査	都道府県調査
<b>3.集落地域の現状把握・課題認識</b> <input type="radio"/> 集落地域の現状把握のための調査の実施状況 <input type="radio"/> 集落地域機能の維持・保全に係る施策例 <input type="radio"/> NPO や地域住民等が主体の取組事例 <input checked="" type="radio"/> 無居住化が危惧される集落地域に対する生活維持対策 <input checked="" type="radio"/> 無居住化が危惧される集落地域資源保全方法 <input type="radio"/> 今後の集落地域機能の維持・再編成の見通し	<b>2.集落地域の現状把握・課題認識</b> <input type="radio"/> 集落地域の現状把握のための調査の実施状況 <input type="radio"/> 都道府県主体の集落地域支援事業 <input type="radio"/> 市町村事業への補助等を通じた支援 <input type="radio"/> NPO や住民団体等を通じた支援
<b>4.集落地域移転事業について</b> <input checked="" type="radio"/> 集落地域の集落地域移転事例の有無、内容	
<b>5.集落地域ネットワーク圏について</b> <input type="radio"/> 集落地域ネットワーク圏の形成状況 <input type="radio"/> 集落地域ネットワーク圏の取組事例 <input type="radio"/> 集落地域ネットワーク圏の取組における課題	
<b>6.その他</b> <input type="radio"/> 集落地域の維持・活性化に向けて国に期待する役割	<b>3.その他</b> <input type="radio"/> 集落地域の維持・活性化に向けた都道府県の役割 <input type="radio"/> 集落地域の維持・活性化に向けて国に期待する役割

※○は前回調査からの継続調査項目、●は新規調査項目

### (3) 調査方法及び調査時期

調査方法：都道府県経由で対象市町村にアンケート票（エクセルファイル）をメールにて送付、  
都道府県経由で回収

調査時期：令和元年 9 月 11 日～令和元年 11 月 29 日

### (4) 回収状況

調査対象の全市町村、全都道府県から回答を得た。

### 3-3. 調査結果（市町村）

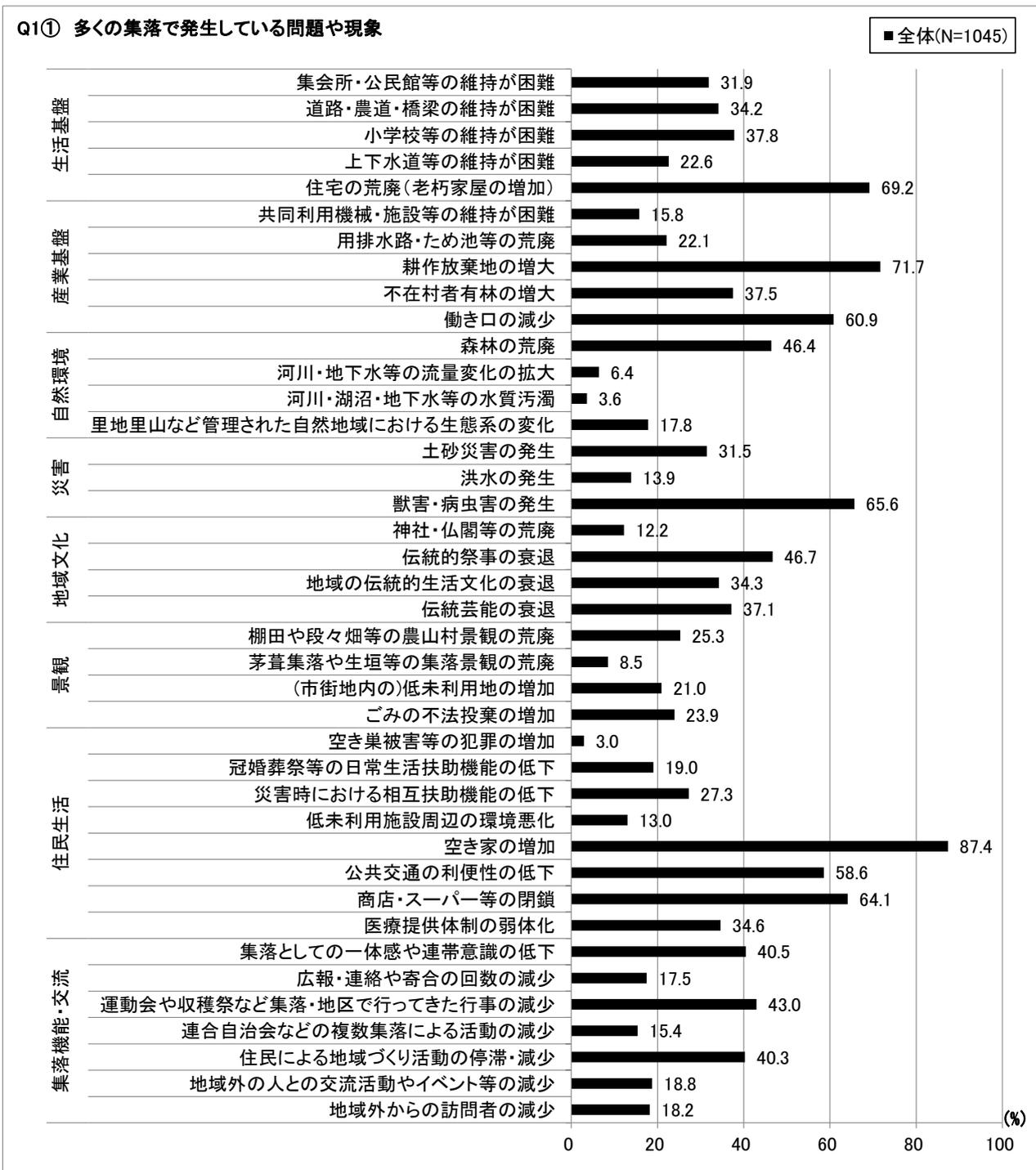
#### (1) 集落での問題の発生状況

問1① 貴市町村内の集落では、以下のような問題や現象が発生していますか。多くの集落で発生している問題や現象について、あてはまるものに○を入力してください。

#### 【全体集計】

■「空き家の増加」が 87.4%と最も多くの集落で発生しているほか、「耕作放棄地の増大」(71.7%)、「住宅の荒廃(老朽家屋の増加)」(69.2%)、「獣害・病虫害の発生」(65.6%)、「商店・スーパー等の閉鎖」(64.1%)、「働き口の減少」(60.9%)、が6割超の市町村から多くの集落でみられる問題として指摘されている。

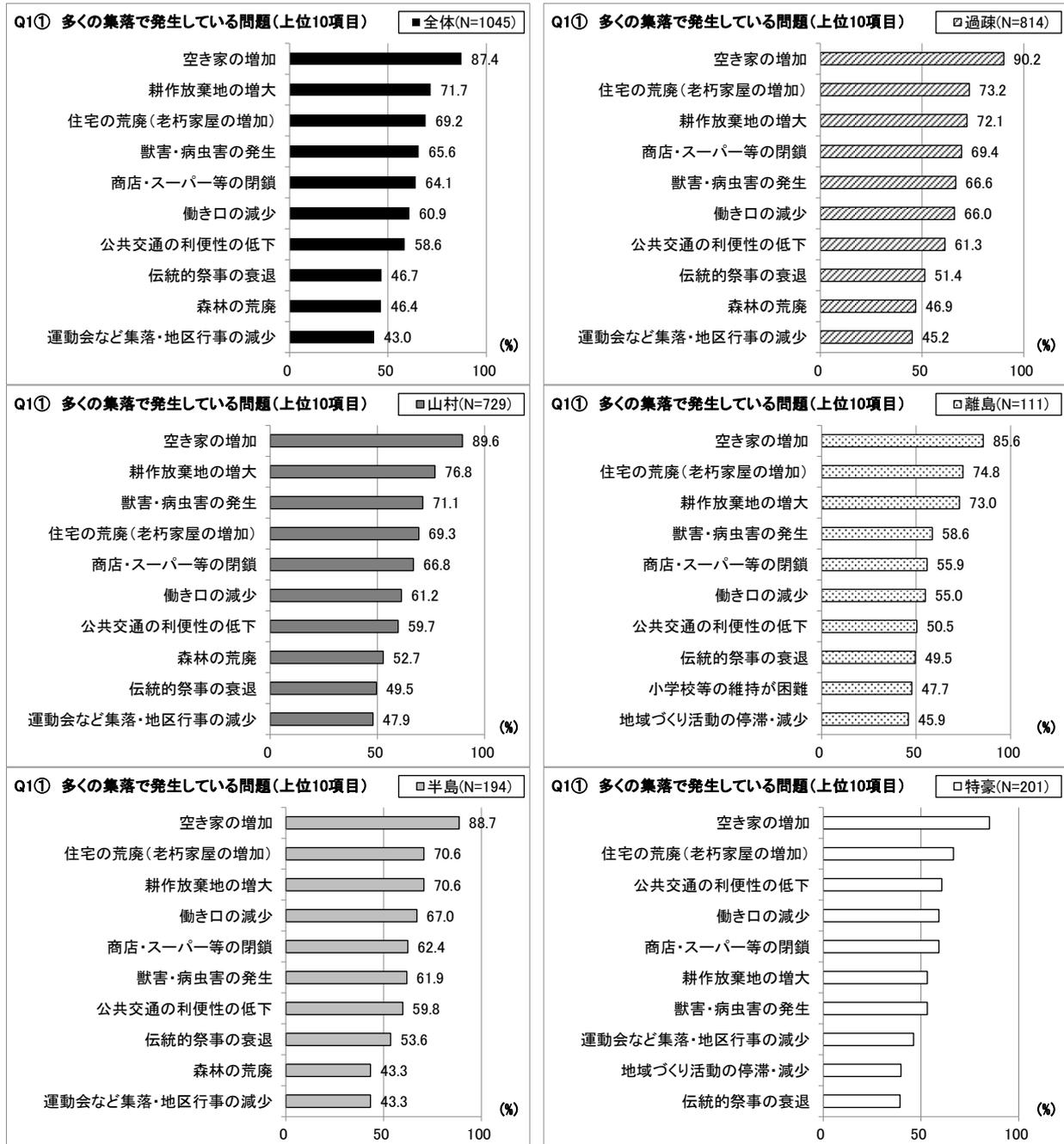
図表3-2 多くの集落で発生している問題や現象(複数回答)



## 【地域指定別集計】

- 地域指定別に多くの集落で発生している問題や現象の傾向をみると、いずれも第1位は「空き家の増加」であるが、第2位以下の項目は地域指定により異なる。
- 過疎地域、離島地域、半島地域及び特別豪雪地帯では、第2位に「住宅の荒廃(老朽家屋の増加)」が挙げられているのに対し、振興山村では「耕作放棄地の増大」が第2位となっている。
- また、第3位には振興山村は「獣害・病虫害の発生」が、特別豪雪地帯は「公共交通の利便性の低下」が挙げられているが、過疎地域、離島地域及び半島地域では「耕作放棄地の増大」が第3位に挙げられている。

図表3-3 地域指定別 多くの集落で発生している問題や現象(複数回答)



## 【分野別集計】

- 各市町村から挙げられた集落で発生している問題や現象について、総回答数に対する分野別の回答割合をみると、選択肢の数が8つと最も多い「住民生活」に関する問題が特に多く挙げられており、次いで「産業基盤」や「生活基盤」、「集落機能・交流」等の分野で問題となっている事象が多く見られている。

図表3-4 多くの集落で発生している問題・現象の分野別回答割合(%)

分野	全体	過疎	山村	離島	半島	特豪	選択肢数
生活基盤	15.1	15.1	14.6	16.7	15.3	15.0	5
産業基盤	16.0	15.8	16.1	14.6	16.2	15.4	5
自然環境	5.7	5.5	6.2	5.1	5.9	4.6	4
災害	8.5	8.4	8.7	8.5	8.4	7.0	3
地域文化	10.0	10.4	10.1	10.2	10.6	10.0	4
景観	6.1	6.1	6.0	7.1	5.8	6.1	4
住民生活	23.6	23.8	23.4	22.5	23.4	25.7	8
集落機能・交流	14.9	15.0	15.0	15.4	14.3	16.1	7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	40

## 【分野別集計の経年比較】

- H18 調査、H22 調査及び H27 調査でも同様の設問を設けているが、過疎地域等の集落を取り巻く環境変化を踏まえ、回を追うごとに選択肢が追加されている。このため、本調査を含めた4回の調査で共通する選択肢に限り、各選択肢の回答数と合計回答数から分野別の回答割合の変化を分析すると、「自然環境」や「景観」等に係る問題から「生活基盤」や「地域文化」に係る問題へと、集落を取り巻く問題が変容していることがわかる。
- なお、「獣害・病虫害の発生」は「災害」に分類されているが、産業基盤の維持・保全に関わる問題でもあるため、これを「産業基盤」として再集計すると、H22 年調査以降は集落で発生している問題全体の約4分の1が「産業基盤」に係る問題であることがわかる。

図表3-5 多くの集落で発生している問題・現象の分野別回答割合(従来の分類)

分野	回答割合 (%)				回答数				選択肢数
	R01	H27	H22	H18	R01	H27	H22	H18	
生活基盤	22.1	21.5	17.8	17.4	2,044	1,799	1,118	1,006	5
産業基盤	16.6	16.3	16.6	16.6	1,537	1,368	1,042	957	4
自然環境	8.4	8.6	10.7	10.4	776	721	670	600	4
災害	12.5	12.4	11.7	11.2	1,160	1,037	733	645	3
地域文化	14.7	15.0	14.6	14.9	1,362	1,260	915	861	4
景観	8.9	9.4	11.0	13.0	822	790	692	749	4
住民生活	16.9	16.7	17.7	16.5	1,564	1,400	1,110	955	5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	9,265	8,375	6,280	5,773	29
1市町村平均回答数					9.0	8.3	7.9	7.4	

※「獣害・病虫害の発生」は「災害」に分類。

図表3-6 多くの集落で発生している問題・現象の分野別回答割合の経年比較(新たな分類による再集計)

分野	回答割合 (%)				回答数				選択肢数
	R01	H27	H22	H18	R01	H27	H22	H18	
生活基盤	22.1	21.5	17.8	17.4	2,044	1,799	1,118	1,006	5
産業基盤	24.0	24.0	24.5	22.8	2,223	2,007	1,541	1,319	5
自然環境	8.4	8.6	10.7	10.4	776	721	670	600	4
災害	5.1	4.8	3.7	4.9	474	398	234	283	2
地域文化	14.7	15.0	14.6	14.9	1,362	1,260	915	861	4
景観	8.9	9.4	11.0	13.0	822	790	692	749	4
住民生活	16.9	16.7	17.7	16.5	1,564	1,400	1,110	955	5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	9,265	8,375	6,280	5,773	29
1市町村平均回答数					9.0	8.3	7.9	7.4	

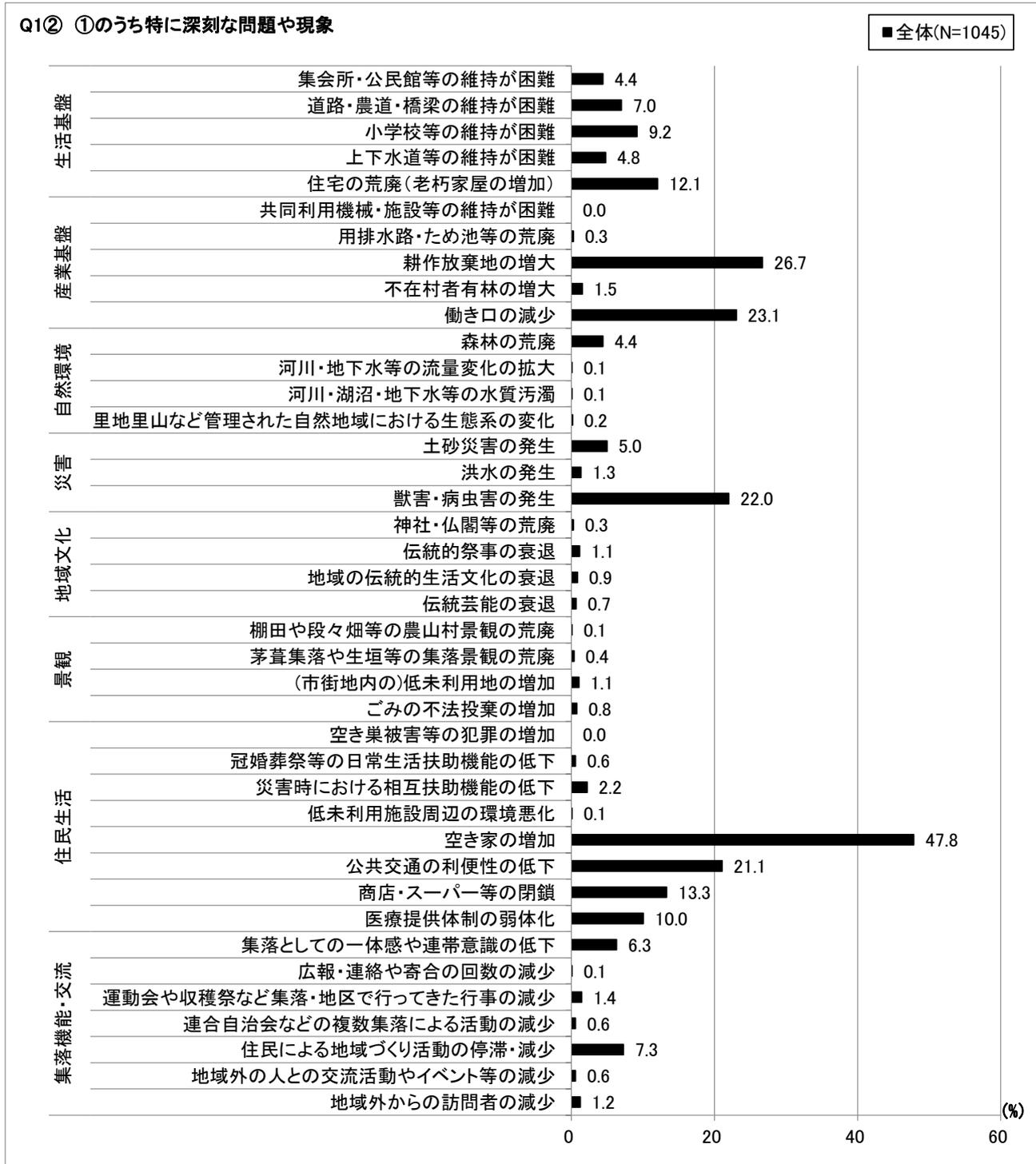
※「獣害・病虫害の発生」を「産業基盤」に分類して再集計。

問1② ①で回答いただいた貴市町村内の多くの集落で発生している問題や現象のうち、特に深刻な問題となっているものを3つまで選び、◎を入力してください。

【全体集計】

■特に深刻な問題となっているものとしては、「空き家の増加」(47.8%)が最も多くの市町村から挙げられており、次いで「耕作放棄地の増大」(26.7%)、「働き口の減少」(23.1%)などが高い割合となっている。

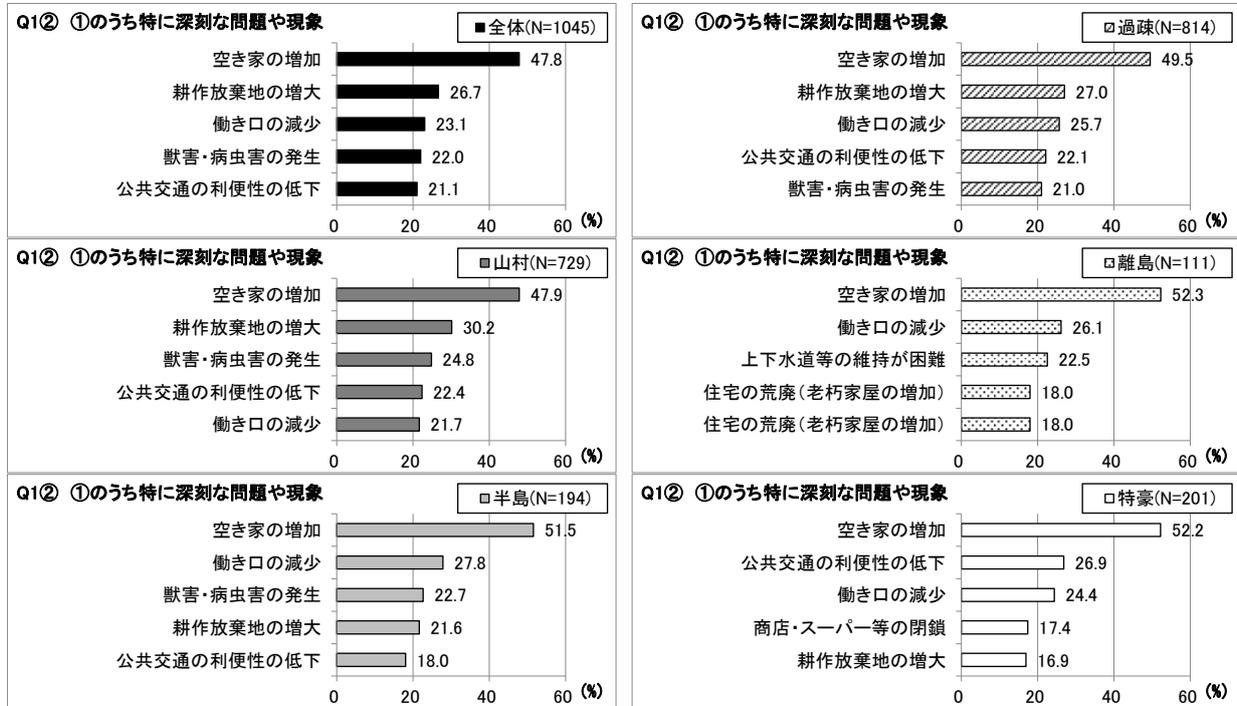
図表3-7 多くの集落で発生している問題・現象のうち特に深刻な問題となっているもの(3つまで回答)



## 【地域指定別集計】

- 地域指定別でみると、第1位は「空き家の増加」で共通しており、かつ突出している。
- 第2位以降は地域指定により異なり、過疎地域と振興山村は「耕作放棄地の増大」が、離島地域と半島地域は「働き口の減少」が、特別豪雪地帯は「公共交通の利便性の低下」が第2位に挙げられた。

図表3-8 地域指定別 多くの集落で発生している問題・現象のうち、特に深刻な問題となっているもの(3つまで回答)



## 【分野別集計】

- 特に問題となっていることとして各市町村から挙げられた問題・現象について、総回答数に対する分野別の回答割合をみると、「住民生活」に関する問題が特に深刻であることがわかる。
- 過去3回の調査と比べると、H22 調査までは「産業基盤」が最も深刻であったが、H27 調査以降は「住民生活」が最も深刻な問題となっている。

図表3-9 多くの集落で発生している問題・現象のうち、特に深刻な問題・現象の分野別回答割合

分野	回答割合 (%)				回答数			
	R01	H27	H22	H18	R01	H27	H22	H18
生活基盤	24.1	20.8	17.3	19.8	391	322	208	278
産業基盤	18.4	20.2	23.7	20.8	298	313	285	291
自然環境	3.1	4.9	9.3	11.0	50	76	112	154
災害	18.3	20.6	25.6	17.5	296	320	308	246
地域文化	1.9	3.5	3.8	6.6	31	55	46	93
景観	1.5	1.8	5.1	10.5	24	28	61	147
住民生活	32.7	28.1	15.2	13.8	530	436	183	193
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	1,620	1,550	1,203	1,402

※「獣害・病虫害の発生」は「災害」に分類。

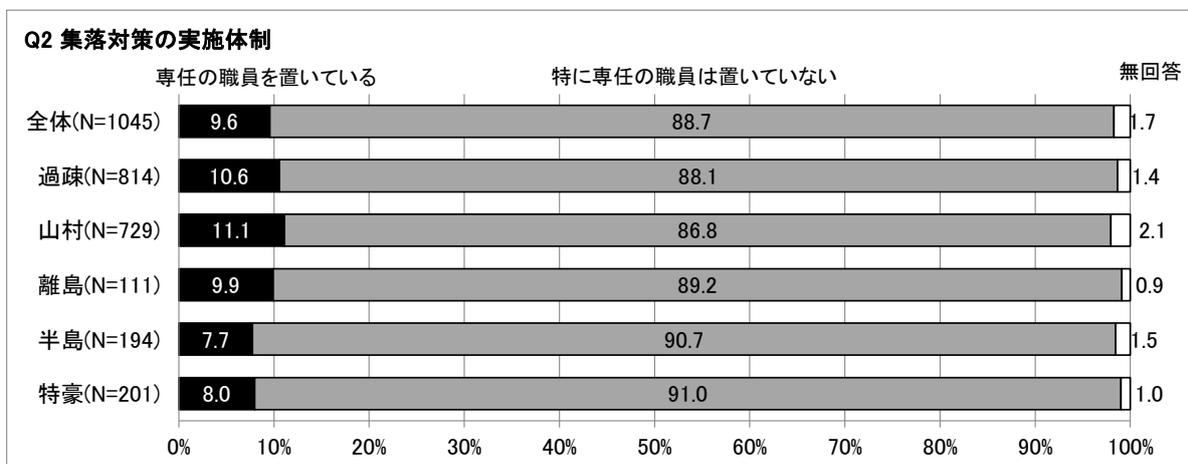
(2)市町村の集落対策に係る体制について

問2 貴市町村では、集落対策はどのような体制で行われていますか。

【全体及び地域指定別集計】

- 集落対策に係る専任職員を配置しているのは全体の 9.6%であり、約9割の市町村は専任の職員は置いていないとしている。
- 集落対策に係る専任職員を配置している割合が最も高いのは振興山村(11.1%)であった。一方、半島地域では、専任の職員を置いていないのは7.7%と、他の条件不利地域と比べて低くなっている。
- 専任職員を置いていない市町村ではどのような体制で集落対策を実施しているのかを記述回答より整理すると、総務・企画担当の職員や地域振興・過疎対策等の職員が集落対策を兼務しているケースが最も多くみられたほか、問題・課題に応じてそれぞれの担当課の職員が個別に対応するケースも比較的多かった。また、各地区や自治会等に担当職員を兼務で割り振り、集落を支援しているという回答も比較的多かった。

図表3-10 集落対策の実施体制



図表3-11 集落対策に係る専任職員の平均配置人数

	全体 (N=100)	過疎 (N=86)	山村 (N=81)	離島 (N=11)	半島 (N=15)	特豪 (N=16)
専任職員数(人)	5.0	5.0	5.3	8.3	6.3	4.4

図表3-12 集落対策に係る専任職員を置いていない市町村における集落対策の実施体制(記述回答より整理)

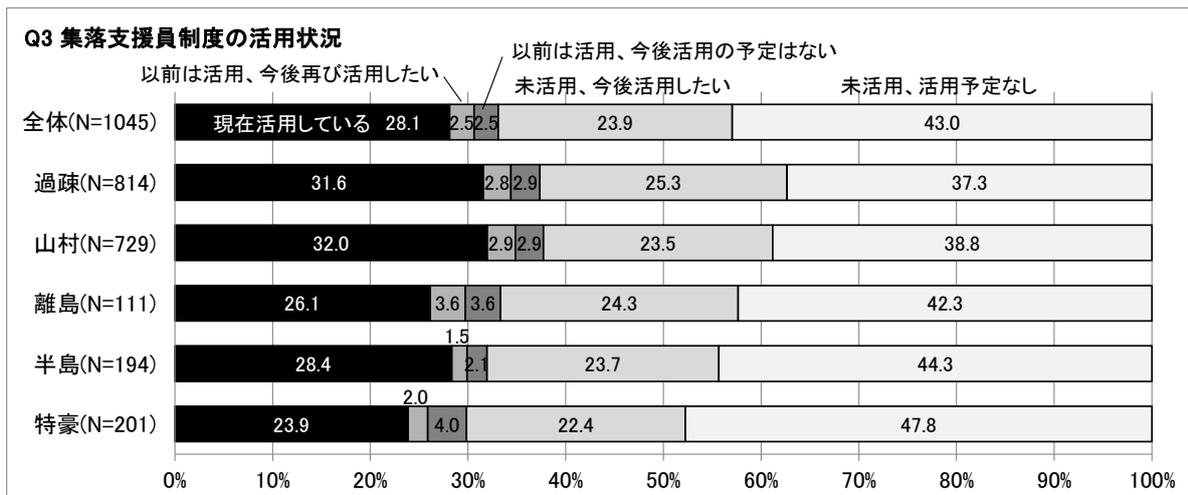
集落対策の実施体制 (複数に該当する回答あり)	回答数 (%)
総務・企画担当やまちづくり・地域振興・過疎対策等の担当が兼務	270 (34.1%)
事案・課題ごとに担当各課で個別対応	183 (23.1%)
担当職員を各地区や自治会等に配置(兼務)	70 (9.0%)
その他の職員が他業務と兼任	63 (8.0%)
行政連絡員やまちづくり協議会・区長会等を通じて集落の現状や課題等を把握	63 (8.0%)
集落支援員・地域おこし協力隊を配置・活用	63 (8.0%)
支所職員や公民館職員が担当(兼務)	54 (6.8%)
自治会や集落に補助金・交付金を交付し活動や取組を支援	26 (3.3%)
その他(プロジェクトチームを作って対応、など)	23 (2.9%)
特に集落対策を行っていない	66 (8.3%)
回答団体数(N)	791 (100.0%)

問3 国では、地域の実情等に詳しい人材が高齢者の見守りや買物支援などを含む集落の維持・活性化対策を行う「集落支援員」制度の活用を推進しているところですが、貴市町村では当該制度を活用していますか。

【全体及び地域指定別集計】

- 集落支援員制度を「現在活用している」市町村は 28.1%で、「以前は活用していた」という市町村と合わせると、集落支援員制度の活用経験があるのは約3分の1である。一方、43.0%は「現在まで活用したことはなく、今後とも活用の予定はない」としている。
- 地域指定別でみると、集落支援員制度の活用が最も進んでいるのは振興山村であり、37.7%の市町村で現在活用中もしくは過去に活用したとされている。

図表3-13 集落支援員制度の活用状況



問3SQ（問3で1～3のいずれかを回答した場合）どのように活用している(していた)か、以下に具体的にご回答ください。また、「3」と回答された市町村は、現在活用していない理由を併せてご回答ください。

【全体集計】

- 集落支援員制度の具体的な活動内容としては、「集落調査・集落点検等の実施・支援」が最も多いほか、住民等の「コミュニティ活動に対する支援」や「住民の日常生活支援・高齢者等の見守り」なども比較的多くみられる。

図表3-14 集落支援員の活動内容(記述回答より整理)

集落支援員の活動内容（複数に該当する回答あり）	回答数(%)
集落調査・集落点検等の実施・支援	108 (33.9%)
コミュニティ活動に対する支援	81 (25.4%)
住民の日常生活支援・高齢者等の見守り	78 (24.5%)
地域の現状把握や課題整理、課題解決方策の検討・実施	55 (17.2%)
地域運営組織等の設立・運営支援	46 (14.4%)
行政機関等との連絡・調整、集落と行政の仲介	44 (13.8%)
移住・定住に係る支援	25 (7.8%)
農林業活動等の支援	32 (10.0%)
空き家調査や空き家・空き店舗対策に係る支援	19 (6.0%)
コミュニティ施設等の運営に係る支援	15 (4.7%)
交流イベント等の情報発信等の支援	9 (2.8%)
学校などにおける子どもの活動に対する支援	3 (0.9%)
その他	17 (5.3%)
回答団体数(N)	319 (100.0%)

■集落支援員制度を「以前は活用していたが、現在は活用しておらず、今後も活用の予定はない」と回答した市町村において、現在活用していない理由をみると、「集落支援員のなり手がいない・人材不足」とともに、「予定していた期間が終了したため、所期の目的を達成したため」という理由が多く挙げられている。

図表3-15 集落支援員の活動内容(記述回答より整理)

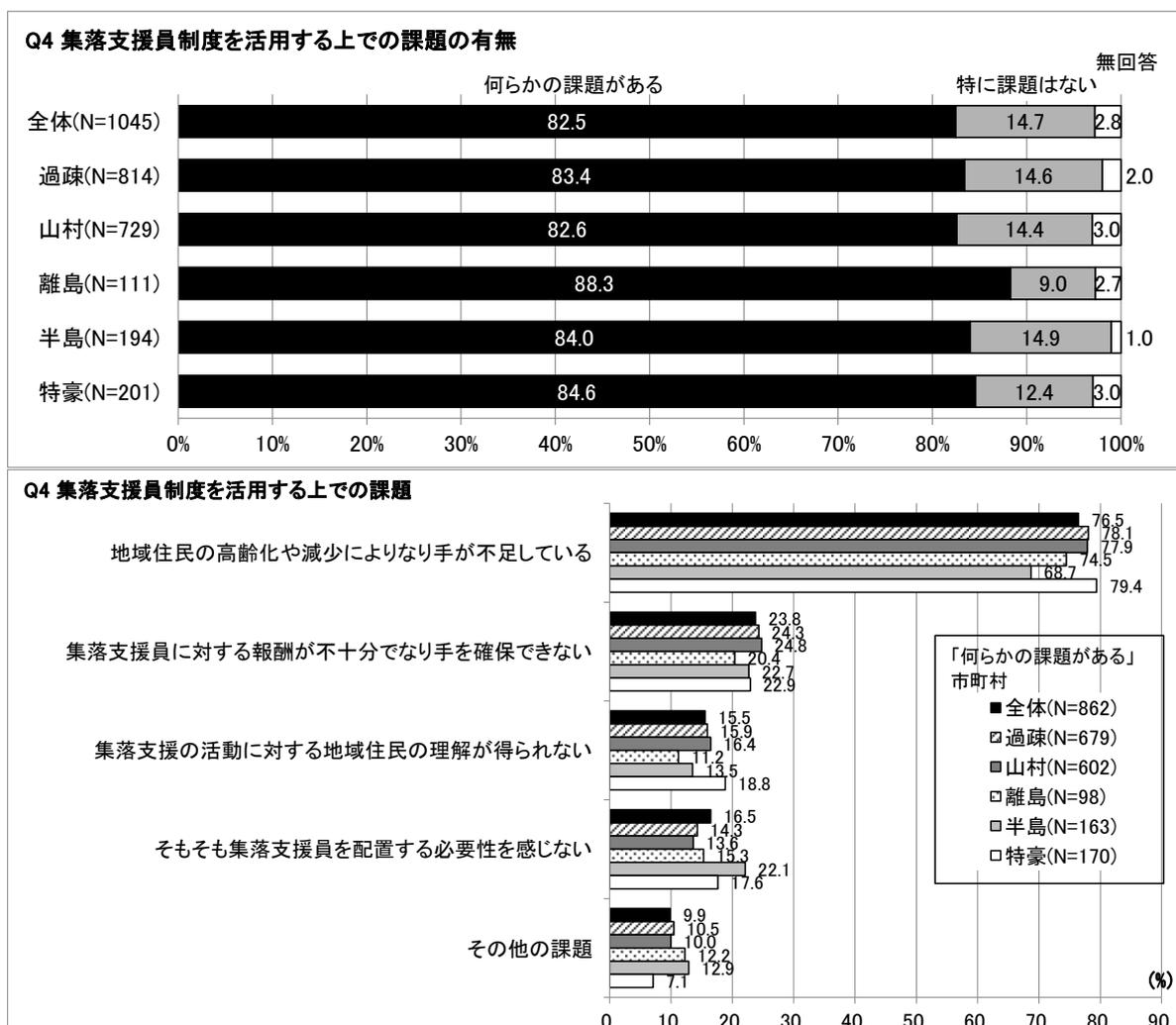
現在集落支援員制度を活用していない理由（複数に該当する回答あり）	回答数(%)
集落支援員のなり手がいない・人材不足	8 (32.0%)
予定していた期間が終了したため、所期の目的を達成したため	8 (32.0%)
地域おこし協力隊など他の類似制度・事業に統合又は変更したため	5 (20.0%)
市町村独自の人的支援制度・事業に移行したため	3 (12.0%)
期待した成果が得られなかったため	2 (8.0%)
その他	2 (8.0%)
理由不明(無回答)	2 (8.0%)
回答団体数(N)	25 (100.0%)

問4 「集落支援員」制度を導入するにあたって、どのような課題がありますか。

【全体及び地域指定別集計】

■8割超の市町村は集落支援員制度の導入にあたって何らかの課題があるとしており、具体的な課題としては「地域住民の高齢化や減少によりなり手が不足している」ことが最も多くから挙げられている。

図表3-16 集落支援員制度の導入にあたっての課題



**問5 「集落支援員」制度について、国等に対する要望等があれば、以下にご回答ください。**

**【全体集計】**

- 記述回答の内容から、集落支援員制度に対する要望等を整理すると、最も多かったのは集落支援員への報酬(特別交付税措置の上限額)の引き上げや拡充に関する要望であった。
- また、特に条件を付けず現行制度の継続を求める声や、対象となる経費の拡充や県無条件の緩和など、現行制度の要件緩和や柔軟な活用を可能とする制度の見直しを求める意見も、比較的多く寄せられた。

図表3-17 集落支援員制度に対する要望等(記述回答より整理)

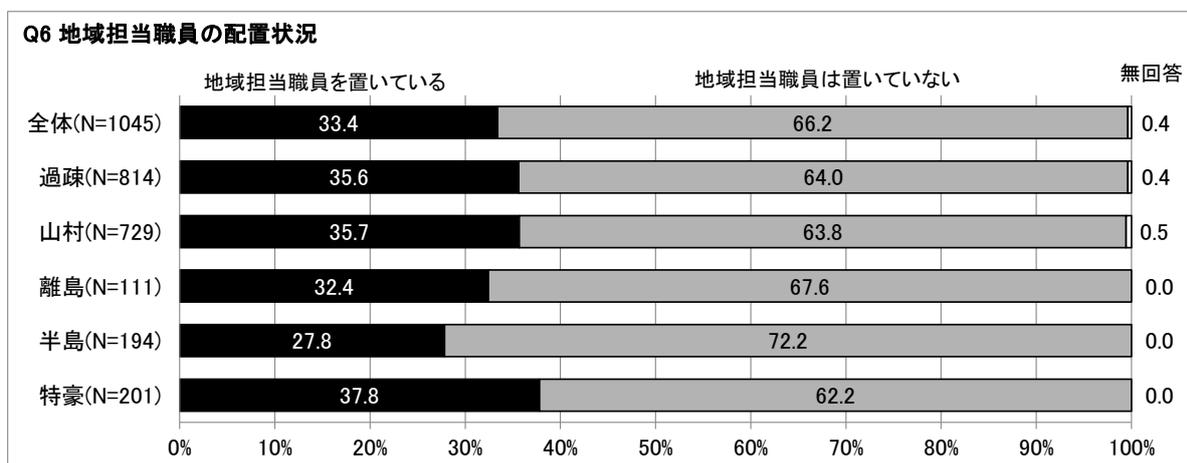
集落支援員制度に対する要望等(複数に該当する回答あり)	回答数(%)
集落支援員への報酬(特別交付税措置の上限額)の引き上げ・拡充	23 (25.3%)
現行制度の要件緩和や柔軟な活用を可能とする制度の見直し	13 (14.3%)
現行制度の継続	13 (14.3%)
特別交付税の確保と額の明示、継続的な財政支援	9 (9.9%)
特別交付税ではなく補助金・交付金又は普通交付税に移行	8 (8.8%)
制度の手引きやマニュアル、先進的な取組事例等の提供	7 (7.7%)
制度に関する説明会や集落支援員に対する研修会等の実施	7 (7.7%)
制度の周知・広報	4 (4.4%)
集落支援員のなり手となる人材の派遣	3 (3.3%)
他の類似制度・事業との役割分担の検討	2 (2.2%)
集落対策の抜本的な見直し	2 (2.2%)
その他	10 (11.0%)
回答団体数(N)	91 (100.0%)

**問6 貴市町村では、地域を区分して各地域を担当する職員を置く制度を設けていますか。**

**【全体及び地域指定別集計】**

- 33.4%の市町村が地域担当職員制度を導入しており、特別豪雪地帯では4割近くの市町村で地域担当職員が配置されている。
- 1市町村あたりの配置人数をみると、全体平均では約67人(専任が12人、兼任が55人程度)であり、市町村あたりの人数では半島地域が最も多い。また特別豪雪地帯では専任の地域担当職員は少ない。
- 配置部署別でみると、全体では本庁に37~38人程度、出先機関に12人程度配置されており、本庁への配置人数が最も多いのは特別豪雪地帯である。

図表3-18 地域担当職員制度の実施状況



図表3-19 地域担当職員の平均配置人数

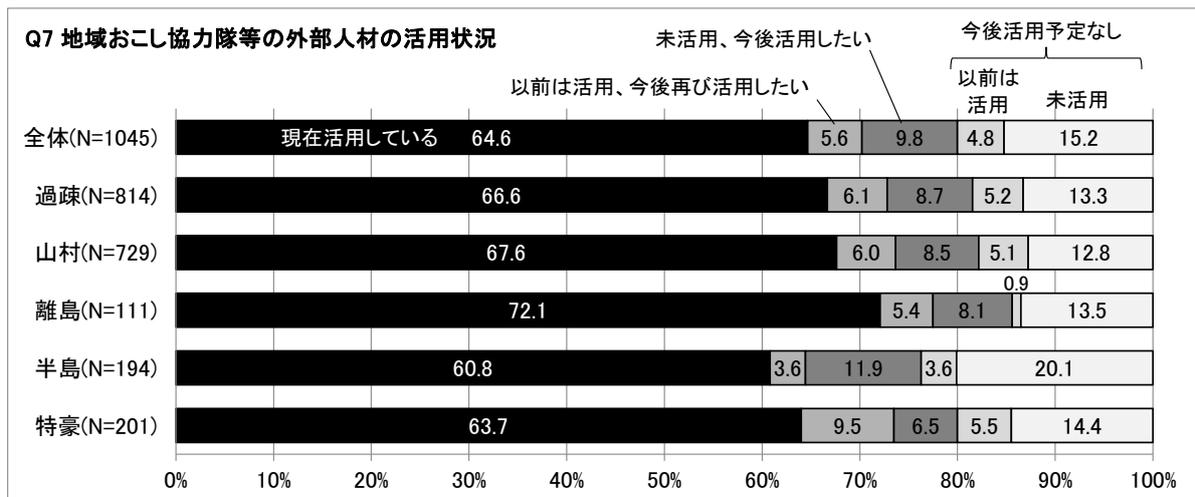
		全体 (N=349)	過疎 (N=290)	山村 (N=260)	離島 (N=36)	半島 (N=54)	特豪 (N=76)
職員数(人)		66.9	71.5	65.6	54.3	72.8	64.6
職制別	専任	12.1	12.1	11.7	11.1	10.5	8.0
	兼任	54.8	59.4	53.9	43.2	62.2	56.6
配置先	本庁	37.5	38.5	33.6	31.7	42.5	48.1
	出先機関	12.4	12.7	12.6	12.1	14.4	12.0
	その他	6.2	7.1	6.0	10.7	3.7	2.9

問7 貴市町村では、地域おこし協力隊等の集落に対する外部からのサポート人材を活用していますか。

【全体及び地域指定別集計】

- 64.6%の市町村が地域おこし協力隊等の外部サポート人材を活用しており、以前は活用していたという市町村と合わせると、約4分の3の市町村が外部サポート人材の活用経験がある。また、現在は未活用だが、今後活用したいという意向を15.4%の市町村が示している。
- 地域指定別にみると、現在最も活用しているのは離島地域であり、72.1%の市町村で活用がみられる。一方、現在の活用状況が最も低いのは半島地域であり、今後活用する予定はないという市町村の割合も半島地域では23.7%と最も高くなっている。

図表3-20 外部サポート人材(地域おこし協力隊等)の活用状況

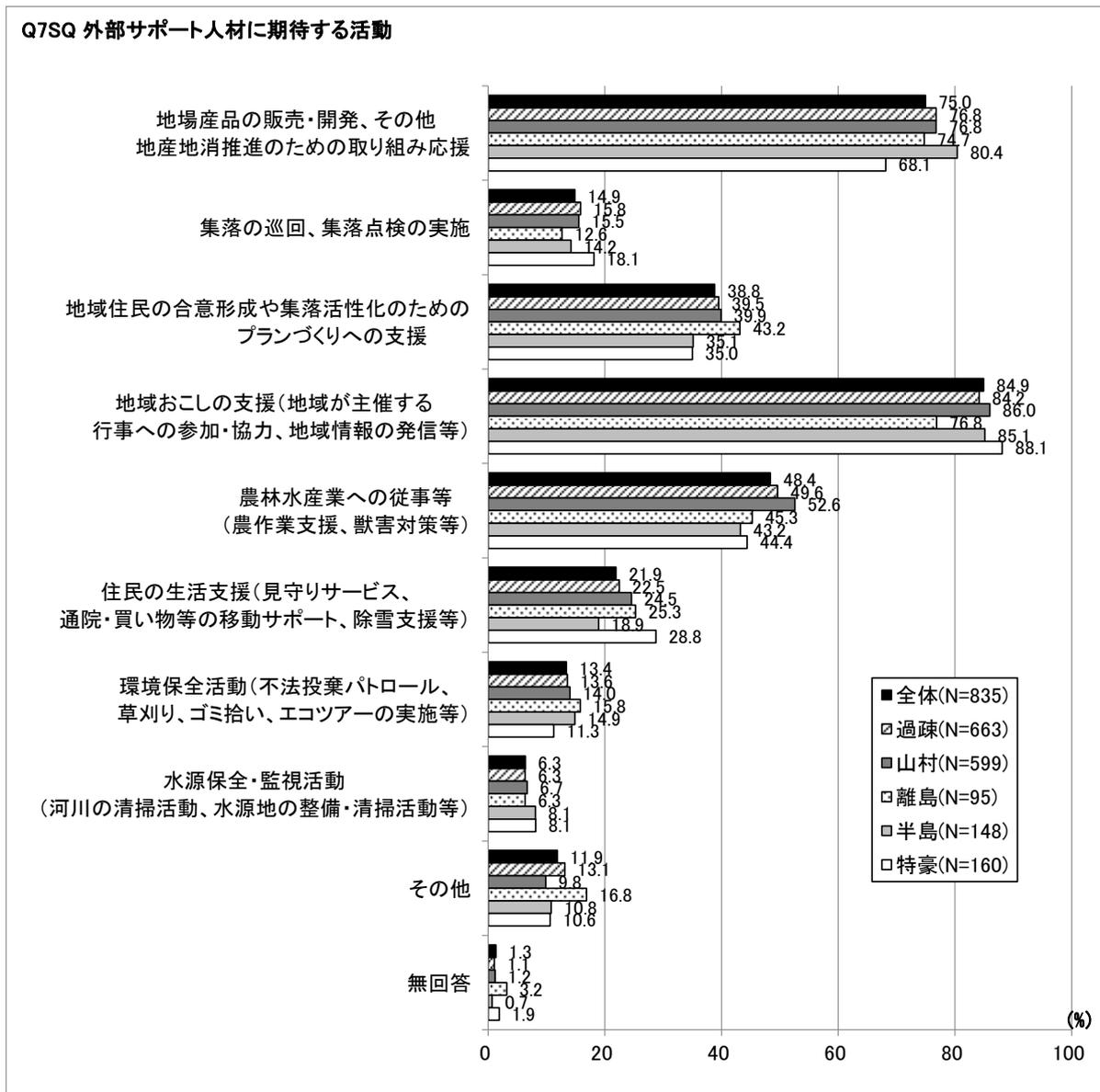


問7SQ（問7で1～3のいずれかを回答した場合）集落に対する外部からのサポート人材に期待する活動は何ですか。

【全体及び地域指定別集計】

■外部サポート人材を現在活用している、あるいは今後活用したいと回答した市町村に対し、外部サポート人材に期待する活動内容を聞いたところ、特に「地域おこしの支援」に係る活動と「地場製品の販売・開発、その他地産地消推進のための取組応援」についての期待が高いことが分かる。

図表3-21 外部サポート人材(地域おこし協力隊等)に期待する活動



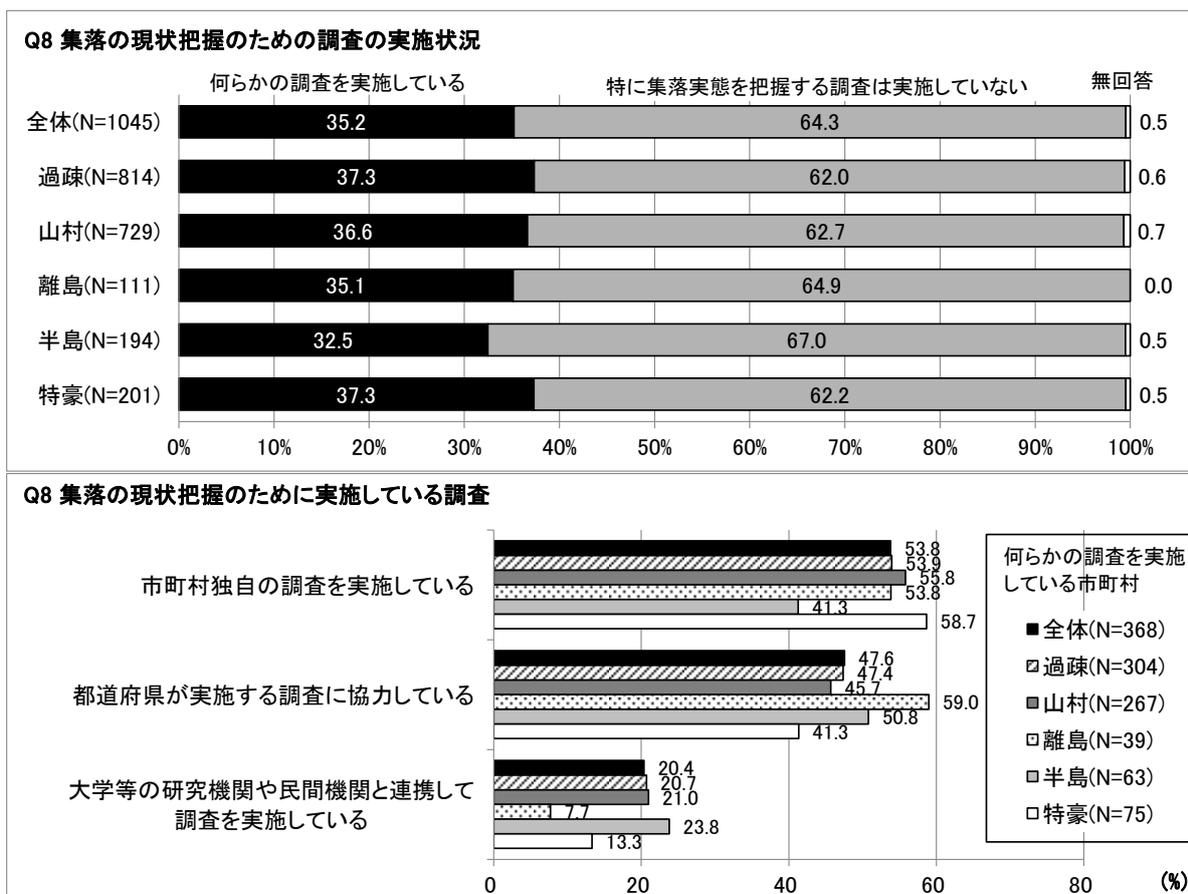
(3) 市町村における集落地域の現状把握や集落の維持・保全に向けた取組等について

**問8 貴市町村では、集落の現状等を把握するための調査(本調査を除く)を実施していますか。**

**【全体及び地域指定別集計】**

- 集落の現状把握のための調査の実施状況をみると、全体の64.3%は特に実施しておらず、何らかの調査を実施しているのは35.2%である。過疎地域と特別豪雪地帯では、何らかの調査を実施している割合が37.3%とやや高い。
- 実施されている調査の実施主体を詳しくみると、半数超では市町村独自の調査を実施しているほか、「都道府県が実施する調査に協力している」も47.6%と半数近くにのぼる。

図表3-22 集落調査の実施状況

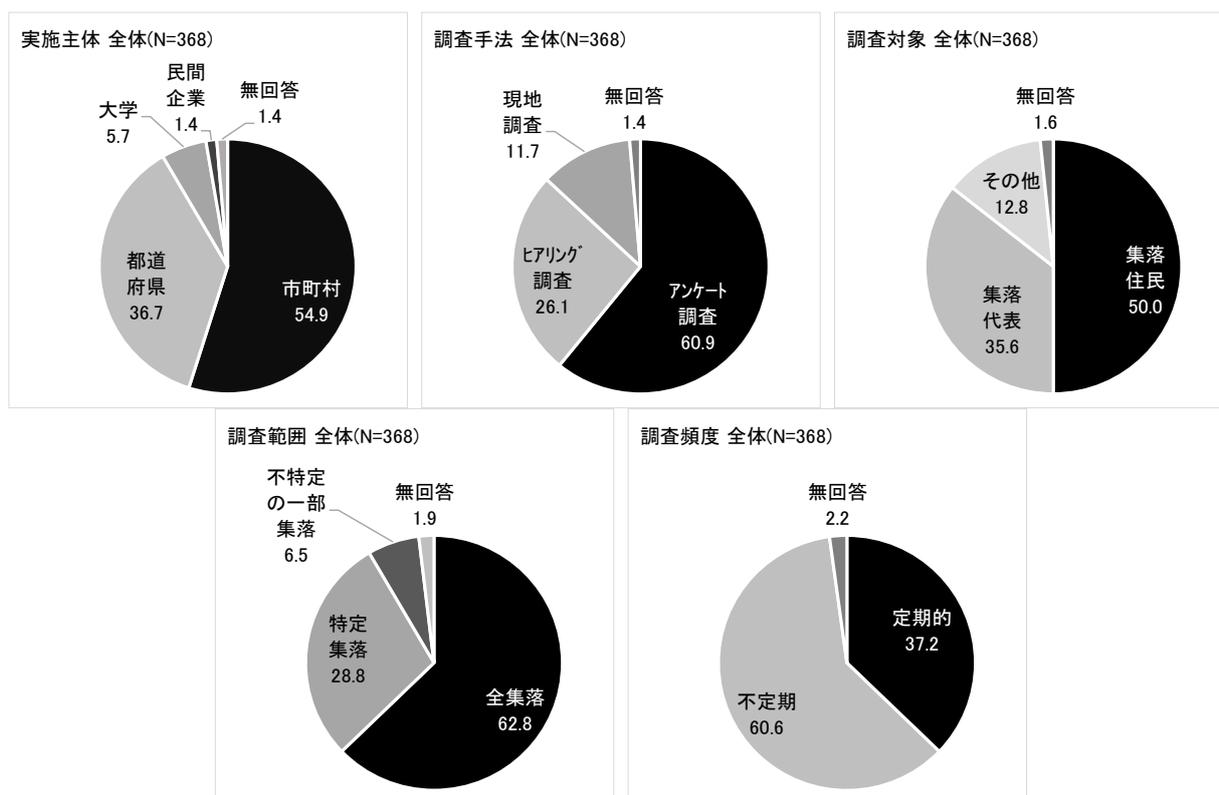


問8SQ（問8で1～3のいずれかを回答した場合）集落の実態を把握するために実施している調査（複数ある場合は代表的なもの）について、以下に具体的にご回答ください。

【全体集計】

- 集落の現状把握のために実施されている調査（複数ある場合は代表的な調査）の詳細をみると、実施主体としては「市町村」が最も多く、54.9%を占める。調査手法は「アンケート調査」が 60.9%を占めており、「ヒアリング調査」は 26.1%、「現地調査」は 11.7%である。
- 調査の対象や範囲をみると、「集落住民」を対象とした調査が半数を占めており、また市町村内の「全集落」を対象として実施しているものが 62.8%を占める。
- 調査の頻度としては、「定期的」に実施されているものは 37.2%で、約6割は「不定期」で実施されている。

図表3-23 集落の実態を把握するために実施している調査の概要

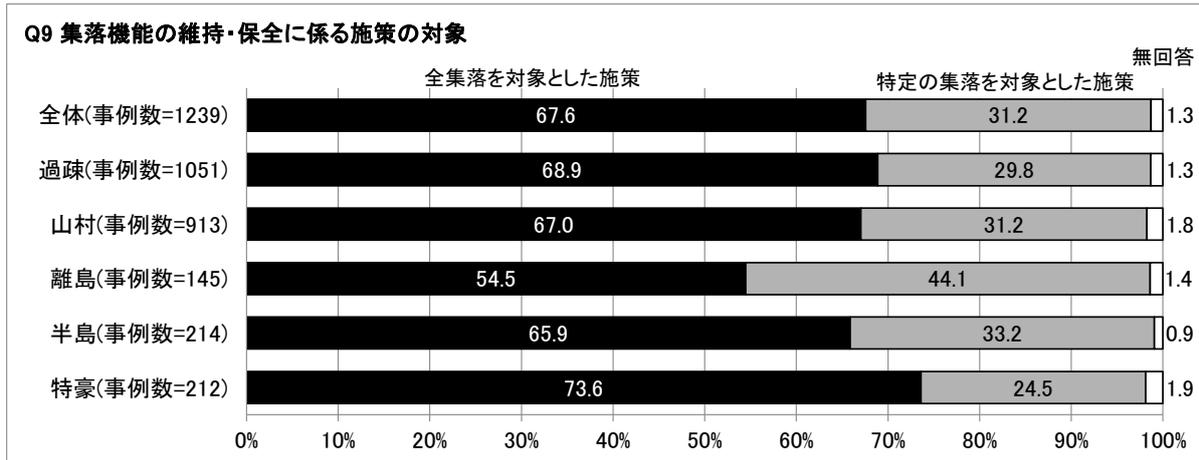


問9 現在存続している集落について、集落機能の維持・保全のため、社会基盤の維持管理や社会的サービスの提供などの面で、貴市町村が行政施策として講じている対策があれば、代表的な施策を3つまで選び、以下に具体的にご回答ください。

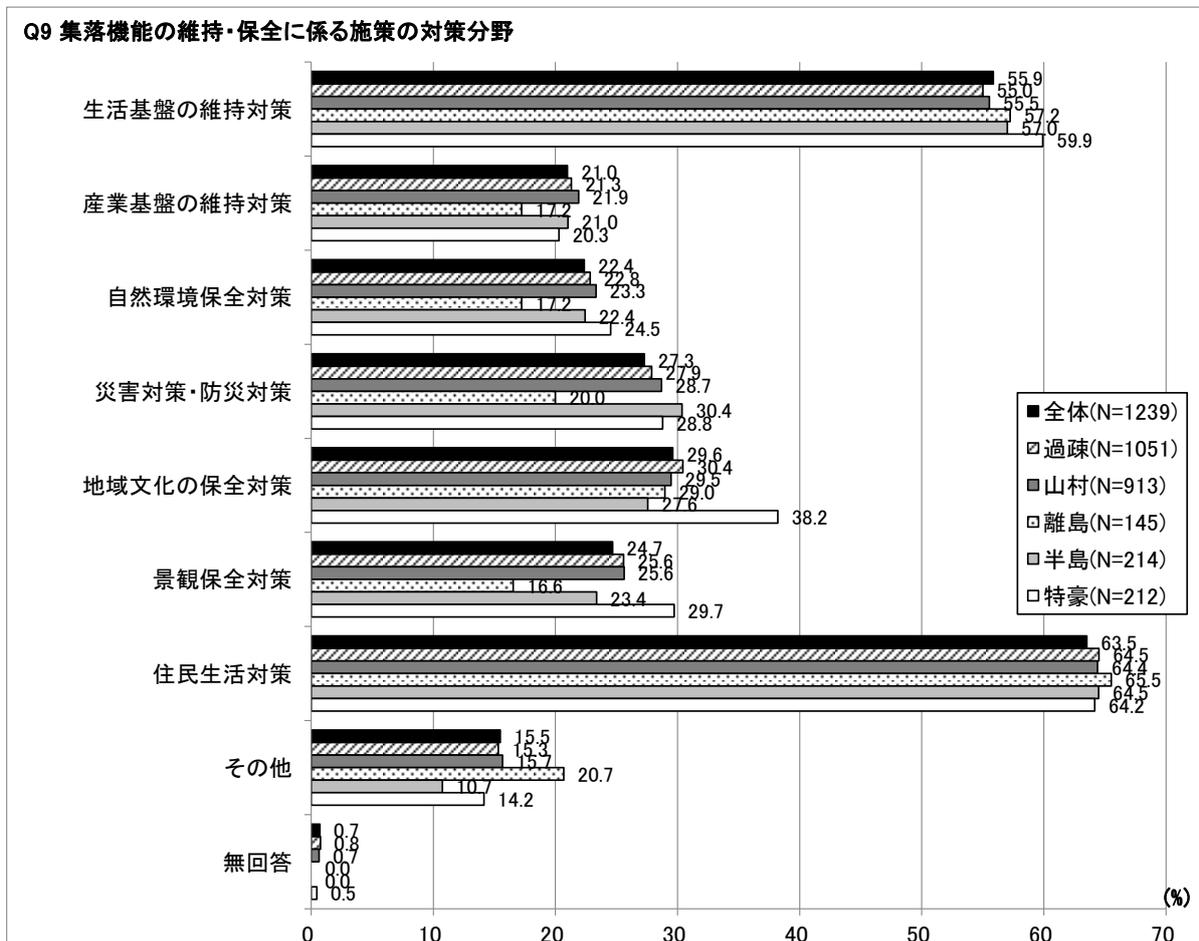
【全体集計】

- 集落機能の維持・保全に向けた行政施策の事例としては、1,239 件の事例が挙げられ、全集落を対象とした施策が 67.6%を占める。地域指定別で見ると、特別豪雪地帯では全集落を対象とした施策が 73.6%を占めるのに対し、離島地域では特定の集落を対象とした施策が 44.1%と他より高い割合となっている。
- 対策分野としては、「住民生活対策」(63.5%)と「生活基盤の維持対策」(55.9%)が特に多くみられる。

図表3-24 集落の維持・保全に向けた行政施策の対象



図表3-25 集落の維持・保全に向けた行政施策の対策分野



■施策の内容を記述回答から分類整理すると、大部分がソフト面での施策であり、特に集落や自治会等を対象とした活動費の助成に係る施策(301事例)や生活交通サービスの確保に関する施策(287事例)が多くみられた。また、ハード面での施策事例も生活・産業基盤の整備に関する施策を中心に238事例報告されている。

図表3-26 集落の維持・保全に向けた行政施策事例の内容(記述回答より整理)

施策の内容の分類と具体的な施策(例)		事例数(%)	
ソフト面での施策	<b>集落や自治会等を対象とした活動費の助成に係る施策</b> ・町内会・自治会で管理している街灯のLED改良工事に係る費用や修繕費用に対する助成 ・自主防災組織の災害対応力の強化を図るため、実践的な防災訓練の実施に対し支援する ・町内各集落で交通手段を持たない高齢者等に対し商工会が移動販売に関する事業費の補助	301	24.3%
	<b>生活交通サービスの確保に係る施策</b> ・高齢者に対して公共交通空白(不便)地帯解消のためのデマンド型乗合タクシーを運行する ・移動手段を持たない高齢者(65歳以上を対象)のため、中心市街地への無料バスを運行 ・高齢者等の交通弱者のため、地元組織が主体となって構築した住民ボランティア輸送の運行	287	23.2%
	<b>集落活性化活動等の補助に関する施策</b> ・住民自治活動及び集落機能の維持強化を支援するために1集落20万円を上限とし交付 ・地域における問題や課題の解決のために行う事業を提案し、それに対して補助金を交付 ・地域資源型のビジネスの展開のため、雇用、経済波及効果等に繋がる事業費の一部を補助	203	16.4%
	<b>生活支援や定住対策、空き家活用等に係る施策</b> ・単独では移動が困難な高齢者や身体障害者の方々を対象に、医療機関等への送迎を行う ・空き家バンクを運営し、賃貸借等が成立した時に1物件につき町会へ50千円の報奨金を支払 ・転入後、過疎地域に住所を有し、地区外へ通勤する者に対して3年間通勤費を補助する	84	6.8%
	<b>集落等の協働体制や医療・福祉等見守り体制の構築に係る施策</b> ・地域の高齢者や障がい者を対象に、災害対策基本法の「避難行動要支援者名簿」を作成する ・小学校区単位に地域運営組織を設置し、集落の維持存続及び地域の活性化を図っている ・離島における医療のため、従前の医師の派遣に加えテレビ電話等を用いた遠隔診療を行う	81	6.5%
	<b>地域人材の確保や配置、育成に係る施策</b> ・住民の日常生活や買い物や通院等に関してサポート人材を配置し、安心できる環境を確保 ・担当地域を職員に割り当て、住民と協働で、各地域の実情に合わせた地域づくりに取り組む ・集落支援員を配置し、地域と行政との橋渡しや、話し合い等を通じ、困りごとへの対応を行う	63	5.1%
	<b>地域づくりに係る調査や研究・開発、計画策定等に関する施策</b> ・地域コミュニティ機能の活性化を目的とした将来ビジョン策定等に取り組む町内会等を支援 ・安心して暮らし続けることができる地域づくりを目的としたアンケート調査、ワークショップの開催	35	2.8%
	<b>小 計</b>	1,012	83.2%
ハード面での施策	<b>生活基盤や産業基盤の整備に関する施策</b> ・いちご栽培に取り組む新規就農者等のリース用ハウスを整備して就農支援のシステム化を図る ・地域情報化事業により光ファイバ網を村内全域に整備し、各世帯に情報端末を整備する ・廃校になった小学校を農産物加工施設に改修し、施設の有効活用と地域産業の振興を図る	125	10.1%
	<b>活動拠点等の整備に関する施策</b> ・コミュニティ活動の推進を図るため、地域づくりの場である自治公民館施設の整備を支援する ・新たな交流拠点づくりに取り組む集落に対し、空き家を活用した拠点の立ち上げ経費を支援 ・自治会が自主的に実施する道路・水路関連整備に対し、原材料の支給又は補助金を交付	66	5.3%
	<b>施設等の維持管理に関する施策</b> ・各集落の集会所を「地区生きがいセンター」として指定し施設管理に要する費用の一部を助成 ・農林道等の補修などの事業に対して、補修原材料を支給し地元主体で道路舗装などを実施 ・赤字である運行費用の一部を補填するため、生活交通路線バス運行者に維持補助金を交付	35	2.8%
	<b>既存施設の改修等に関する施策</b> ・各地区公民館に対し地域活動の維持と地域住民の福祉向上のため改修事業へ補助金を交付 ・歴史的まちなみを構成する古民家を歴史的風致形成建造物として修理を行う際に支援を行う ・自治会が実施する集会所の建築・修繕、バリアフリー化に要する経費に対して、補助金を交付	16	1.3%
	<b>小 計</b>	238	19.6%
<b>総回答事例数(N)</b>		1,217	(100.0%)

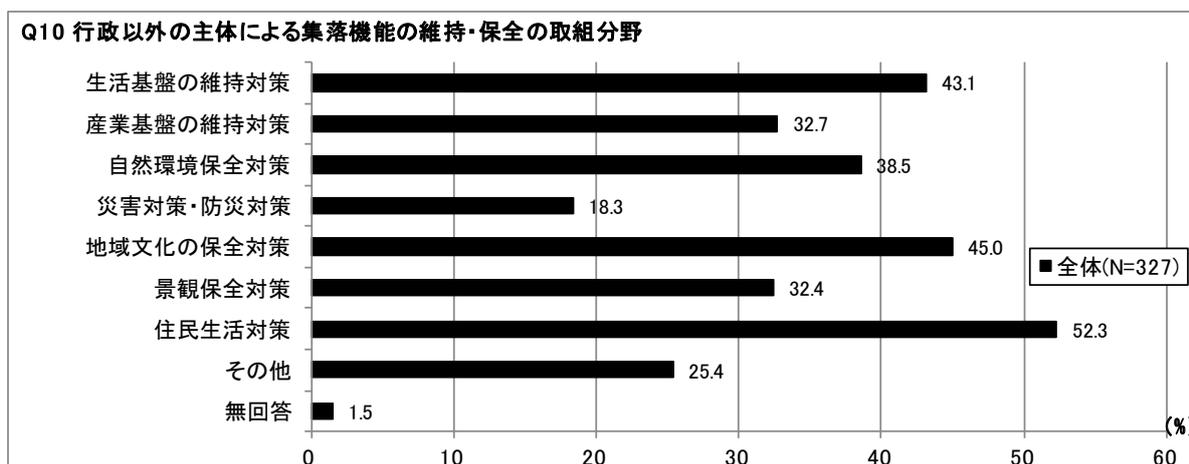
※複数に該当する回答あり

問10 行政による取組のほかに、集落間で連携を図り集落機能の維持・保全を図っている事例や、集落活性化のためにNPOや地域住民等が主体となって行っている取組など、特徴的な取組事例があれば、代表的な事例を以下にご紹介下さい。

【全体集計】

■NPOや地域住民等による集落活性化の取組事例は、327件挙げられた。分野としては住民生活対策や地域文化の保全対策が多く、取組内容では、集落コミュニティの維持・活性化の取組事例や都市との交流による活性化の取組事例、高齢者の生活支援に係る事例などが比較的多くみられた。

図表3-27 NPO等による集落機能の維持・保全に係る取組事例



図表3-28 NPO等による集落活性化事例の内容(記述回答より整理)

取組内容の分類	具体的な取組(例)	事例件数(%)
集落コミュニティの維持・活性化	・2年に一度の集落行事を安定・継続して運営するため住民や出身者が主体的に活動 ・撤退する事が決まったJA購買店舗を、地域住民が引き継ぐ形で店舗運営を実施	101 31.2%
都市との交流による集落活性化	・化石や地層の博物館であるエコミュージアムセンターの管理運営や、イベントを開催 ・地域体験プログラムの開発・提供をはじめ特産品の開発、移住者の受け入れを実施	80 24.7%
高齢者の生活支援	・高齢者を対象に「集いの場」を開所しカラオケや料理教室、体操、買い物レクを実施 ・廃校跡を高齢者の拠点としてNPO法人が小規模多機能型居宅介護事業所を運営	43 13.3%
集落環境の維持・整備等	・荒廃した里山を下刈り、樹木伐採等を行った上で桜を植栽し地域住民が自ら管理 ・集落で産地直売所設置や特産品開発・販売、竹林整備、体験交流事業などを実施	37 11.4%
環境保全・景観保全	・春と秋に各1回、町内一斉に自治振興会により河川清掃(ごみ拾い、草刈)を行う ・集落住民とNPO法人が集落の農地再生を中心として活性化と景観の保全活動を行う	35 10.8%
特産品の開発・加工・販売	・地域名産のそばづくりを通した外部との交流や高齢化者の生きがいづくりの場を創出 ・地区内の山林で収穫される特産品の松茸を利用した料理をふるまう観光施設を運営	33 10.2%
地域文化の継承・保全	・大学等と連携し伝統文化(ねふた祭)の伝承や地域を巡る散策ルートの設定等を実施 ・明治時代に多くの人手と私財を投じて開かれた農業用水の”堰”を維持保全する取組	28 8.6%
農林業や商業の活性化等	・JAの撤退を受け、建物を借り受け、地域住民から1株3万円の出資を得て商店を運営 ・体験イベントの開催や体験施設の運営、6次産業化など小さなビジネス活動を推進	24 7.4%
生活交通の確保	・小型バスで地区内3コース、1日5便が循環し、居住地の近所で乗降可(無料バス) ・公共交通空白地有償運送や地域商店が高齢者宅へ配達するなどの事業を実施	24 7.4%
定住促進に向けた取組	・集落の存続を目指した地域づくり(移住対策、田んぼオーナー制度、集落点検など) ・SNSを活用した情報発信や芸術家が数多く移り住む地域イベントの開催を実施	24 7.4%
高齢者等の買い物支援	・介護認定者、身体障害者等の通院、買い物等の日常生活の移動手段の確保を図る ・住民で農水産物直売所を運営し、地域活性化や買い物弱者対策に取り組んでいる	14 4.3%
地域ぐるみでの防災・防犯活動等	・自然災害に備え、集落ごとに自主的避難活動を行う組織の設置を図っている ・休校の小学校を用いて年に一度、自主防災訓練を行うなど集落機能の維持に貢献	10 3.1%
住民による地域プランづくり	・地域の将来ビジョンを作成して地域資源を活用した特色ある地域づくり活動を実施 ・集落支援員等による支援を受けながら主体的なプラン策定や取組実施を進めている	8 2.5%
その他	・複数の縦割りの組織が個々に役員を置き会計を持っている現状を見直し、地区が一丸となって横断的・一体的に諸問題に取り組む組織づくりの実施	15 4.6%
総回答事例数(N)		324 (100.0%)

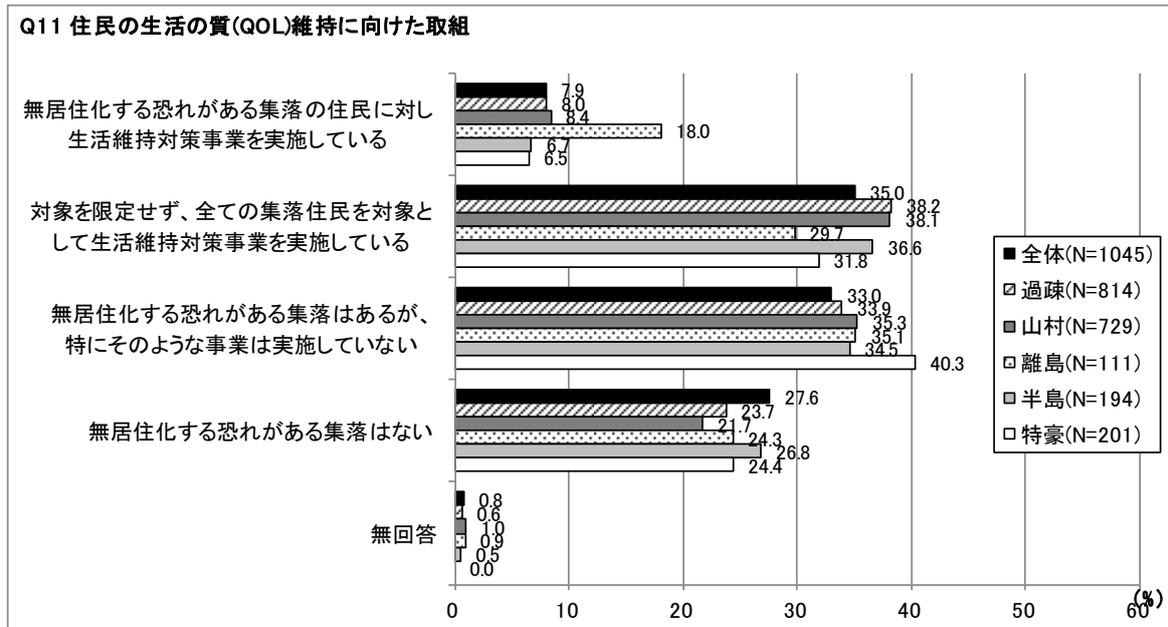
※複数に該当する回答あり

問11 貴市町村は、集落機能が著しく低下し、近い将来に無居住化する恐れがある集落に対し、集落住民の生活の質を維持するために特段配慮した事業や行政サービス等(以下「生活維持対策事業」という。)を実施していますか。

【全体及び地域指定別集計】

- 「対象を限定せず、全ての集落住民を対象として生活維持対策事業を実施している」が 35.0%と最も多いが、「無居住化する恐れがある集落はあるが特に事業は実施していない」という市町村も約3分の1みられる。

図表3-29 無居住化する恐れがある集落に対する住民の生活の質(QOL)維持に向けた取組の実施状況

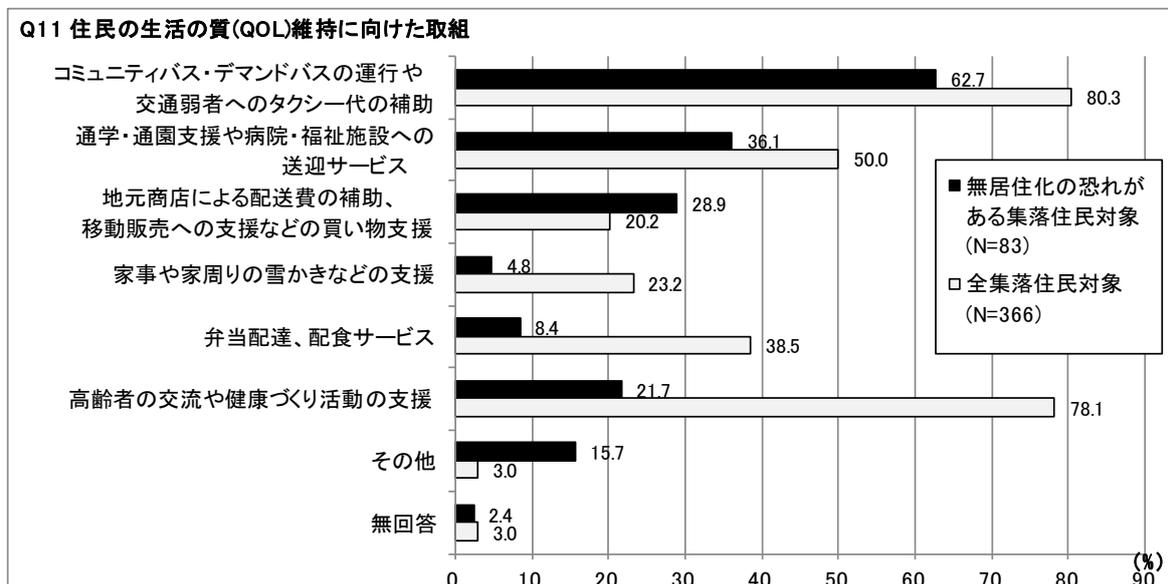


問11SQ (問11で1又は2と回答した場合)住民の生活の質を維持するために、どのような事業を実施していますか。あてはまる事業の番号を、事業の対象ごとに入力してください。

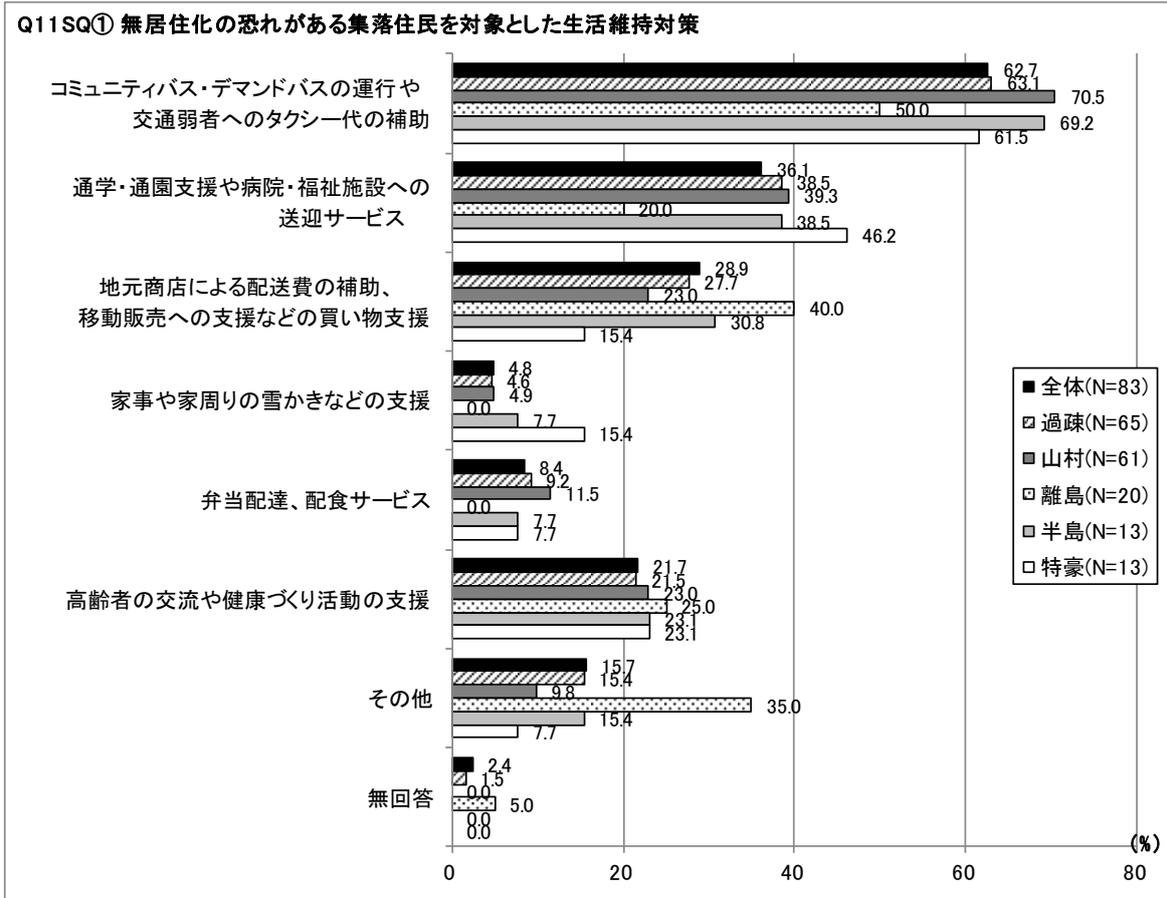
【全体及び地域指定別集計】

- 無居住化の恐れがある集落住民に対する事業としては、デマンドバスの運行や送迎サービスなど、生活交通対策に係る取組が多くみられる。
- 「高齢者の交流や健康づくり活動の支援」は対象者を限定しない事業としての取組が多い。

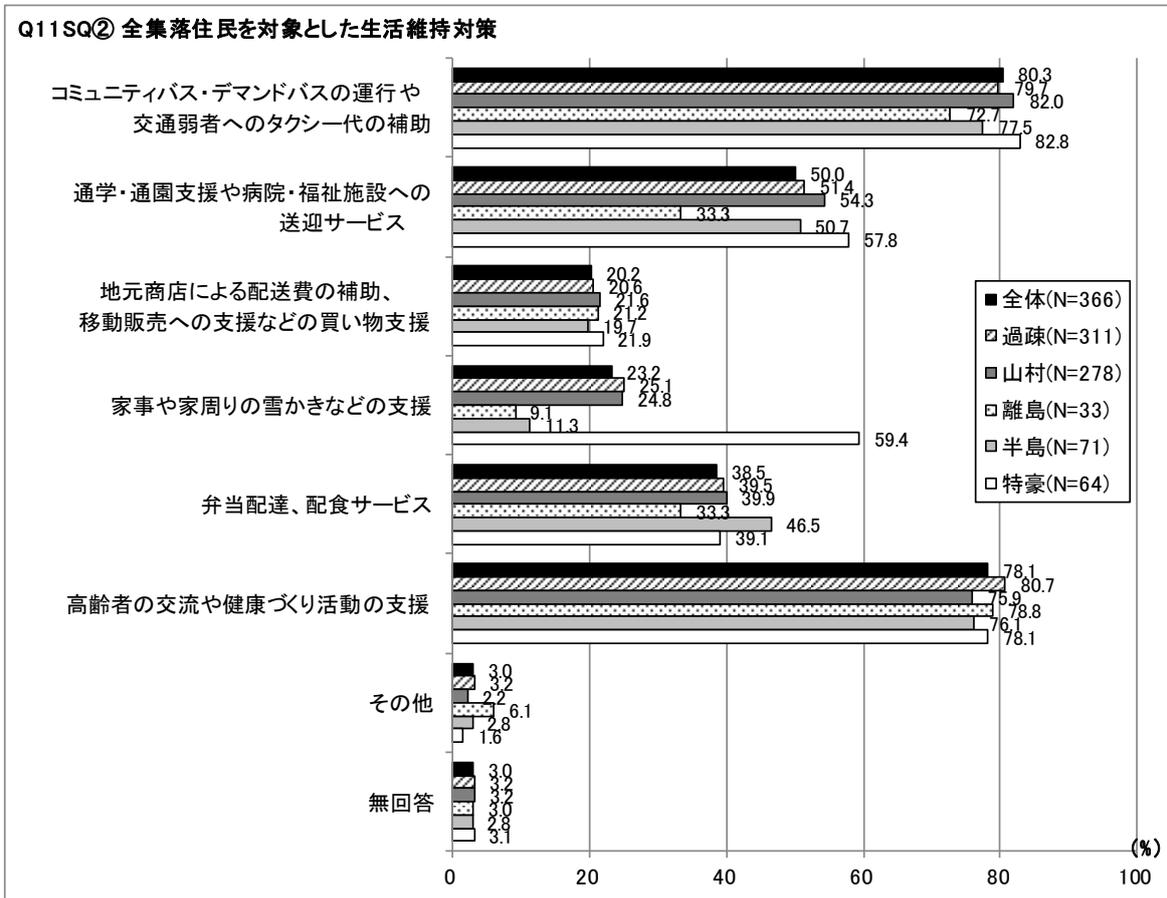
図表3-30 事業対象別でみた住民の生活の質(QOL)維持に向けた取組の内容



図表3-31 ①無居住化する恐れがある集落の住民に対する生活維持対策事業



図表3-32 ②全ての集落住民を対象とした生活維持対策事業

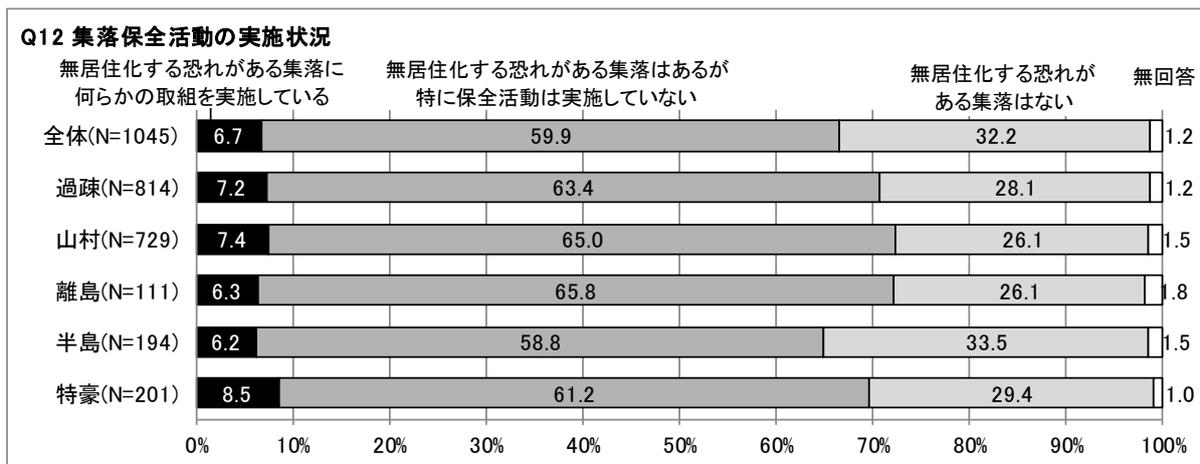


**問12 貴市町村では、集落機能が著しく低下し、近い将来に無居住化する恐れがある集落の地域資源を保全するために、何らかの取組を行っていますか。**

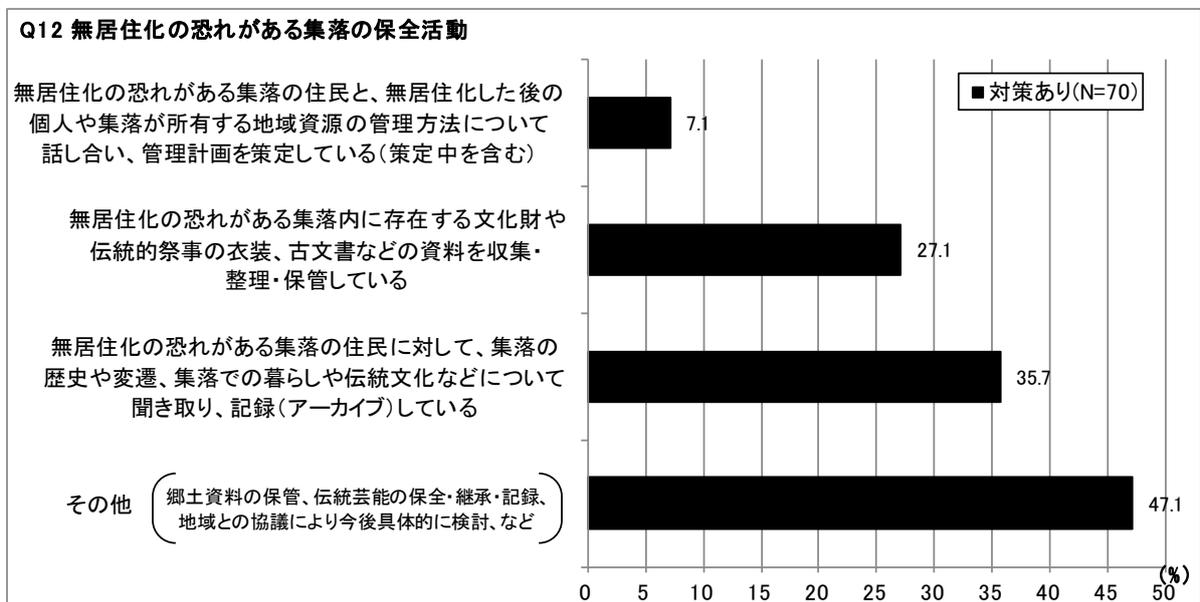
**【全体及び地域指定別集計】**

- 無居住化する恐れがある集落に対して何らかの保全対策を行っている市町村は 6.7%で、約6割の市町村は、「無居住化する恐れがある集落はあるが特に保全活動は実施していない」としている。
- 何らかの対策を行っている70市町村において実施されている対策の内容をみると、「無居住化の恐れがある集落の住民に対して、集落の歴史や変遷、集落での暮らしや伝統文化などについて聞き取り、記録(アーカイブ)している」や、「無居住化の恐れがある集落内に存在する文化財や伝統的祭事の衣装、古文書などの資料を収集・整理・保管している」が比較的多く、類似の内容が「その他」の記述にも多くみられた。

図表3-33 無居住化する恐れがある集落の保全活動の実施状況



図表3-34 無居住化する恐れがある集落に対する保全活動の内容

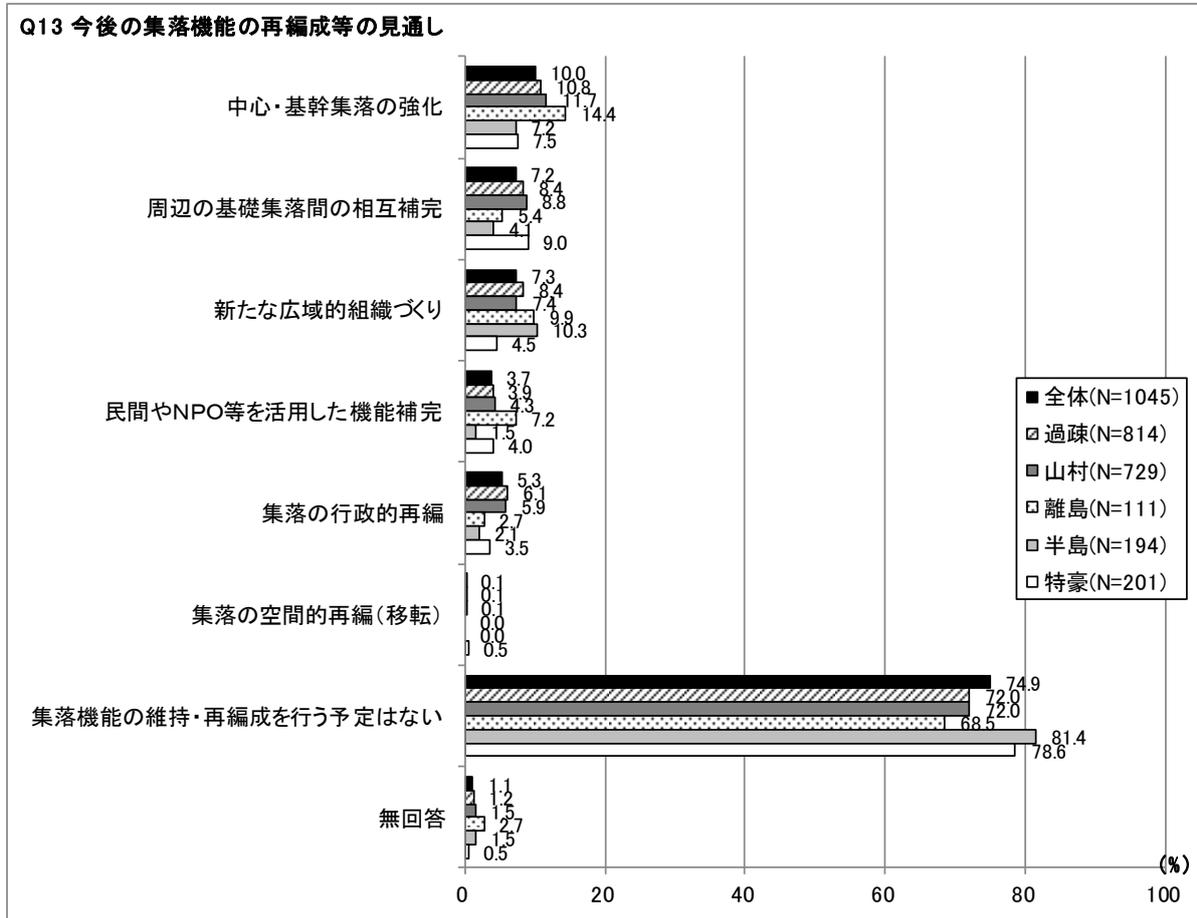


問13 貴市町村内の集落について、今後10年間で集落機能の維持・再編成等を行う見通しはありますか。

【全体及び地域指定別集計】

- 集落機能の再編成については、74.9%の市町村が「行う予定はない」としている。
- 実施が予定されている対策の中では、「中心・基幹集落の強化」が 10.0%と最も多く、特に離島地域で取組意向が高くなっている。

図表3-35 今後の集落機能の維持・再編成の見通し



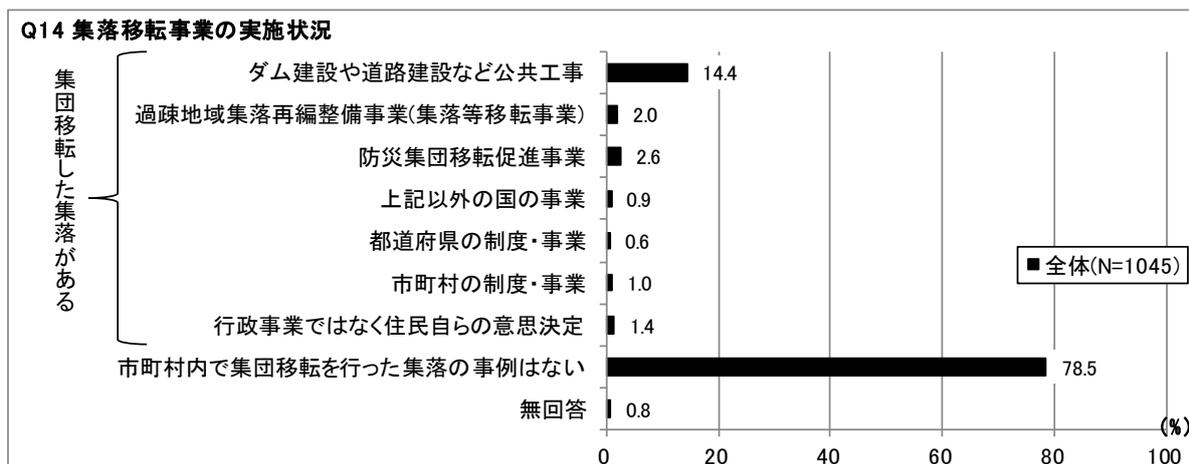
(4) 集落移転事業について

問14 貴市町村において、これまでに集落が集団で移転を行った事例はありますか。

【全体集計】

- 集落が集団で移転を行った事例の有無については、78.5%の市町村が「ない」としている。
- 集団移転した集落の事例としては、「ダム建設や道路建設など公共工事に伴い集団移転した集落がある」が14.4%と最も多い。

図表3-36 集落移転事業の実施状況



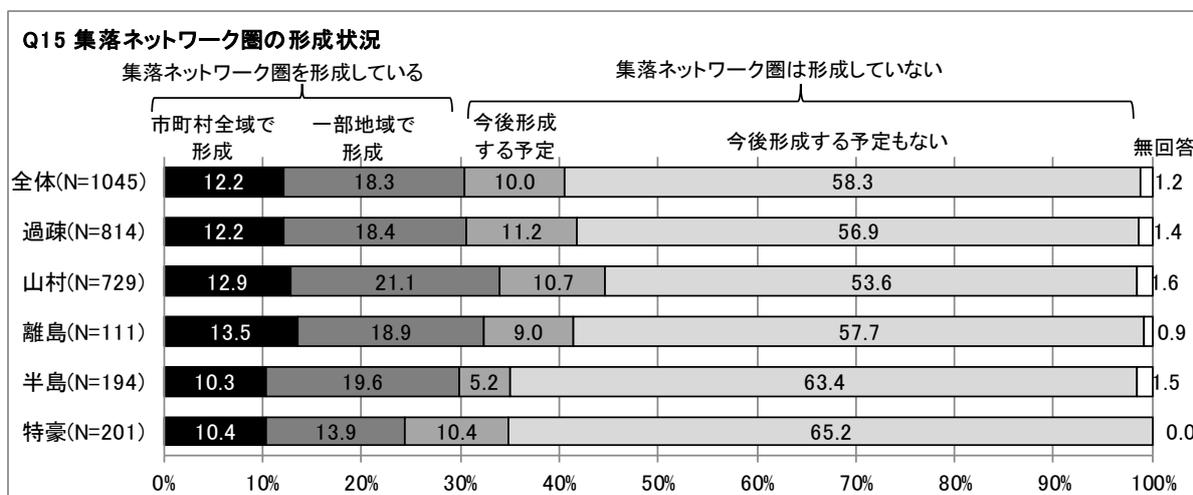
(5) 集落ネットワーク圏(小さな拠点)について

問15 貴市町村では、「集落ネットワーク圏」(小さな拠点)を形成していますか。

【全体及び地域指定別集計】

- 市町村全域又は一部地域で集落ネットワーク圏を形成しているのは 30.5%であり、なかでも市町村全域で形成している市町村は離島地域において13.5%と最も高い割合となっている。
- 今後形成する予定という市町村は 10.0%みられ、既に形成している市町村と合わせると、振興山村では44.7%が集落ネットワーク圏への取組意向を示している。

図表3-37 集落ネットワーク圏の設定状況

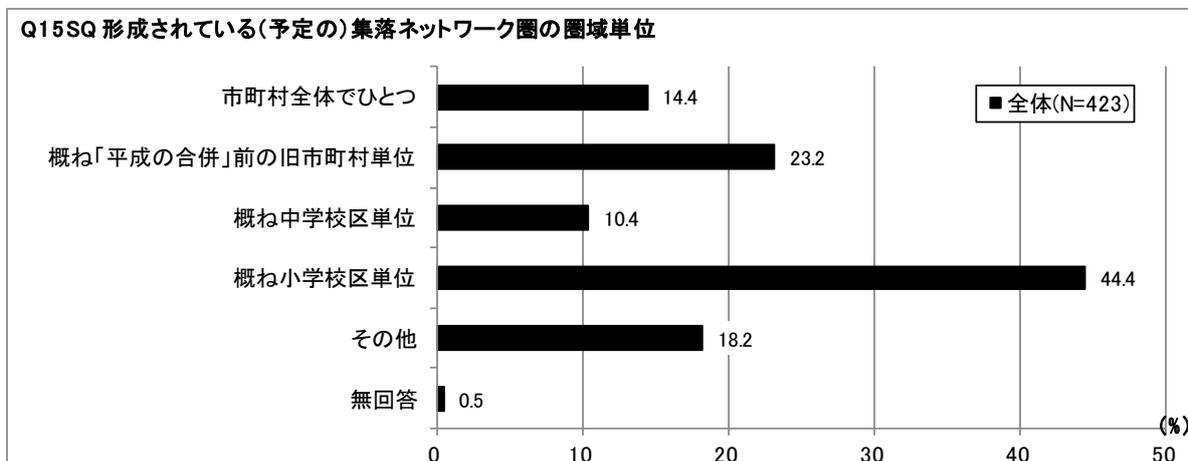


問15SQ (問15で1～3のいずれかを回答した場合)貴市町村で形成されている(形成を予定している)「集落ネットワーク圏」(小さな拠点)のエリアとして該当するものをすべて選んで入力してください。

【全体集計】

- 集落ネットワーク圏のエリアとして最も多いのは「概ね小学校区単位」(44.4%)であり、これに次いで「概ね「平成の合併」前の旧市町村単位」が23.2%みられる。

図表3-38 形成されている(形成を予定している)集落ネットワーク圏のエリア

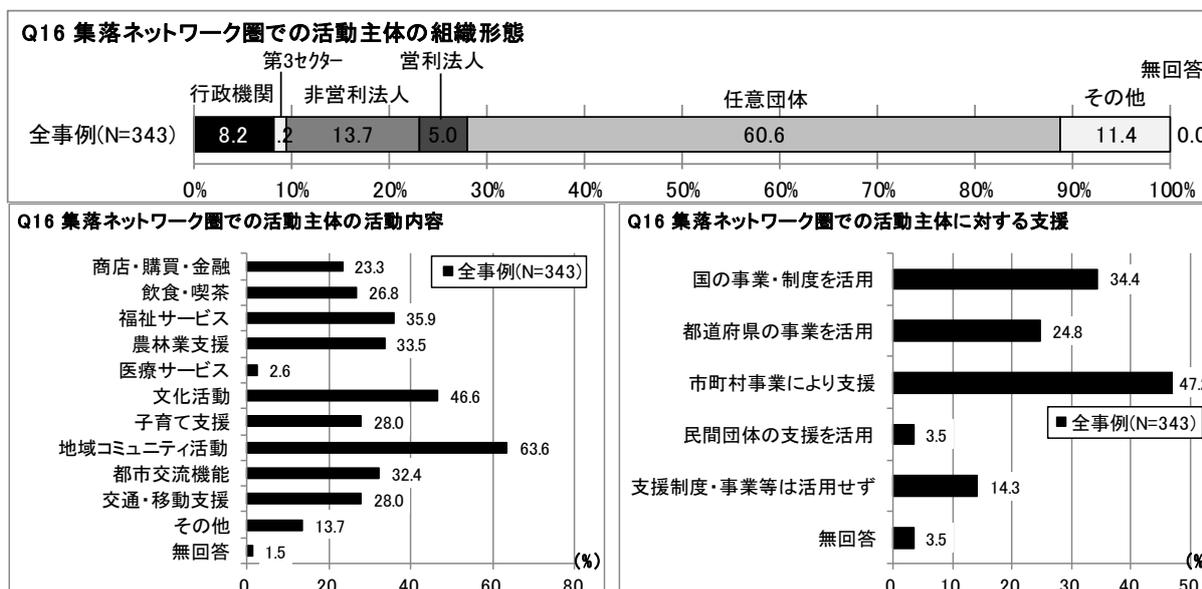


問16 貴市町村の中で、「集落ネットワーク圏」(小さな拠点)における取組があれば、代表的な取組事例を以下に3つまで具体的にご紹介ください。

【全体集計】

- 集落ネットワーク圏(小さな拠点)の具体的な事例として、343事例が挙げられた。
- 活動主体をみると、多くは任意団体であるが、非営利法人や行政機関が主体となった取組もみられる。
- 活動主体の活動内容をみると、地域コミュニティ活動が63.6%と最も多いほか、文化活動や福祉サービス、農林業支援、都市交流機能なども比較的挙げられている。
- 集落ネットワーク圏での活動主体に対する行政支援をみると、47.2%の事例では市町村事業により支援が行われている。また、国の事業・制度を活用した事例も34.4%みられる。

図表3-39 集落ネットワーク圏の取組事例の概要

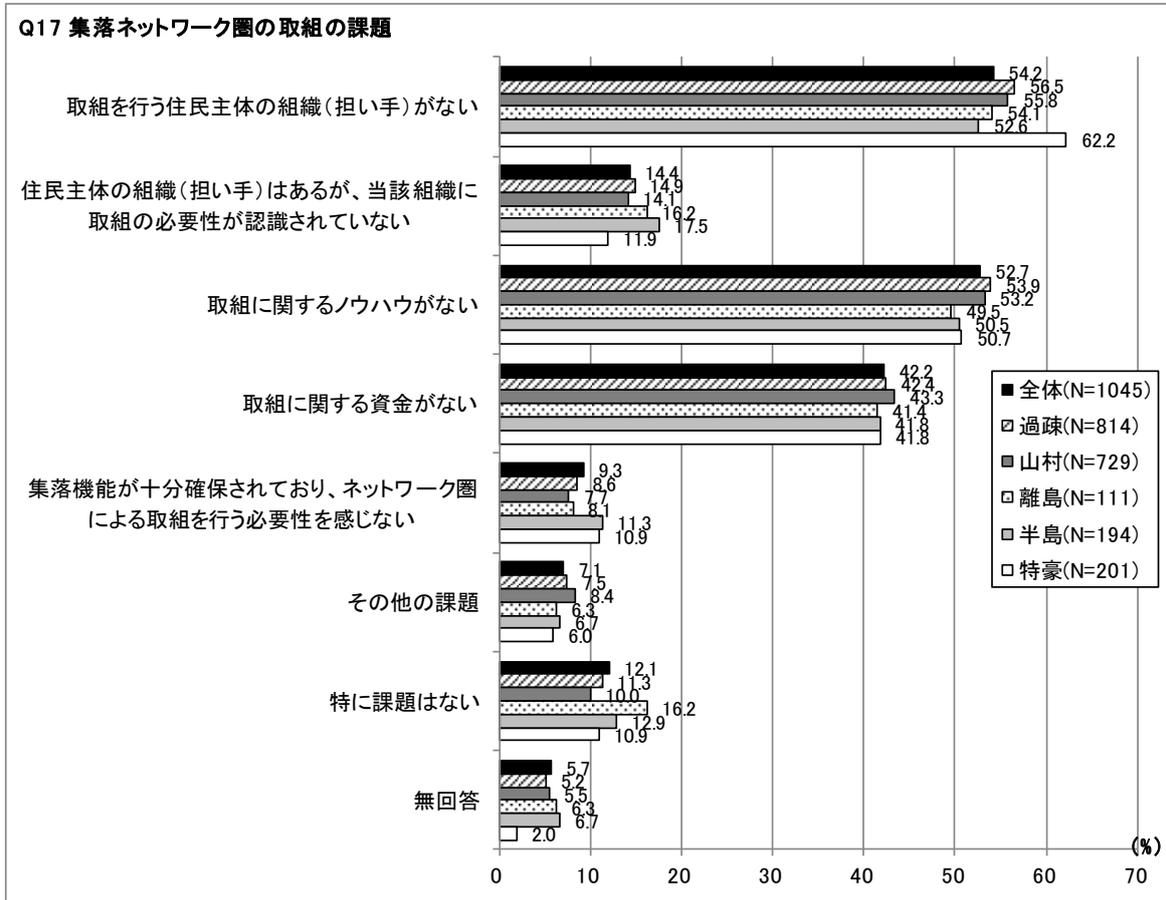


**問17 貴市町村において「集落ネットワーク圏」(小さな拠点)での取組を行うに際して、どのような課題がありますか。**

**【全体集計】**

- 集落ネットワーク圏の取組に対する課題としては、「取組を行う住民主体の組織(担い手)がない」と「取組に対するノウハウがない」がともに半数以上の市町村から挙げられている。
- また、これらに次いで「取組に関する資金がない」も42.2%と比較的多くの市町村から課題として挙げられた。

図表3-40 集落ネットワーク圏の取組に対する課題



**問18 上記の課題を解決するため、国等に要望することがあれば、以下にご回答ください。**

**【全体集計】**

- 上記に呼応し、財政支援の拡大や取組に関する情報提供について多くの要望が挙げられた。

図表3-41 集落ネットワーク圏の取組に対する課題解決のために国等に求めること(記述回答より整理)

具体的な取組(例)	記述件数	(%)
財政支援の拡充	38	43.7%
担い手の育成に関する情報提供や支援	20	23.0%
補助率が高い制度の創設	10	11.5%
取組に関する情報提供・支援	9	10.3%
ハード支援の充実	4	4.6%
地域特性に応じた柔軟な支援	4	4.6%
アドバイザーなど専門家の派遣	4	4.6%
過疎法指定要件の緩和	3	3.4%
過疎法・過疎債の継続	3	3.4%
複数年度にわたる事業実施の許可	3	3.4%
その他	14	16.1%
総回答数(N)	87	100.0%

※複数に該当する回答あり

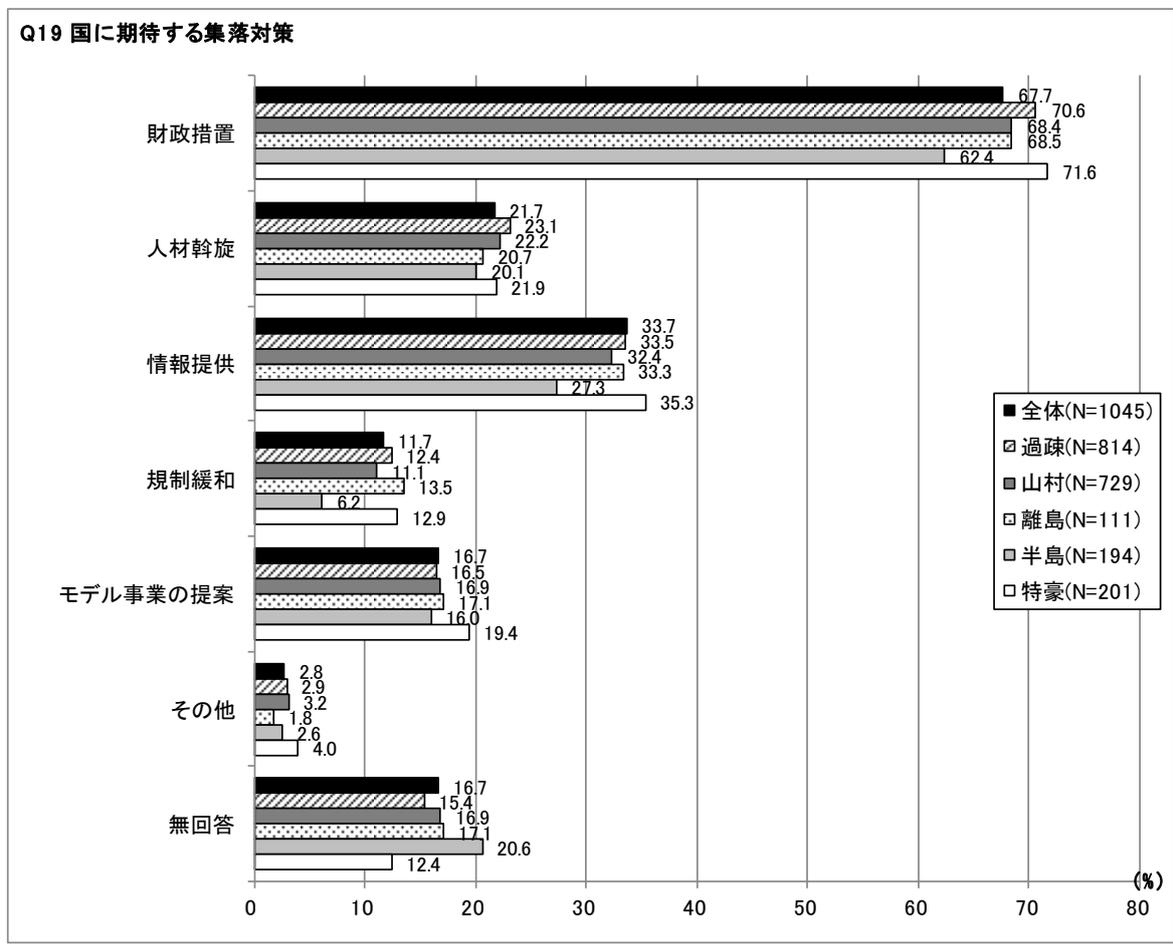
(6)その他

**問19 集落の維持・活性化に向けて国に期待する役割は何ですか。**

【全体及び地域指定別集計】

■集落の維持・活性化に向けて国に「財政措置」を求める声が67.7%と多くの市町村から挙げられた。

図表3-42 集落の維持・活性化に向け国に期待する役割



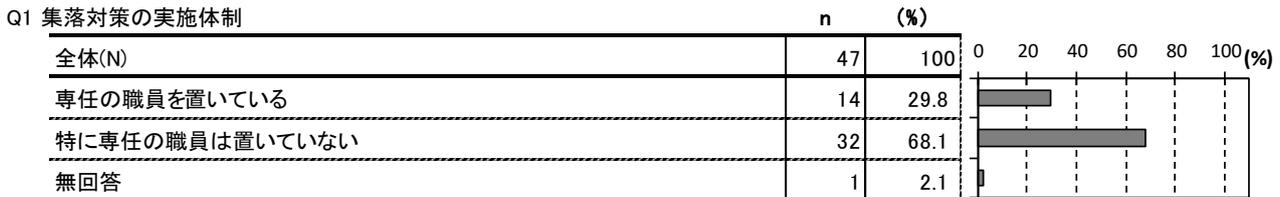
### 3-4. 調査結果（都道府県）

#### (1) 都道府県の集落対策に係る体制

##### 問1 貴都道府県では、集落対策を担当する専門部署はありますか。

- 集落対策に係る専任の職員を置いている都道府県は 14 団体 (29.8%) であり、全都道府県の約7割では、集落対策に係る専任職員が配置されていない状況にある。
- 専任職員が配置されている 14 団体における具体的な配置状況をみると、1団体平均 6 人程度の専任職員が配置されている。

図表3-43 都道府県における集落対策の実施体制



図表3-44 都道府県における集落対策に係る専任職員の所属と活動内容

都道府県	人数	所属	活動内容
秋田県	4	地域づくり推進課 元気ムラ支援班	小さな拠点形成に係る支援や山菜等の地域資源の販売や地域資源を活用した商品開発に係る支援、集落訪問による話し合いの推進、集落活動情報発信の推進等
山形県	2	企画振興部市町村課	・中間支援組織(NPO)に委託した地域づくりアドバイザー派遣 ・地域運営組織形成を行うモデル地区に対する補助 ・各地域における地域づくりプラットフォームを通じた支援情報の提供
富山県	1	地域振興・中山間対策室 中山間地域対策課	関係市町と連携し、地域で活躍する地域運営組織、地域おこし協力隊等の多様な担い手と協働しながら、実際に集落等に出向き、地域課題の把握及び地域活性化に向けた取組の創出及び推進を支援している
京都府	6	農林水産部農村振興課、丹後広域振興局、中丹広域振興局、南丹広域振興局	小規模多機能自治を担う地域組織の設立・運営支援
兵庫県	4	西播磨県民局地域づくり課・但馬県民局地域づくり課・丹波県民局地域振興課・淡路県民局未来島推進課	各管内市町における小規模集落や地域協議会等を対象とした、相談業務・アドバイザー派遣・補助金業務
和歌山県	2	移住定住推進課定住推進班	住民生活の一体性を重視した「ふるさと生活圏」において、地域住民の主体性を活かした取組を総合的に支援する「わかやま版過疎集落支援総合対策」の推進に関する活動
鳥取県	9	中山間地域振興チーム	市町の中山間地域振興担当との連携・調整に関すること
島根県	14	島根県中山間地域研究センター中山間地域支援スタッフ(兼務含む)	島根県中山間地域活性化計画を推進するプロジェクトチームメンバーとして、公民館エリア(地区)の地域運営組織の取組を支援(地域の動きに直接加わり、データ提供、事例紹介など専門的見地からアドバイス)
岡山県	2	県民生活部 中山間・地域振興課	小規模高齢化集落等を含む地域で、小学校区等広域的な地域運営により集落機能の維持・強化を目指す地域を「おかやま元気!集落」として登録し、地域運営・活動支援、人材育成・人的支援、財政支援を実施している
山口県	13	中山間地域づくり推進課	中山間地域等の進行に関する施策の企画及び総合調整
徳島県	4	地域振興課	国及び関係機関等の制度活用、とくしま集落再生プロジェクトの推進
高知県	23	・中山間地域対策課 ・地域支援企画員	・集落活動センターの立ち上げ・運営支援 ・高知ふるさと応援隊(地域おこし協力隊・集落支援員)導入支援 ・生活用品、用水、移動手手段の確保支援
大分県	1.5	おおいた創生推進課	住み慣れた地域に住み続けたいという住民の願いを叶えるための仕組みづくり(地域運営組織、買い物弱者支援等)を推進している
鹿児島県	2	企画部地域政策課	本年3月に策定した「中山間地域等集落活性化指針」に基づき、それぞれの集落が抱える課題の解決に向けた会議や人材育成研修を行う等、集落の維持・活性化を支援している

■一方、集落対策に係る専任の職員を配置していない団体における集落対策の実施体制としては、過疎対策や地域振興に係る担当者が集落対策を兼任するなどの例が比較的多くみられる。

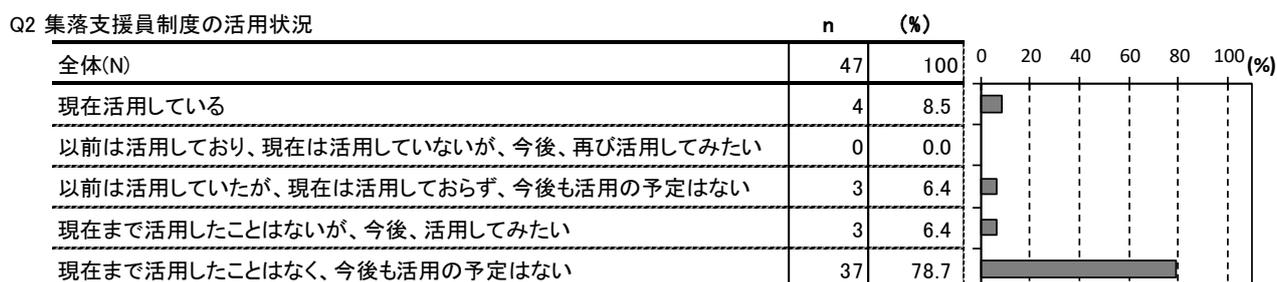
図表3-45 都道府県における集落対策の兼務状況(記述回答より整理)

兼務体制	兼務の具体的な内容(例)
過疎対策担当が兼務	<ul style="list-style-type: none"> <li>過疎対策の一環として実施(静岡県)</li> <li>専任職員はおらず、過疎・離島担当職員が他業務と兼務(香川県)</li> <li>過疎・離島・半島地域の振興、移住・交流の促進等に取り組む地域づくり支援グループ4名で対応(愛媛県)</li> <li>過疎対策、山村振興担当職員で兼務(熊本県)</li> </ul>
地域振興担当が兼務	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域活力振興課(主に生業・地域活性化グループ)が、他の所掌事務と兼務(青森県)</li> <li>コミュニティ対策等の業務の中で実施(岩手県)</li> <li>総務局総務部市町村課地域振興室において、山村振興全般を実施(愛知県)</li> <li>地域振興を担う系の職員が業務のひとつとして担当(滋賀県)</li> </ul>
関係課・各部局が分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>各部局でそれぞれ必要な集落対策事業を実施(栃木県)</li> <li>各部局がそれぞれ集落対策を実施(新潟県)</li> <li>分野ごとに各課が対応(石川県)</li> <li>分野ごとの担当職員が対応(佐賀県)</li> </ul>
その他の兼務体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>集落対策における専任の職員はいないが、4人の兼務体制により、集落対策を行っている(北海道)</li> <li>対象市町村を4つのエリアに分割し、エリアごとに地域支援員を配置し、支援を実施(奈良県)</li> <li>中山間地域対策の一環として、他の業務とともに実施(広島県)</li> <li>集落対策を兼務で担当する職員を本庁に2名、長崎地区を除く6振興局に各1名(計6名)を配置(長崎県)</li> <li>集落対策(一般) 兼務1名、いきいき集落(県独自) 兼務1名、中山間盛り上げ隊(県独自) 兼務3名(宮崎県)</li> </ul>
外部人材の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部人材(地域おこし協力隊や大学生等)の力を活用した集落対策事業等を実施しており、複数名で兼務(福島県)</li> <li>地域おこし協力隊業務(群馬県)</li> <li>地域おこし協力隊に係る受入態勢の構築や隊員のスキルアップ、任期終了後の定住に向けた支援を通じ、集落対策及び地域活性化に取り組んでいる(岐阜県)</li> </ul>
その他・無回答	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に実施していない(茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、三重県)</li> <li>集落対策を含めた、自主的主体的な地域づくりに対する支援を実施する補助金事業(長野県)</li> <li>無回答(宮城県、福井県、山梨県、大阪府、福岡県)</li> </ul>

**問2 国では、地域の実情等に詳しい人材が高齢者の見守りや買物支援などを含む集落の維持・活性化対策を行う「集落支援員」制度の活用を推進しているところですが、貴都道府県では当該制度を活用していますか。**

■都道府県として集落支援員制度を活用しているのは4団体、過去に活用していたのは3団体、未活用だが今後活用してみたいという団体が3団体で、約8割は未活用かつ今後も活用する予定はないとしている。

図表3-46 都道府県における集落支援員制度の活用状況



**問2SQ (問2で1~3のいずれかを回答した場合)どのように活用している(活用していた)か、以下に具体的にご回答ください。また、3と回答された都道府県は、現在活用していない理由を併せてご回答ください。**

■都道府県としての集落支援員の活用は、主に市町村への制度の周知や市町村が行う集落対策のサポートを目的として実施されているほか、移住対策に特化した活用を行っている例もみられる。

■なお、活用をやめた理由としては、制度の周知・普及が進み市町村における取組が活発化したため、都道府県事業としての役割を終えたからという趣旨の回答が多い。

図表3-47 都道府県として実施した集落支援員制度の活用内容(記述回答より整理)

都道府県	集落支援員制度の活用内容
秋田県	県内の集落に訪問し魅力再発見や地域課題の解決を促すほか、県が運営するウェブサイト等で集落活動情報を公開し、県内外への情報発信を図る。
富山県	中山間地域での集落支援を推進するため、「地域コンシェルジュ(地域支援企画員)」を課内に配置しており、関係市町、住民組織等と連携しながら集落への目配りをしながら、地域課題の把握及び地域活性化に向けた取組の創出及び推進を支援している。
京都府	「半公半民」の立場で、地域組織のマネジメントを支援
鳥取県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学等の教授等と連携した集落等への直接支援(集落点検、話し合い促進等)</li> <li>・市町村集落支援員との連携、支援</li> <li>・大学等と連携した集落等に対するサポート体制の構築、強化</li> <li>・地域づくりサポーターの業務支援</li> <li>・地域づくり情報の一元管理、発信</li> </ul> <p>現在は各地域で集落支援員の活動が活発になり、県の支援には一定の効果を得たため活用していない。</p>
島根県	H20～22年に中山間地域コミュニティ再生重点プロジェクト事業にて、県内市町村中5市町村をモデル事業として選定し、4人の集落支援員(里山プランナー)を設置。 市町村が設置する集落支援員の業務への直接支援及び助言、地域課題に対して経営的視点から地域に必要な機能・サービスを検討。
愛媛県	愛媛県移住コンシェルジュとして専任の集落支援員を設置し、移住対策等の業務を行ってもらっている。
宮崎県	<p>県としては「集落対策支援員」を設置し、集落における話し合い及びそのサポート役としての集落支援員設置の必要性について、市町村への普及啓発活動を実施した。</p> <p>上記の取組の結果、制度周知は進み、課題としては実際の運用方法や適切な人材の選定など、各市町村における個別具体的な検討をする段階となったため、活用を終えた。現在県では、支援員に関する情報収集及び提供を行っている状況である。</p>

**問3 「集落支援員」制度の導入等における課題や、国等に対する要望等があれば、以下にご回答ください。**

- 集落支援員制度に対する課題としては、集落支援員の人材確保が困難という指摘が最も多く、その要因として兼任の場合の報酬(特別交付税措置額)の低さや専任の場合の副業不可という要件の厳しさ等が挙げられており、専任と兼任の措置額の格差是正を求める声も多かった。

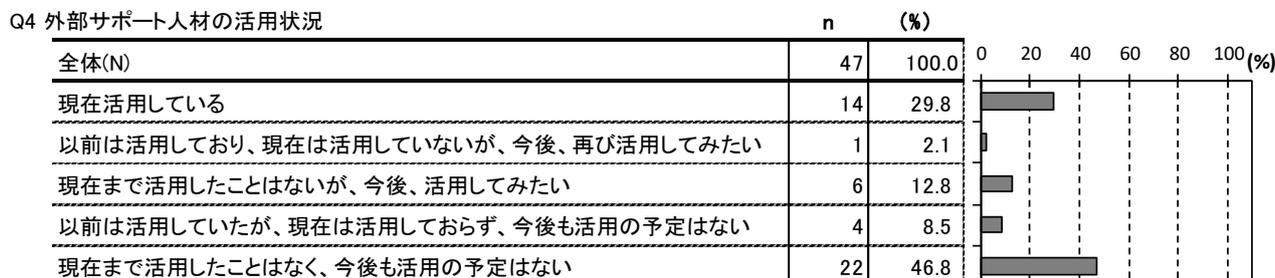
図表3-48 集落支援員制度の課題や国への要望等(記述回答より整理)

課題・要望	具体的内容
人材の確保が困難	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体制充実のため専任の集落支援員の導入を検討したいが、副業不可という条件では適当な人材の確保が困難である。(京都府)</li> <li>・人材の確保(和歌山県)</li> <li>・集落対策が必要な地域の多くが離島・半島地域に所在し、人口減少が著しい地域が多いため、「集落支援員」のなり手となる人材確保が課題となっている。(長崎県)</li> <li>・支援員が必要な小規模集落においては、支援員適任者に農業・林業等、他の収入がある場合が多く、専任での人材確保が難しい状況である。一方で、兼任の場合の年額40万円程度の報酬では、効果的な活動に必要な従事時間に比して過小であり、人材確保に支障をきたしている。(宮崎県)</li> </ul>
兼任の報酬が低い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別交付税措置額について、専任と兼任の差が大きい。(京都府)</li> <li>・1人あたり350万円を上限として特別交付税措置を講ずることとしているが「自治会長等が集落支援員を兼務する場合等においては、40万円を上限とする。」となっている。兼務で40万円は低すぎるので上方修正してほしい。(高知県)</li> <li>・現在の集落支援員設置に対する特別交付税措置は、年額で専任の場合が350万円、兼任の場合が40万円となっているが、差がありすぎるため、当該措置の拡充をお願いしたい。(宮崎県)</li> </ul>
優良事例の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町村に制度導入を促したいので、具体例(優良事例など)をまとめた資料や事例を話してくれる方がいれば紹介していただきたい。(福島県)</li> <li>・先進事例や優良事例の情報提供等(大分県)</li> <li>・都道府県における集落支援員の活用方法について情報提供を行ってほしい。県が、個別の集落を支援する際の優先順位など。(沖縄県)</li> </ul>
制度の継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落支援員制度における特別交付税措置については、今後も継続していただきたい。(秋田県)</li> <li>・今後も特別交付税措置対象として制度を継続していただきたい。(愛媛県)</li> </ul>
県としての当制度の活用に係る役割の明確化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の実情を最も把握している市町村が集落支援員の活用を進め、県は集落支援員の養成を支援する側に回るといったように、県と市町村の役割を明確にしつつも、お互いに連携しながら取り組める体制の構築が必要だと感じる。(富山県)</li> <li>・県が設置する場合、集落との直接的なつながりがなく、地域のニーズに応じた支援員の活動内容の設定やそれに応じた配置を行うことが難しい。(静岡県)</li> </ul>

**問4 貴都道府県では、地域おこし協力隊等の集落に対する外部からのサポート人材を活用していますか。**

■地域おこし協力隊等の外部からのサポート人材を活用している都道府県は 14 団体(29.8%)であり、これまで活用したことはなく、今後も活用の予定がないとする都道府県が 22 団体(46.8%)と半数近くに及ぶ。なお、未活用だが今後活用してみたいとした都道府県は 6 団体(12.8%)となっている。

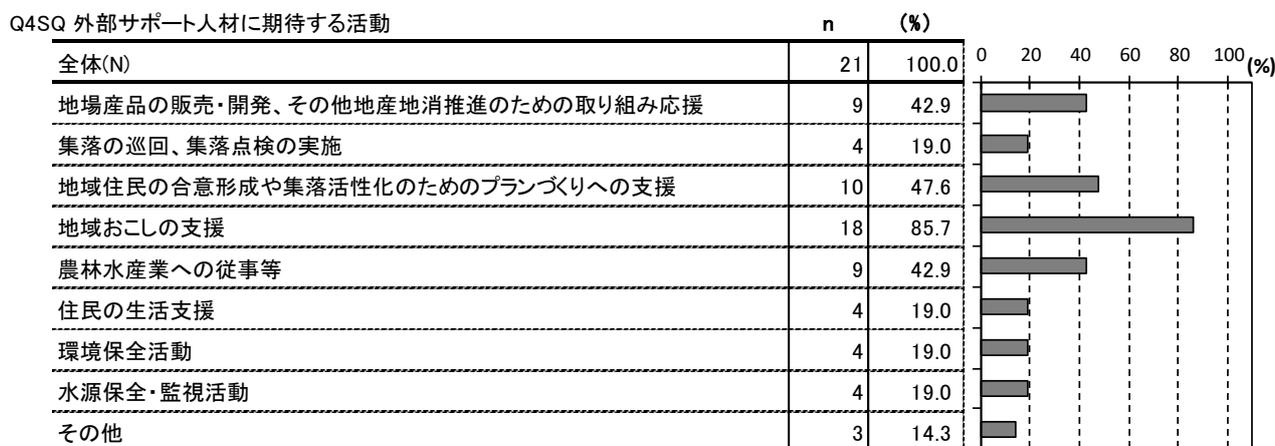
図表3-49 都道府県における外部サポート人材の活用状況



**問4SQ (問4で1~3のいずれかを回答した場合)集落に対する外部からのサポート人材に期待する活動は何ですか。**

■外部サポート人材を活用している(いた)又は今後活用してみたいとする 21 団体を対象に、外部サポート人材に期待する活動内容を聞いたところ、「地域おこしへの支援」が 18 団体(85.7%)で最も多く、次いで「地域住民の合意形成や集落活性化のためのプランづくり」(10 団体、47.6%)への期待が高い。

図表3-50 都道府県が外部サポート人材に期待する活動内容

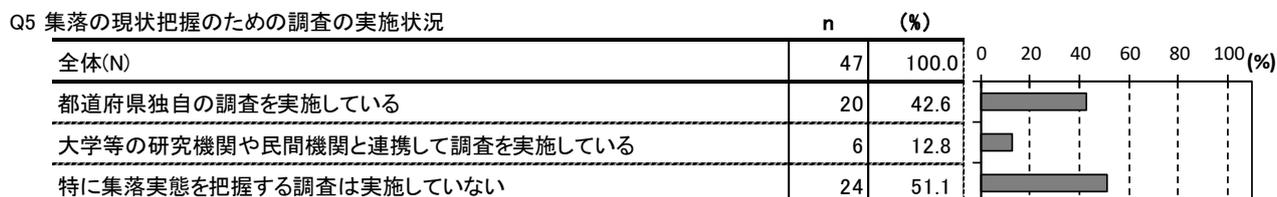


(2) 都道府県における集落地域の現状把握や集落の維持・保全に向けた取組等について

**問5 貴都道府県では、集落の現状等を把握するための調査(本調査を除く)を実施していますか。**

■集落の現状把握のために独自に調査を実施している都道府県は23団体と約半数であり、うち20団体は都道府県独自の調査を実施している一方、特に集落实態を把握していない都道府県は24団体(51.1%)である。

図表3-51 都道府県による集落の現状把握調査の実施状況



**問6 現在存続している集落について、集落機能の維持・保全のため、社会基盤の維持管理や社会的サービスの提供などの面で、貴都道府県が行政施策として講じている対策があれば、(1)～(3)のそれぞれについて主な施策を3事例まで選び、ご回答ください。**

①都道府県が事業主体となり、集落に対して直接支援を行っている施策

- 直接の事業主体となり集落支援を行っている都道府県は25団体(53.2%)で、55の施策事例が挙げられた。
- 各事例の分野をみると、「住民生活対策」が28事例と最も多いほか、「生活基盤の維持対策」(27事例)や「産業基盤の維持対策」(23事例)、「地域文化の保全対策」(21事例)に係る施策が比較的多く挙げられている。
- 施策の内容をみると、財政支援が12事例と最も多いほか、基盤整備や人材派遣に関する施策も10件以上挙げられている。

図表3-52 都道府県が集落に対して直接支援している対策分野



図表3-53 都道府県が集落に対して直接実施している対策の内容(記述回答より整理)

分類	施策の内容(例)	事例数(%)
財政支援	地域が主体的に取組む事業や地域の活動団体の運営費の一部等を財政的に支援	12 (21.8%)
基盤整備	生活道路の安全確保や農地の区画整理など産業基盤の整備を通じて支援	11 (20.0%)
人材派遣	地域の取組に対して専門的アドバイザーの派遣や地域活動の支援要員を派遣	10 (18.2%)
モデル支援	「小さな拠点」づくりなど集落活性化の取組をモデル的に支援	9 (16.4%)
人材育成	活動の担い手や地域リーダー育成のための研修会の開催など	8 (14.5%)
助言・指導	市町村や地域の取組に対し都道府県が技術的な側面等から指導・助言	8 (14.5%)
連携調整	県が関係団体と連携したり、協議の場づくりや人材のマッチングを図る等の調整により支援	6 (10.9%)
大学・企業連携	県が大学や企業・団体等と連携して集落活性化や地域づくりに係る取組を支援	5 (9.1%)
人材配置	地域活動を支援するために都道府県職員や委嘱した専門職員を当該地域等に配置	3 (5.5%)
情報発信	イベントの開催や各種の情報媒体を活用して地域の取組や魅力等の情報を発信	2 (3.6%)
総回答事例数(N)	※複数に該当する回答あり	55

## ②都道府県が市町村事業に対して補助・支援等を行っている施策

- 市町村が行う集落対策事業に対して補助・支援等を行っている都道府県は34団体であった。
- 回答された67事例を分野別にみると、「生活基盤の維持対策」(39事例)や「住民生活対策」(38事例)など、生活に密着した分野に係る施策が比較的多く挙げられている。
- 施策の内容をみると、ソフト面における補助・支援が31施策と最も多いほか、ソフト・ハードの両面にわたり市町村や集落が実施する取組を補助・支援している施策も16施策と比較的多くの事例が報告されている。

図表3-54 都道府県が市町村に補助を行っている施策



図表3-55 都道府県が市町村に補助を行っている施策の内容(記述回答より整理)

分類	施策の内容(例)	事例数(%)
ソフト支援	集落活性化モデル事業や買い物難民対策、空き家の利活用などに対する補助・支援	31 (46.3%)
総合支援	ソフト・ハードの両面にわたり市町村や集落が実施する事業を補助、助成	16 (23.9%)
ハード支援	施設整備や基盤整備などのハード事業に対する補助・支援	9 (13.4%)
交通支援	生活交通の確保に係る事業費や経費等を補助・支援	7 (10.4%)
人的支援	県が職員や専門家、アドバイザー等を派遣して支援	4 (6.0%)
その他	県職員による現況把握調査、関係者を一堂に会した円卓会議の開催など	2 (3.0%)
総回答事例数(N)	※複数に該当する回答あり	67

## ③都道府県がNPOや住民団体を通じて間接的に支援を行っている施策

- 地域のNPOや住民団体等が行う集落機能の維持・保全対策に対し間接的に支援を行っている都道府県は19団体(40.4%)で、回答された29の施策事例を分野別にみると、「産業基盤の維持対策」や「地域文化の保全対策」に係る取組への支援施策が比較的多い。
- 施策の内容をみると、多くは「活動費の補助・助成」(15施策)である。

図表3-56 都道府県がNPOや住民団体を通じて支援している施策



図表3-57 都道府県がNPO や住民団体を通じて支援している施策の内容(記述回答より整理)

分類	施策の内容(例)	事例数(%)
活動費の補助・助成	NPO や住民団体等を対象に活動費や事業費に対する補助・助成	15 (51.7%)
事業委託による活動支援	県がNPO や民間団体等にモデル事業等を委託して活動を支援	4 (13.8%)
人材配置・派遣	県が委嘱した地域づくり関連職員やアドバイザーを派遣して活動を支援	3 (10.3%)
協働体制の構築	県が関係者の協働プラットフォームを構築して支援	3 (10.3%)
その他	県がイベントを開催したり情報発信を行って団体等の活動を支援	4 (13.8%)
総回答事例数(N)	※複数に該当する回答あり	29 (100%)

(3) 今後の集落対策に向けた都道府県・国の役割

**問7 集落地域の維持・活性化に向け、都道府県が担うべき役割や実施していくことが望ましいと考えられる施策について、具体的にご回答ください。**

- 都道府県が担うべき役割や望ましい施策としては、36 団体から具体的な記述回答があった。
- 回答内容を類型化すると、「専門職員やアドバイザー等の人材等の派遣、研修等の開催による人材育成」が 14 団体と最も多く、次いで「市町村や地域住民が主体となって行う集落対策に対する支援」が 10 団体、「県職員による人的支援や国と市町村間のコーディネート」が 9 団体となっている。

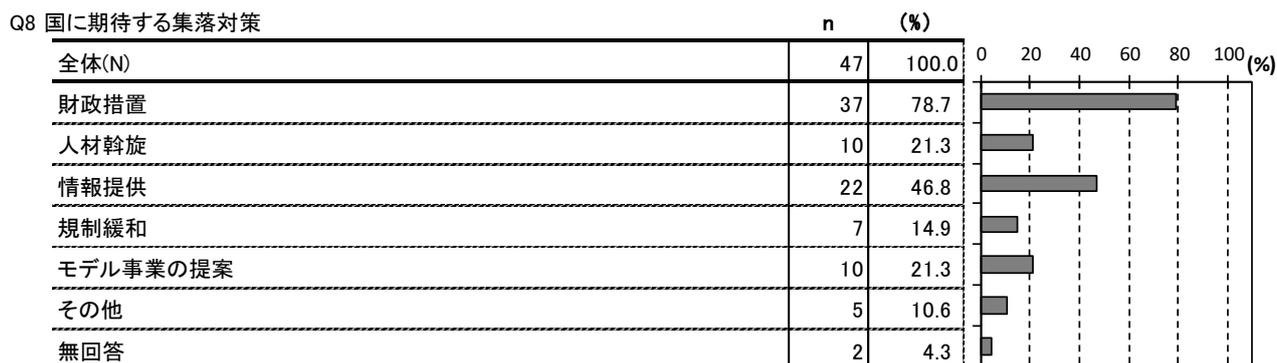
図表3-58 集落地域の維持・活性化に向けた都道府県の役割や施策(記述回答より整理)

集落地域の維持・活性化に向けた都道府県の役割	回答団体数
専門職員やアドバイザー等の人材等の派遣、研修等の開催による人材育成	14
市町村や地域住民が主体となって行う集落対策に対する支援	10
県職員による人的支援や国と市町村間のコーディネート	9
市町村に対する先進事例の紹介や関連制度等の情報提供	8
基盤整備等のハード対策や医療・教育等の確保、広域的な課題への対応など	6
都道府県が中心となって集落活性化のモデルとなる取組(事業)の実施	5
移住・定住や UIJ ターン等の取組に関する支援	4
市町村等との情報交換や相談、情報共有の場の設置	3
産業振興・ビジネスの創出	3
中間支援組織の育成や関係者間のネットワークづくり	3

**問8 集落の維持・活性化に向けて国に期待する役割は何ですか。**

- 都道府県が国に期待する役割としては、45 団体から回答があり、「財政措置」が 37 団体と最も多く、次いで「情報提供」が 22 団体となっている。

図表3-59 都道府県が国に期待する集落対策





## **第4章 集落の現状及び集落対策等に 関する事例調査**

## 第4章 集落の現状及び集落対策等に関する事例調査

### 4-1. 調査の概要

#### (1) 事例ヒアリング調査の趣旨

過疎地域では、それぞれの地域の実情に沿った集落対策が展開されているが、我が国全体が人口減少局面に転じた今、一層厳しい人口動向が予測される過疎地域において暮らしを維持し地方創生を成し遂げるためには、先進的な集落対策の取組や最新の集落地域の実態・課題等を的確に把握し、新たな集落対策のあり方を検討する必要がある。

このため、集落調査（第2章）や集落対策に係るアンケート調査（第3章）の回答内容等から、集落活性化に向けた独自の対策や取組を行っている地域を抽出し、現地ヒアリング調査を行った。

#### (2) 調査対象地域の概要

##### ① 調査対象地域

兵庫県豊岡市（一部過疎市町村）

##### ② 選定理由

- 市全域において、行政区の活動を補完する新たな地域自治組織として、公民館区を単位とした広域的な地域コミュニティ組織（地域コミュニティ推進会議）の構築を図るとともに、それぞれの地域に集落支援員等のサポート人材を配置したり自由度の高い交付金制度を設けるなど、集落活性化に向けた支援を重層的に展開。

##### ③ 地域概況

- 豊岡市は兵庫県の北部（但馬地域）に位置し、豊岡都市圏を形成する県北部の中心都市で、兵庫県内で最も面積が大きい市でもある。
- 日本で最後の野生コウノトリの生息地として知られ、保護・繁殖・共生の事業が行われているほか、市内には城崎温泉や、出石の重要伝統的建造物群保存地区、竹野浜などの海水浴場、神鍋高原のキャンプ場・スキー場などがある。
- 平成17年4月1日に旧豊岡市と城崎郡城崎町・竹野町・日高町・出石郡出石町・但東町が合併し新たに豊岡市として誕生。旧竹野町、旧城崎町、旧但東町が過疎地域とみなされる区域（一部過疎地域）である。

##### ④ 人口動態

- 豊岡市の人口は80,858人、世帯数33,322世帯（令和2年1月31日現在）。
- 29の地区ごとの平成17年と平成27年の国勢調査人口の推移をみると、人口が増加している地区は2地区のみであり、他の27地区は人口減となっている。
- 集落支援員は30名、地域おこし協力隊は16名が活動している。（平成31年度実績）

(3)ヒアリング日程

令和2年2月26日

(4)ヒアリング・現地視察対象

行政ヒアリング	豊岡市政策調整課、コミュニティ政策課
地域運営組織ヒアリング	豊岡市但東地域 高橋振興対策協議会
現地視察	豊岡市但東地域高橋地区

## 4-2. 調査結果

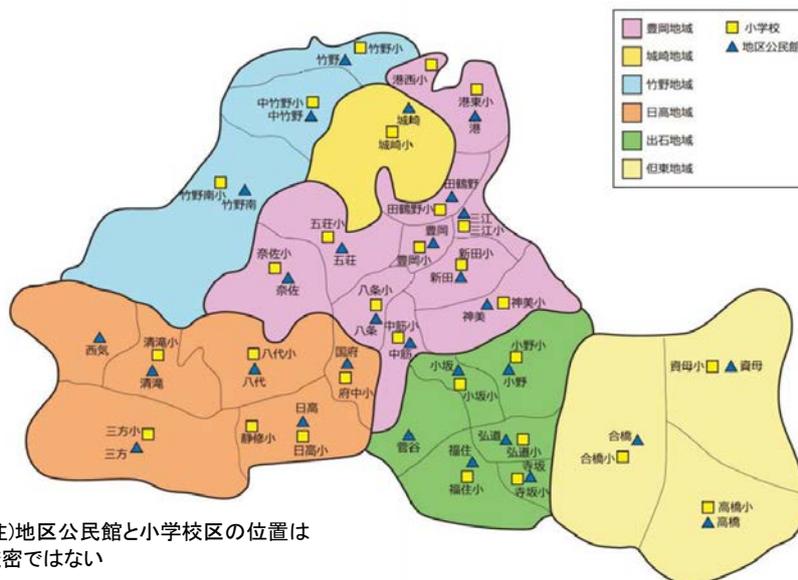
### (1) 新たな地域コミュニティの形成に向けた行政施策の経緯

#### ① これからの地域コミュニティ像と新たな組織のあり方に関する方針の策定

豊岡市には市内に 360 の行政区があるが、人口減少・高齢化が進み、行政区個々の力が弱まり、行政区単独の力では解決できない課題が増えてきたことから、平成 25 年度に「豊岡市新しい地域コミュニティのあり方検討委員会」を設置して、行政区を補完する住民自治の新たな仕組みづくりの検討に着手し、平成 27 年 2 月に「豊岡市新しい地域コミュニティのあり方方針」（以下、「あり方方針」という。）を策定した。

あり方方針では、新たな住民自治組織として「地域コミュニティ組織」を設置し、行政区の活動を基本としながら、行政区の活動を補完し、いわば「車の両輪」として地域全体を支えることとされた。その範囲としては、住民活動が行いやすく歴史的に付き合いが濃い、顔が見える範囲であること、また活動拠点となる施設があることなどを考慮し、地区公民館の区域をベースに設置することが望ましいとされた。

図表4-1 豊岡市における地区公民館のエリア



(注)地区公民館と小学校区の位置は厳密ではない

(出典)「豊岡市新しい地域コミュニティのあり方方針」より一部加工

図表4-2 各地区の行政区数と高齢化率

地域	地区	行政区数	人口	高齢化率	地域	地区	行政区数	人口	高齢化率	
豊岡	豊岡	31	8,861	36.6%	日高	国府	13	3,183	31.3%	
	八条	9	5,244	26.3%		八代	9	689	38.0%	
	三江	10	3,291	33.5%		日高	18	7,637	28.9%	
	田鶴野	10	2,795	24.3%		三方	16	2,581	39.2%	
	五荘	17	11,991	25.4%		清滝	7	1,511	37.9%	
	新田	8	3,387	26.9%		西気	7	755	38.8%	
	中筋	9	1,819	36.7%		出石	弘道	16	3,826	32.3%
	奈佐	12	1,053	41.0%			菅谷	5	620	37.3%
	港	7	2,678	39.1%	福住		9	1,449	34.7%	
神美	10	2,093	29.9%	寺坂	4		578	35.8%		
城崎	31	3,354	39.0%	小坂	13		1,904	36.1%		
竹野	竹野南	17	987	41.8%	小野	4	1,191	31.4%		
	中竹野	9	653	38.6%	但東	資母	17	1,628	45.6%	
	竹野	17	2,708	37.4%		合橋	16	1,650	39.8%	
				高橋		9	817	46.3%		

※網掛けは過疎地域 ※人口、高齢化率は2019.4.1時点

(出典)「豊岡市地域コミュニティビジョン」「豊岡市地域コミュニティ 2018(平成 30)年度地域コミュニティ組織活動事例集」より作成

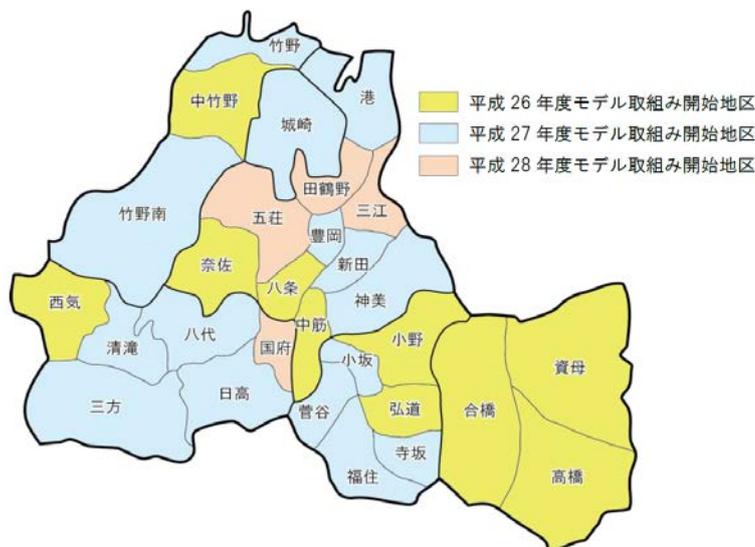
## ②モデル地区の取組による新たなコミュニティ組織の設立

### (i) モデル取組の支援による組織の立ち上げ

豊岡市では、あり方方針に基づく地域コミュニティ組織の設立に向け、平成 26 年度より順次モデル地区の取組を開始し、新たな組織の立ち上げや運営、試行的な活動を支援した。

モデル地区の取組は各地区 3 か年で、平成 26～28 年度に 10 地区、平成 27～29 年度に 15 地区、平成 28～30 年度に 4 地区と、29 地区全てで実施された。

図表4-3 豊岡市の各地区のモデル地区の取組年次



(出典)「豊岡市地域コミュニティビジョン」

### (ii) 新たな地域コミュニティ組織の活動拠点づくり

組織の立ち上げと併せて、各組織の活動拠点とするべく、平成 26 年度より地区公民館の所管を市長部局に移すとともに、平成 29 年 4 月より社会教育施設としての地区公民館を廃し、「コミュニティセンター」に一新した。

コミュニティセンターに移行した平成 29 年 4 月以降も施設の維持管理は市の直営で行われているが、使用許可申請の受付、軽微な清掃等管理の一部は地域コミュニティ組織に委託されており、令和 6 年度を目途に指定管理者制度へ移行する予定となっている（詳細後述）。

### (iii) 地域コミュニティ支援員の派遣と地域マネージャーの養成

上記の組織づくりや活動拠点づくりと並行して市が力を入れたのが、組織の事務的な役割を担う人材の育成・配置である。まず、モデル地区としての 3 年間の取組においては、各公民館に配置されている公民館主事（1 名）とは別に、市が集落支援員制度を活用して直接雇用した嘱託職員を「地域コミュニティ支援員」として各地区 1 名ずつ派遣し、組織立ち上げの検討支援にあたった。

また、あり方方針では、モデル地区の取組終了後の地域コミュニティ組織の主体的な活動を事務局の立場で支える人材として平成 29 年度より「地域マネージャー」を全地域に配置する方針が示されており、公民館主事や「地域コミュニティ支援員」など地域の事情等をよく理解している人の中から「地域マネージャー」として活動できる人材を育成するため、モデル地区の取組期間（3 年間）、年に 5～8 回の地域マネージャー養成講座を実施した。

その結果、29 地区のうち大部分は旧公民館主事が「地域マネージャー」に移行しているが、「地域コミュニティ支援員」として配置した嘱託職員が「地域マネージャー」に移行した地区もある。

### ③各地区における地域づくり計画策定の指針としてのビジョンの策定

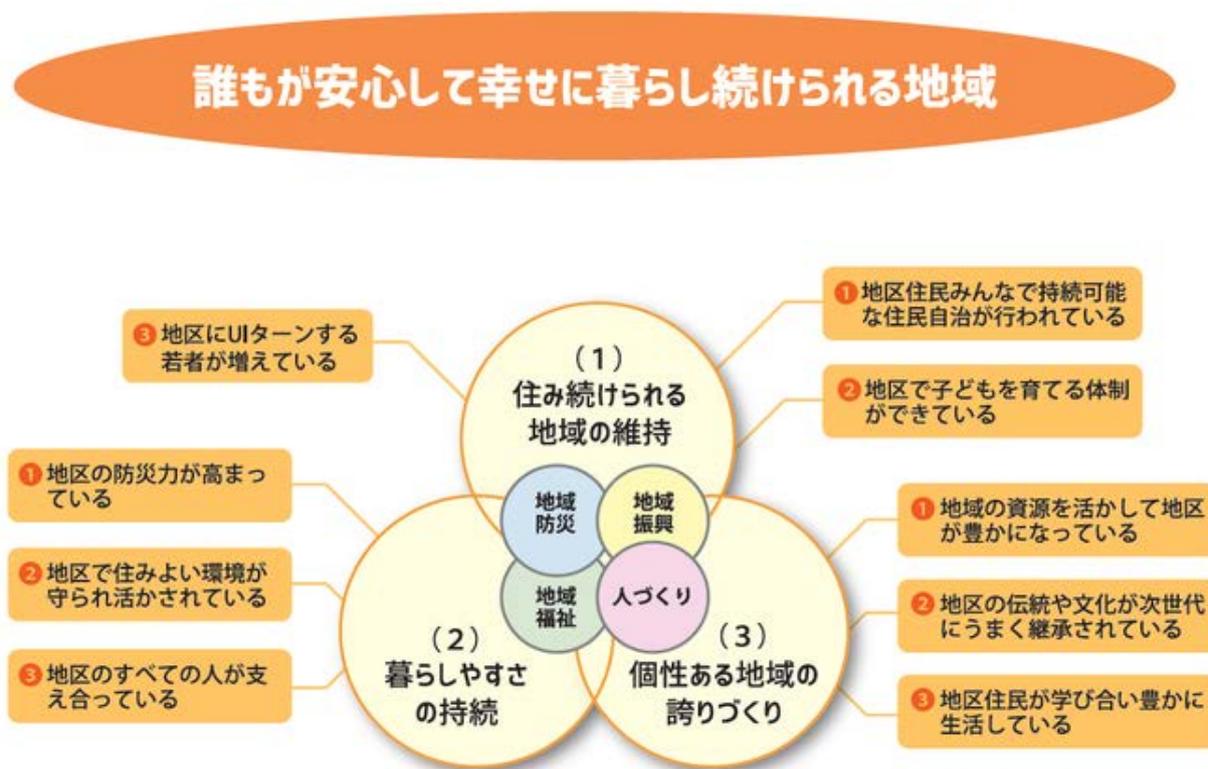
「新しい地域コミュニティのあり方方針」及び平成 26 年度からの各モデル地区の取組により、平成 29 年度までに全 29 地区で新たな地域コミュニティ組織が立ち上がった。

しかし、平成 29 年度に市が島根大学と共同研究を行い、地域コミュニティ組織と行政区にアンケートを実施してそれぞれの現状と課題を調査した結果、従来の行政区と地域コミュニティ組織との関係性や役割分担が不明確であったり、将来的な組織の方向性が十分見出せていない地区もみられることが明らかになった。

このため、市は、市が考える地域コミュニティの将来像とその実現に向けた方策を示し、各地域コミュニティ組織がそれぞれの地域事情を考慮しながら将来像を検討する際の指針としてもらうため、令和 2 年 2 月に「豊岡市地域コミュニティビジョン」を策定した。

今後は、このビジョンを参考に、各 29 地区において地域コミュニティ組織がそれぞれのビジョン（地域づくり計画）を策定（見直し）することを目指している。

図表4-4 豊岡市が目指す地域コミュニティの将来像



(出典)「豊岡市地域コミュニティビジョン」

### (2) 地域コミュニティ組織の立ち上げ及び活動に対する市の支援制度

豊岡市では、新しい地域コミュニティを全市的に推進する上で、その取組のプロセスにおいて

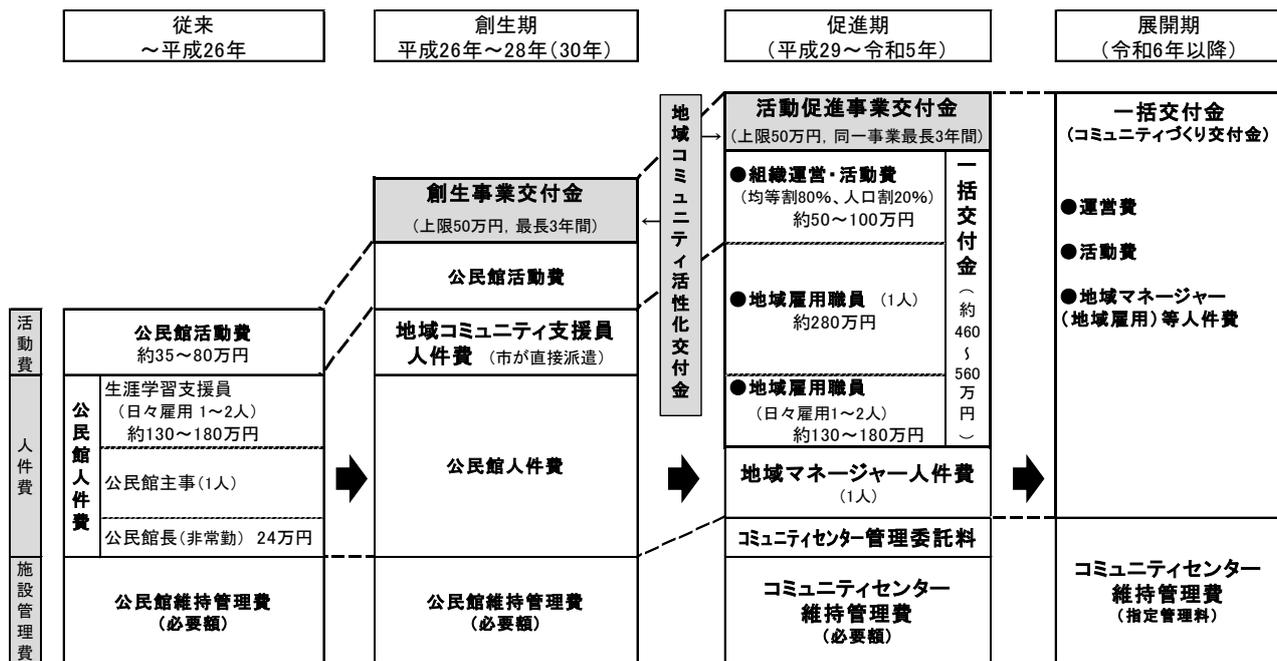
①平成 29 年 4 月には全ての地区で新たな地域コミュニティ組織を設立すること、

②平成 29 年度に地区公民館からコミュニティセンターへと移行すること、

をひとつの区切りとして設定し、平成 26 年のモデル地区の取組以降で、平成 28 年度までを「創生期」、平成 29 年度から令和 5 年度までの 7 年間で「促進期」、令和 6 年度以降を「展開期」として、それぞれの時期に合わせた支援を行っている。

具体的な内容と支援施策の流れは次ページ以降に示す通りである。

図表4-5 各時期における地域コミュニティ組織への財政支援



(出典)「豊岡市新しい地域コミュニティのあり方方針」、「豊岡市地域コミュニティビジョン」、豊岡市資料より作成

図表4-6 豊岡市における新たな地域コミュニティの設立等に向けた支援制度

時期	支援制度	支援内容
創生期 H26～28 (H28～30)	地域コミュニティ活性化交付金 (創生事業交付金)の交付	モデル地区が地域コミュニティ組織の立ち上げや運営、試行的な活動を行う際に必要な経費として、1地区につき50万円/年を上限に最長3年間交付。
	地域コミュニティ支援員の派遣	市が雇用した嘱託職員の派遣(集落支援員制度を活用)
促進期 H29～R5	地域コミュニティ活性化交付金 (活動促進事業交付金)の交付	地域コミュニティ組織が地域づくり計画に基づく活動や事業を実施する際の立ち上げ費用として交付。提案方式であり、1地区につき50万円/年を上限とし、同一事業について最長3年間、交付期間は7年を限度とする。
	一括交付金の交付	地域コミュニティ組織が活動を展開する上で必要となる経費を一括交付金として交付。交付額の積算根拠は以下の通りで、1地区あたり約460～560万円だが、地域の裁量によって柔軟に活用できる。 ●組織運営・活動費…旧公民館活動費の約1.3倍の額を、均等割80%、人口割20%で地区ごとに計算 ●人件費…市嘱託職員1名分(約280万円)+旧公民館時代の生涯学習支援員の人件費相当額(約130～180万円)
	地域マネージャーの派遣	事務局的立場で地域コミュニティ組織の運営や地域づくりの活動を行う「地域マネージャー」として、集落支援員制度を活用して市が雇用した嘱託職員を地域に派遣する形で各地区に配置。
	コミュニティセンター管理業務の委託	管理業務の一部を地域コミュニティ組織に業務委託し、均等割と利用回数割により計算した管理委託料を各地区に支払う。
展開期 R6～	一括交付金の交付	促進期の活動促進事業交付金を一括交付金に含め拡充するとともに、地域マネージャーを市雇用から地域雇用に移行し、相当の経費を上乗せ。
	コミュニティセンター指定管理料	指定管理者制度によりコミュニティセンターの施設管理に係る経費を交付。

(出典)「豊岡市新しい地域コミュニティのあり方方針」、「豊岡市地域コミュニティビジョン」、豊岡市資料より作成

## ①地域コミュニティ活性化交付金

豊岡市は、新たな地域コミュニティ組織の設立と活動展開を支援するため、平成 26 年度より新たに「地域コミュニティ活性化交付金」を創設した。

同交付金は、創生期におけるモデル地区としての取組（3年間）に対して交付される(A)創生事業交付金と、その後の促進期（平成 29 年度～）における活動・事業の立ち上げ支援のための(B)活動促進事業交付金、の2つの事業メニューが設けられている。

(A)創生事業交付金も(B)活動促進事業交付金も、単年度 50 万円を上限として交付する点は同じであるが、(A)創生事業交付金が全てのモデル地区に対して3年間一律に交付されるのに対して、(B)活動促進事業交付金は事業提案方式を採っており、地域コミュニティ組織が策定し市が承認した地域づくり計画（はじめの第一歩計画を含む）に掲載されている活動や事業であることを条件として提案・採択された事業に対して3年間を限度として年間 50 万円が交付される。

なお、(B)活動促進事業交付金では、地域コミュニティ活動の推進に特に有効であり、先進的な事業と市が認める場合は、上限額を超える額の交付を受けることができるとされており、交付の可否や交付限度額は市が審査委員会の意見を踏まえて決定する。

## ②一括交付金（コミュニティづくり交付金）

平成 29 年度からは、上記の(B)活動促進事業交付金に加え、促進期において新しい地域コミュニティ組織が地域づくり計画に基づき主体的に活動を展開する上で必要となる経費への財政支援措置として、新たな一括交付金（コミュニティづくり交付金）が創設された。

一括交付金の交付額は、人件費支援分相当と組織運営・活動費支援分相当の合計として地区ごとに積算され、1地区（1組織）あたり約 460～560 万円である。

- 人件費…旧公民館時代の生涯学習支援員の人件費相当額(約 130～180 万円)  
+地域雇用職員(1人)として市嘱託職員 1 名分(約 280 万円)
- 活動費…旧公民館活動費の約 1.3 倍の額を均等割 80%、人口割 20%で地区ごとに計算

一括交付金は、宗教や政治目的の活動以外であれば用途は自由であり、地区や組織の実情に応じ、各組織の裁量によって人件費や活動費など柔軟に活用することができる。特別な場合（後年度に明確な目的を持って使用するために行う特別積立など）以外はその用途を事前に行政に届け出る必要はないが、市はその決算状況を公表しており、地区住民の理解が得られる使い方が求められている。当該年度の交付額が余った場合も市への返納は不要だが、余剰額相当分が翌年度の交付額から減額される。

なお、展開期（令和 6 年度）からの(B)活動促進事業交付金のあり方は、一括交付金に含めることも含め今後検討される。市が直接雇用し地区に配置している「地域マネージャー」（後述）を地域で雇用することとし、その人件費相当経費を一括交付金に上乗せすることが想定されている。

## ③コミュニティセンター管理業務委託料

前述の通り、各地域コミュニティ組織の活動拠点とするため、平成 29 年 4 月に地区公民館からコミュニティセンターへ移行したことに伴い、その管理業務の一部を地域コミュニティ組織に委託することとした。

具体的には、コミュニティセンターの管理責任は市が負うが、管理業務の一部（施設の受付・利

用の対応、軽微な清掃、施設の日常の点検や修繕箇所の把握等)については地域コミュニティ組織が行うこととし、均等割と利用回数割により計算した管理委託料を各地区に支払っている。

なお、展開期(令和6年度～)以降は、コミュニティセンターの施設管理を地域コミュニティ組織への業務委託形式から指定管理者制度に移行することを予定している。

#### ④地域マネージャー(市嘱託職員)の配置

モデル地区の取組がスタートする以前は、各地区公民館には公民館長(非常勤)と公民館主事(嘱託職員1名)、生涯学習支援員(日々雇用1～2名)が配置されていたが、平成26年度からの創生期においては、公民館主事に加え、市が雇用した嘱託職員を「地域コミュニティ支援員」として各地区1名ずつ配置し、組織立ち上げの検討や活動の支援にあたった。

促進期(平成29年度～)からは、地区公民館がコミュニティセンターに一新され、地域コミュニティ組織が、その活動拠点として事業を展開することとなったため、従来の生涯学習支援員と地域コミュニティ支援員に相当する人件費を「地域雇用職員」の人件費として一括交付金に含めて交付することとなったが、こうした財政支援に加え、各地区に組織の事務局的な役割を担う専任の人材として「地域マネージャー」を配置する制度を導入した。

この「地域マネージャー」は、促進期の7年間は市が雇用する嘱託職員として各地区に配置する形をとり、主に、市が創生期に実施した地域マネージャー養成講座を受講した旧公民館主事が地域マネージャーとして雇用・配置されている。

図表4-7 地域マネージャーの具体的な活動例

(1)地区内点検	①地区内の状況把握 ②地区内各種団体等との連携 ③地区内各種団体等との意見交換
(2)地区の相談役	団体や住民の悩みの相談や関係者等へのつなぎ役
(3)地域計画づくりの推進	地区内の課題等の把握に努め、関係者と連携し地域計画づくりを推進
(4)事業の企画及び実施の補助	地域コミュニティ組織が担う事業の推進
(5)地域コミュニティ組織の運営事務	①市や各種団体等との連絡調整、その他申請等手続き ②会議の招集や運営事務 ③組織の会計処理
(6)コミュニティセンターの運営	貸館として利用者の申請受付等
(7)その他必要な事務	その他必要な事務

(出典)「豊岡市新しい地域コミュニティのあり方方針」より抜粋

#### ⑤地域コミュニティアドバイザーの派遣

④の人的支援に加え、必要に応じて市が委嘱する地域コミュニティアドバイザー(外部有識者・学識経験者)を派遣し、地域づくりに対するアドバイスや指導を行っている。

### (3)高橋地区における取組事例

#### ①高橋地区の概要

高橋地区は、豊岡市の東端、過疎地域とみなされる区域（一部過疎区域）である但東地域（旧但東町）を構成する3公民館区の1つであり、京都府福知山市に接する県境地域にある。9行政区（集落）で構成され、出石川の源流部に位置する代表的な農山村地域である。

2019（平成31）年4月1日時点の人口は817人、351世帯であり、但東地域の他の2地区（資母地区及び合橋地区）よりも人口規模は小さいが、早くから地域の存続への危機意識を持ち、住民主導での地域活性化に最も先進的に活動してきた地区である。

#### ②高橋地区における新たな地域コミュニティ組織の取組の経緯

高橋地区における新たな地域コミュニティ組織の母体は、昭和52年1月1日に設立された「高橋振興対策協議会」である。同協議会は、もともとは診療所や小学校の建設要望や道路・トンネル等の補修・整備に係る要望などを行うため、地元出身の議員や行政区長を中心に設立された組織であった。

その後、同協議会の活動は徐々に地域づくりにシフトし、平成21年度には兵庫県の「ふるさと自立計画推進モデル事業」の認定を受けて地域計画づくりに着手、10回のワークショップ等を経て平成22年3月に「高橋地区ふるさと自立計画」を策定した。この計画策定をきっかけとして、令和元年12月で9回目となる「高橋ふれあい市」等の取組が始まった。

平成25年5月には、高橋振興対策協議会が地域づくりを先導する主体となって、一層地域振興の取組を加速させるため、実行委員会体制を導入するなど組織体制や役員構成の再編を行うとともに、同年10月より、「高橋地区ふるさと自立計画」で示された地区の将来像に向け自立・自律した取組を展開するための指針の検討に着手し、平成26年2月に「地域づくり計画2020」を策定した。

また、計画策定と同時に協議会の規約を改正し、従来は区長会長のあて職だった協議会会長について区長会長以外の者でも就けるようにした。

この計画策定を踏まえ、平成26年4月より、豊岡市が進める新しい地域コミュニティモデル地区の取組を開始し、「地域づくり計画2020」において平成26年度より率先して重点的に取り組むプロジェクト（リーディングプロジェクト）として挙げた以下の3つの取組を実施した。

図表4-8 平成26年度より着手する3つの率先重点プロジェクト

<b>① 高橋地区大運動会</b> ：“早期に地区住民全員参加を実現！”プロジェクト ・小学校と連携し、午前中は小学校の運動会、午後は地区住民が参加する運動会として開催
<b>② 高橋ふるさと探訪</b> ：“効果的で、持続して、魅力ある！”プロジェクト ・ふるさとである高橋を知り、魅力を再発見するため、高橋地区内の集落を巡るイベント ・集落ごとに住民や出身者が案内役を担い、地域の史跡などを紹介しながら地域資源を再発掘
<b>③ 高橋ふれあい市</b> ：“年に一度の自己表現の場、ちょっと儲かる！”プロジェクト ・空き店舗を利活用した「いこいの杜」を会場に住民等が物品を持ち寄り「ふれあい市」を開催 ・出品者が自由に価格設定し、売上の1割が協議会に入る

(出典)「高橋地区地域づくり計画2020」より作成

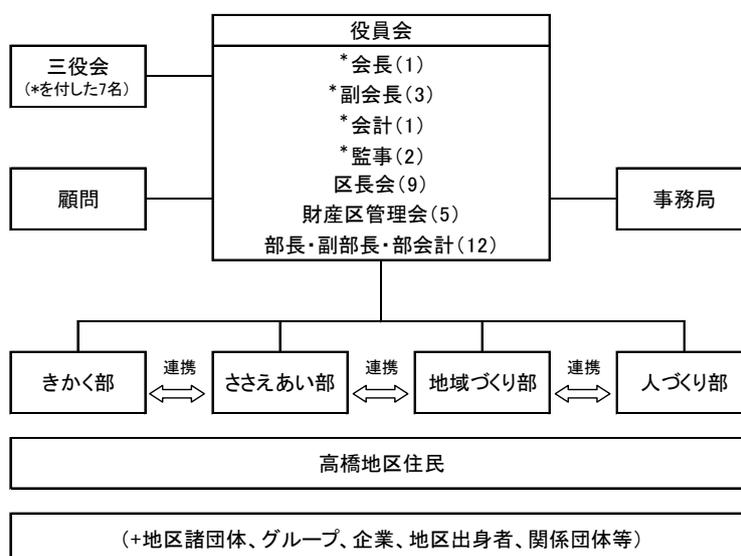
平成26年度のリリーディングプロジェクトは実行委員会体制で取り組んだが、今後も取組を継続していくためには新たな体制が必要であると考え、「コミュニティ組織を考える検討委員会」において組織体制のあり方を検討し、平成27年4月に組織を改編して「部会制」を導入した。

図表4-9 高橋地区における新たな地域コミュニティ組織の設立までの経緯

年	月	主な取組経緯	組織体制の変化
S53	1	高橋振興対策協議会 設立	
H21	10	兵庫県「ふるさと自立計画推進モデル事業」開始	
	12	ワークショップ(10回)開催	
H22	3	「高橋地区ふるさと自立計画」の策定	
	12	第1回「高橋ふれあい市」開催	
H24	11	島根大学の作野先生を招き、地域づくり意見交換会を開催	
H25	5	小学校芝生化協力	実行委員会体制の導入
	7	島根県雲南市へ視察	
	10	第1回「高橋ふるさと探訪」開催	
		地域づくりワークショップ(5回)開催	
H26	2	「地域づくり計画 2020」の策定 地域づくり計画に定めた3つのリーディングプロジェクトの実施	規約の改正(区長会長が協議会会長を兼ねる仕組みを廃止)
	4	新しい地域コミュニティモデル地区の取組み開始(～H28年度)	
H27	1	「コミュニティ組織を考える検討委員会」を設置	組織体制等の見直しを検討
	4	組織改編	部会制の導入

(出典)「地域コミュニティ組織活動事例集」(平成28・29・30年度)より作成

図表4-10 高橋振興対策協議会の組織体制



(出典)「豊岡市地域コミュニティ2018(平成30)年度地域コミュニティ組織活動事例集」



▲高橋ふれあい市で賑わう店内の様子



▲高橋校区区民運動会での餅巻きの様子

### ③これまでの取組の実績と今後の展望

#### ○高橋地区大運動会

高橋地区大運動会は「人づくり部」が担当して実施している。地区住民全員に協議会の活動に参加してもらうことを目指したプロジェクトであり、誰でも1回は参加できるようプログラムを工夫したり、消防団による操法披露や白バイ等の展示、餅まきなど、様々な付帯イベントも企画・実施している。平成30年度は約300人が参加した。

#### ○高橋ふるさと探訪

「高橋ふるさと探訪」は「人づくり部」が担当して実施している。小学校とも連携して実施しているため、子供も含め毎回100人前後の参加者が集まる人気の高いプロジェクトであり、世代間交流の促進やふるさと意識の醸成など様々な成果がみられる。

平成25年10月の第1回以降、本年度までに地区内の9集落全てを順に探訪し、様々な地域資源の掘り起こしが図られたことから、高橋地区を広くPRする素材として活用するため、地域コミュニティ活性化交付金（活動促進事業交付金）を活用してその成果を取りまとめた冊子を作成している。来年度はさらにホームページを立ち上げ、外部に情報発信する予定としている。

また、ふるさと探訪で案内役を担った集落住民や地区出身者等に、今後観光客が訪れた際にガイドとして活躍してもらうことも期待している。

#### ○高橋ふれあい市

「高橋ふれあい市」は「地域づくり部」が担当して実施している。廃業したスーパーの空き店舗を社会福祉協議会が活用して始めた通所介護サロン「いこいの杜」の一部スペースを借りて、毎年12月に開催している。

地区住民が自ら作ったしめ縄や野菜、加工品等を持ち寄り出品、販売するとともに、店舗前の広場では軽食を提供する店を出すなど、年末恒例の一大イベントとなっている。

ふれあい市全体の売上は毎年15～16万円程度であり、協議会は出品者から売上の1割を手数料として徴収している（物販からは徴収はなし）。

年に1回のイベントではあるが、物販を通じて同級生のグループができるなど、住民同士の様々なつながりも生まれている。

#### ○区長会との関わり

昭和53年の協議会設立以降、長らく区長会長が協議会会長を兼ねるあて職で会が運営されてきた。しかし、協議機を中心とした地域活動を展開する中で、行政区の活動との線引きが難しいことなどの様々な問題も出てきた。

そこで、平成26年2月に規約を改正して、区長会長以外の者が協議会会長になれるようにしたほか、各区長は「きかく部」に所属することとし、行政区としての取組と地域コミュニティ組織としての取組の連携を図っている。

#### ○より幅広い地区住民の参加に向けた課題

協議会の各部には定員はなく、各部の活動には基本的に希望すれば誰でも参加でき、現在は4部合計で約80人が参加している。各イベントだけでなく、協議会の活動（企画運営）により多くの住民に関心を持ってもらい、積極的に関わってもらえるようにするため、令和元年12月からは「人づくり部」の部会を公開制にし、部会員でなくても興味があれば誰でも参加できるようにしている。

また協議会では月に1回コミュニティ新聞を発行し、各戸配布しているが、全世帯員の目に触れているとは限らないことから、今後は住民個人にいかに関係を届けるかが課題となっている。



## 參考資料

---

# 参考資料 1 集落の現状把握のための調査票

## 過疎地域等の条件不利地域における集落データ調査【B票】

	…今回新たに回答していただくデータ(現在居住者がいる集落)
	…今回新たに回答していただくデータ(H27以降に消滅した集落)

(参考)  …継続調査対象区域における平成27年度調査での回答データ(空欄の場合は回答不要)  
 …継続調査対象区域に関するデータ(平成27年以降に消滅した集落についてのデータ)

都道府県	市町村コード (R01時点)	市町村名 (R01時点)	市町村区分 (R01時点)	過疎指定 (R01時点)	山村指定 (R01時点)	離島指定 (R01時点)	半島指定 (R01時点)	特別豪雪指定 (R01時点)	旧市町村コード (H11時点)	旧市町村名 (H11時点)	調査対象区域の種別
2019年4月1日時点									H11.4.1時点		
				過疎地域の指定状況	振興山村の指定状況	離島振興対策実施地域の指定状況	半島振興対策実施地域の指定状況	特別豪雪地帯の指定状況			継続: 前回調査からの継続調査区域 新規: 今回新たに調査する区域(前回無回答を含む)
都道府県	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)
<b>記入例</b>											
〇〇県	48153	〇〇市	市	一部過疎	一部山村			一部特別豪雪	48301	●●町	継続
〇〇県	48153	〇〇市	市	一部過疎	一部山村			一部特別豪雪	48301	●●町	継続
〇〇県	48153	〇〇市	市	一部過疎	一部山村			一部特別豪雪	48301	●●町	継続
〇〇県	48153	〇〇市	市	一部過疎	一部山村			一部特別豪雪	48401	△△町	継続
〇〇県	48153	〇〇市	市	一部過疎	一部山村			一部特別豪雪	48401	△△町	継続
〇〇県	48153	〇〇市	市	一部過疎	一部山村			一部特別豪雪	48401	△△町	継続
〇〇県	48153	〇〇市	市	一部過疎	一部山村			一部特別豪雪	48401	△△町	継続
〇〇県	48153	〇〇市	市	一部過疎	一部山村			一部特別豪雪	48601	■●村	継続
〇〇県	48153	〇〇市	市	一部過疎	一部山村			一部特別豪雪	48601	■●村	継続
〇〇県	48153	〇〇市	市	一部過疎	一部山村			一部特別豪雪	48601	■●村	継続

集落番号	集落名	地域振興諸法の地域指定状況					津波被災地
		過疎	山村	離島	半島	特別豪雪・豪雪	
選し番号		(新規調査対象区域及び修正がある集落のみ)ブルダウンより選択					ブルダウンより選択
<p>2019年4月1日現在居住者がいる集落について、(12)に通し番号を振り、(13)に集落の名称を入力してください。                      ※継続調査対象区域には、前回調査の集落名が入力されています。前回調査以降に行政的再編が行われたり新たな集落が誕生した場合は、最下行の集落の下に、新たに集落番号(通し番号)と集落名を入力してください(青文字で表示されます)。                      ※新規調査対象区域は、旧市町村(H11時点)単位で3行ずつ入力行を設けています。足りない場合は行全体をコピーして挿入して追加してください。</p>		<p>各集落ごとに、2019年4月1日現在の地域指定状況をそれぞれブルダウンより選択してください。                      ※継続調査対象区域については、前回調査の回答や最新の各指定状況等を基にあらかじめ入力していますので、<b>基本的に修正は不要</b>です。ただし前回回答に間違いがあった場合などは修正してください。                      ※新規調査対象区域については、2019年4月時点の旧市町村(H11時点)単位での指定状況が入力されていますので、<b>基本的に修正は不要</b>です。ただし、新規調査対象区域のうち、旧市町村の一部区域が山村、離島、半島、特別豪雪のいずれかに指定されている場合は、各集落ごとの指定状況を確認し、適宜修正してください。</p>					<p>東日本大震災の津波被災地には、ブルダウンより○をつけてください</p>
(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)
1	A山	4.一部過疎の非過疎区域・前過疎				豪雪(全域)	
2	B川	4.一部過疎の非過疎区域・前過疎				豪雪(全域)	
3	C里	4.一部過疎の非過疎区域・前過疎				豪雪(全域)	
1	D野	3.一部過疎の過疎区域	山村(全域)			特別豪雪(全域)	
2	E崎	3.一部過疎の過疎区域	山村(全域)			特別豪雪(全域)	
3	F里	3.一部過疎の過疎区域	山村(全域)			特別豪雪(全域)	
4	Jが丘	3.一部過疎の過疎区域	山村(全域)			特別豪雪(全域)	
1	G野	3.一部過疎の過疎区域	山村(全域)			特別豪雪(全域)	
2	H崎	3.一部過疎の過疎区域	山村(全域)			特別豪雪(全域)	
3	I原	3.一部過疎の過疎区域	山村(全域)			特別豪雪(全域)	

集落の状況 (H27時点)	H27住民基本台帳(H27.4.30.時点)							集落の状況 (R01時点)	(継続調査区域のみ) H27.4以降の集落の行政的再編の有無				R01住民基本台帳(2019.4.1時点)					
	世帯数 (世帯)	総人口 (人)							再編後の 集落No.	再編後の 集落名	世帯数 (世帯)	総人口 (人)						
		0~14歳	15~29歳	30~64歳	65~74歳	75歳以上	0~14歳					15~29歳	30~64歳	65~74歳	75歳以上			
								ブルダウンより 選択	ブルダウンより 選択	数値入力	文字入力	数値入力						
								1.居住者あり 2.消滅(無人化)	1.他集落を統合 2.他集落に編入 3.他集落と合併 4.行政的再編なし 5.新規に誕生 6.分離 7.名称変更 ※定義は「B票記入 要領」をご覧ください。	(29)が2・3・ 6の場合、 再編先の 集落の通し 番号(12) の番号を 入力してく ださい	(29)が2・3・ 6の場合、 再編先の 集落名を (13)から入 力してください	各集落ごとに、 <b>2019年4月1日時点</b> の住民基本台帳の世帯数と人口(総数及び各年齢区分別人口)を入力してください ※世帯数(32)は総人口(33)より小さいか又は同数であることを確認してください。 <b>総人口より世帯数が大きい場合、(32)のセルが赤く表示されますので、正しい世帯数に修正してください。</b> ※年齢区分別人口(34)~(38)の合計が総人口(33)と一致することを確認してください。一致していない場合、(33)のセルが赤く表示されますので、正しい人口に修正してください。						
(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)	(31)	(32)	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)
1.居住者あり	68世帯	180	12	25	89	30	24	1.居住者あり				65世帯	180	12	25	89	30	24
1.居住者あり	58世帯	102	0	0	75	20	7	1.居住者あり				55世帯	102	0	0	75	20	7
1.居住者あり	32世帯	55	0	0	29	18	8	1.居住者あり				30世帯	55	0	0	29	18	8
1.居住者あり	11世帯	22	0	1	12	6	3	1.居住者あり	3.他と合併	4	Jが丘							
1.居住者あり	4世帯	6	0	0	2	2	2	2.消滅(無人化)										
1.居住者あり	7世帯	15	0	0	5	6	4	1.居住者あり	3.他と合併	4	Jが丘							
								1.居住者あり	5.新規に誕生			36世帯	36	0	0	18	12	6
1.居住者あり	12世帯	35	1	2	18	9	5	1.居住者あり	2.他に編入	3	I原							
1.居住者あり	3世帯	4	0	0	1	1	2	2.消滅(無人化)										
1.居住者あり	38世帯	80	5	12	30	22	11	1.居住者あり	1.他を統合			44世帯	111	6	8	38	32	27

当該集落に平成27 年以降に転入してき た人がいるか	平成27年以降に転入した 世帯の中に高校生までの 子どもがいる世帯があるか	集落類型 (H27時点)	集落類型 (R01時点)	役場までの距離(km) (H27時点)		役場までの距離(km) (R01時点)		地域区分 (H27時点)	地域区分 (R01時点)	地形的に 末端に ある集落 (H27時点)	地形的に 末端に ある集落 (R01時点)
				本庁まで の距離	支所・出張 所までの 距離	本庁まで の距離	支所・出張 所までの 距離				
ブルダウンより 選択	ブルダウンより 選択		ブルダウン より選択			数値入力	数値入力		ブルダウン より選択		ブルダウンより選 択
1.転入者がいる 2.転入者はいない 3.分からない	1.子育て世帯がある 2.子育て世帯はない 3.分からない ※子育て世帯=高校生以上 の子どもがいる世帯	1.基礎 2.基幹 3.中心	1.基礎 2.基幹 3.中心 ※定義は 「B票記入 要領」を ご覧ください。			当該集落 から支所・ 出張所ま での距離 を入力して ください	当該集落 から最寄 の支所・ 出張所ま での距離 を入力して ください	1.山間地 2.中間地 3.平地 4.都市	1.山間地 2.中間地 3.平地 4.都市 ※定義は 「B票記入 要領」を ご覧ください。		H27時点以降の 道路整備等の状 況を踏まえ、現 時点で地形的に 行き止まりの集 落に○をつけて ください
(39)	(40)	(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	(49)	(50)
1.転入者がいる	1.子育て世帯がある	3.中心	3.中心	1.0km		1.0km		3.平地	3.平地		
1.転入者がいる	2.子育て世帯はない	1.基礎	1.基礎	15.0km		15.0km		2.中間地	2.中間地		
2.転入者はいない	2.子育て世帯はない	1.基礎	1.基礎	12.0km		12.0km		2.中間地	2.中間地		
		1.基礎		49.0km	5.0km			2.中間地	2.中間地		
		1.基礎		51.0km				1.山間地			
2.転入者はいない	1.子育て世帯がある		1.基礎			49.0km	5.0km		2.中間地		
		1.基礎		39.0km	4.0km			2.中間地			
1.転入者がいる	1.子育て世帯がある	2.基幹	2.基幹	10.0km		10.0km		1.山間地	1.山間地	○	

生活サービス機能の立地状況												サポート人材の配置状況		
市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他
ブルダウンより選択												ブルダウンより選択		
上記の各生活サービス関連施設が立地している集落には、ブルダウンよりそれぞれ○をつけてください ※各施設の定義については「B票記入要領」をご覧ください。												上記の各人材が配置されている集落にはブルダウンより○をつけてください ※同一人物が複数集落を受け持っている場合、担当集落すべてに○をつけてください。 ※定義については「B票記入要領」をご覧ください。		
(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	(56)	(57)	(58)	(59)	(60)	(61)	(62)	(63)	(64)	(65)
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	○	○	○	○									○	
	○	○	○	○										
	○								○			○		
	○	○	○	○			○	○		○			○	

集落の各機能の維持状況(H27時点)			集落の各機能の維持状況(R01時点)			集落機能の維持の状況(H27時点)	集落機能の維持の状況(R01時点)	今後の消滅の可能性(H27時点)	今後の消滅の可能性(R01時点)
資源管理機能	生産補完機能	生活扶助機能	資源管理機能	生産補完機能	生活扶助機能				
ブルダウンより選択			ブルダウンより選択				ブルダウンより選択		ブルダウンより選択
1.主に集落住民により維持 2.主に他集落と合同で維持 3.主にボランティア等により維持 4.その他			1.主に集落住民により維持 2.主に他集落と合同で維持 3.主にボランティア等により維持 4.その他  ※資源管理・生産補完・生活扶助の各機能の説明については、「はじめにお読みください」をご覧ください。			1.良好 2.機能低下 3.機能維持困難	1.良好 2.機能低下 3.機能維持困難	○:いずれ消滅 ◎:10年以内に消滅 -:存続	○:いずれ消滅 ◎:10年以内に消滅 -:当面存続
(66)	(67)	(68)	(69)	(70)	(71)	(72)	(73)	(74)	(75)
1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.良好	1.良好	-	-
1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.良好	1.良好	-	-
1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.良好	2.機能低下	-	○
1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持				2.機能低下		-	
1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	2.機能低下	1.良好	-	-
1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持				2.機能低下		-	
1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.集落住民により維持	1.良好	1.良好	-	-

消滅が危惧されている集落(75)が○か◎における住民のQOL維持に向けた取組状況(R01時点)											
交通利便性			移動利便性							居住快適性	
行政窓口までの所要時間(分)	病院までの所要時間(分)	商店までの所要時間(分)	都市部(市町村の中心部)への移動手段							空き家の管理状況	道路・用排水路・河川等の管理状態
数値入力	数値入力	数値入力	ブルダウンより選択							ブルダウンより選択	ブルダウンより選択
当該集落から最寄の行政窓口までの車での所要時間(分)を入力してください	当該集落から最寄の病院・診療所までの車での所要時間(分)を入力してください	当該集落から最寄の商店・スーパーまでの車での所要時間(分)を入力してください	当該集落の住民が市町村の中心部に行く際に利用できる(当該集落で提供されている)交通サービスをすべて選び、○をつけてください							1.空き家はない 2.概ね良好に管理 3.一部は管理が不十分 4.大部分は管理が不十分	1.良好に管理 2.管理が不十分な箇所が存在 3.管理が行き届かず荒廃
			鉄道・軌道	民営路線バス	公営路線バス	デマンドバス・乗合タクシー	自家用有償旅客運送	地域住民による無償運送	その他		
(76)	(77)	(78)	(79)	(80)	(81)	(82)	(83)	(84)	(85)	(86)	(87)
					○					2.概ね良好に管理	1.良好に管理
5分	10分	5分									

今後の人口動向(H27時点)	今後の人口動向(R01時点)	地域運営組織の状況	集落機能の維持・再編成の見通し(H27時点)	集落機能の維持・再編成の見通し(R01時点)
	ブルダウンより選択	ブルダウンより選択		ブルダウンより選択
1.増加 2.横ばい 3.減少	1.増加 2.横ばい 3.減少	生活圏の課題解決に持続的に取り組む中心的組織が存在する場合は、ブルダウンから○をつけてください	1.空間的移転を予定 2.行政的再編を予定 3.機能的再編を予定 4.検討中 5.予定なし	1.空間的移転を予定 2.行政的再編を予定 3.機能の再編成を予定 4.検討中 5.予定なし
(88)	(89)	(90)	(91)	(92)
2.横ばい	2.横ばい	○	5.予定なし	5.予定なし
3.減少	3.減少	○	5.予定なし	5.予定なし
3.減少	3.減少		5.予定なし	5.予定なし
3.減少	3.減少		3.機能的再編を予定	4.検討中
3.減少			3.機能的再編を予定	
3.減少	2.横ばい		3.機能的再編を予定	5.予定なし
3.減少			3.機能的再編を予定	
2.横ばい	3.減少		3.機能的再編を予定	5.予定なし

H27.4以降に消滅(無人化)した集落(28)が「2.消滅(無人化)」の消滅理由												
H27.4以降に消滅(無人化)した集落の消滅理由	H27.4以降に消滅した集落の住民の移転先	H27.4以降に消滅した集落の消滅時期	H27.4以降に消滅した集落にある主な資源の管理方法(R01時点)									消滅集落跡地の資源管理の状況(R01時点)
			森林・林地	農地・田畑	集会所・小学校等	住宅	集落道路・農道等	用排水路等	神社・仏閣等	河川・湖沼・ため池等	伝統的祭事・伝統芸能等	
ブルダウンより選択	ブルダウンより選択	半角数値入力	ブルダウンより選択									ブルダウンより選択
1.集落移転事業による移転 2.公共工事による集団移転 3.廃坑による廃村等 4.自然災害等による分散転居 5.自然消滅 6.その他	1.主に自市町村内の他集落に転居 2.主に他市町に転居 3.各地に分散転居 4.転居者なし 5.不明	消滅(無住化)した年(和暦)を半角数値で回答してください(元号は自動的に入力されます)	1.転居した元集落住民により維持管理を継続 2.他集落等に維持管理を委託(依頼) 3.ボランティア等により維持管理を継続 4.行政により維持管理を継続 5.放置 →当集落には該当する資源・施設がない									1.良好 2.やや荒廃 3.荒廃
(93)	(94)	(95)	(96)	(97)	(98)	(99)	(100)	(101)	(102)	(103)	(104)	(105)
5.自然消滅	1.自市町村内に転居	25	5.放置	5.放置	4.行政が管理	5.放置	4.行政が管理	5.放置	1.元住民が管理	5.放置	1.元住民が管理	3.荒廃
5.自然消滅	1.自市町村内に転居	26	5.放置	5.放置	4.行政が管理	5.放置	4.行政が管理	5.放置	1.元住民が管理	5.放置	1.元住民が管理	3.荒廃



市町村の集落対策に係る体制について

Q2 貴市町村では、集落対策はどのような体制で行われていますか。

1 専任の職員を置いている	2 特に専任の職員は置いていない	回答欄 <input type="checkbox"/>
SQ1 集落対策の専任職員数と所属についてご記入ください。 職員数 <input type="text"/> 人 所属組織名 <input style="width: 150px;" type="text"/>	SQ2 集落対策をどのように行っているか、兼務体制など具体的に記入してください。 <input style="width: 300px; height: 40px;" type="text"/>	

Q3 国では、地域の実情等に詳しい人材が高齢者の見守りや買物支援などを含む集落の維持・活性化対策を行う「集落支援員」制度の活用を推進しているところですが、貴市町村では当該制度を活用していますか。

1 現在活用している 2 以前は活用しており、現在は活用していないが、今後、再び活用してみたい 3 以前は活用していたが、現在は活用しておらず、今後も活用の予定はない 4 現在まで活用したことはないが、今後、活用してみたい 5 現在まで活用したことはなく、今後も活用の予定はない	回答欄 <input type="checkbox"/>
SQ Q3で「1」～「3」のいずれかを回答された市町村にうかがいます。 どのように活用している(していた)か、以下に具体的にご回答ください。 また、「3」と回答された市町村は、現在活用していない理由を併せてご回答ください。	
<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>	

Q4 「集落支援員」制度を導入するにあたって、どのような課題がありますか。  
あてはまる番号をすべて選んで入力してください。

1 地域住民の高齢化や減少によりなり手が不足している 2 集落支援員に対する報酬が不十分でなり手を確保できない 3 集落支援の活動に対する地域住民の理解が得られない 4 そもそも集落支援員を配置する必要性を感じない 5 その他の課題( <input style="width: 150px;" type="text"/> ) 6 特に課題はない	回答欄 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
---	---

Q5 「集落支援員」制度について、国等に対する要望等があれば、以下にご回答ください。

Q6 貴市町村では、**地域を区分して各地域を担当する職員を置く制度**を設けていますか。  
例) 各自治組織のまちづくりや運営組織体制づくりをサポートする職員

1 地域担当職員を置いている	2 地域担当職員は置いていない	回答欄 <input type="checkbox"/>
SQ 令和元年度の職員数や配置先をご回答ください。		
職員数→ 専任 <input type="text"/> 人      兼任 <input type="text"/> 人 配置先→ 本庁 <input type="text"/> 人      出先機関 <input type="text"/> 人      その他 <input type="text"/> 人		

Q7 貴市町村では、地域おこし協力隊等の集落に対する外部からのサポート人材を活用していますか。

- 1 現在活用している
- 2 以前は活用しており、現在は活用していないが、今後、再び活用してみたい
- 3 現在まで活用したことはないが、今後、活用してみたい
- 4 以前は活用していたが、現在は活用しておらず、今後も活用の予定はない
- 5 現在まで活用したことはなく、今後も活用の予定はない

回答欄

↳ SQ Q7で「1」～「3」のいずれかを回答された市町村にうかがいます。  
 集落に対する外部からのサポート人材に期待する活動は何ですか。  
 あてはまる番号をすべて選んで入力してください。

- 1 地場産品の販売・開発、その他地産地消推進のための取り組み応援  
 (特産品開発研究、販路開拓・拡大、地域資源を活用した産業の創出等)
- 2 集落の巡回、集落点検(集落の人口・世帯の動向等の把握)の実施
- 3 地域住民の合意形成や集落活性化のためのプランづくりへの支援
- 4 地域おこしの支援(地域が主催する行事への参加・協力、地域情報の発信等)
- 5 農林水産業への従事等(農作業支援、獣害対策等)
- 6 住民の生活支援(見守りサービス、通院・買い物等の移動サポート、除雪支援等)
- 7 環境保全活動(不法投棄パトロール、草刈り、ゴミ拾い、エコツアーの実施等)
- 8 水源保全・監視活動(河川の清掃活動、水源地の整備・清掃活動等)
- 9 その他( )

回答欄

市町村における集落地域の現状把握や集落の維持・保全に向けた取組等について

Q8 貴市町村では、集落の現状等を把握するための調査(本調査を除く)を実施していますか。  
 あてはまる番号をすべて選んで入力してください。

- 1 市町村独自の調査を実施している
- 2 都道府県が実施する調査に協力している
- 3 大学等の研究機関や民間機関と連携して調査を実施している
- 4 特に集落实態を把握する調査は実施していない

回答欄

↳ SQ Q8で「1」～「3」を選択された市町村にうかがいます。集落の実態を把握するために実施している調査(複数ある場合は代表的なもの)について、以下に具体的にご回答ください。

実施主体	<input type="checkbox"/>	1 市町村	2 都道府県	3 大学	4 民間企業
調査手法	<input type="checkbox"/>	1 アンケート調査	2 ヒアリング調査	3 現地調査	
調査対象	<input type="checkbox"/>	1 集落住民	2 集落代表	3 その他	
調査範囲	<input type="checkbox"/>	1 全ての集落	2 特定の集落	3 不特定の一部集落	
調査頻度	<input type="checkbox"/>	1 定期的(〇年ごとなど)	2 不定期		

Q9 現在存続している集落について、集落機能の維持・保全のため、社会基盤の維持管理や社会的サービスの提供などの面で、貴市町村が行政施策として講じている対策があれば、代表的な施策を3つまで選び、以下に具体的にご回答ください。

① 事業名					
対象集落	<input type="checkbox"/>	1 全ての集落	2 特定の集落( )		
開始年度			←和暦・年度でご回答ください(例:平成20年度)		
対策分野	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1 生活基盤の維持対策	2 産業基盤の維持対策	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3 自然環境保全対策	4 災害対策・防災対策	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5 地域文化の保全対策	6 景観保全対策	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7 住民生活対策	8 その他	
施策概要					
事業効果					

② 事業名			
対象集落	<input type="checkbox"/>	1 全ての集落	2 特定の集落( <input type="checkbox"/> )
開始年度	←和暦・年度でご回答ください (例：平成20年度)		
対策分野	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1 生活基盤の維持対策      2 産業基盤の維持対策 3 自然環境保全対策      4 災害対策・防災対策 5 地域文化の保全対策      6 景観保全対策 7 住民生活対策            8 その他
施策概要			
事業効果			

③ 事業名			
対象集落	<input type="checkbox"/>	1 全ての集落	2 特定の集落( <input type="checkbox"/> )
開始年度	←和暦・年度でご回答ください (例：平成20年度)		
対策分野	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1 生活基盤の維持対策      2 産業基盤の維持対策 3 自然環境保全対策      4 災害対策・防災対策 5 地域文化の保全対策      6 景観保全対策 7 住民生活対策            8 その他
施策概要			
事業効果			

Q10 行政による取組のほかに、集落間で連携を図り集落機能の維持・保全を図っている事例や、集落活性化のためにNPOや地域住民等が主体となって行っている取組など、特徴的な取組事例があれば、代表的な事例を以下にご紹介下さい。

取組団体名									
団体の種類	<input type="checkbox"/>	1 自治会・集落	2 複数の自治会・集落の協議体	3 任意団体	<input type="checkbox"/>	4 NPO法人	5 社会福祉協議会	6 営利法人	7 その他
対象集落	<input type="checkbox"/>	1 全ての集落	2 特定の集落( <input type="checkbox"/> )						
開始年度	←和暦・年度でご回答ください (例：平成20年度)								
取組の分野	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1 生活基盤の維持対策      2 産業基盤の維持対策 3 自然環境保全対策      4 災害対策・防災対策 5 地域文化の保全対策      6 景観保全対策 7 住民生活対策            8 その他						
取組の概要									
取組の効果									

**Q11** 貴市町村は、集落機能が著しく低下し、近い将来に無居住化する恐れがある集落に対し、集落住民の生活の質を維持するために特段配慮した事業や行政サービス等(以下「生活維持対策事業」という。)を実施していますか。

あてはまる番号をすべて選んで入力してください。

- |  |   |
|--|---|
| 1 無居住化する恐れがある集落の住民に対し生活維持対策事業を実施している   | 回答欄<br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/> |
| 2 対象を限定せず、全ての集落住民を対象として生活維持対策事業を実施している |   |
| 3 無居住化する恐れがある集落はあるが、特にそのような事業は実施していない  |   |
| 4 無居住化する恐れがある集落はない                     |   |

**SQ** Q11で「1」又は「2」を選択された市町村にうかがいます。住民の生活の質を維持するために、どのような事業を実施していますか。あてはまる事業の番号を、事業の対象ごとに①か②の欄に入力してください。

①無居住化する恐れがある集落の住民が対象

②全ての集落の住民が対象

- |                                     |   |   |
|-------------------------------------|---|---|
| 1 コミュニティバス・デマンドバスの運行や交通弱者へのタクシー代の補助 | 回答欄<br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/> | 回答欄<br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/> |
| 2 通学・通園支援や病院・福祉施設への送迎サービス           |   |   |
| 3 地元商店による配送費の補助、移動販売への支援などの買い物支援    |   |   |
| 4 家事や家周りの雪かきなどの支援                   |   |   |
| 5 弁当配達、配食サービス                       |   |   |
| 6 高齢者の交流や健康づくり活動の支援                 |   |   |
| 7 その他( )                            |   |   |

**Q12** 貴市町村では、集落機能が著しく低下し、近い将来に無居住化する恐れがある集落の地域資源を保全するために、何らかの取組を行っていますか。

あてはまる番号をすべて選んで入力してください。

- |  |   |
|--|---|
| 1 無居住化の恐れがある集落の住民と、無居住化した後の個人や集落が所有する地域資源の管理方法について話し合い、管理計画を策定している(策定中を含む) | 回答欄<br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/> |
| 2 無居住化の恐れがある集落内に存在する文化財や伝統的祭事の衣装、古文書などの資料を収集・整理・保管している                     |   |
| 3 無居住化の恐れがある集落の住民に対して、集落の歴史や変遷、集落での暮らしや伝統文化などについて聞き取り、記録(アーカイブ)している        |   |
| 4 その他( )   |   |
| 5 無居住化する恐れがある集落はあるが、特にそのような保全活動は実施していない                                    |   |
| 6 無居住化する恐れがある集落はない   |   |

**Q13** 貴市町村内の集落について、今後10年間で集落機能の維持・再編成等を行う見通しはありますか。

あてはまる番号をすべて選んで入力してください。

- |  |   |
|--|---|
| 1 中心・基幹集落の強化による集落機能の維持・再編成を予定している<br>(基幹集落における「小さな拠点」づくりと基礎集落とのアクセスの確保による機能補完など) | 回答欄<br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/> |
| 2 周辺の基礎集落間の相互補完による集落機能の維持・再編成を予定している<br>(小規模集落同士の集落協定などによる共同作業や集落行事などの合同実施など)    |   |
| 3 新たな広域的組織づくりによる集落機能の維持・再編成を予定している<br>(大字や小学校区単位での新たな自治組織づくりなど)                  |   |
| 4 民間やNPO等を活用した機能補完による集落機能の維持・再編を予定している<br>(各種団体による支援、地域住民が中心となった生活環境保全NPOの設立など)  |   |
| 5 集落の行政的再編を予定している<br>(近隣の大規模集落との統合・合併、同規模集落同士の統合・合併、全域的な行政区の見直しなど)               |   |
| 6 集落の空間的再編(移転)を予定している<br>(既存集落への集団移転、複数集落の移転による新規集落の形成などの空間的な移転)                 |   |
| 7 集落機能の維持・再編成を行う予定はない  |   |

集落移転事業について

Q14 貴市町村において、これまでに集落が集団で移転を行った事例はありますか。  
あてはまる番号をすべて選んで入力してください。

- 1 ダム建設や道路建設など公共工事に伴い集団移転した集落がある
- 2 「過疎地域集落再編整備事業(集落等移転事業)」により集団移転した集落がある
- 3 「防災集団移転促進事業」により集団移転した集落がある
- 4 2・3以外の国の事業により集団移転した集落がある
- 5 都道府県の制度・事業により集団移転した集落がある
- 6 市町村の制度・事業により集団移転した集落がある
- 7 行政の事業を適用せず、住民自らの意思決定で自力で集団移転した集落がある
- 8 市町村内で集団移転を行った集落の事例はない

回答欄

<input type="checkbox"/>

↓  
SQ1 Q14で「4」を選択された市町村にうかがいます。

「過疎地域集落再編整備事業(集落等移転事業)」・「防災集団移転促進事業」以外の国の事業により集団移転した集落について、以下に具体的な内容をご回答ください。  
なお該当する集落移転の事例が複数ある場合は、代表的な事例についてご回答ください。

集落移転に 活用した国の 事業	事業名				
	所管省庁				
	事業内容 のタイプ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1 移転後の生活補償	2 移転先の土地の貸付
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3 住宅建設・購入費補助	4 移転費用の借入利子補助
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5 固定資産税等の減免	6 その他
事業概要					
総事業費	万円 ←当該集落の移転に要した事業費総額をご回答ください				
移転元の集落	集落数	集落	集落名		
事業年度	開始	年度	終了	年度 ←和暦でご回答ください	
移転の規模等	移転人口	人	移転戸数	世帯	

**SQ2 Q14で「5」又は「6」を選択された市町村にうかがいます。**

都道府県又は市町村の制度・事業により集団移転した集落について、お分かりになる範囲で、以下に具体的な内容をご回答ください。

なお該当する集落移転の事例が複数ある場合は、代表的な事例についてご回答ください。

移転元の集落	集落数	集落	集落名		
移転の規模	移転人口	人	移転戸数	世帯	
移転の進行経過	検討開始	年度	移転終了	年度 ←和暦でご回答ください	
集落の集団移転に際して適用した事業	事業名				
	事業主体	<input type="checkbox"/>	1 都道府県の制度・事業	2 市町村の制度・事業	
	事業内容のタイプ	<input type="checkbox"/>	1 移転後の生活補償	2 移転先の土地の貸付	
		<input type="checkbox"/>	3 住宅建設・購入費補助	4 移転費用の借入利子補助	
		<input type="checkbox"/>	5 固定資産税等の減免	6 その他	
事業概要					
総事業費	万円 ←当該集落の移転に要した事業費総額をご回答ください				
集落の集団移転に至る経緯	移転元集落の災害時の危険性が高まった、集落住民から移転陳情があったなど、集落の集団での移転を行うこととなった経緯について、お分かりになる範囲で詳しくお教えてください。				
移転先の選定方法等	移転先の候補地の選定方法や決定までの住民との協議経緯などについてお教えてください。				
集落移転に係る問題点	集落移転の検討を開始してから移転が完了するまでの経緯で問題となったことや直面した課題などがあれば、詳しくお教えてください。またそれらの問題・課題をどう乗り越えられたのかについても併せてお教えてください。				
移転後の集落跡地の管理状況	共有財産	<input type="checkbox"/>	1 元住民(集落)が管理	2 行政が管理	3 その他
	私有財産	<input type="checkbox"/>	1 元住民(集落)が管理	2 行政が管理	3 その他
	神社仏閣	<input type="checkbox"/>	1 元住民(集落)が管理	2 行政が管理	3 その他
	集会所	<input type="checkbox"/>	1 元住民(集落)が管理	2 行政が管理	3 その他
	インフラ	<input type="checkbox"/>	1 元住民(集落)が管理	2 行政が管理	3 その他
移転後の祭事や伝統行事の継承状況	元住民(集落)が集落跡地で継続開催、元住民(集落)が移転先で継承など、移転元の集落で実施されていた祭事や伝統行事の継承状況について、お分かりになる範囲でお教えてください。				
移転後の集落の構成	<input type="checkbox"/>	1 移転元と同じ集落構成を維持	2 複数の集落に分割	3 移転先の集落に編入	4 他の集落と統合して新たな集落を形成

「集落ネットワーク圏」(小さな拠点)の形成について

※「集落ネットワーク圏」(小さな拠点)の定義については、「はじめにお読みください」の『基本的な用語の定義』を参照してください。

Q15 国では、基幹集落を中心に周辺の複数集落をひとつのまとまりとして集落機能を確保する、いわゆる「集落ネットワーク圏」(小さな拠点)の形成を支援しているところですが、貴市町村では、「集落ネットワーク圏」(小さな拠点)を形成していますか。

- |                                   |                                 |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| 1 市町村全域で集落ネットワーク圏が形成されている         | 回答欄<br><input type="checkbox"/> |
| 2 集落ネットワーク圏を形成している地域と形成していない地域がある |                                 |
| 3 集落ネットワーク圏は形成していないが、今後形成する予定がある  |                                 |
| 4 集落ネットワーク圏は形成しておらず、今後形成する予定もない   |                                 |

→ SQ Q15で「1」～「3」のいずれかを回答された市町村にうかがいます。  
貴市町村で形成されている(形成を予定している)「集落ネットワーク圏」(小さな拠点)のエリアとして該当するものをすべて選んで入力してください。

- |   |                                 |
|---|---------------------------------|
| 1 市町村全体でひとつの集落ネットワーク圏を形成                | 回答欄<br><input type="checkbox"/> |
| 2 概ね「平成の合併」前の旧市町村単位でひとつの集落ネットワーク圏を形成    |                                 |
| 3 (中学校が複数ある場合)概ね中学校区単位でひとつの集落ネットワーク圏を形成 |                                 |
| 4 (小学校が複数ある場合)概ね小学校区単位でひとつの集落ネットワーク圏を形成 |                                 |
| 5 その他( )                                |                                 |

Q16 貴市町村の中で、「集落ネットワーク圏」(小さな拠点)における取組があれば、代表的な取組事例を以下に3つまで具体的にご紹介ください。

① 集落ネットワーク圏(小さな拠点)の名称						
活動主体	組織名					
	組織形態	<input type="checkbox"/> 1 行政機関	<input type="checkbox"/> 2 第3セクター	<input type="checkbox"/> 3 非営利法人	<input type="checkbox"/> 4 営利法人	<input type="checkbox"/> 5 任意団体
集落ネットワーク圏(小さな拠点)における取組の主な活動内容	<input type="checkbox"/> 1	商店・購買・金融 (例)住民出資会社による商店経営、高齢者宅への配送サービスなど				
	<input type="checkbox"/> 2	飲食・喫茶 (例)女性グループによる地元農産物を使った食堂やカフェの営業など				
	<input type="checkbox"/> 3	福祉サービス (例)ミニデイサービス、高齢者等の見守り活動や日常生活のサポートなど				
	<input type="checkbox"/> 4	農林業支援 (例)農産物の集荷サービス、加工品等の特産品開発の支援など				
	<input type="checkbox"/> 5	医療サービス (例)診療所と一体となった「小さな拠点」の整備による医療の提供など				
	<input type="checkbox"/> 6	文化活動 (例)祭りや伝統行事の復活・活発化、新たなイベントの開催など				
	<input type="checkbox"/> 7	子育て支援 (例)子どもの居場所づくり、高齢者と子どもたちの交流活動など				
	<input type="checkbox"/> 8	地域コミュニティ活動 (例)人々が集まるサロンの開催、防災訓練や地域点検活動など				
	<input type="checkbox"/> 9	都市交流機能 (例)農業体験など都市住民との交流イベントの開催、移住相談など				
	<input type="checkbox"/> 10	交通・移動支援 (例)有償運送サービスの実施、コミュニティバスの運行など				
	<input type="checkbox"/> 11	その他				
具体的な取組・活動の内容						
上記の取組に対する支援	<input type="checkbox"/> 1	国の事業・制度を活用	→事業名( )			
	<input type="checkbox"/> 2	都道府県の事業を活用	→事業名( )			
	<input type="checkbox"/> 3	市町村事業により支援	→事業名( )			
	<input type="checkbox"/> 4	民間団体の支援を活用	→事業名( )			
	<input type="checkbox"/> 5	特に支援制度・事業等は活用していない(事業実施主体が独自に行っている)				

②	集落ネットワーク圏(小さな拠点)の名称					
活動主体	組織名					
	組織形態	<input type="checkbox"/> 1 行政機関	<input type="checkbox"/> 2 第3セクター	<input type="checkbox"/> 3 非営利法人	<input type="checkbox"/> 4 営利法人	<input type="checkbox"/> 5 任意団体
集落ネットワーク圏(小さな拠点)における取組の主な活動内容	<input type="checkbox"/>	1 商店・購買・金融 (例)住民出資会社による商店経営、高齢者宅への配送サービスなど				
	<input type="checkbox"/>	2 飲食・喫茶 (例)女性グループによる地元農産物を使った食堂やカフェの営業など				
	<input type="checkbox"/>	3 福祉サービス (例)ミニデイサービス、高齢者等の見守り活動や日常生活のサポートなど				
	<input type="checkbox"/>	4 農林業支援 (例)農産物の集荷サービス、加工品等の特産品開発の支援など				
	<input type="checkbox"/>	5 医療サービス (例)診療所と一体となった「小さな拠点」の整備による医療の提供など				
	<input type="checkbox"/>	6 文化活動 (例)祭りや伝統行事の復活・活発化、新たなイベントの開催など				
	<input type="checkbox"/>	7 子育て支援 (例)子どもの居場所づくり、高齢者と子どもたちの交流活動など				
	<input type="checkbox"/>	8 地域コミュニティ活動 (例)人々が集まるサロンの開催、防災訓練や地域点検活動など				
	<input type="checkbox"/>	9 都市交流機能 (例)農業体験など都市住民との交流イベントの開催、移住相談など				
	<input type="checkbox"/>	10 交通・移動支援 (例)有償運送サービスの実施、コミュニティバスの運行など				
	<input type="checkbox"/>	11 その他				
具体的な取組・活動の内容						
上記の取組に対する支援	<input type="checkbox"/>	1 国の事業・制度を活用	→事業名( )			
	<input type="checkbox"/>	2 都道府県の事業を活用	→事業名( )			
	<input type="checkbox"/>	3 市町村事業により支援	→事業名( )			
	<input type="checkbox"/>	4 民間団体の支援を活用	→事業名( )			
	<input type="checkbox"/>	5 特に支援制度・事業等は活用していない(事業実施主体が独自に行っている)				

③	集落ネットワーク圏(小さな拠点)の名称					
活動主体	組織名					
	組織形態	<input type="checkbox"/> 1 行政機関	<input type="checkbox"/> 2 第3セクター	<input type="checkbox"/> 3 非営利法人	<input type="checkbox"/> 4 営利法人	<input type="checkbox"/> 5 任意団体
集落ネットワーク圏(小さな拠点)における取組の主な活動内容	<input type="checkbox"/>	1 商店・購買・金融 (例)住民出資会社による商店経営、高齢者宅への配送サービスなど				
	<input type="checkbox"/>	2 飲食・喫茶 (例)女性グループによる地元農産物を使った食堂やカフェの営業など				
	<input type="checkbox"/>	3 福祉サービス (例)ミニデイサービス、高齢者等の見守り活動や日常生活のサポートなど				
	<input type="checkbox"/>	4 農林業支援 (例)農産物の集荷サービス、加工品等の特産品開発の支援など				
	<input type="checkbox"/>	5 医療サービス (例)診療所と一体となった「小さな拠点」の整備による医療の提供など				
	<input type="checkbox"/>	6 文化活動 (例)祭りや伝統行事の復活・活発化、新たなイベントの開催など				
	<input type="checkbox"/>	7 子育て支援 (例)子どもの居場所づくり、高齢者と子どもたちの交流活動など				
	<input type="checkbox"/>	8 地域コミュニティ活動 (例)人々が集まるサロンの開催、防災訓練や地域点検活動など				
	<input type="checkbox"/>	9 都市交流機能 (例)農業体験など都市住民との交流イベントの開催、移住相談など				
	<input type="checkbox"/>	10 交通・移動支援 (例)有償運送サービスの実施、コミュニティバスの運行など				
	<input type="checkbox"/>	11 その他				
具体的な取組・活動の内容						
上記の取組に対する支援	<input type="checkbox"/>	1 国の事業・制度を活用	→事業名( )			
	<input type="checkbox"/>	2 都道府県の事業を活用	→事業名( )			
	<input type="checkbox"/>	3 市町村事業により支援	→事業名( )			
	<input type="checkbox"/>	4 民間団体の支援を活用	→事業名( )			
	<input type="checkbox"/>	5 特に支援制度・事業等は活用していない(事業実施主体が独自に行っている)				

**Q17** 貴市町村において「集落ネットワーク圏」(小さな拠点)での取組を行うに際して、どのような課題がありますか。  
 あてはまる番号をすべて選んで入力してください。

- |   |  |
|---|--|
| 1 | 取組を行う住民主体の組織(担い手)がない                   |
| 2 | 住民主体の組織(担い手)はあるが、当該組織に取組の必要性が認識されていない  |
| 3 | 取組に関するノウハウがない                          |
| 4 | 取組に関する資金がない                            |
| 5 | 集落機能が十分確保されており、ネットワーク圏による取組を行う必要性を感じない |
| 6 | その他の課題( )                              |
| 7 | 特に課題はない                                |

回答欄


**Q18** 上記の課題を解決するため、国等に要望することがあれば、以下にご回答ください。

--

**Q19** 集落の維持・活性化に向けて国に期待する役割は何ですか。

1 財政措置 2 人材斡旋 3 情報提供 4 規制緩和 5 モデル事業の提案 6 その他	回答欄	→	回答欄で選んだ番号の内容を具体的にご回答ください。
	<input type="checkbox"/>	→	

アンケート調査(A票)は以上です。集落データ(B票)と併せて都道府県にご返送下さい。  
 ご協力ありがとうございました。

### 参考資料3 都道府県アンケート調査票

#### 過疎地域等の条件不利地域における集落の状況に関する調査〔都道府県票〕

令和元年9月 実施  
 総務省 自治行政局 過疎対策室  
 国土交通省国土政策局総合計画課

#### ご記入にあたってのお願い

■色のついたセルが回答欄です。それぞれの色は以下のとおりです。

**黄色** 選択肢の番号や数字(半角、直接入力)

**水色** 文字・文章(直接入力)

■文章が長く既定の枠では表示が切れてしまう場合は、必要に応じ行の高さを変えて頂いて結構です。  
 ただし、**行や列の挿入、削除は行わないでください。**

#### 貴都道府県についておたずねします

■以下にご回答いただいた方のご所属、お名前、ご連絡先等をご記入ください。

団体名	都道府県			
記入者	所属			
	役職		氏名	
連絡先	TEL		FAX	
	E-mail			

#### 都道府県の集落対策に係る体制について

Q1 貴都道府県では、集落対策を担当する専門部署はありますか。

1 専任の職員を置いている	2 特に専任の職員は置いていない	回答欄 <input type="checkbox"/>
---------------	------------------	---------------------------------

sq1 集落対策の専任職員数と所属についてご記入ください。

職員数  人

所属  
組織名

sq2 集落対策をどのように行っているか、兼務体制など具体的に記入してください。

sq3 どのような活動を行っていますか。

Q2 国では、地域の実情等に詳しい人材が高齢者の見守りや買物支援などを含む集落の維持・活性化対策を行う「集落支援員」制度の活用を推進しているところですが、貴都道府県では当該制度を活用していますか。  
 市町村ではなく、貴都道府県として活用しているかどうかをご回答ください。

<p>1 現在活用している</p> <p>2 以前は活用しており、現在は活用していないが、今後、再び活用してみたい</p> <p>3 以前は活用していたが、現在は活用しておらず、今後も活用の予定はない</p> <p>4 現在まで活用したことはないが、今後、活用してみたい</p> <p>5 現在まで活用したことはないが、今後も活用の予定はない</p>	回答欄 <input type="checkbox"/>
---	---------------------------------

↳ SQ Q2で「1」～「3」と回答された都道府県にうかがいます。

どのように活用している(活用していた)か、以下に具体的にご回答ください。  
また、「3」と回答された都道府県は、現在活用していない理由を併せてご回答ください。

Q3 「集落支援員」制度の導入等における課題や、国等に対する要望等があれば、以下にご回答ください。

Q4 貴都道府県では、地域おこし協力隊等の集落に対する外部からのサポート人材を活用していますか。  
市町村ではなく、貴都道府県として活用しているかどうかをご回答ください。

- 1 現在活用している
  - 2 以前は活用しており、現在は活用していないが、今後、再び活用してみたい
  - 3 現在まで活用したことはないが、今後、活用してみたい
  - 4 以前は活用していたが、現在は活用しておらず、今後も活用の予定はない
  - 5 現在まで活用したことはなく、今後も活用の予定はない

回答欄

↳ SQ Q4で「1」～「3」のいずれかを回答された都道府県にうかがいます。

集落に対する外部からのサポート人材に期待する活動は何ですか。  
あてはまる番号をすべて選んで入力してください。

- 1 地場製品の販売・開発、その他地産地消推進のための取り組み応援  
(特産品開発研究、販路開拓・拡大、地域資源を活用した産業の創出等)
  - 2 集落の巡回、集落点検(集落の人口・世帯の動向等の把握)の実施
  - 3 地域住民の合意形成や集落活性化のためのプランづくりへの支援
  - 4 地域おこしの支援(地域が主催する行事への参加・協力、地域情報の発信等)
  - 5 農林水産業への従事等(農作業支援、獣害対策等)
  - 6 住民の生活支援(見守りサービス、通院・買い物等の移動サポート、除雪支援等)
  - 7 環境保全活動(不法投棄パトロール、草刈り、ゴミ拾い、エコツアーの実施等)
  - 8 水源保全・監視活動(河川の清掃活動、水源地の整備・清掃活動等)
  - 9 その他( )

回答欄

Q5 貴都道府県では、集落の現状等を把握するための調査(本調査を除く)を実施していますか。  
あてはまる番号をすべて選んで入力してください。

- 1 都道府県独自の調査を実施している
  - 2 大学等の研究機関や民間機関と連携して調査を実施している
  - 3 特に集落实態を把握する調査は実施していない

回答欄

Q6 現在存続している集落について、集落機能の維持・保全のため、社会基盤の維持管理や社会的サービスの提供などの面で、貴都道府県が行政施策として講じている対策があれば、以下の(1)～(3)のそれぞれについて主な施策を3事例まで選び、具体的にご回答ください。

(1) 都道府県が直接事業主体となり、集落に対して直接支援を行っている施策

① 事業名		
対象集落		
開始年度	←和暦・年度でご回答ください（例：平成20年度）	
対策分野	※あてはまる番号を入力し、「具体的内容」に各分野の具体的な内容を記入してください	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1 生活基盤の維持対策	2 産業基盤の維持対策
	3 自然環境保全対策	4 災害対策・防災対策
	5 地域文化の保全対策	6 景観保全対策
	7 住民生活対策	8 その他
施策概要		
事業効果		

② 事業名		
対象集落		
開始年度	←和暦・年度でご回答ください（例：平成20年度）	
対策分野	※あてはまる番号を入力し、「具体的内容」に各分野の具体的な内容を記入してください	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1 生活基盤の維持対策	2 産業基盤の維持対策
	3 自然環境保全対策	4 災害対策・防災対策
	5 地域文化の保全対策	6 景観保全対策
	7 住民生活対策	8 その他
施策概要		
事業効果		

③ 事業名		
対象集落		
開始年度	←和暦・年度でご回答ください（例：平成20年度）	
対策分野	※あてはまる番号を入力し、「具体的内容」に各分野の具体的な内容を記入してください	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1 生活基盤の維持対策	2 産業基盤の維持対策
	3 自然環境保全対策	4 災害対策・防災対策
	5 地域文化の保全対策	6 景観保全対策
	7 住民生活対策	8 その他
施策概要		
事業効果		

(2) 都道府県が市町村事業に対して補助・支援等を行っている施策

① 事業名										
対象集落										
開始年度	←和暦・年度でご回答ください（例：平成20年度）									
対策分野	※あてはまる番号を入力し、「具体的内容」に各分野の具体的な内容を記入してください									
	<input type="text"/>	<table border="0"> <tr> <td>1 生活基盤の維持対策</td> <td>2 産業基盤の維持対策</td> </tr> <tr> <td>3 自然環境保全対策</td> <td>4 災害対策・防災対策</td> </tr> <tr> <td>5 地域文化の保全対策</td> <td>6 景観保全対策</td> </tr> <tr> <td>7 住民生活対策</td> <td>8 その他</td> </tr> </table>	1 生活基盤の維持対策	2 産業基盤の維持対策	3 自然環境保全対策	4 災害対策・防災対策	5 地域文化の保全対策	6 景観保全対策	7 住民生活対策	8 その他
1 生活基盤の維持対策	2 産業基盤の維持対策									
3 自然環境保全対策	4 災害対策・防災対策									
5 地域文化の保全対策	6 景観保全対策									
7 住民生活対策	8 その他									
施策概要										
事業効果										

② 事業名										
対象集落										
開始年度	←和暦・年度でご回答ください（例：平成20年度）									
対策分野	※あてはまる番号を入力し、「具体的内容」に各分野の具体的な内容を記入してください									
	<input type="text"/>	<table border="0"> <tr> <td>1 生活基盤の維持対策</td> <td>2 産業基盤の維持対策</td> </tr> <tr> <td>3 自然環境保全対策</td> <td>4 災害対策・防災対策</td> </tr> <tr> <td>5 地域文化の保全対策</td> <td>6 景観保全対策</td> </tr> <tr> <td>7 住民生活対策</td> <td>8 その他</td> </tr> </table>	1 生活基盤の維持対策	2 産業基盤の維持対策	3 自然環境保全対策	4 災害対策・防災対策	5 地域文化の保全対策	6 景観保全対策	7 住民生活対策	8 その他
1 生活基盤の維持対策	2 産業基盤の維持対策									
3 自然環境保全対策	4 災害対策・防災対策									
5 地域文化の保全対策	6 景観保全対策									
7 住民生活対策	8 その他									
施策概要										
事業効果										

③ 事業名										
対象集落										
開始年度	←和暦・年度でご回答ください（例：平成20年度）									
対策分野	※あてはまる番号を入力し、「具体的内容」に各分野の具体的な内容を記入してください									
	<input type="text"/>	<table border="0"> <tr> <td>1 生活基盤の維持対策</td> <td>2 産業基盤の維持対策</td> </tr> <tr> <td>3 自然環境保全対策</td> <td>4 災害対策・防災対策</td> </tr> <tr> <td>5 地域文化の保全対策</td> <td>6 景観保全対策</td> </tr> <tr> <td>7 住民生活対策</td> <td>8 その他</td> </tr> </table>	1 生活基盤の維持対策	2 産業基盤の維持対策	3 自然環境保全対策	4 災害対策・防災対策	5 地域文化の保全対策	6 景観保全対策	7 住民生活対策	8 その他
1 生活基盤の維持対策	2 産業基盤の維持対策									
3 自然環境保全対策	4 災害対策・防災対策									
5 地域文化の保全対策	6 景観保全対策									
7 住民生活対策	8 その他									
施策概要										
事業効果										

(3) 都道府県がNPOや住民団体等を通じて間接的に支援を行っている施策

① 事業名		
対象集落		
開始年度	←和暦・年度でご回答ください（例：平成20年度）	
対策分野	※あてはまる番号を入力し、「具体的内容」に各分野の具体的な内容を記入してください	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1 生活基盤の維持対策	2 産業基盤の維持対策
	3 自然環境保全対策	4 災害対策・防災対策
	5 地域文化の保全対策	6 景観保全対策
	7 住民生活対策	8 その他
施策概要		
事業効果		

② 事業名		
対象集落		
開始年度	←和暦・年度でご回答ください（例：平成20年度）	
対策分野	※あてはまる番号を入力し、「具体的内容」に各分野の具体的な内容を記入してください	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1 生活基盤の維持対策	2 産業基盤の維持対策
	3 自然環境保全対策	4 災害対策・防災対策
	5 地域文化の保全対策	6 景観保全対策
	7 住民生活対策	8 その他
施策概要		
事業効果		

③ 事業名		
対象集落		
開始年度	←和暦・年度でご回答ください（例：平成20年度）	
対策分野	※あてはまる番号を入力し、「具体的内容」に各分野の具体的な内容を記入してください	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1 生活基盤の維持対策	2 産業基盤の維持対策
	3 自然環境保全対策	4 災害対策・防災対策
	5 地域文化の保全対策	6 景観保全対策
	7 住民生活対策	8 その他
施策概要		
事業効果		

**Q7** 集落地域の維持・活性化に向け、都道府県が担うべき役割や実施していくことが望ましいと考えられる施策について、具体的にご回答ください。

--

**Q8** 集落の維持・活性化に向けて国に期待する役割は何ですか。

	回答欄	回答欄で選んだ番号の内容を具体的にご回答ください。
1 財政措置	<input type="checkbox"/>	
2 人材斡旋	<input type="checkbox"/>	
3 情報提供	<input type="checkbox"/>	
4 規制緩和	<input type="checkbox"/>	
5 モデル事業の提案	<input type="checkbox"/>	
6 その他	<input type="checkbox"/>	

アンケート調査は以上です。貴都道府県内の対象市町村のご回答(アンケート票(A票)及び集落データ(B票))を取りまとめの上、本ファイルと併せてご返送下さい。ご協力ありがとうございました。



# 過疎地域等における集落の状況に関する現況把握調査報告書報告書

令和2年3月

総務省 地域力創造グループ 過疎対策室

〒100-8927 東京都千代田区霞が関2-1-2 TEL:03-5253-5536(直通) FAX:03-5253-5537

〔調査・研究〕株式会社 シンクタンクみらい

〒108-0014 東京都港区芝 5-14-15 望月ビル 5階 TEL:03-6435-2308 FAX:03-6435-2309